

**生活実態調査
保護者編**

2. 生活実態調査（保護者）

2.1 調査回答者の基本属性等

問1. お子さんとあなたとの関係は、次のどれにあたりますか。お子さんからみた続柄(つづきがら)でお答えください。

調査回答者の、子どもからみた続柄は、小学生では「母親（継母を含む）」が89.2%、「父親（継父を含む）」が9.7%、「祖父母」が0.1%、中学生では「母親（継母を含む）」が89.1%、「父親（継父を含む）」が9.3%、「祖父母」が0.3%となっています。

図表 2.1.1 子どもとの続柄

		母親 (継母を含む)	父親 (継父を含む)	祖父母	その他	不明・ 無回答	全体
小学生	件数	2,609	283	4	6	24	2,926
	割合	89.2%	9.7%	0.1%	0.2%	0.8%	100.0%
中学生	件数	2,482	260	9	6	29	2,786
	割合	89.1%	9.3%	0.3%	0.2%	1.0%	100.0%
(県)小学生	件数	718	111	6	0	1	836
	割合	85.9%	13.3%	0.7%	0.0%	0.1%	100.0%
(県)中学生	件数	591	89	6	1	0	687
	割合	86.0%	13.0%	0.9%	0.1%	0.0%	100.0%

図表 2.1.2 子どもとの続柄(等価世帯収入別)

		母親 (継母を含む)	父親 (継父を含む)	祖父母	その他	全体	
小学生	中央値以上	件数	1,295	168	2	1	1,466
		割合	88.3%	11.5%	0.1%	0.1%	100.0%
	中央値の2分の1 以上中央値未満	件数	945	88	0	0	1,033
		割合	91.5%	8.5%	0.0%	0.0%	100.0%
	中央値の2分の1 未満	件数	176	17	1	1	195
		割合	90.3%	8.7%	0.5%	0.5%	100.0%
中学生	中央値以上	件数	1,234	131	1	1	1,367
		割合	90.3%	9.6%	0.1%	0.1%	100.0%
	中央値の2分の1 以上中央値未満	件数	907	102	3	1	1,013
		割合	89.5%	10.1%	0.3%	0.1%	100.0%
	中央値の2分の1 未満	件数	194	14	4	0	212
		割合	91.5%	6.6%	1.9%	0.0%	100.0%

※等価世帯収入別の表は無回答を含まないため、小学生・中学生別の各項目の合計値は、それぞれの総和と一致しない。

図表 2.1.3 子どもとの続柄(世帯別)

		母親 (継母を含む)	父親 (継父を含む)	祖父母	その他	全体	
小学生	ふたり親	件数	2,378	254	2	0	2,634
		割合	90.3%	9.6%	0.1%	0.0%	100.0%
	ひとり親	件数	220	28	2	6	256
		割合	85.9%	10.9%	0.8%	2.3%	100.0%
	母子世帯	件数	220	0	0	0	220
		割合	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
中学生	ふたり親	件数	2,198	221	3	2	2,424
		割合	90.7%	9.1%	0.1%	0.1%	100.0%
	ひとり親	件数	272	36	5	4	317
		割合	85.8%	11.4%	1.6%	1.3%	100.0%
	母子世帯	件数	272	0	0	0	272
		割合	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

※世帯別の表は無回答を含まないため、小学生・中学生別の各項目の合計値は、それぞれの総和と一致しない。

問2. お子さんと同居し、生計を同一にしているご家族の構成と人数をお答えください。単身赴任(ふにん)中の方や学業のために世帯を離れているお子さんがいる場合には、ご家族の人数に含めて教えてください。

子どもと同居し、生計を同一にしている家族に含まれる方としては、小学生では「母親」が95.9%、「父親」が90.5%、「祖父母」が31.7%、「兄弟姉妹」が95.4%、「その他」が2.9%、中学生では「母親」が95.3%、「父親」が87.4%、「祖父母」が31.7%、「兄弟姉妹」が94.6%、「その他」が2.7%となっています。

図表 2.2.1 同居家族に含まれる方

		母親	父親	祖父母	兄弟姉妹	その他	不明・無回答	全体
小学生	件数	2,807	2,647	928	2,792	85	38	2,926
	割合	95.9%	90.5%	31.7%	95.4%	2.9%	1.3%	100.0%
中学生	件数	2,656	2,434	883	2,635	76	46	2,786
	割合	95.3%	87.4%	31.7%	94.6%	2.7%	1.7%	100.0%
(県)小学生	件数	828	783	205	707	27	0	836
	割合	99.0%	93.7%	24.5%	84.6%	3.2%	0.0%	100.0%
(県)中学生	件数	670	618	239	579	35	1	687
	割合	97.5%	90.0%	34.8%	84.3%	5.1%	0.1%	100.0%

子どもと同居し、生計を同一にしている家族の人数は、小学生・中学生ともに、「4人」が42.2%、40.3%と最も高く、次いで「5人」が24.2%、24.6%、「3人」が12.7%、13.8%となっています。

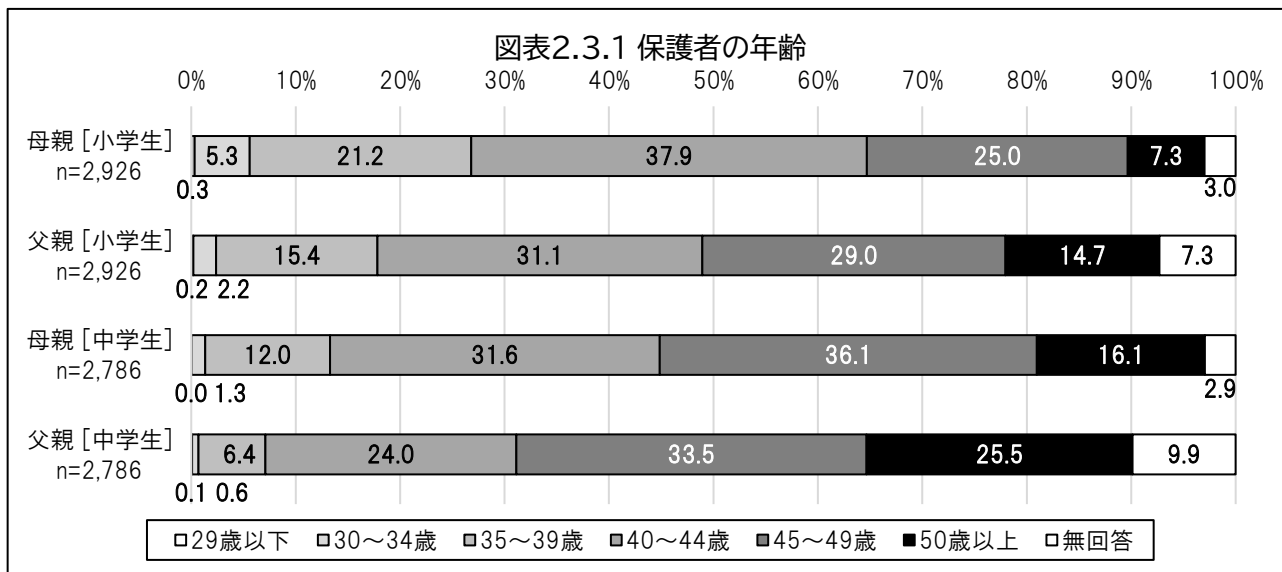
図表 2.2.2 同居家族の人数

		2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人以上	不明・無回答	全体
小学生	件数	38	371	1,235	709	273	132	59	109	2,926
	割合	1.3%	12.7%	42.2%	24.2%	9.3%	4.5%	2.0%	3.7%	100.0%
中学生	件数	61	385	1,123	686	289	111	33	98	2,786
	割合	2.2%	13.8%	40.3%	24.6%	10.4%	4.0%	1.2%	3.5%	100.0%
(県)小学生	件数	10	99	318	235	99	44	20	11	836
	割合	1.2%	11.8%	38.0%	28.1%	11.8%	5.3%	2.4%	1.3%	100.0%
(県)中学生	件数	16	81	232	179	107	52	20	0	687
	割合	2.3%	11.8%	33.8%	26.1%	15.6%	7.6%	2.9%	0.0%	100.0%

問3. お子さんの親の現在の年齢についてお答えください。

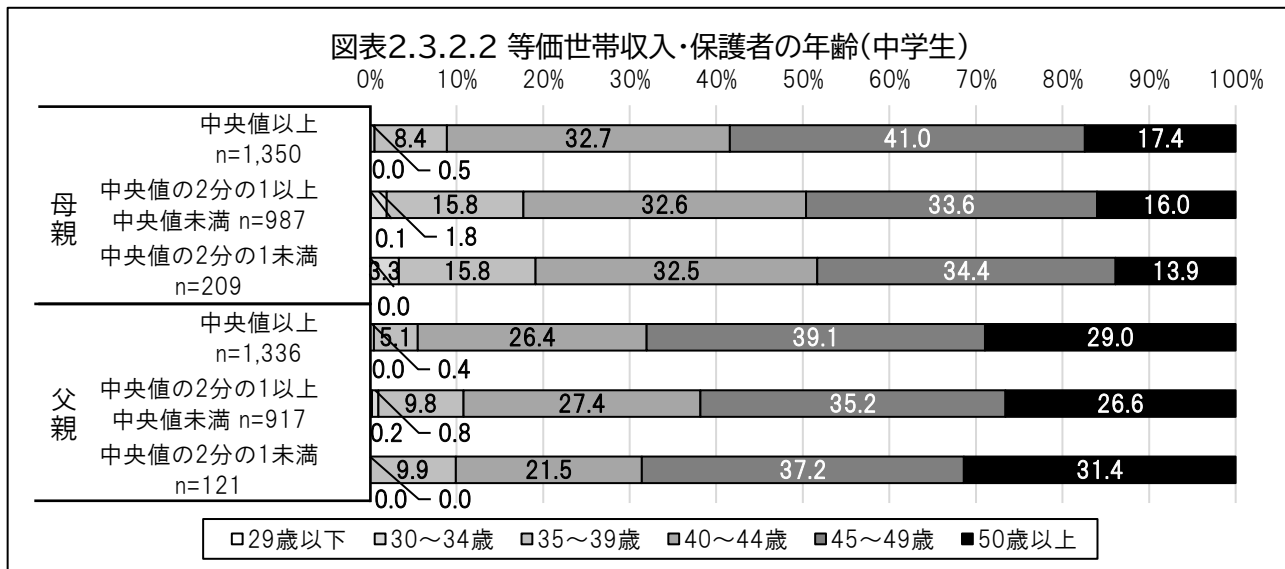
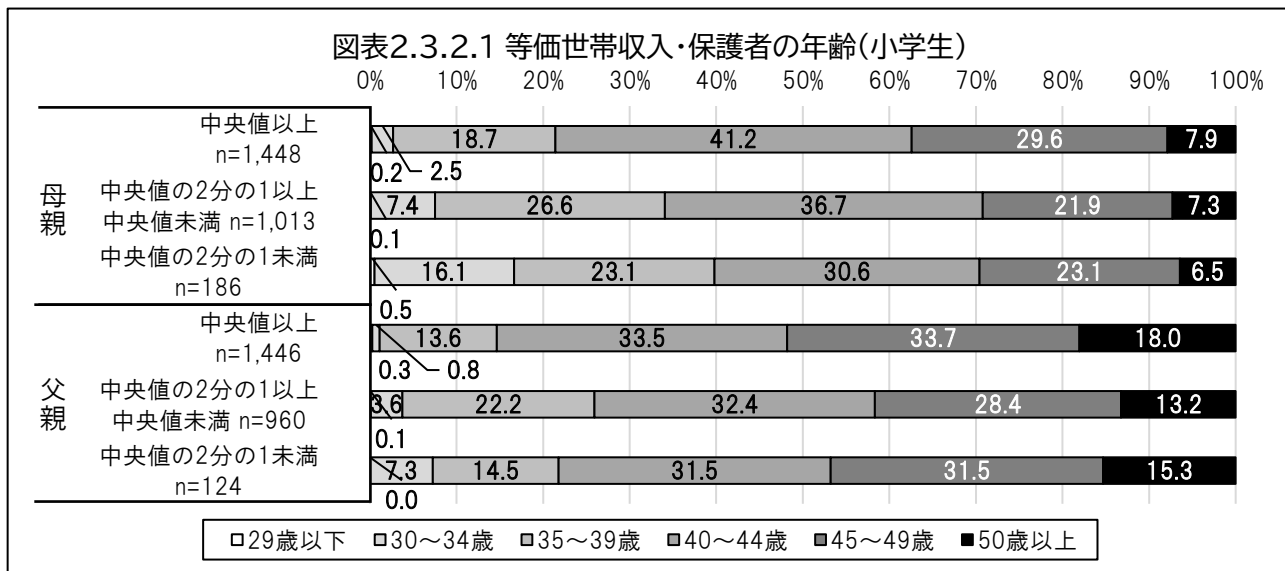
(1)全体

保護者の年齢について、小学生では、母親が「40～44歳」が37.9%、「45～49歳」が25.0%、「35～39歳」が21.2%、父親が「40～44歳」が31.1%、「45～49歳」が29.0%、「35～39歳」、15.4%となっています。中学生では、母親が「45～49歳」が36.1%、「40～44歳」が31.6%、「50歳以上」が16.1%、父親が「45～49歳」が33.5%、「50歳以上」が25.5%、「40～44歳」が24.0%となっています。



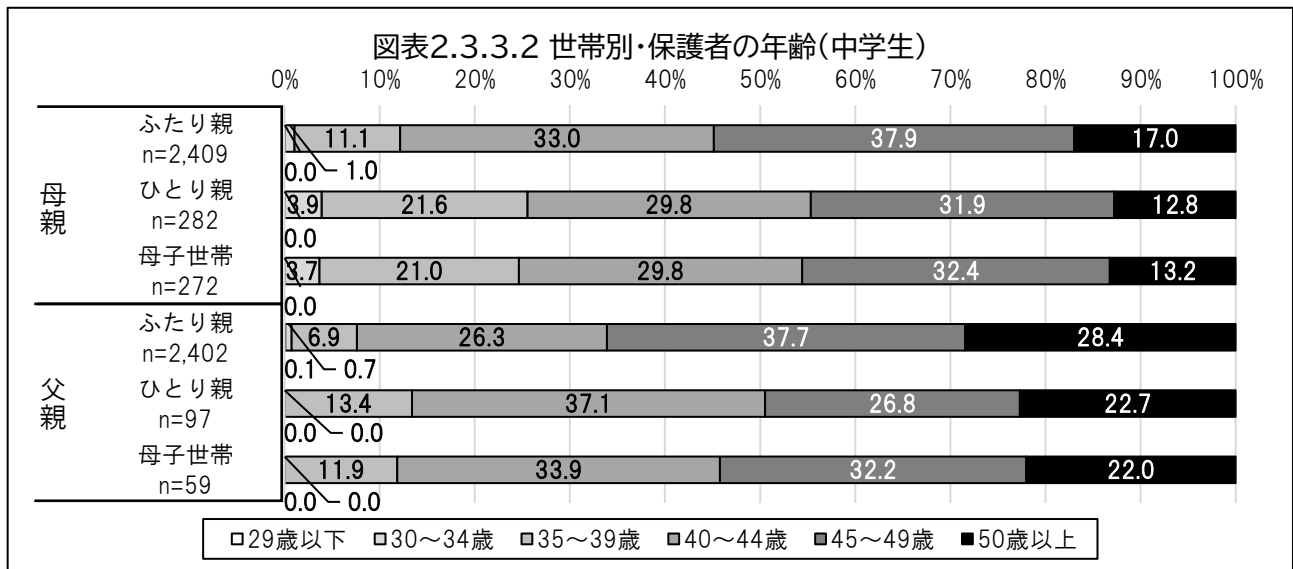
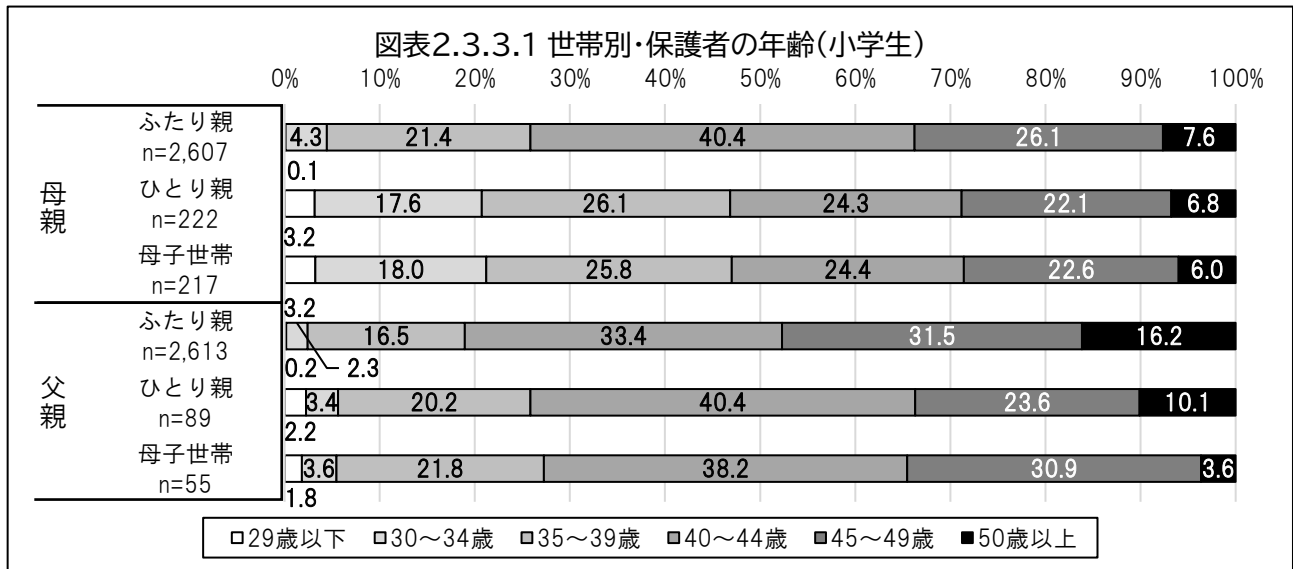
(2)等価世帯収入別

保護者の年齢について、等価世帯収入別にみると、小学生では、母親がいずれの水準においても「40～44歳」が41.2%、36.7%、30.6%と最も高く、父親が「中央値以上」の水準では「45～49歳」が33.7%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の水準では「40～44歳」が32.4%、「中央値の2分の1未満」の水準では「40～44歳」、「45～49歳」が31.5%と最も高くなっています。中学生では、母親・父親ともにいずれの水準においても「45～49歳」が最も高く、母親では、それぞれ41.0%、33.6%、34.4%、父親では、それぞれ39.1%、35.2%、37.2%となっています。



(3)世帯別

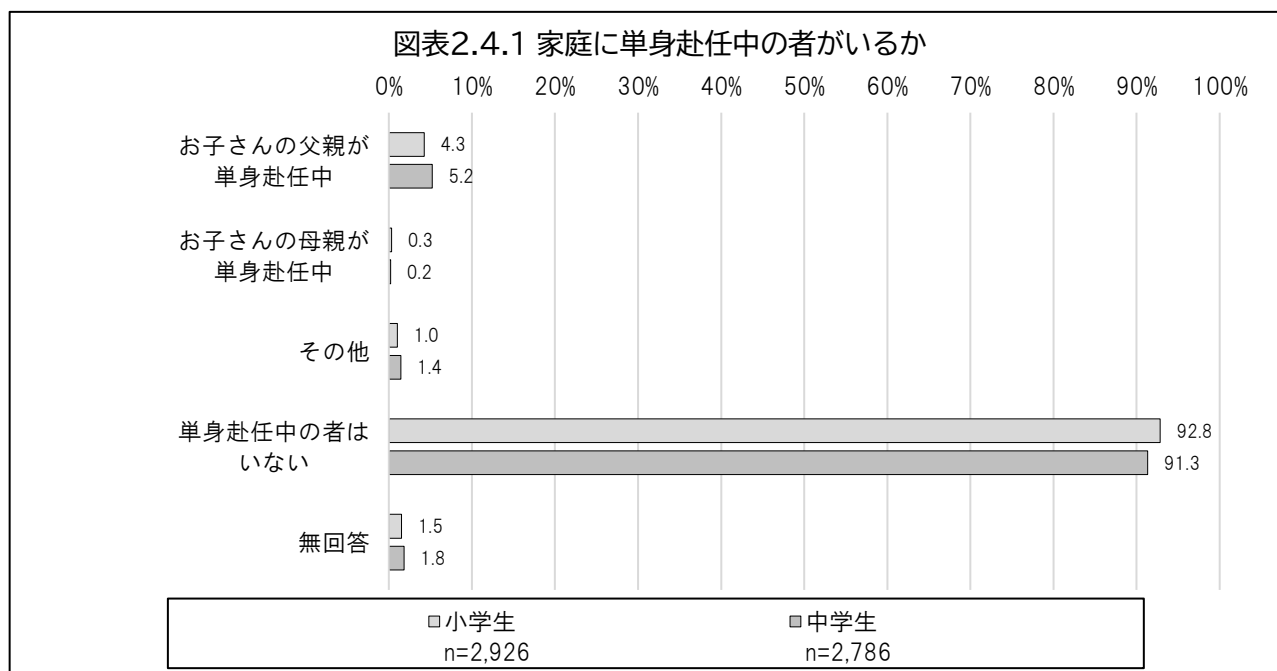
保護者の年齢について、世帯別にみると、小学生では、母親がふたり親世帯では「40～44歳」が40.4%、ひとり親世帯および母子世帯では「35～39歳」が26.1%、25.8%と最も高く、父親はいずれの世帯においても「40～44歳」が33.4%、40.4%、38.2%と最も高くなっています。中学生では、母親がいずれの世帯においても「45～49歳」が37.9%、31.9%、32.4%と最も高く、父親がふたり親世帯では「45～49歳」が37.7%、ひとり親世帯および母子世帯では「40～44歳」が37.1%、33.9%と最も高くなっています。



問4. お子さんのご家族のうち、現在単身赴任(ふにん)中の方はいらっしゃいますか。

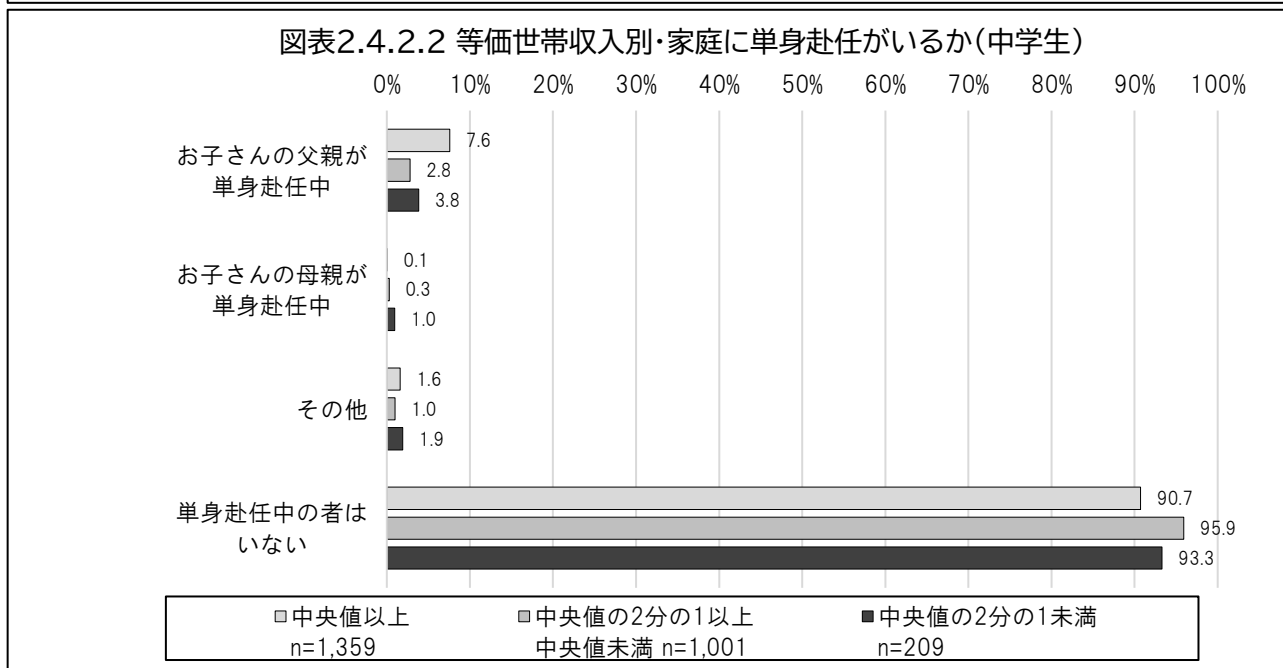
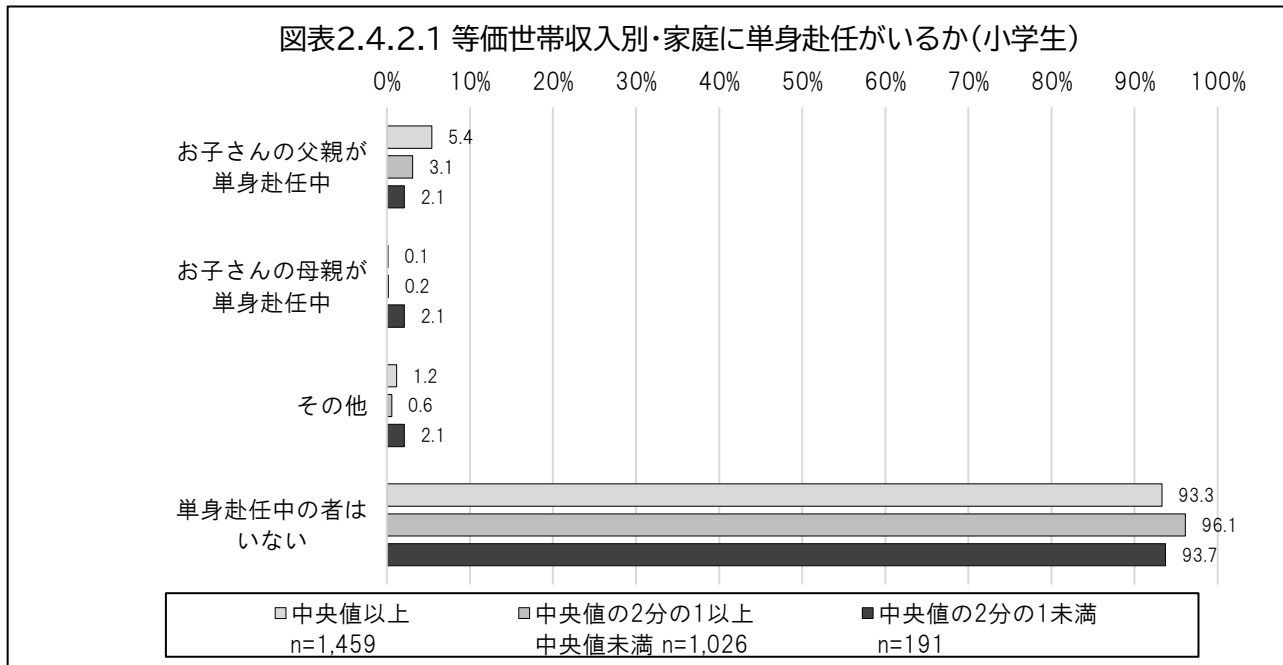
(1)全体

単身赴任者の有無について、小学生・中学生ともに「単身赴任中の者はいない」が92.8%、91.3%が最も高く、次いで「父親が単身赴任中」が4.3%、5.2%となっています。また「母親が単身赴任中」は小学生が0.3%、中学生が0.2%となっています。



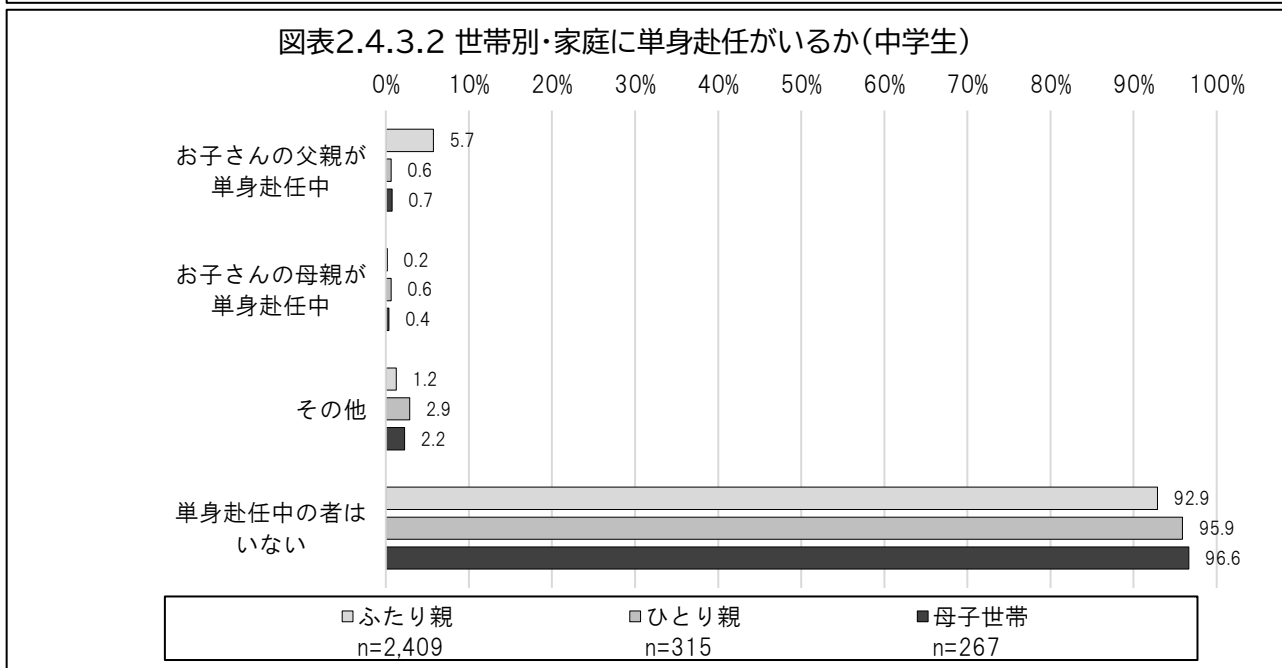
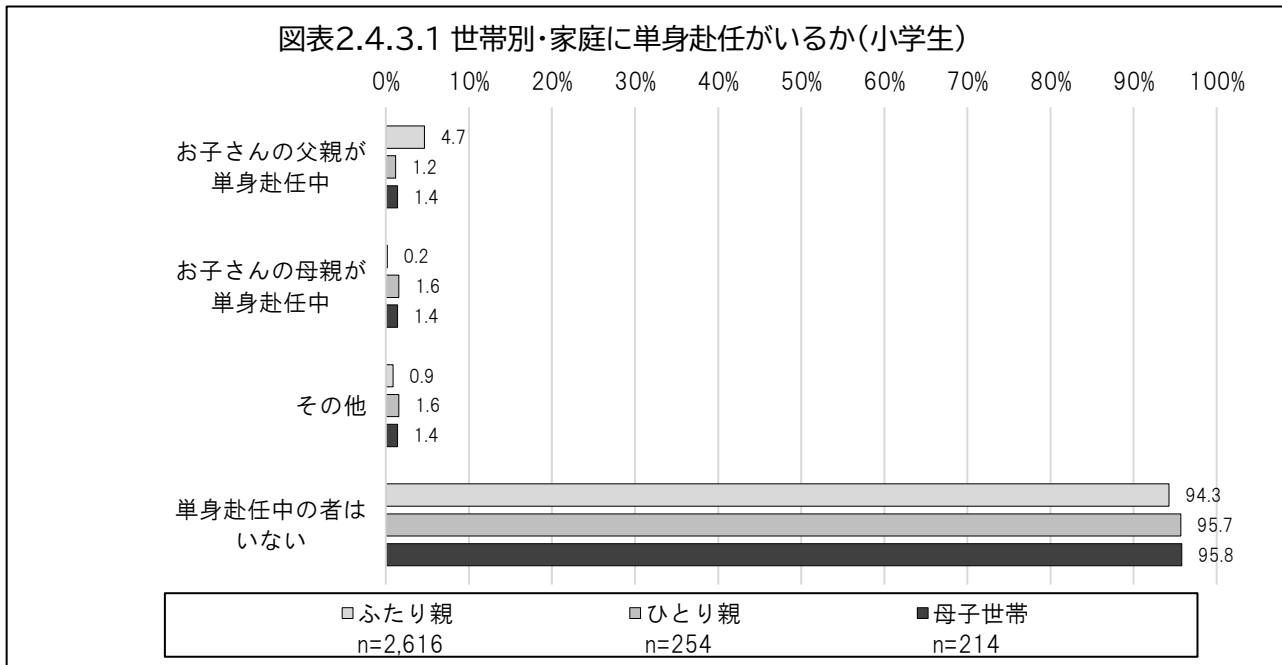
(2)等価世帯収入別

単身赴任者の有無について、等価世帯収入別にみると、小学生では、いずれの水準においても「単身赴任中の者はいない」が93.3%、96.1%、93.7%と最も高くなっています。中学生では、いずれの水準においても「単身赴任中の者はいない」が90.7%、95.9%、93.3%と最も高くなっています。



(3)世帯別

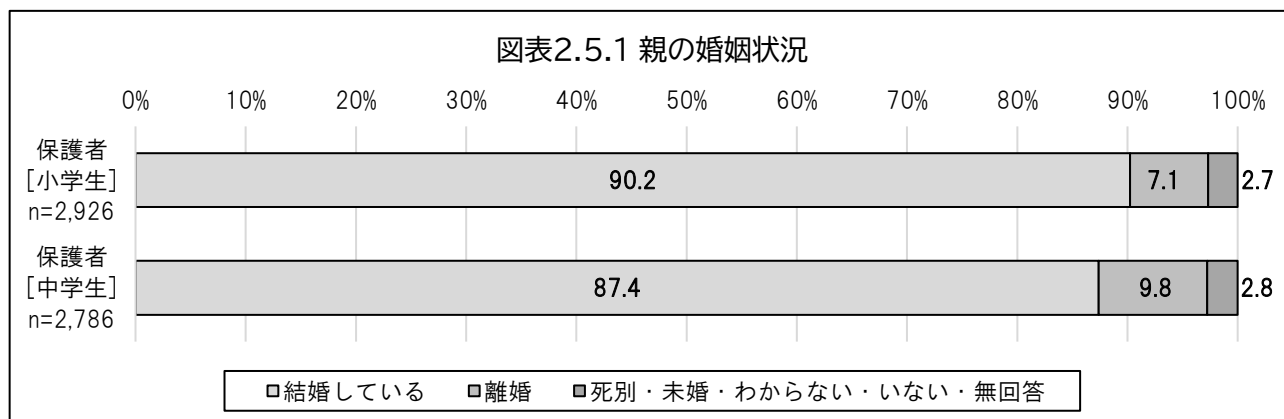
単身赴任者の有無について、世帯別にみると、小学生では、いずれの世帯においても「単身赴任中の者はいない」が94.3%、95.7%、95.8%と最も高くなっています。中学生では、いずれの世帯においても「単身赴任中の者はいない」が92.9%、95.9%、96.6%と最も高くなっています。



問5. お子さんと同居し、生計を同一にしている親の婚姻(こんいん)状況を教えてください。

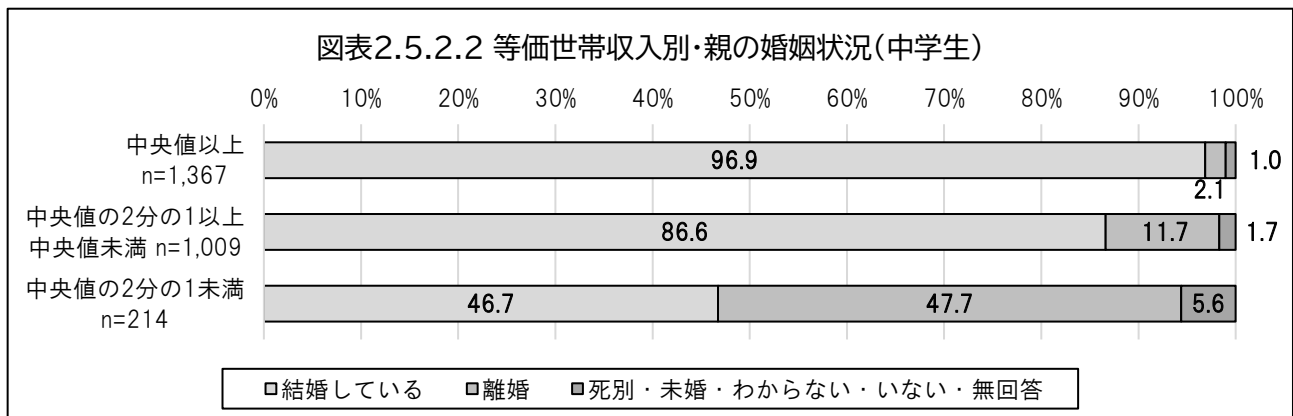
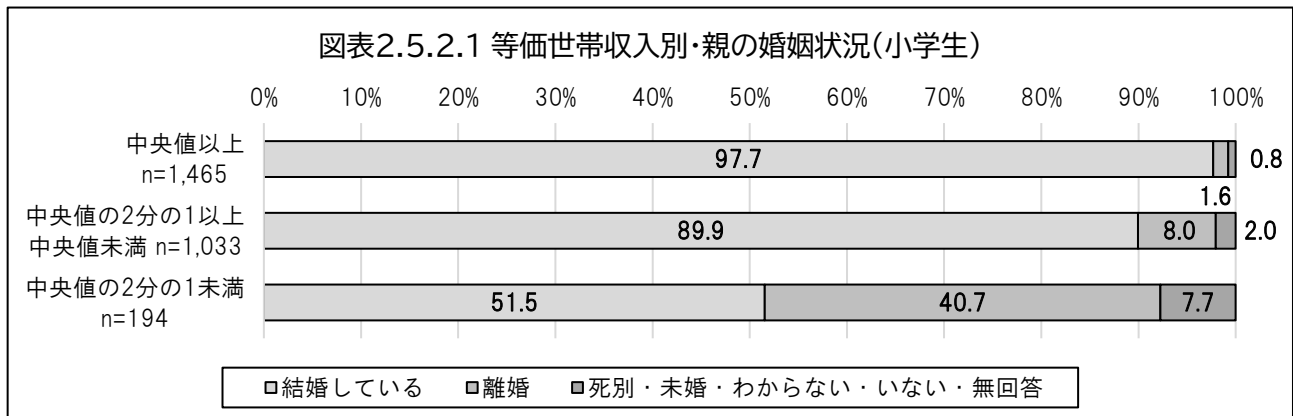
保護者の婚姻状況について、小学生・中学生ともに、「結婚している」が90.2%、87.4%と最も高く、次いで「離婚」が7.1%、9.8%、「死別・未婚・わからない・いない・無回答」が2.7%、2.8%となっています。

(1)全体



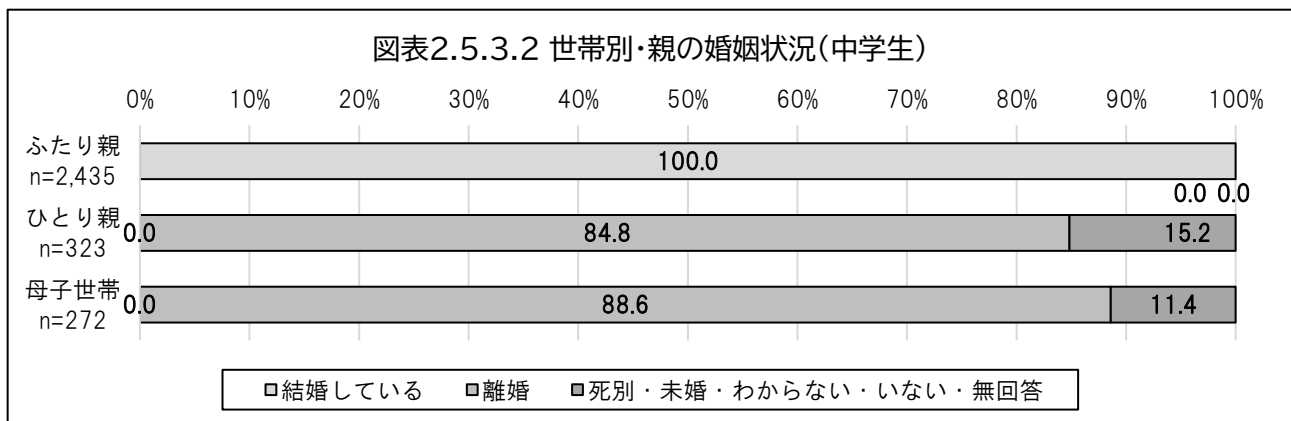
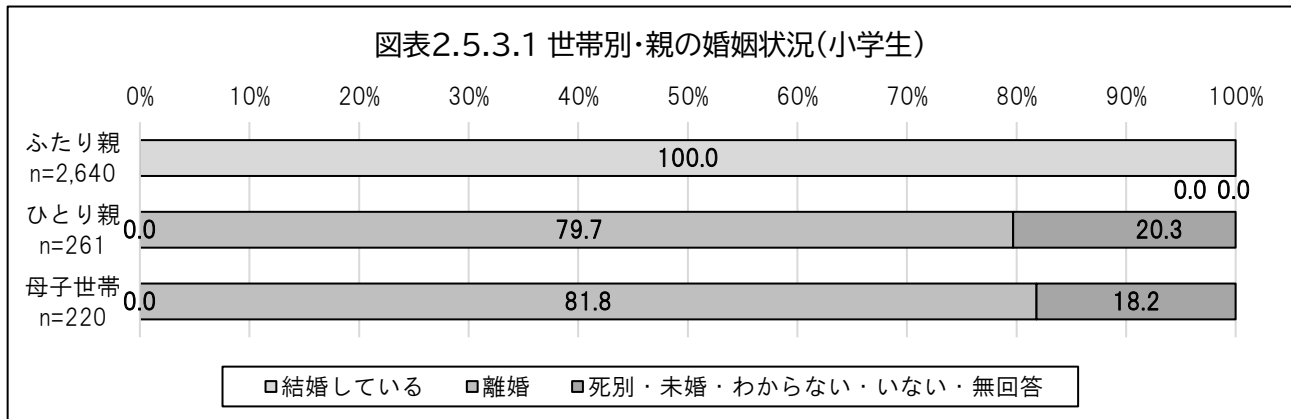
(2)等価世帯収入別

保護者の婚姻状況について、等価世帯収入別にみると、小学生では、いずれの水準においても「結婚している」が97.7%、89.9%、51.5%とそれぞれ最も高くなっているものの、「中央値の2分の1未満」の水準では、「離婚」が40.7%となっています。中学生では、「中央値以上」および「中央値の2分の1以上中央値未満」の水準では「結婚している」が96.9%、86.6%、「中央値の2分の1未満」の水準では「離婚」が47.7%と最も高くなっています。



(3)世帯別

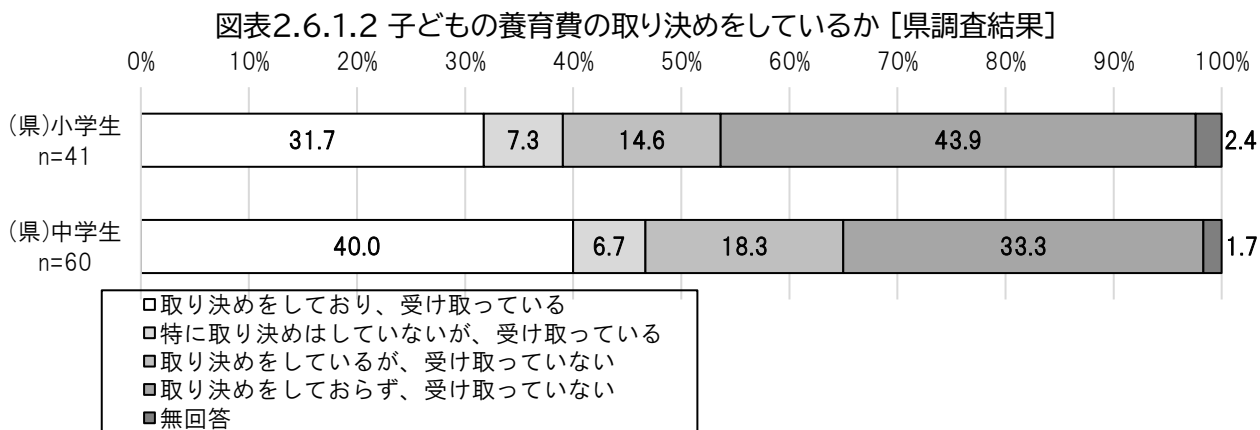
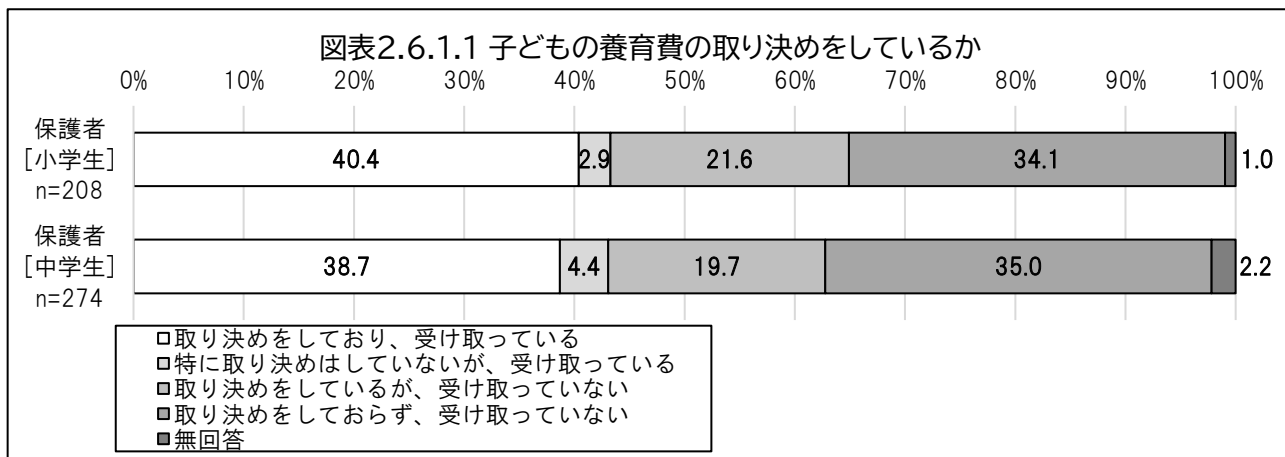
保護者の婚姻状況について、世帯別にみると、小学生では、ふたり親世帯では「結婚している」が100.0%、ひとり親世帯および母子世帯では「離婚」が79.7%、81.8%と最も高くなっています。中学生では、ふたり親世帯では「結婚している」が100.0%、ひとり親世帯および母子世帯では「離婚」が84.8%、88.6%と最も高くなっています。



問6. 前問で「2 離婚」を選んだ場合、離婚相手と子供の養育費の取り決めをしていますか。
また養育費を現在受け取っていますか。

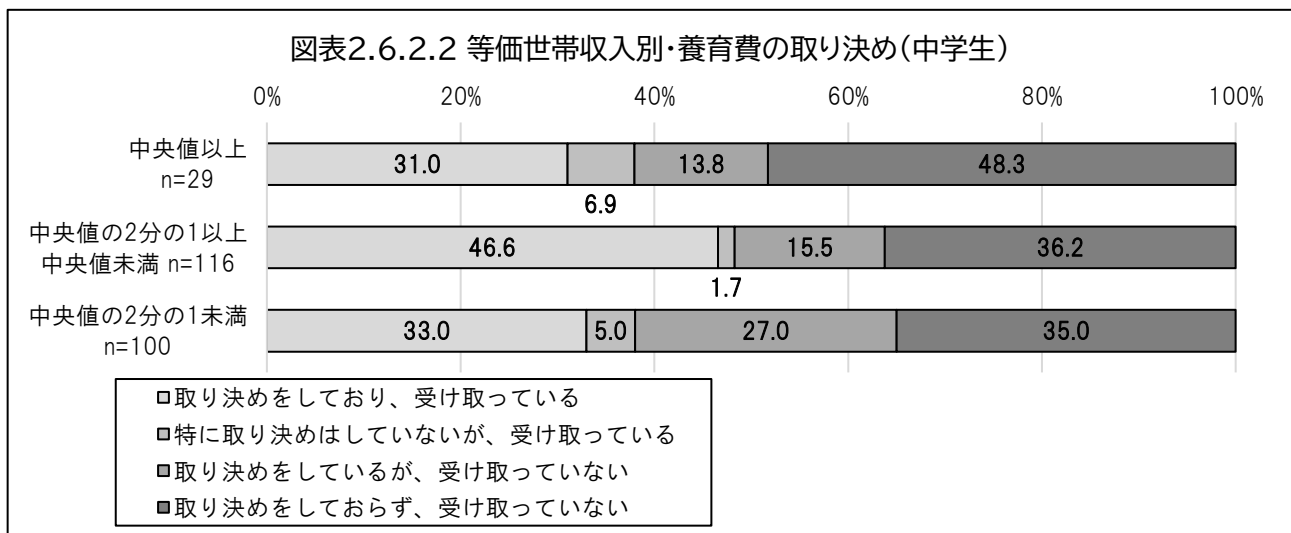
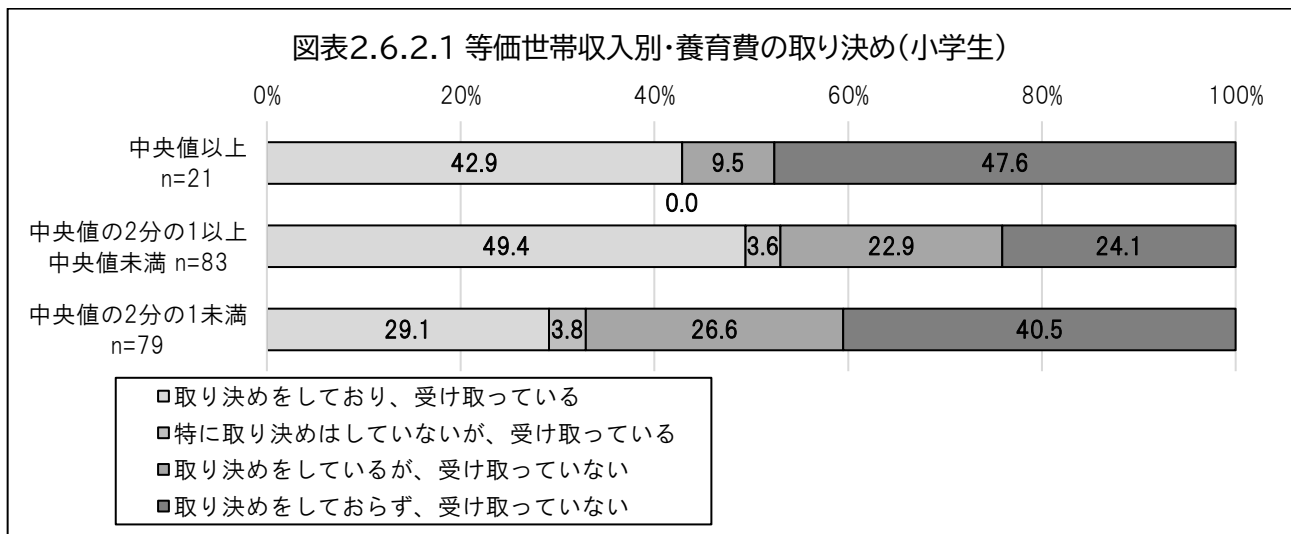
(1)全体

離婚相手との子どもの養育費の取り決めについて、小学生・中学生ともに、「取り決めをしており、受け取っている」が40.4%、38.7%と最も高く、次いで「取り決めをしておらず、受け取っていない」が34.1%、35.0%、「取り決めをしているが、受け取っていない」が21.6%、19.7%となっています。また、「受け取っていない」と回答した割合（「取り決めをしているが、受け取っていない」と「取り決めをしておらず、受け取っていない」の合計）は、小学生では55.7%、中学生では54.7%となっています。



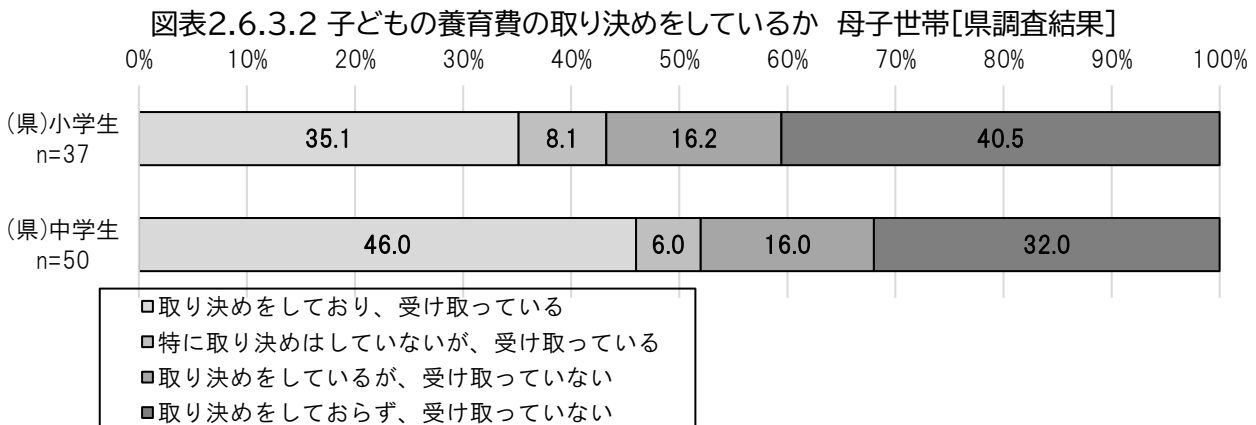
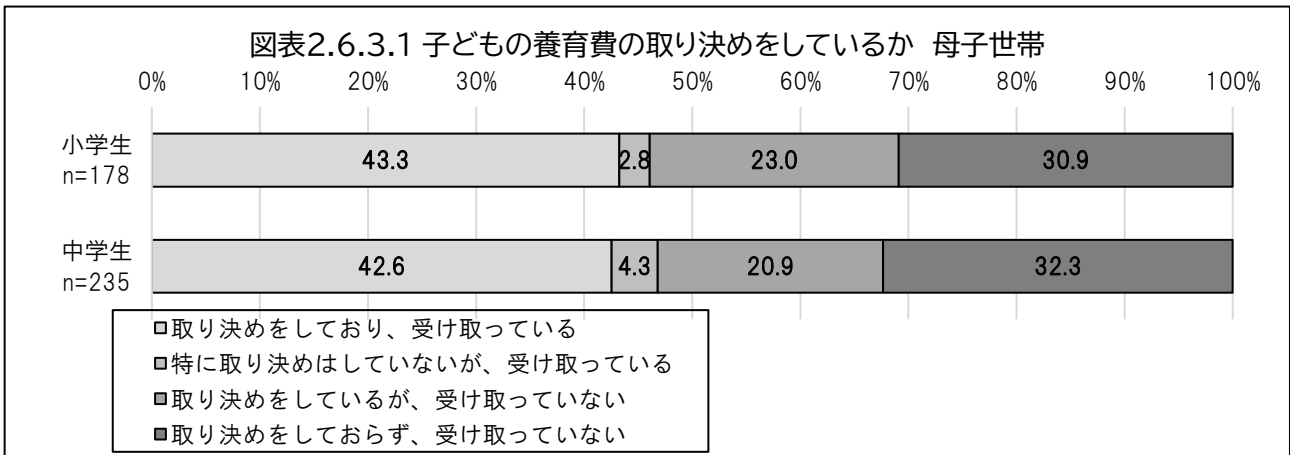
(2)等価世帯収入別（問 6. 養育費の取り決め）

離婚相手との子どもの養育費の取り決めについて、等価世帯収入別にみると、小学生では、「中央値以上」および「中央値の2分の1未満」の水準では「取り決めをしておらず、受け取っていない」が47.6%、40.5%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の水準では「取り決めをしており、受け取っている」が49.4%と最も高くなっています。中学生では、「中央値以上」および「中央値の2分の1未満」の水準では「取り決めをしておらず、受け取っていない」が48.3%、35.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の水準では「取り決めをしており、受け取っている」が46.6%と最も高くなっています。また、「受け取っていない」と回答した割合（「取り決めをしているが、受け取っていない」と「取り決めをしておらず、受け取っていない」の合計）は、小学生では、57.1%、47.0%、67.1%、中学生では、62.1%、51.7%、62.0%となっています。



(3)母子世帯（問 6. 養育費の取り決め）

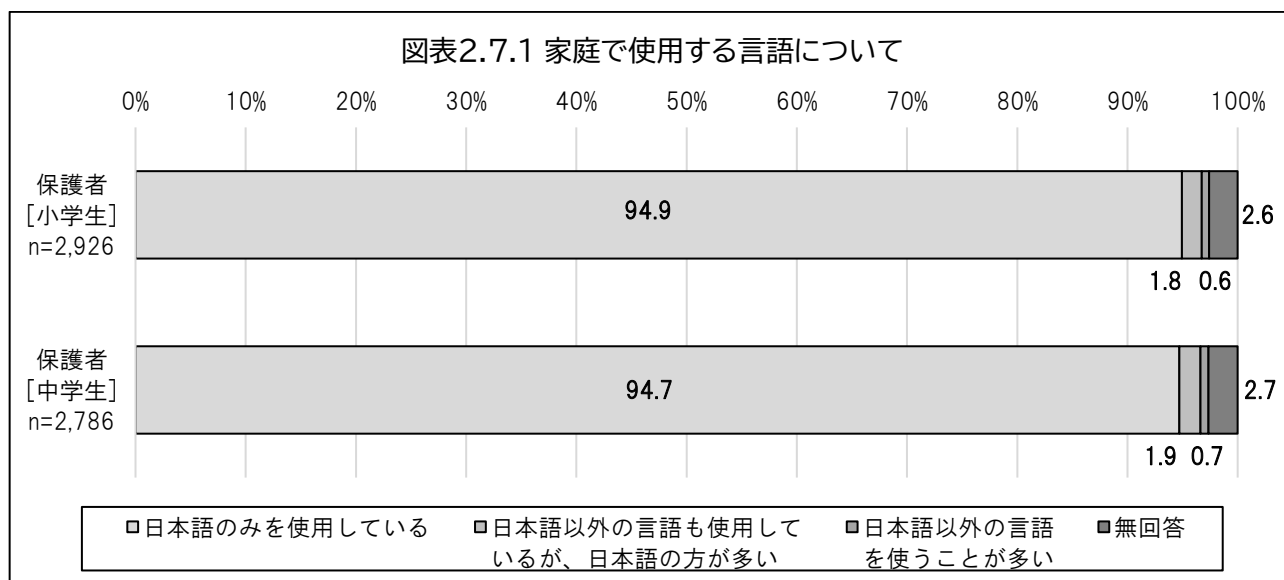
離婚相手との子供の養育費の取り決めについて、母子世帯の結果をみると、小学生・中学生ともに、「取り決めをしており、受け取っている」が43.3%、42.6%と最も高く、次いで「取り決めをしておらず、受け取っていない」が30.9%、32.3%、「取り決めをしているが、受け取っていない」が23.0%、20.9%となっています。また、「受け取っていない」と回答した割合（「取り決めをしているが、受け取っていない」と「取り決めをしておらず、受け取っていない」の合計）は、小学生では53.9%、中学生では53.2%となっています。



問7. ご家庭ではどれくらい、日本語以外の言語を使用していますか。

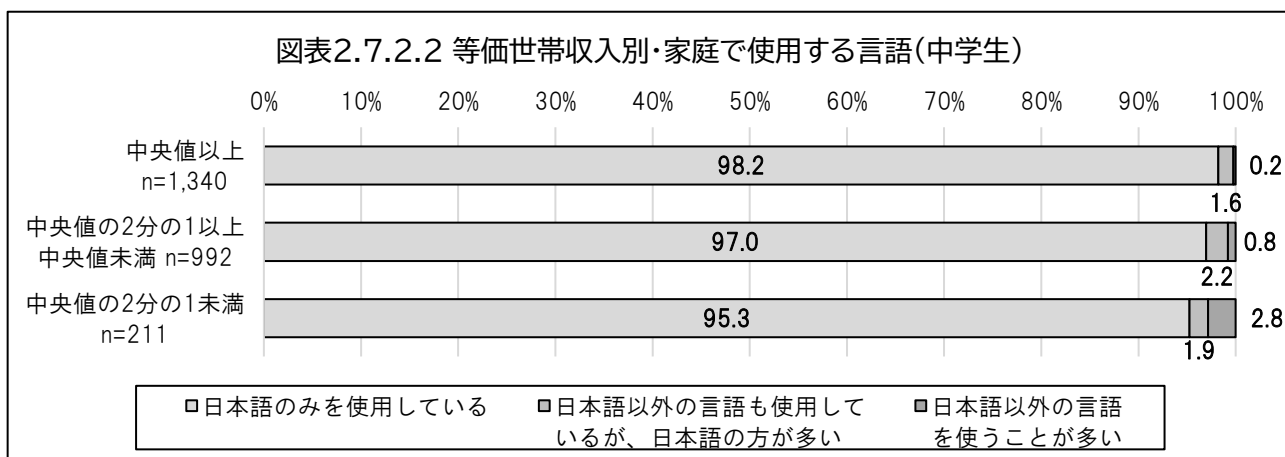
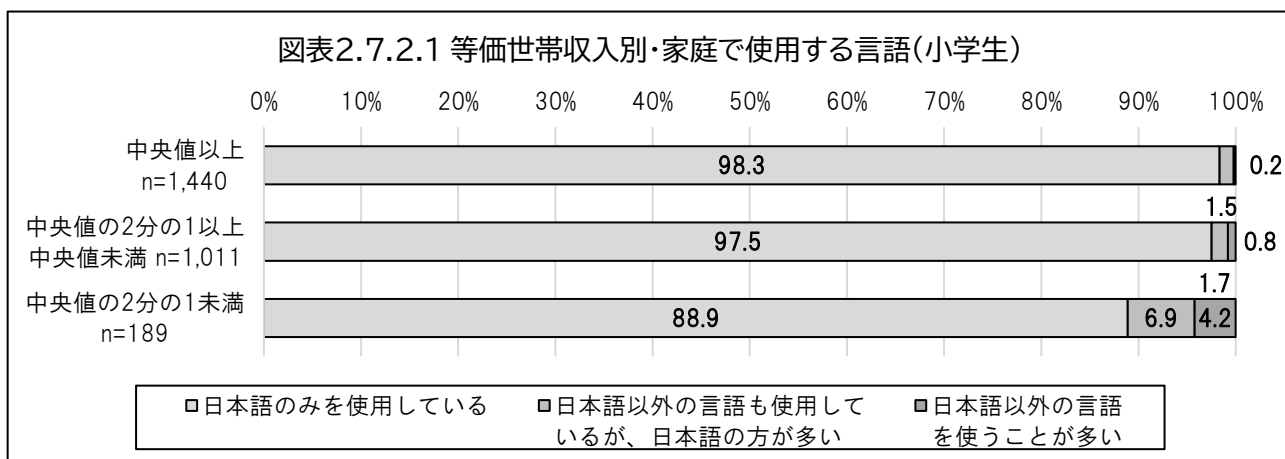
家庭での言語使用状況について、小学生・中学生ともに、「日本語のみを使用している」が94.9%、94.7%と最も高く、次いで「日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い」が1.8%、1.9%、「日本語以外の言語を使うことが多い」が0.6%、0.7%となっています。

(1)全体



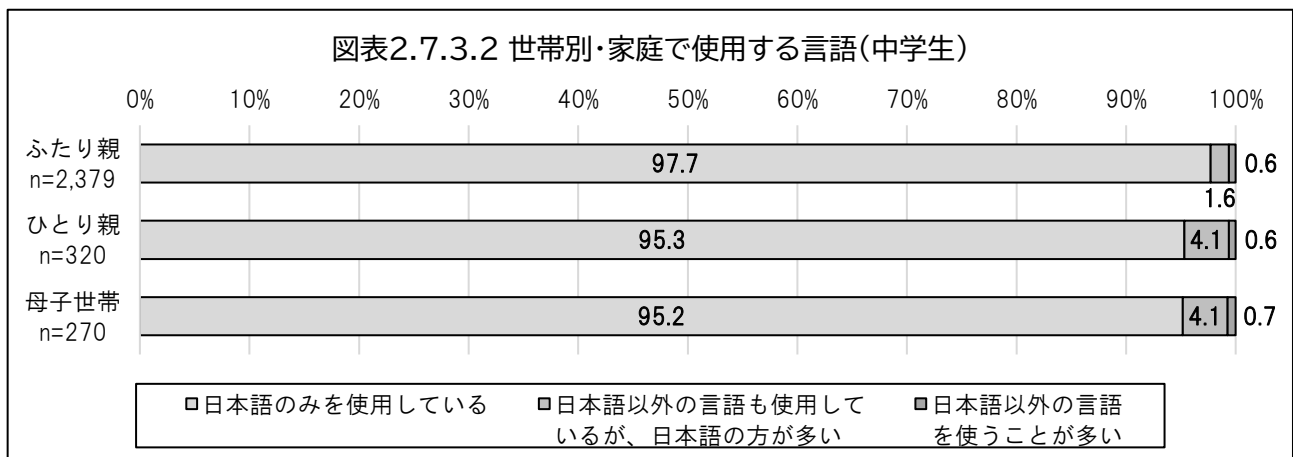
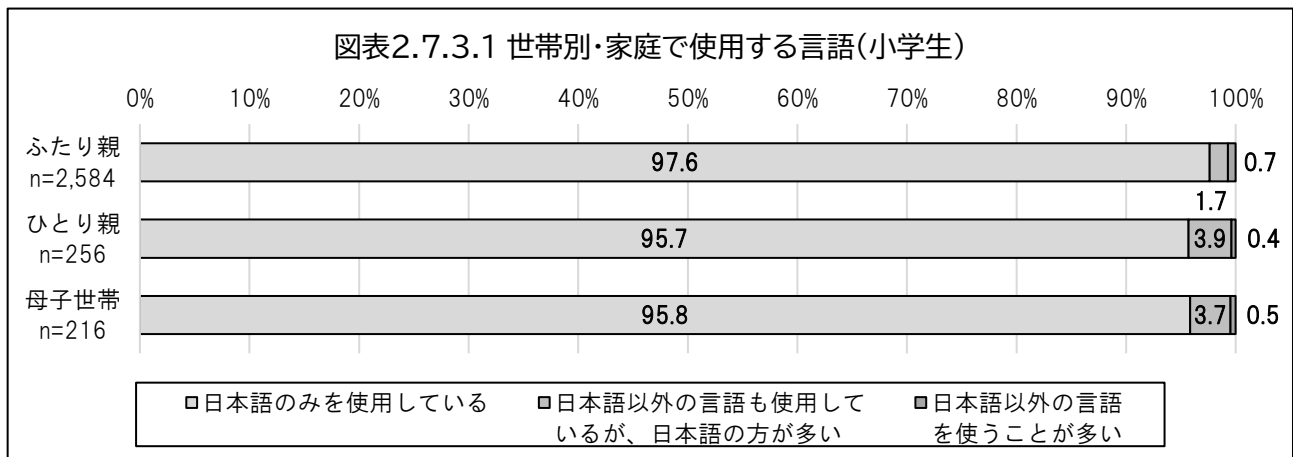
(2)等価世帯収入別（問7.家庭で使用する言語について）

家庭での言語使用状況について、等価世帯収入別にみると、小学生・中学生ともに、いずれの水準においても「日本語のみを使用している」が最も高く、小学生では98.3%、97.5%、88.9%。中学生では98.2%、97.0%、95.3%となっています。また、小学生では、「日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い」と「日本語以外の言語を使うことが多い」の合計が、「中央値の2分の1未満」の水準では11.1%と、他の水準と比較して高くなっています。



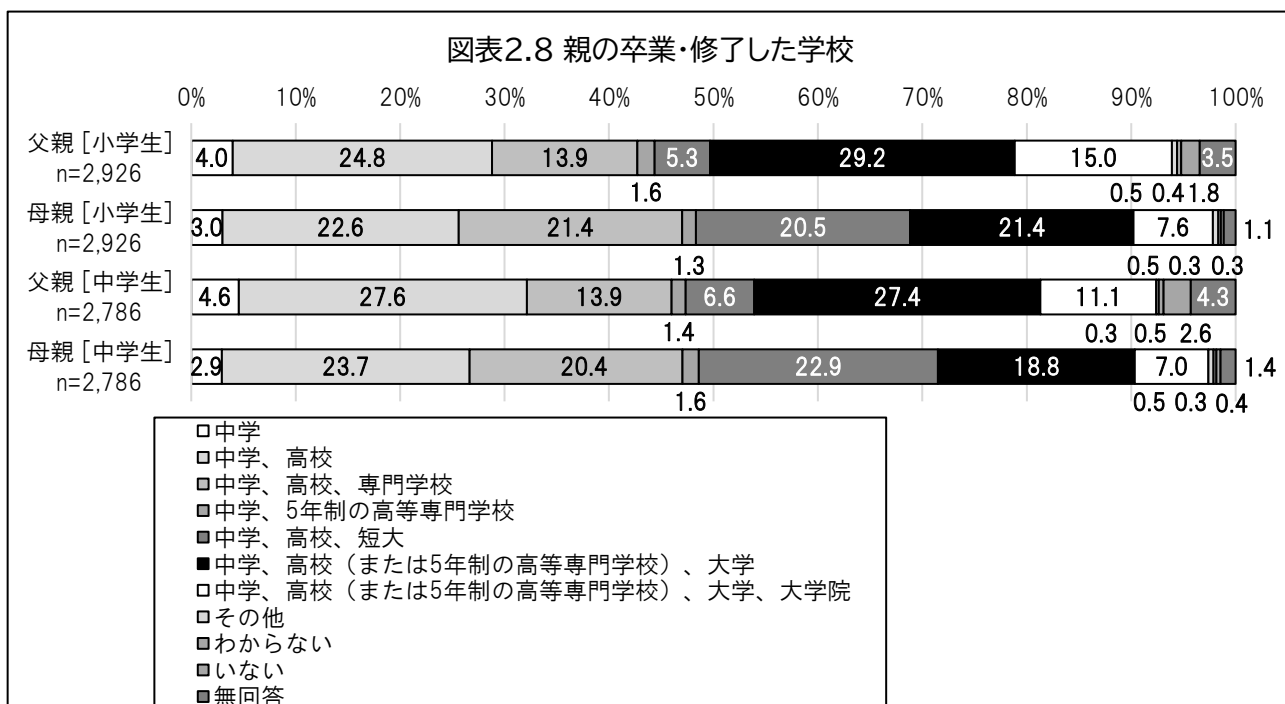
(3)世帯別

家庭での言語使用状況について、世帯別にみると、小学生では、いずれの世帯においても「日本語のみを使用している」が97.6%、95.7%、95.8%と最も高くなっています。中学生では、いずれの世帯においても「日本語のみを使用している」が97.7%、95.3%、95.2%と最も高くなっています。また、小学生・中学生ともに「日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い」と「日本語以外の言語を使うことが多い」の合計が、ひとり親世帯で4.3%、4.7%と、ふたり親世帯と比較してやや高くなっています。



問8. お子さんの親が卒業・修了した学校をお答えください。

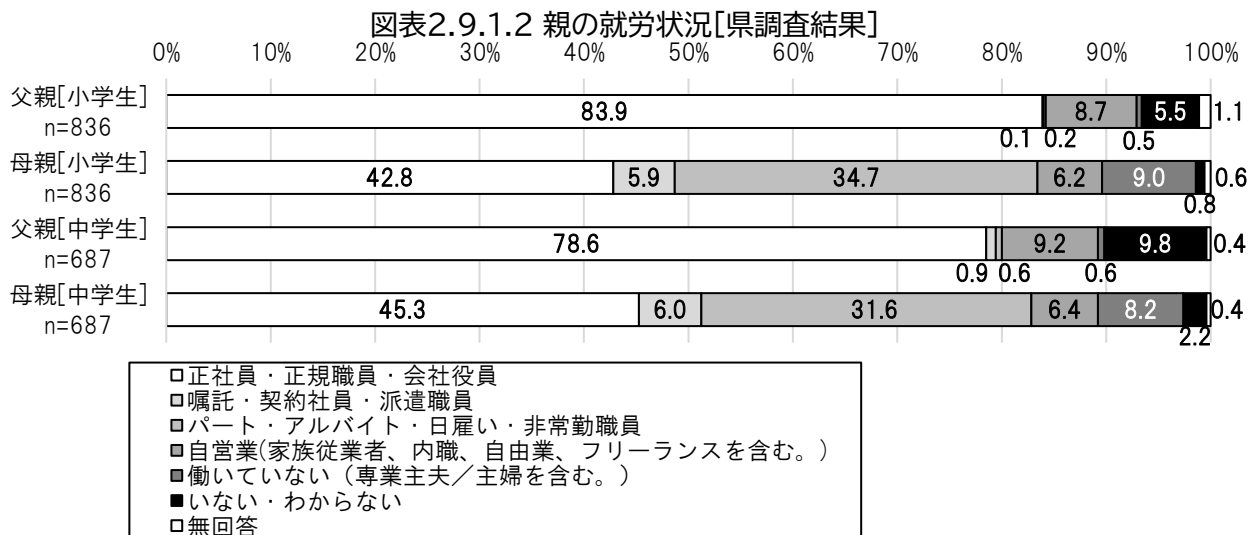
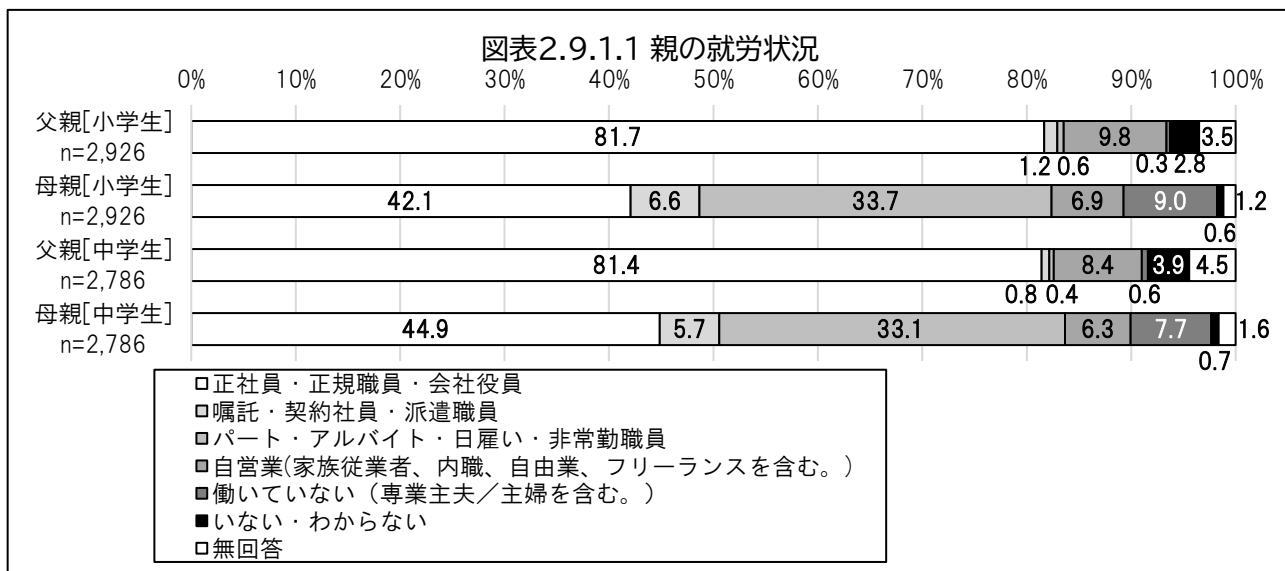
保護者の学歴状況について、小学生では、父親が「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学」が29.2%と最も高く、次いで「中学、高校」が24.8%、「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学、大学院」が15.0%となっています。母親は「中学、高校」が22.6%と最も高く、次いで「中学、高校、専門学校」と「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学」が21.4%となっています。中学生では、父親・母親ともに「中学、高校」が27.6%、23.7%と最も高く、次いで、父親では「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学」が27.4%、「中学、高校、専門学校」が13.9%、母親では「中学、高校、短大」が22.9%、「中学、高校、専門学校」が20.4%となっています。



問9. お子さんの親の就労状況について、あてはまるものを回答してください。

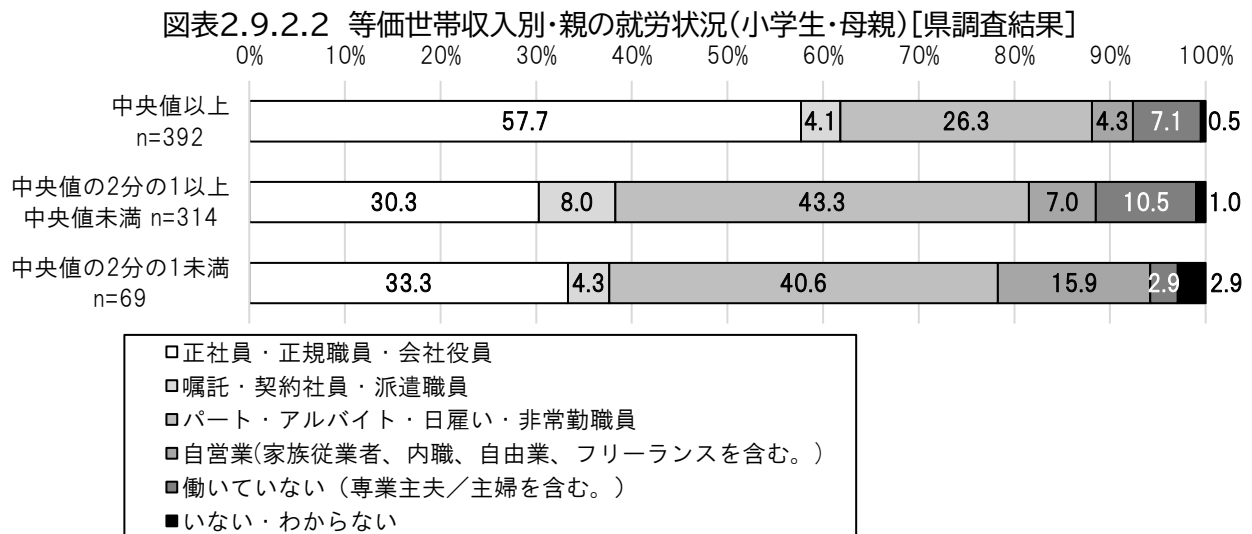
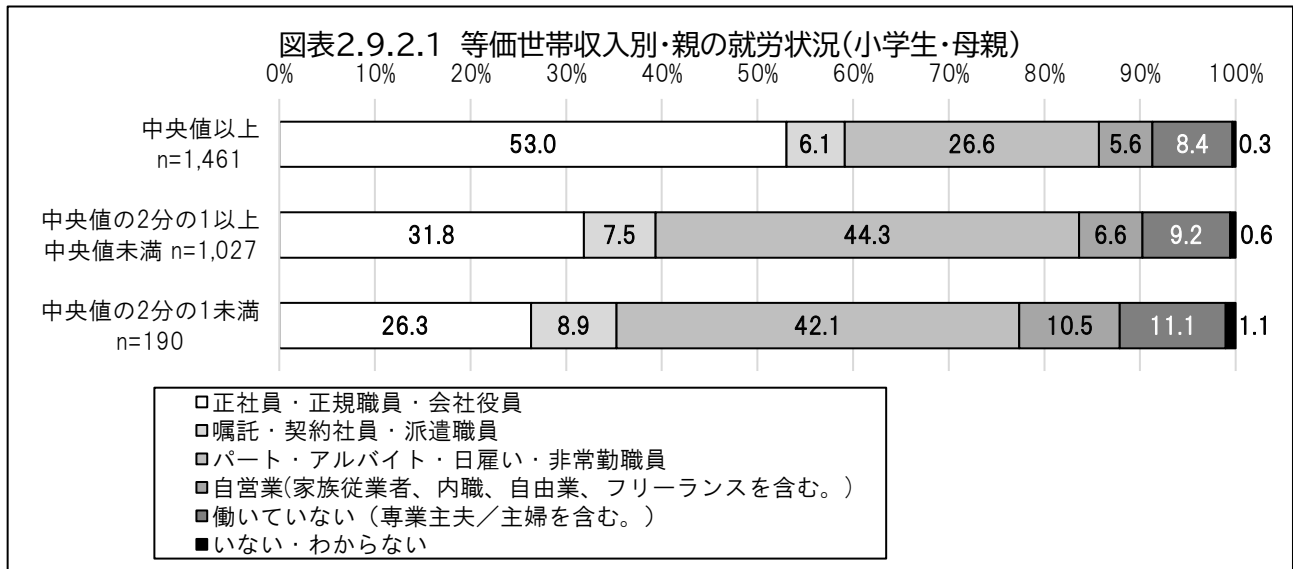
(1)全体

保護者の就労状況について、父親は、小学生・中学生ともに「正社員・正規職員・会社役員」が81.7%、81.4%と最も高く、次いで「自営業（家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。）」が9.8%、8.4%となっています。母親は、小学生・中学生ともに「正社員・正規職員・会社役員」が42.1%、44.9%と最も高く、次いで「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が33.7%、33.1%となっています。



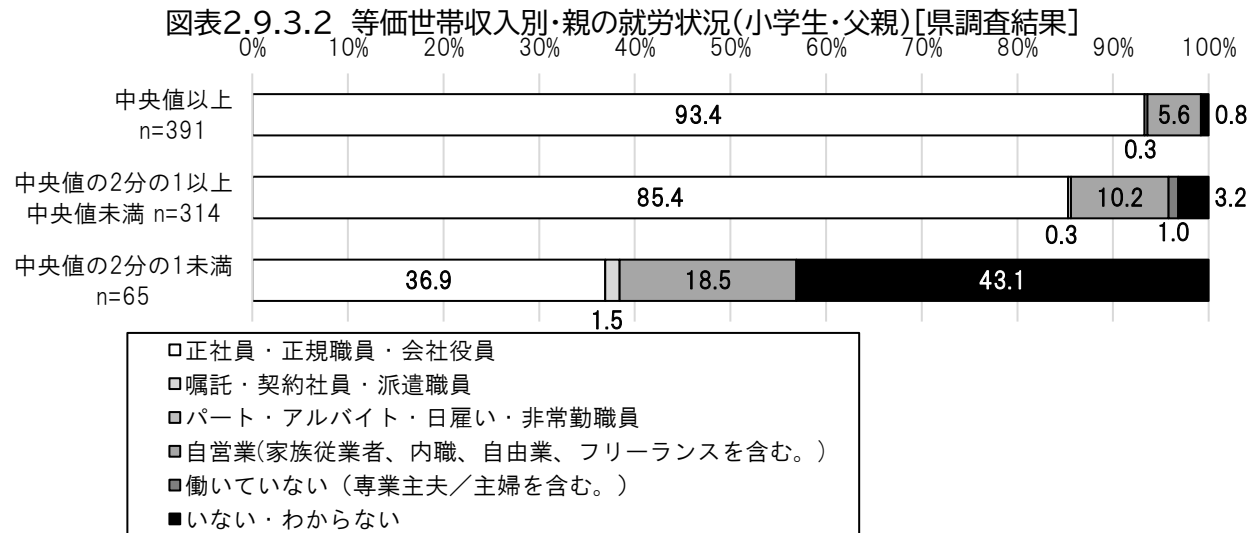
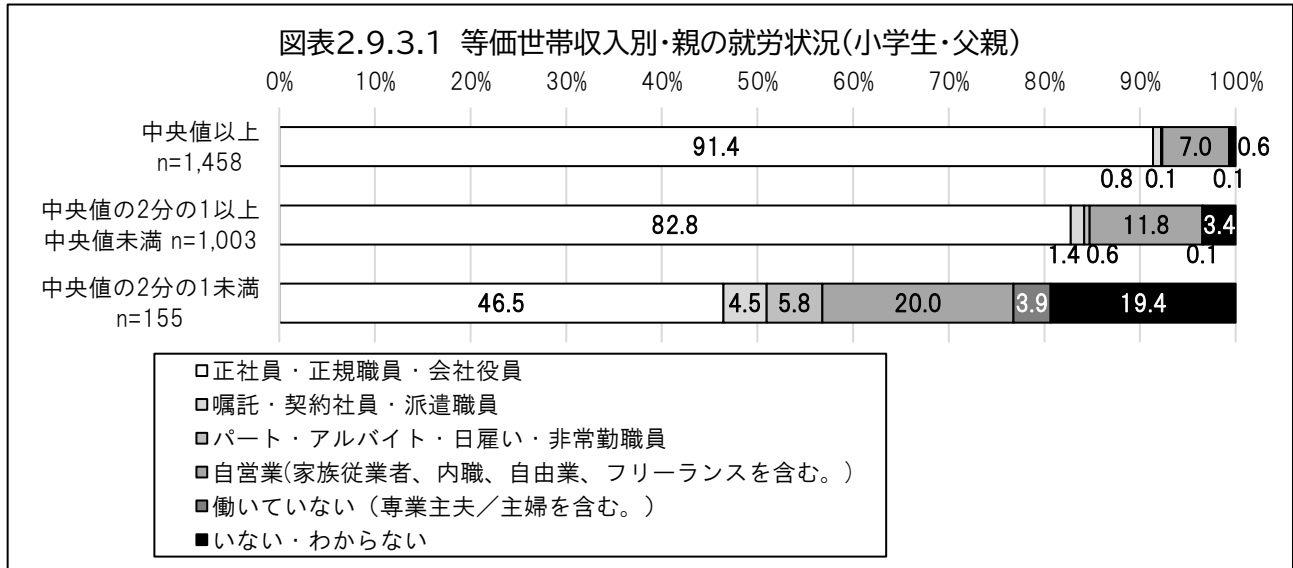
(2)等価世帯収入別・母親[小学生] (問 9. 親の就労状況)

母親の就労状況を等価世帯収入別にみると、小学生では、「中央値以上」の水準では「正社員・正規職員・会社役員」が53.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」および「中央値の2分の1未満」の水準では「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が44.3%、42.1%と最も高くなっています。



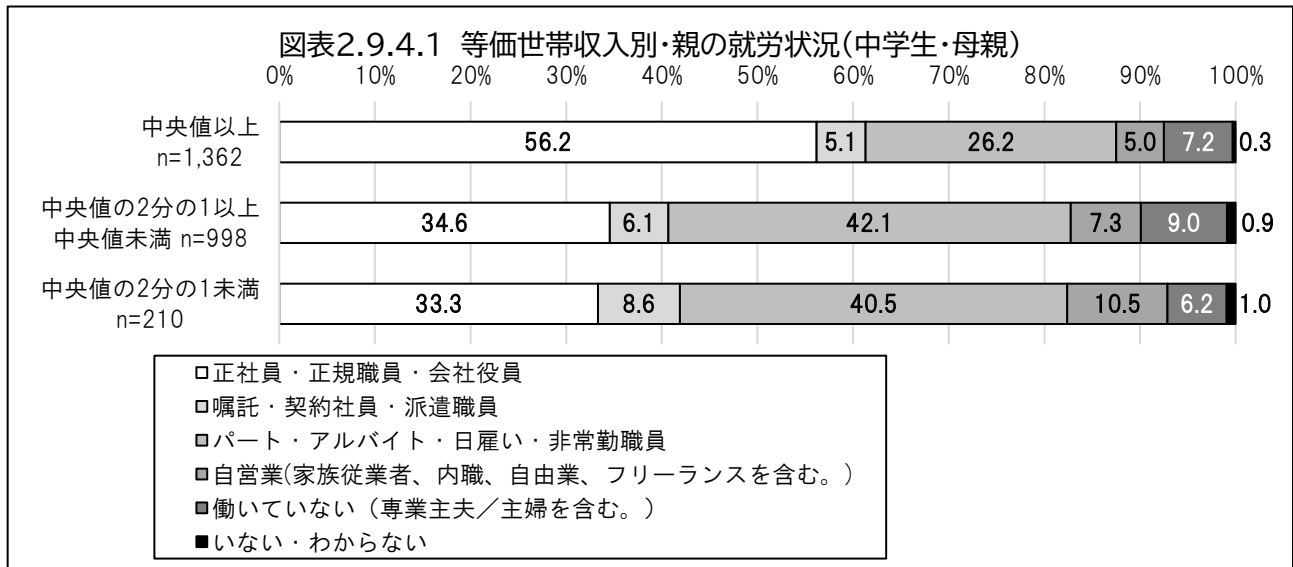
(3)等価世帯収入別・父親[小学生] (問 9. 親の就労状況)

父親の就労状況を等価世帯収入別にみると、小学生では、いずれの水準においても「正社員・正規職員・会社役員」が91.4%、82.8%、46.5%と最も高く、次いで「自営業（家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。）」が7.0%、11.8%、20.0%となっています。また、「中央値の2分の1未満」の水準では、「いない・わからない」が19.4%となっています。

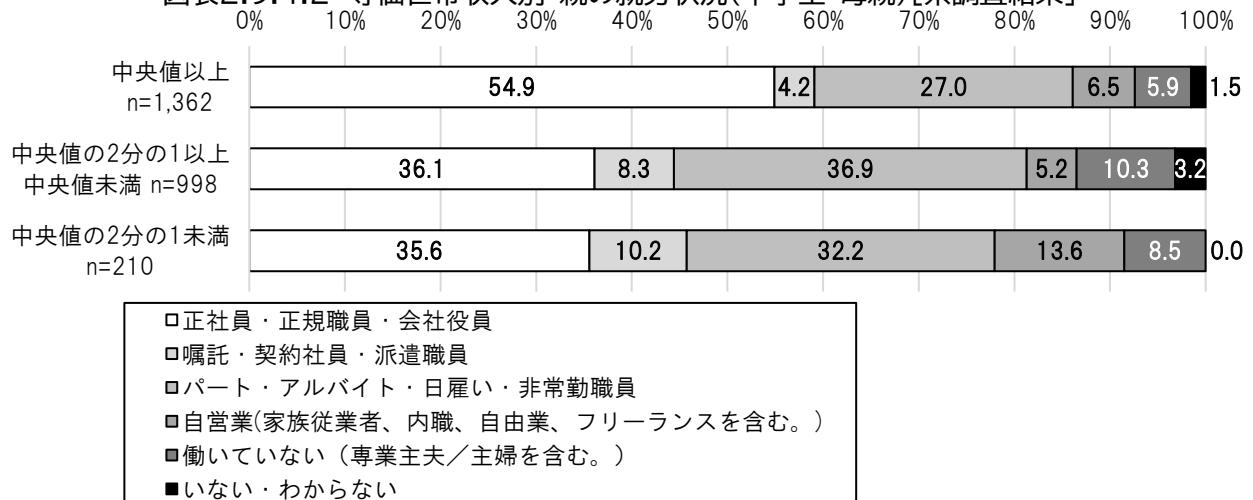


(4)等価世帯収入別・母親[中学生] (問 9. 親の就労状況)

母親の就労状況を等価世帯収入別にみると、中学生では、「中央値以上」の水準では「正社員・正規職員・会社役員」が56.2%、「中央値の2分の1以上中央値未満」および「中央値の2分の1未満」の水準では「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が42.1%、40.5%と最も高くなっています。

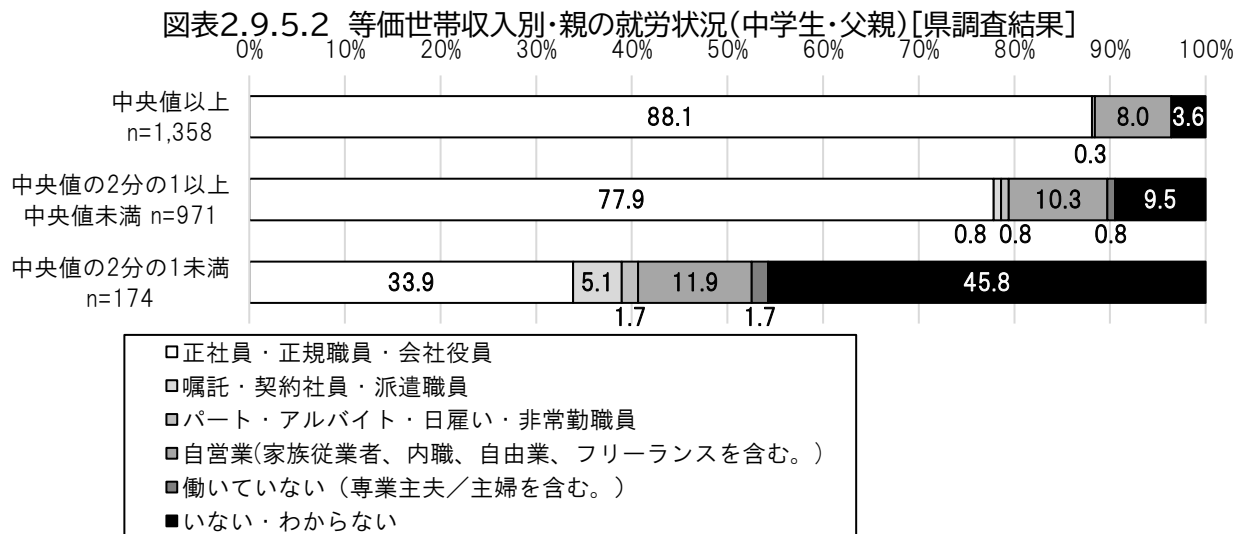
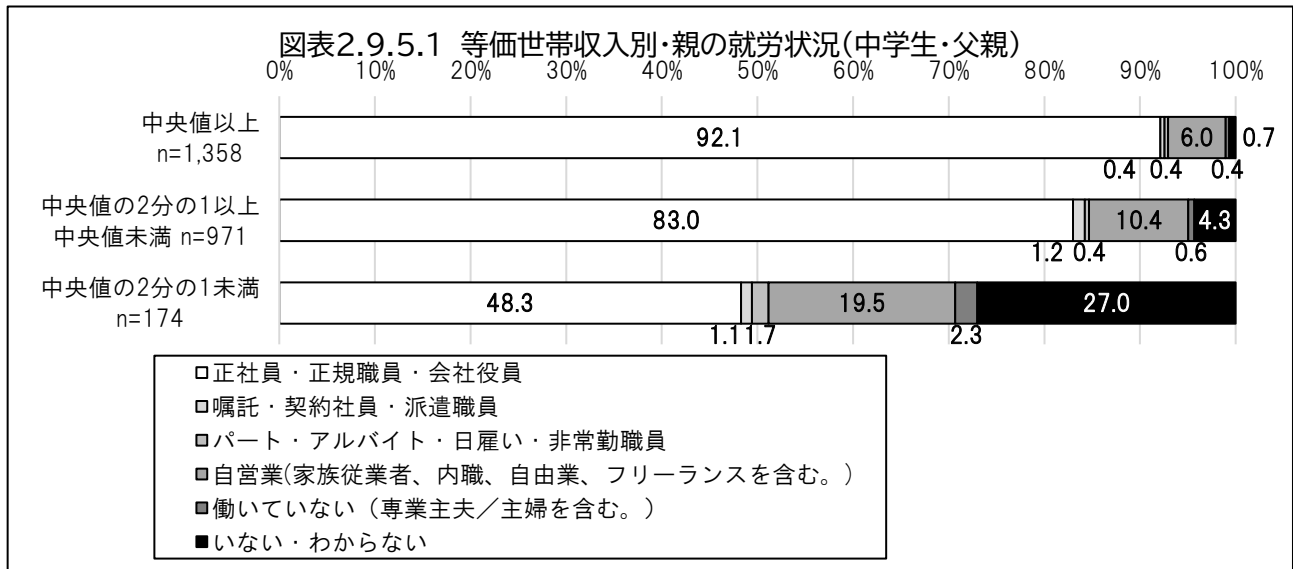


図表2.9.4.2 等価世帯収入別・親の就労状況(中学生・母親)[県調査結果]



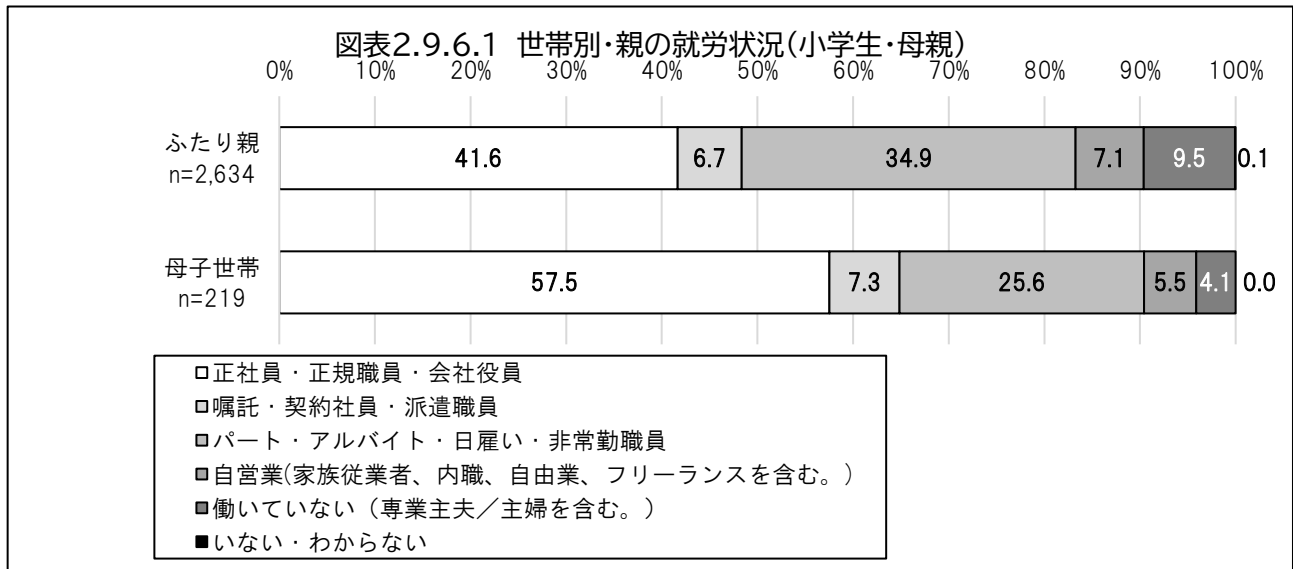
(5)等価世帯収入別・父親[中学生] (問 9. 親の就労状況)

父親の就労状況を等価世帯収入別にみると、中学生では、いずれの水準においても「正社員・正規職員・会社役員」が92.1%、83.0%、48.3%と最も高くなっています。また、「中央値の2分の1未満」の水準では「いない・わからない」が、27.0%となっています。

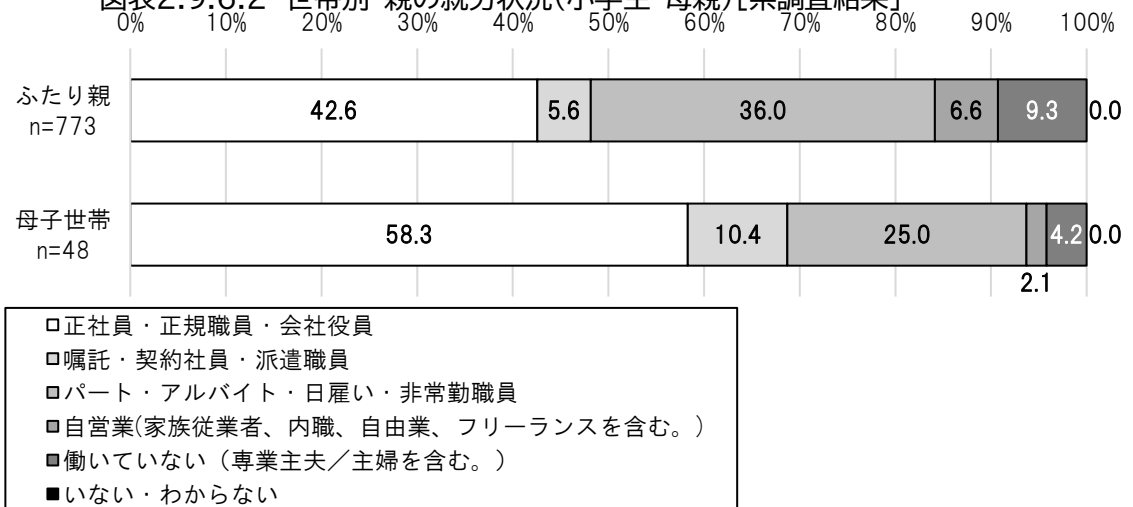


(6)世帯別・母親[小学生] (問 9. 親の就労状況)

母親の就労状況を世帯別にみると、小学生では、ふたり親世帯、母子世帯ともに「正社員・正規職員・会社役員」が41.6%、57.5%と最も高く、次いで「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が34.9%、25.6%となっています。

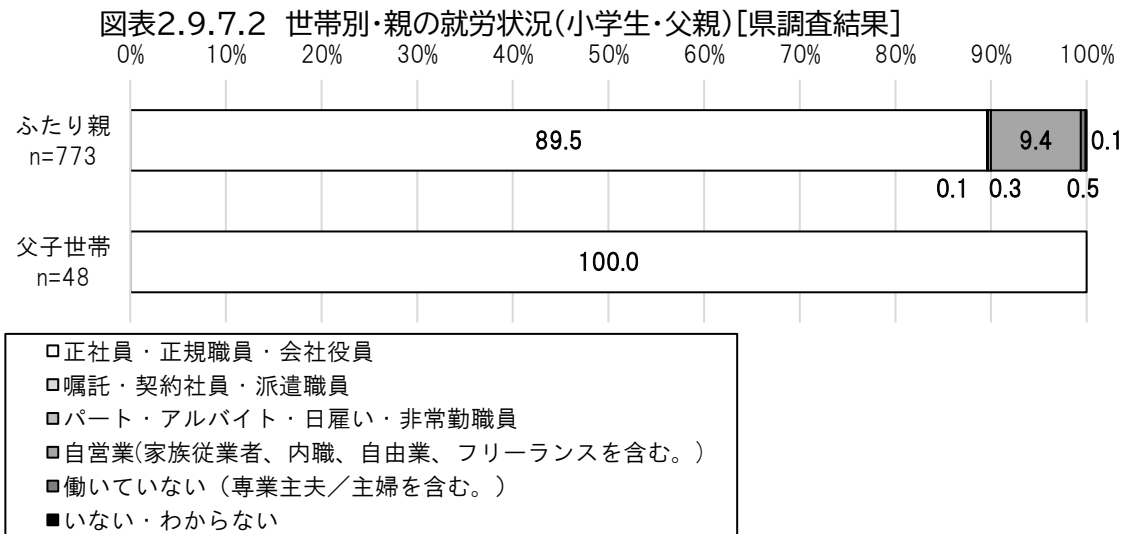
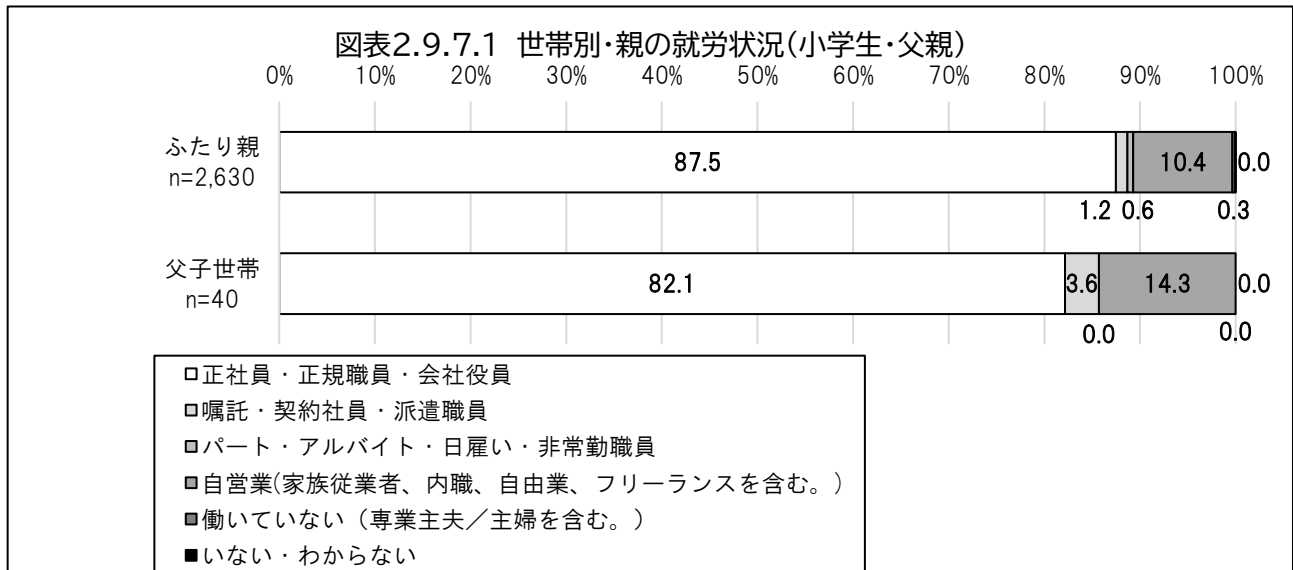


図表2.9.6.2 世帯別・親の就労状況(小学生・母親)[県調査結果]



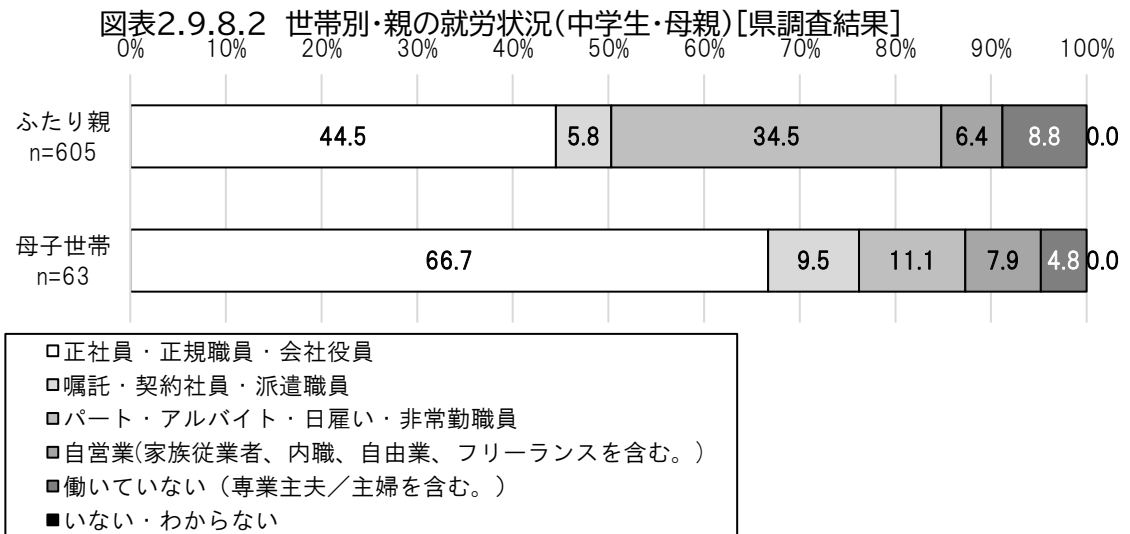
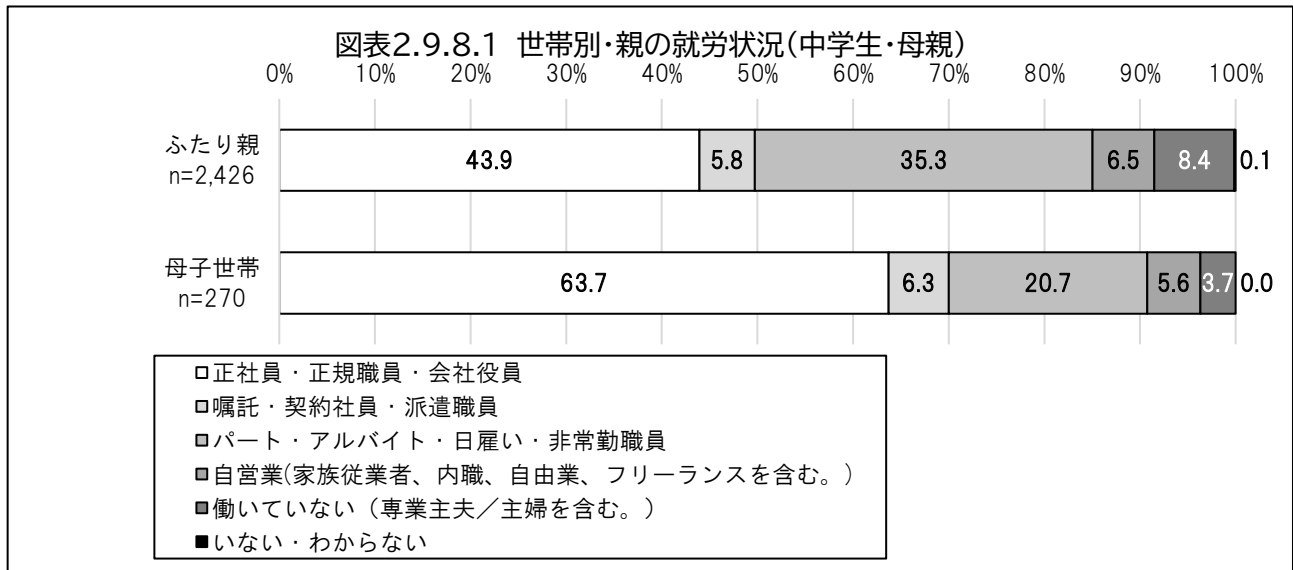
(7)世帯別・父親[小学生] (問 9. 親の就労状況)

父親の就労状況を世帯別にみると、小学生では、ふたり親世帯、父子世帯ともに「正社員・正規職員・会社役員」が87.5%、82.1%と最も高くなっています。



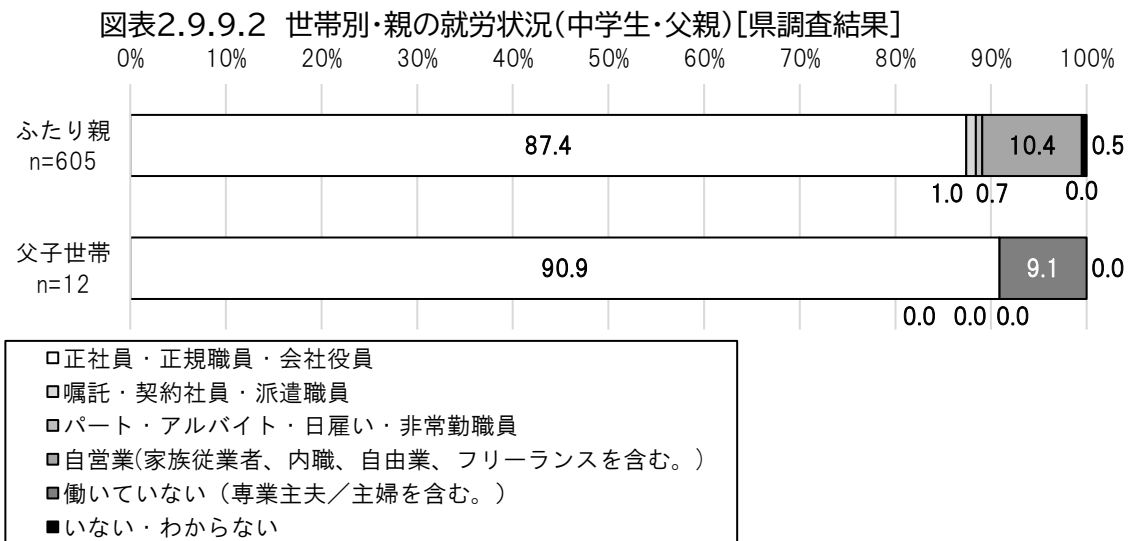
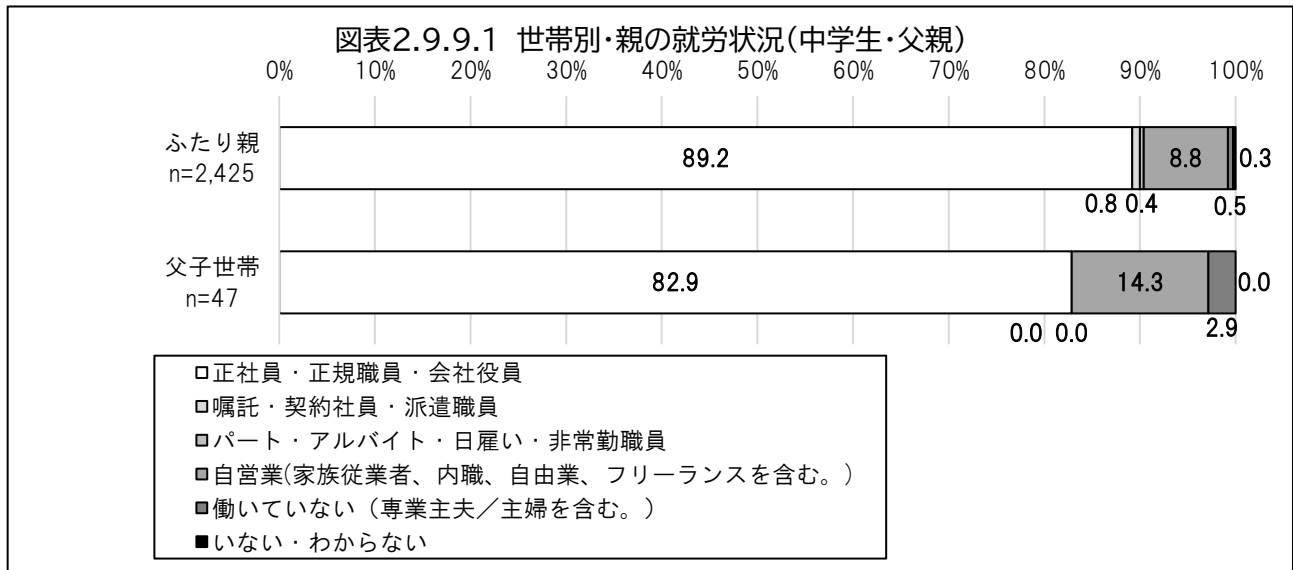
(8)世帯別・母親[中学生] (問 9. 親の就労状況)

母親の就労状況を世帯別にみると、中学生では、ふたり親世帯、母子世帯ともに「正社員・正規職員・会社役員」が43.9%、63.7%と最も高くなっています。



(9)世帯別・父親[中学生] (問 9. 親の就労状況)

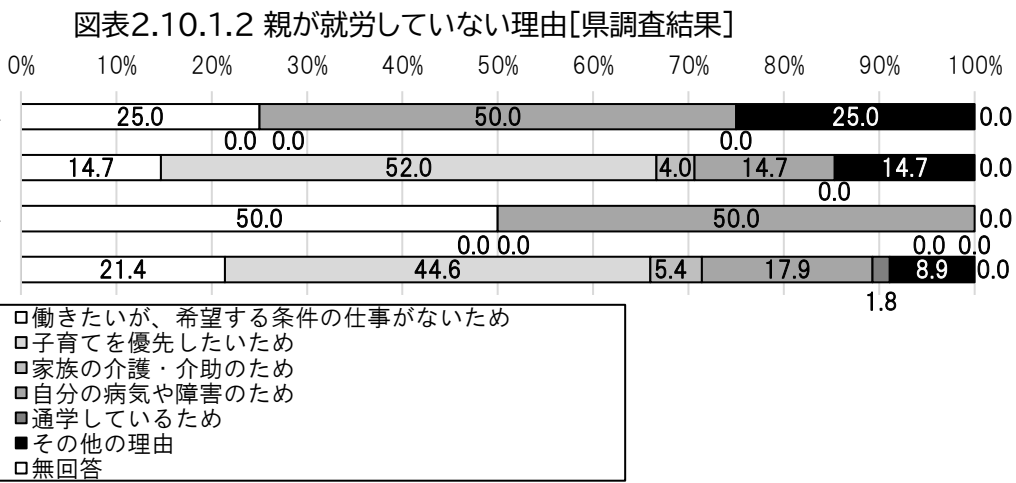
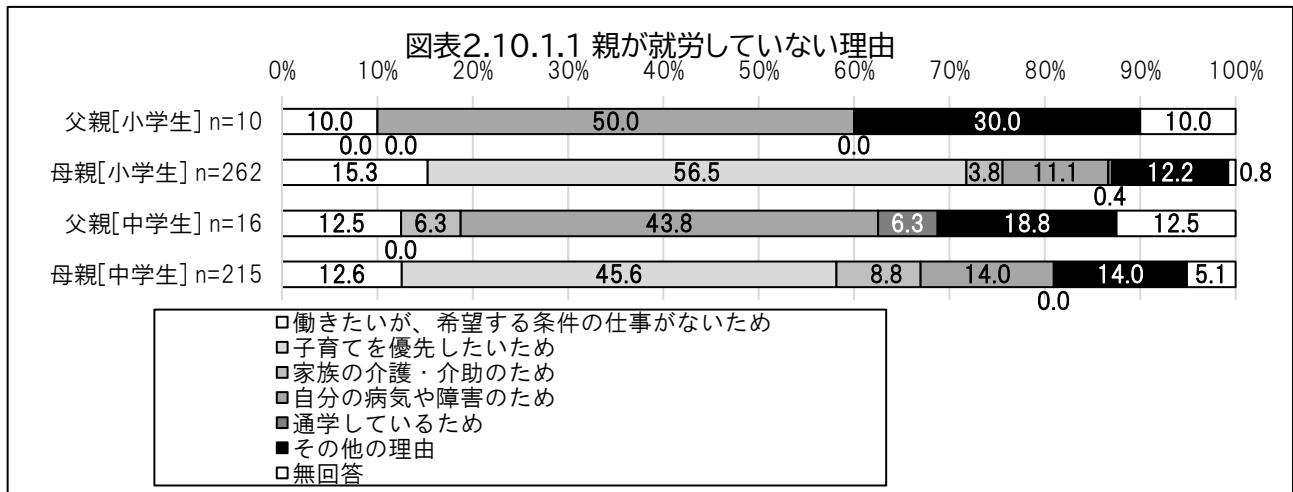
父親の就労状況を世帯別にみると、中学生では、ふたり親世帯、父子世帯ともに「正社員・正規職員・会社役員」が89.2%、82.9%と最も高くなっています。



問10. 前の質問で「5 働いていない」と答えた場合、働いていない最も主な理由を教えてください。

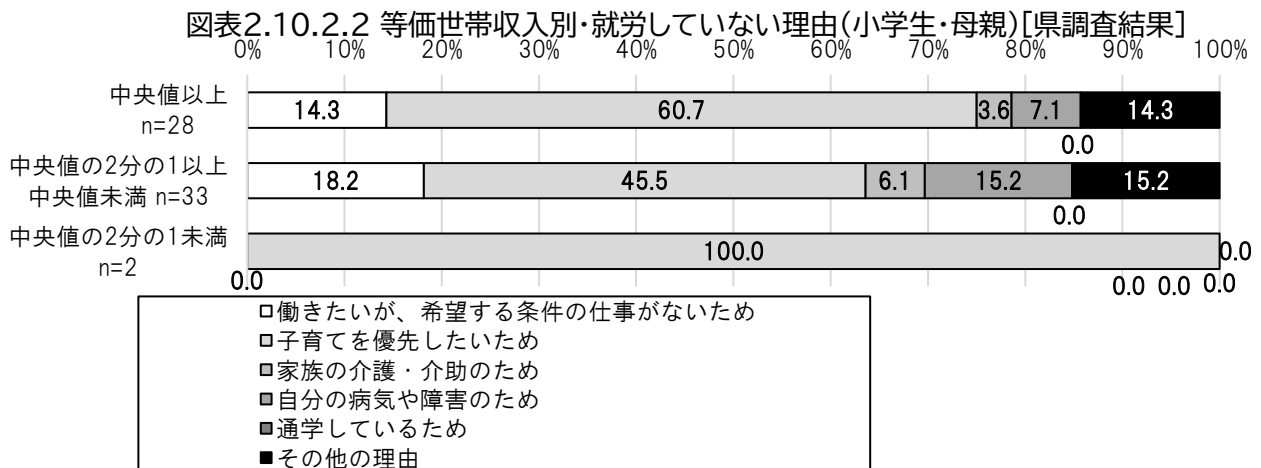
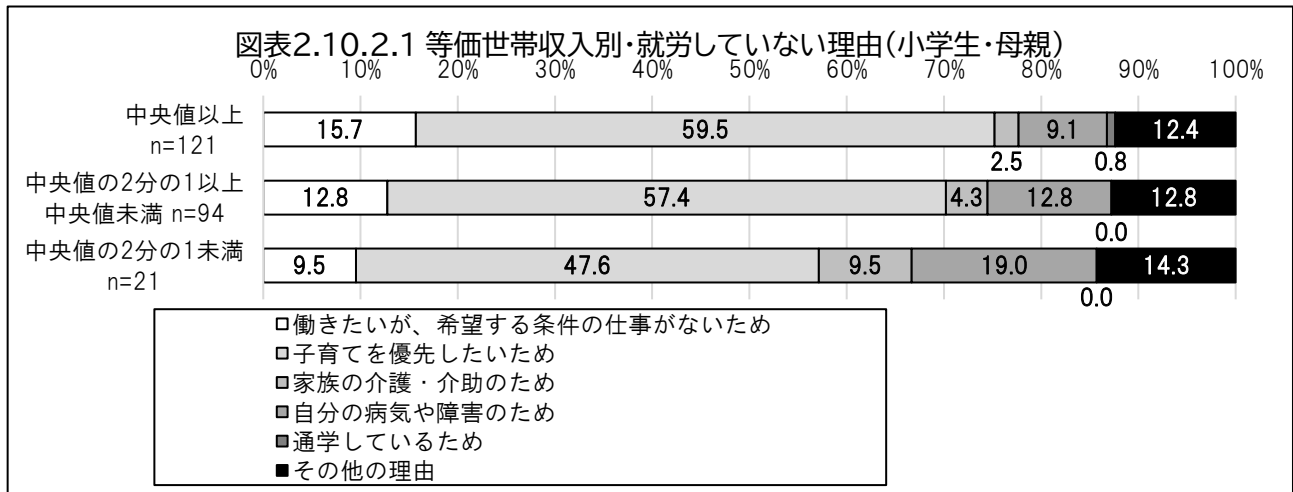
(1)全体

働いていない理由について、父親は小学生・中学生ともに「自分の病気や障害のため」が50.0%、43.8%と高く、次いで「その他の理由」が30.0%、18.8%となっています。母親は小学生・中学生ともに「子育てを優先したいため」が56.5%、45.6%と高く、次いで小学生では「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」が15.3%、中学生では「自分の病気や障害のため」と「その他の理由」とともに14.0%となっています。



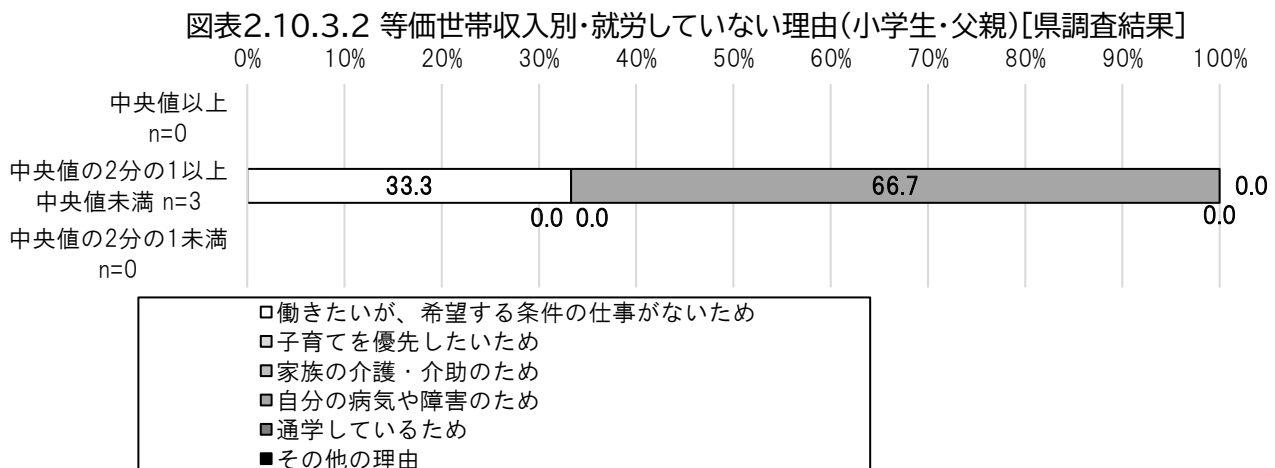
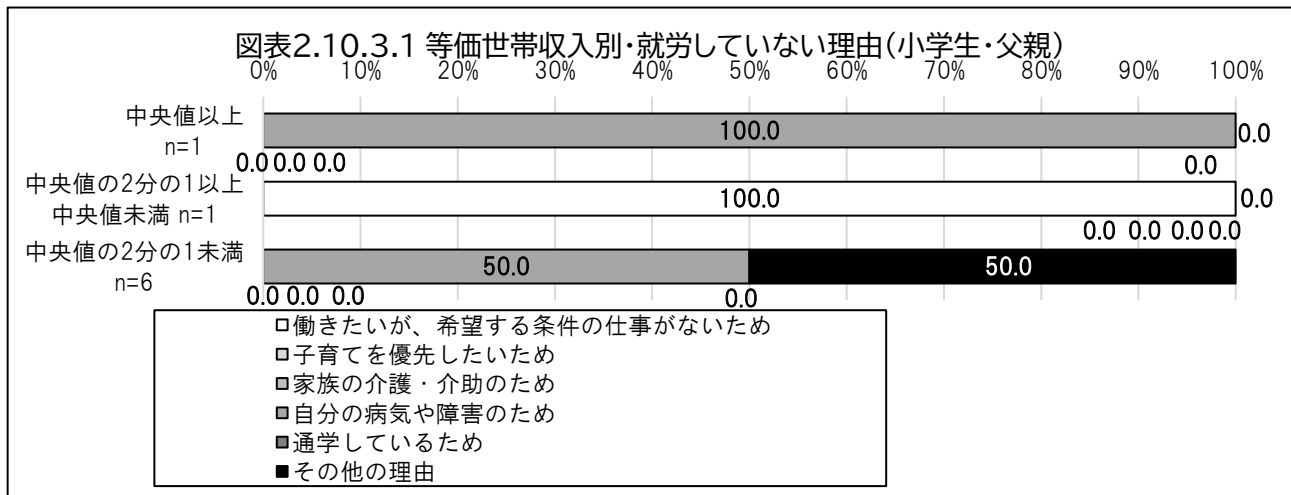
(2)等価世帯収入別・母親[小学生] (問 10. 就労していない理由)

母親の働いていない理由を等価世帯収入別にみると、小学生では、いずれの水準においても「子育てを優勢したいため」が59.5%、57.4%、47.6%と最も高くなっています。また、「中央値の2分の1未満」の水準では「自分の病気や障害のため」が19.0%と、他の水準と比較して高くなっています。



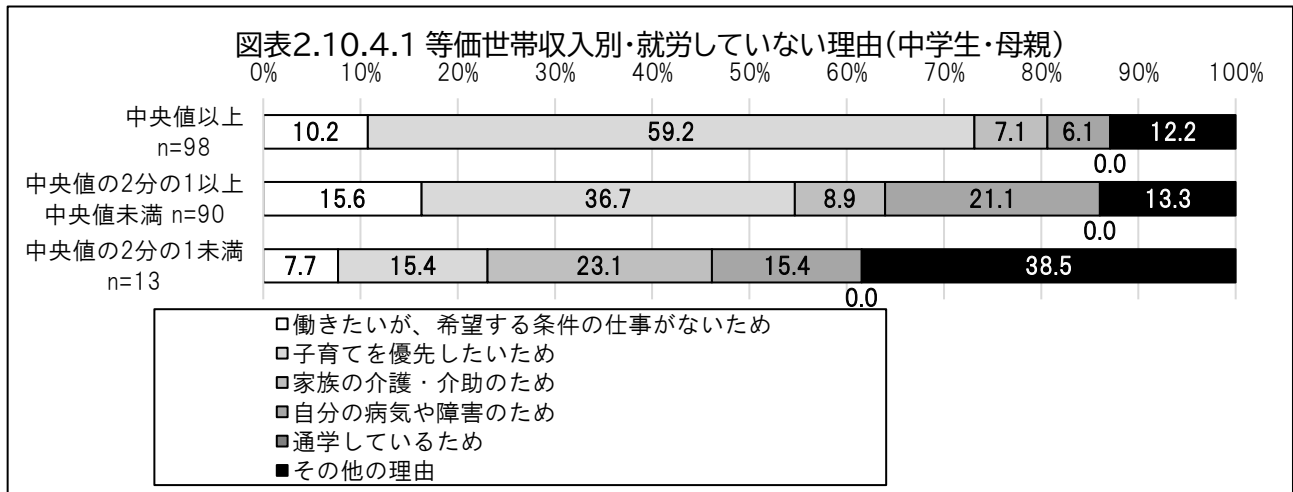
(3)等価世帯収入別・父親[小学生] (問 10. 就労していない理由)

父親の働いていない理由を等価世帯収入別にみると、小学生では、「中央値以上」の水準において、「自分の病気や障害のため」が100.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の水準では「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」が100.0%、「中央値の2分の1未満」の水準では「自分の病気や障害のため」と「その他の理由」がともに50.0%となっています。

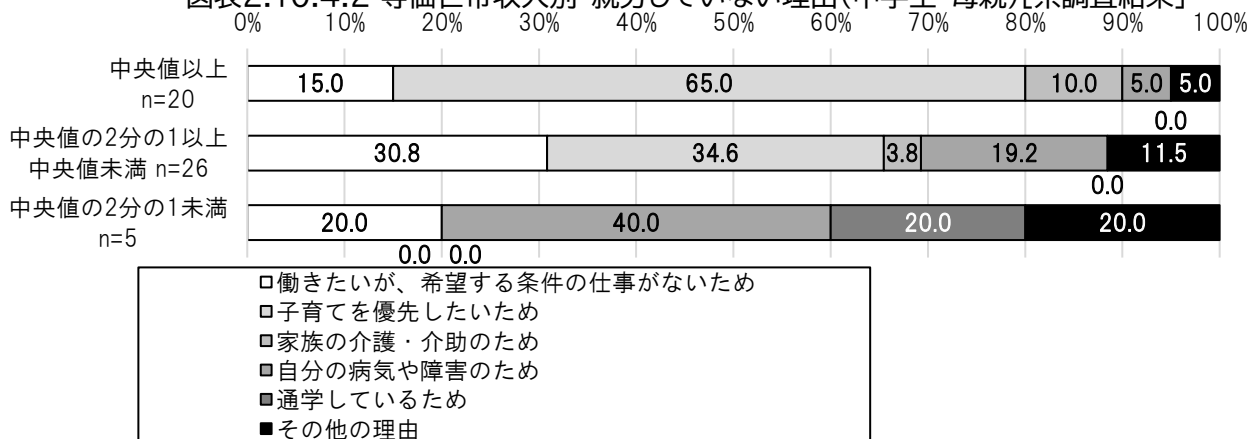


(4)等価世帯収入別・母親[中学生] (問 10. 就労していない理由)

母親の働いていない理由を等価世帯収入別にみると、中学生では、「中央値以上」および「中央値の2分の1以上中央値未満」の水準において、「子育てを優先したいため」が59.2%、36.7%、「中央値の2分の1未満」の水準では「その他の理由」が38.5%と最も高くなっています。

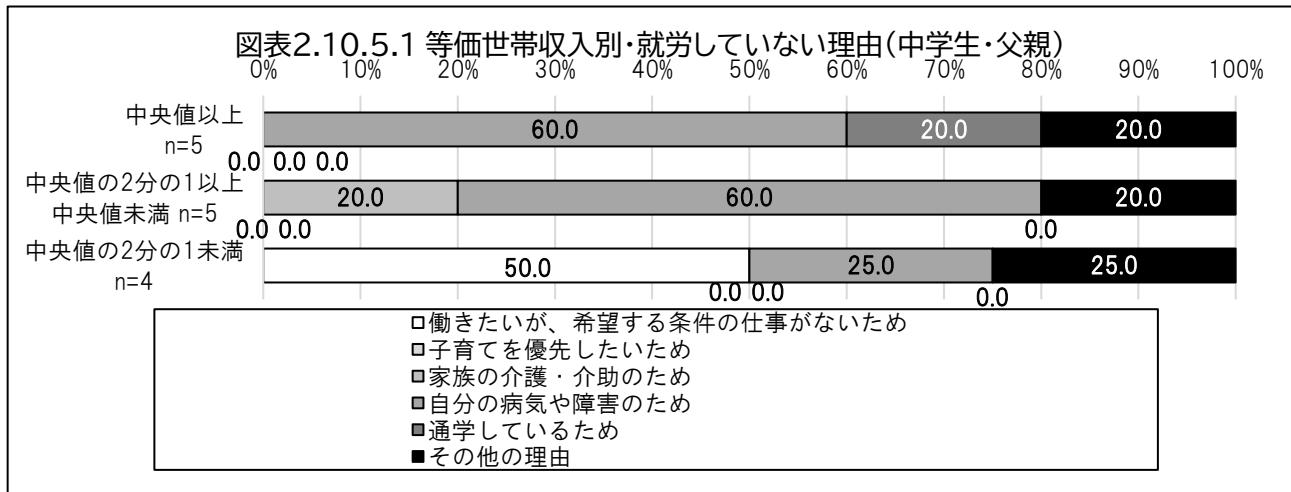


図表2.10.4.2 等価世帯収入別・就労していない理由(中学生・母親)[県調査結果]

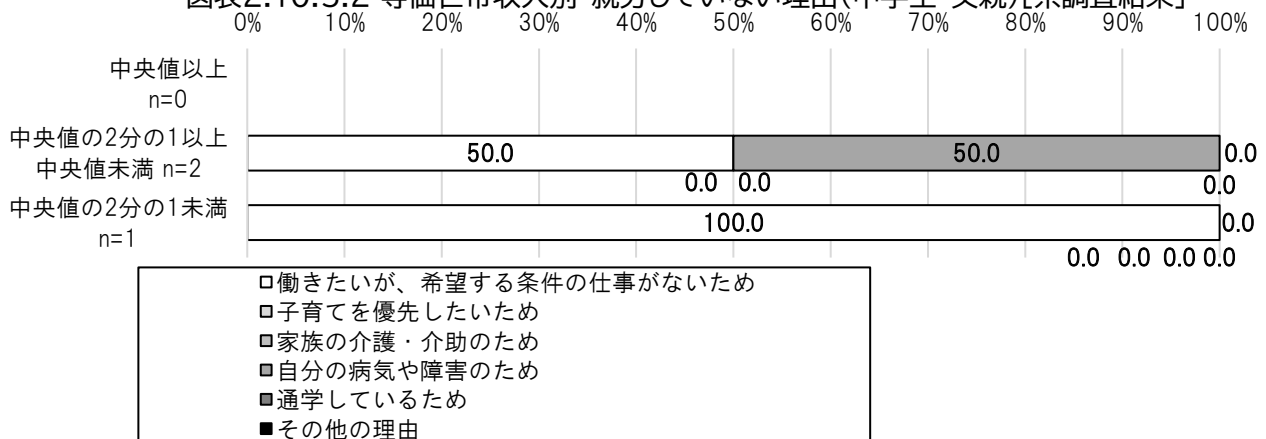


(5)等価世帯収入別・父親[中学生] (問 10. 就労していない理由)

父親の働いていない理由を等価世帯収入別にみると、中学生では、「中央値以上」および「中央値の2分の1以上中央値未満」の水準では「自分の病気や障害のため」がともに60.0%、「中央値の2分の1未満」の水準では「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」が50.0%と最も高くなっています。

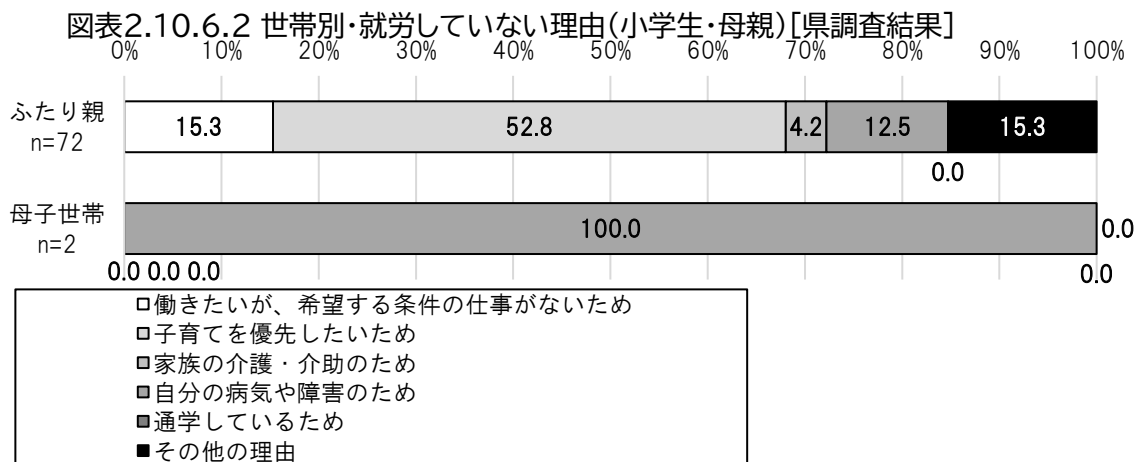
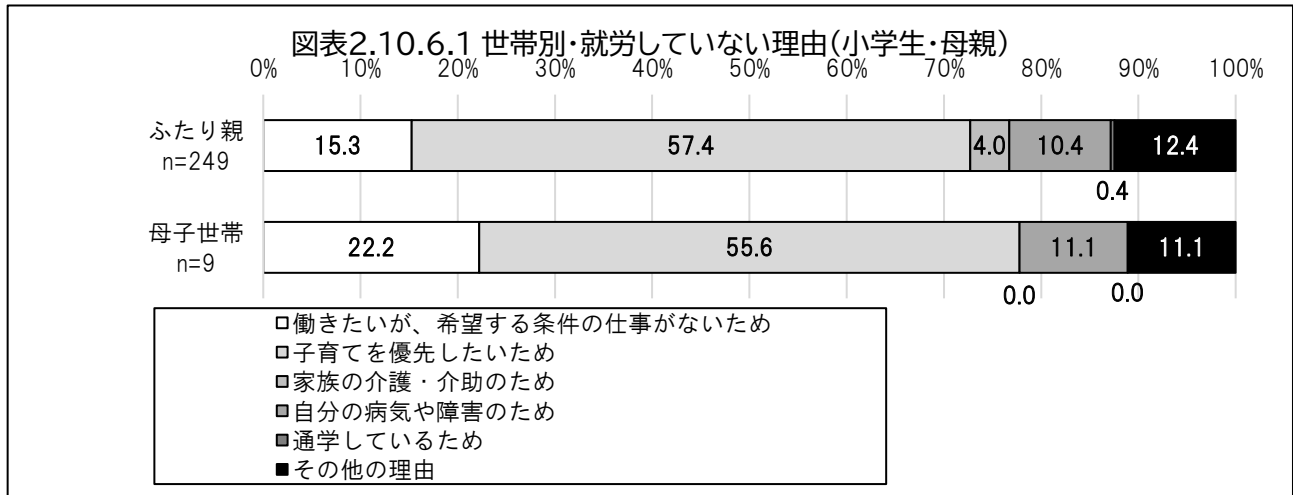


図表2.10.5.2 等価世帯収入別・就労していない理由(中学生・父親)[県調査結果]



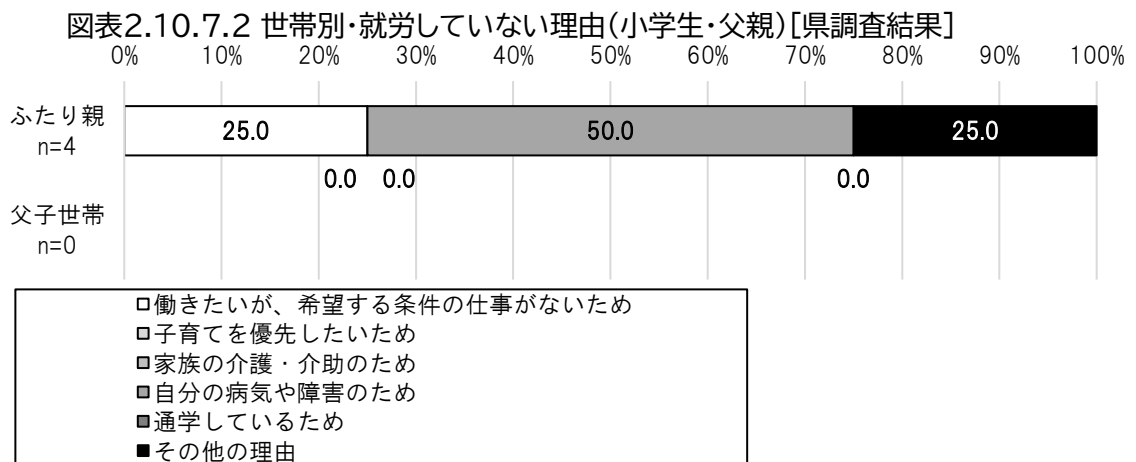
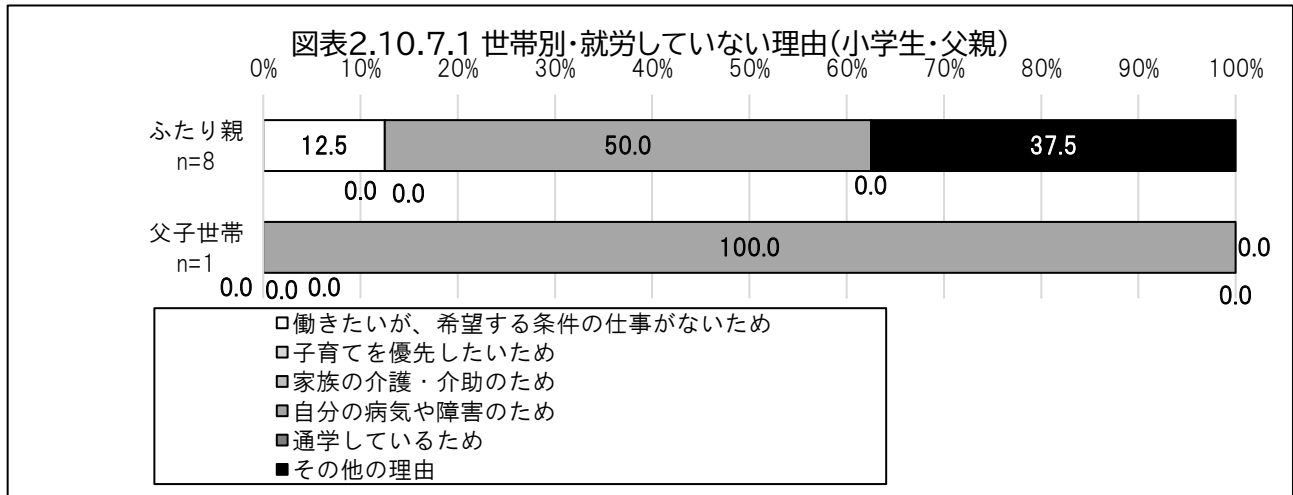
(6)世帯別・母親[小学生] (問 10. 就労していない理由)

母親の働いていない理由を世帯別にみると、小学生では、ふたり親世帯、母子世帯ともに「子育てを優先したいため」が57.4%、55.6%と最も高くなっています。



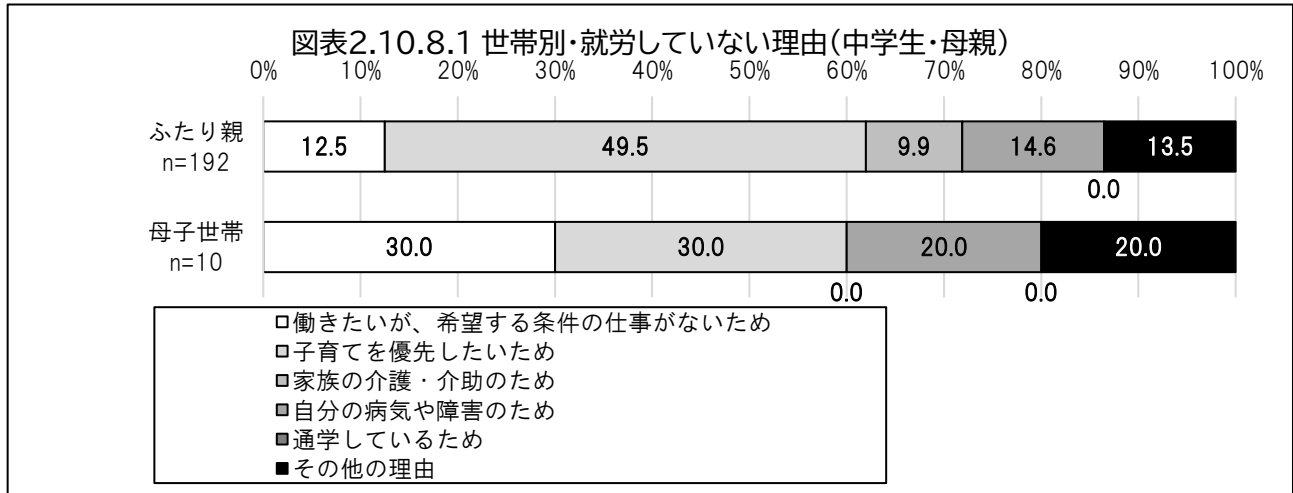
(7)世帯別・父親[小学生] (問 10. 就労していない理由)

父親の働いていない理由を世帯別にみると、小学生では、ふたり親世帯、父子世帯ともに「自分の病気や障害のため」が50.0%、100.0%と最も高くなっています。

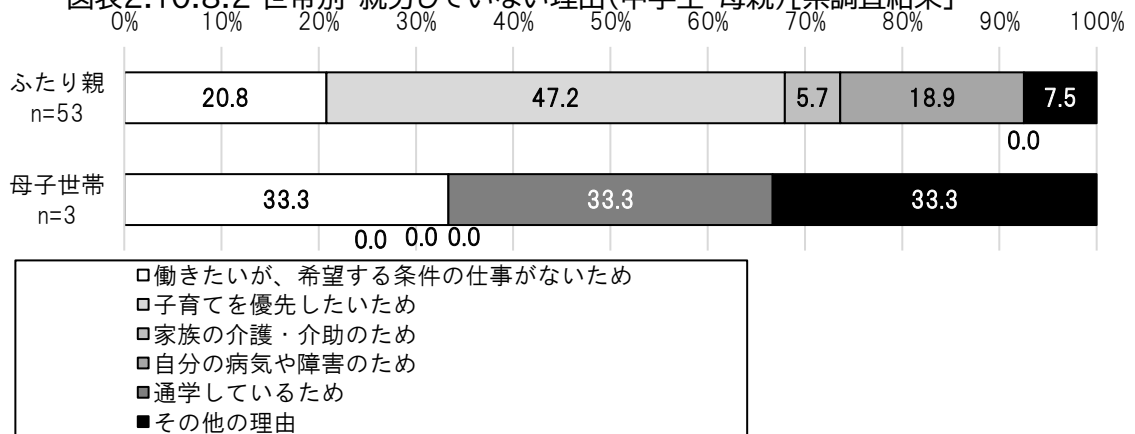


(8)世帯別・母親[中学生] (問 10. 就労していない理由)

母親の働いていない理由を世帯別にみると、中学生では、ふたり親世帯は「子育てを優先したいため」が 49.5%と最も高く、また母子世帯では、「子育てを優先したいため」、「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」がともに 30.0%と最も高くなっています。

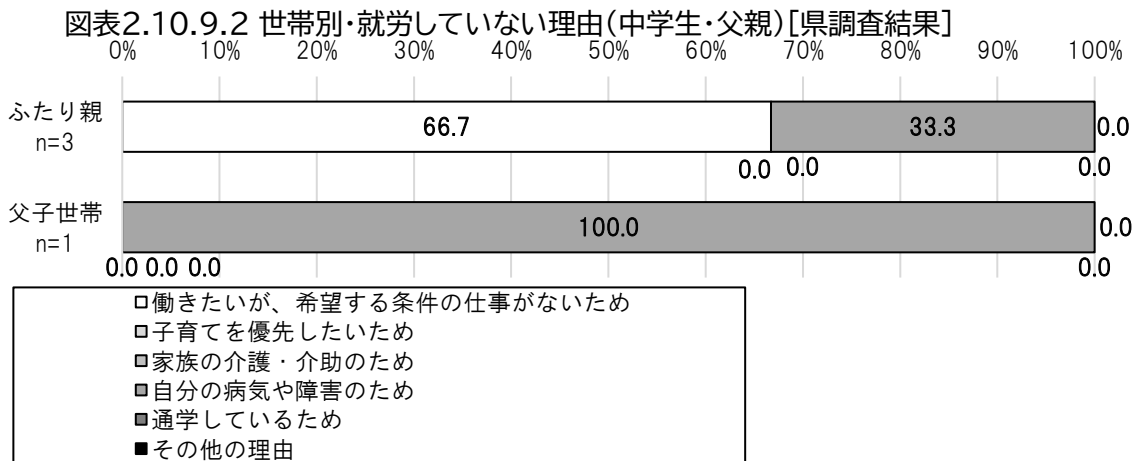
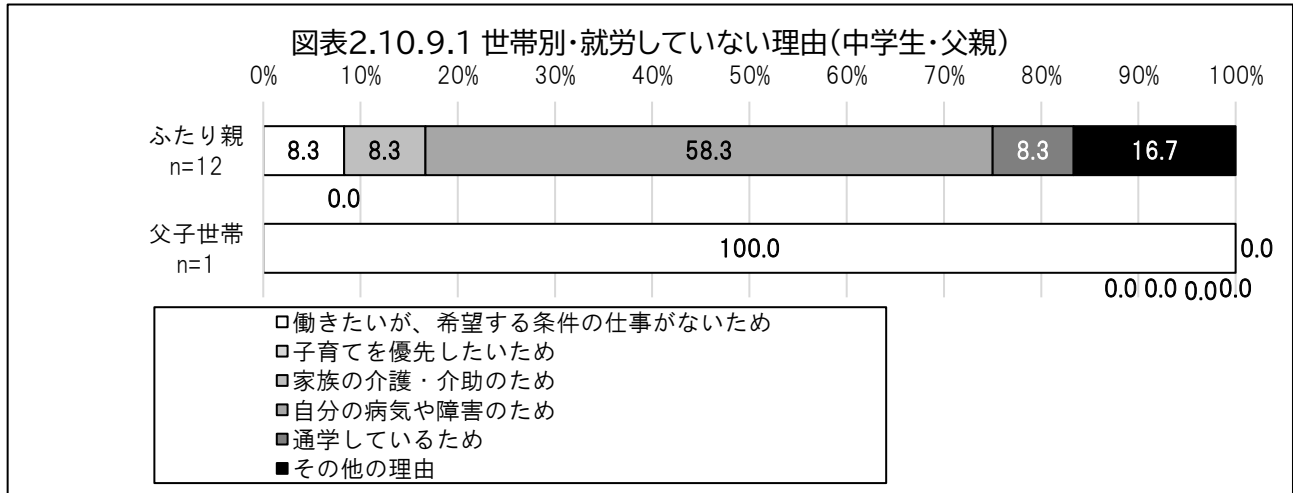


図表2.10.8.2 世帯別・就労していない理由(中学生・母親)[県調査結果]



(9)世帯別・父親[中学生] (問 10. 就労していない理由)

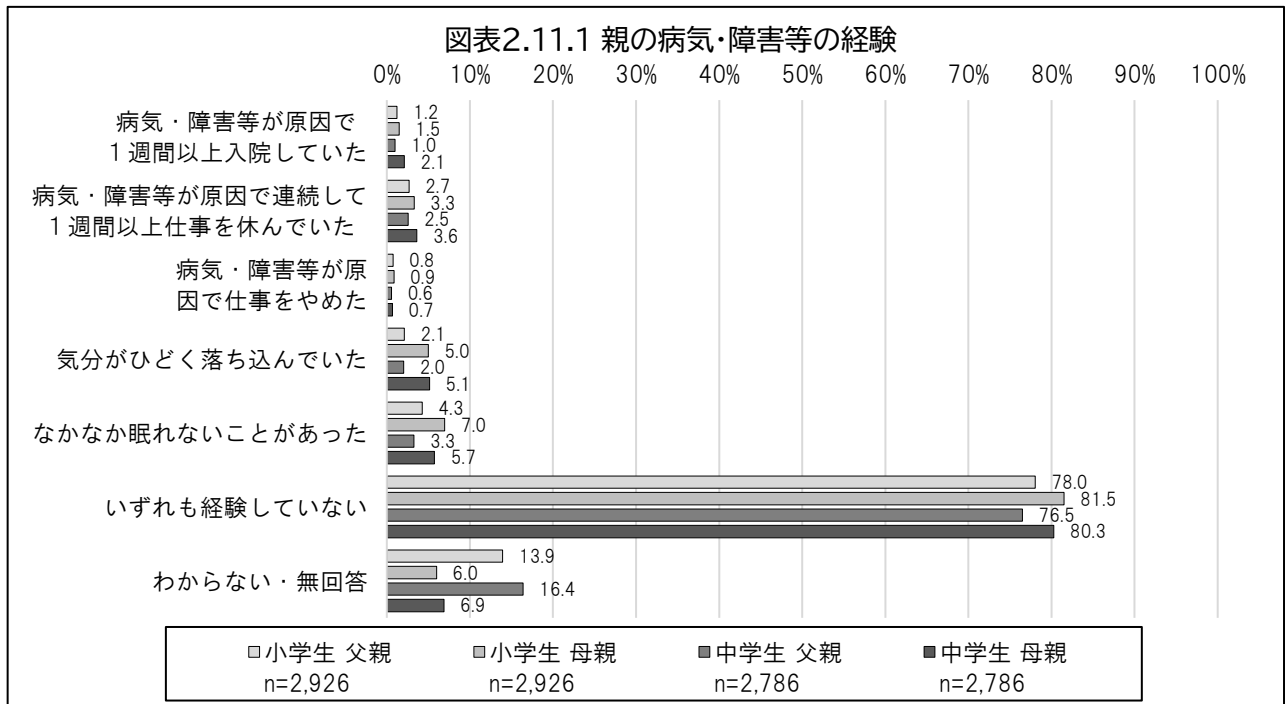
父親の働いていない理由を世帯別にみると、中学生では、ふたり親世帯では「自分の病気や障害のため」が58.3%、父子世帯では「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」が100.0%と最も高くなっています。



問11. お子さんの親は、過去1年間で、病気・障害等に関する次のような経験がありますか。

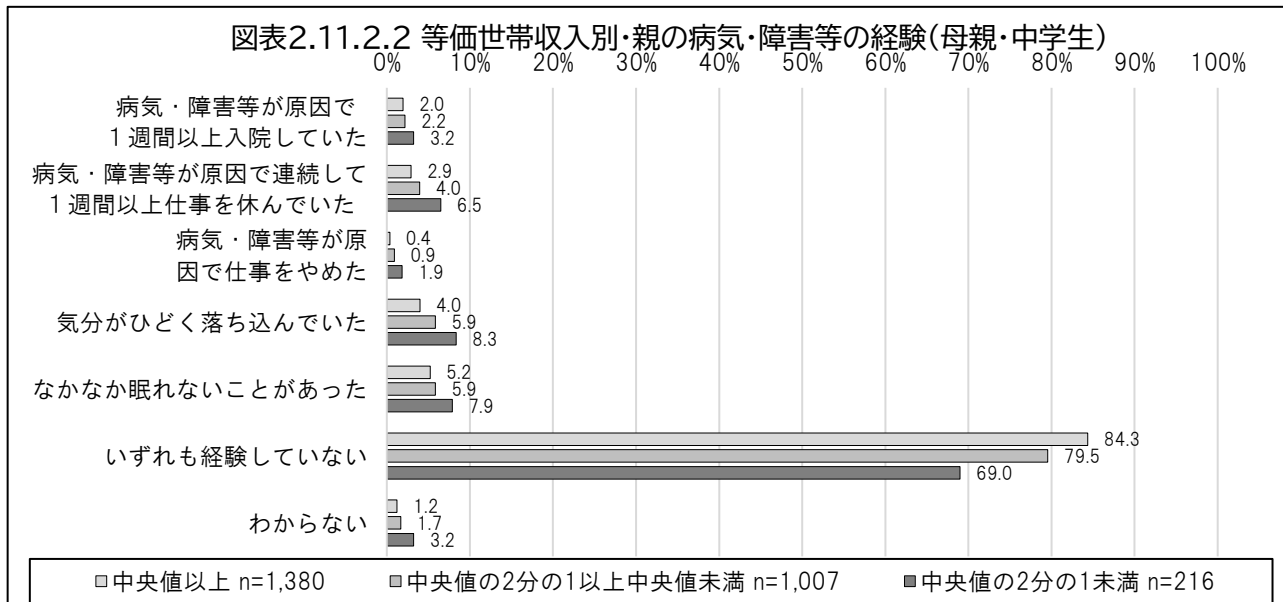
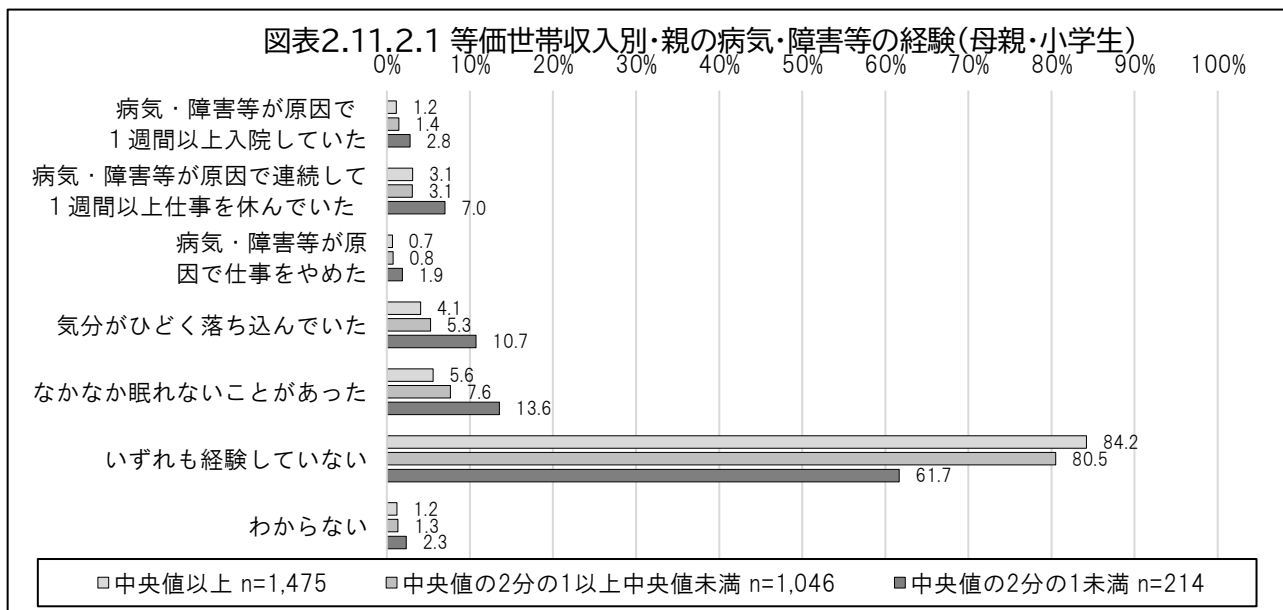
保護者の病気等の罹患歴について、小学生・中学生の父親・母親ともに、「いずれも経験していない」が最も高く（小学生78.0%、81.5%）（中学生76.5%、80.3%）、次いで「なかなか眠れないことがあった」（小学生4.3%、7.0%）（中学生3.3%、5.7%）となっています。

(1)全体

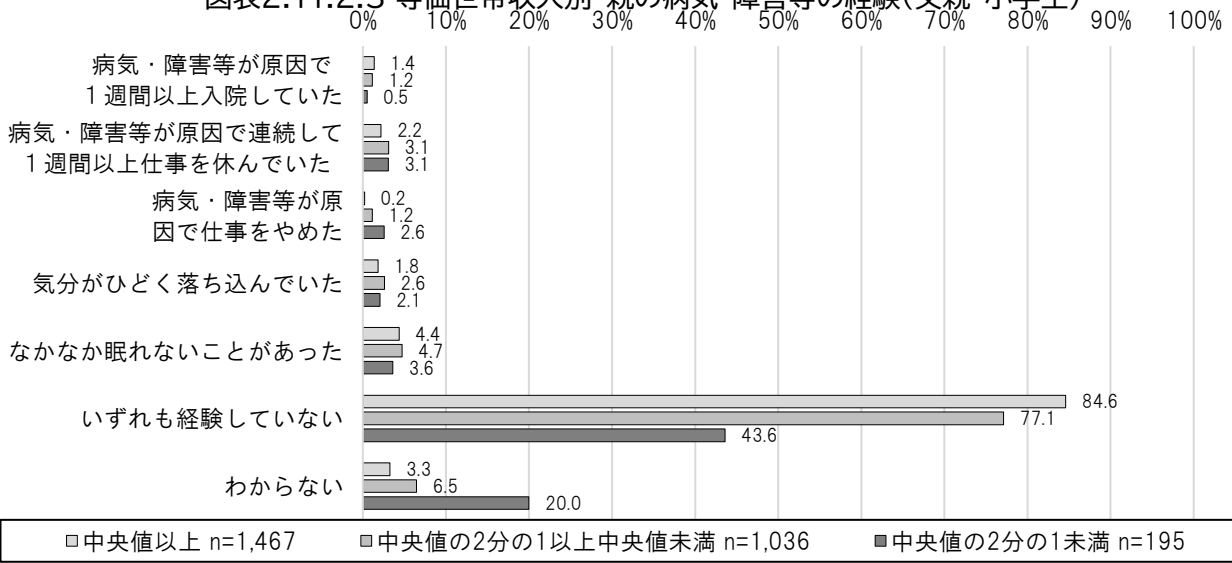


(2)等価世帯収入別

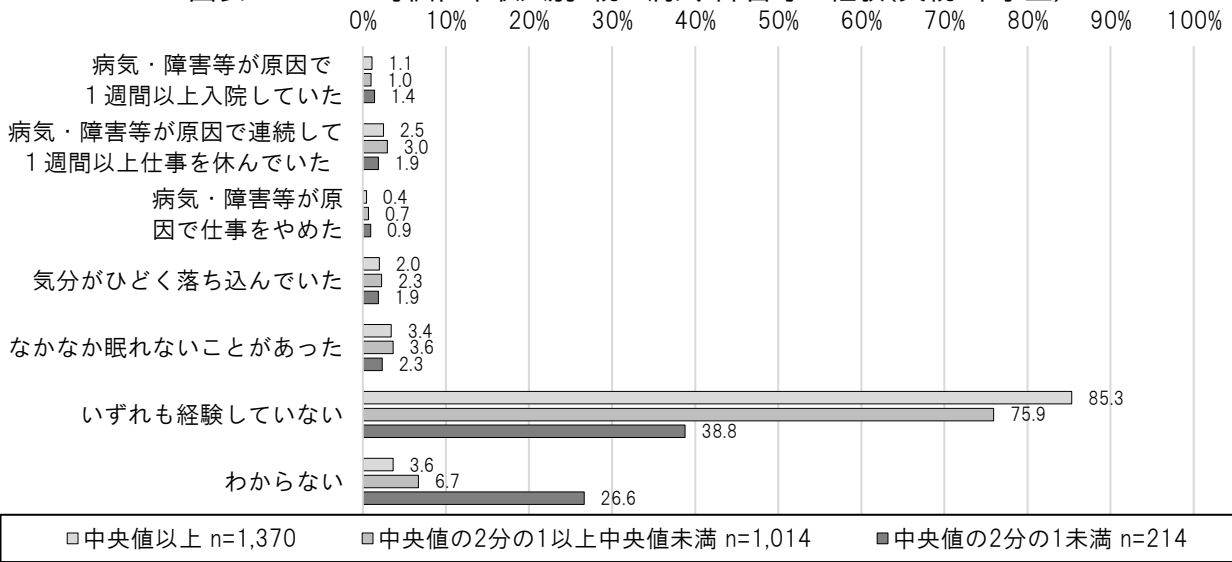
保護者の病気等の罹患歴について、等価世帯収入別にみると、いずれの水準においても「いずれも経験していない」が、小学生の母親で84.2%、80.5%、61.7%、中学生の母親で84.3%、79.5%、69.0%、小学生の父親で84.6%、77.1%、43.6%、中学生の父親で85.3%、75.9%、38.8%と最も高くなっていますが、「中央値の2分の1未満」の水準では、他の水準と比較して低くなっています。また、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」の母親では、小学生・中学生ともに「気分がひどく落ち込んでいた」が10.7%、8.3%、「なかなか眠れないことがあった」13.6%、7.9%と他の水準と比較して高くなっています。



図表2.11.2.3 等価世帯収入別・親の病気・障害等の経験(父親・小学生)

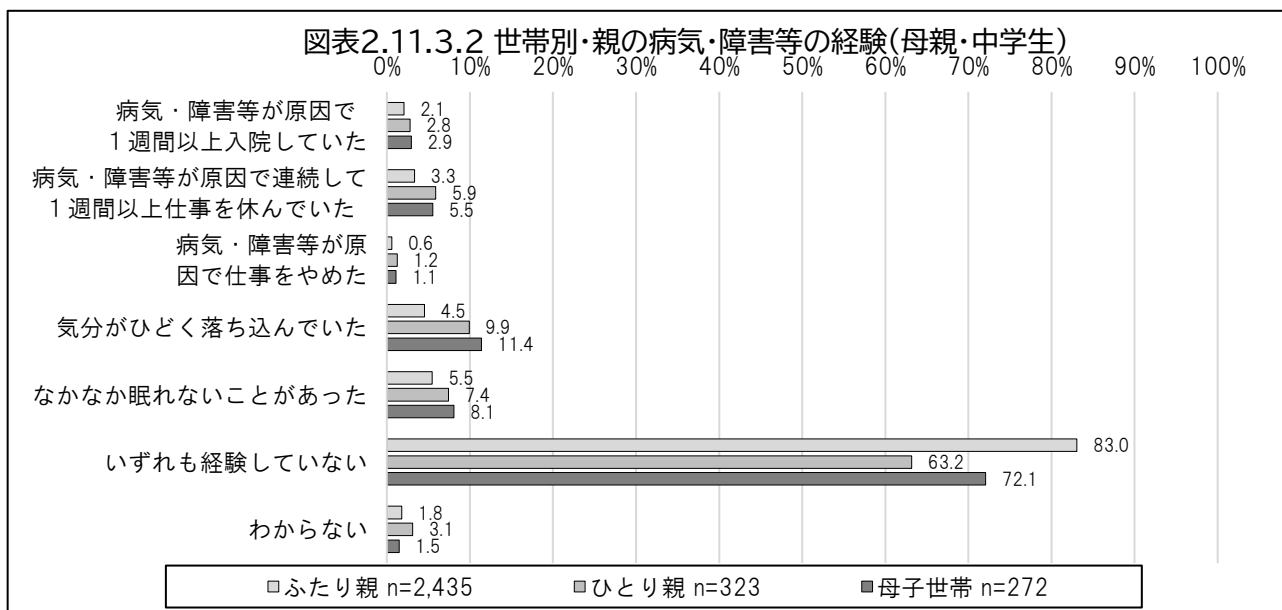
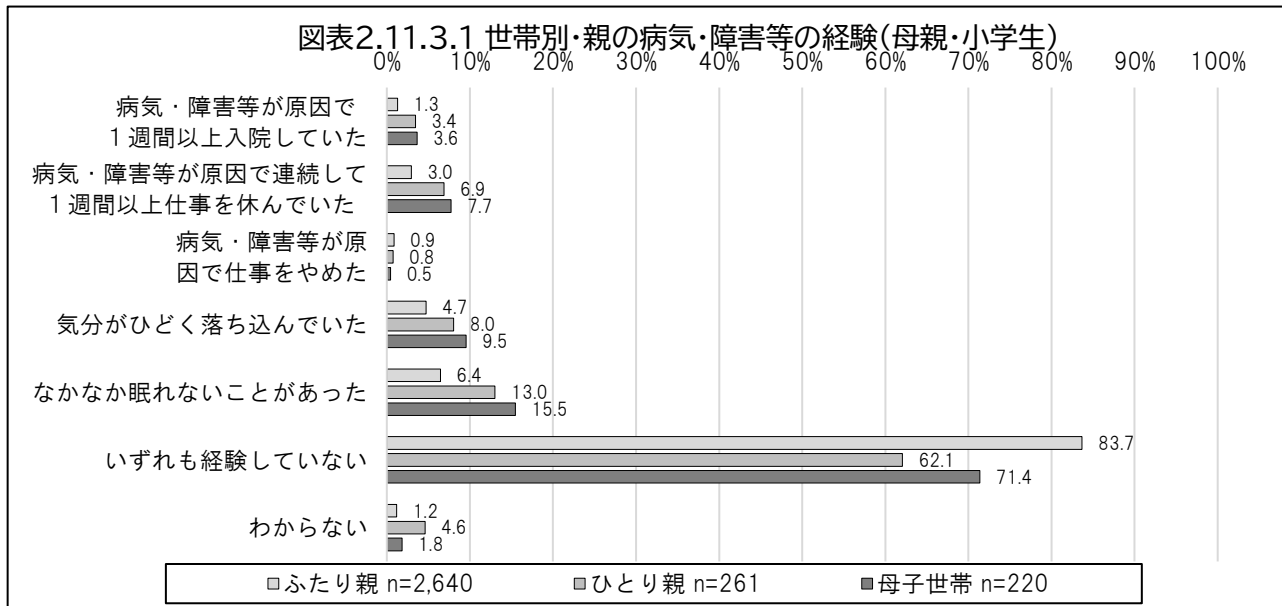


図表2.11.2.4 等価世帯収入別・親の病気・障害等の経験(父親・中学生)

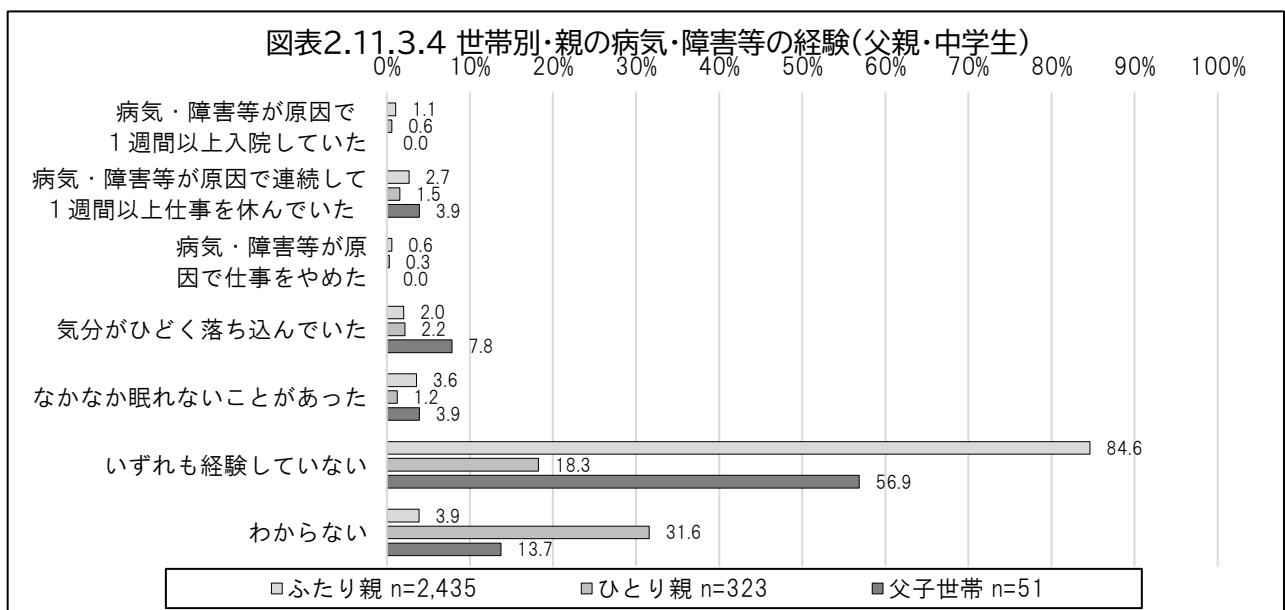
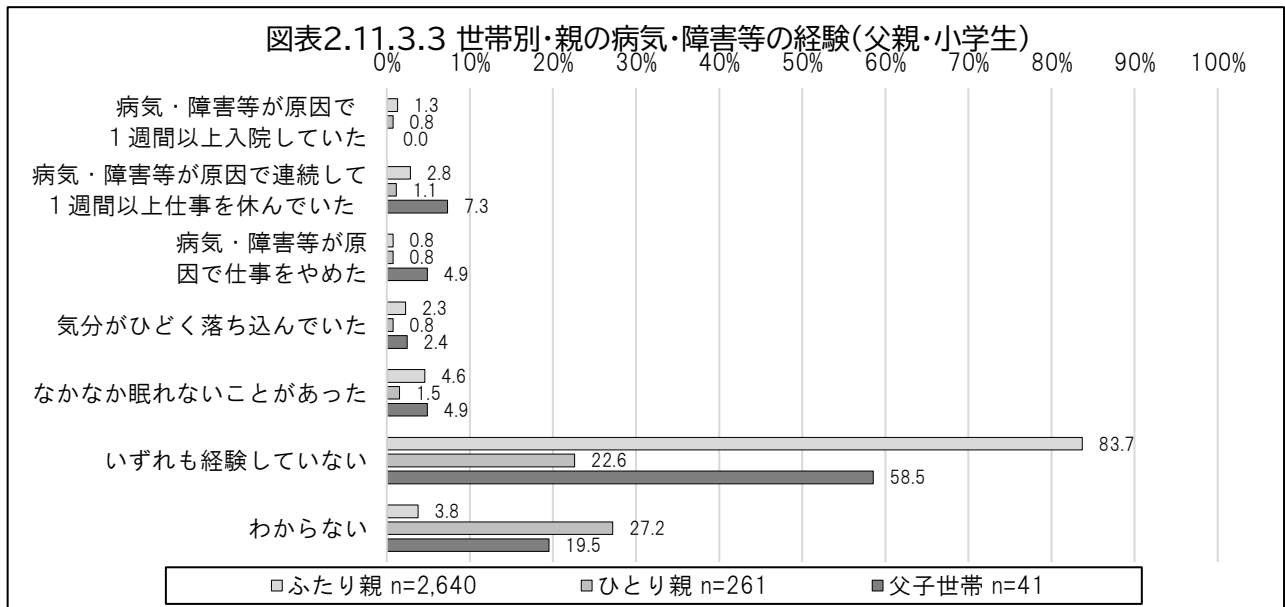


(3)世帯別

保護者の病気等の罹患歴について、世帯別にみると、母親では、いずれの世帯においても「いずれも経験していない」が、小学生で83.7%、62.1%、71.4%、中学生で83.0%、63.2%、72.1%と最も高くなっていますが、ひとり親世帯では、ふたり親世帯と比較して低くなっています。また、ひとり親世帯の母親では、小学生・中学生ともに「なかなか眠れないことがあった」が13.0%、7.4%、「気分がひどく落ち込んでいた」が8.0%、9.9%、「病気・障害等が原因で連続して1週間以上仕事を休んでいた」が6.9%、5.9%とふたり親世帯と比較して高くなっています。



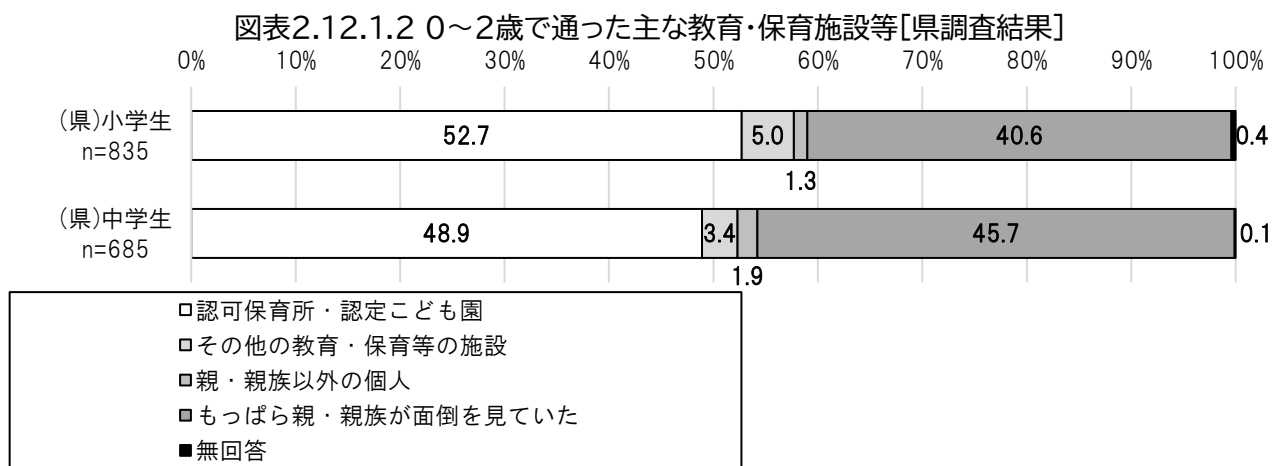
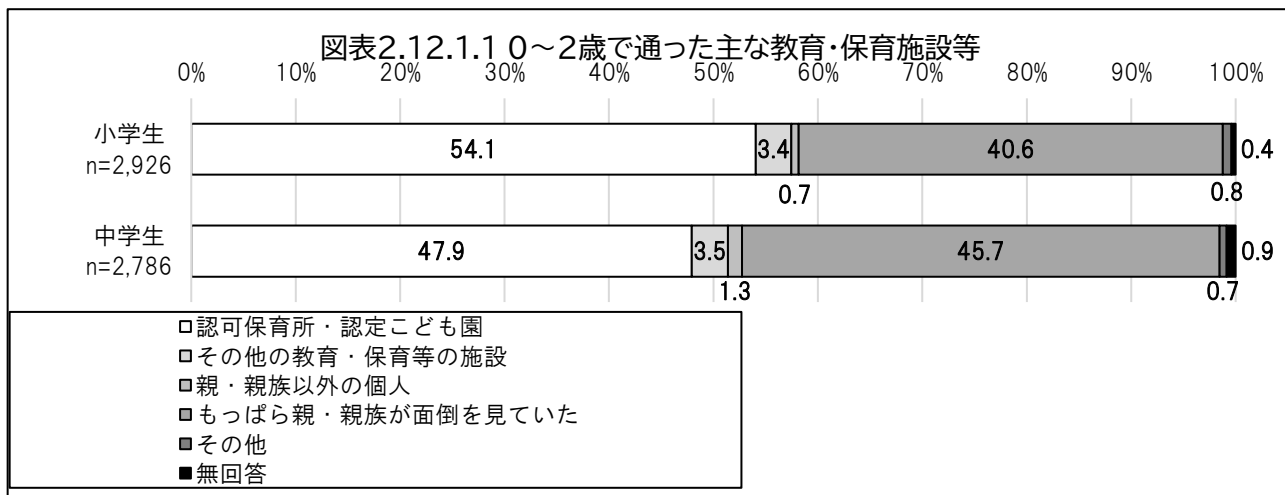
小学生の父親では、ふたり親世帯および父子世帯で「いずれも経験していない」が83.7%、58.5%、ひとり親世帯では「わからない」が27.2%と最も高くなっています。中学生の父親では、ふたり親および父子世帯では「いずれも経験していない」が84.6%、56.9%、ひとり親世帯では「わからない」が31.6%と最も高くなっています。また、ひとり親世帯の父親では、小学生・中学生ともに「いずれも経験していない」が22.6%、18.3%と、ふたり親世帯と比較して低くなっています。



問12. お子さんが0～2歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの（期間が長いもの）をお答えください。

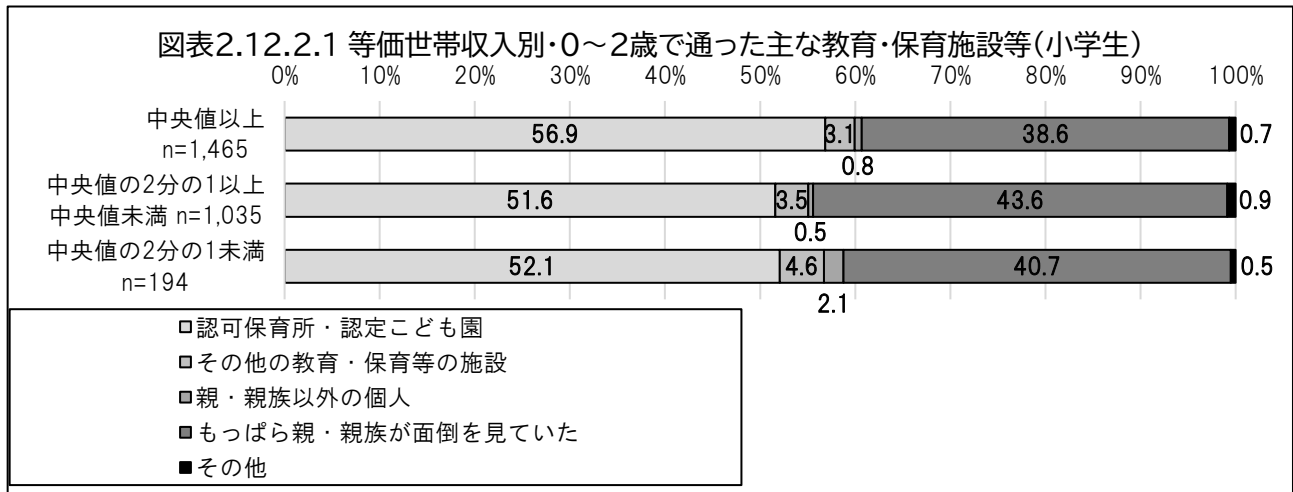
(1)全体

子どもが0～2歳の間に通っていた教育・保育施設等について、小学生・中学生ともに、「認可保育所・認定こども園」が54.1%、47.9%と最も高く、次いで「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」が40.6%、45.7%となっています。

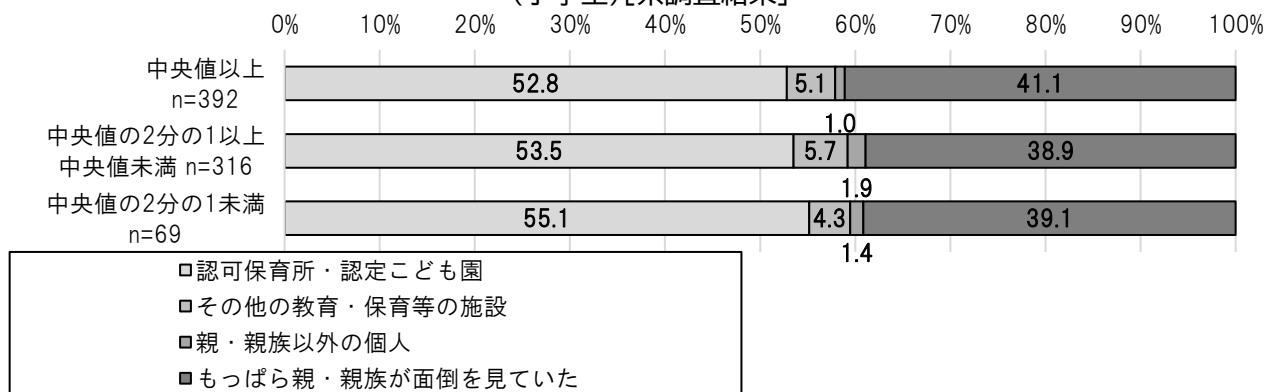


(2)等価世帯収入別・保護者[小学生] (問 12.子どもが0～2歳で通っていた教育・保育施設等)

子どもが0～2歳の間に通っていた教育・保育施設等について、等価世帯収入別にみると、小学生では、いずれの水準においても「認可保育所・認定こども園」が56.9%、51.6%、52.1%と最も高く、次いで「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」が38.6%、43.6%、40.7%となっています。

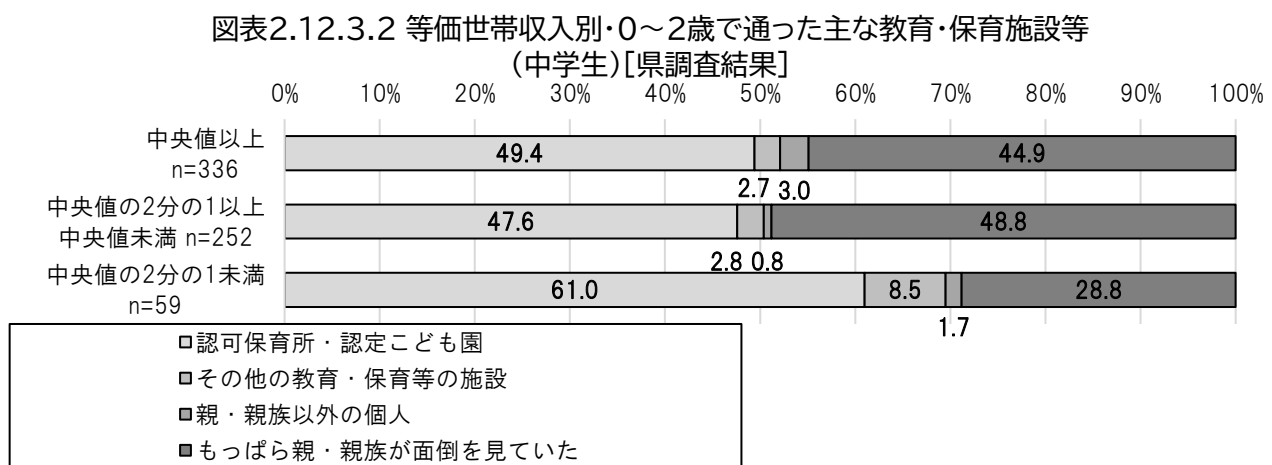
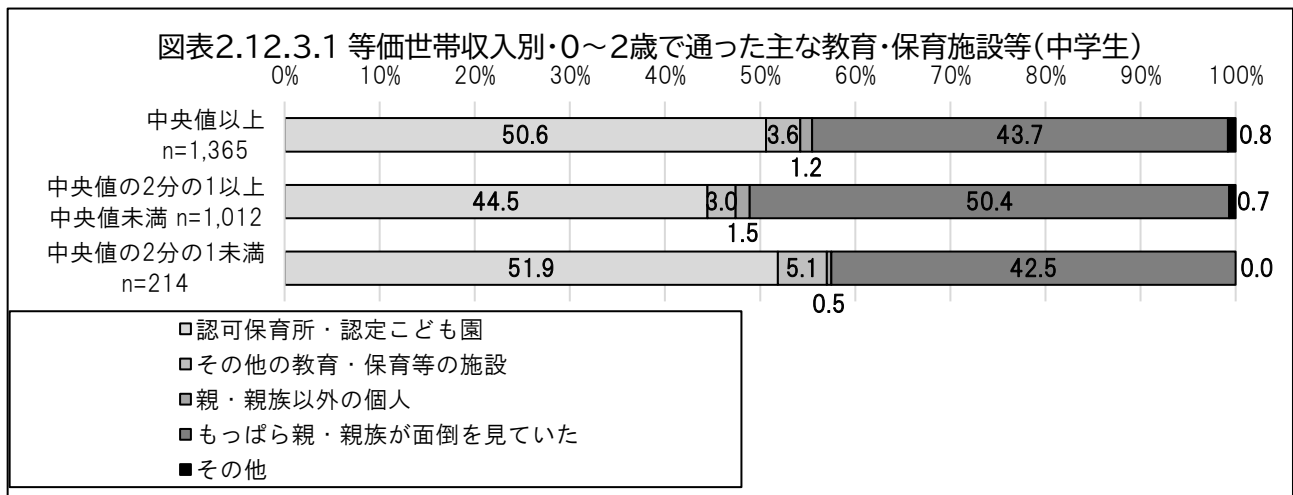


図表2.12.2.2 等価世帯収入別0～2歳で通った主な教育・保育施設等(小学生)[県調査結果]



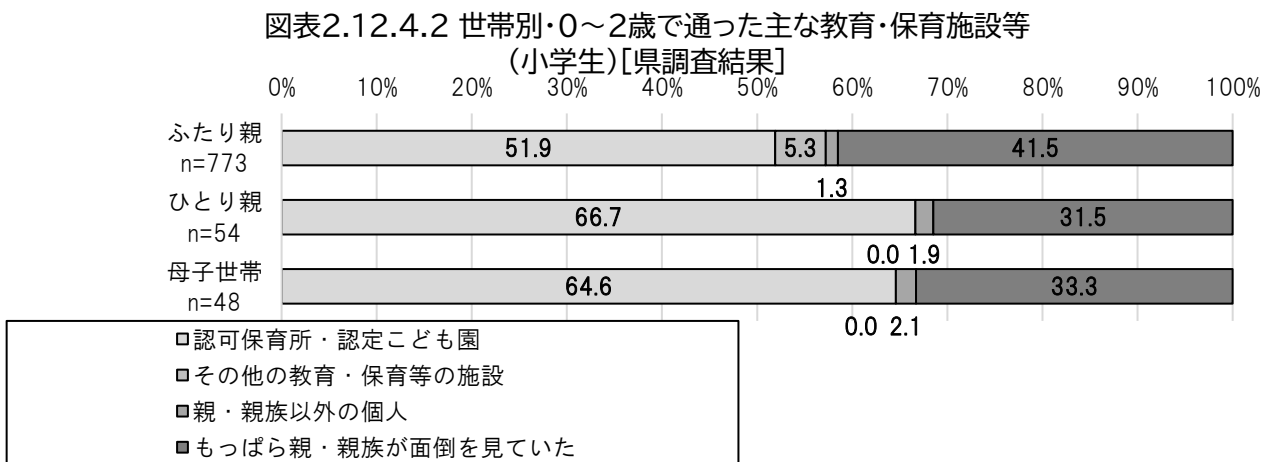
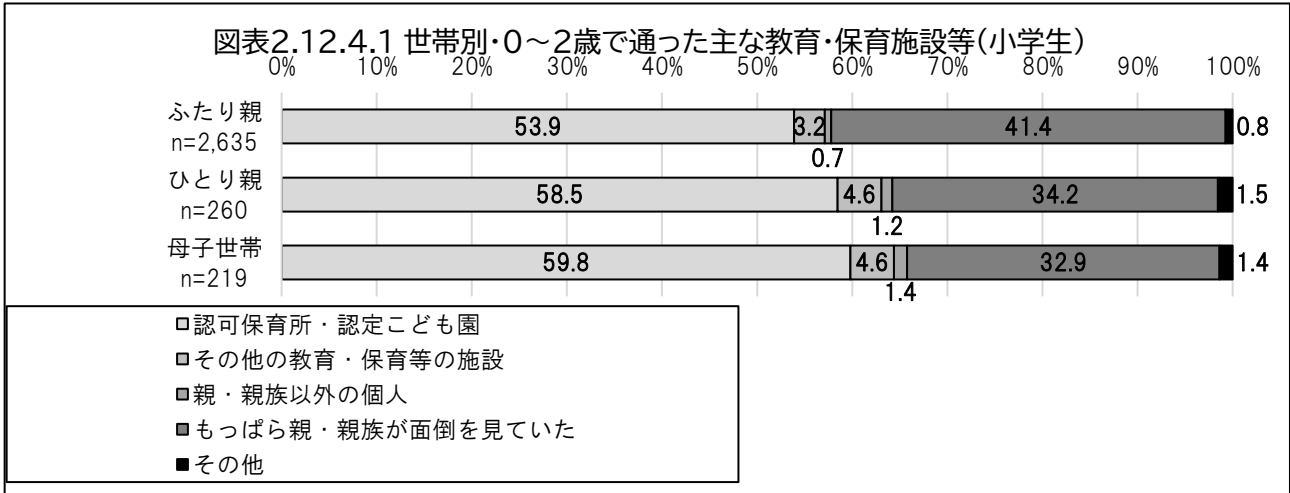
(3)等価世帯収入別・保護者[中学生] (問 12. 子どもが0～2歳で通っていた教育・保育施設等)

子どもが0～2歳の間に通っていた教育・保育施設等について、等価世帯収入別にみると、中学生では、「中央値以上」および「中央値の2分の1未満」の水準では、「認可保育所・認定こども園」が50.6%、51.9%と最も高く、次いで「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」が43.7%、42.5%となっています。また、「中央値の2分の1以上中央値未満」の水準では「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」が50.4%と最も高く、次いで「認可保育所・認定こども園」が44.5%となっています。



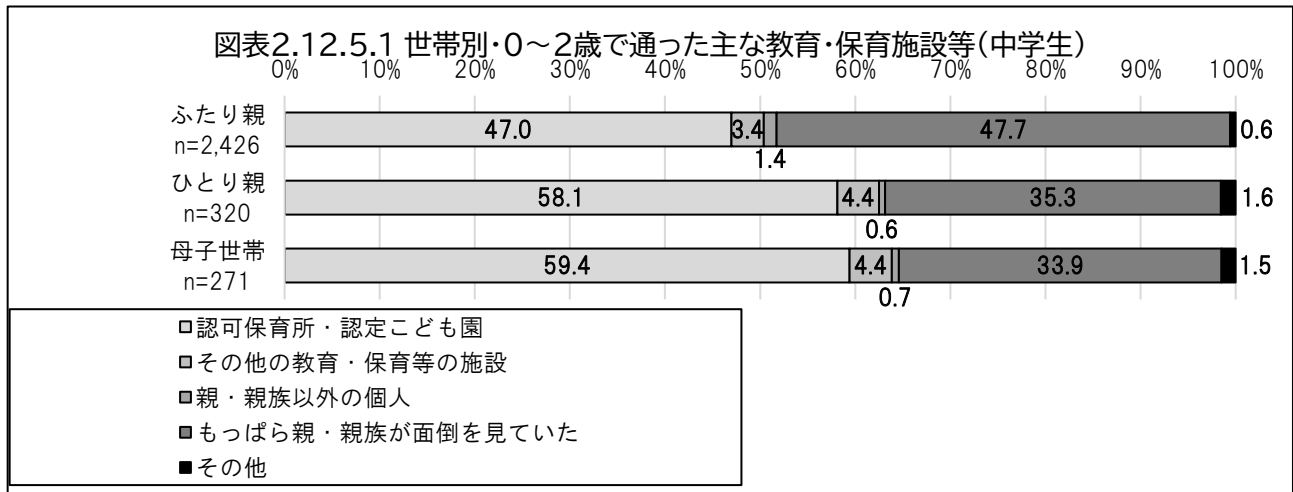
(4)世帯別・保護者[小学生] (問 12. 子どもが0～2歳で通っていた教育・保育施設等)

子どもが0～2歳の間に通っていた教育・保育施設等について、世帯別にみると、小学生では、いずれの世帯においても「認可保育所・認定こども園」が53.9%、58.5%、59.8%と最も高くなっています。

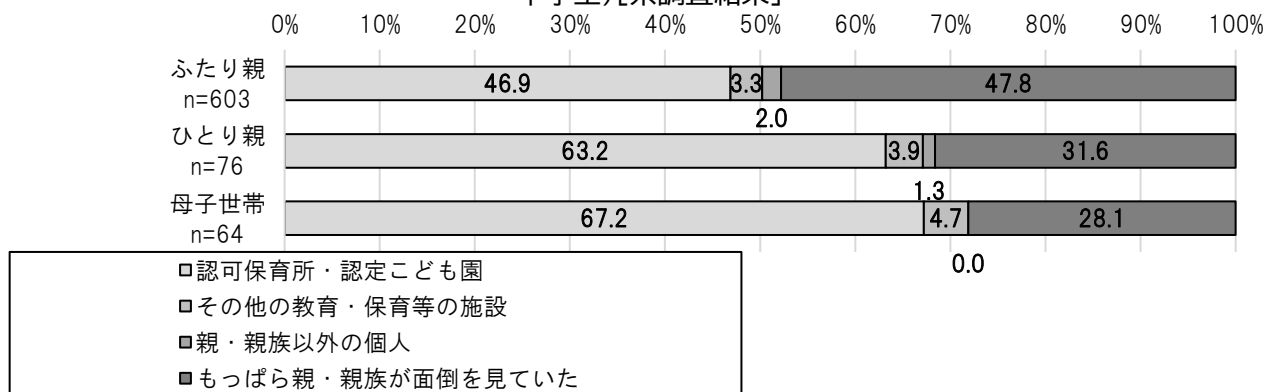


(5)世帯別・保護者[中学生] (問 12. 子どもが0～2歳で通っていた教育・保育施設等)

子どもが0～2歳の間に通っていた教育・保育施設等について、世帯別にみると、中学生では、ふたり親世帯では「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」が47.7%、ひとり親世帯および母子世帯では、「認可保育所・認定こども園」が58.1%、59.4%と最も高くなっています。



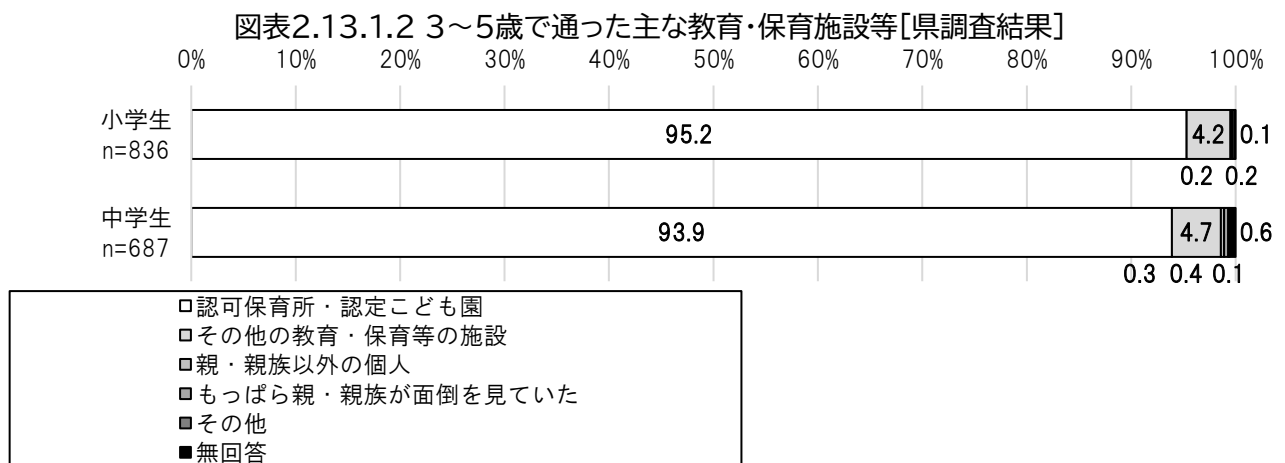
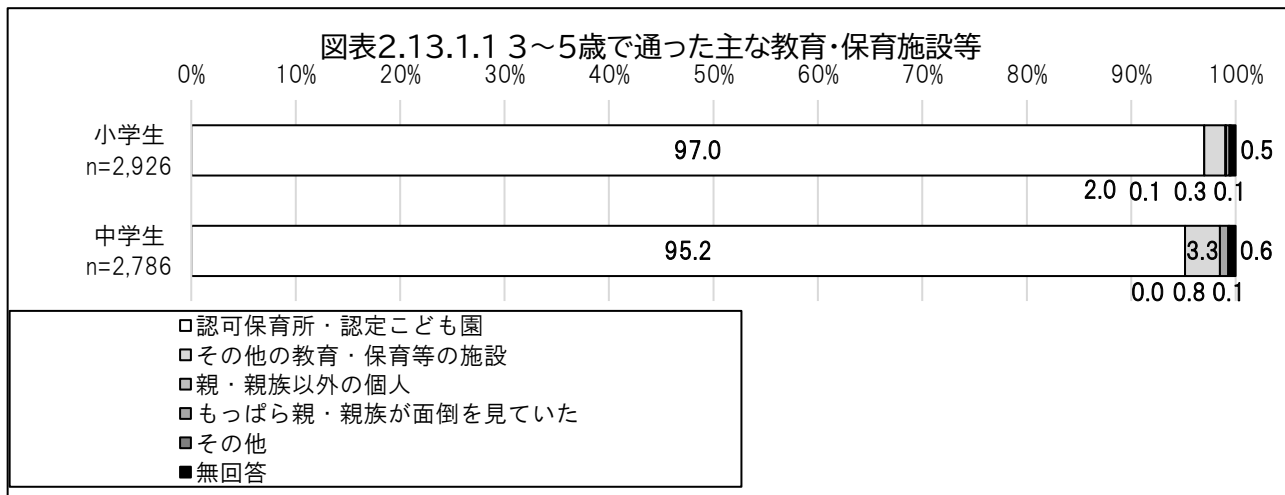
図表2.12.5.2 世帯別・0～2歳で通った主な教育・保育施設等(中学生)[県調査結果]



問13. お子さんが3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの（期間が長いもの）をお答えください。

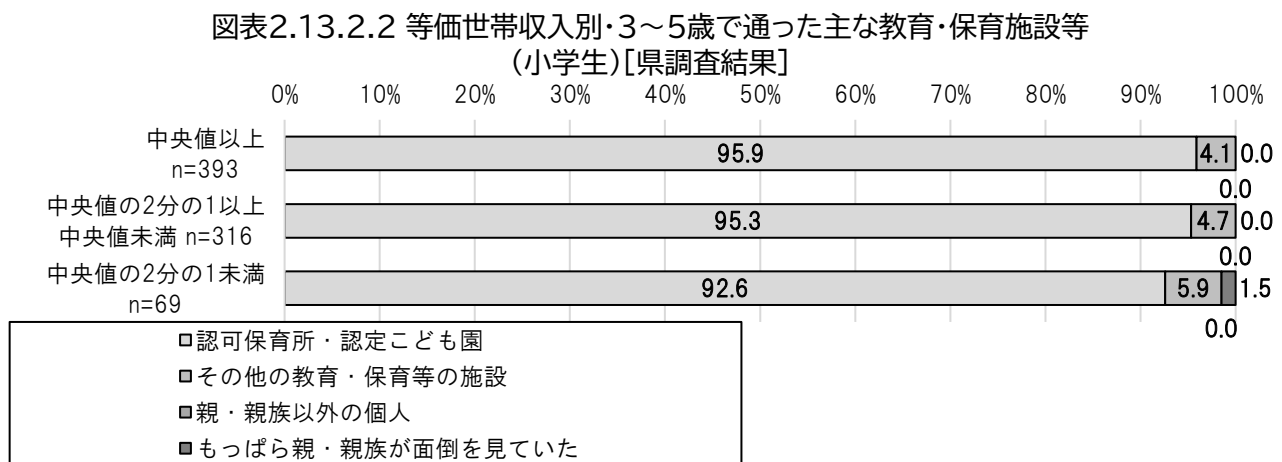
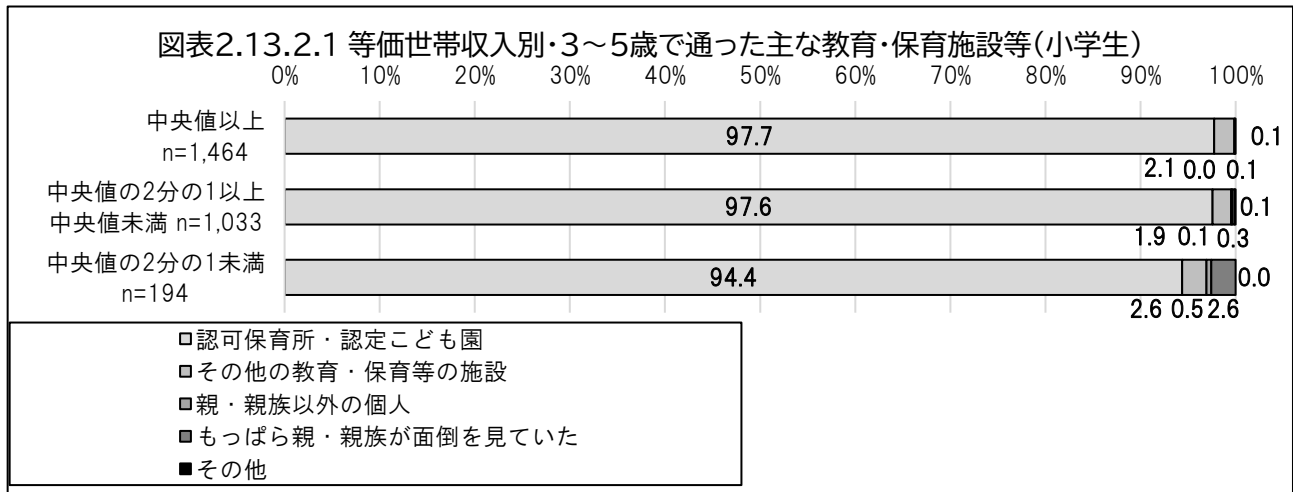
(1)全体

子どもが3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等について、小学生・中学生ともに、「認可保育所・認定こども園」が97.0%、95.2%と最も高くなっています。



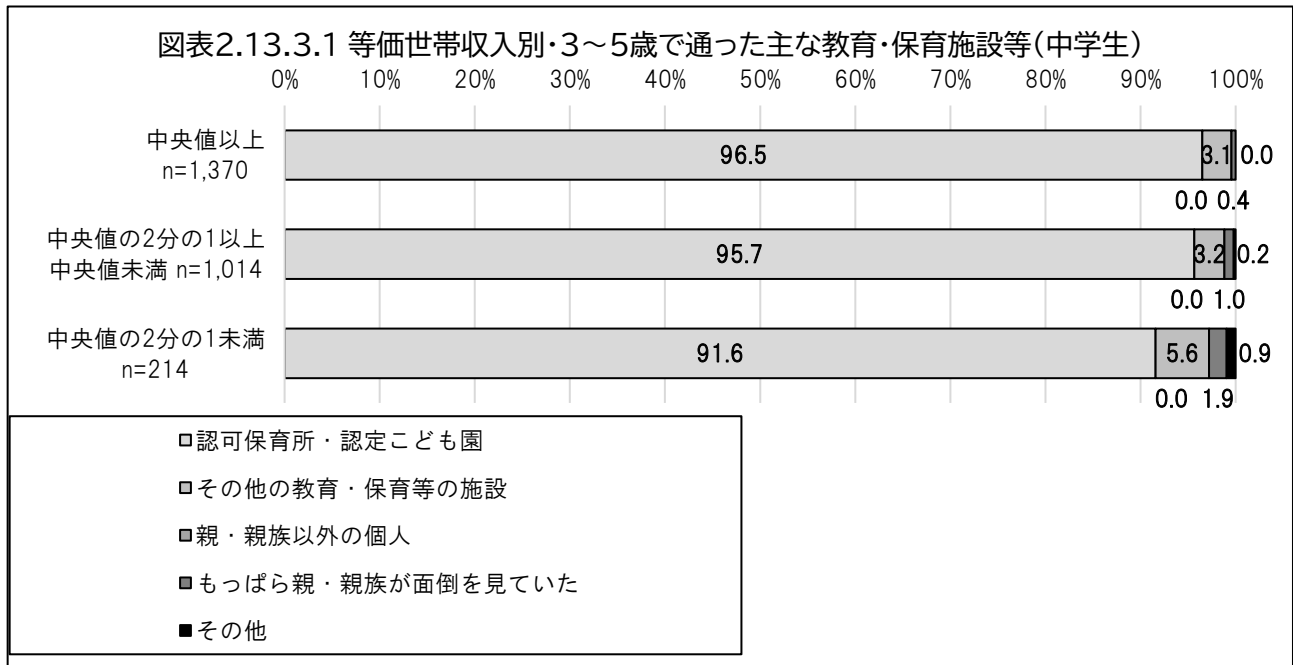
(2)等価世帯収入別・保護者[小学生] (問 13. 子どもが3～5歳で通っていた教育・保育施設等)

子どもが3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等について、等価世帯収入別にみると、小学生では、いずれの水準でも「認可保育所・認定こども園」が97.7%、97.6%、94.4%と最も高くなっています。

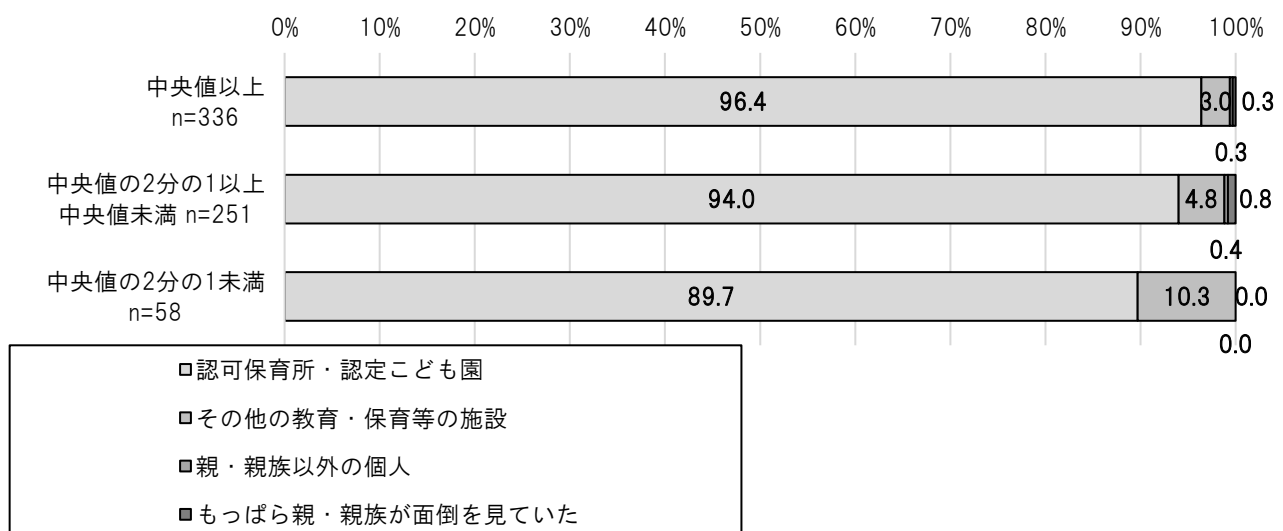


(3)等価世帯収入別・保護者[中学生] (問 13. 子どもが3～5歳で通っていた教育・保育施設等)

子どもが3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等について、等価世帯収入別にみると、中学生では、いずれの水準でも「認可保育所・認定こども園」が96.5%、95.7%、91.6%と最も高くなっています。

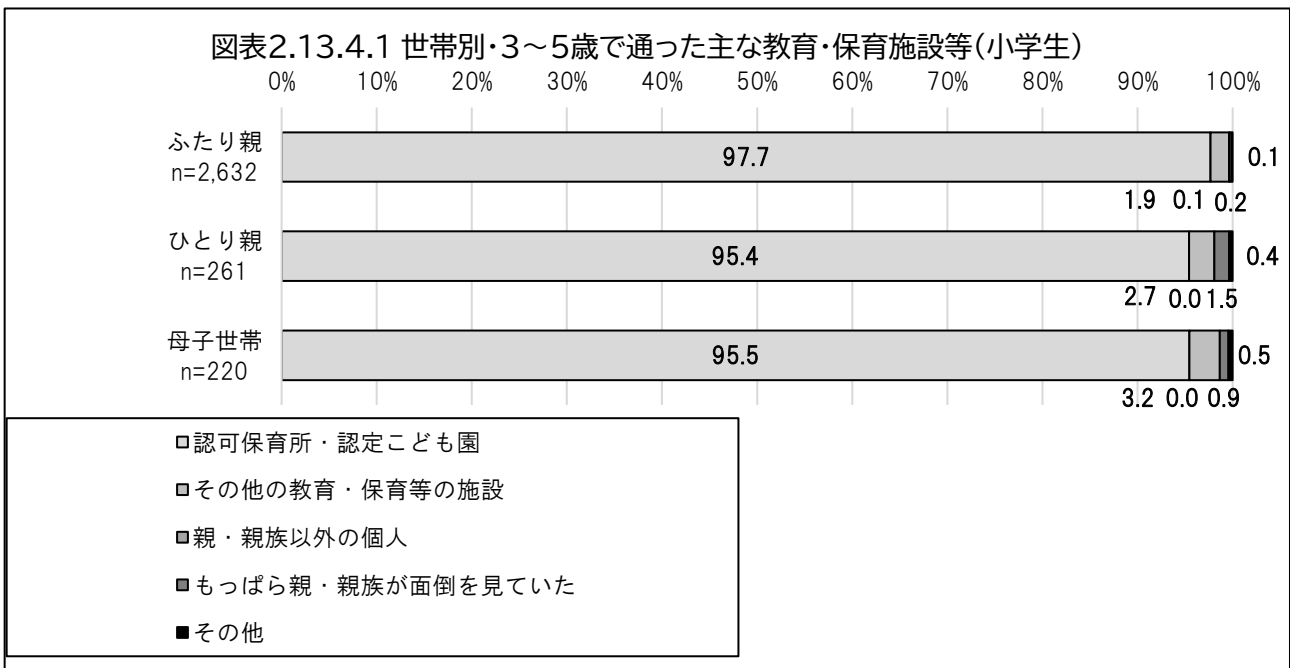


図表2.13.3.2 等価世帯収入別・3～5歳で通った主な教育・保育施設等(中学生)[県調査結果]

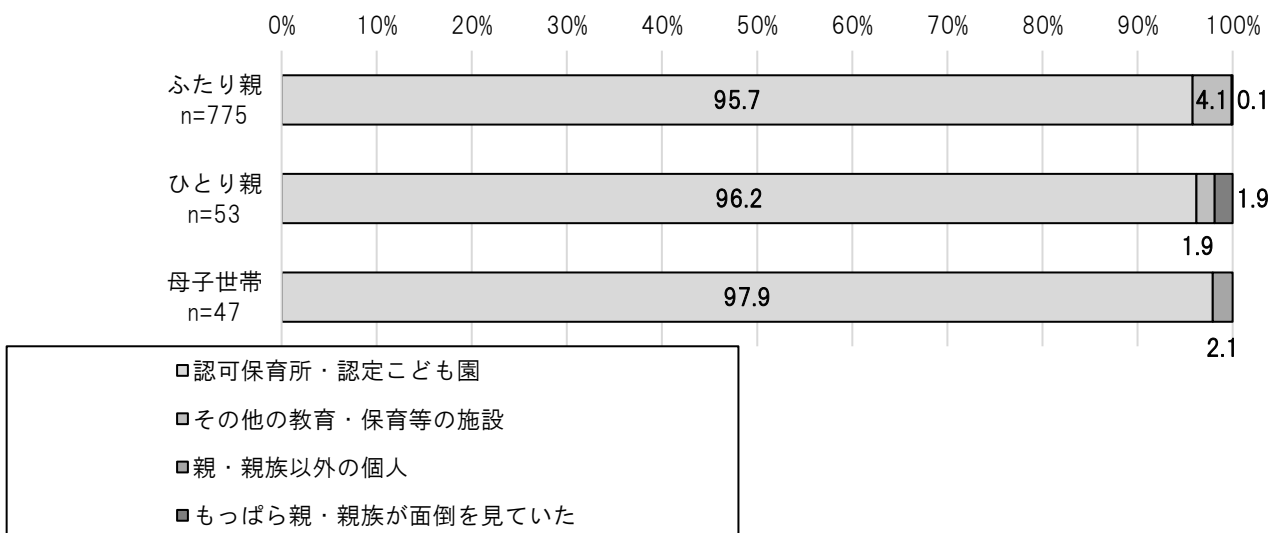


(4)世帯別・保護者[小学生] (問 13. 子どもが3～5歳で通っていた教育・保育施設等)

子どもが3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等について、世帯別にみると、小学生では、いずれの世帯でも「認可保育所・認定こども園」が97.7%、95.4%、95.5%と最も高くなっています。

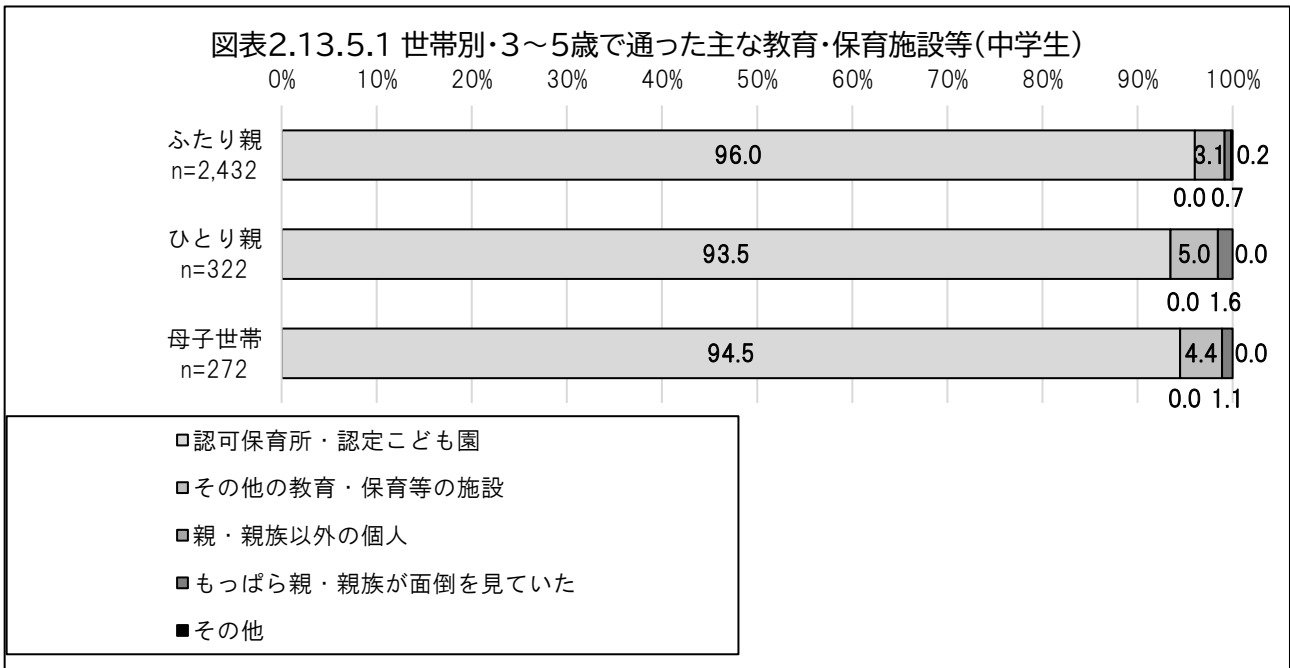


図表2.13.4.2 世帯別・3～5歳で通った主な教育・保育施設等(小学生)[県調査結果]

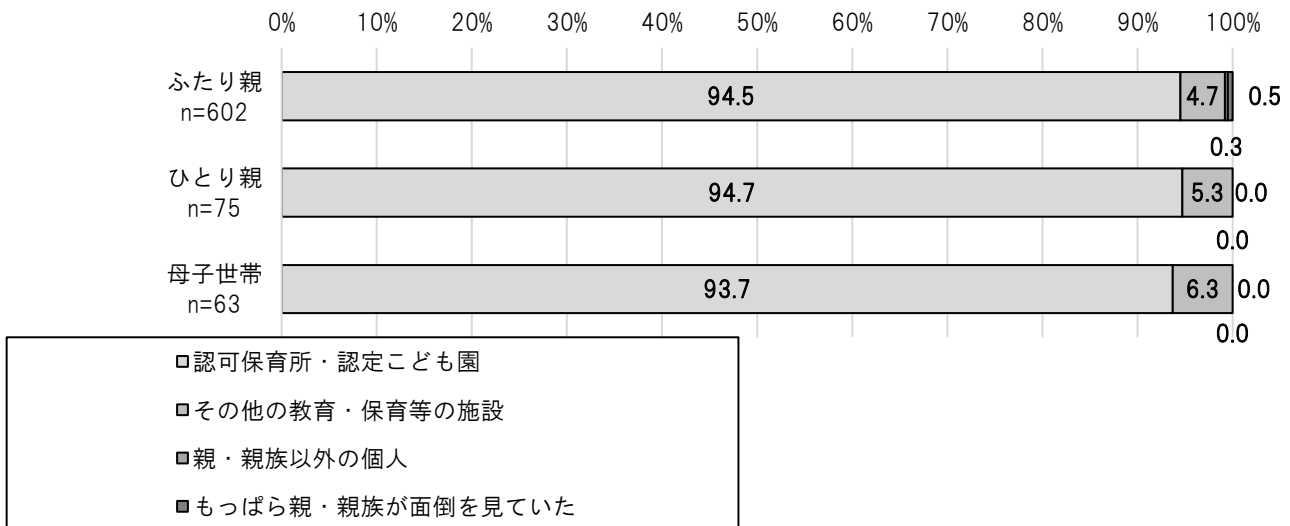


(5)世帯別・保護者[中学生] (問 13. 子どもが3～5歳で通っていた教育・保育施設等)

子どもが3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等について、世帯別にみると、中学生では、いずれの世帯でも「認可保育所・認定こども園」が96.0%、93.5%、94.5%と最も高くなっています。



図表2.13.5.2 世帯別・3～5歳で通った主な教育・保育施設等(中学生)[県調査結果]

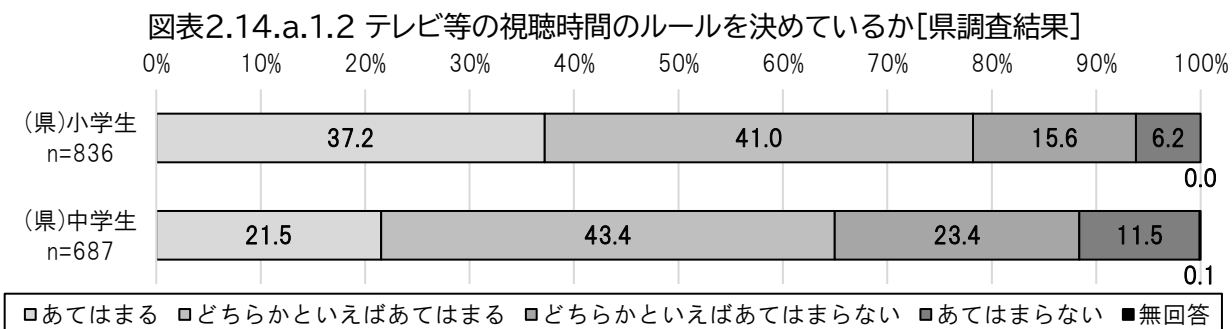
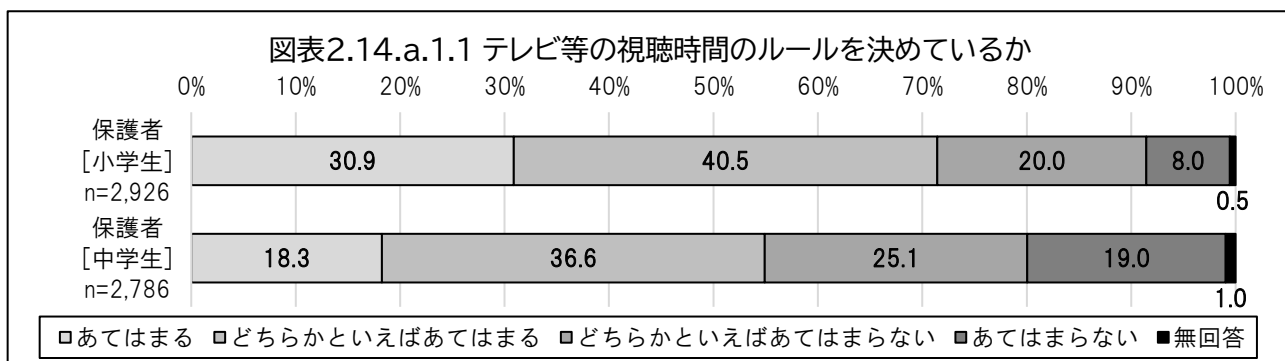


問14. あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらい当てはまりますか。

a) テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている

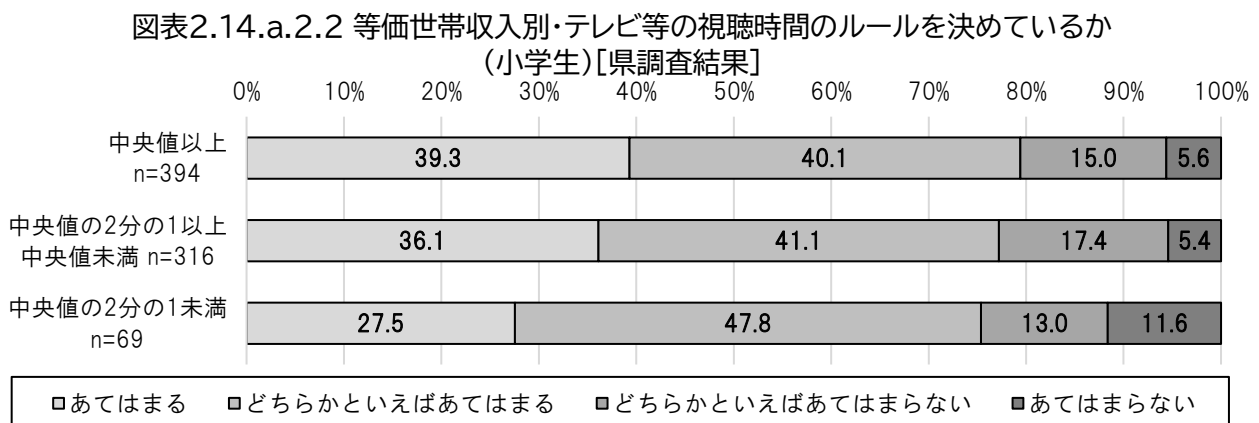
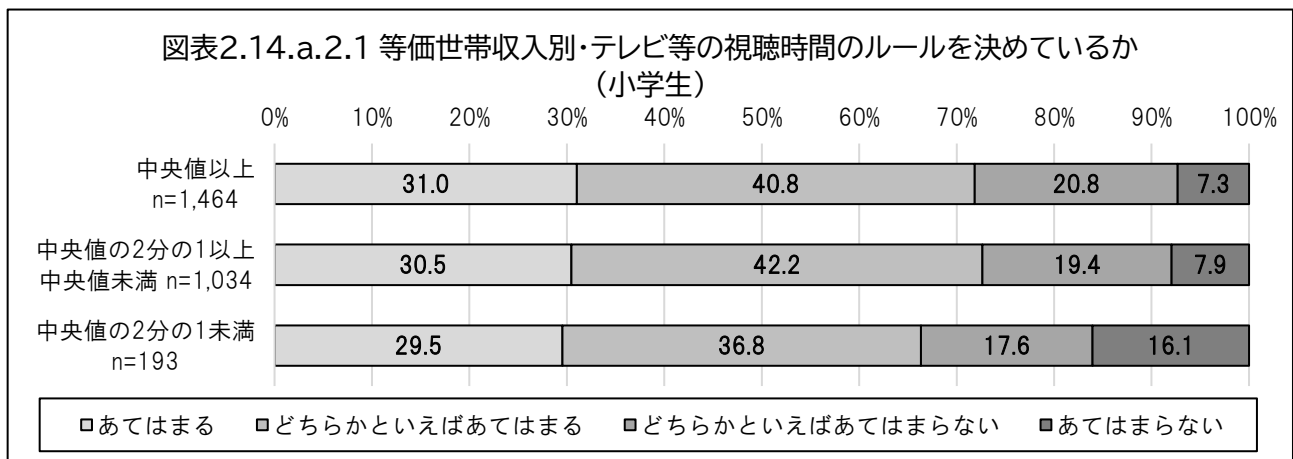
(1)全体

テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールについて決めているかについて、小学生・中学生ともに、「どちらかといえばあてはまる」が40.5%、36.6%と最も高く、次いで小学生では「あてはまる」が30.9%、中学生では「どちらかといえばあてはまらない」が25.1%となっています。また、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の合計は、小学生では71.4%、中学生では54.9%となっています。



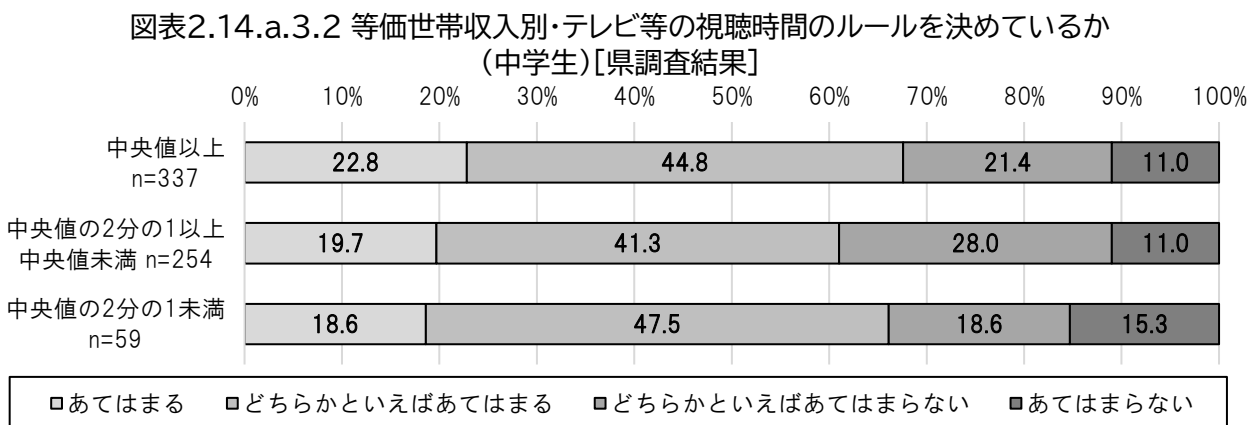
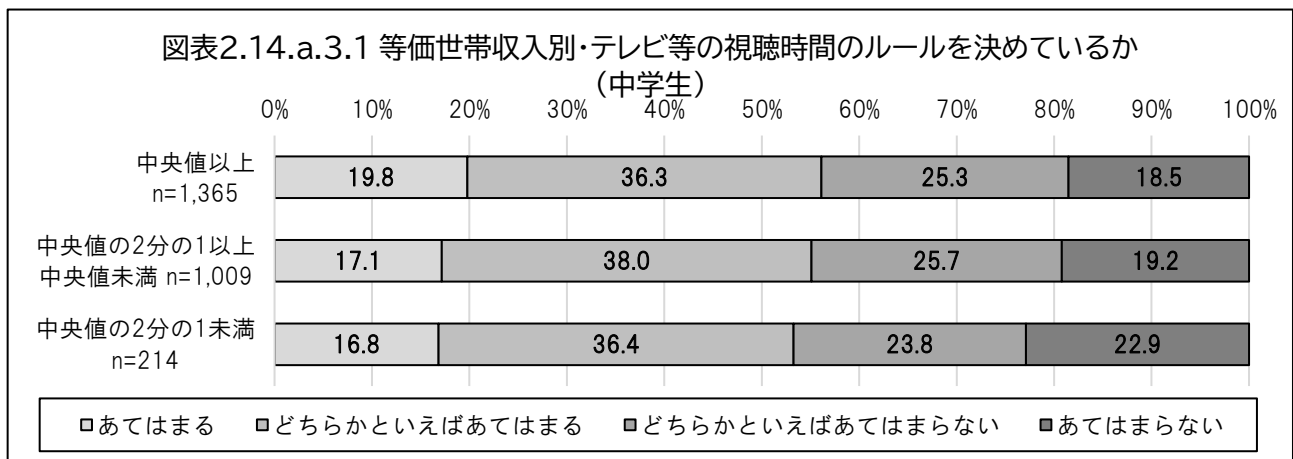
(2)等価世帯収入別・保護者[小学生] (問 14. a テレビなどの視聴時間等のルールについて)

テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールについて決めているかについて、等価世帯収入別にみると、小学生では、いずれの水準においても「どちらかといえばあてはまる」が40.8%、42.2%、36.8%と最も高く、次いで「あてはまる」が31.0%、30.5%、29.5%となっています。また、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の合計は、それぞれ71.8%、72.7%、66.3%となっています。



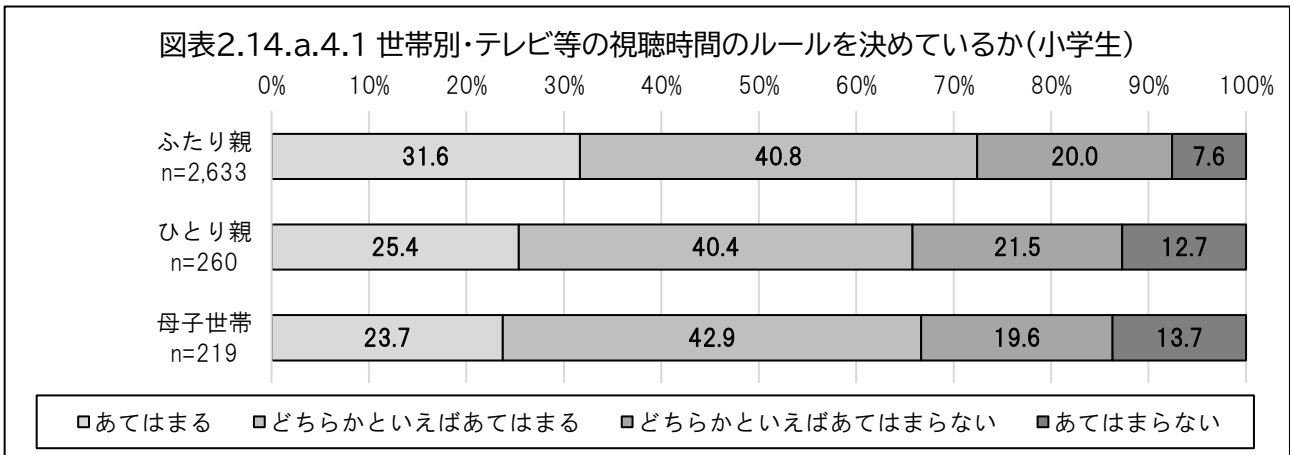
(3)等価世帯収入別・保護者[中学生] (問 14. a テレビなどの視聴時間等のルールについて)

テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールについて決めているかについて、等価世帯収入別にみると、中学生では、いずれの水準においても「どちらかといえばあてはまる」が36.3%、38.0%、36.4%と最も高く、次いで「どちらかといえばあてはまらない」が25.3%、25.7%、23.8%となっています。また、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の合計は、それぞれ56.1%、55.1%、53.2%となっています。



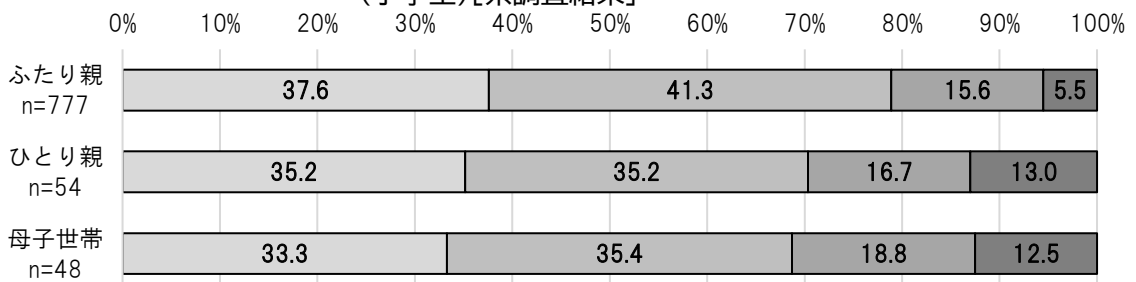
(4)世帯別・保護者[小学生] (問 14. a テレビなどの視聴時間等のルールについて)

テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールについて決めているかについて、世帯別にみると、小学生では、いずれの世帯においても「どちらかといえばあてはまる」が40.8%、40.4%、42.9%と最も高く、次いで「あてはまる」が31.6%、25.4%、23.7%となっています。また、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の合計は、それぞれ72.4%、65.8%、66.6%となっています。



□あてはまる □どちらかといえばあてはまる □どちらかといえばあてはまらない ■あてはまらない

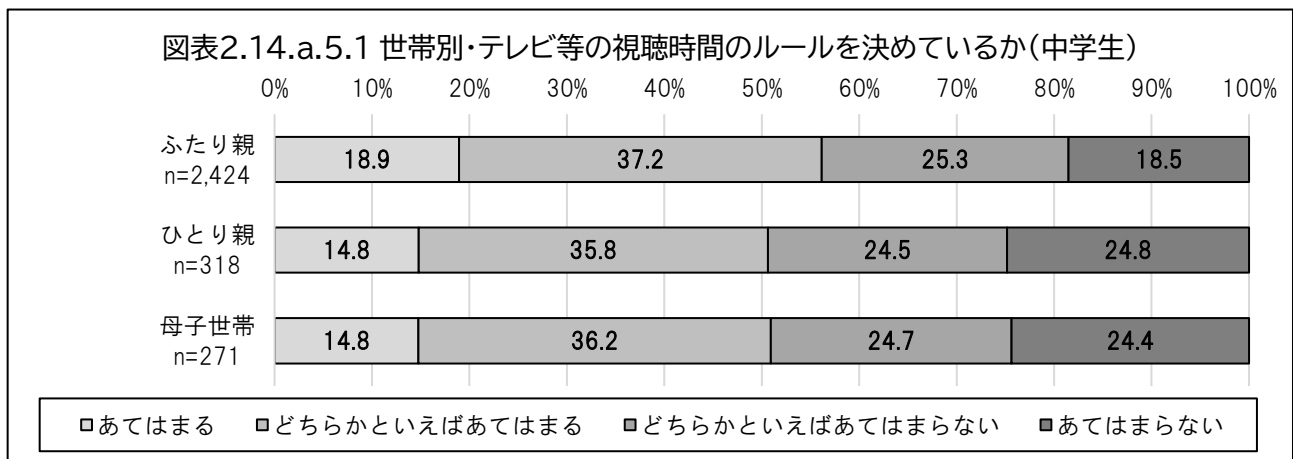
図表2.14.a.4.2 世帯別・テレビ等の視聴時間のルールを決めているか(小学生)[県調査結果]



□あてはまる □どちらかといえばあてはまる □どちらかといえばあてはまらない ■あてはまらない

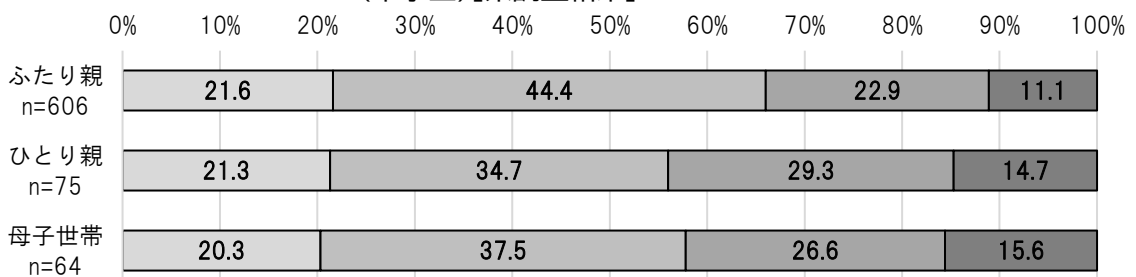
(5)世帯別・保護者[中学生] (問 14. a テレビなどの視聴時間等のルールについて)

テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールについて決めているかについて、世帯別にみると、中学生では、いずれの世帯においても「どちらかといえばあてはまる」が37.2%、35.8%、36.2%と最も高く、次いでふたり親世帯および母子世帯では、「どちらかといえばあてはまらない」が、25.3%、24.7%、ひとり親世帯では、「あてはまらない」が24.8%となっています。また、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の合計は、それぞれ56.1%、50.6%、51.0%となっています。



□あてはまる □どちらかといえばあてはまる □どちらかといえばあてはまらない ■あてはまらない

図表2.14.a.5.2 世帯別・テレビ等の視聴時間のルールを決めているか(中学生)[県調査結果]

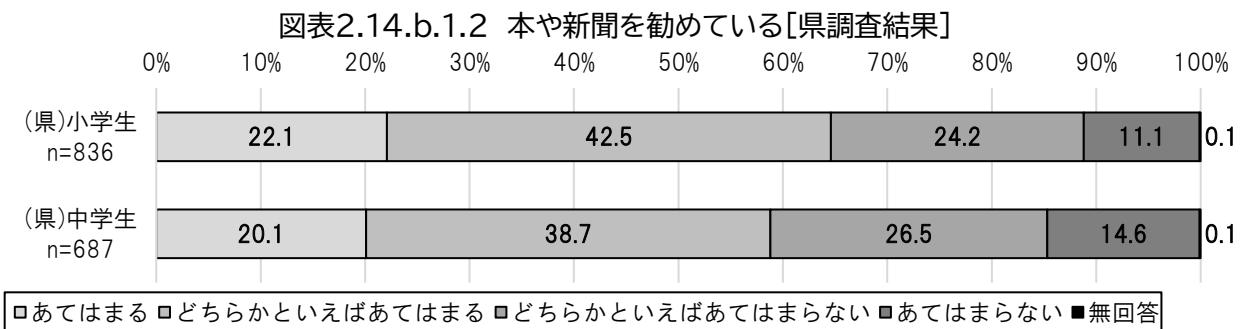
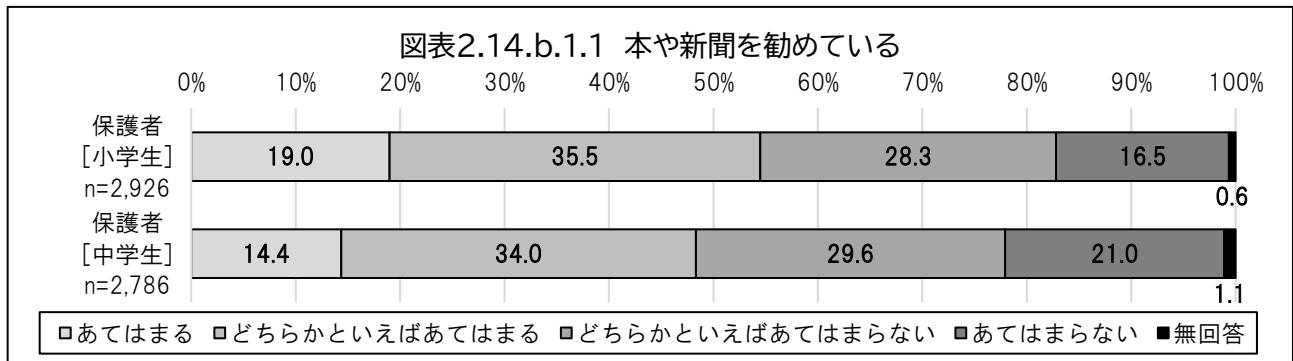


□あてはまる □どちらかといえばあてはまる □どちらかといえばあてはまらない ■あてはまらない

b) お子さんに本や新聞を読むように勧めている

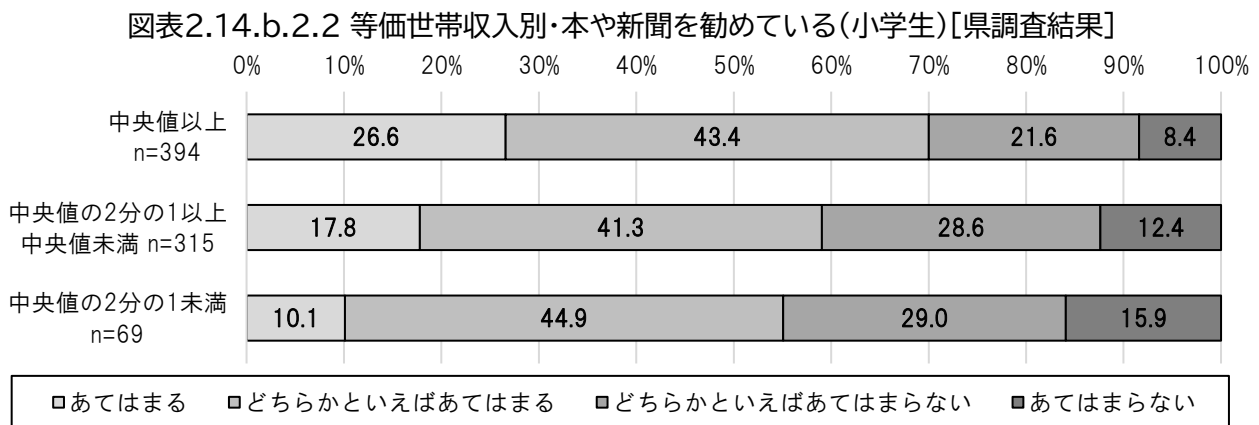
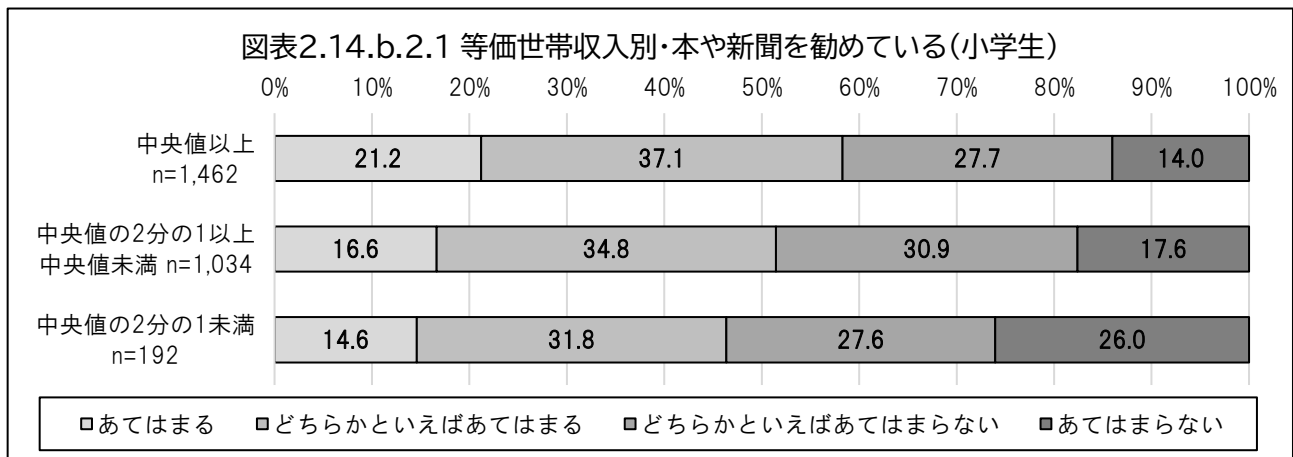
(1)全体

子どもに本や新聞を読むように勧めているかについて、小学生・中学生ともに、「どちらかといえばあてはまる」が35.5%、34.0%、次いで「どちらかといえばあてはまらない」が28.3%、29.6%となっています。また、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の合計は、小学生では54.5%、中学生では48.4%となっています。



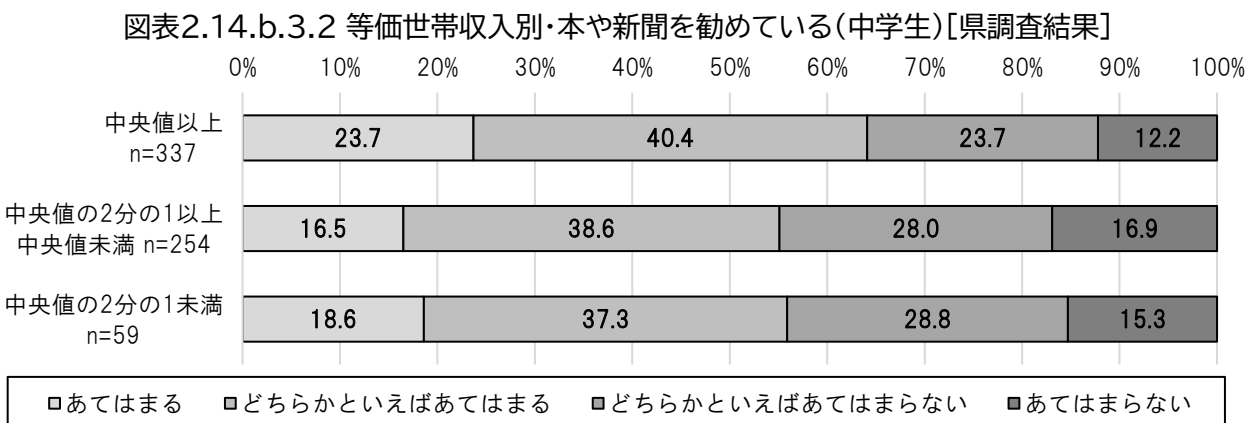
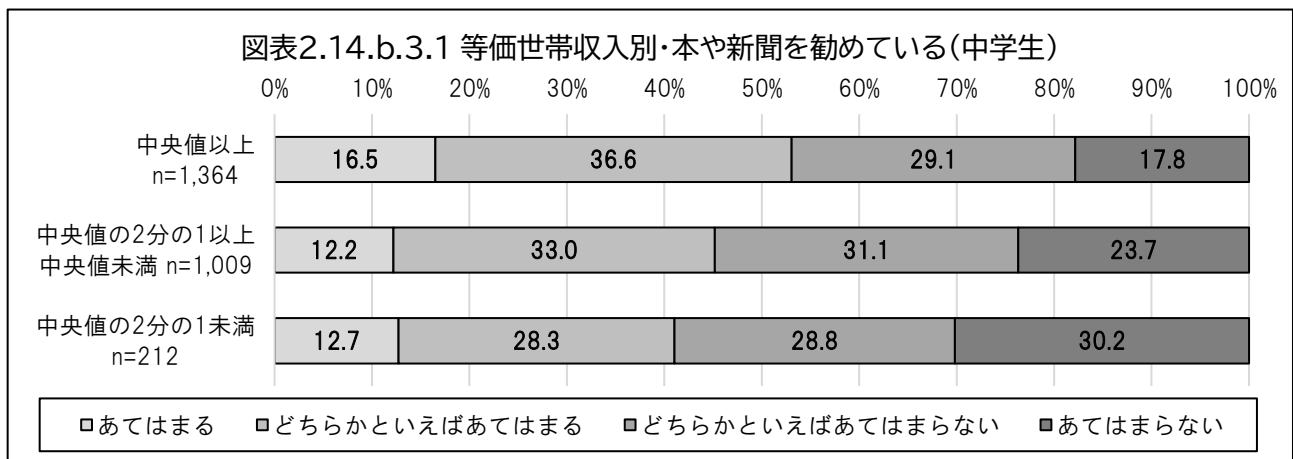
(2)等価世帯収入別・保護者[小学生] (問 14. b 子どもに本や新聞を勧めている)

子どもに本や新聞を読むように勧めているかについて、等価世帯収入別にみると、小学生では、いずれの水準においても「どちらかといえばあてはまる」が37.1%、34.8%、31.8%と最も高く、次いで「どちらかといえばあてはまらない」が27.7%、30.9%、27.6%となっています。また、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の合計は、それぞれ58.3%、51.4%、46.4%となっています。



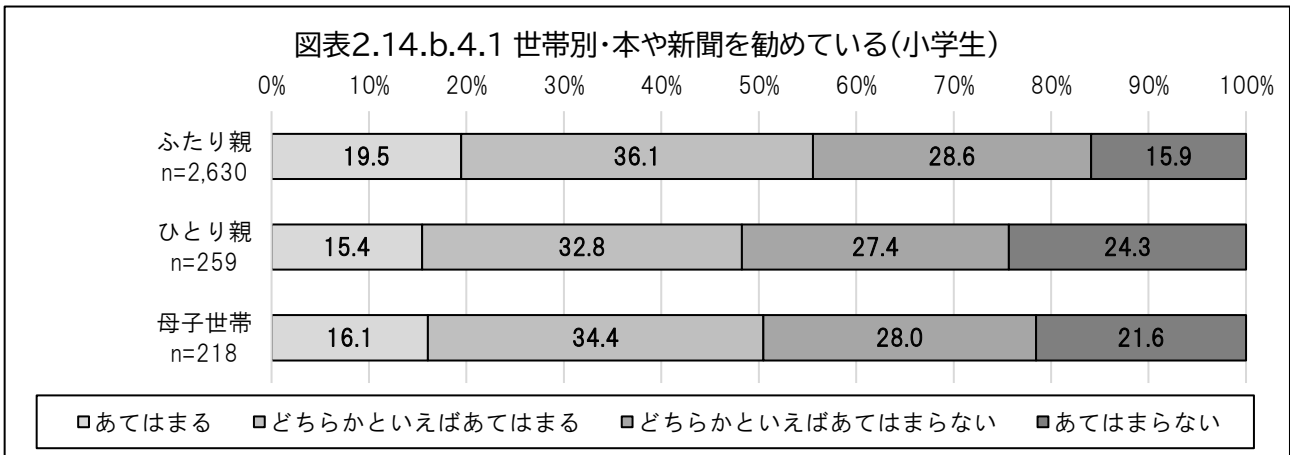
(3)等価世帯収入別・保護者[中学生] (問 14. b 子どもに本や新聞を勧めている)

子どもに本や新聞を読むように勧めているかについて、等価世帯収入別にみると、中学生では、「中央値以上」および「中央値の2分の1以上中央値未満」の水準において「どちらかといえばあてはまる」が36.6%、33.0%、「中央値の2分の1未満」の水準では「あてはまらない」が30.2%と最も高くなっています。また、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の合計は、それぞれ53.1%、45.2%、41.0%となっています。



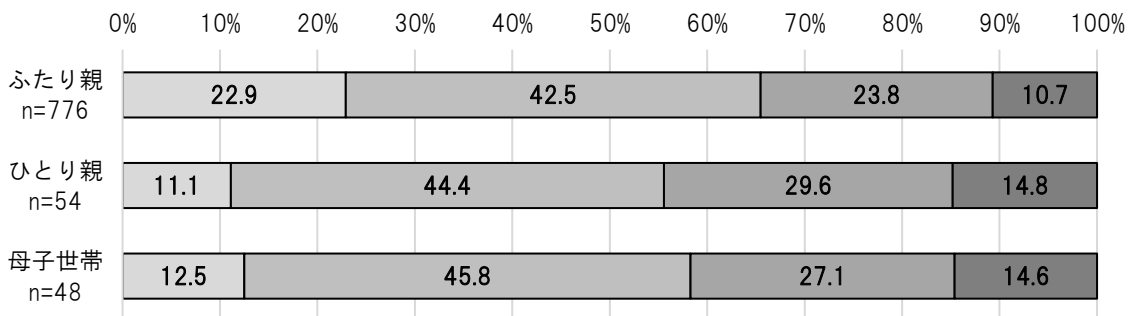
(4)世帯別・保護者[小学生] (問 14. b 子どもに本や新聞を勧めている)

子どもに本や新聞を読むように勧めているかについて、世帯別にみると、小学生では、いずれの世帯においても「どちらかといえばあてはまる」が36.1%、32.8%、34.4%と最も高くなっています。また、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の合計は、それぞれ55.6%、48.2%、50.5%となっています。



□あてはまる □どちらかといえばあてはまる □どちらかといえばあてはまらない ■あてはまらない

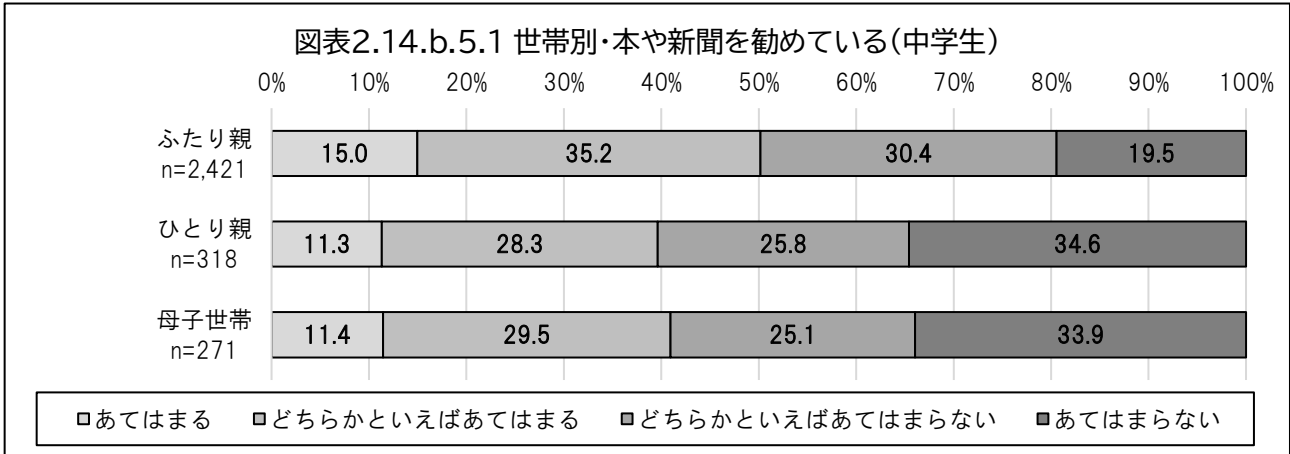
図表2.14.b.4.2 世帯別・本や新聞を勧めている(小学生)[県調査結果]



□あてはまる □どちらかといえばあてはまる □どちらかといえばあてはまらない ■あてはまらない

(5)世帯別・保護者[中学生] (問 14. b 子どもに本や新聞を勧めている)

子どもに本や新聞を読むように勧めているかについて、世帯別にみると、中学生では、ふたり親世帯においては「どちらかといえばあてはまる」が35.2%、ひとり親世帯および母子世帯においては、「あてはまらない」が34.6%、33.9%と最も高くなっています。また、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の合計は、それぞれ50.2%、39.6%、40.9%となっています。



□あてはまる □どちらかといえばあてはまる □どちらかといえばあてはまらない ■あてはまらない

図表2.14.b.5.2 世帯別・本や新聞を勧めている(中学生)[県調査結果]

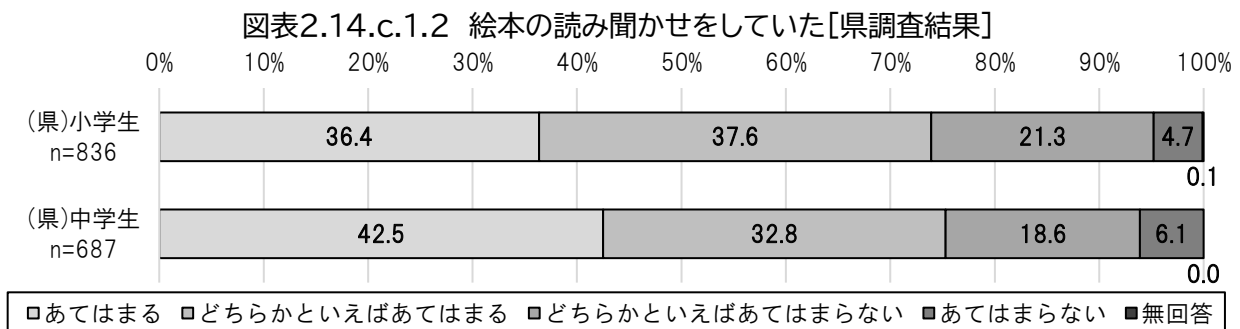
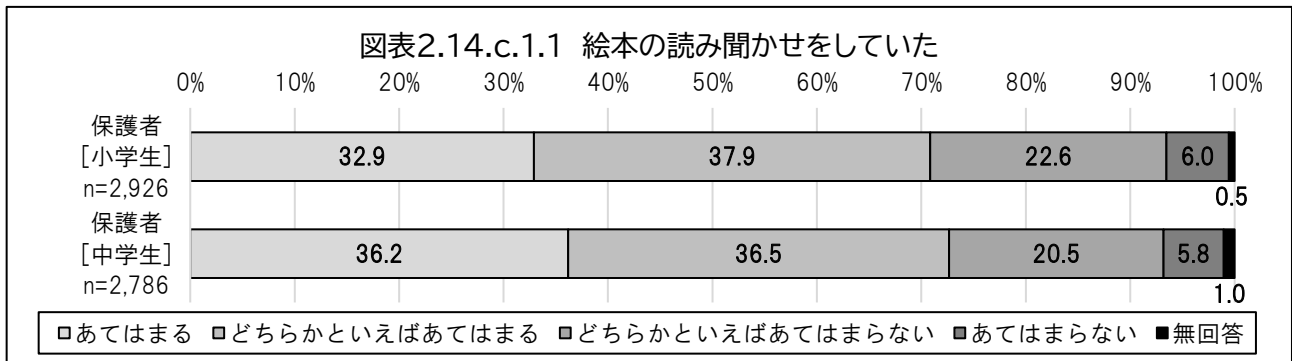


□あてはまる □どちらかといえばあてはまる □どちらかといえばあてはまらない ■あてはまらない

c) お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた

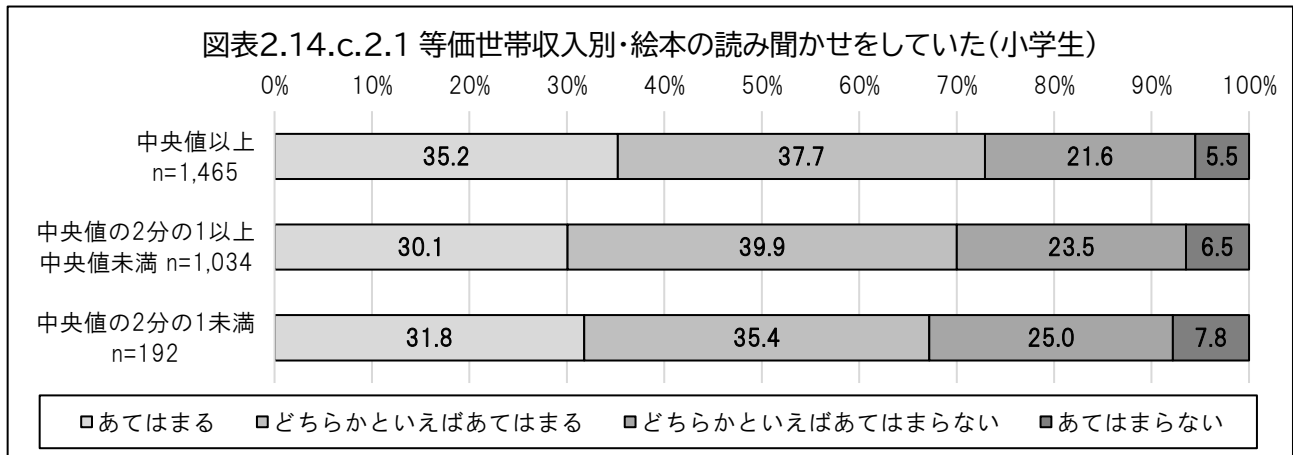
(1)全体

子どもに絵本の読み聞かせをしていたかについて、小学生・中学生ともに、「どちらかといえばあてはまる」がそれぞれ37.9%、36.5%、次いで「あてはまる」がそれぞれ32.9%、36.2%、次いで「どちらかといえばあてはまらない」がそれぞれ22.6%、20.5%となっています。また、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の合計は、小学生では70.8%、中学生では72.7%となっています。



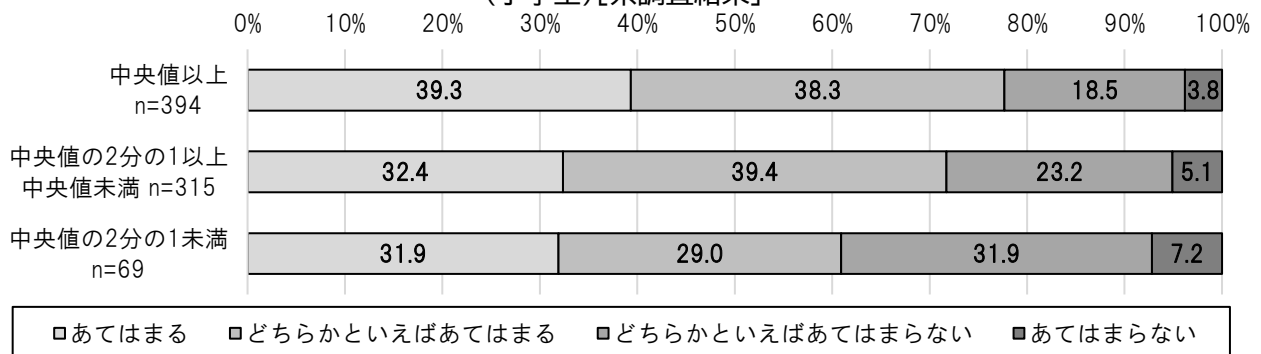
(2)等価世帯収入別・保護者[小学生] (問 14.c 子どもに絵本を読み聞かせていた)

子どもに絵本の読み聞かせをしていたかについて、等価世帯収入別にみると、小学生では、いずれの水準においても「どちらかといえばあてはまる」が37.7%、39.9%、35.4%と最も高くなっています。また、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の合計は、それぞれ72.9%、70.0%、67.2%となっています。



□あてはまる □どちらかといえばあてはまる □どちらかといえばあてはまらない ■あてはまらない

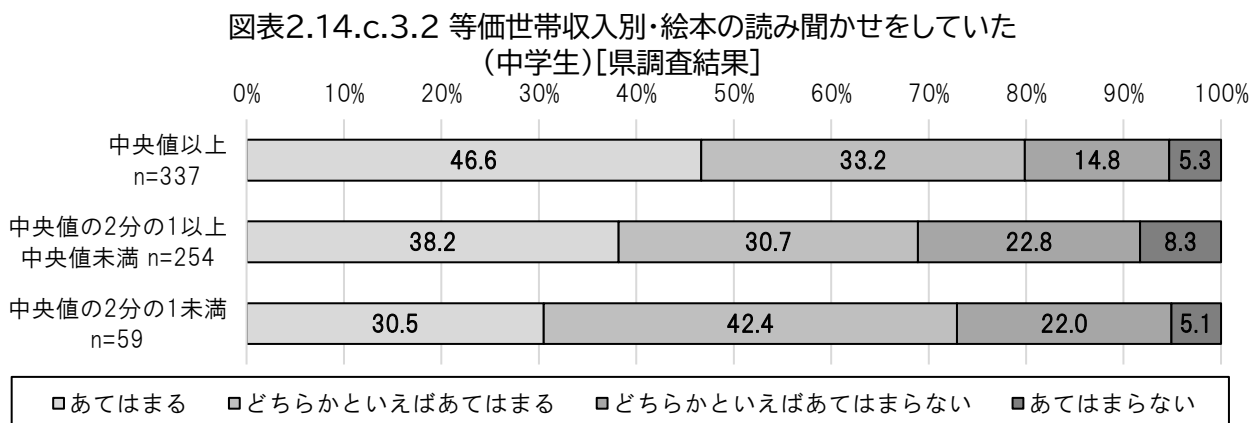
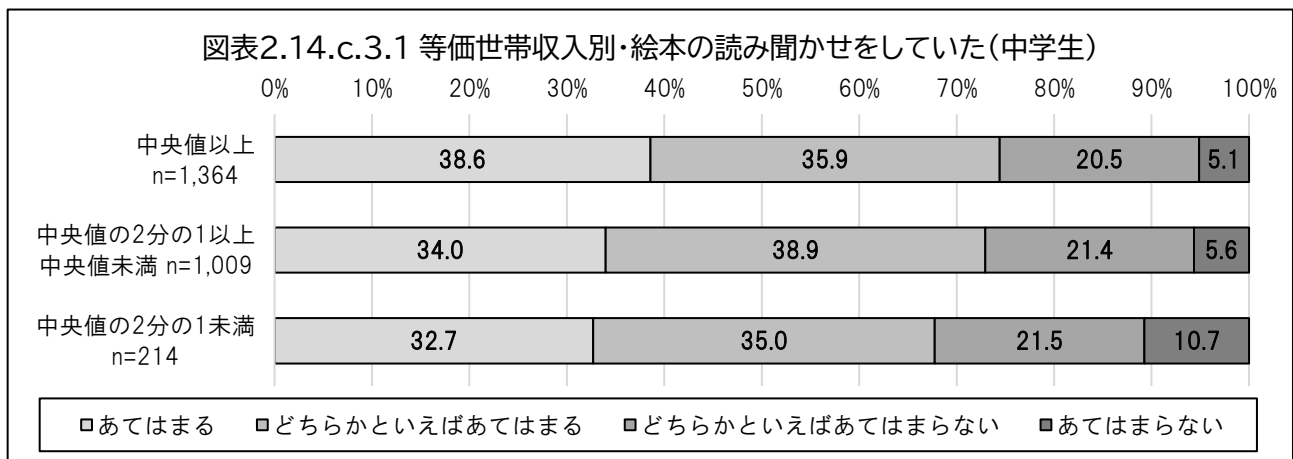
図表2.14.c.2.2 等価世帯収入別・絵本の読み聞かせをしていた(小学生)[県調査結果]



□あてはまる □どちらかといえばあてはまる □どちらかといえばあてはまらない ■あてはまらない

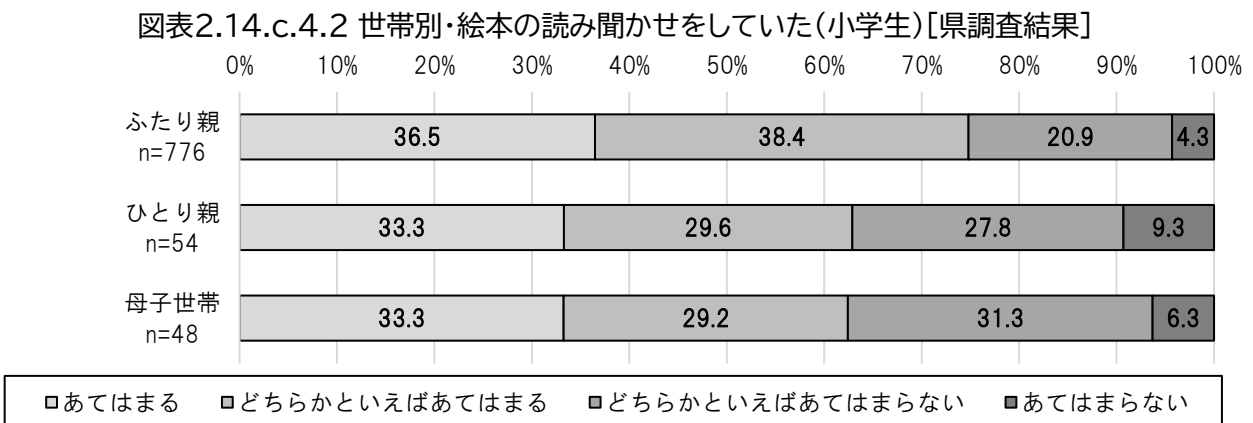
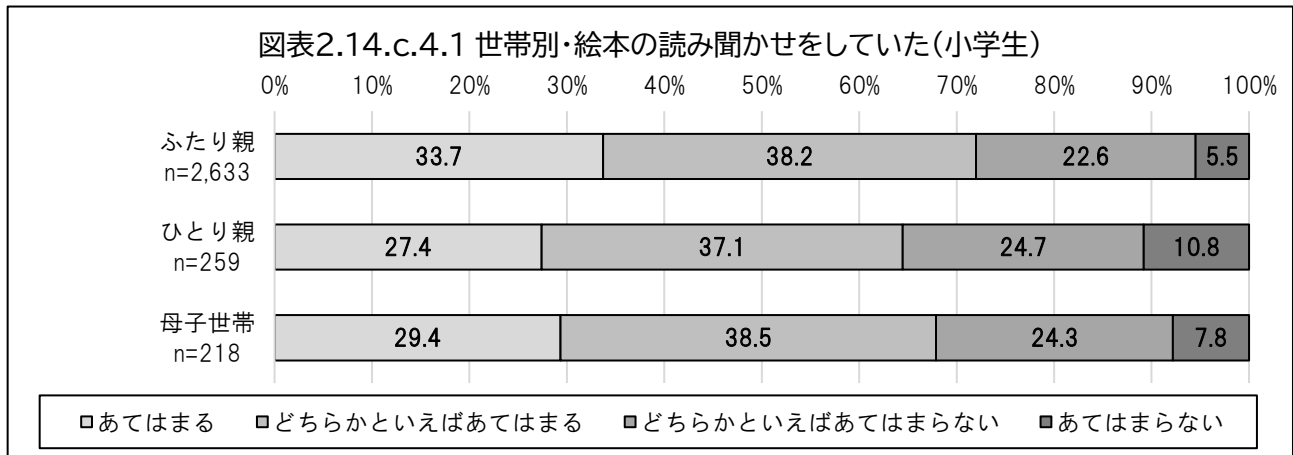
(3)等価世帯収入別・保護者[中学生] (問 14.c 子どもに絵本を読み聞かせていた)

子どもに絵本の読み聞かせをしていたかについて、等価世帯収入別にみると、中学生では、「中央値以上」では「あてはまる」が38.6%、「中央値の2分の1以上中央値未満」および「中央値の2分の1未満」の水準においては「どちらかといえばあてはまる」が38.9%、35.0%と最も高くなっています。また、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の合計は、それぞれ74.5%、72.9%、67.7%となっています。



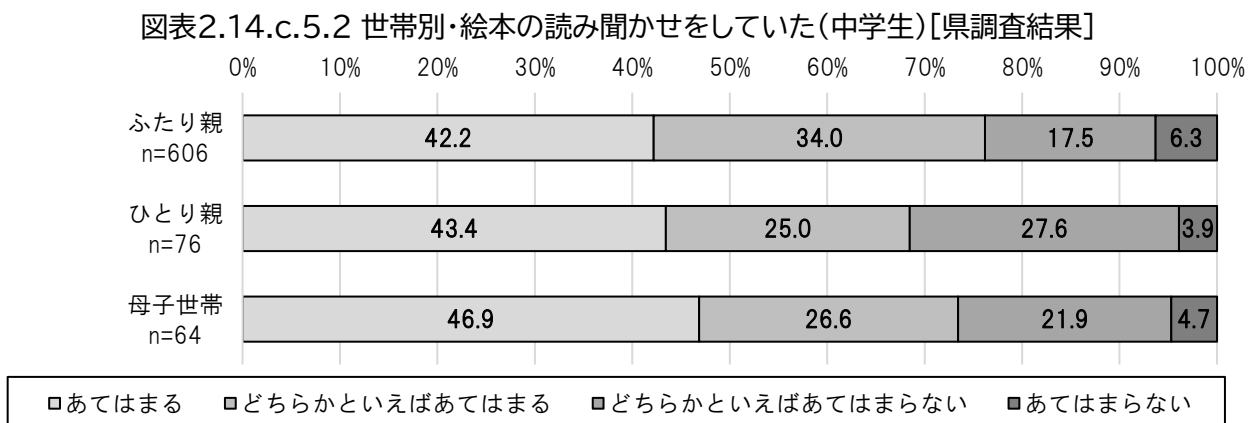
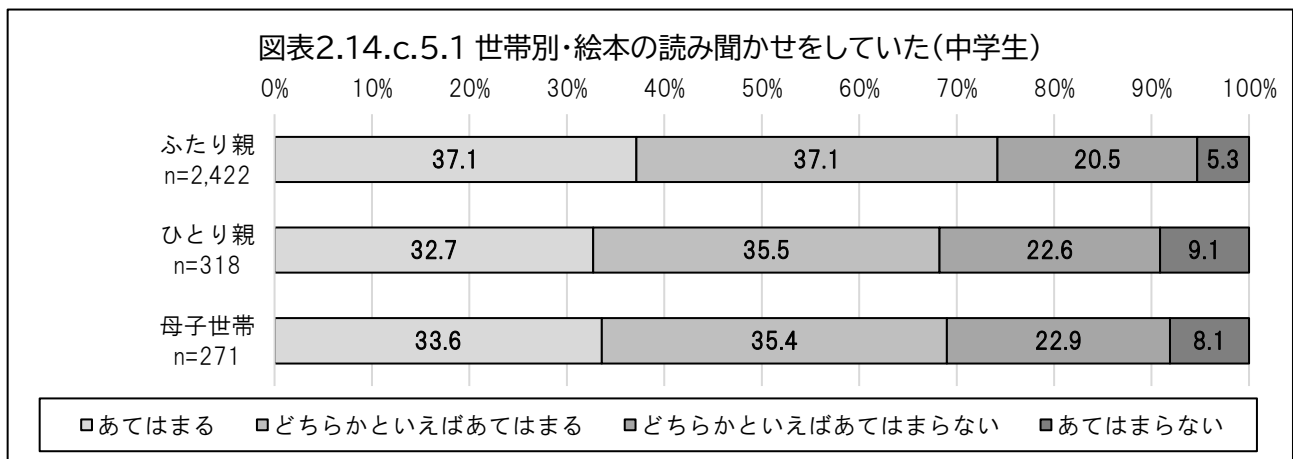
(4)世帯別・保護者[小学生] (問 14.c 子どもに絵本を読み聞かせていた)

子どもに絵本の読み聞かせをしていたかについて、世帯別にみると、小学生では、いずれの世帯においても「どちらかといえばあてはまる」が38.2%、37.1%、38.5%と最も高くなっています。また、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の合計は、それぞれ71.9%、64.5%、67.9%となっています。



(5)世帯別・保護者[中学生] (問 14.c 子どもに絵本を読み聞かせていた)

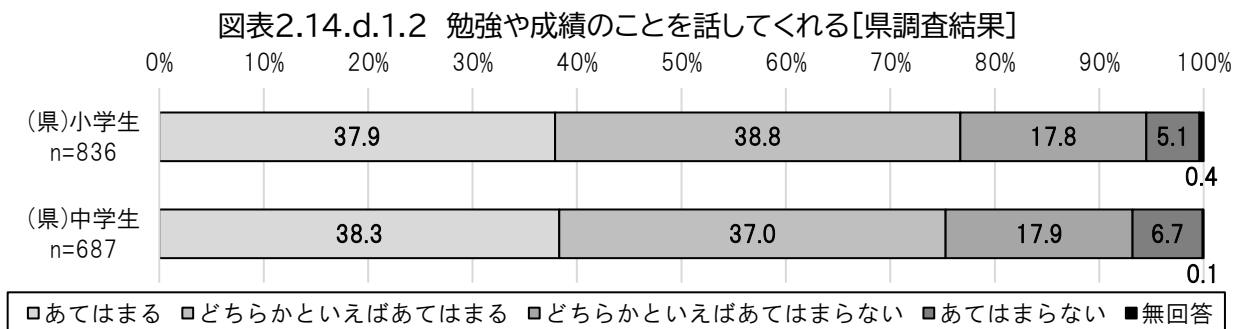
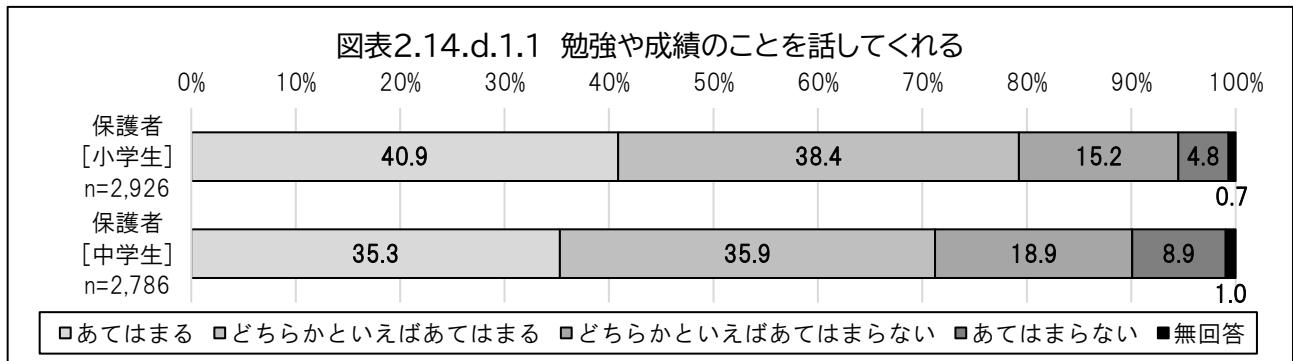
子どもに絵本の読み聞かせをしていたかについて、世帯別にみると、中学生では、ふたり親世帯において「あてはまる」および「どちらかといえばあてはまる」がともに37.1%、ひとり親世帯および母子世帯においては「どちらかといえばあてはまる」が35.5%、35.4%と最も高くなっています。また、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の合計は、それぞれ74.2%、68.2%、69.0%となっています。



d) お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる

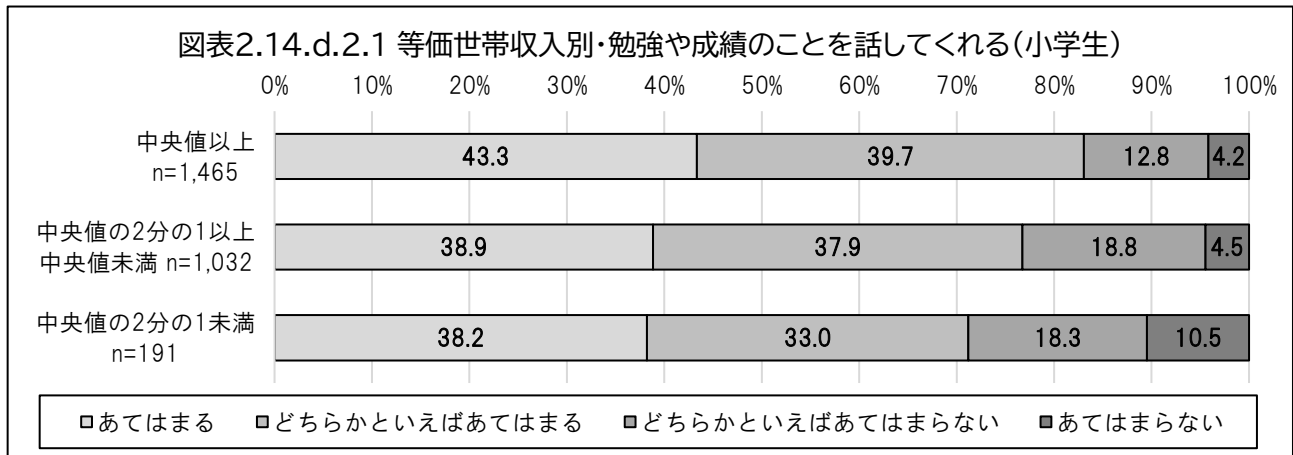
(1)全体

子どもから勉強や成績のことについて話をしてくれるかについて、小学生では、「あてはまる」が40.9%、「どちらかといえばあてはまる」が38.4%、中学生では、「どちらかといえばあてはまる」が35.9%、「あてはまる」が35.3%となっています。また、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の合計は、小学生では79.3%、中学生では71.2%となっています。



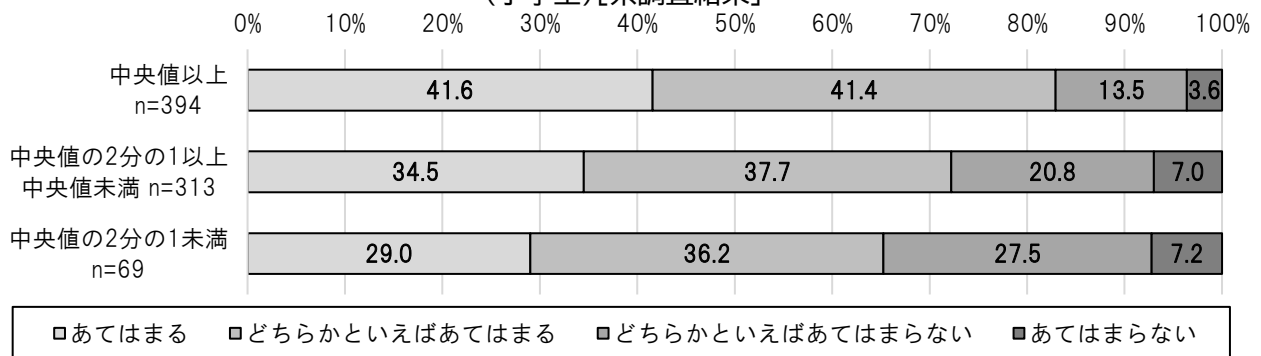
(2)等価世帯収入別・保護者[小学生] (問 14. d 勉強や成績について話してくれる)

子どもから勉強や成績のことについて話をしてくれるかについて、等価世帯収入別にみると、小学生では、いずれの水準においても「あてはまる」が43.3%、38.9%、38.2%と最も高くなっています。また、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の合計は、それぞれ83.0%、76.8%、71.2%となっています。



□あてはまる □どちらかといえばあてはまる □どちらかといえばあてはまらない ■あてはまらない

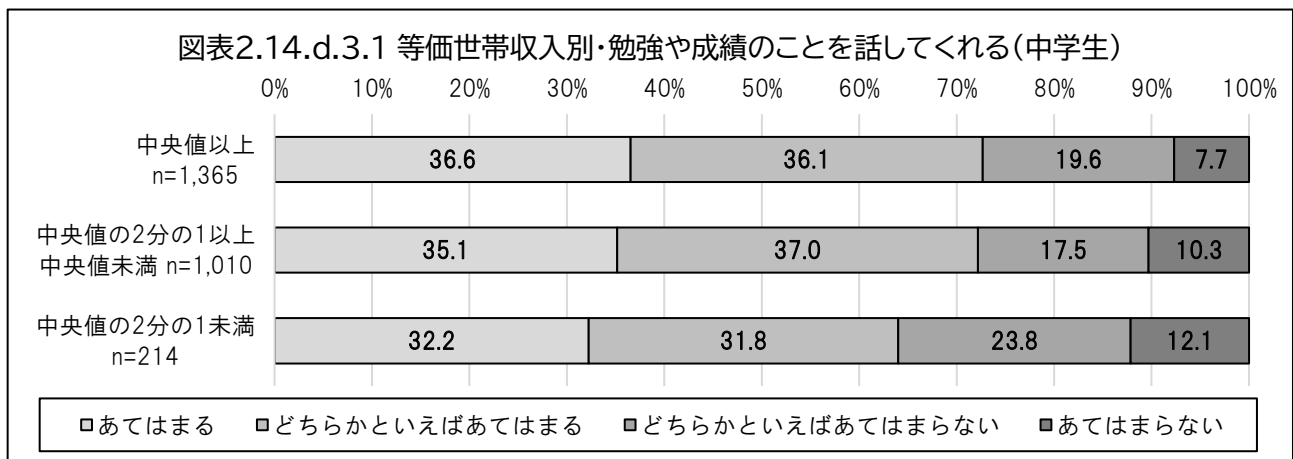
図表2.14.d.2.2 等価世帯収入別勉強や成績のことを話してくれる(小学生)[県調査結果]



□あてはまる □どちらかといえばあてはまる □どちらかといえばあてはまらない ■あてはまらない

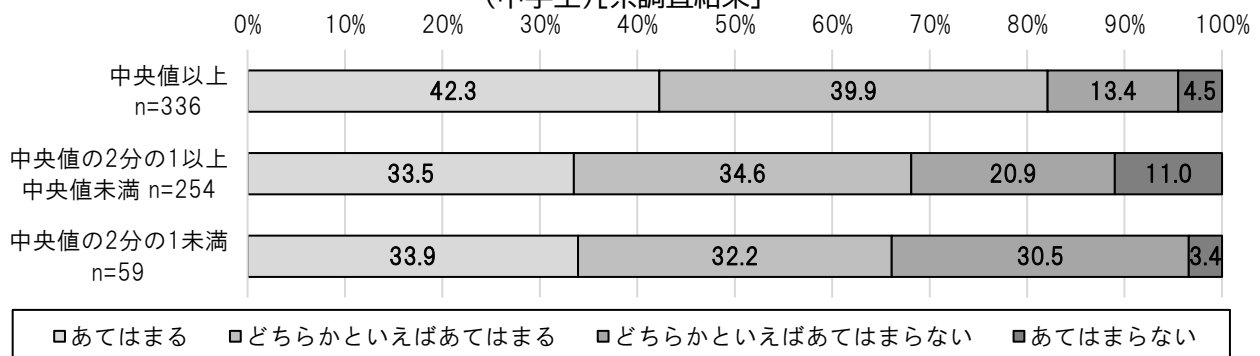
(3)等価世帯収入別・保護者[中学生] (問 14. d 勉強や成績について話してくれる)

子どもから勉強や成績のことについて話をしてくれるかについて、等価世帯収入別にみると、中学生では、「中央値以上」および「中央値の2分の1未満」の水準においては「あてはまる」が36.6%、32.2%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の水準では「どちらかといえばあてはまる」が37.0%と最も高くなっています。また、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の合計は、それぞれ72.7%、72.1%、64.0%となっています。



□あてはまる □どちらかといえばあてはまる □どちらかといえばあてはまらない ■あてはまらない

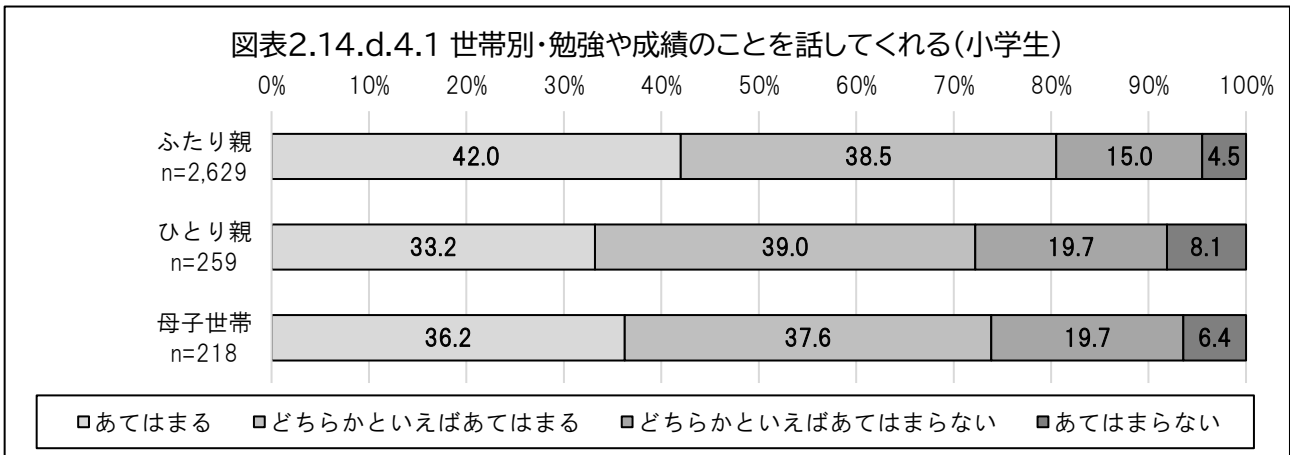
図表2.14.d.3.2 等価世帯収入別・勉強や成績のことを話してくれる
(中学生)[県調査結果]



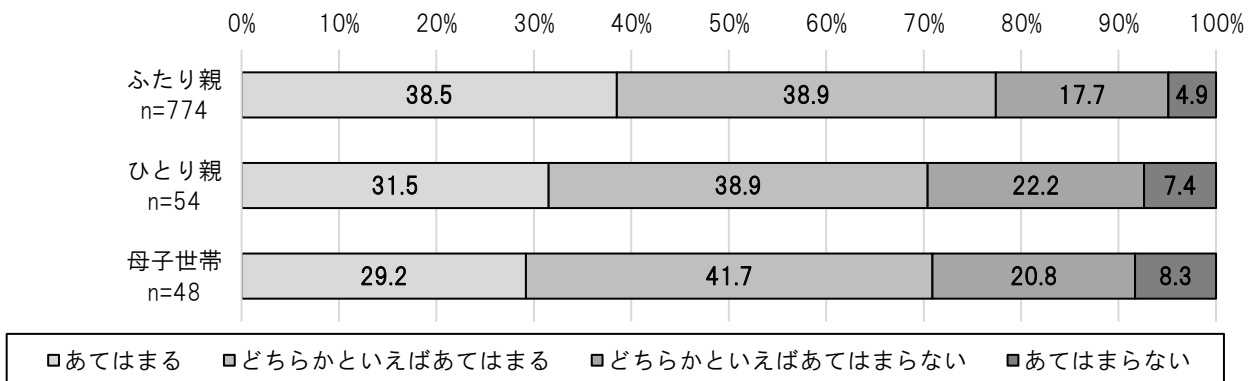
□あてはまる □どちらかといえばあてはまる □どちらかといえばあてはまらない ■あてはまらない

(4)世帯別・保護者[小学生] (問 14.d 勉強や成績について話してくれる)

子どもから勉強や成績のことについて話をしてくれるかについて、世帯別にみると、小学生では、ふたり親世帯においては「あてはまる」が42.0%、ひとり親世帯および母子世帯では「どちらかといえばあてはまる」が39.0%、37.6%と最も高くなっています。また、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の合計は、それぞれ80.5%、72.2%、73.8%となっています。

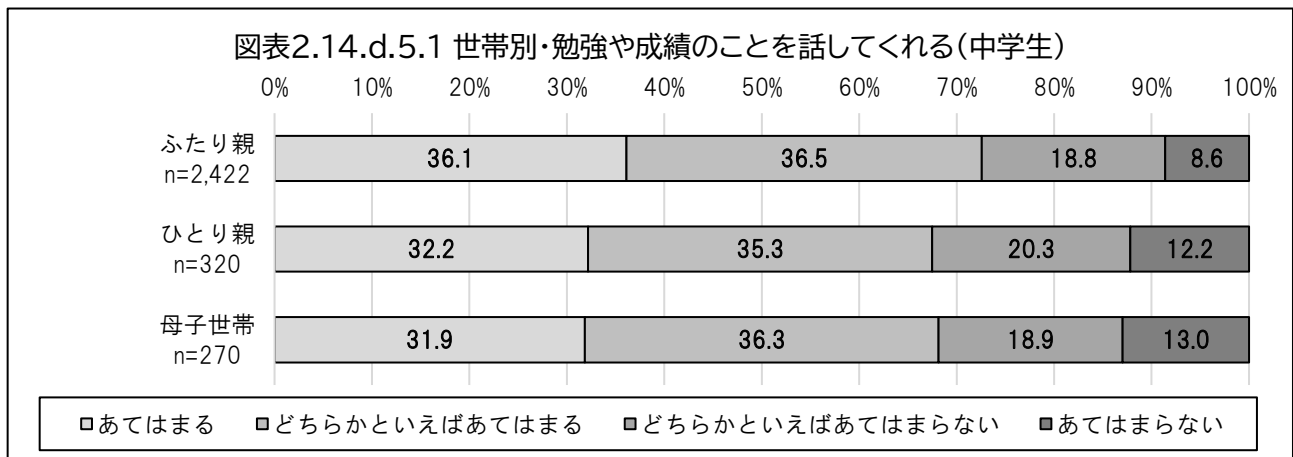


図表2.14.d.4.2 世帯別・勉強や成績のことを話してくれる(小学生)[県調査結果]

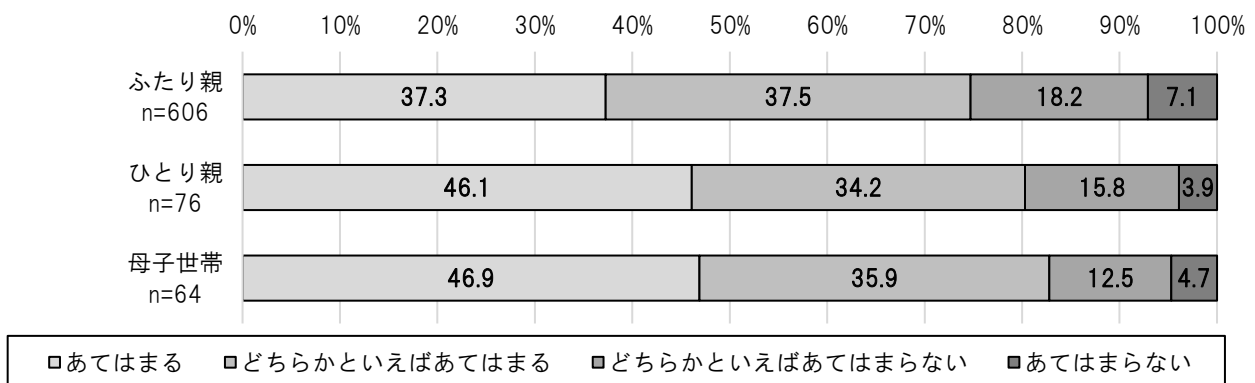


(5)世帯別・保護者[中学生] (問 14.d 勉強や成績について話してくれる)

子どもから勉強や成績のことについて話をしてくれるかについて、世帯別にみると、中学生では、いずれの世帯においても「どちらかといえばあてはまる」が36.5%、35.3%、36.3%と最も高くなっています。また、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の合計は、それぞれ72.6%、67.5%、68.2%となっています。



図表2.14.d.5.2 世帯別・勉強や成績のことを話してくれる(中学生)[県調査結果]

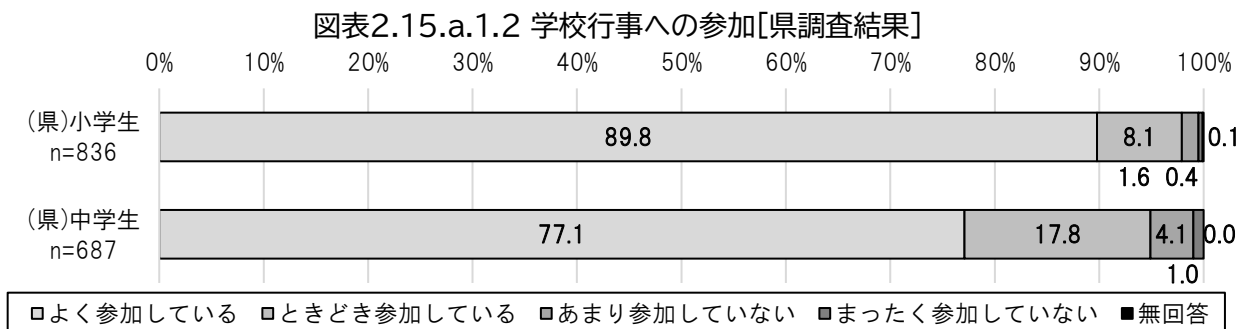
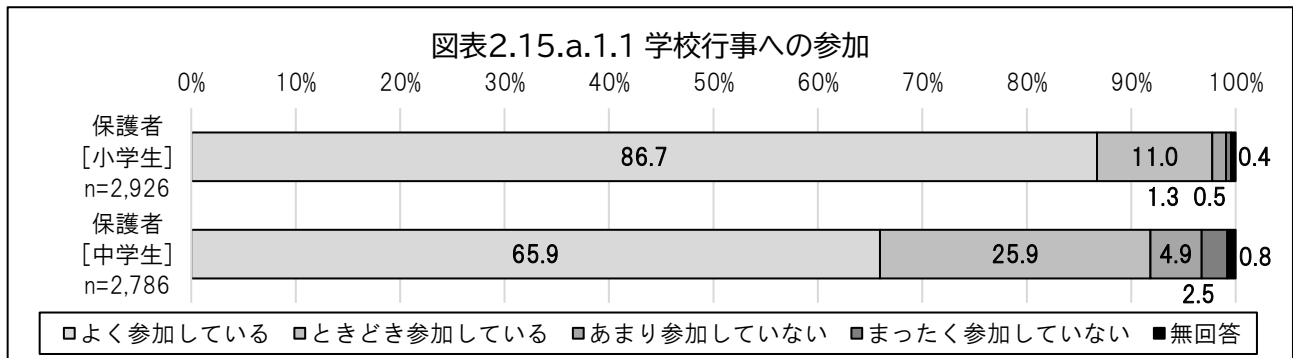


問15. あなたは、次のようなことをどの程度していますか。

a) 授業参観や運動会などの学校行事への参加

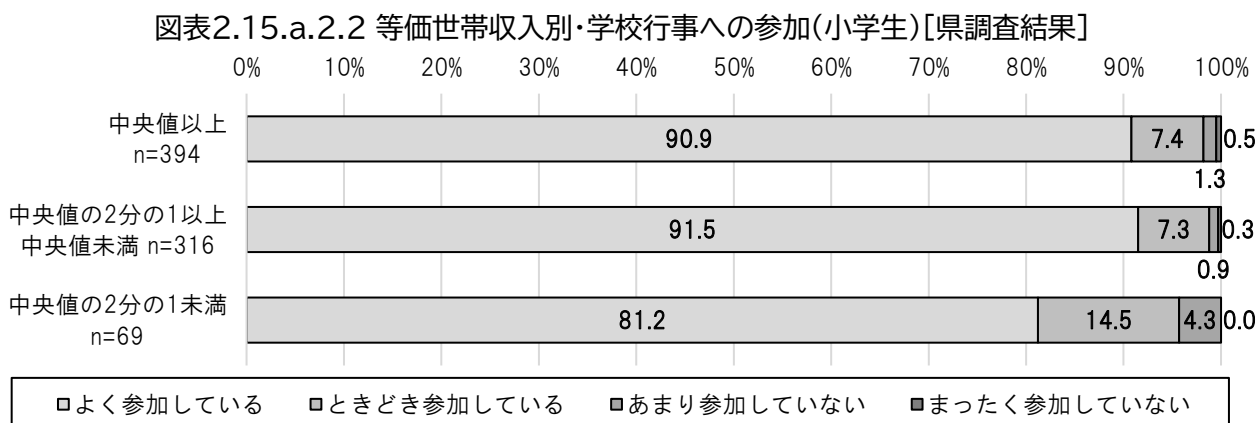
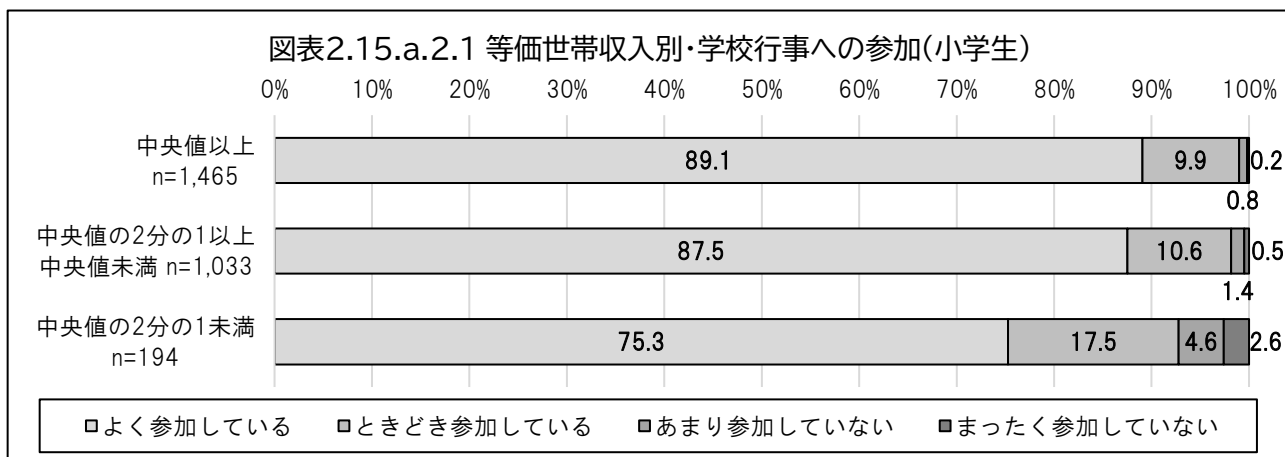
(1)全体

授業参観や運動会などの学校行事への参加について、小学生・中学生ともに、「よく参加している」が86.7%、65.9%と最も高く、次いで「ときどき参加している」が11.0%、25.9%となっています。また、「よく参加している」と「ときどき参加している」の合計は、小学生では97.7%、中学生では91.8%となっています。



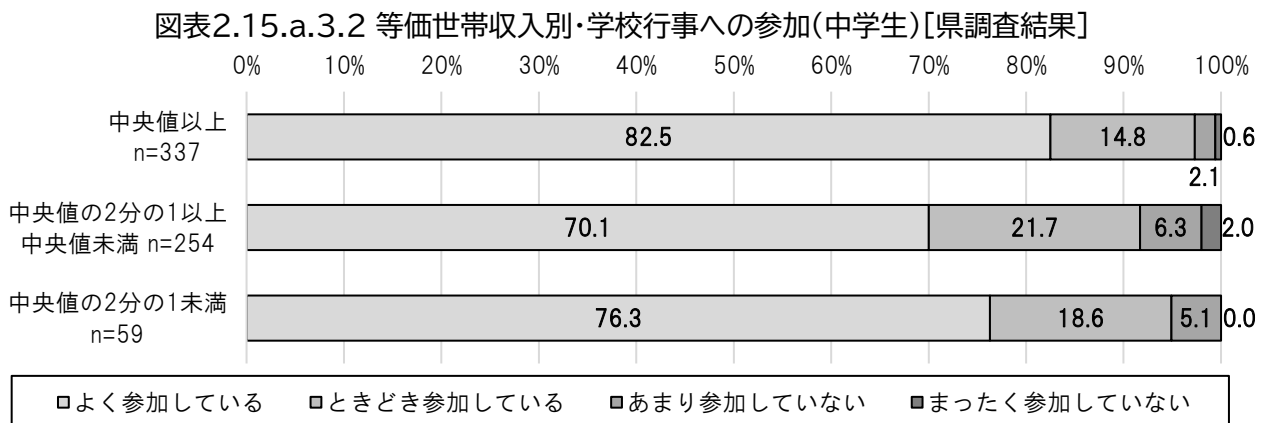
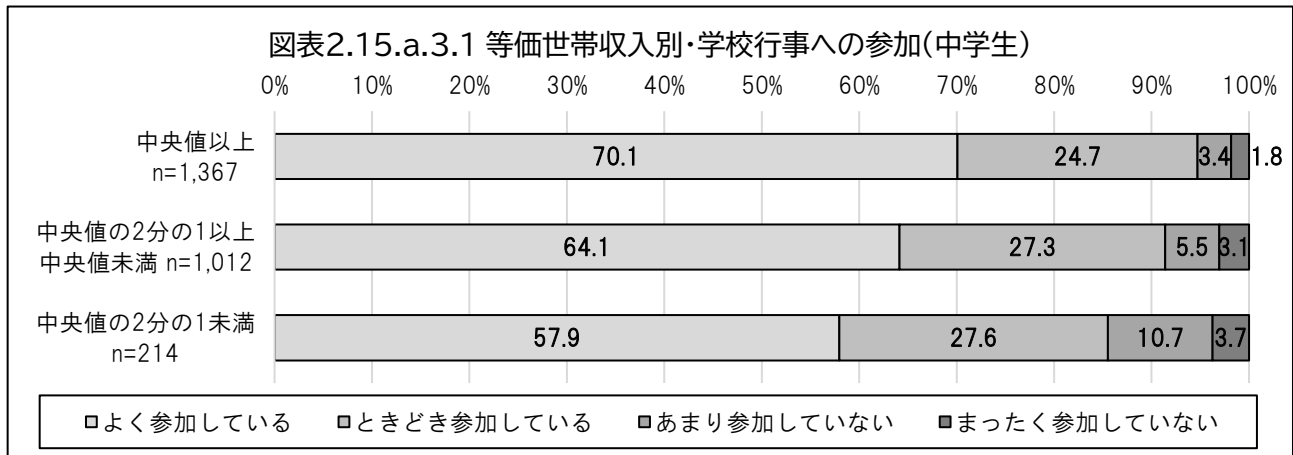
(2)等価世帯収入別・保護者[小学生] (問 15.a 学校行事への参加)

授業参観や運動会などの学校行事への参加について、等価世帯収入別にみると、小学生では、いずれの水準においても「よく参加している」が89.1%、87.5%、75.3%と最も高くなっています。また、「よく参加している」と「ときどき参加している」の合計は、それぞれ99.0%、98.1%、92.8%となっています。



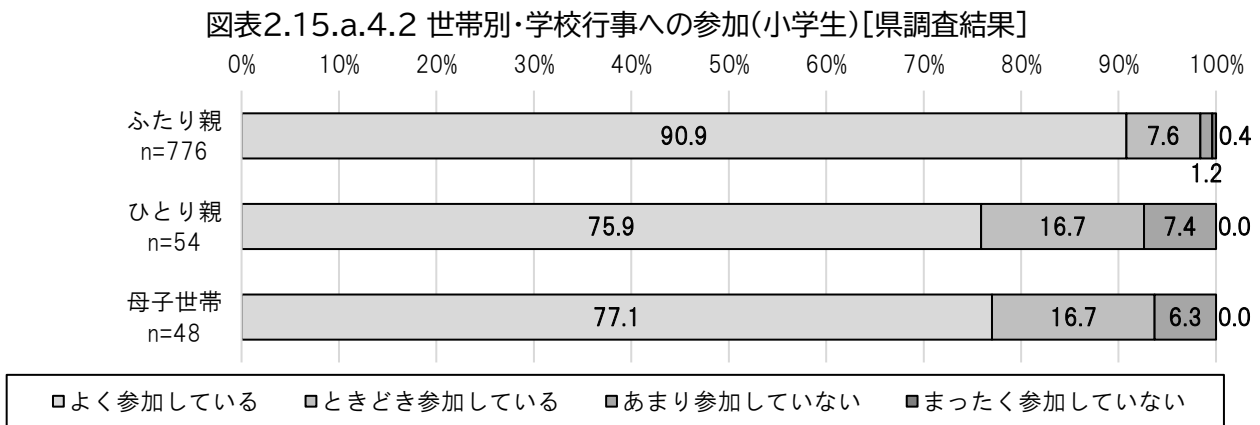
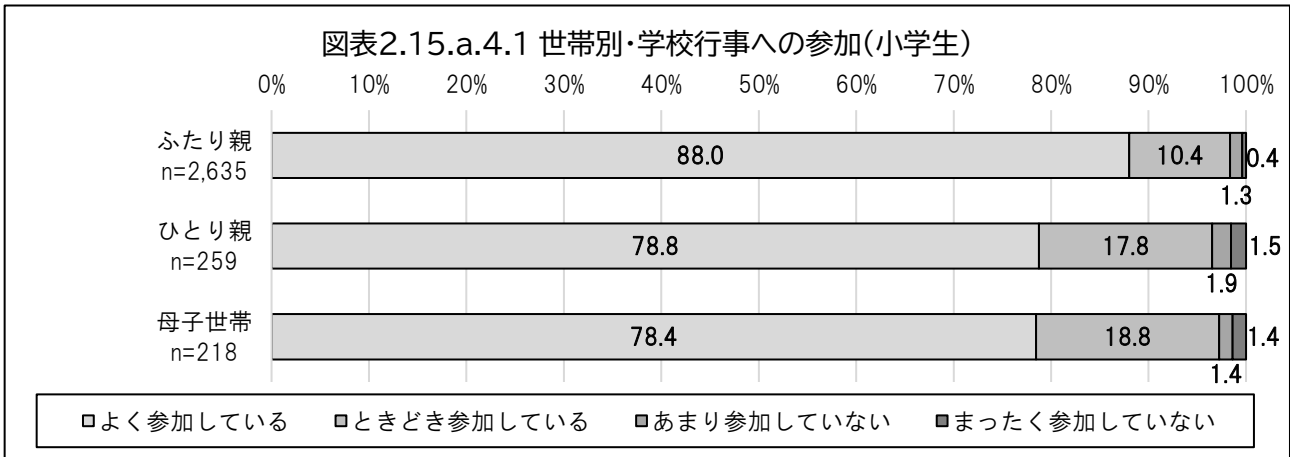
(3)等価世帯収入別・保護者[中学生] (問 15.a 学校行事への参加)

授業参観や運動会などの学校行事への参加について、等価世帯収入別にみると、中学生では、いずれの水準においても「よく参加している」が70.1%、64.1%、57.9%と最も高くなっています。また、「よく参加している」と「ときどき参加している」の合計は、それぞれ94.8%、91.4%、85.5%となっています。



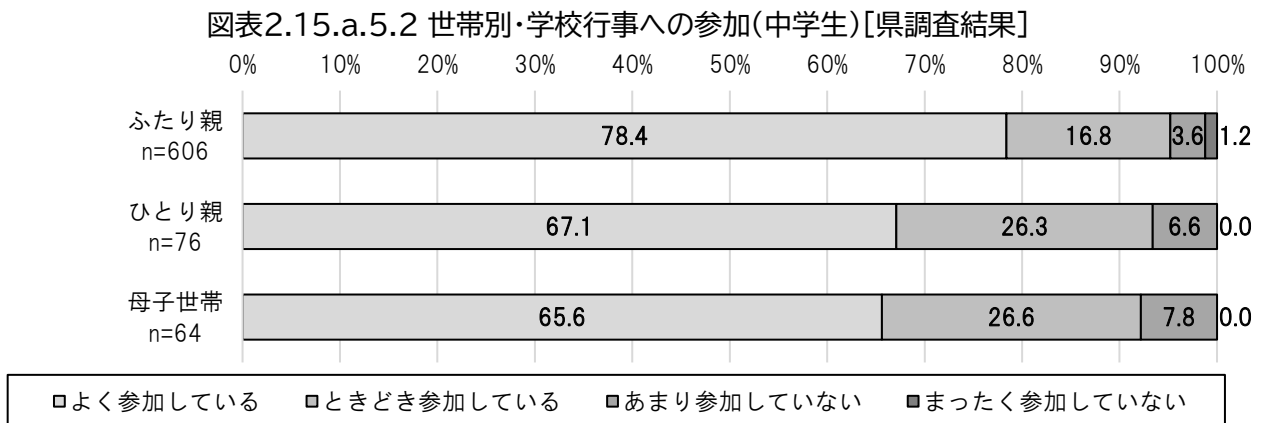
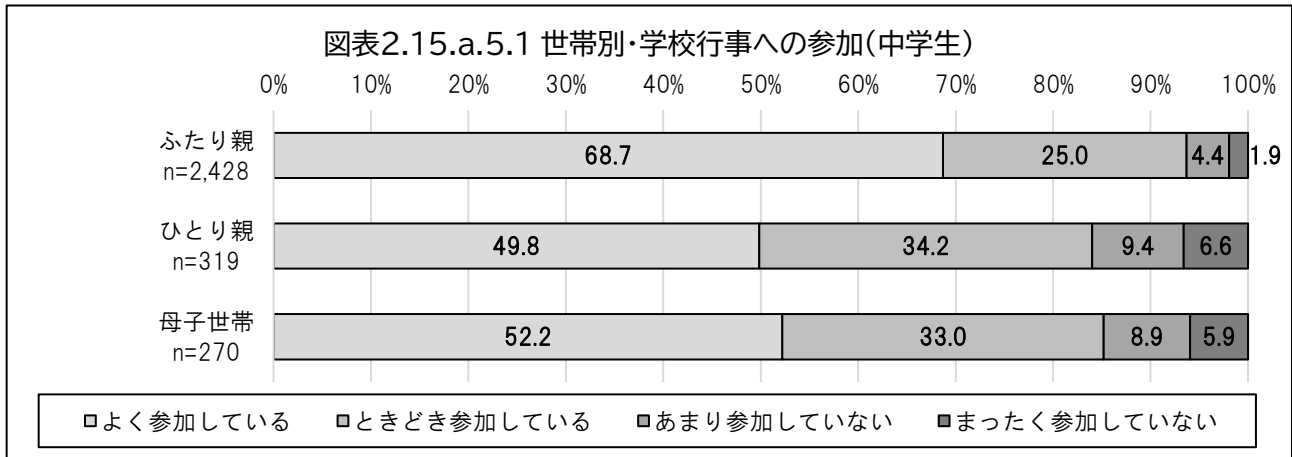
(4)世帯別・保護者[小学生] (問 15.a 学校行事への参加)

授業参観や運動会などの学校行事への参加について、世帯別にみると、小学生では、いずれの世帯においても「よく参加している」が88.0%、78.8%、78.4%と最も高くなっています。また、「よく参加している」と「ときどき参加している」の合計は、それぞれ98.4%、96.6%、97.2%となっています。



(5)世帯別・保護者[中学生] (問 15.a 学校行事への参加)

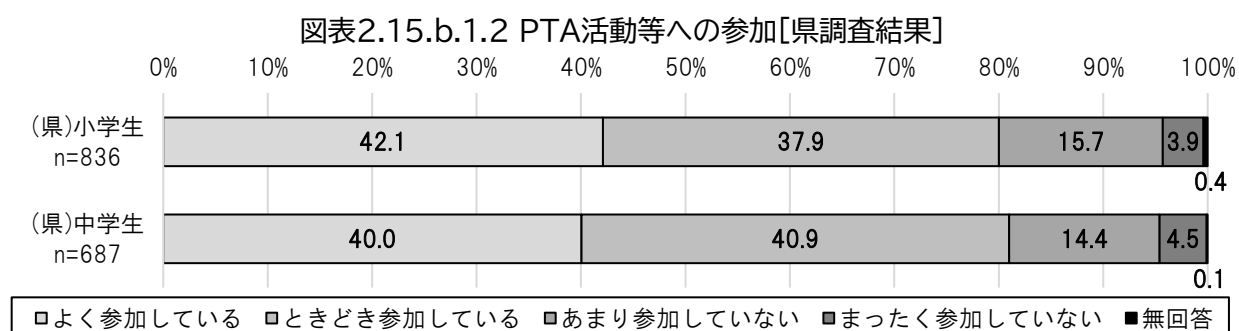
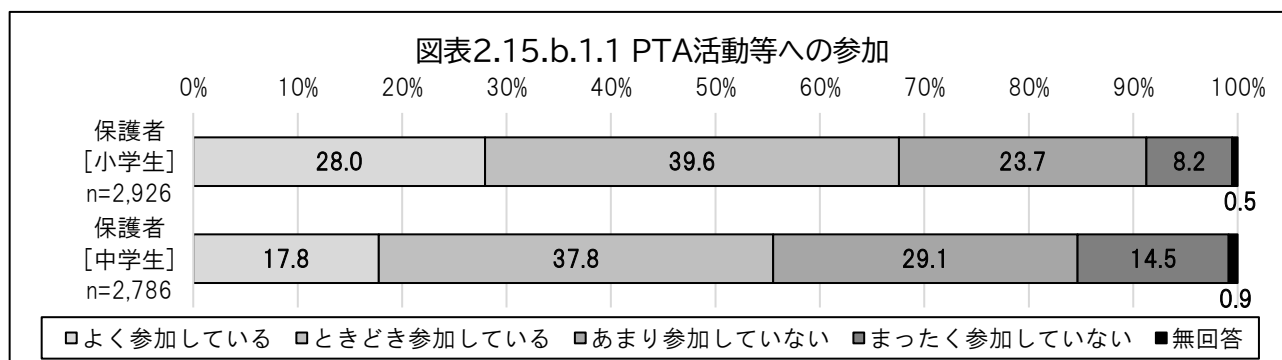
授業参観や運動会などの学校行事への参加について、世帯別にみると、中学生では、いずれの世帯においても「よく参加している」が68.7%、49.8%、52.2%と最も高くなっています。また、「よく参加している」と「ときどき参加している」の合計は、それぞれ93.7%、84.0%、85.2%となっています。



b) P T A活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加

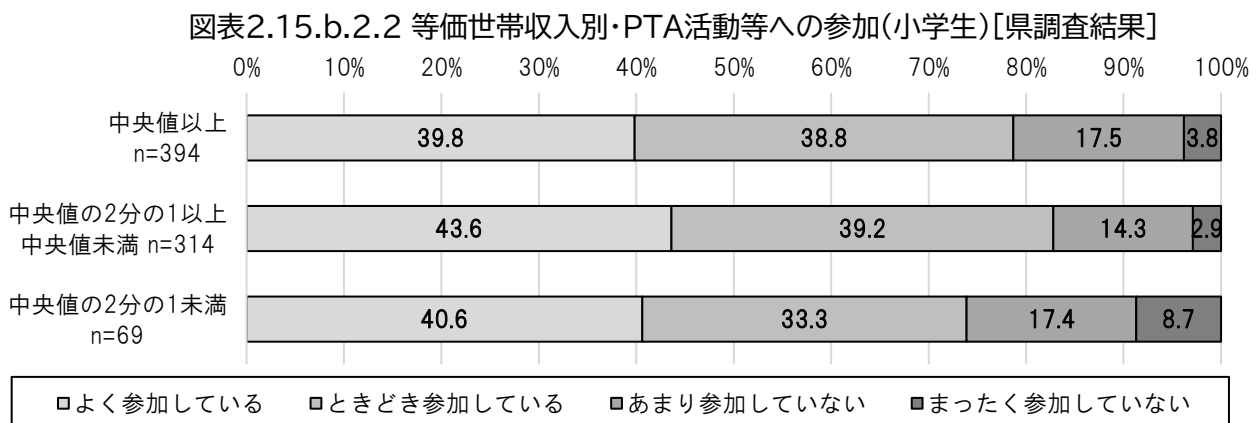
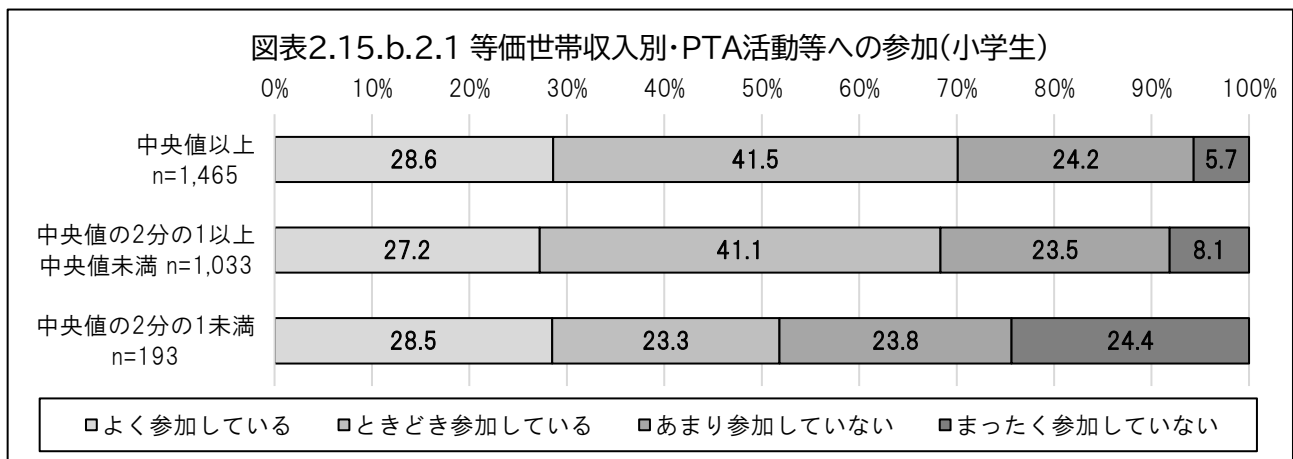
(1)全体

P T A活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加について、小学生では、「ときどき参加している」が39.6%と最も高く、次いで「よく参加している」が28.0%となっています。中学生では、「ときどき参加している」が37.8%と最も高く、次いで「あまり参加していない」が29.1%となっています。また、「よく参加している」と「ときどき参加している」の合計は、小学生では67.6%、中学生では55.6%となっています。



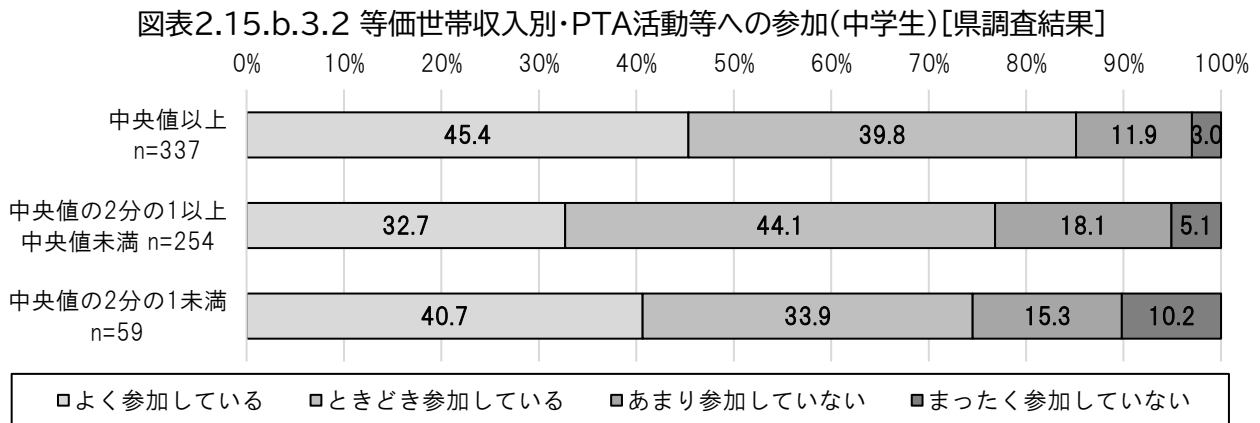
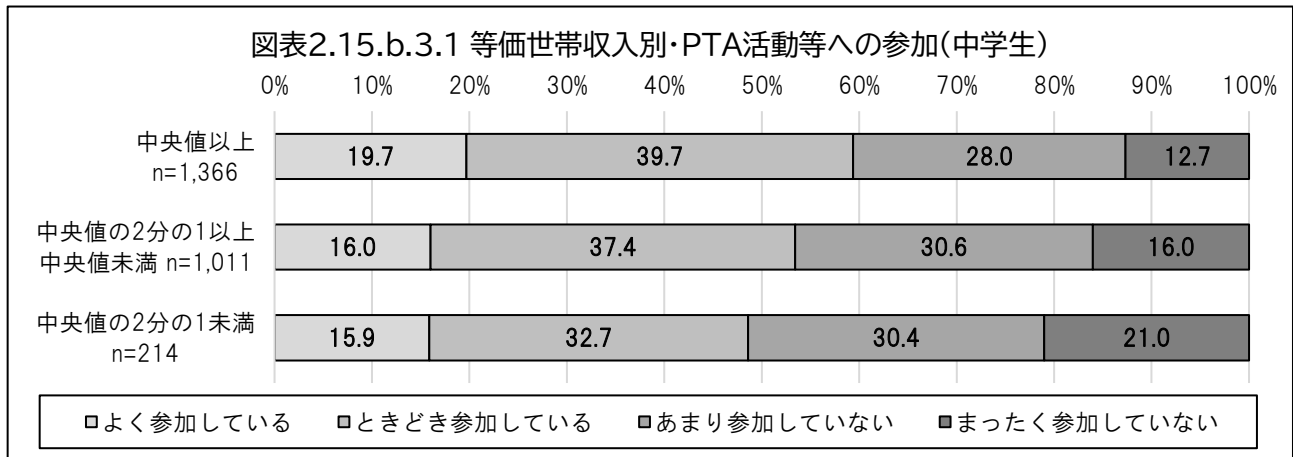
(2)等価世帯収入別・保護者[小学生] (問 15. b PTA 活動等への参加)

PTA活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加について、等価世帯収入別にみると、小学生では、「中央値以上」および「中央値の2分の1以上中央値未満」の水準においては「ときどき参加している」が41.5%、41.1%、「中央値の2分の1未満」の水準においては「よく参加している」が28.5%と最も高くなっています。また、「よく参加している」と「ときどき参加している」の合計は、それぞれ70.1%、68.3%、51.8%となっています。



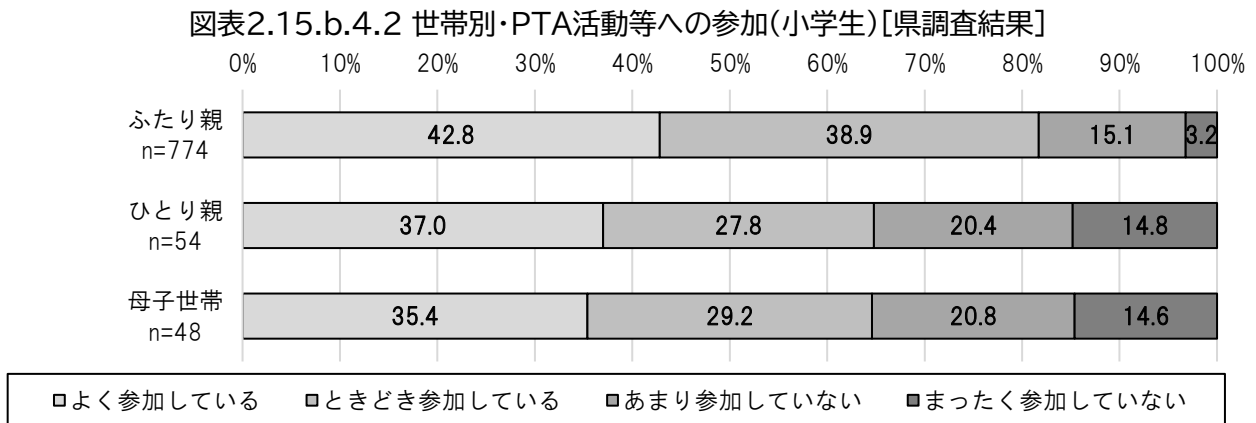
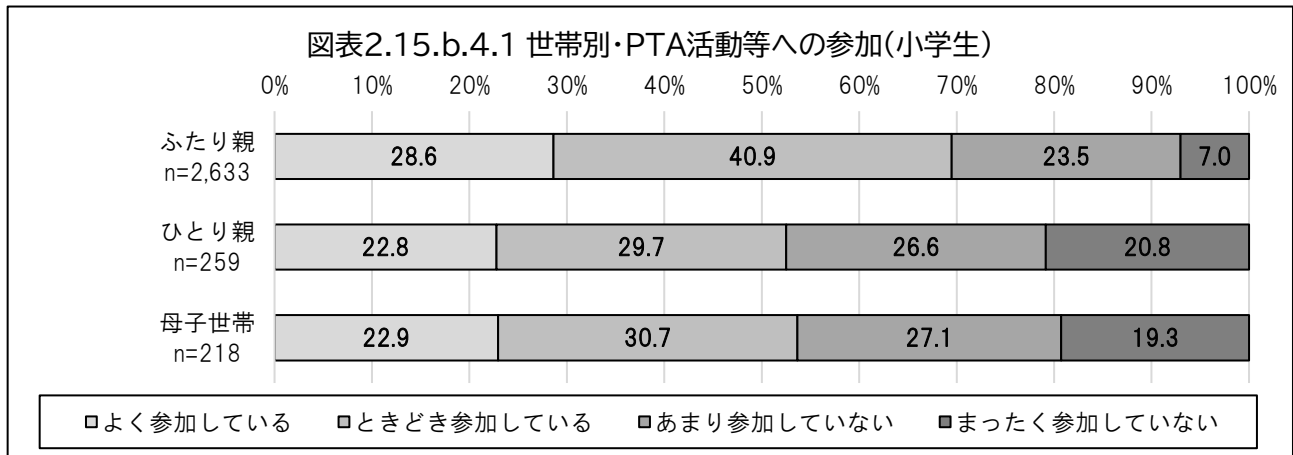
(3)等価世帯収入別・保護者[中学生] (問 15. b PTA 活動等への参加)

PTA活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加について、等価世帯収入別にみると、中学生では、いずれの水準においても「ときどき参加している」が39.7%、37.4%、32.7%と最も高くなっています。また、「よく参加している」と「ときどき参加している」の合計は、それぞれ59.4%、53.4%、48.6%となっています。



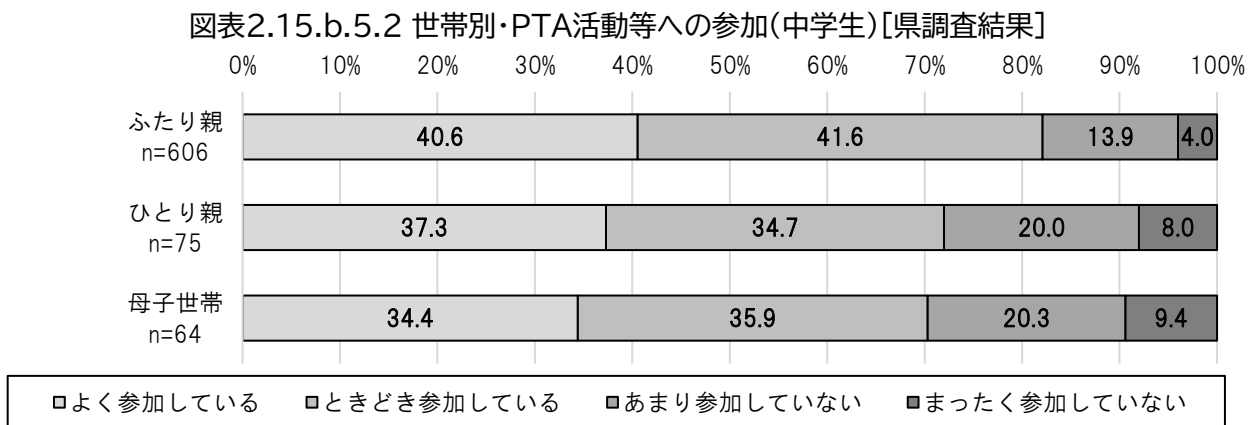
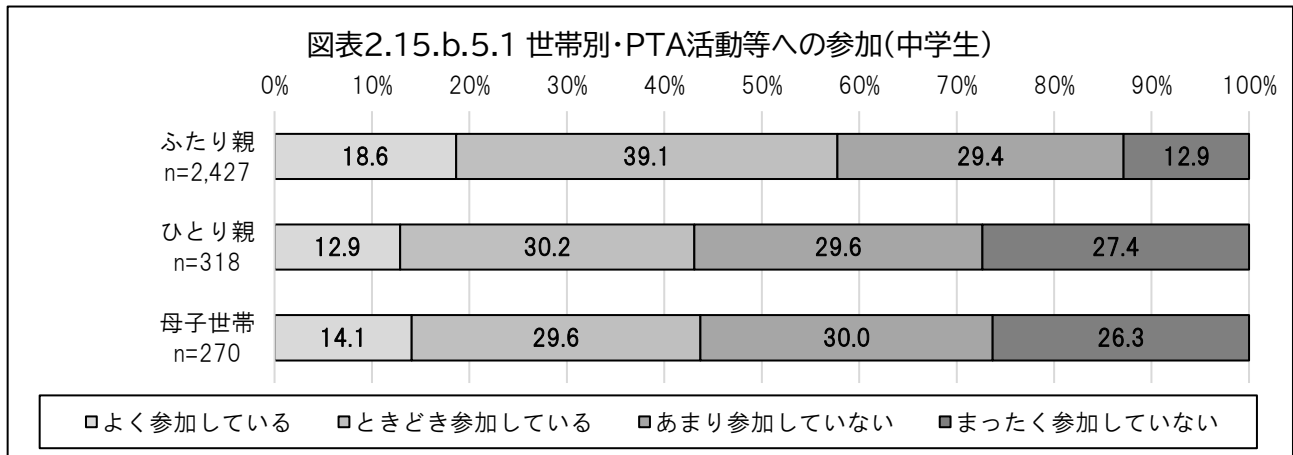
(4)世帯別・保護者[小学生] (問 15. b PTA 活動等への参加)

PTA活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加について、世帯別にみると、小学生では、いずれの世帯においても「ときどき参加している」が40.9%、29.7%、30.7%と最も高くなっています。また、「よく参加している」と「ときどき参加している」の合計は、それぞれ69.5%、52.5%、53.6%となっています。



(5)世帯別・保護者[中学生] (問 15. b PTA 活動等への参加)

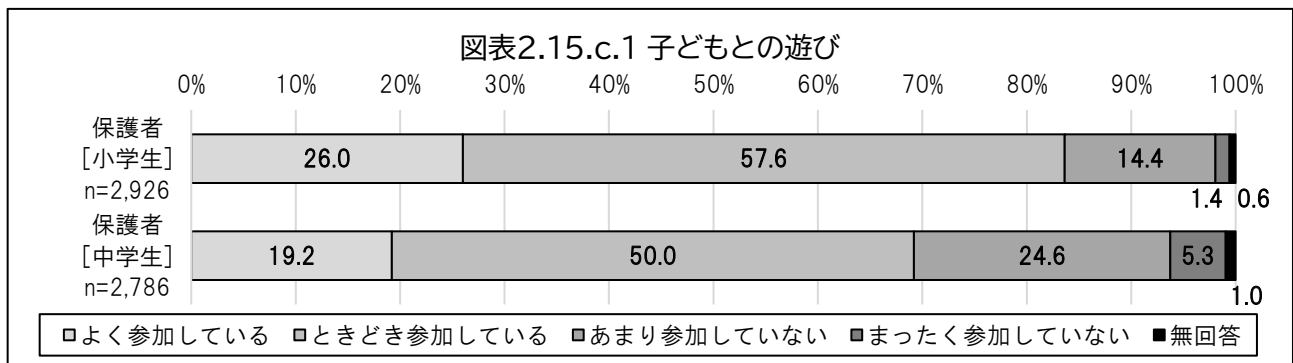
PTA活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加について、世帯別にみると、中学生では、ふたり親世帯およびひとり親世帯においては、「ときどき参加している」が39.1%、30.2%、母子世帯においては、「あまり参加していない」が30.0%と最も高くなっています。また、「よく参加している」と「ときどき参加している」の合計は、それぞれ57.7%、43.1%、43.7%となっています。



c) 子どもとの遊び

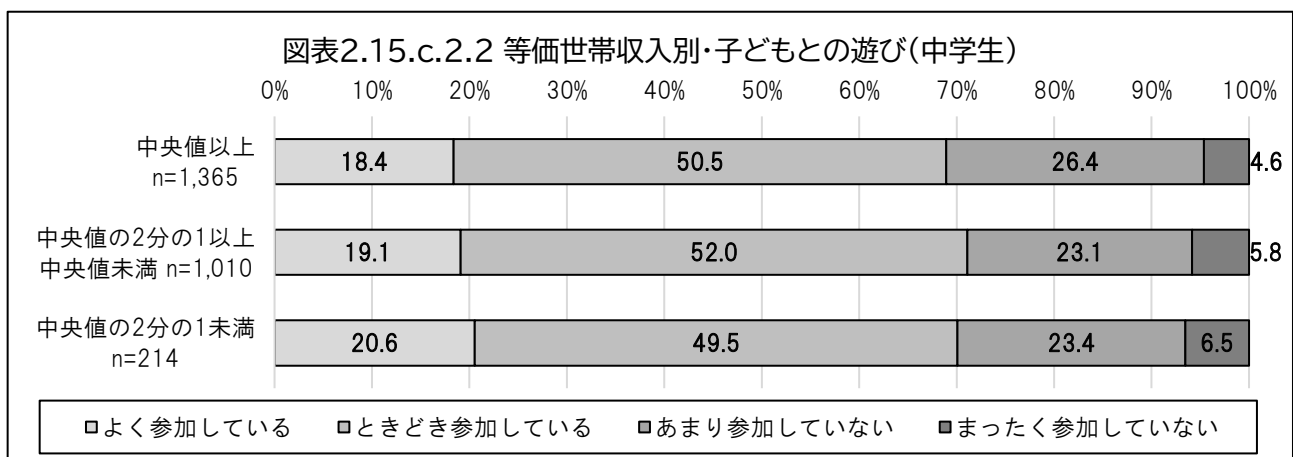
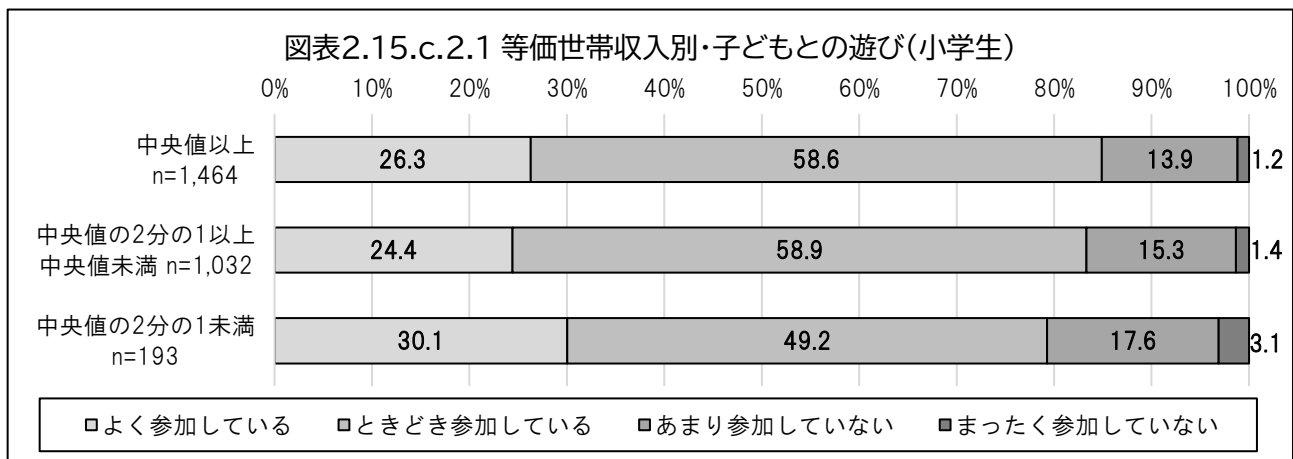
(1)全体

子どもとの遊びについて、小学生では、「ときどき参加している」が57.6%、「よく参加している」が26.0%、中学生では、「ときどき参加している」が50.0%、「あまり参加していない」が24.6%となっています。また、「よく参加している」と「ときどき参加している」の合計は、小学生では83.6%、中学生では69.2%となっています。



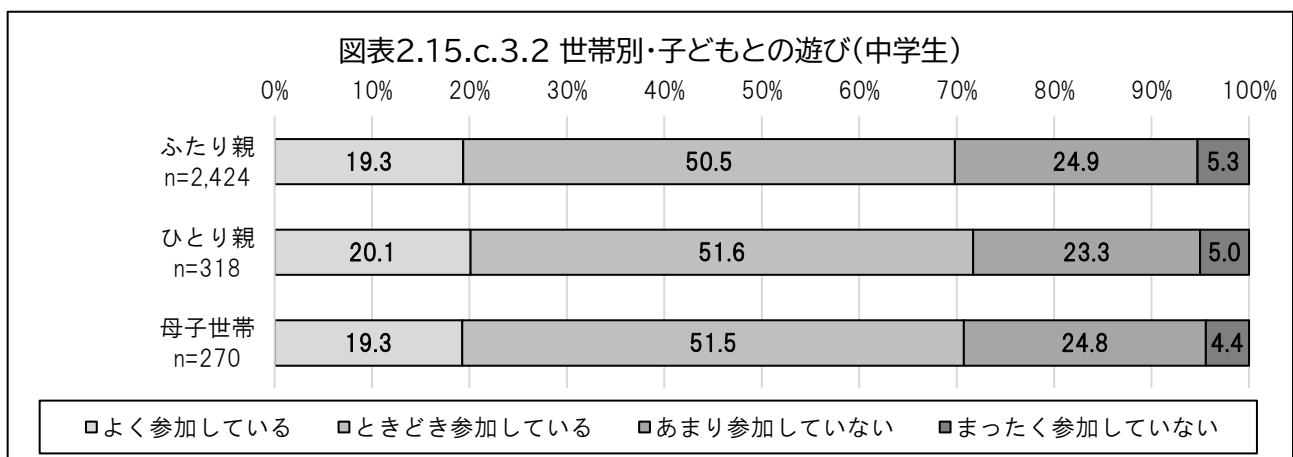
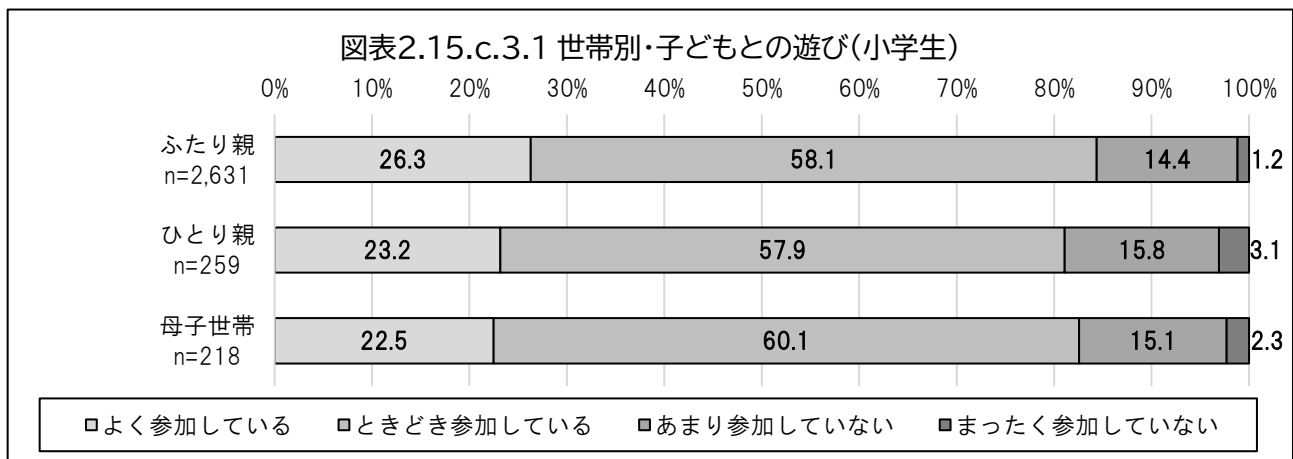
(2)等価世帯収入別

子どもとの遊びについて、等価世帯収入別にみると、小学生、中学生ともに、いずれの水準においても「ときどき参加している」が最も高く、小学生では 58.6%、58.9%、49.2%、中学生では 50.5%、52.0%、49.5%となっています。また、「よく参加している」と「ときどき参加している」の合計は、小学生では、それぞれ 84.9%、83.3%、79.3%、中学生では、それぞれ 68.9%、71.1%、70.1%となっています。



(3)世帯別

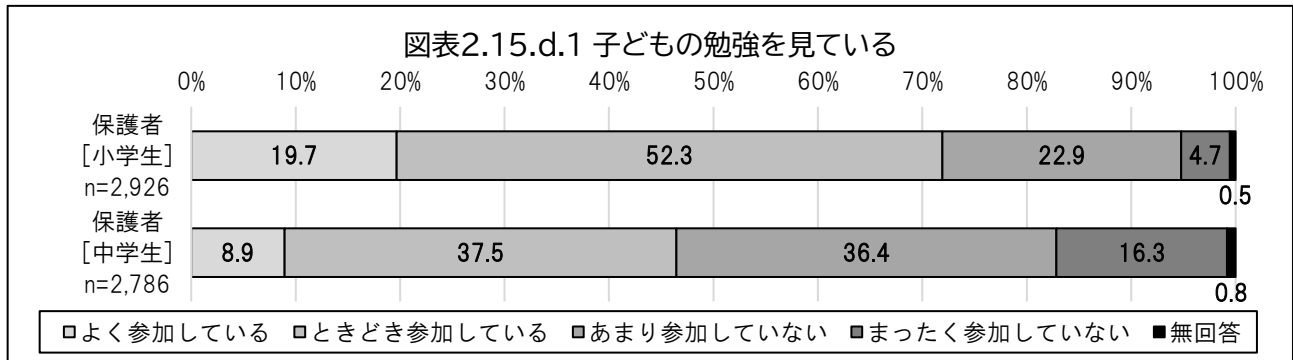
子どもとの遊びについて、世帯別にみると、小学生、中学生ともに、いずれの世帯においても「ときどき参加している」が最も高く、小学生では、それぞれ58.1%、57.9%、60.1%、中学生では、それぞれ50.5%、51.6%、51.5%となっています。また、「よく参加している」と「ときどき参加している」の合計は、小学生では、それぞれ84.4%、81.1%、82.6%、中学生では、それぞれ69.8%、71.7%、70.8%となっています。



d) 子どもの勉強を見ている

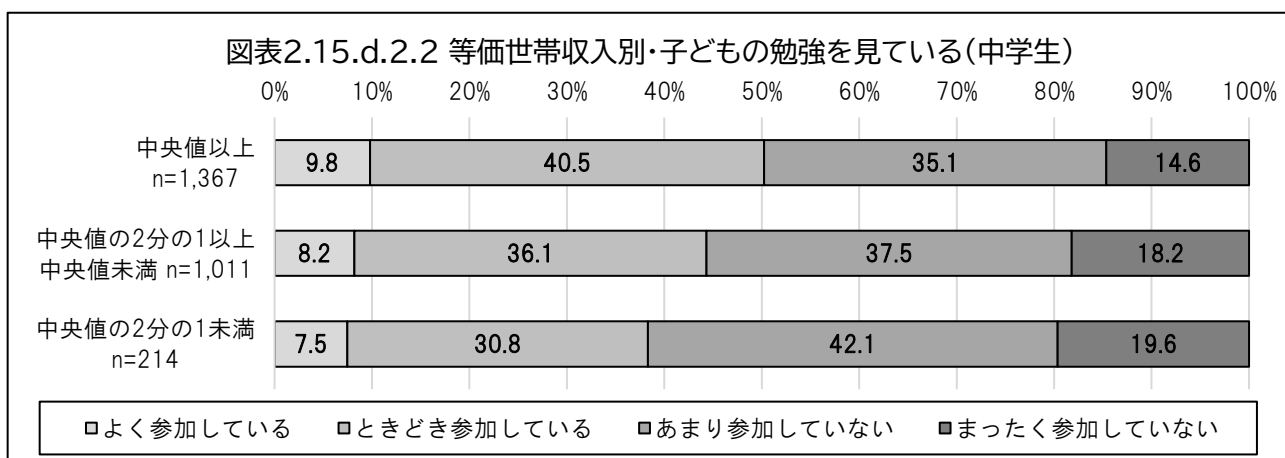
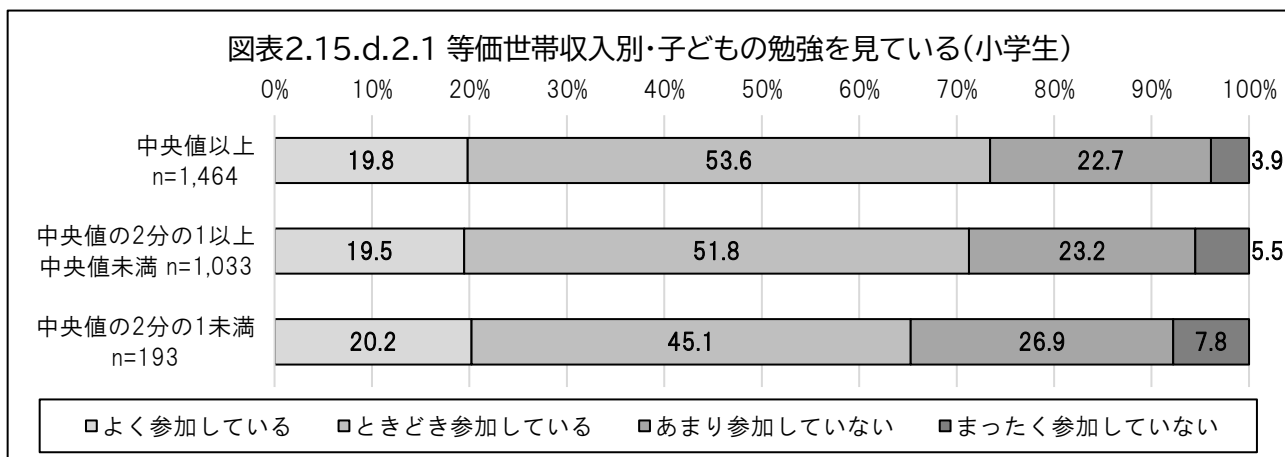
(1)全体

子どもの勉強を見ているかについて、小学生・中学生ともに、「ときどき参加している」が 52.3%、37.5%、「あまり参加していない」が 22.9%、36.4%となっています。また、「よく参加している」と「ときどき参加している」の合計は、小学生では 72.0%、中学生では 46.4%となっています。



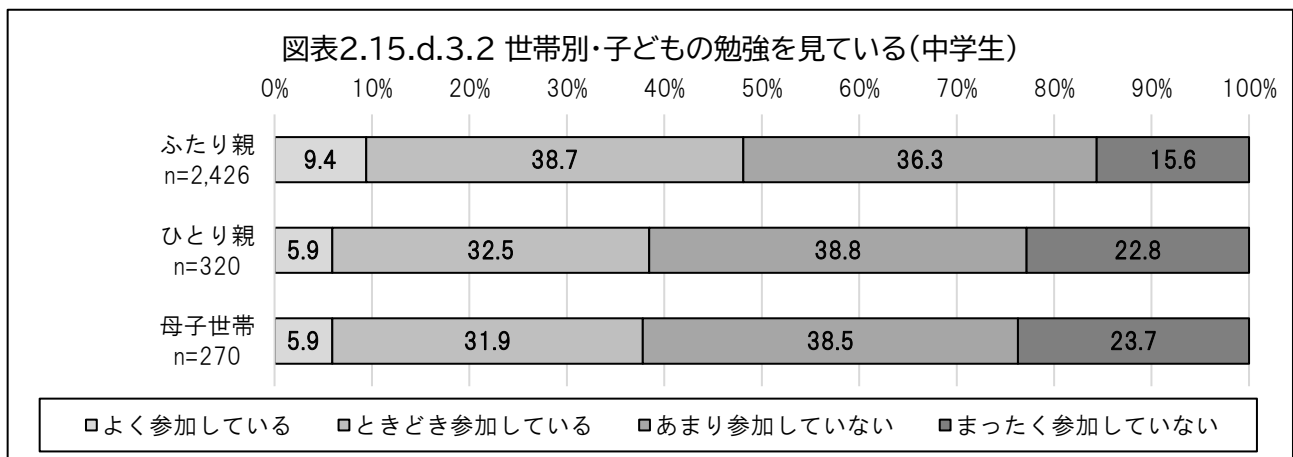
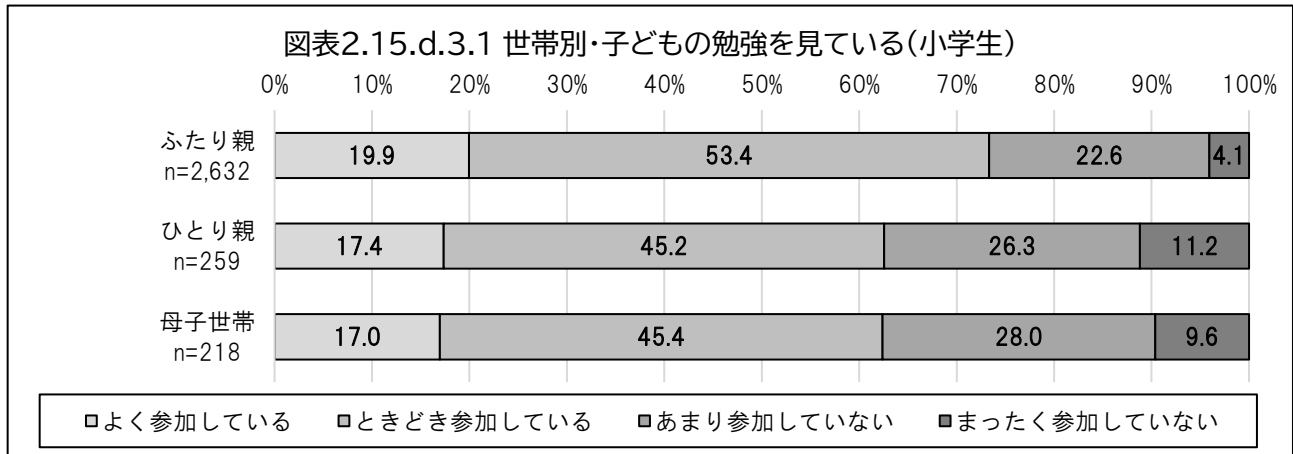
(2)等価世帯収入別

子どもの勉強を見ているかについて、等価世帯収入別にみると、小学生では、いずれの水準においても「ときどき参加している」が53.6%、51.8%、45.1%と最も高くなっています。中学生では、「中央値以上」の水準では「ときどき参加している」が40.5%、「中央値の2分の1以上中央値未満」および「中央値の2分の1未満」の水準では「あまり参加していない」が37.5%、42.1%と最も高くなっています。また、「よく参加している」と「ときどき参加している」の合計は、小学生では、それぞれ73.4%、71.3%、65.3%、中学生では、それぞれ50.3%、44.3%、38.3%となっています。



(3)世帯別

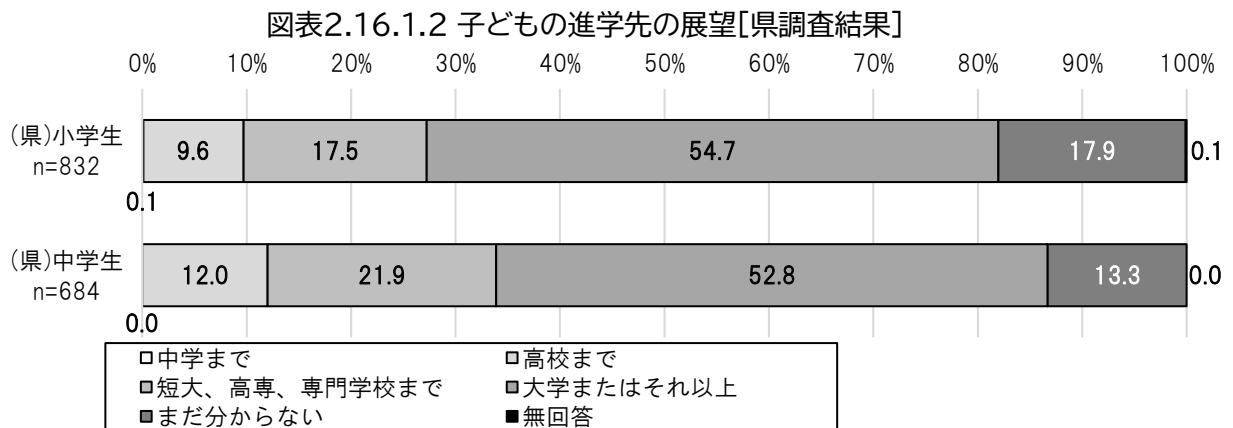
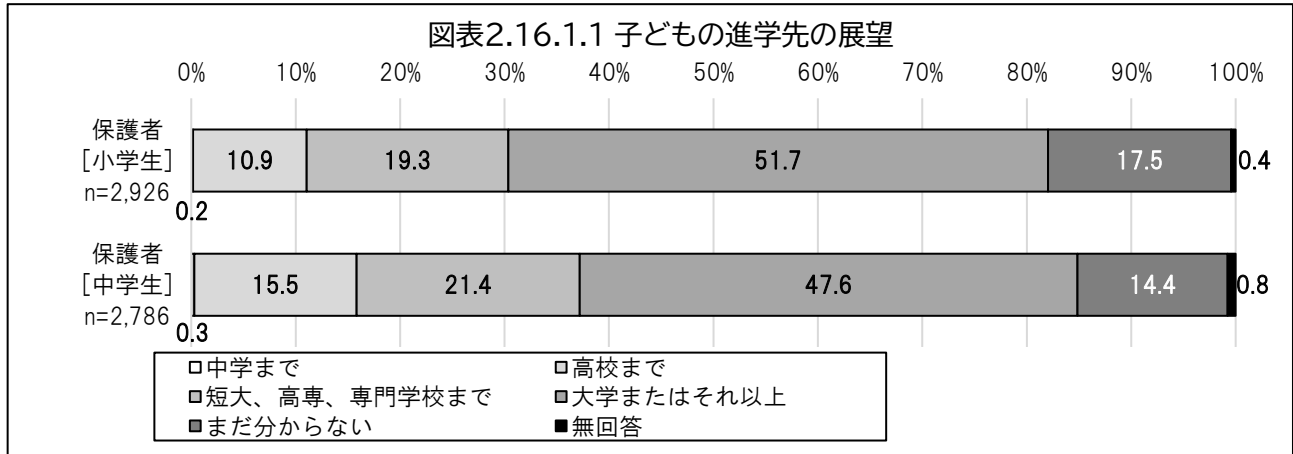
子どもの勉強を見ているかについて、世帯別にみると、小学生では、いずれの世帯においても「ときどき参加している」が53.4%、45.2%、45.4%と最も高く、中学生では、ふたり親世帯では「ときどき参加している」が38.7%、ひとり親世帯および母子世帯では「あまり参加していない」が38.8%、38.5%と最も高くなっています。また、「よく参加している」と「ときどき参加している」の合計は、小学生では、それぞれ73.3%、62.6%、62.4%、中学生では、それぞれ48.1%、38.4%、37.8%となっています。



問16. お子さんは将来、現実的に見てどの学校に進学すると思いますか。

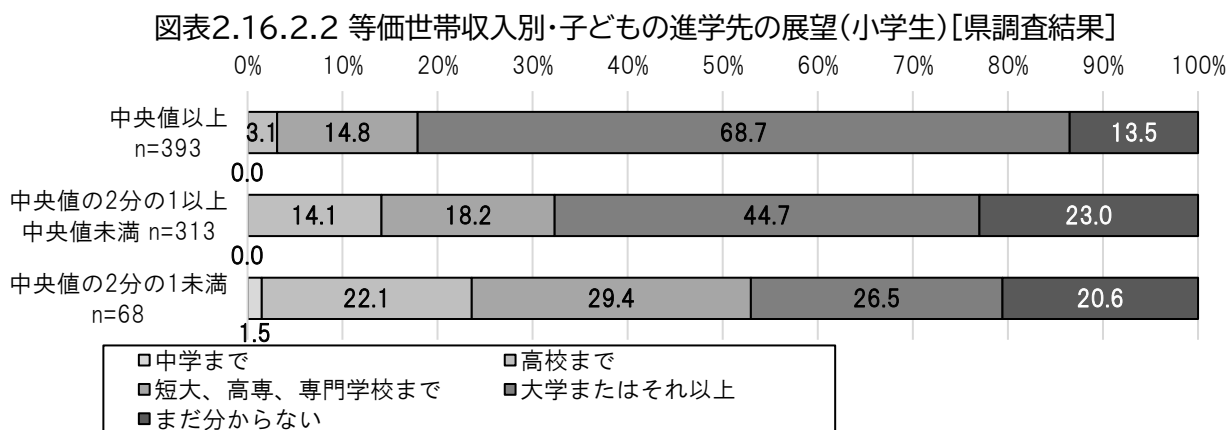
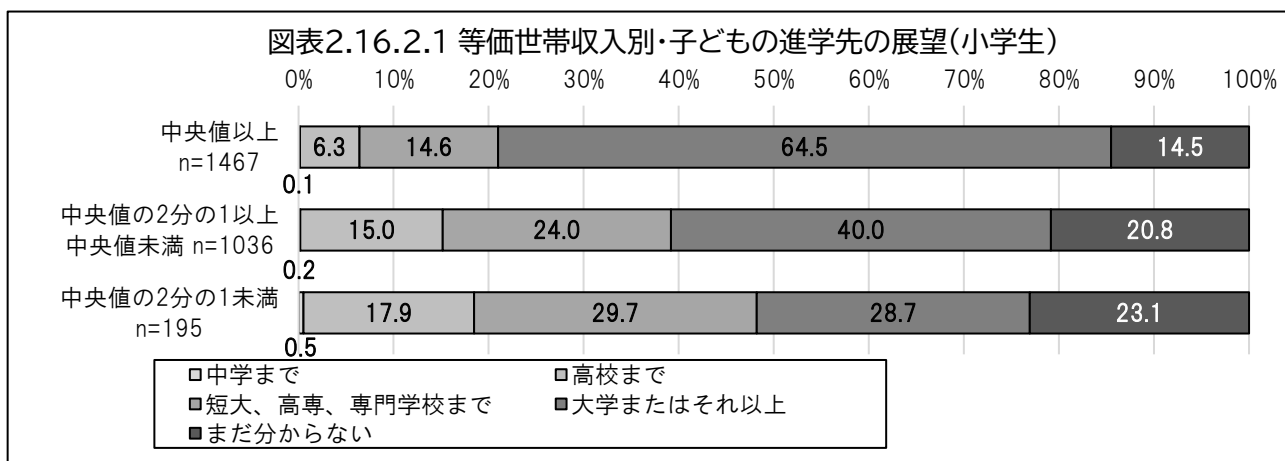
(1)全体

子どもの進学先の展望について、小学生・中学生ともに、「大学またはそれ以上」が51.7%、47.6%、次いで「短大、高専、専門学校まで」が19.3%、21.4%となっています。



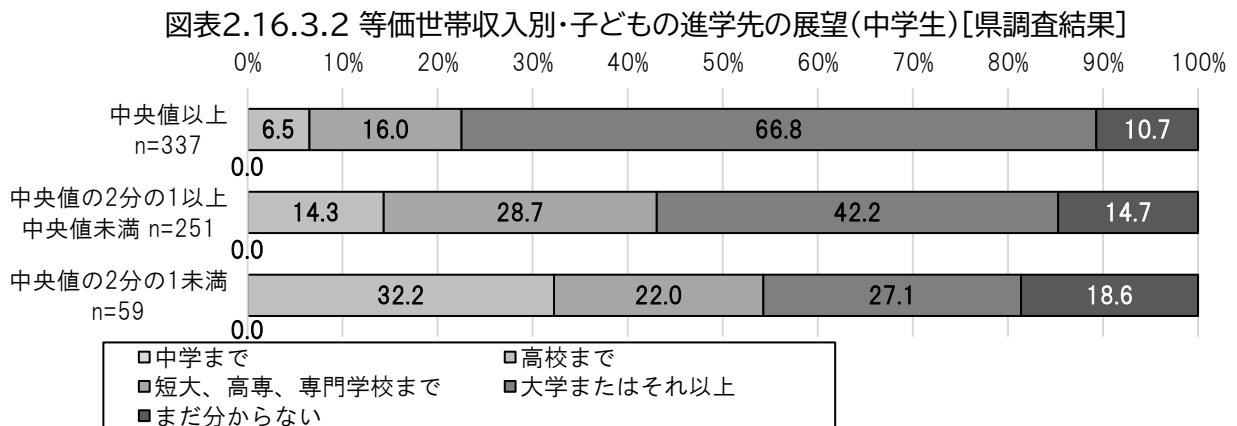
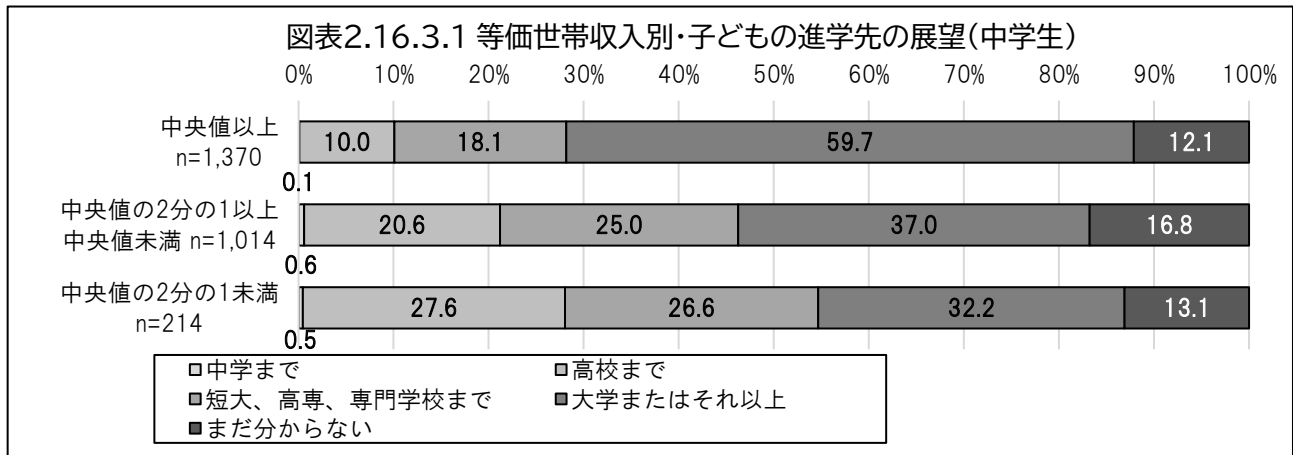
(2)等価世帯収入別・保護者[小学生] (問 16. 子どもの進学先の展望)

子どもの進学先の展望について、等価世帯収入別にみると、小学生では、「中央値以上」および「中央値の2分の1以上中央値未満」の水準においては「大学またはそれ以上」が、64.5%、40.0%、「中央値の2分の1未満」の水準では「短大、高専、専門学校まで」が29.7%と最も高くなっています。また、「大学またはそれ以上」の割合は、「中央値の2分の1未満」の水準では「中央値以上」に比べて35.8%低くなっています。



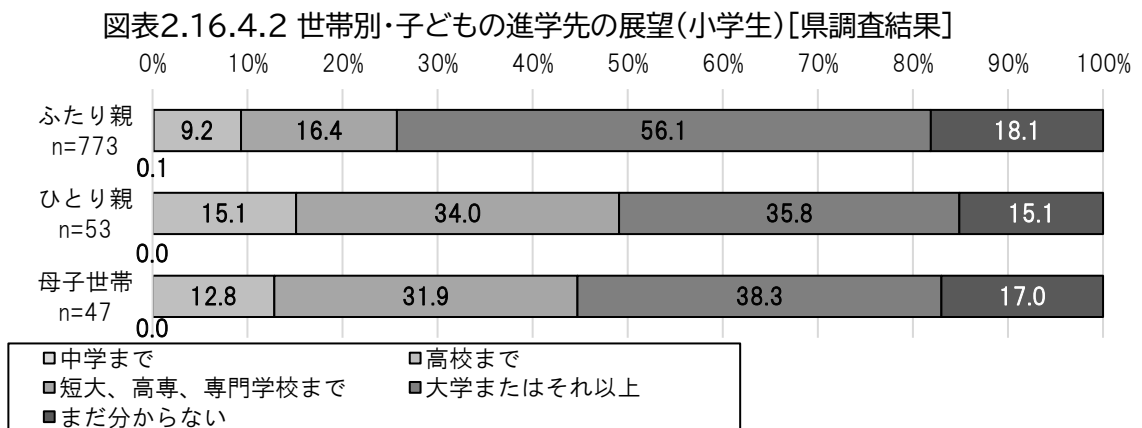
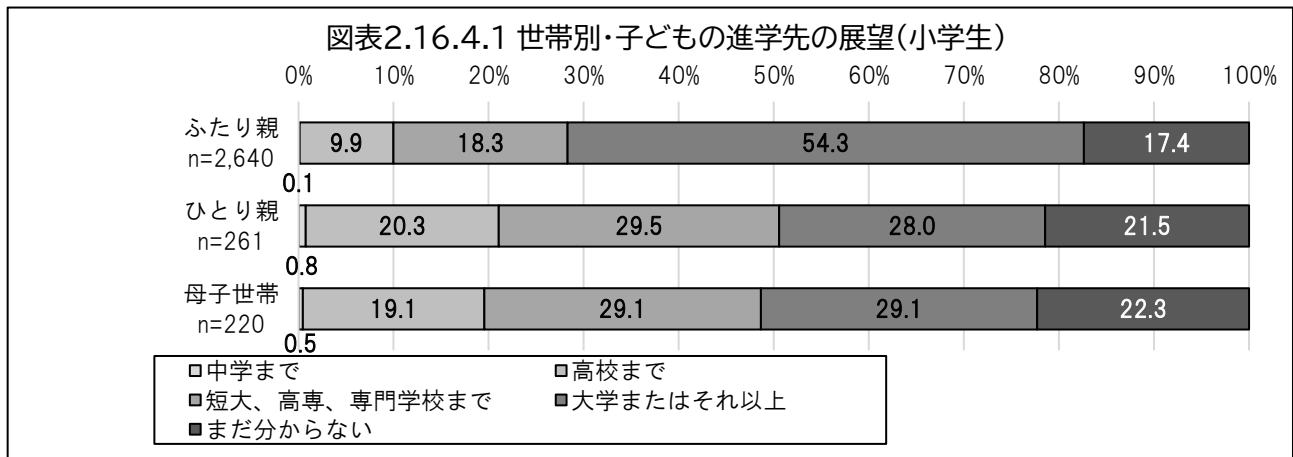
(3)等価世帯収入別・保護者[中学生] (問 16. 子どもの進学先の展望)

子どもの進学先の展望について、等価世帯収入別にみると、中学生では、いずれの水準においても「大学またはそれ以上」が59.7%、37.0%、32.2%と最も高くなっていますが、「大学またはそれ以上」の割合は、「中央値以上」と比較して、「中央値の2分の1以上中央値未満」では22.7%[※]、「中央値の2分の1未満」では27.5%[※]低くなっています。



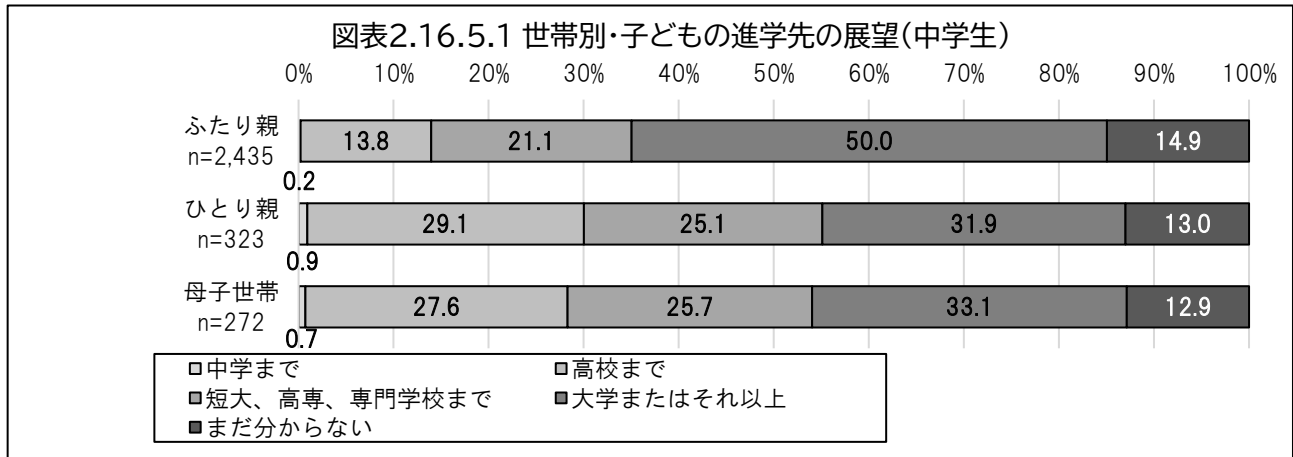
(4)世帯別・保護者[小学生] (問 16. 子どもの進学先の展望)

子どもの進学先の展望について、世帯別にみると、小学生では、ふたり親世帯では「大学またはそれ以上」が54.3%、ひとり親世帯では「短大、高専、専門学校まで」が29.5%、母子世帯では「大学またはそれ以上」と「短大、高専、専門学校まで」が29.1%と最も高くなっています。「大学またはそれ以上」の割合は、ふたり親世帯と比較して、ひとり親世帯では26.3 ㊦、母子世帯では25.2 ㊦低くなっています。

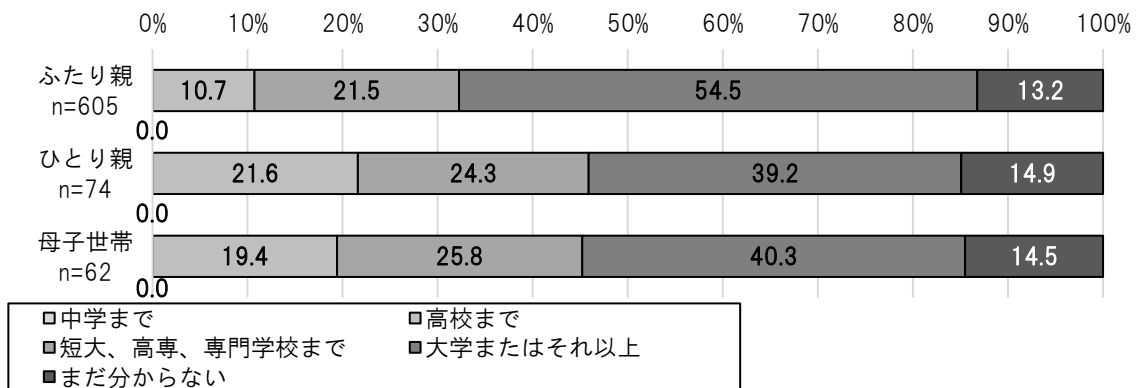


(5)世帯別・保護者[中学生] (問 16. 子どもの進学先の展望)

子どもの進学先の展望について、世帯別にみると、中学生では、いずれの世帯でも「大学またはそれ以上」が50.0%、31.9%、33.1%と最も高くなっていますが、「大学またはそれ以上」の割合は、ふたり親世帯と比較して、ひとり親世帯では 18.1 ㊦、母子世帯では 16.9 ㊦低くなっています。

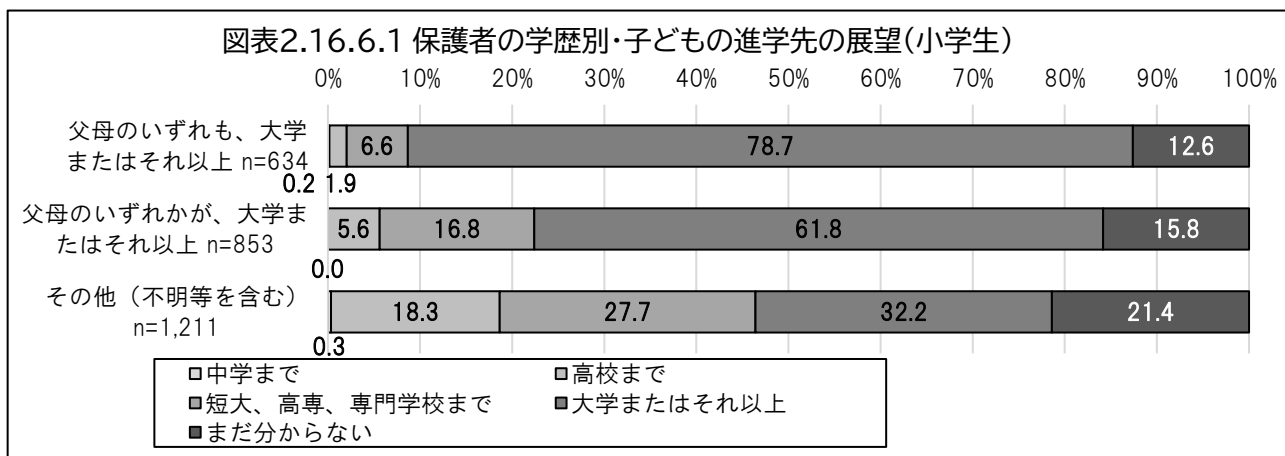


図表2.16.5.2 世帯別・子どもの進学先の展望(中学生)[県調査結果]

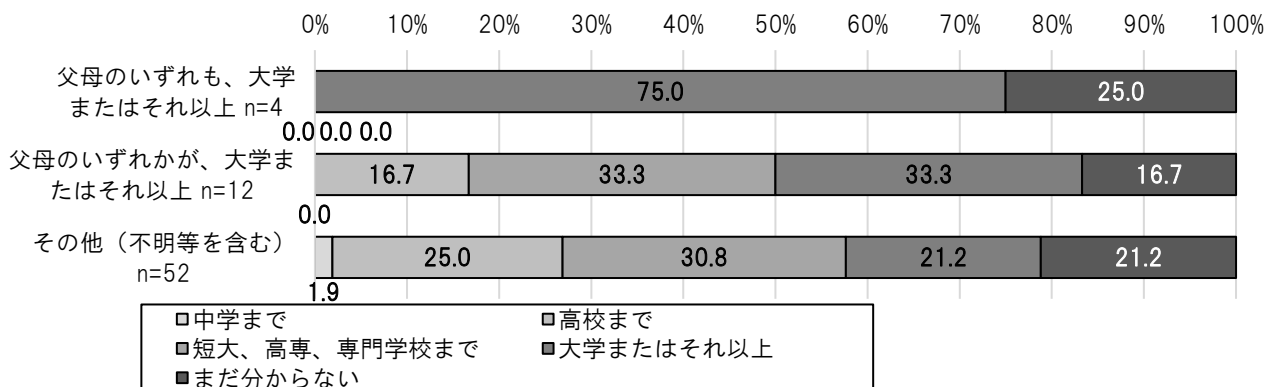


(6)保護者の学歴別・保護者[小学生] (問 16. 子どもの進学先の展望)

子どもの進学先の展望について、保護者の学歴別にみると、小学生では、いずれの分類でも「大学またはそれ以上」が78.7%、61.8%、32.2%と最も高くなっていますが、「大学またはそれ以上」の割合は、「父母のいずれも、大学またはそれ以上」と比較して、「父母のいずれかが、大学またはそれ以上」では16.9 ㊦、「その他」では46.5 ㊦低くなっています。

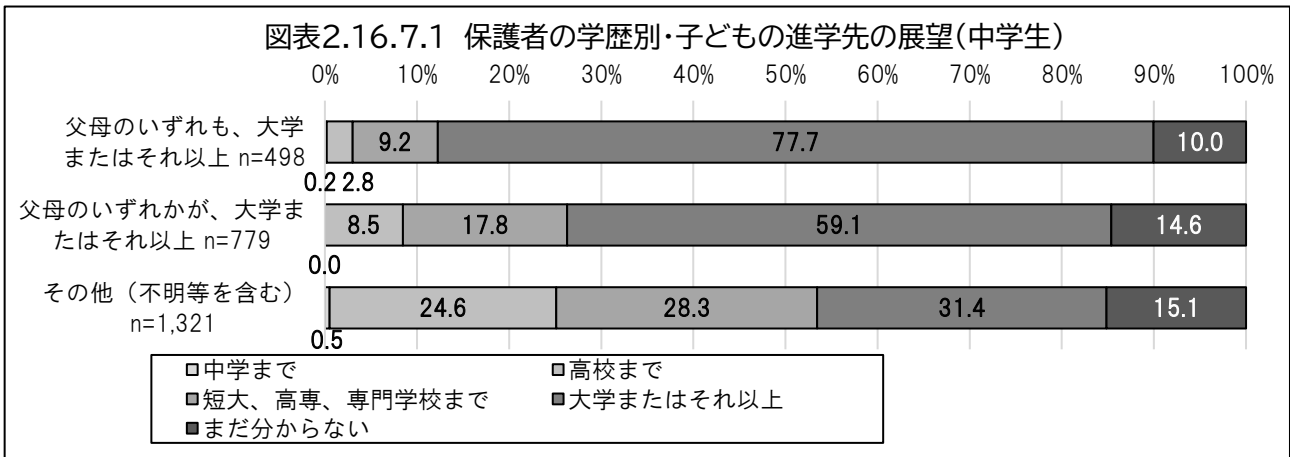


図表2.16.6.2 保護者の学歴別・子どもの進学先の展望(小学生) [県調査結果]

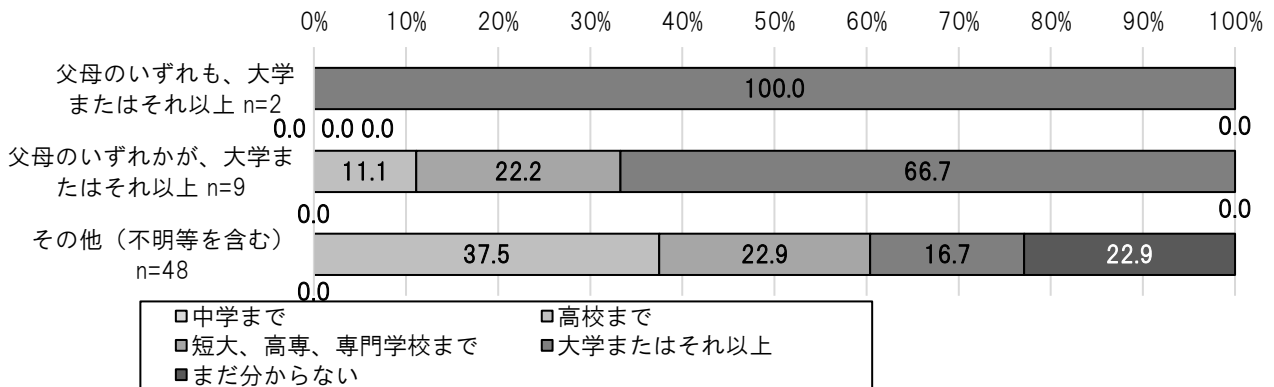


(7)保護者の学歴別・保護者[中学生] (問 16. 子どもの進学先の展望)

子どもの進学先の展望について、保護者の学歴別にみると、中学生では、いずれの分類でも「大学またはそれ以上」が77.7%、59.1%、31.4%と最も高くなっていますが、「大学またはそれ以上」の割合は、「父母のいずれも、大学またはそれ以上」と比較して、「父母のいずれかが、大学またはそれ以上」では18.6%、「その他」では46.3%低くなっています。



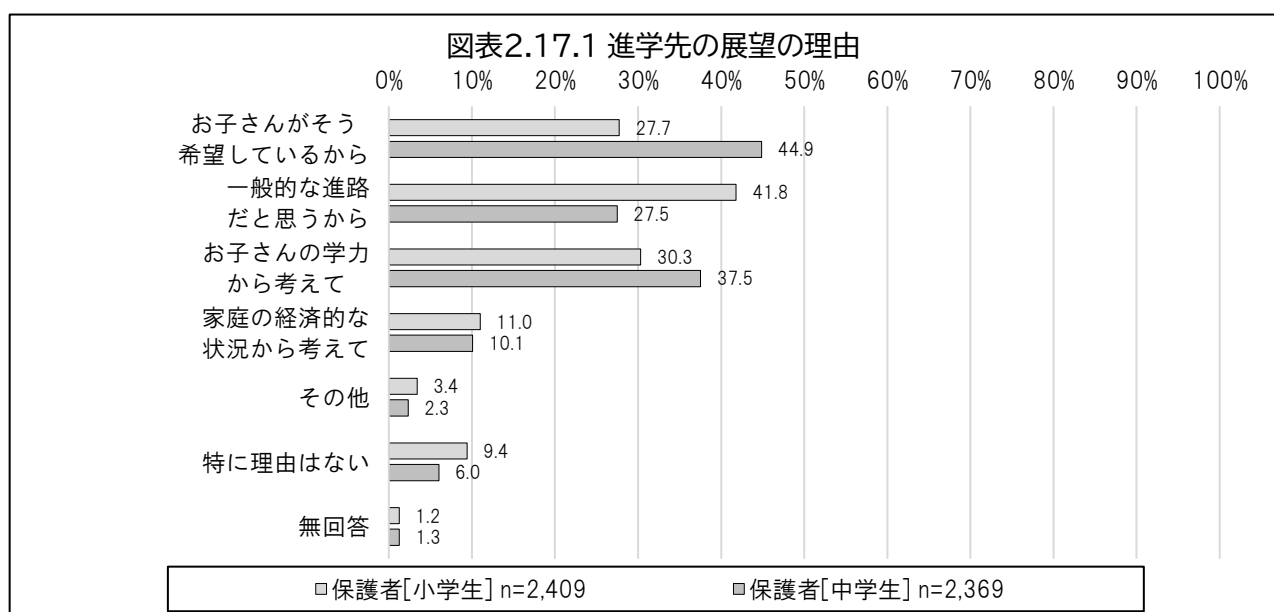
図表2.16.7.2 保護者の学歴別・子どもの進学先の展望(中学生) [県調査結果]



問17. 前問で1～8と答えた場合、その理由は何ですか。

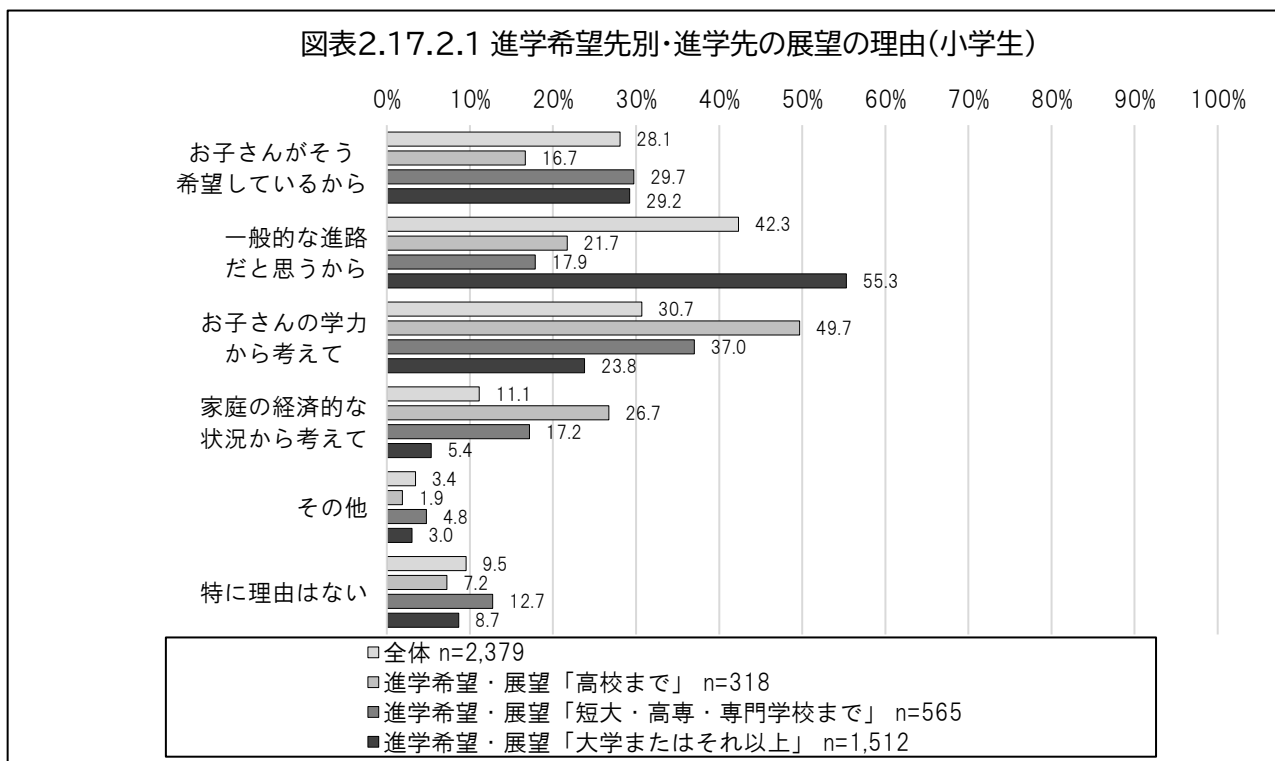
(1)全体

子どもの進学先の展望の理由について、小学生では、「一般的な進路だと思うから」が41.8%と最も高く、次いで「お子さんの学力から考えて」が30.3%、「お子さんがそう希望しているから」が27.7%となっています。中学生では、「お子さんがそう希望しているから」が44.9%と最も高く、次いで「お子さんの学力から考えて」が37.5%、「一般的な進路だと思うから」が27.5%となっています。

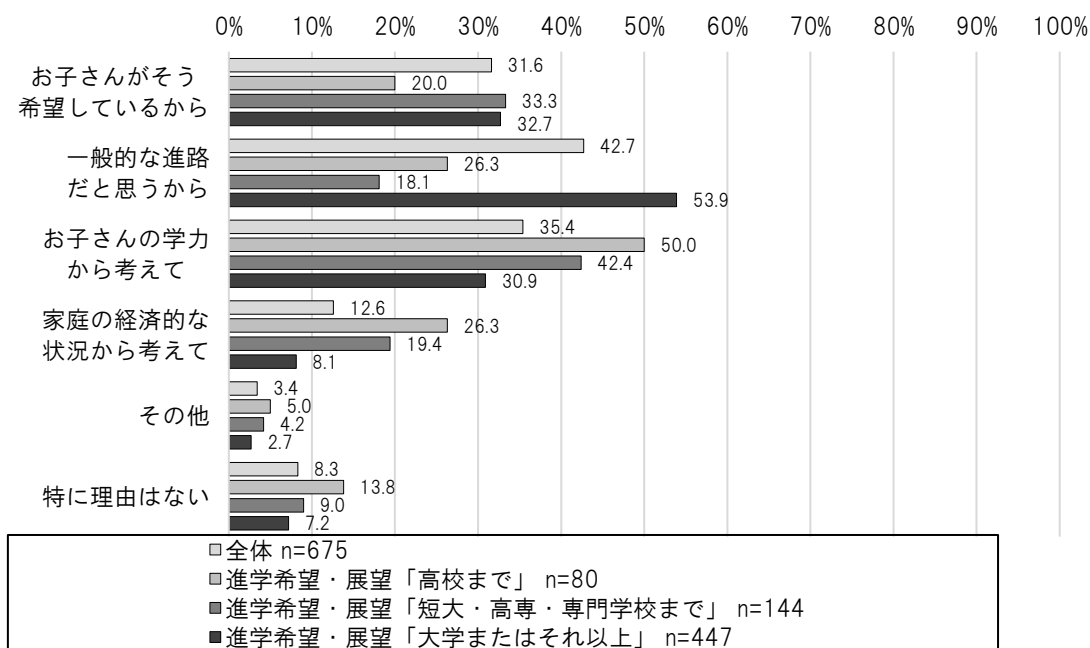


(2)進学希望先別・保護者[小学生] (問 17. 進学先の展望の理由)

子どもの進学先の展望の理由について、進学希望先別にみると、小学生では、「全体」では「一般的な進路だと思うから」が42.3%、「高校まで」では「お子さんの学力から考えて」が49.7%、「短大・高専・専門学校まで」では「お子さんの学力から考えて」が37.0%、「大学またはそれ以上」では「一般的な進路だと思うから」が55.3%と最も高くなっています。また、「家庭の経済的な状況から考えて」が「高校まで」では26.7%となっており、他の進学先と比較して高くなっています。

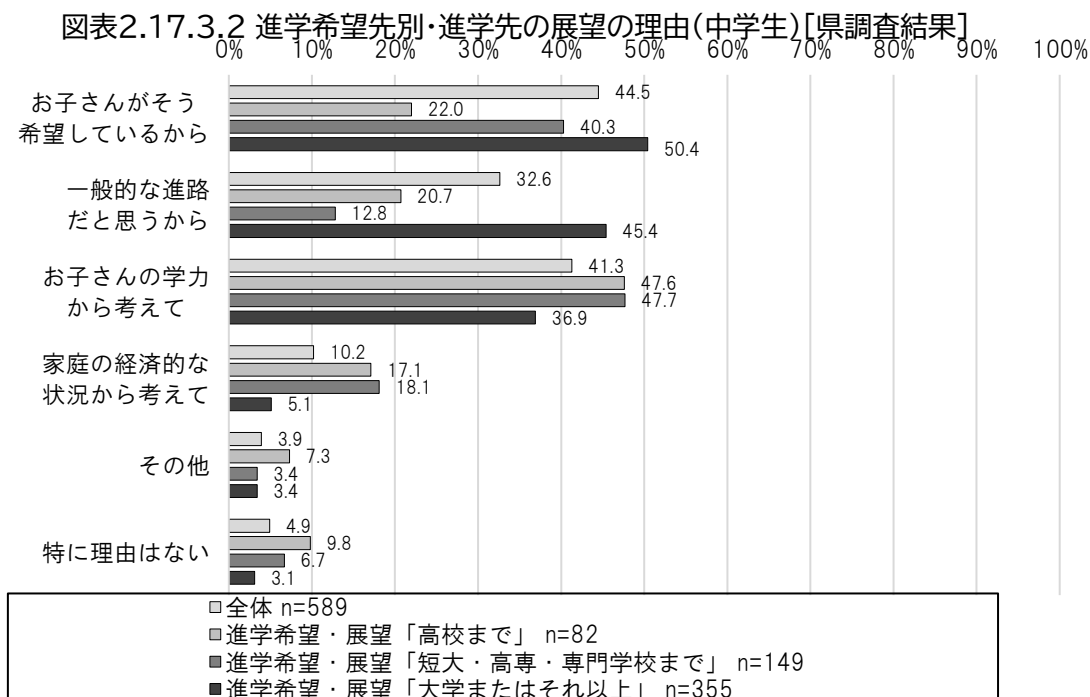
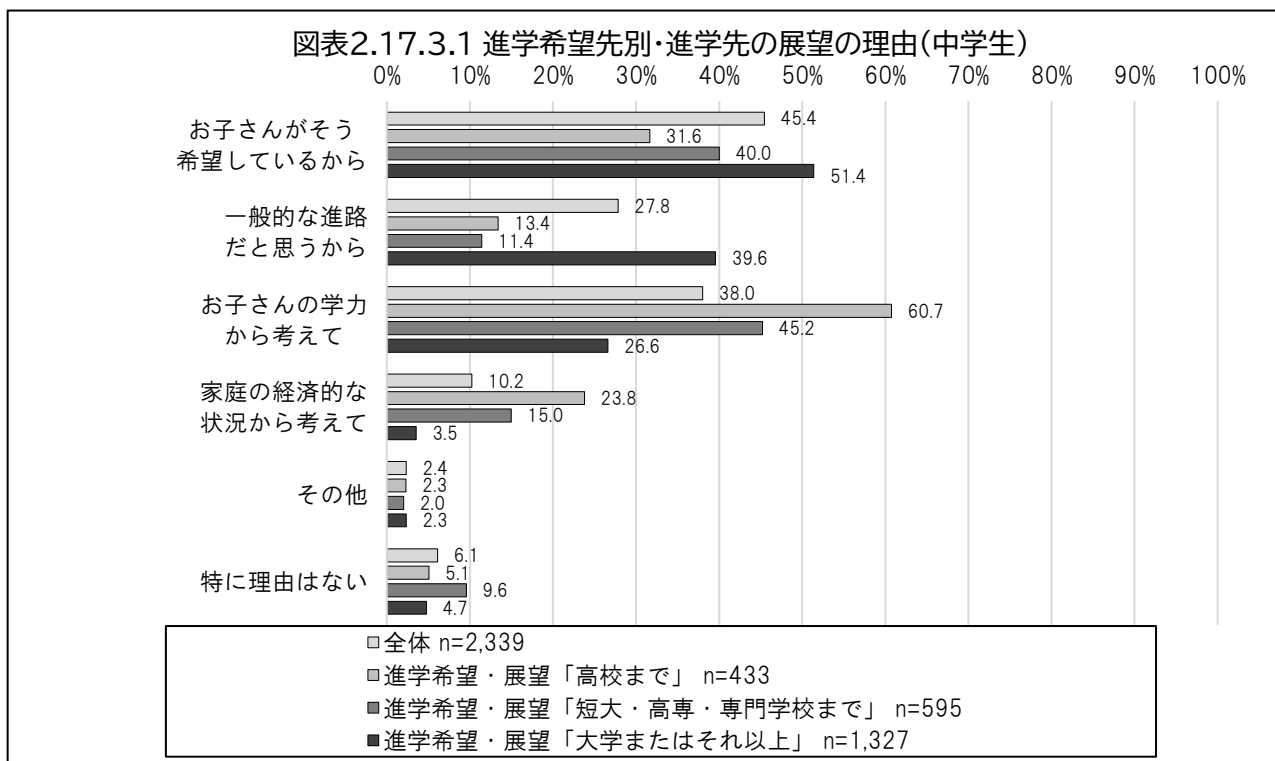


図表2.17.2.2 進学希望先別・進学先の展望の理由(小学生)[県調査結果]



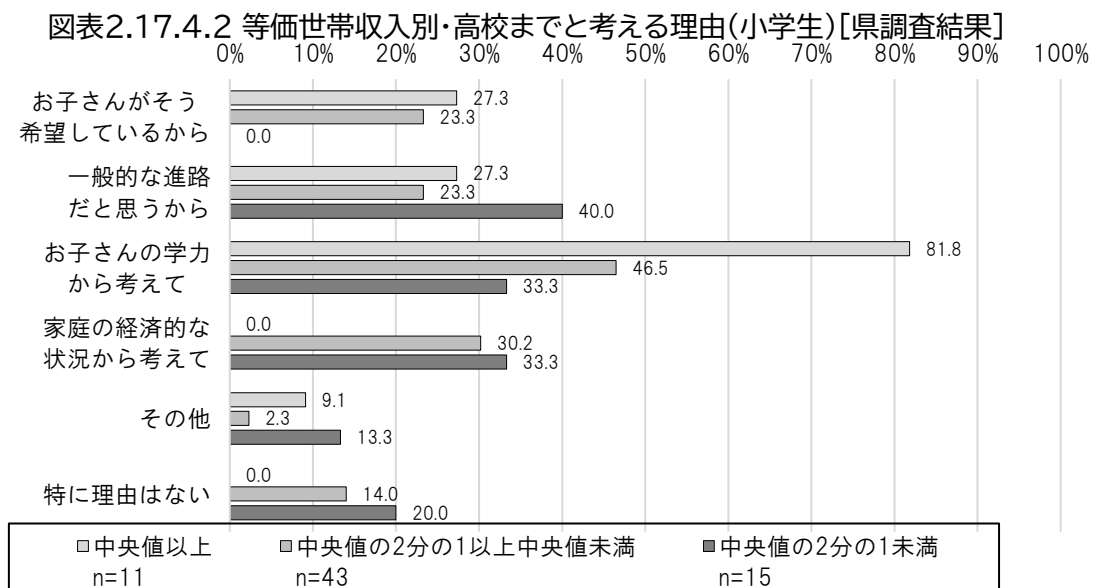
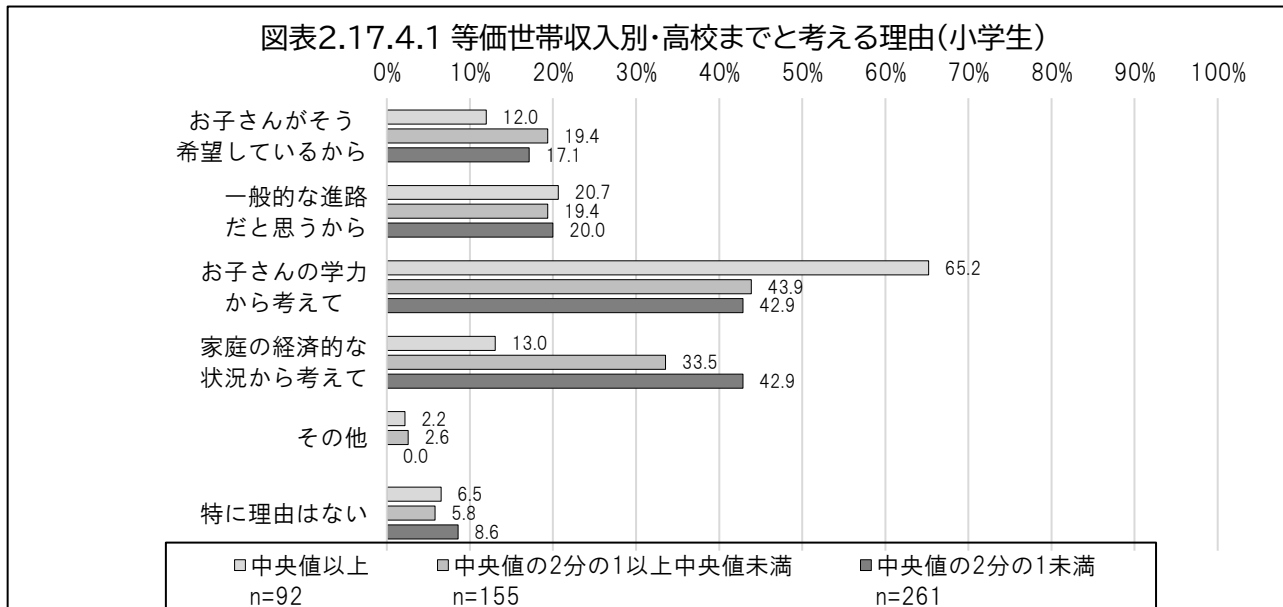
(3)進学希望先別・保護者[中学生] (問 17. 進学先の展望の理由)

子どもの進学先の展望の理由について、進学希望先別にみると、中学生では、「全体」では「お子さんがそう希望しているから」が45.4%、「高校まで」では「お子さんの学力から考えて」が60.7%、「短大・高専・専門学校まで」では「お子さんの学力から考えて」が45.2%、「大学またはそれ以上」では「お子さんがそう希望しているから」が51.4%と最も高くなっています。また、「家庭の経済的な状況から考えて」が「高校まで」では23.8%と、他の進学先と比較して高くなっています。



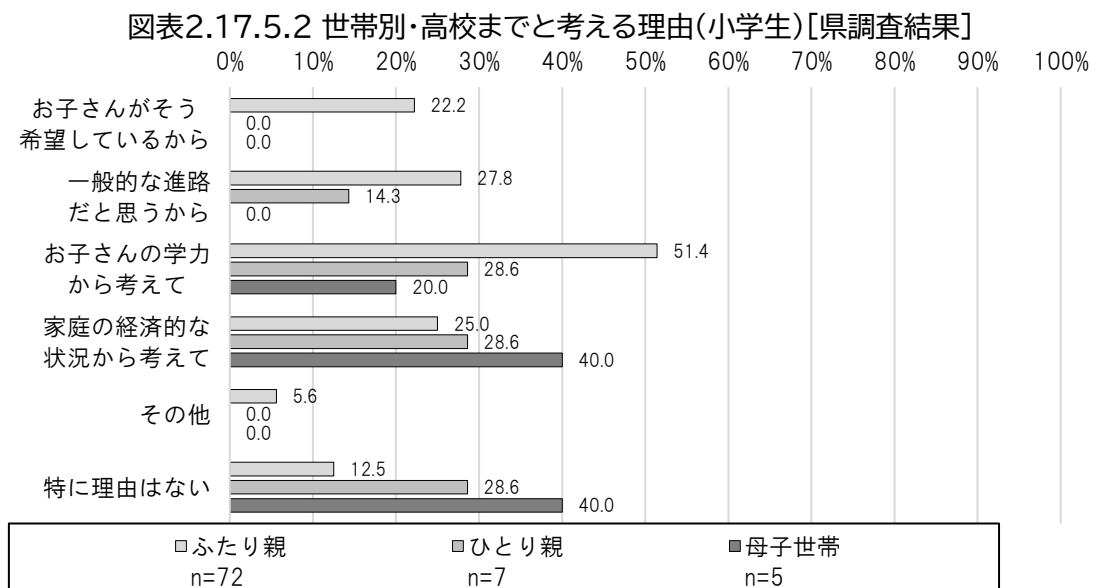
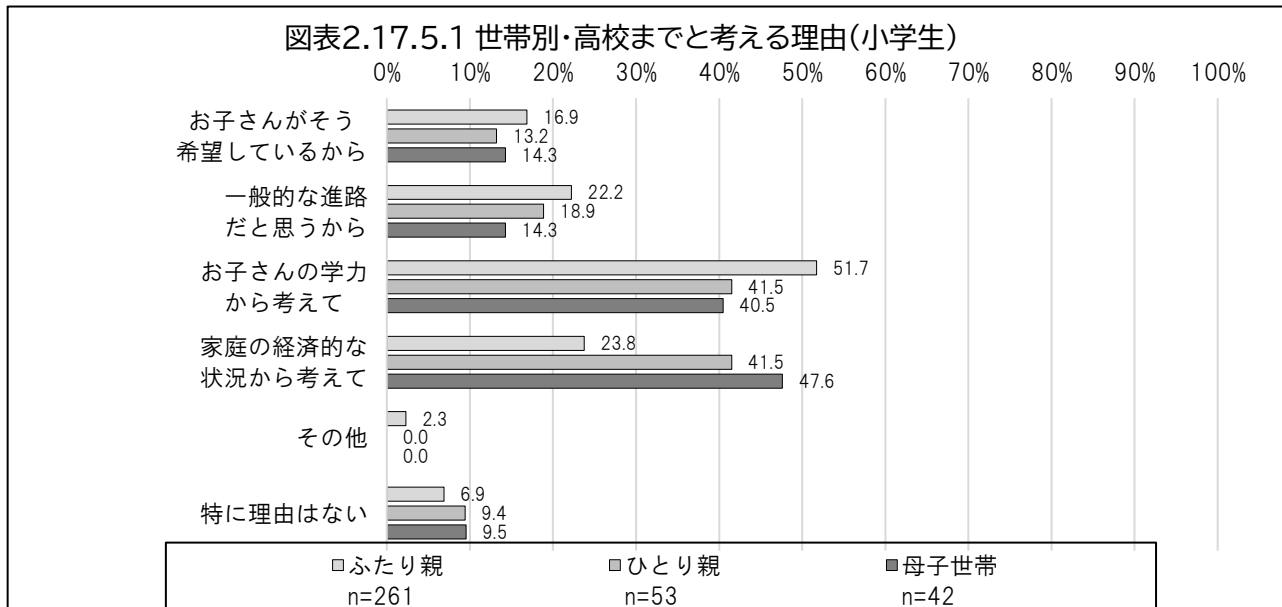
(4)等価世帯収入別・進学先を「高校まで」と考える理由・保護者[小学生] (問 17. 進学先の展望の理由)

子どもの進学先を「高校まで」と考える理由について、等価世帯収入別にみると、小学生では、「中央値以上」、「中央値の2分の1以上中央値未満」の水準では、「お子さんの学力から考えて」が 65.2%、43.9%と最も高く、「中央値の2分の1未満」の水準では、「お子さんの学力から考えて」と「家庭の経済的な状況から考えて」がともに 42.9%と最も高くなっています。



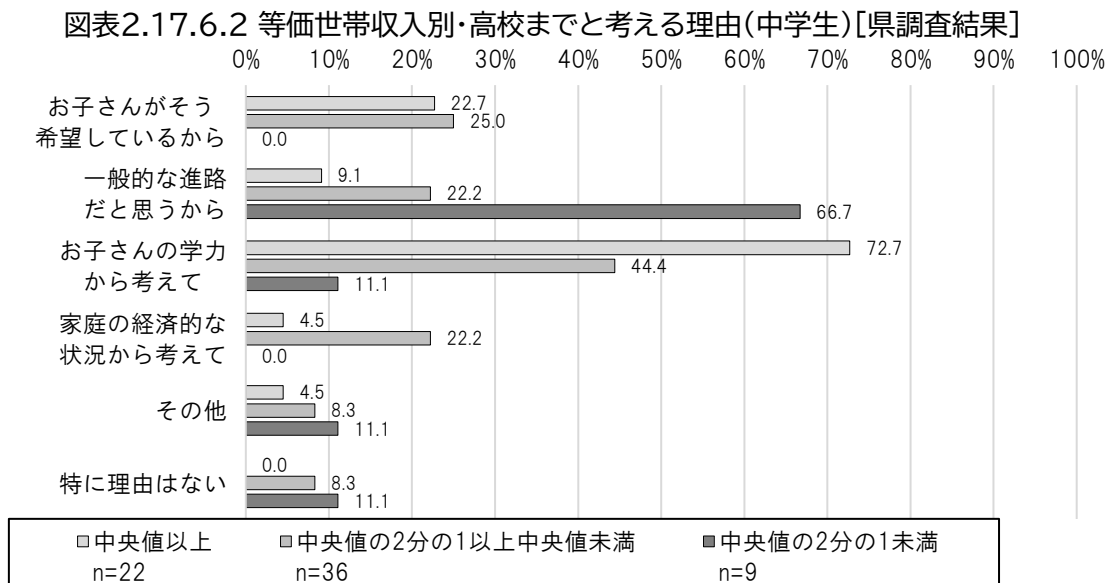
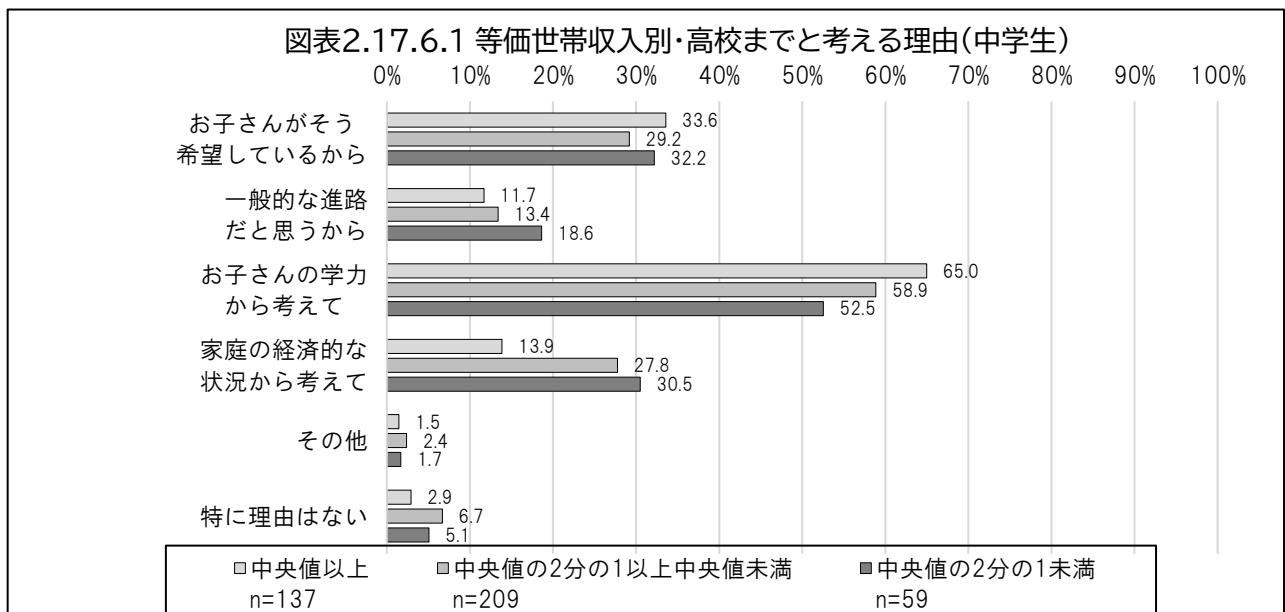
(5)世帯別・進学先を「高校まで」と考える理由・保護者[小学生] (問 17. 進学先の展望の理由)

子供の進学先を「高校まで」と考える理由について、世帯別にみると、小学生では、ふたり親世帯では「お子さんの学力から考えて」が51.7%、ひとり親世帯では「お子さんの学力から考えて」と「家庭の経済的な状況から考えて」がともに41.5%と最も高くなっています。母子世帯では「家庭の経済的な状況から考えて」が47.6%と最も高くなっています。



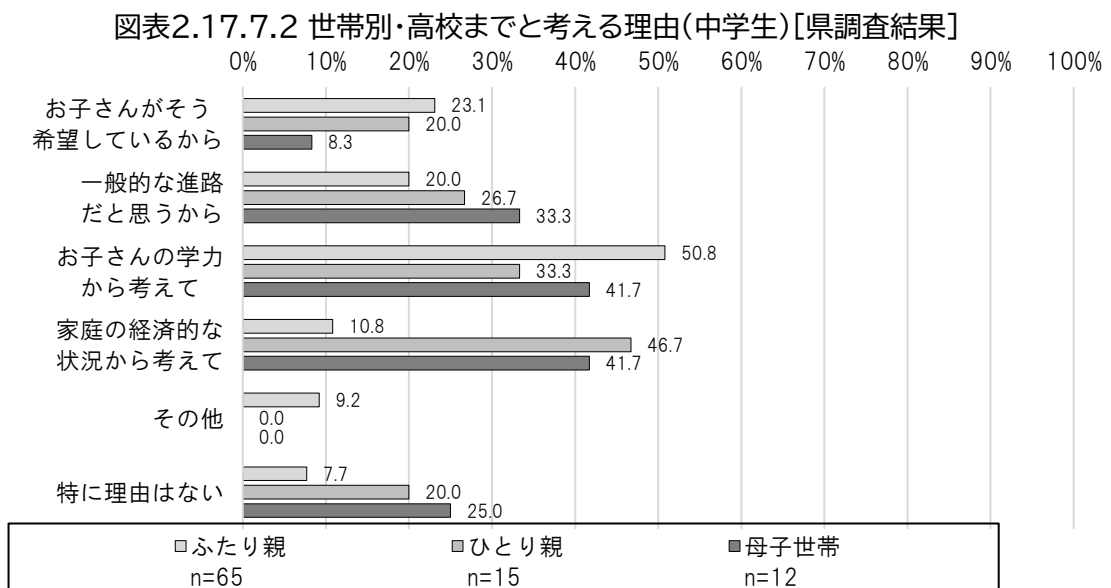
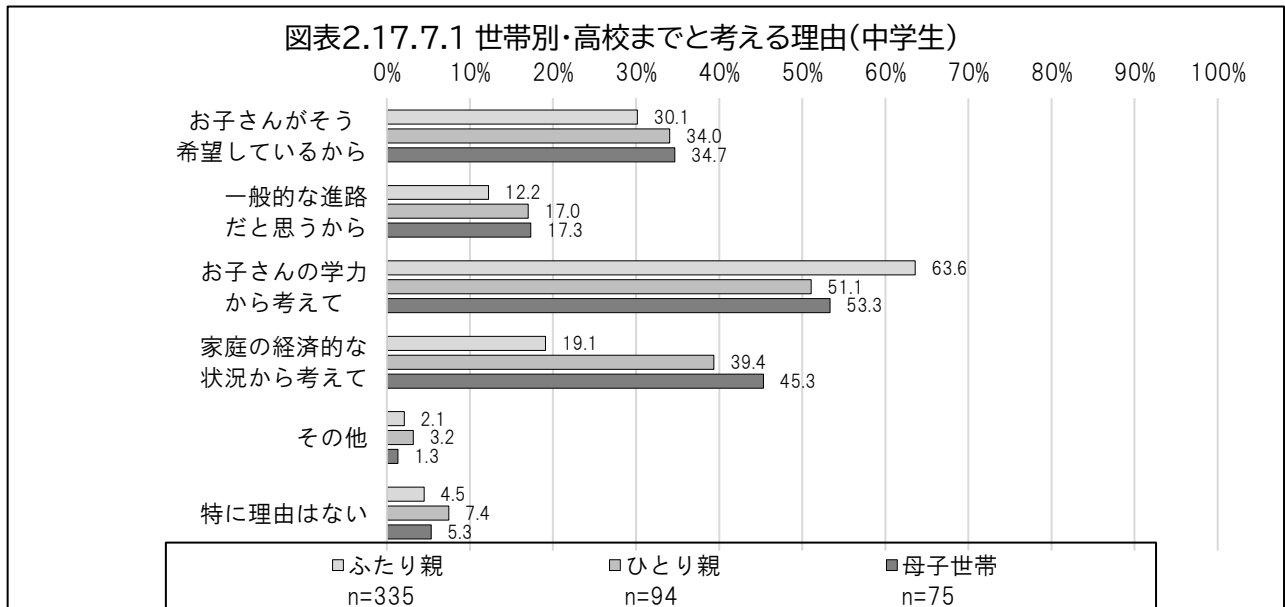
(6)等価世帯収入別・進学先を「高校まで」と考える理由・保護者[中学生] (問 17. 進学先の展望の理由)

子供の進学先を「高校まで」と考える理由について、等価世帯収入別にみると、中学生では、いずれの水準においても「お子さんの学力から考えて」が65.0%、58.9%、52.5%と最も高く、次いで「お子さんがそう希望しているから」が33.6%、29.2%、32.2%となっています。また、「家庭の経済的な状況から考えて」が、それぞれ13.9%、27.8%、30.5%となり、「中央値以上」に比べて「中央値の2分の1以上中央値未満」では13.9%、「中央値の2分の1未満」では16.6%高くなっています。



(7)世帯別・進学先を「高校まで」と考える理由・保護者[中学生] (問 17. 進学先の展望の理由)

子どもの進学先を「高校まで」と考える理由について、世帯別にみると、中学生では、いずれの世帯においても「お子さんの学力から考えて」が63.6%、51.1%、53.3%と最も高く、次いで、ふたり親世帯では、「お子さんがそう希望しているから」が30.1%、ひとり親世帯および母子世帯では「家庭の経済的な状況から考えて」が39.4%、45.3%となっています。

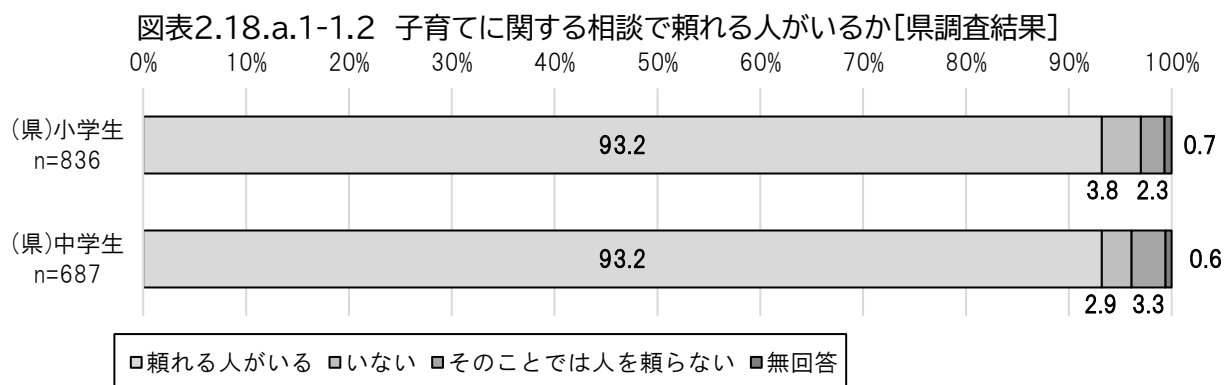
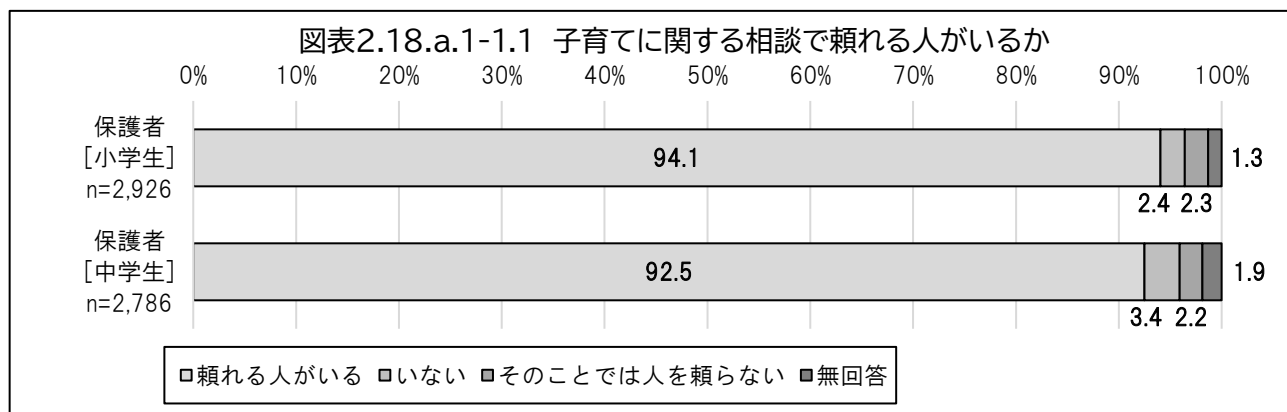


問18. あなたは次に挙げる事柄(ことがら)で頼れる人はいますか。

a) 子育てに関する相談

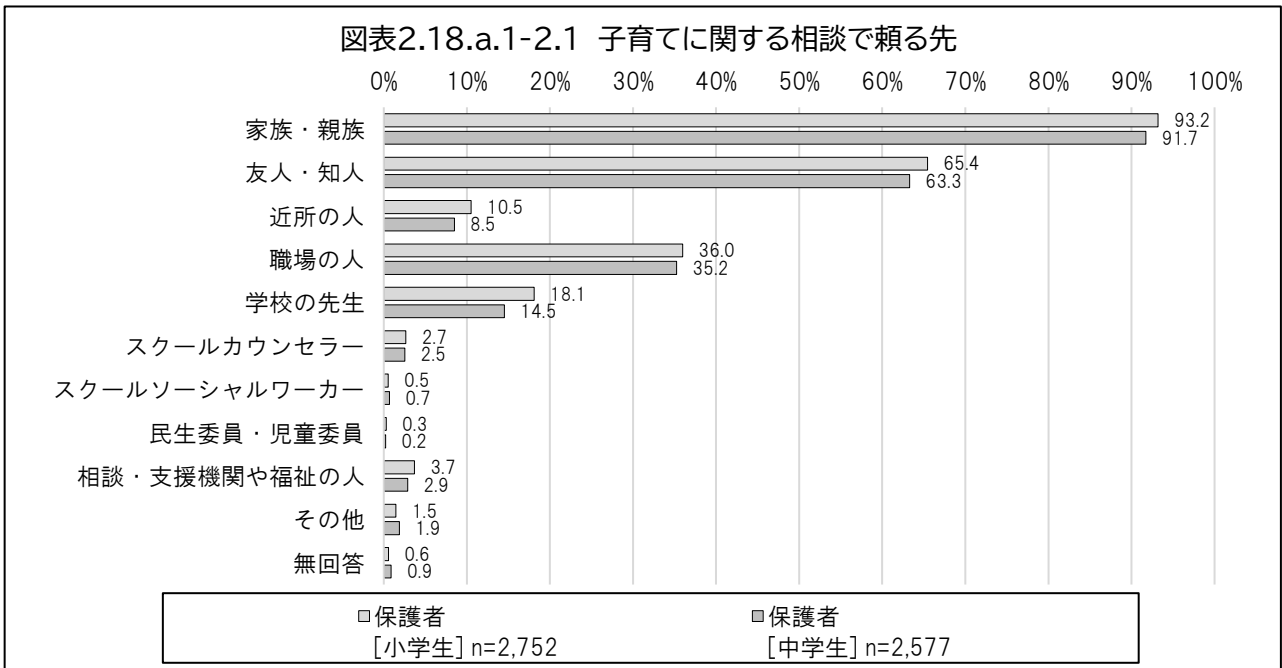
(1)-1 全体

子育てに関する相談で頼れる人がいるかについて、小学生・中学生ともに「頼れる人がいる」が、94.1%、92.5%と最も高くなっています。また、「いない」が、2.4%、3.4%となっています。

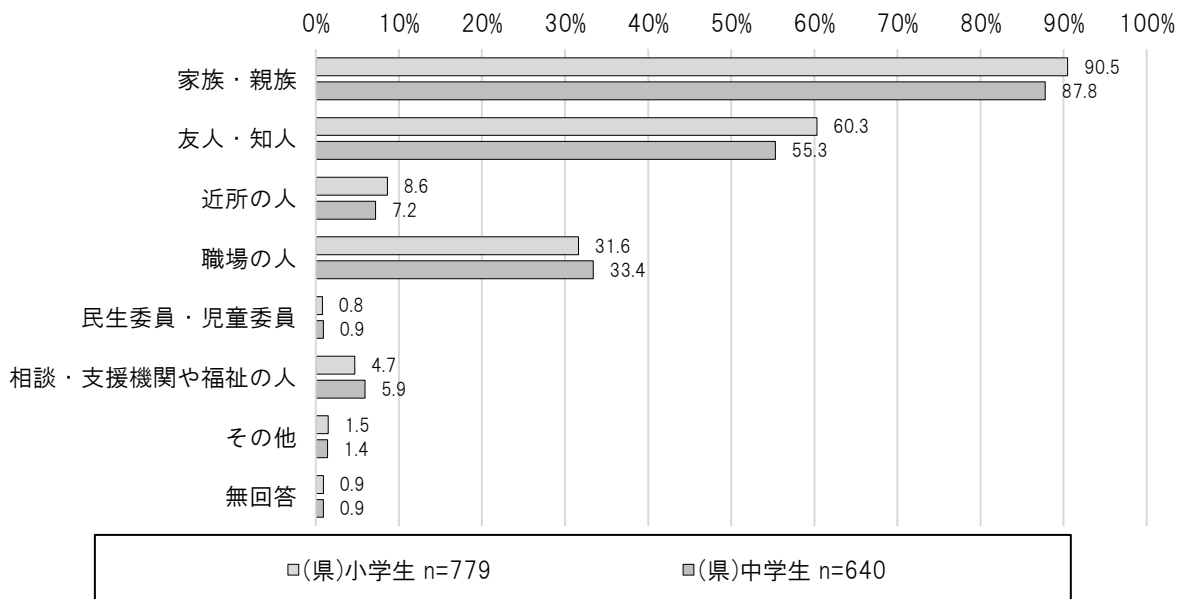


(1)-2 頼る相手(全体)

子育てに関する相談で頼る先について、小学生・中学生ともに「家族・親族」が93.2%、91.7%と最も高く、次いで「友人・知人」が65.4%、63.3%、「職場の人」が36.0%、35.2%となっています。

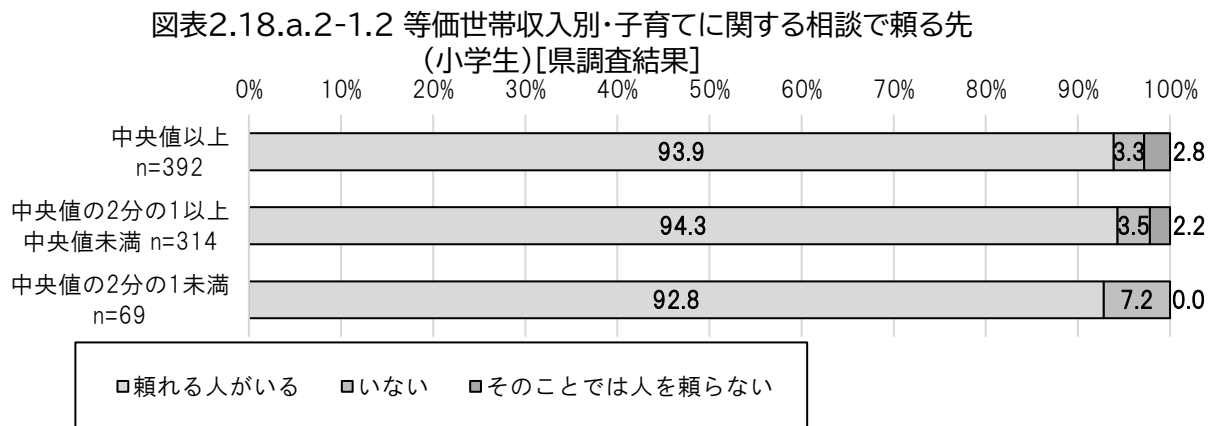
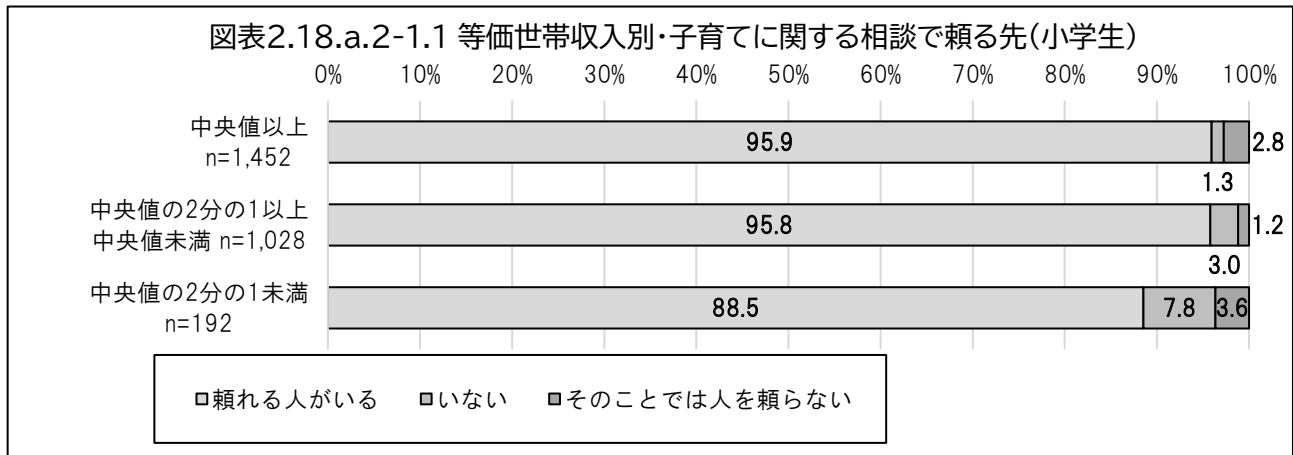


図表2.18.a.1-2.2 子育てに関する相談で頼る先[県調査結果]



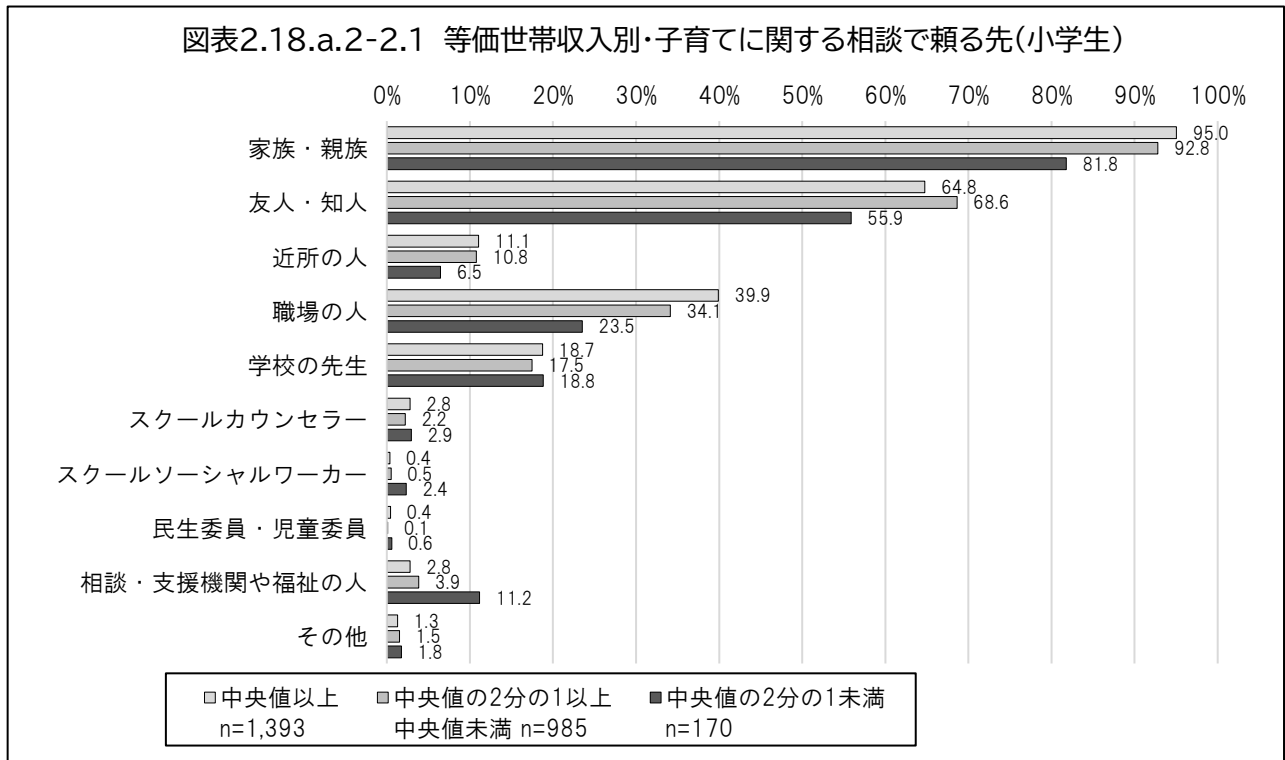
(2)-1 等価世帯収入別・保護者[小学生] (問 18 a 子育て相談に関する相談)

子育てに関する相談で頼れる人がいるかについて、等価世帯収入別にみると、小学生では、いずれの水準においても「頼れる人がいる」が、95.9%、95.8%、88.5%と最も高くなっています。また、「いない」が、それぞれ1.3%、3.0%、7.8%となっており、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では、他の水準と比較して高くなっています。

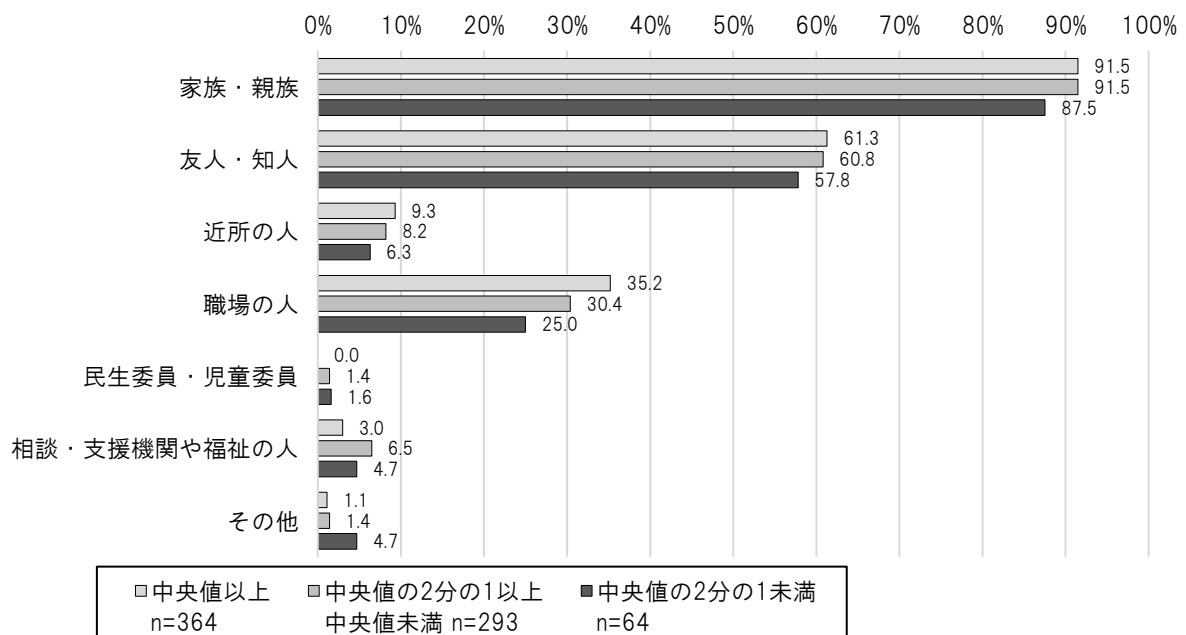


(2)-2 等価世帯収入別・保護者[小学生] (問 18 a 子育て相談に関する相談相手)

子育てに関する相談で頼る先について、等価世帯収入別にみると、小学生では、いずれの水準においても「家族・親族」が95.0%、92.8%、81.8%と最も高く、次いで、「友人・知人」が64.8%、68.6%、55.9%となっています。また、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では、「相談・支援機関や福祉の人」が11.2%と、他の水準と比較して高くなっています。

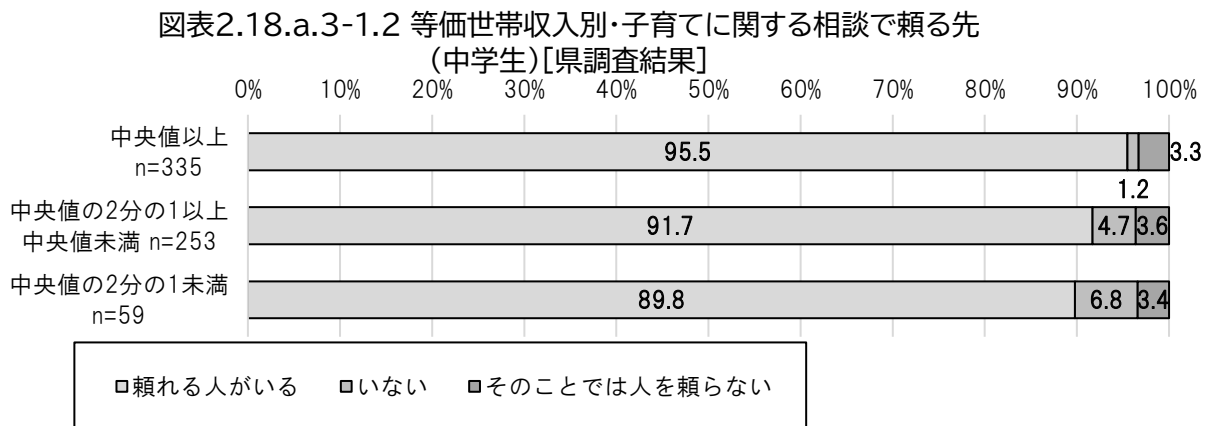
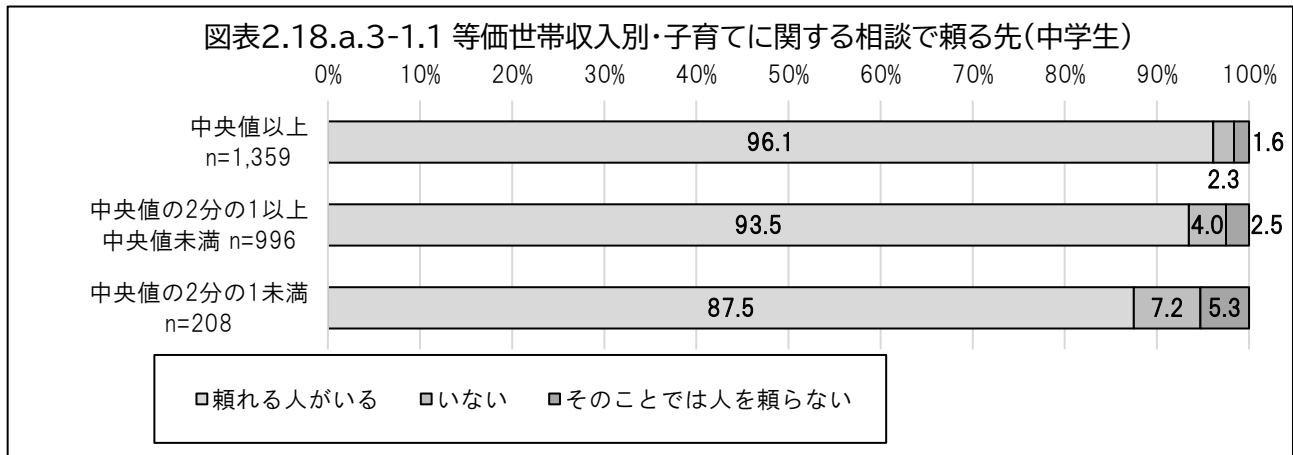


図表2.18.a.2-2.2 等価世帯収入別・子育てに関する相談で頼る先 (小学生)[県調査結果]



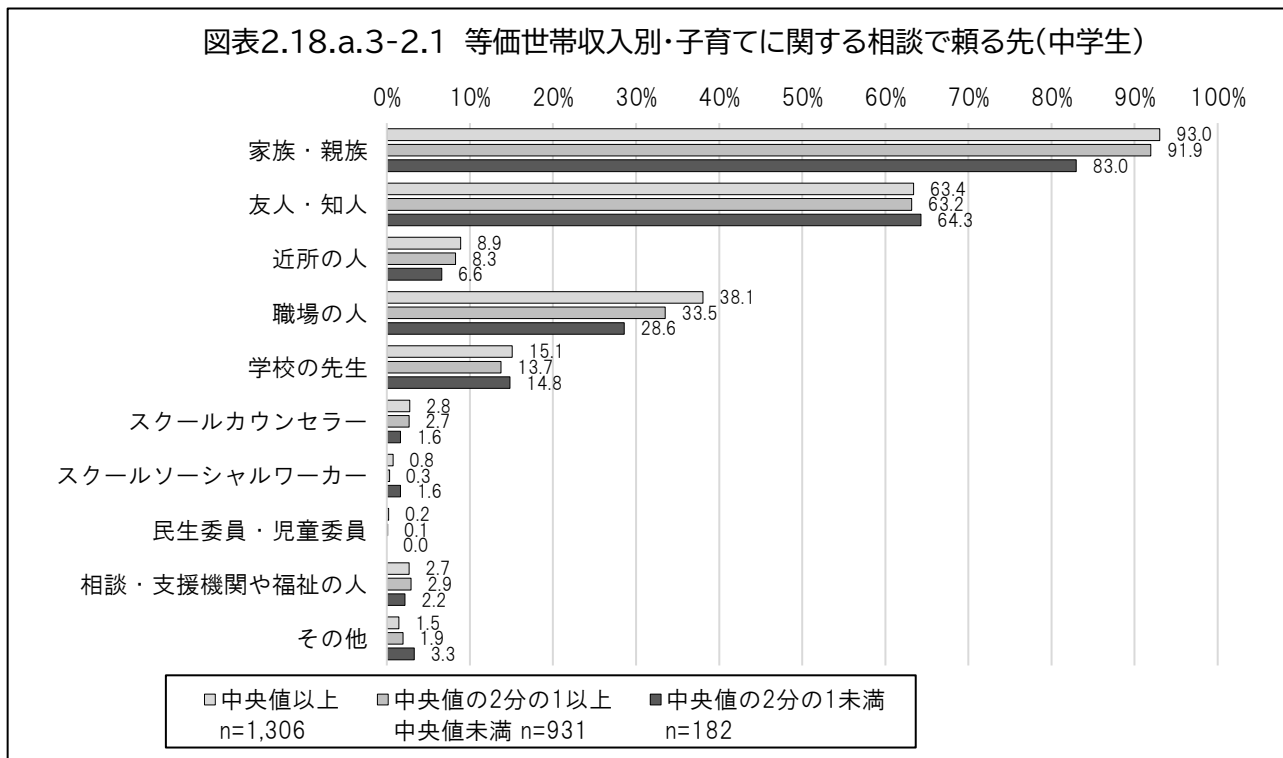
(3)-1 等価世帯収入別・保護者[中学生] (問 18 a 子育て相談に関する相談)

子育てに関する相談で頼れる人がいるかについて、等価世帯収入別にみると、中学生では、いずれの水準においても「頼れる人がいる」が96.1%、93.5%、87.5%と最も高くなっています。また、「いない」が、それぞれ2.3%、4.0%、7.2%となっており、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では、他の水準と比較して高くなっています。

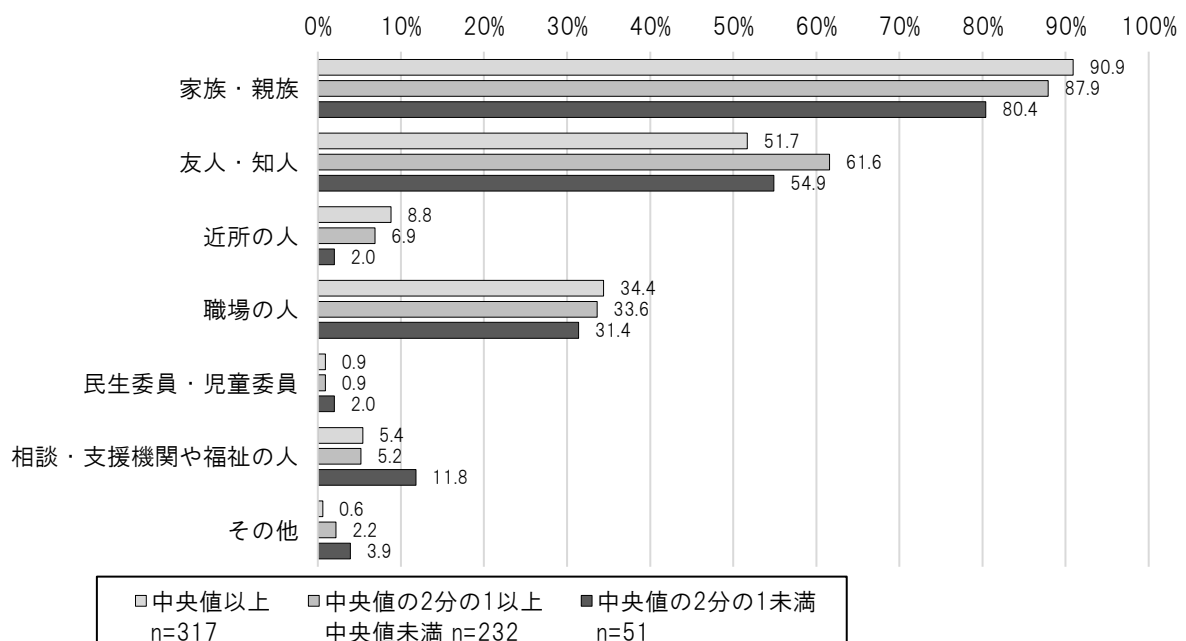


(3)-2 等価世帯収入別・保護者[中学生] (問 18 a 子育て相談に関する相談相手)

子育てに関する相談で頼る先について、等価世帯収入別にみると、中学生では、いずれの水準においても「家族・親族」が93.0%、91.9%、83.0%と最も高くなっています。次いで、「友人・知人」が、それぞれ63.4%、63.2%、64.3%となっています。

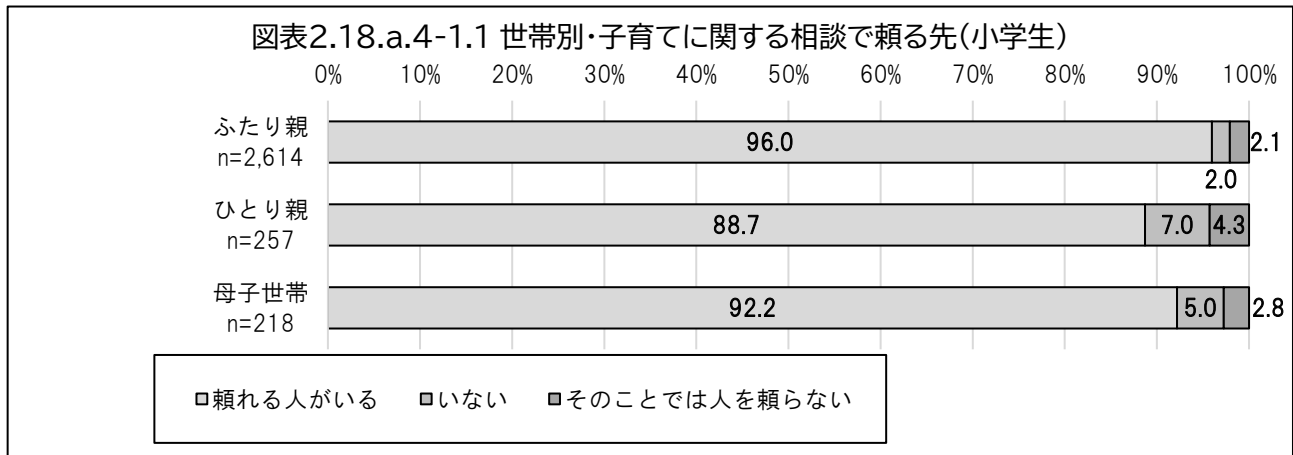


図表2.18.a.3-2.2 等価世帯収入別・子育てに関する相談で頼る先 (中学生)[県調査結果]

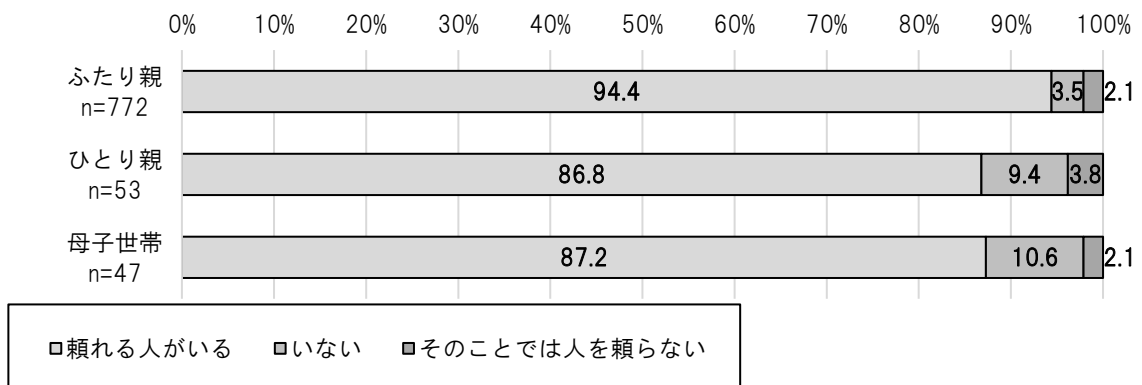


(4)-1 世帯別・保護者[小学生] (問 18 a 子育て相談に関する相談)

子育てに関する相談で頼れる人がいるかについて、世帯別にみると、小学生では、いずれの世帯においても「頼れる人がいる」が96.0%、88.7%、92.2%と最も高くなっています。また、「いない」が、それぞれ 2.0%、7.0%、5.0%となっており、ひとり親世帯では、ふたり親世帯と比較して高くなっています。

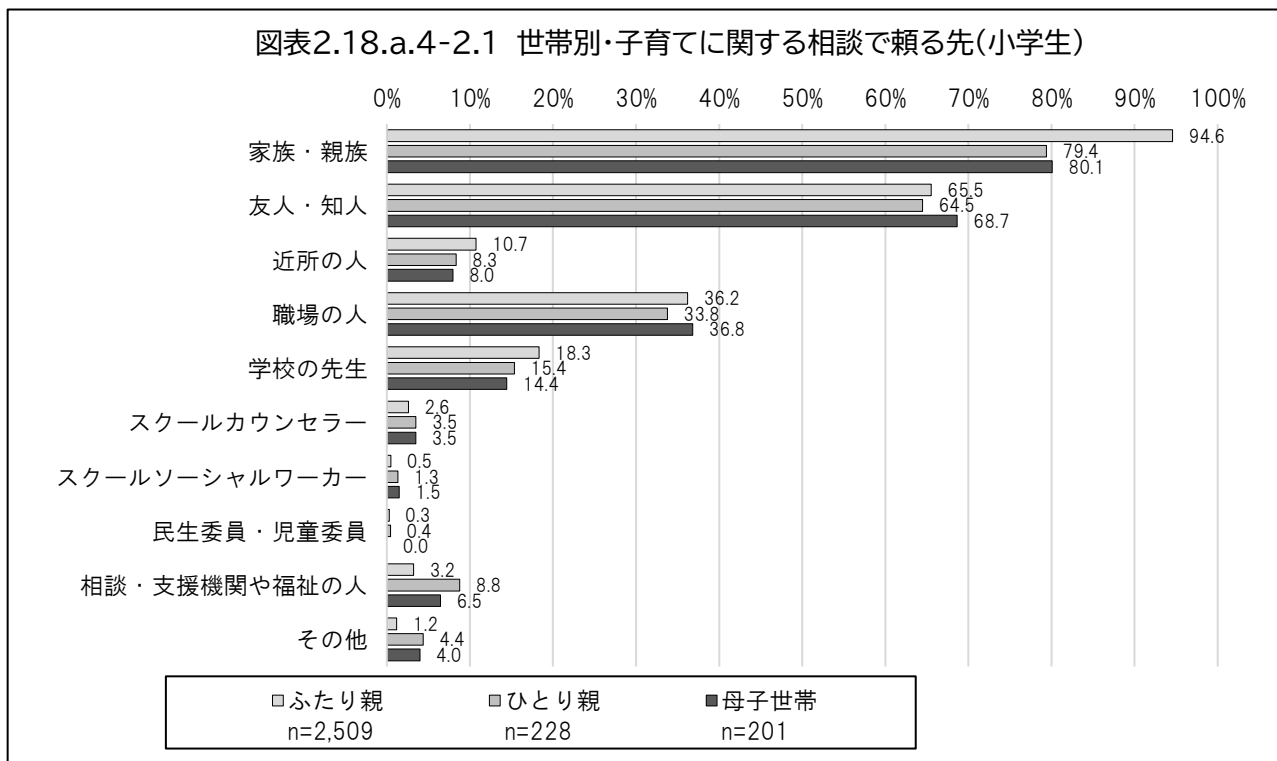


図表2.18.a.4-1.2 世帯別・子育てに関する相談で頼る先(小学生)[県調査結果]

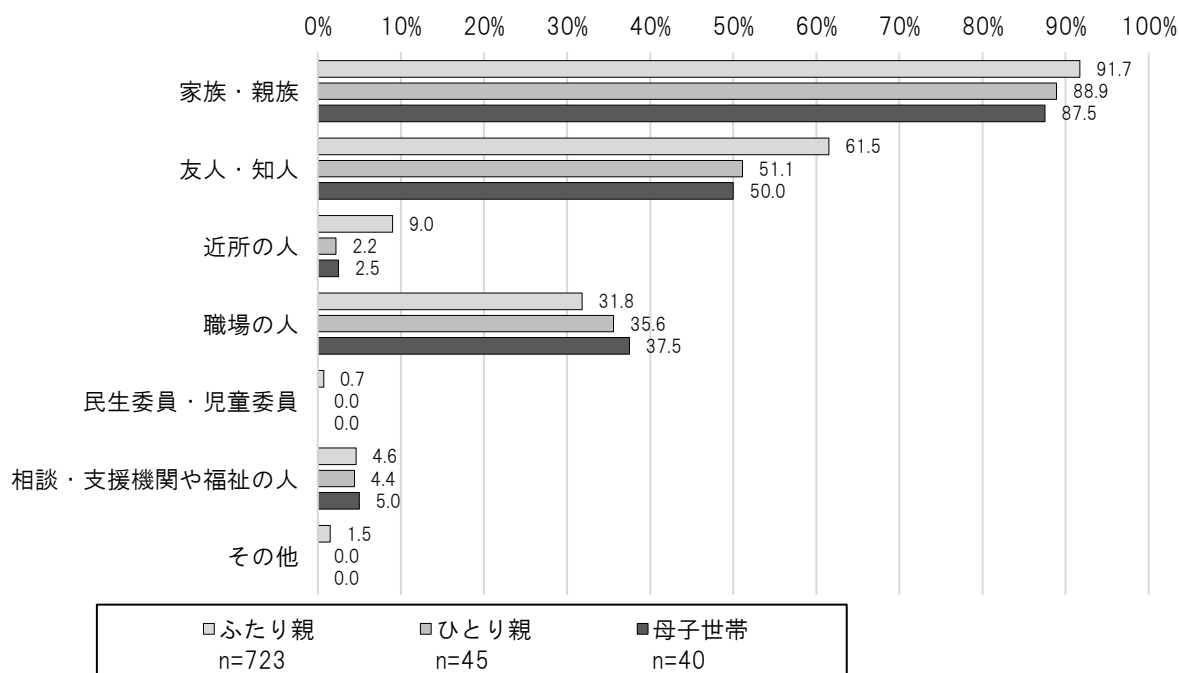


(4)-2 世帯別・保護者[小学生] (問 18 a 子育て相談に関する相談相手)

子育てに関する相談で頼る先について、世帯別にみると、小学生では、いずれの世帯においても「家族・親族」が94.6%、79.4%、80.1%と最も高くなっています。次いで、「友人・知人」が、65.5%、64.5%、68.7%となっています。また、ひとり親世帯では、「相談・支援機関や福祉の人」が8.8%と、ふたり親世帯と比較して高くなっています。

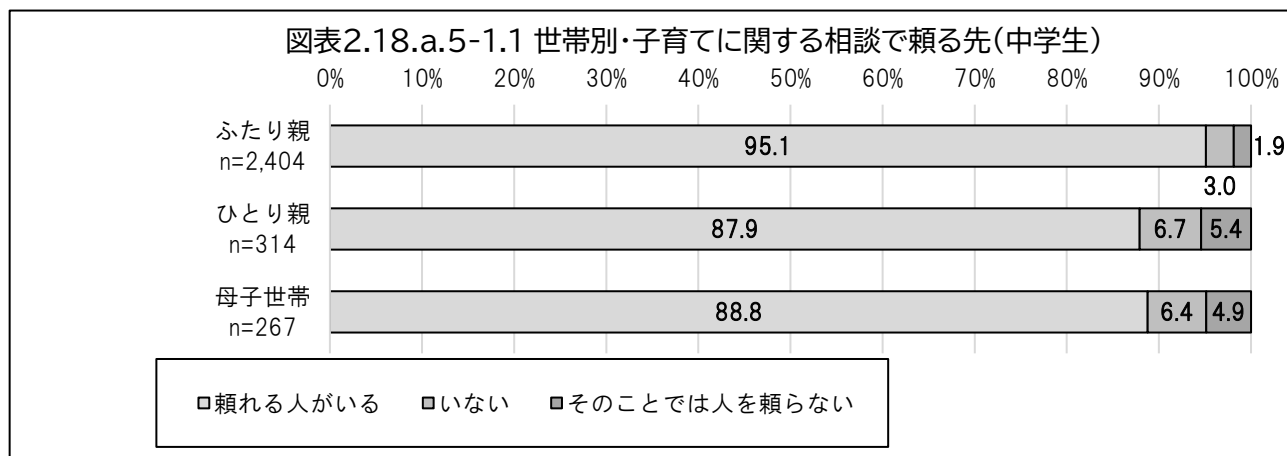


図表2.18.a.4-2.2 世帯別・子育てに関する相談で頼る先(小学生)[県調査結果]

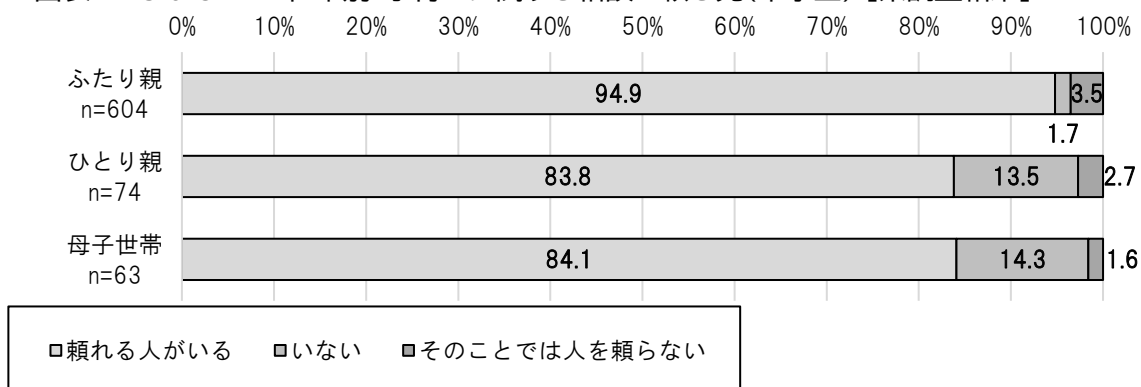


(5)-1 世帯別・保護者[中学生] (問 18 a 子育て相談に関する相談)

子育てに関する相談で頼れる人がいるかについて、世帯別にみると、中学生では、いずれの世帯においても「頼れる人がいる」が95.1%、87.9%、88.8%と最も高くなっています。また、「いない」が、それぞれ 3.0%、6.7%、6.4%となっており、ひとり親世帯では、ふたり親世帯と比較して高くなっています。

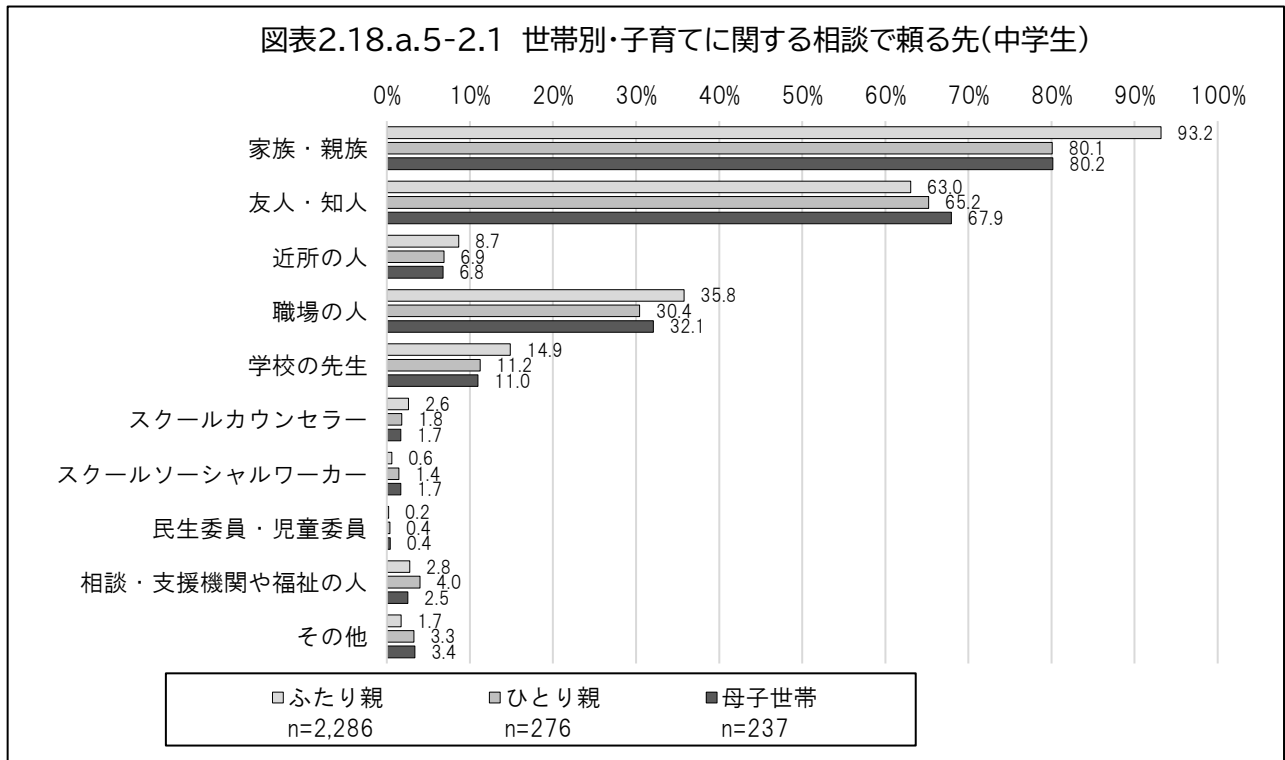


図表2.18.a.5-1.2 世帯別・子育てに関する相談で頼る先(中学生) [県調査結果]

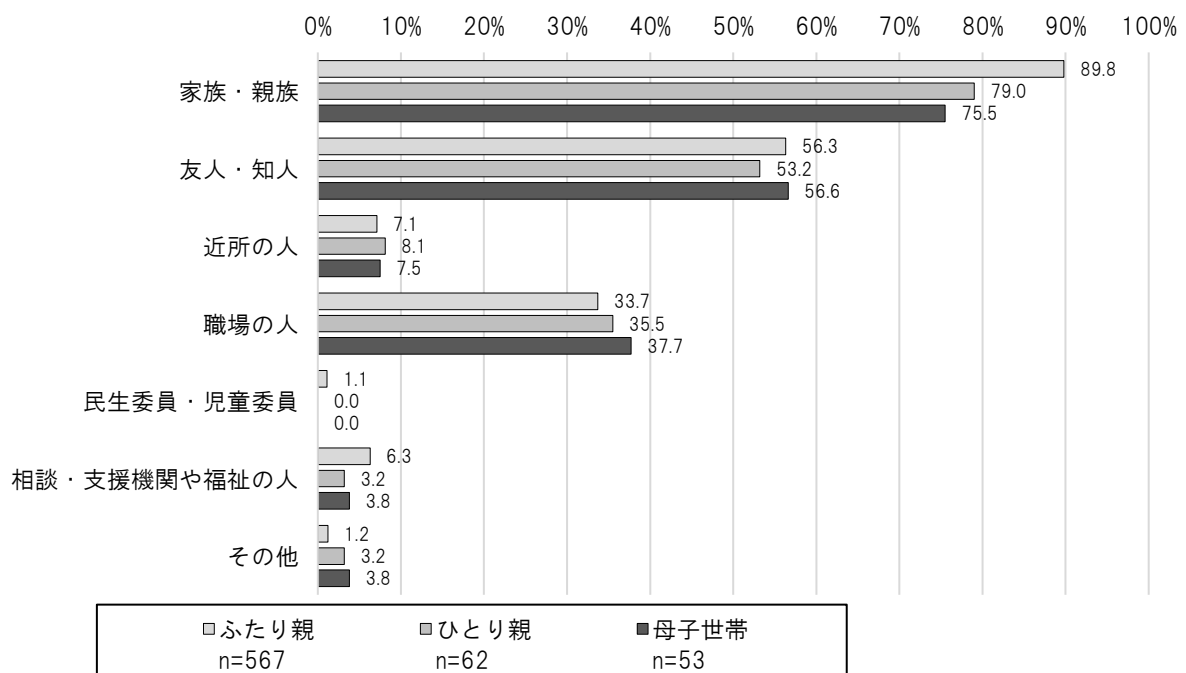


(5)-2 世帯別・保護者[中学生] (問 18 a 子育て相談に関する相談相手)

子育てに関する相談で頼る先について、世帯別にみると、中学生では、いずれの世帯においても「家族・親族」がそれぞれ93.2%、80.1%、80.2%と最も高くなっています。次いで、「友人・知人」が、それぞれ63.0%、65.2%、67.9%となっています。また、ひとり親世帯では、「相談・支援機関や福祉の人」が4.0%と。ふたり親世帯と比較してやや高くなっています。



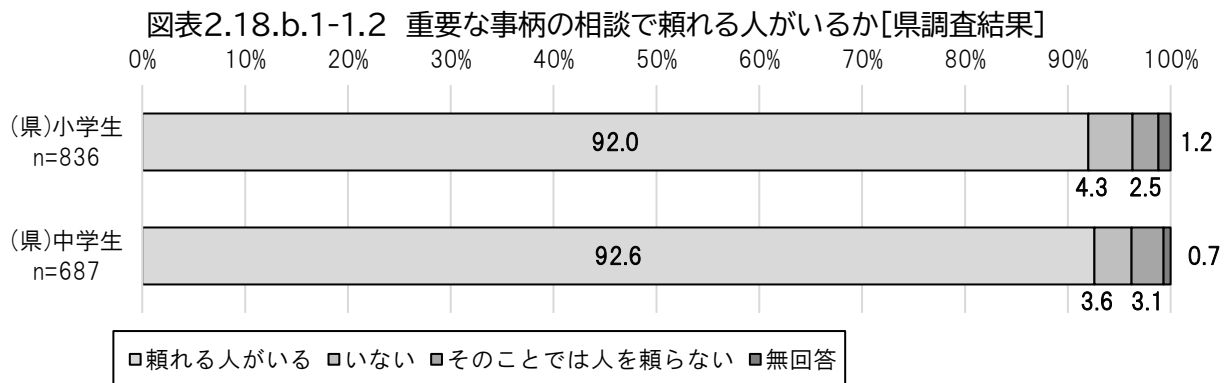
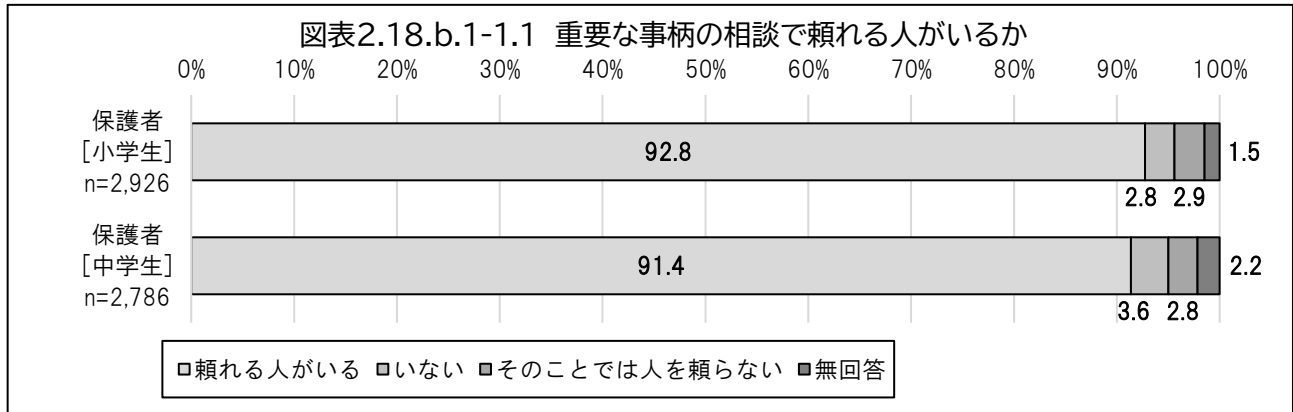
図表2.18.a.5-2.2 世帯別・子育てに関する相談で頼る先(中学生)[県調査結果]



b) 重要な事柄の相談

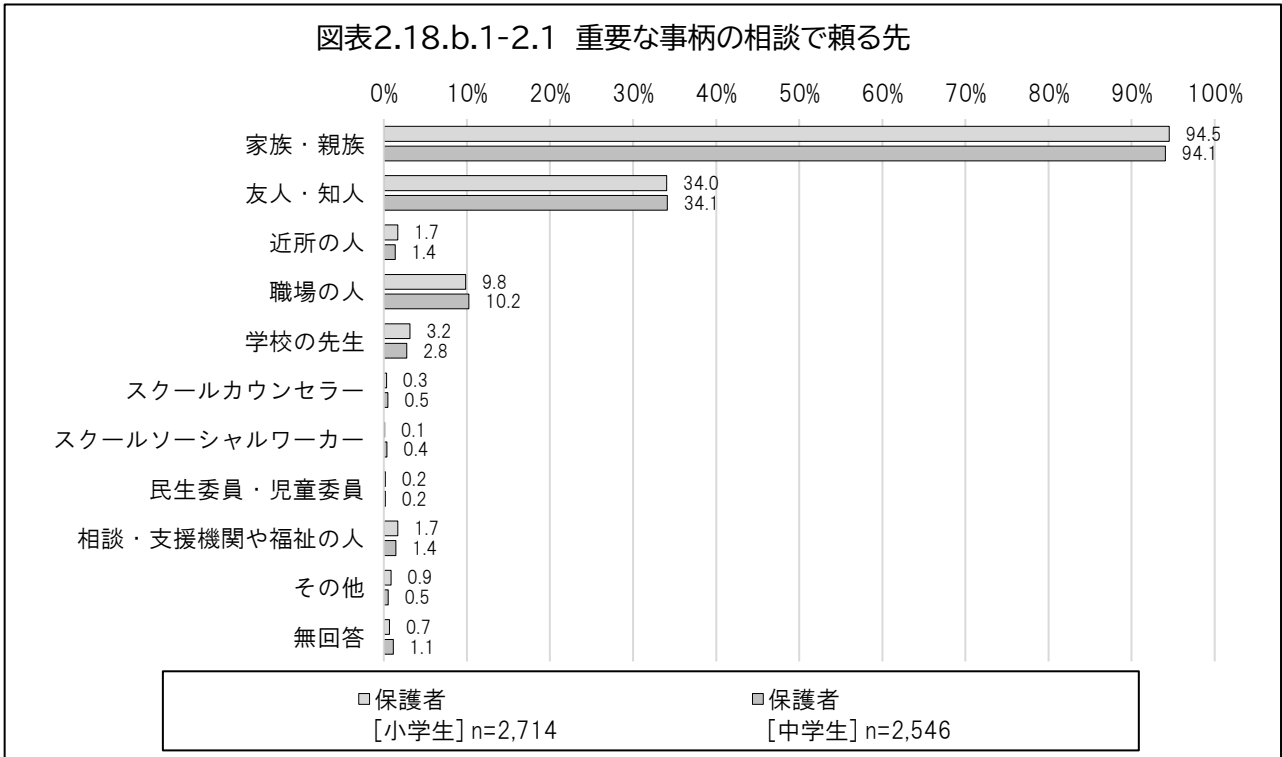
(1)-1 全体

重要な事柄の相談で頼れる人がいるかについて、小学生・中学生ともに「頼れる人がいる」が92.8%、91.4%と最も高くなっています。また、「いない」がそれぞれ2.8%、3.6%となっています。

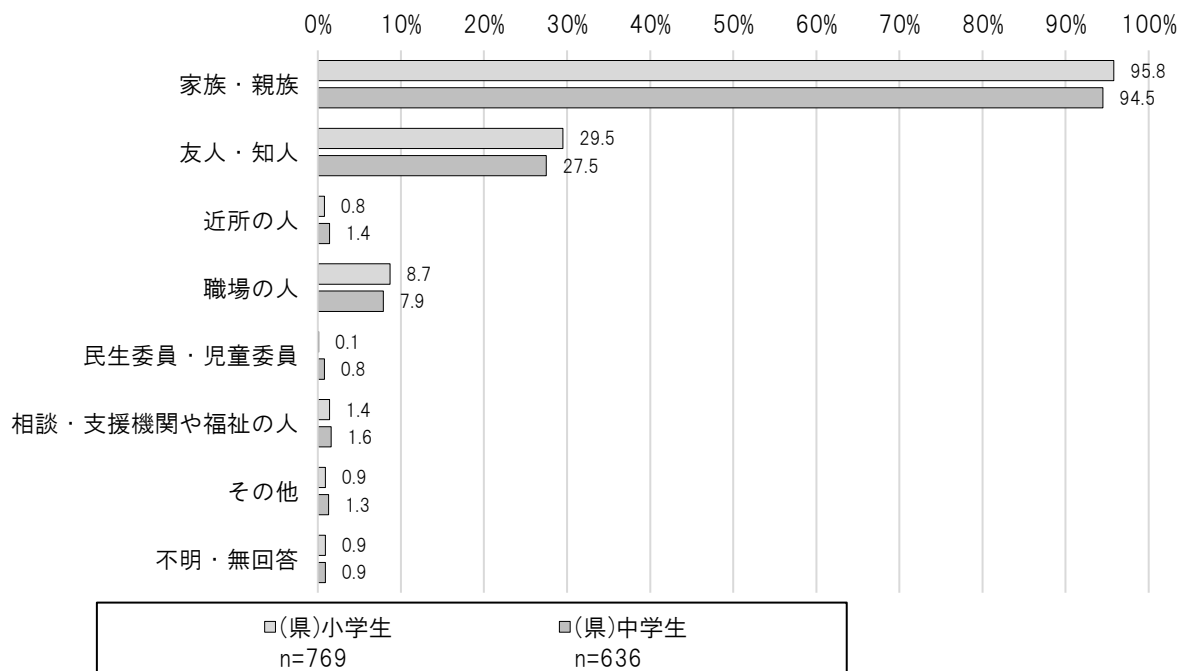


(1)-2 頼る相手(全体)

重要な事柄の相談で頼る先について、小学生・中学生ともに「家族・親族」が94.5%、94.1%と最も高く、次いで「友人・知人」が34.0%、34.1%となっています。

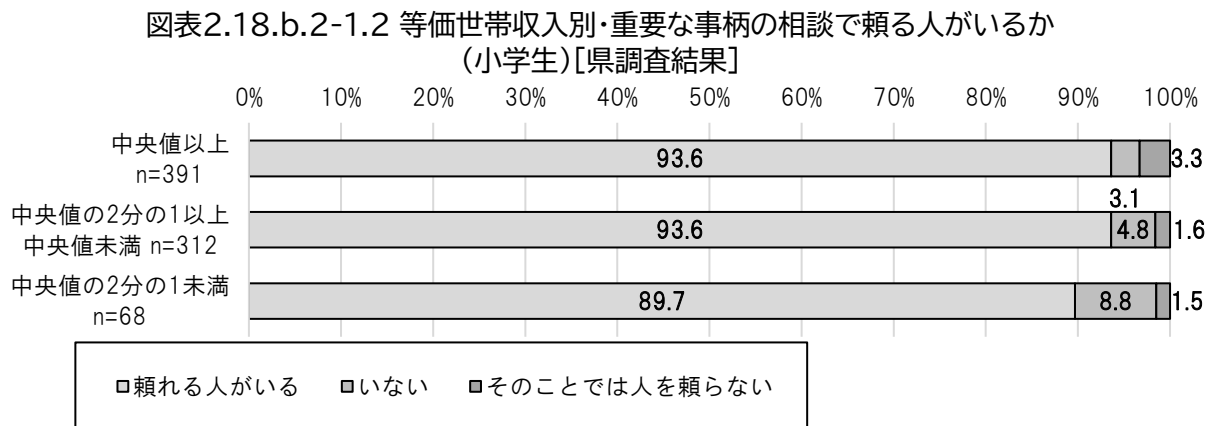
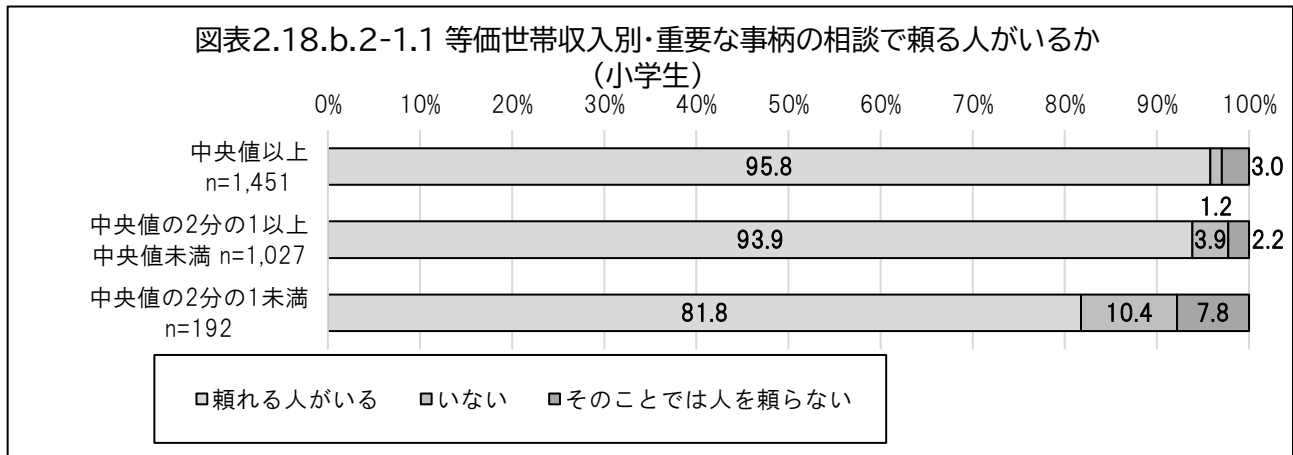


図表2.18.b.1-2.2 重要な事柄の相談で頼る先[県調査結果]



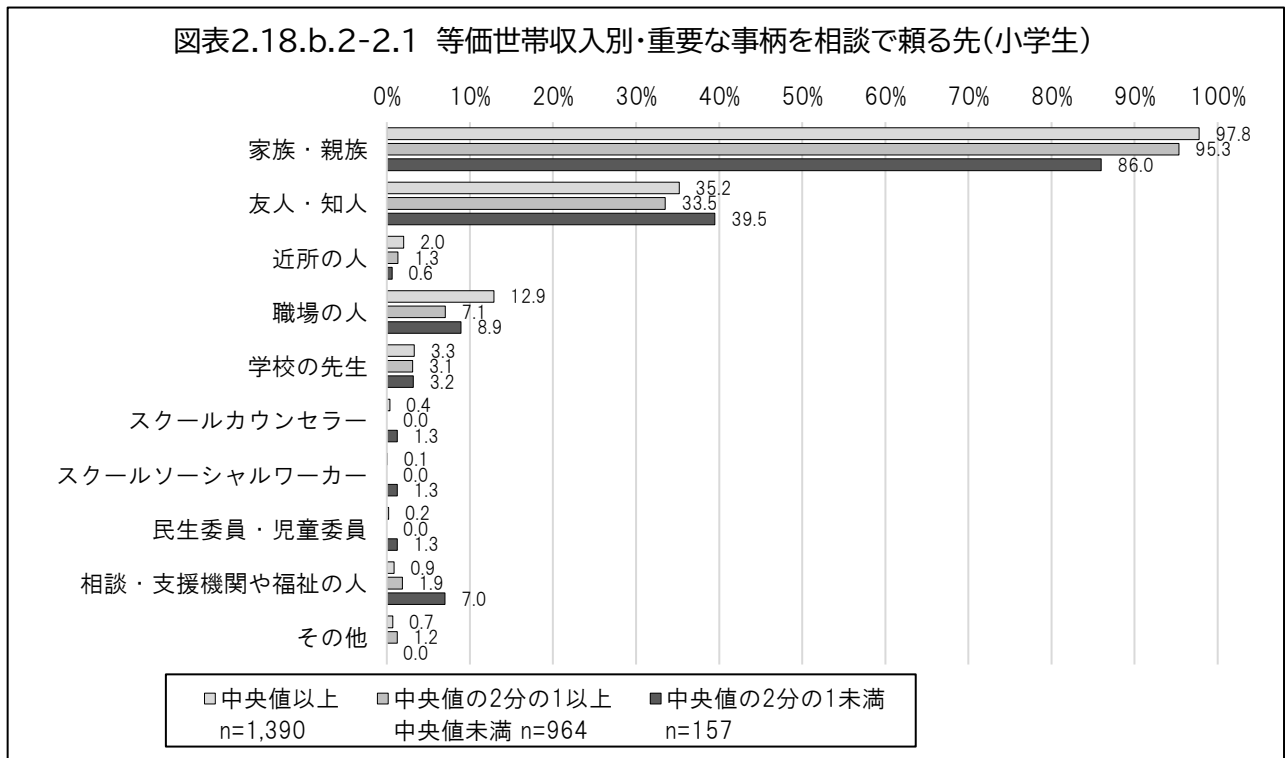
(2)-1 等価世帯収入別・保護者[小学生] (問 18 b 重要な事柄の相談)

重要な事柄の相談で頼れる人がいるかについて、等価世帯収入別で見ると、小学生では、いずれの水準においても「頼れる人がいる」が95.8%、93.9%、81.8%と最も高くなっています。また、「いない」が、それぞれ1.2%、3.9%、10.4%となっており、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では、他の水準と比較して高くなっています。

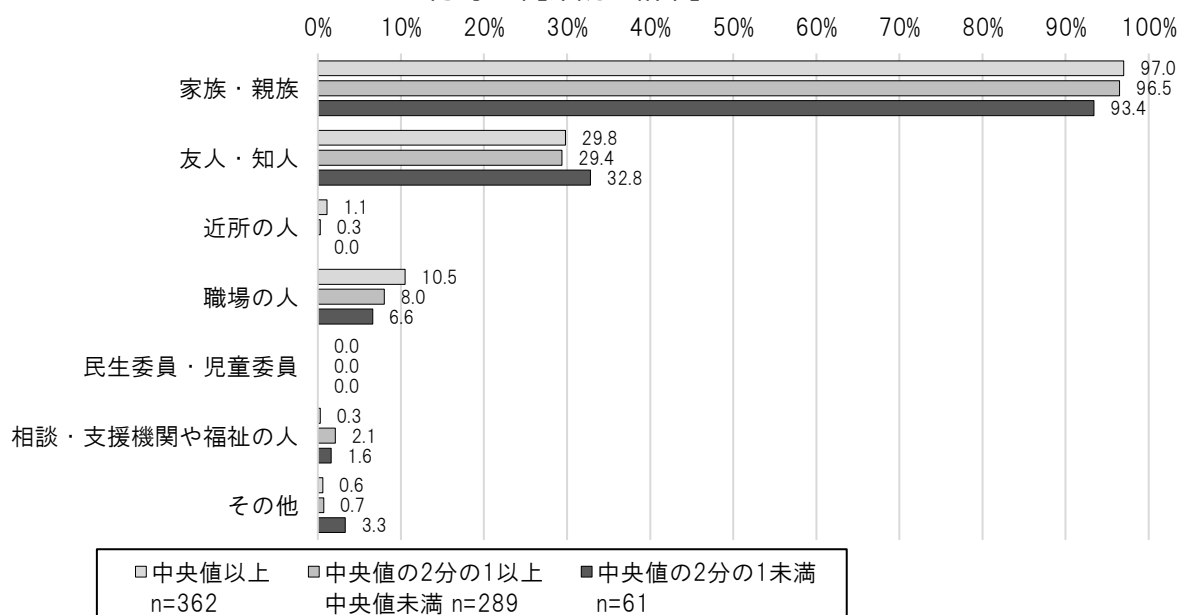


(2)-2 等価世帯収入別・保護者[小学生] (問 18 b 重要な事柄の相談相手)

重要な事柄の相談で頼る先について、等価世帯収入別でみると、小学生では、いずれの水準においても「家族・親族」がそれぞれ97.8%、95.3%、86.0%と最も高くなっています。次いで、「友人・知人」が、それぞれ35.2%、33.5%、39.5%となっています。また、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では、「相談・支援機関や福祉の人」が7.0%と、他の水準と比較して高くなっています。

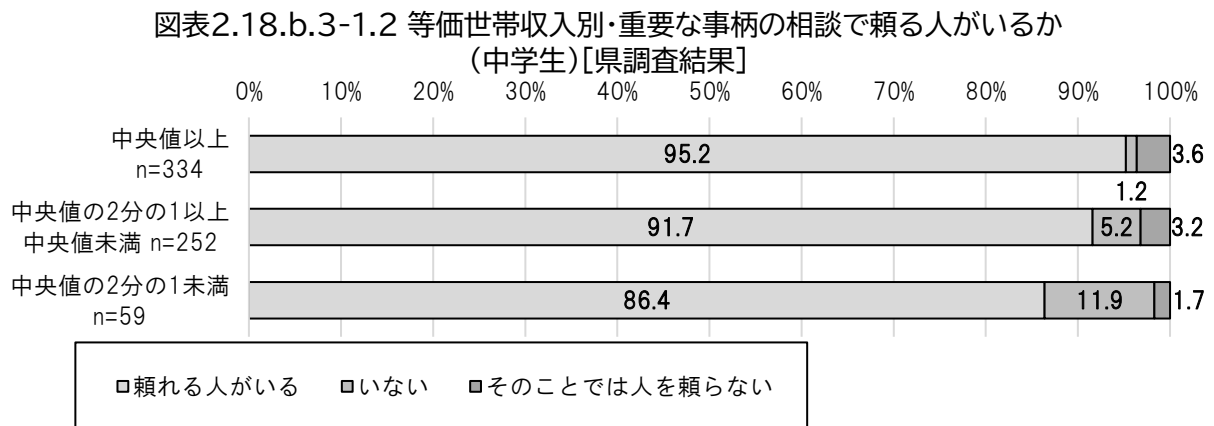
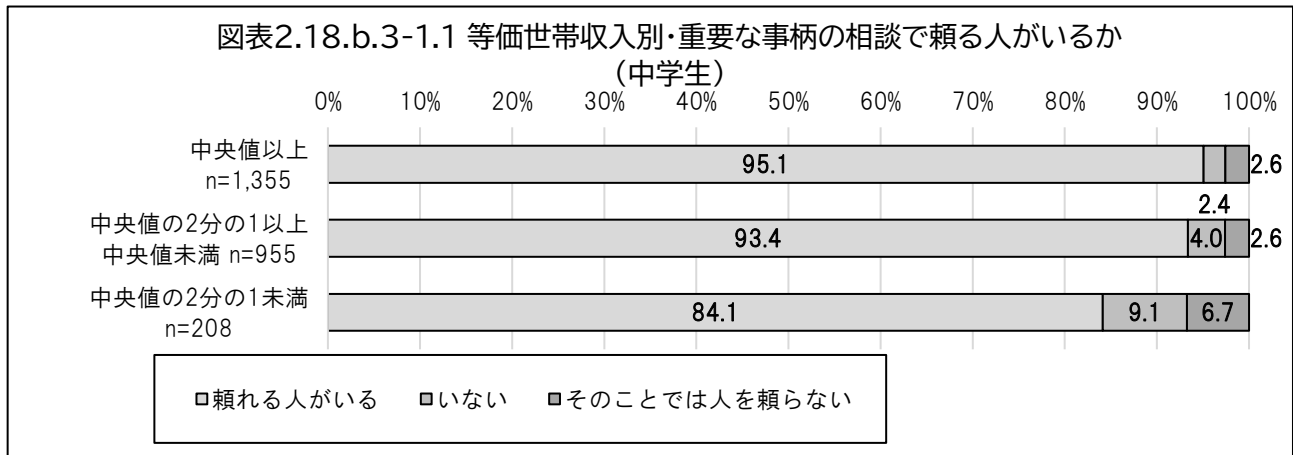


図表2.18.b.2-2.2 等価世帯収入別・重要な事柄の相談で頼る先(小学生)[県調査結果]



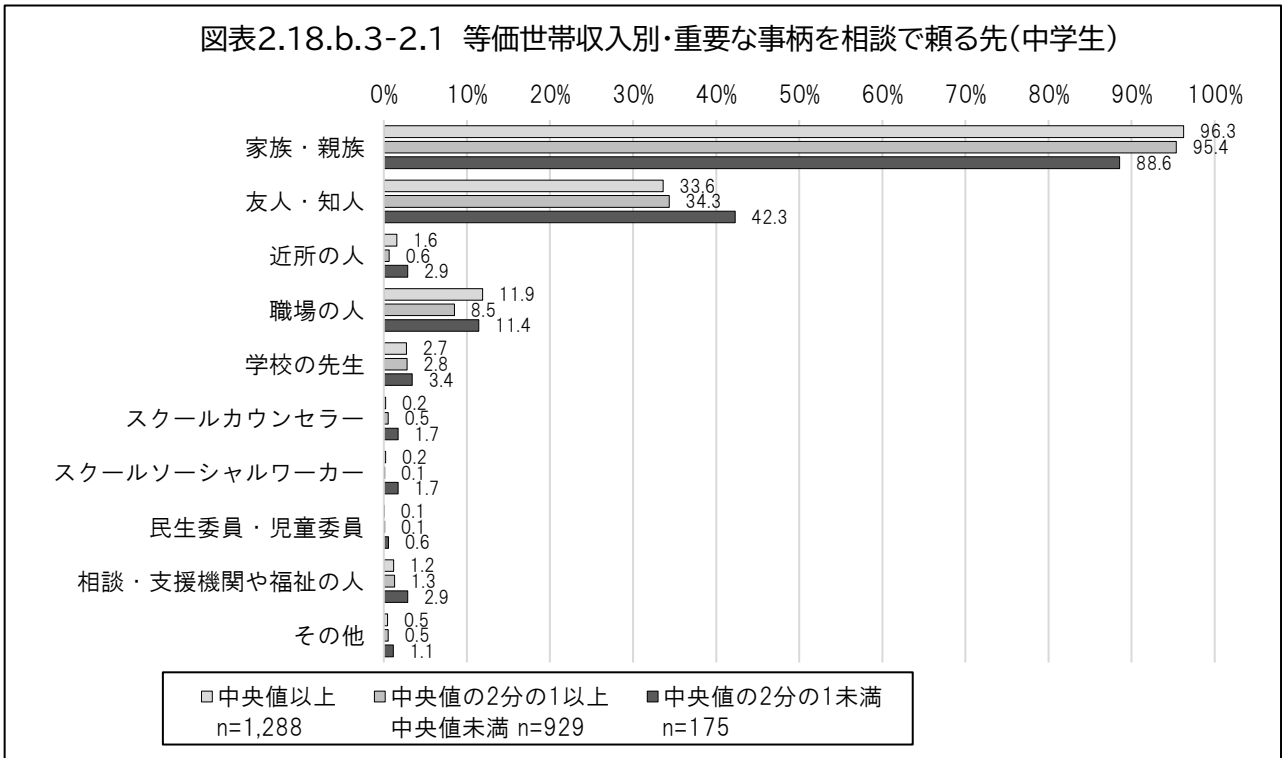
(3)-1 等価世帯収入別・保護者[中学生] (問 18 b 重要な事柄の相談)

重要な事柄の相談で頼れる人がいるかについて、等価世帯収入別で見ると、中学生では、いずれの水準においても「頼れる人がいる」が95.1%、93.4%、84.1%と最も高くなっています。また、「いない」が、それぞれ2.4%、4.0%、9.1%となっており、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では、他の水準と比較して高くなっています。

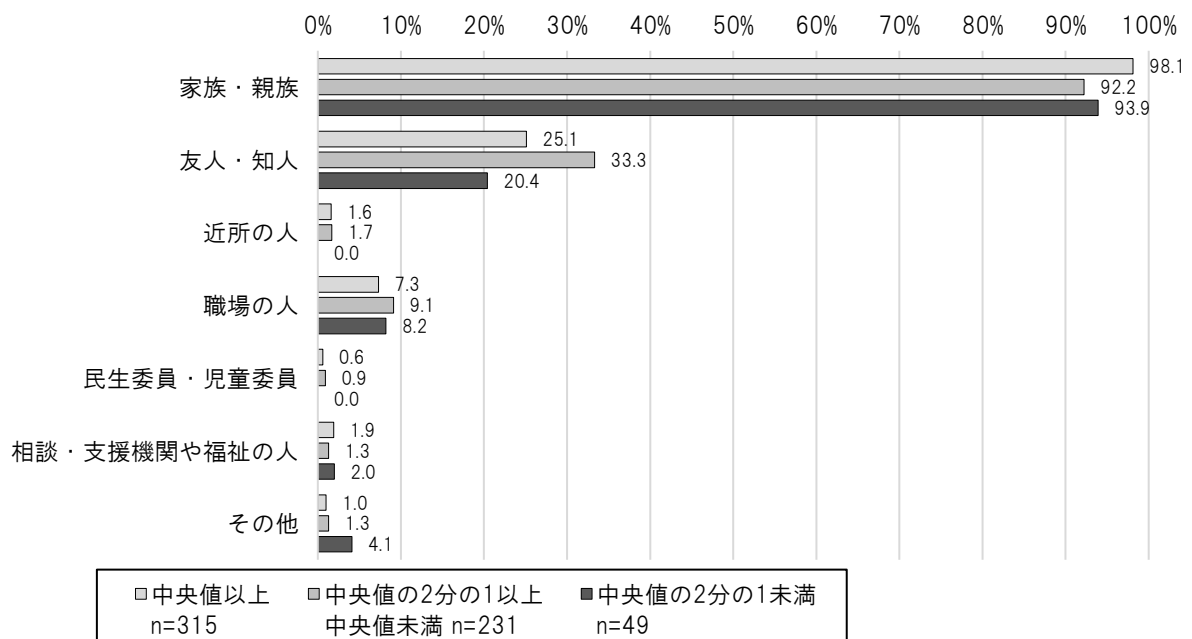


(3)-2 等価世帯収入別・保護者[中学生] (問 18 b 重要な事柄の相談相手)

重要な事柄の相談で頼る先について、等価世帯収入別でみると、中学生では、いずれの水準においても「家族・親族」が96.3%、95.4%、88.6%と最も高くなっています。次いで、「友人・知人」が、それぞれ33.6%、34.3%、42.3%となっています。

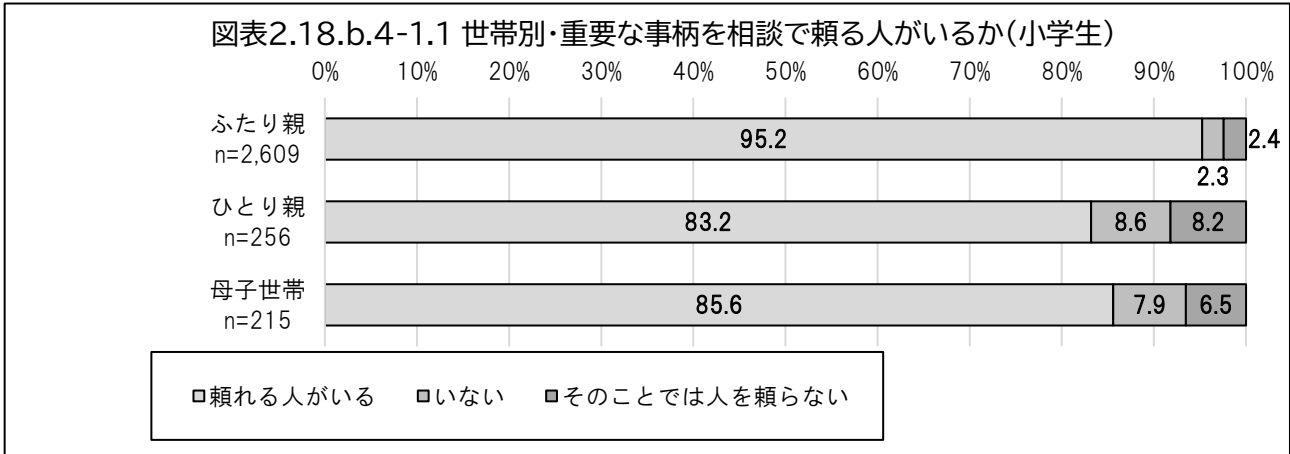


図表2.18.b.3-2.2 等価世帯収入別・重要な事柄を相談で頼る先 (中学生)[県調査結果]



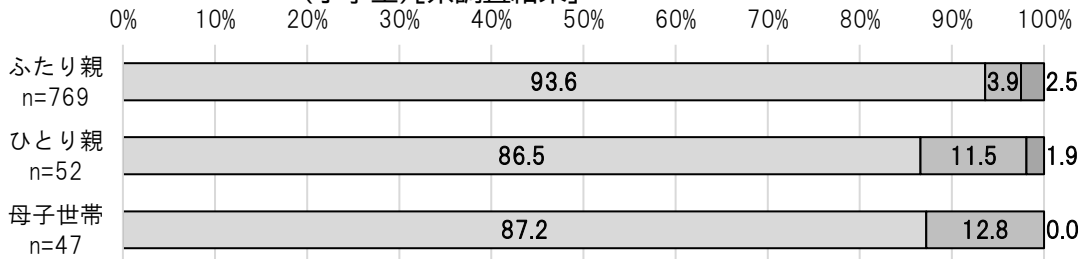
(4)-1 世帯別・保護者[小学生] (問 18 b 重要な事柄の相談)

重要な事柄の相談で頼れる人がいるかについて、世帯別でみると、小学生では、いずれの世帯においても「頼れる人がいる」が95.2%、83.2%、85.6%と最も高くなっています。また、「いない」が、それぞれ 2.3%、8.6%、7.9%となっており、ひとり親世帯では、ふたり親世帯と比較して高くなっています。



□頼れる人がいる □いない □そのことでは人を頼らない

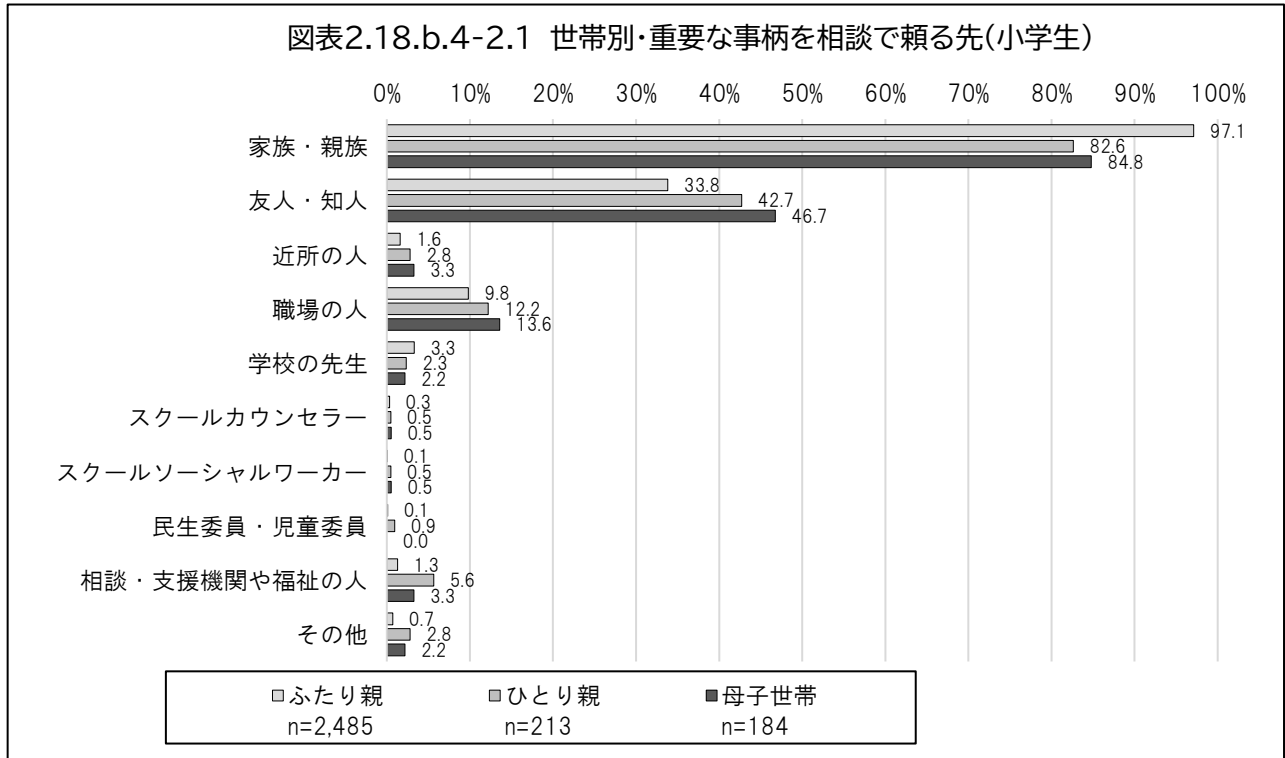
図表2.18.b.4-1.2 世帯別・重要な事柄を相談で頼る人がいるか (小学生)[県調査結果]



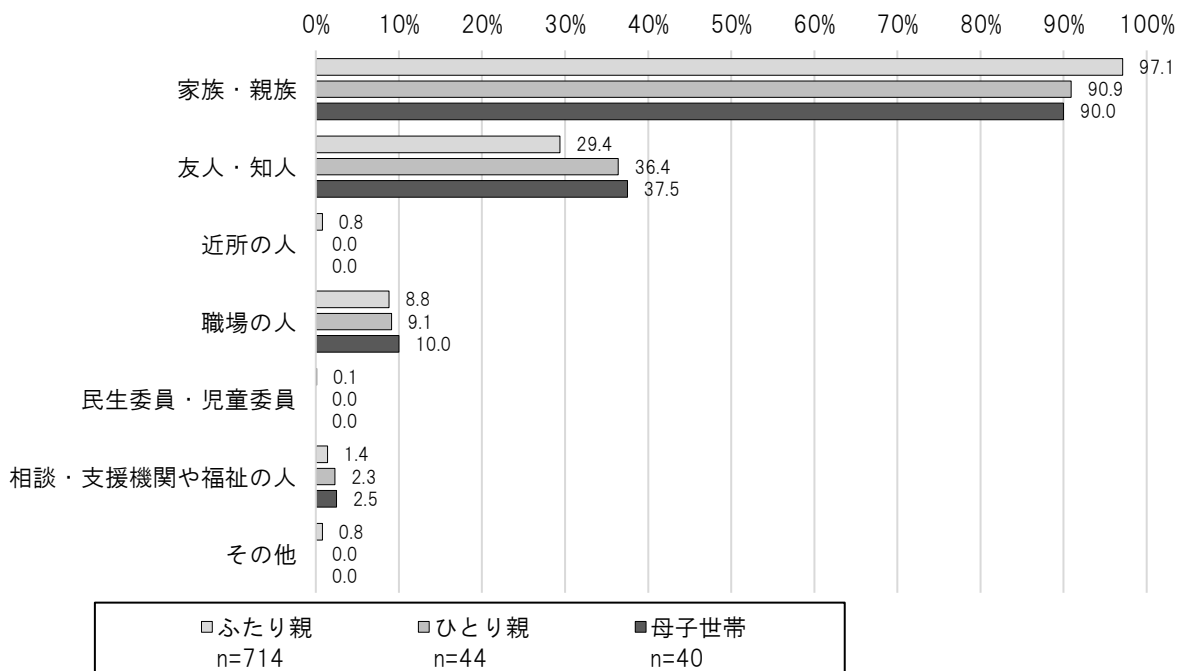
□頼れる人がいる □いない □そのことでは人を頼らない

(4)-2 世帯別・保護者[小学生] (問 18 b 重要な事柄の相談相手)

重要な事柄の相談で頼る先について、世帯別でみると、小学生では、いずれの世帯においても「家族・親族」が97.1%、82.6%、84.8%と最も高くなっています。次いで、「友人・知人」が、それぞれ33.8%、42.7%、46.7%となっています。また、ひとり親世帯では、「職場の人」が12.2%、「相談・支援機関や福祉の人」が5.6%と、ふたり親世帯と比較して高くなっています。

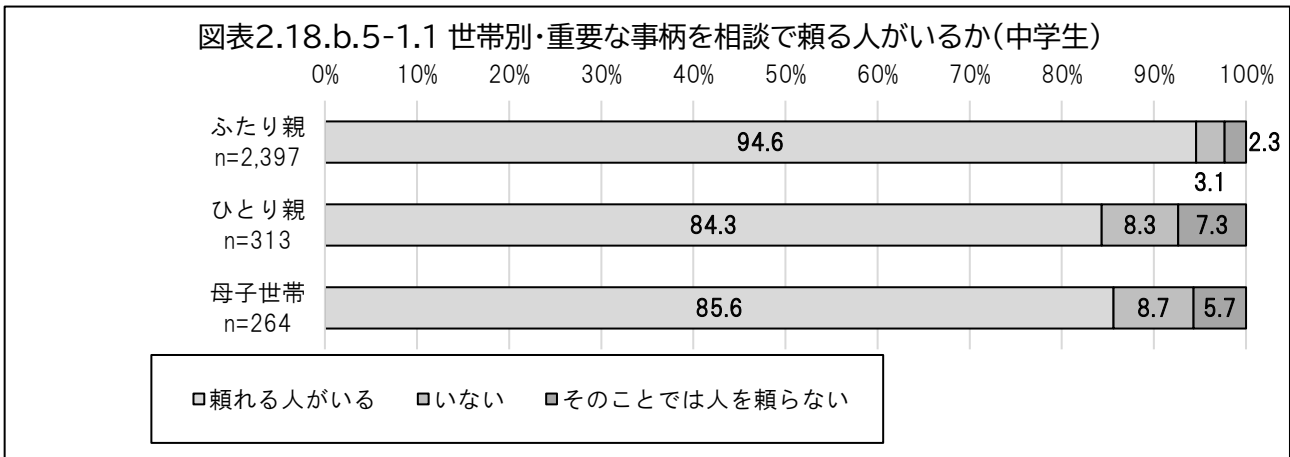


図表2.18.b.4-2.2 世帯別・重要な事柄を相談で頼る先(小学生)[県調査結果]

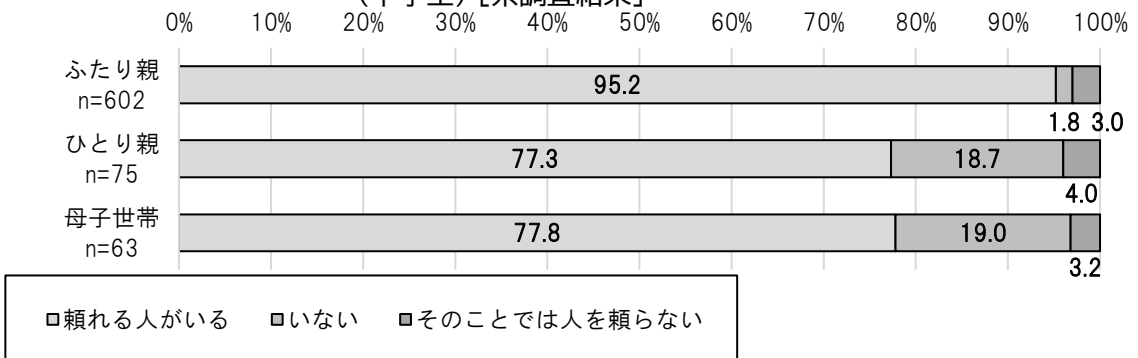


(5)-1 世帯別・保護者[中学生] (問 18 b 重要な事柄の相談)

重要な事柄の相談で頼れる人がいるかについて、世帯別で見ると、中学生では、いずれの世帯においても「頼れる人がいる」が94.6%、84.3%、85.6%と最も高くなっています。また、「いない」が、それぞれ 3.1%、8.3%、8.7%となっており、ひとり親世帯では、ふたり親世帯と比較して高くなっています。

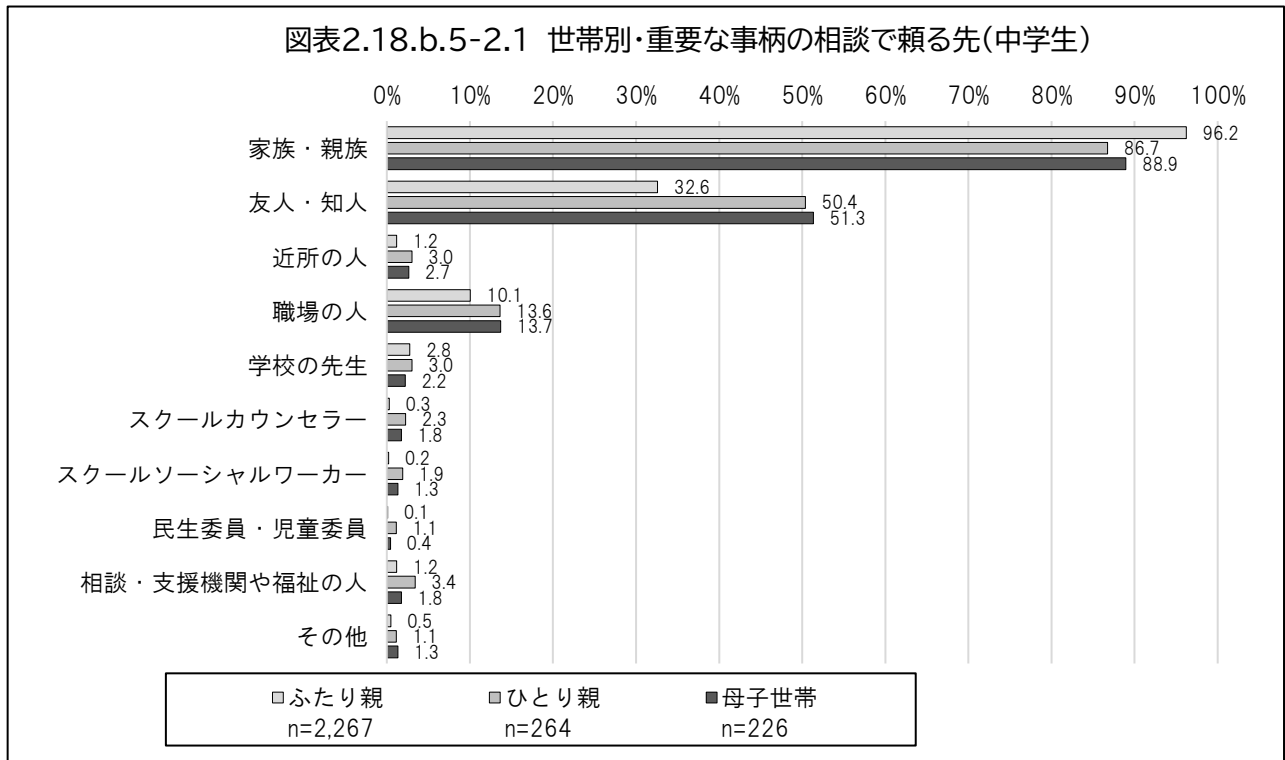


図表2.18.b.5-1.2 世帯別・重要な事柄を相談で頼る人がいるか (中学生) [県調査結果]

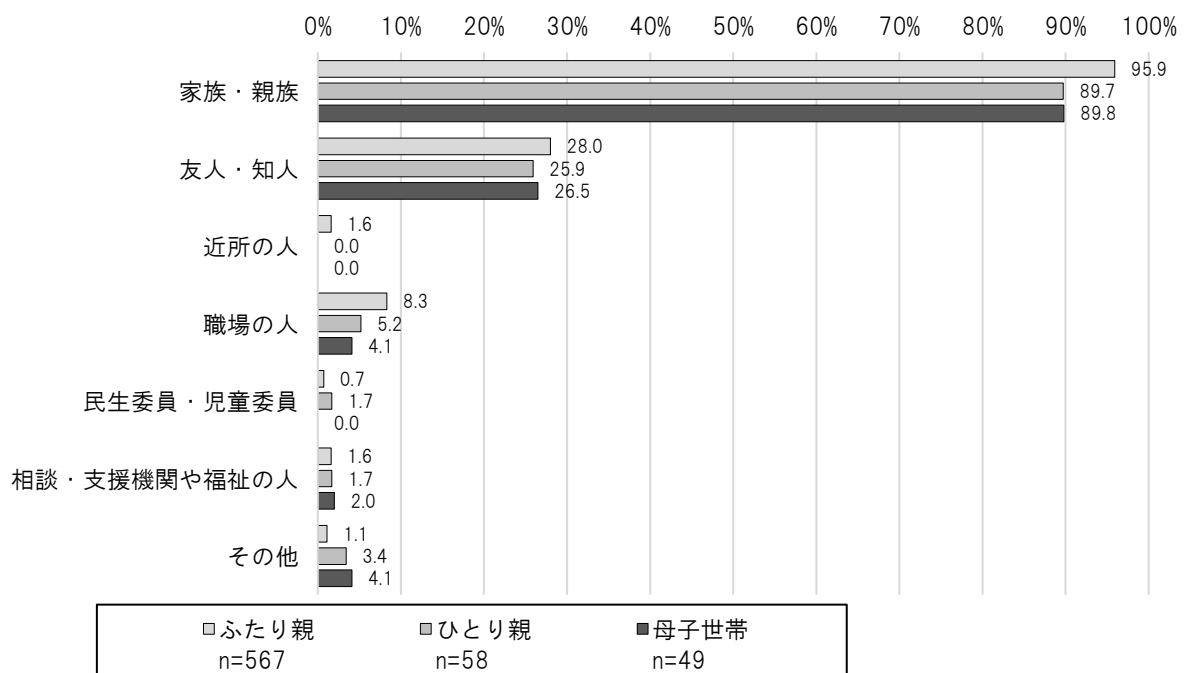


(5)-2 世帯別・保護者[中学生] (問 18 b 重要な事柄の相談相手)

重要な事柄の相談で頼る先について、世帯別でみると、中学生では、いずれの世帯においても「家族・親族」が、96.2%、86.7%、88.9%と最も高くなっています。次いで、「友人・知人」が、それぞれ32.6%、50.4%、51.3%となっています。また、ひとり親世帯では、「職場の人」が13.6%、「相談・支援機関や福祉の人」が3.4%と、ふたり親世帯と比較して高くなっています。



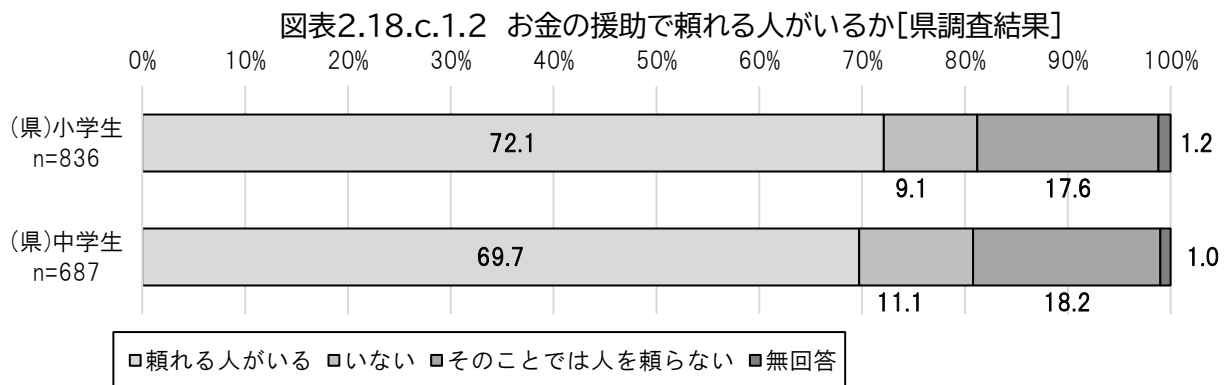
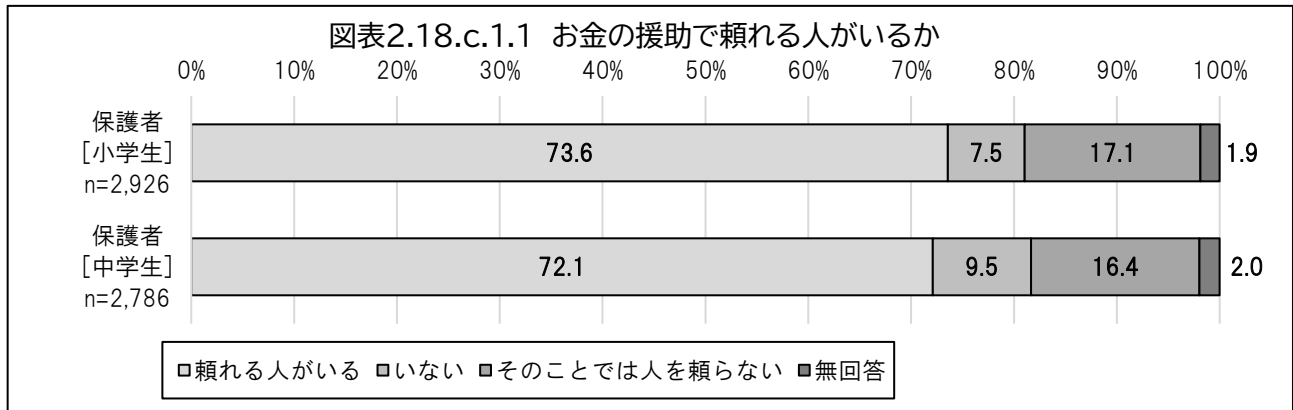
図表2.18.b.5-2.2 世帯別・重要な事柄の相談で頼る先(中学生)[県調査結果]



c) いざという時のお金の援助

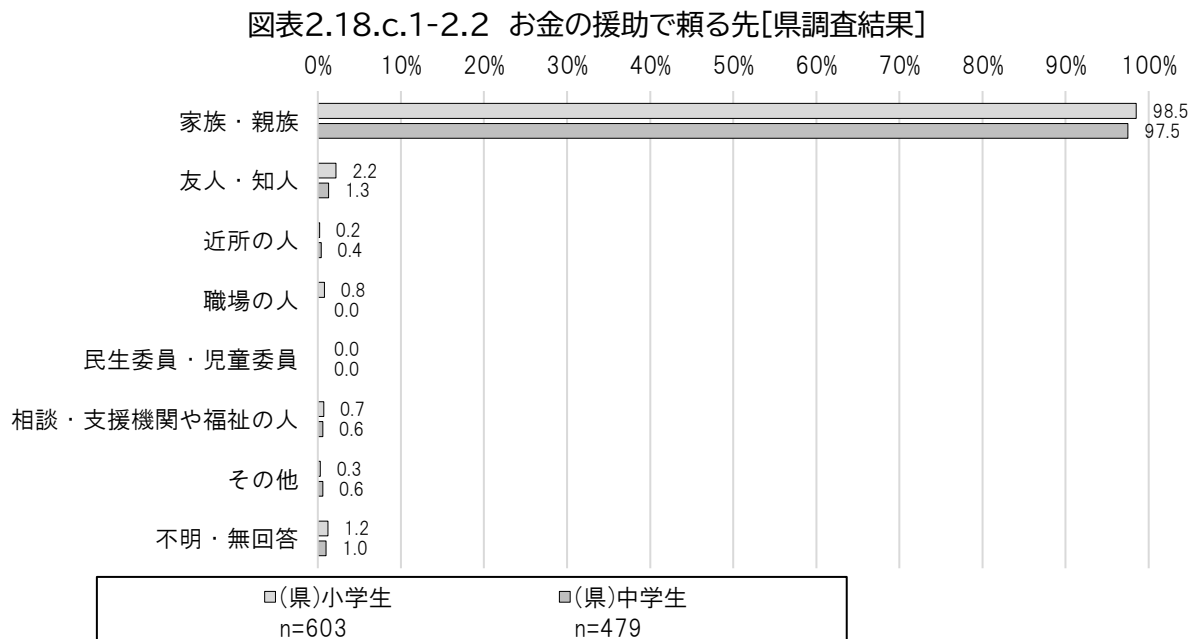
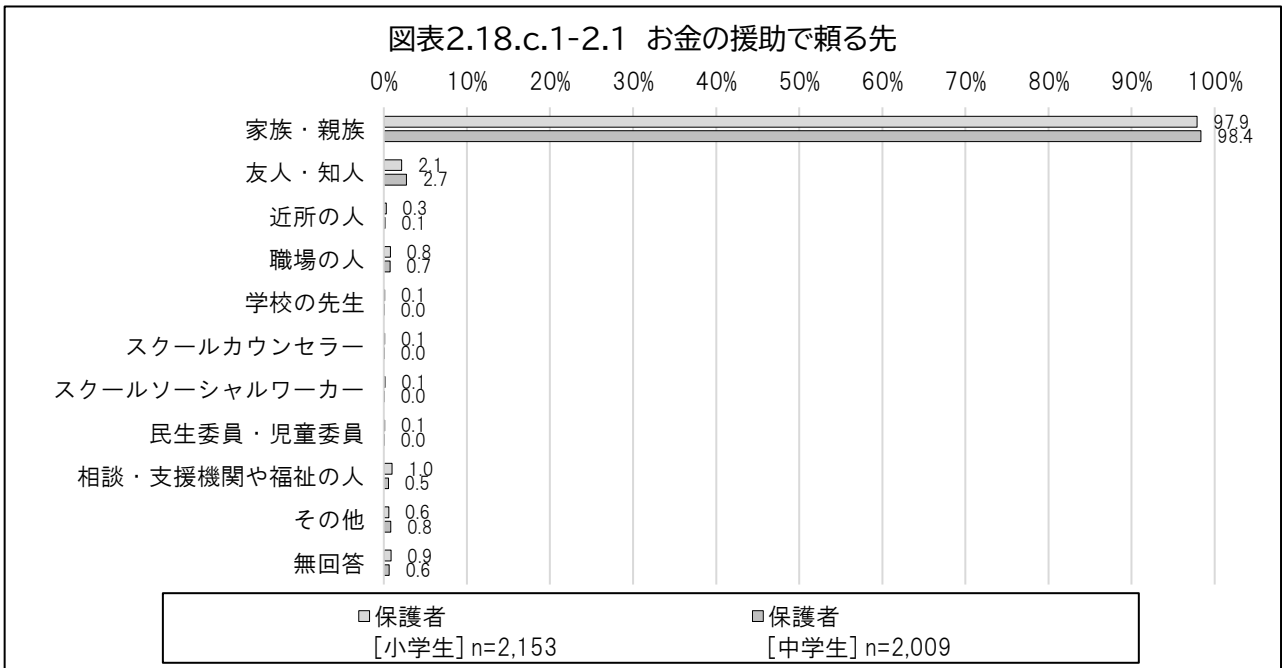
(1)-1 全体

いざという時のお金の援助で頼れる人がいるかについて、小学生・中学生ともに「頼れる人がいる」が、73.6%、72.1%と最も高く、次いで「そのことでは人を頼らない」が17.1%、16.4%、「いない」が7.5%、9.5%となっています。



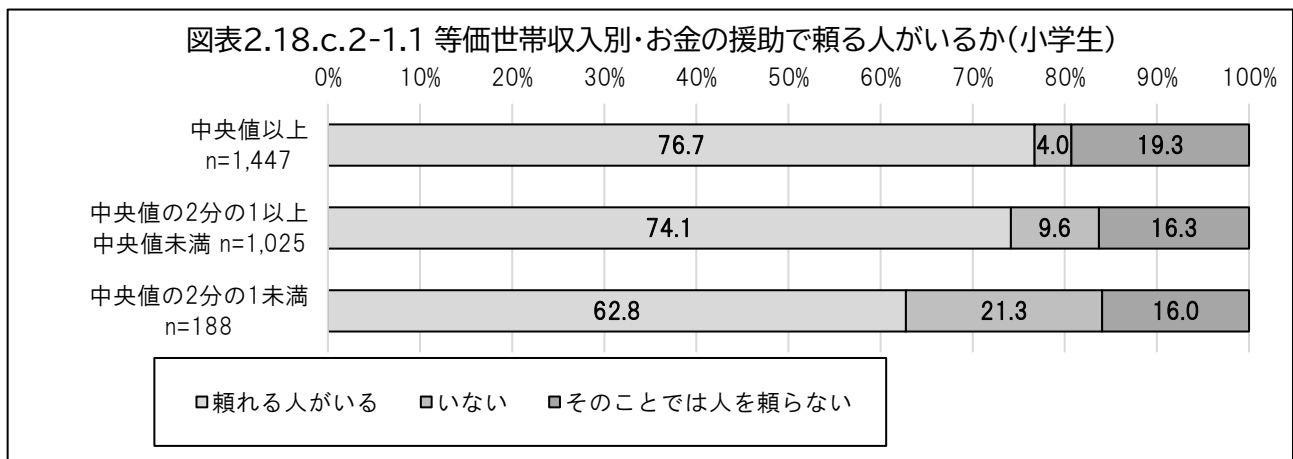
(1)-2 頼る相手

いざという時のお金の援助で頼る先について、小学生・中学生ともに「家族・親族」が97.9%、98.4%と最も高く、次いで「友人・知人」が、それぞれ2.1%、2.7%となっています。

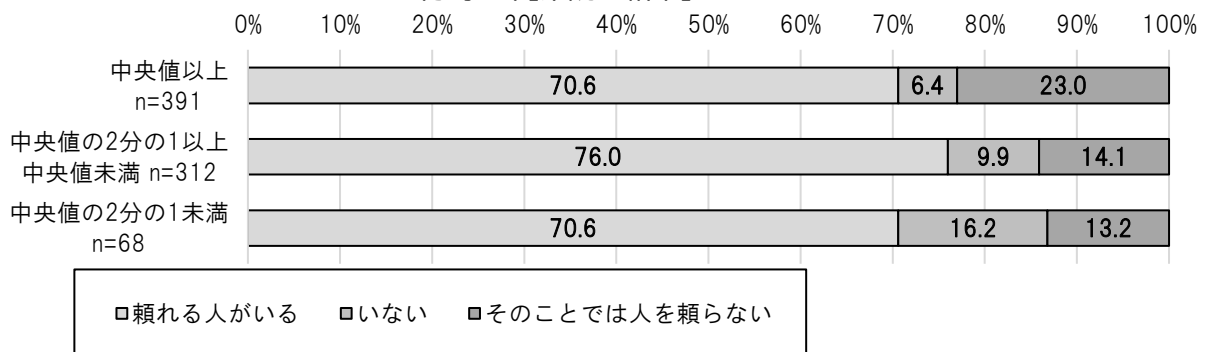


(2)-1 等価世帯収入別・保護者[小学生] (問 18 c いざというときのお金の援助)

いざというときのお金の援助で頼れる人がいるかについて、等価世帯収入別でみると、小学生では、いずれの水準においても「頼れる人がいる」が76.7%、74.1%、62.8%と最も高くなっています。次いで、「中央値以上」および「中央値の2分の1以上中央値未満」では、「そのことでは人を頼らない」が、19.3%、16.3%となっています。また、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では、「いない」が21.3%となっており、他の水準と比較して高くなっています。

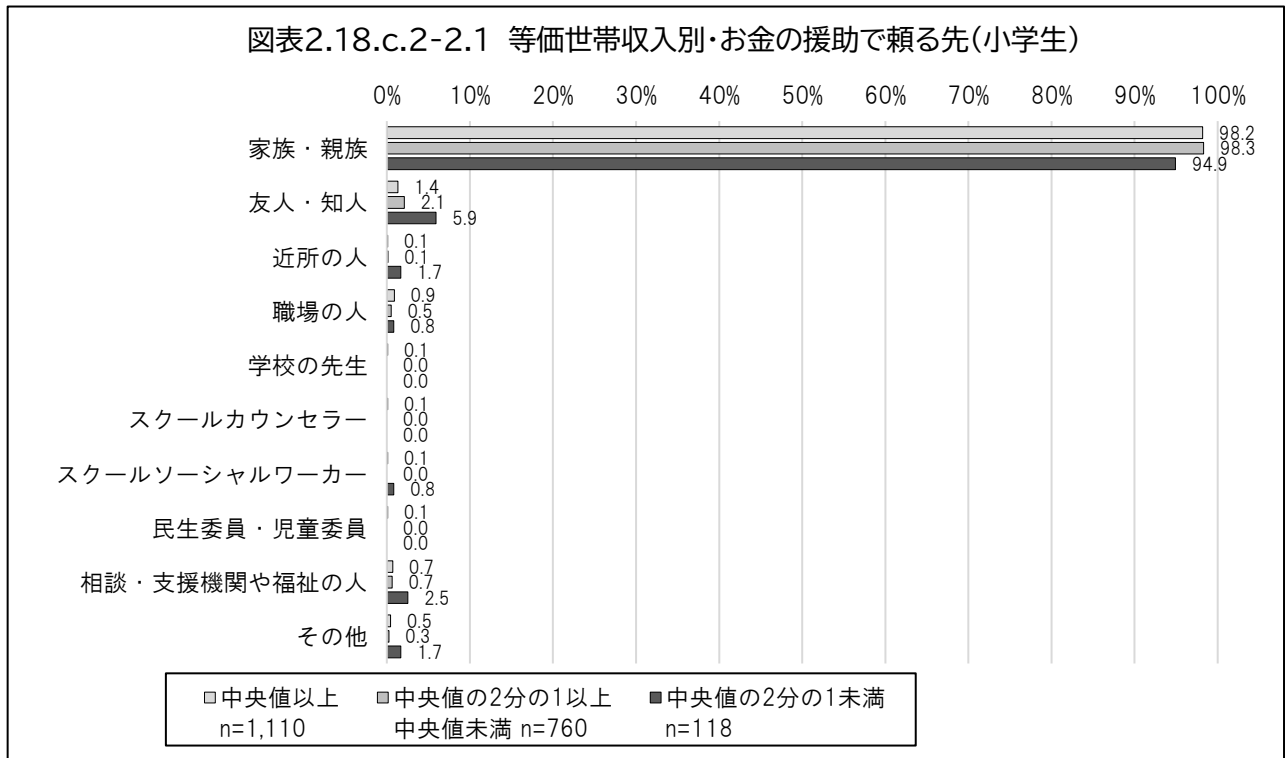


図表2.18.c.2-1.2 等価世帯収入別・お金の援助で頼れる人がいるか
(小学生)[県調査結果]

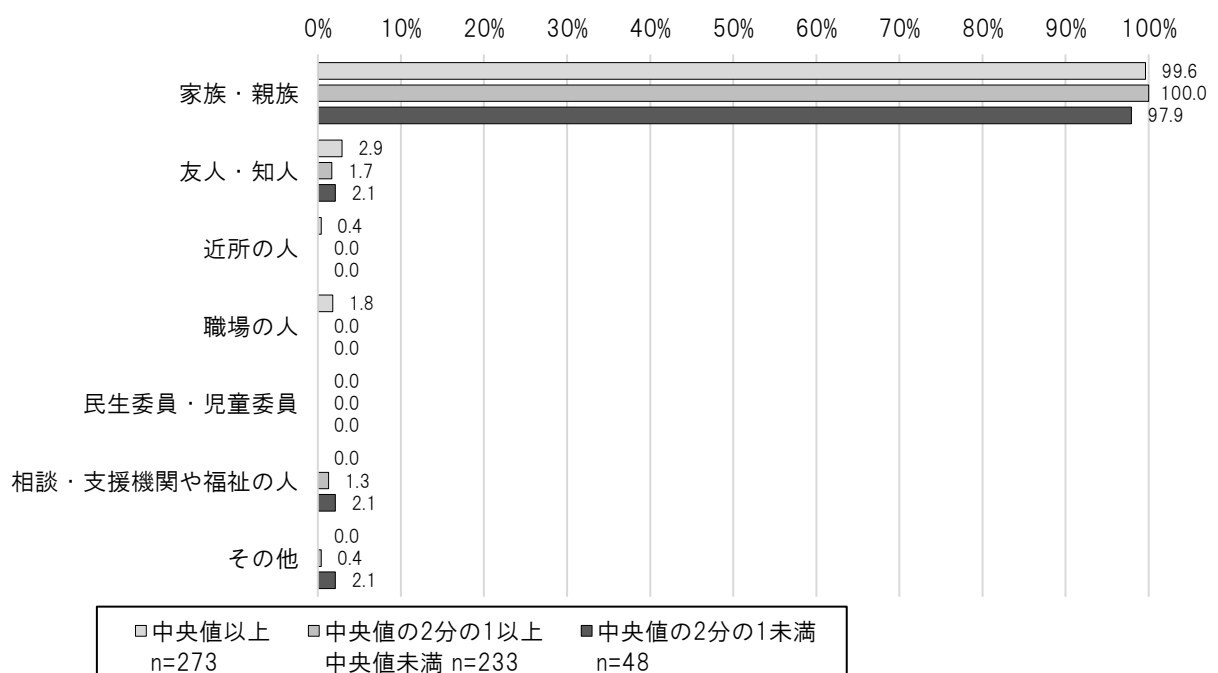


(2)-2 等価世帯収入別・保護者[小学生] (問 18 c いざというときのお金の援助を頼る相手)

いざというときのお金の援助で頼る先について、等価世帯収入別で見ると、小学生では、いずれの水準においても「家族・親族」が98.2%、98.3%、94.9%と最も高くなっています。また、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では、「友人・知人」が5.9%、「相談・支援機関や福祉の人」が2.5%と、他の水準と比較してやや高くなっています。

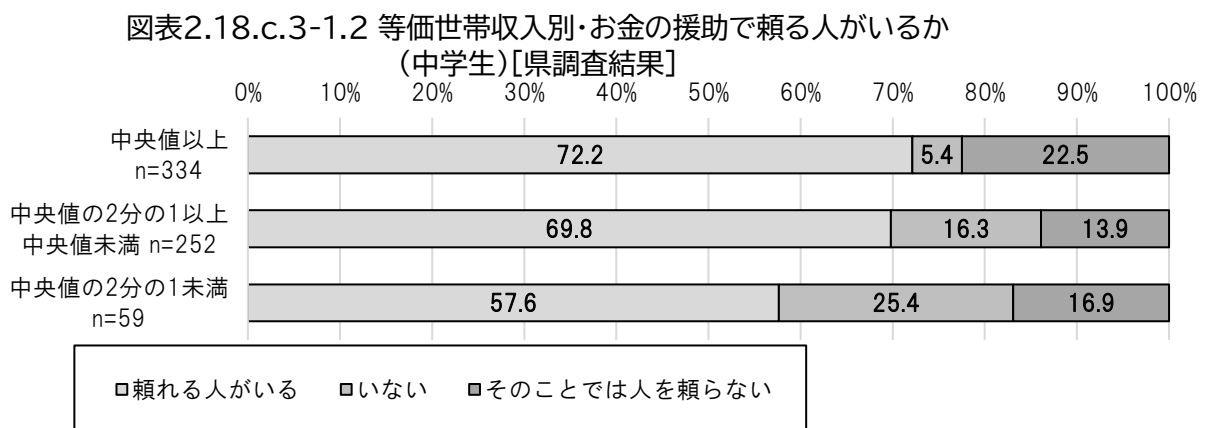
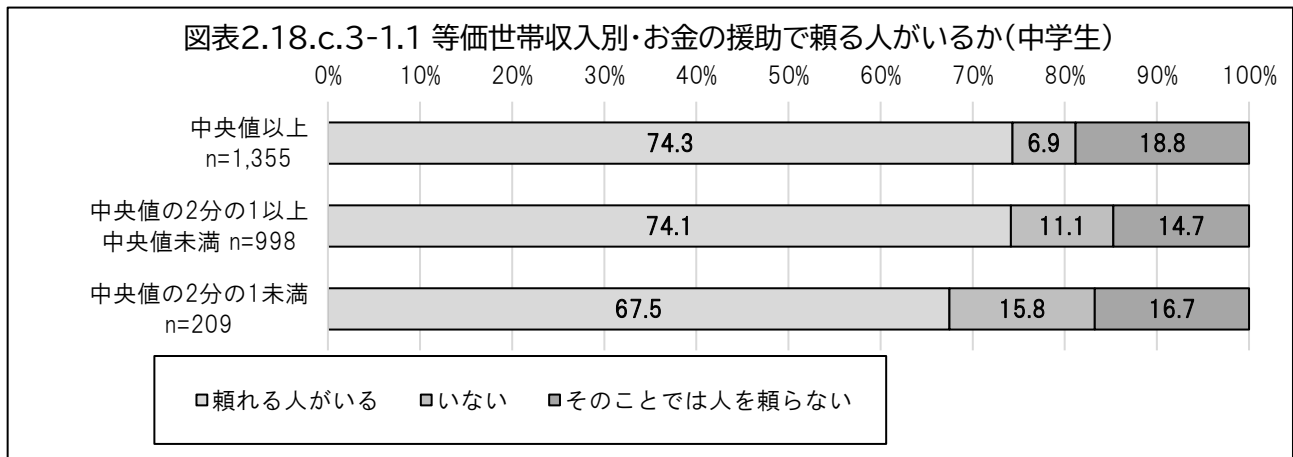


図表2.18.c.2-2.2 等価世帯収入別・お金の援助で頼る先(小学生)[県調査結果]



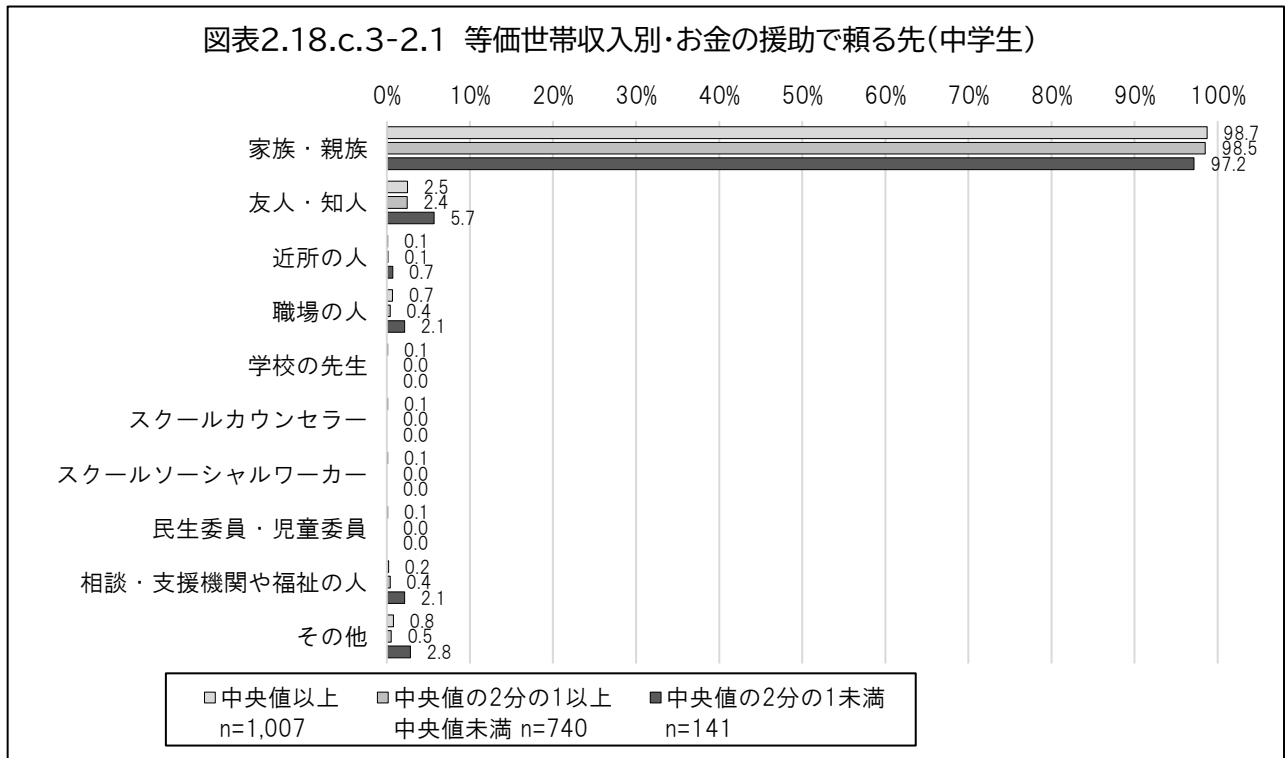
(3)-1 等価世帯収入別・保護者[中学生] (問 18 c いざというときのお金の援助)

いざというときのお金の援助で頼れる人がいるかについて、等価世帯収入別でみると、中学生では、いずれの水準においても「頼れる人がいる」が74.3%、74.1%、67.5%と最も高く、次いで「そのことでは人を頼らない」が18.8%、14.7%、16.7%となっています。また、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では、「いない」が15.8%となっており、他の水準と比較して高くなっています。

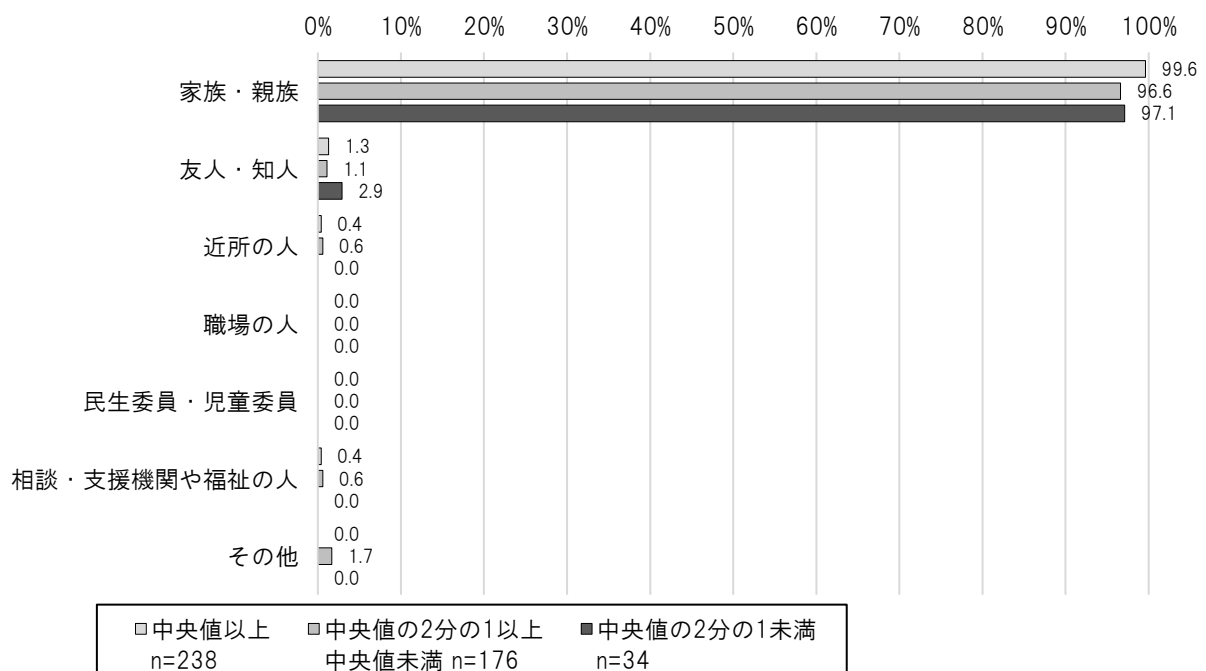


(3)-2 等価世帯収入別・保護者[中学生] (問 18 c いざというときのお金の援助を頼る相手)

いざというときのお金の援助で頼る先について、等価世帯収入別で見ると、中学生では、いずれの水準においても「家族・親族」が98.7%、98.5%、97.2%と最も高くなっています。また、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では、「友人・知人」が5.7%、「職場の人」、「相談・支援機関や福祉の人」が2.1%と、他の水準と比較してやや高くなっています。

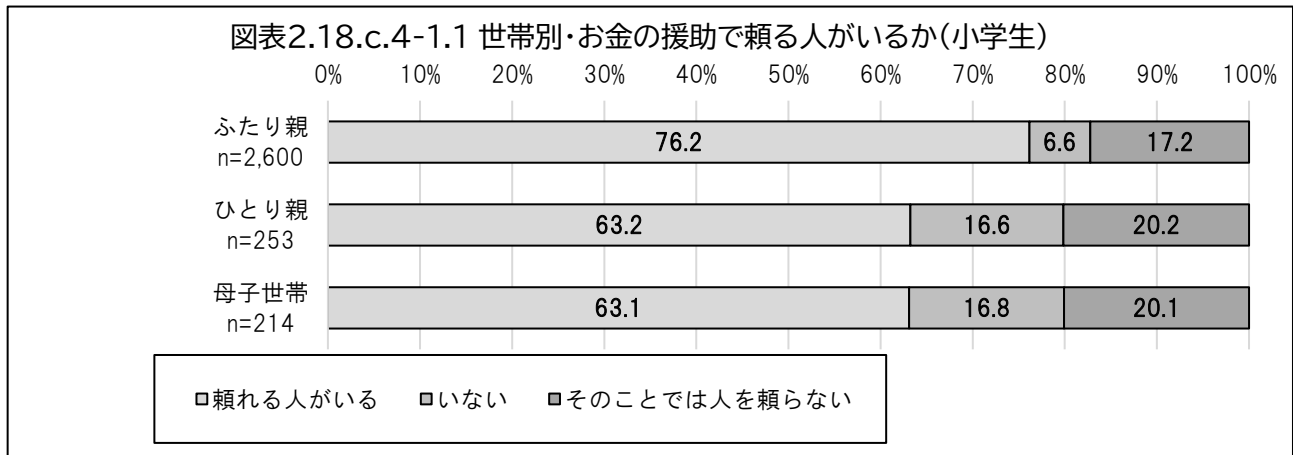


図表2.18.c.3-2.2 等価世帯収入別・お金の援助で頼る先(中学生)[県調査結果]

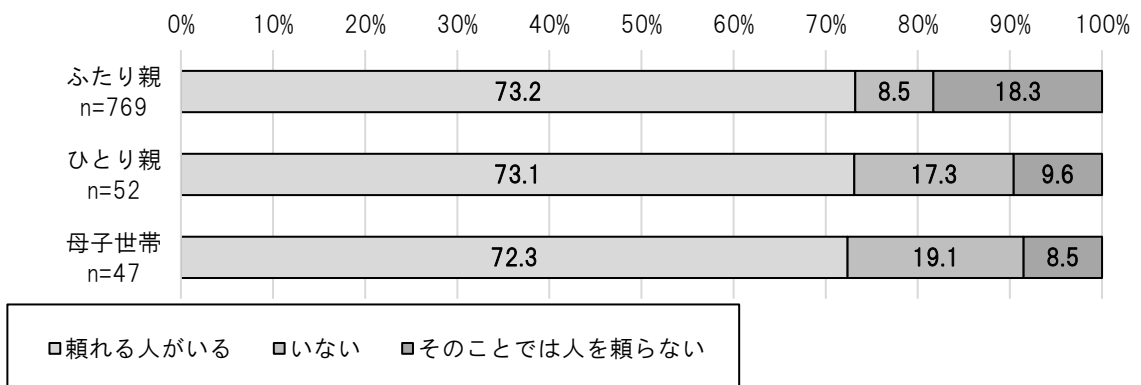


(4)-1 世帯別・保護者[小学生] (問 18 c いざというときのお金の援助)

いざというときのお金の援助で頼れる人がいるかについて、世帯別でみると、小学生では、いずれの世帯においても「頼れる人がいる」が76.2%、63.2%、63.1%と最も高く、次いで「そのことでは人を頼らない」が17.2%、20.2%、20.1%となっています。また、ひとり親世帯では、「いない」が16.6%となっており、ふたり親世帯と比較して高くなっています。

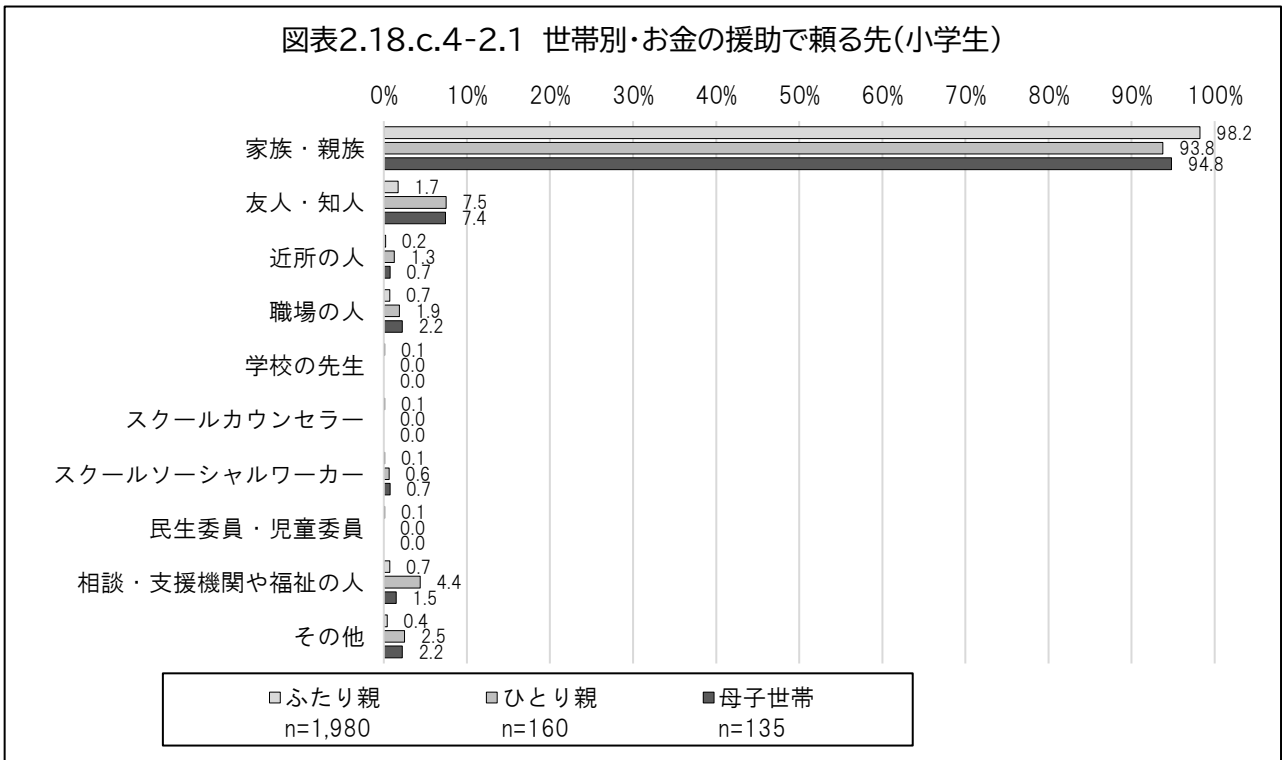


図表2.18.c.4-1.2 世帯別・お金の援助で頼れる人がいるか(小学生)[県調査結果]

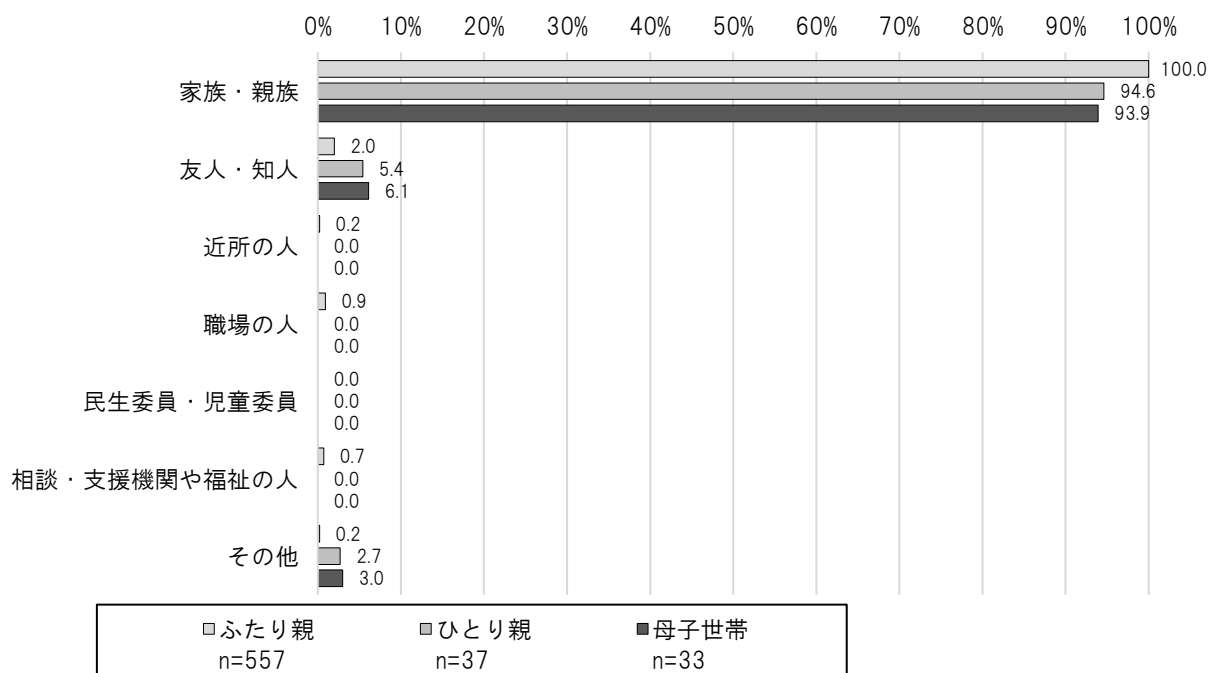


(4)-2 世帯別・保護者[小学生] (問 18 c いざというときのお金の援助を頼る相手)

いざというときのお金の援助で頼る先について、世帯別で見ると、小学生では、いずれの世帯においても「家族・親族」が98.2%、93.8%、94.8%と最も高くなっています。また、ひとり親世帯では、「友人・知人」が7.5%、「相談・支援機関や福祉の人」が4.4%と、ふたり親世帯と比較してやや高くなっています。

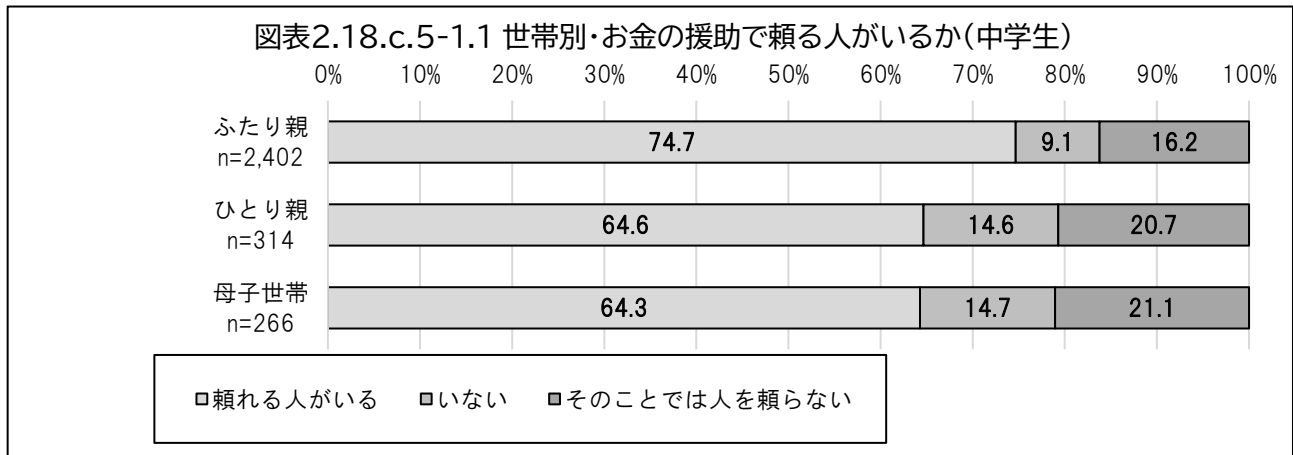


図表2.18.c.4-2.2 世帯別・お金の援助で頼る先(小学生)[県調査結果]

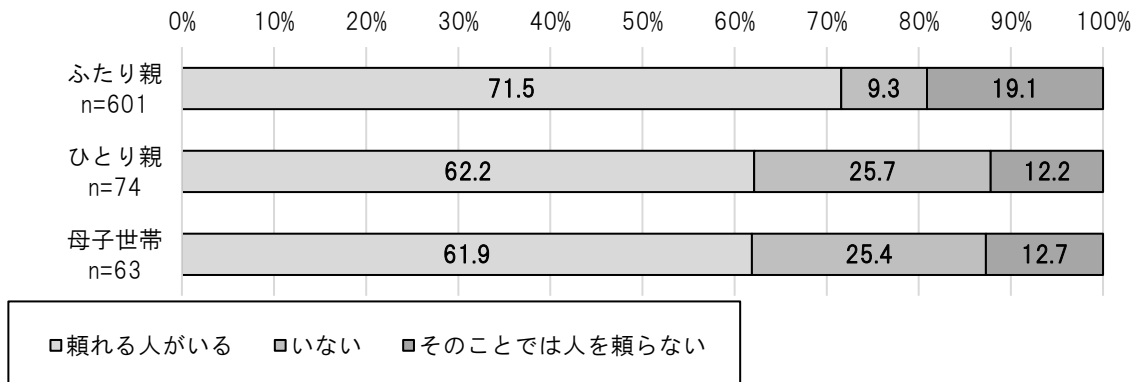


(5)-1 世帯別・保護者[中学生] (問 18 c いざというときのお金の援助)

いざというときのお金の援助で頼れる人がいるかについて、世帯別でみると、中学生では、いずれの世帯においても「頼れる人がいる」が74.7%、64.6%、64.3%と最も高く、次いで「そのことでは人を頼らない」が16.2%、20.7%、21.1%となっています。また、ひとり親世帯では、「いない」が14.6%となっており、ふたり親世帯と比較して高くなっています。

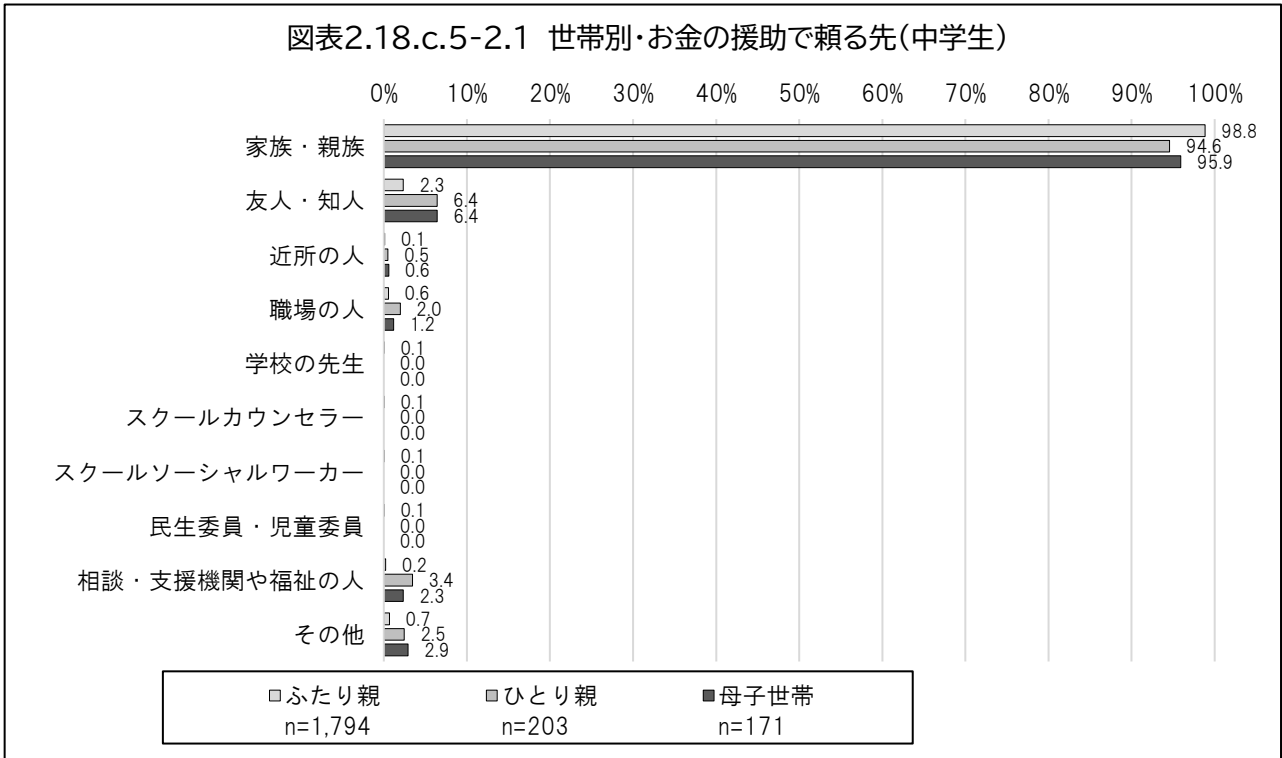


図表2.18.c.5-1.2 世帯別・お金の援助で頼れる人がいるか(中学生) [県調査結果]

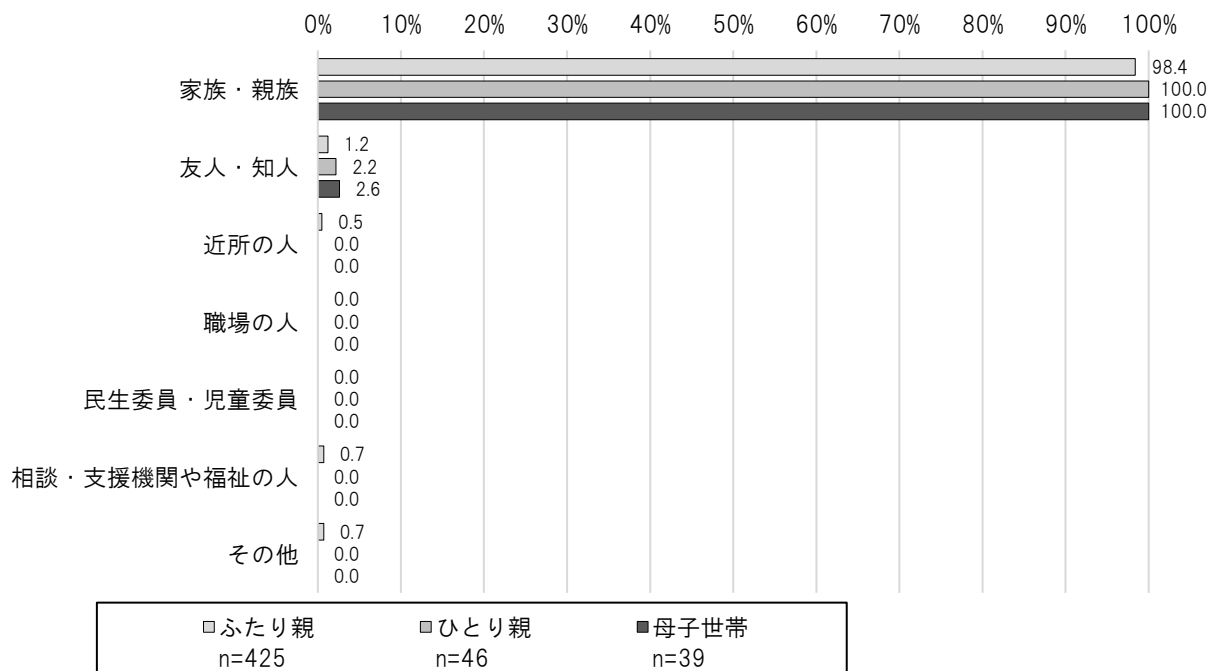


(5)-2 世帯別・保護者[中学生] (問 18 c いざというときのお金の援助を頼る相手)

いざというときのお金の援助で頼る先について、世帯別で見ると、中学生では、いずれの世帯においても「家族・親族」が98.8%、94.6%、95.9%と最も高くなっています。また、ひとり親世帯では、「友人・知人」が6.4%、「相談・支援機関や福祉の人」が3.4%と、ふたり親世帯と比較してやや高くなっています。



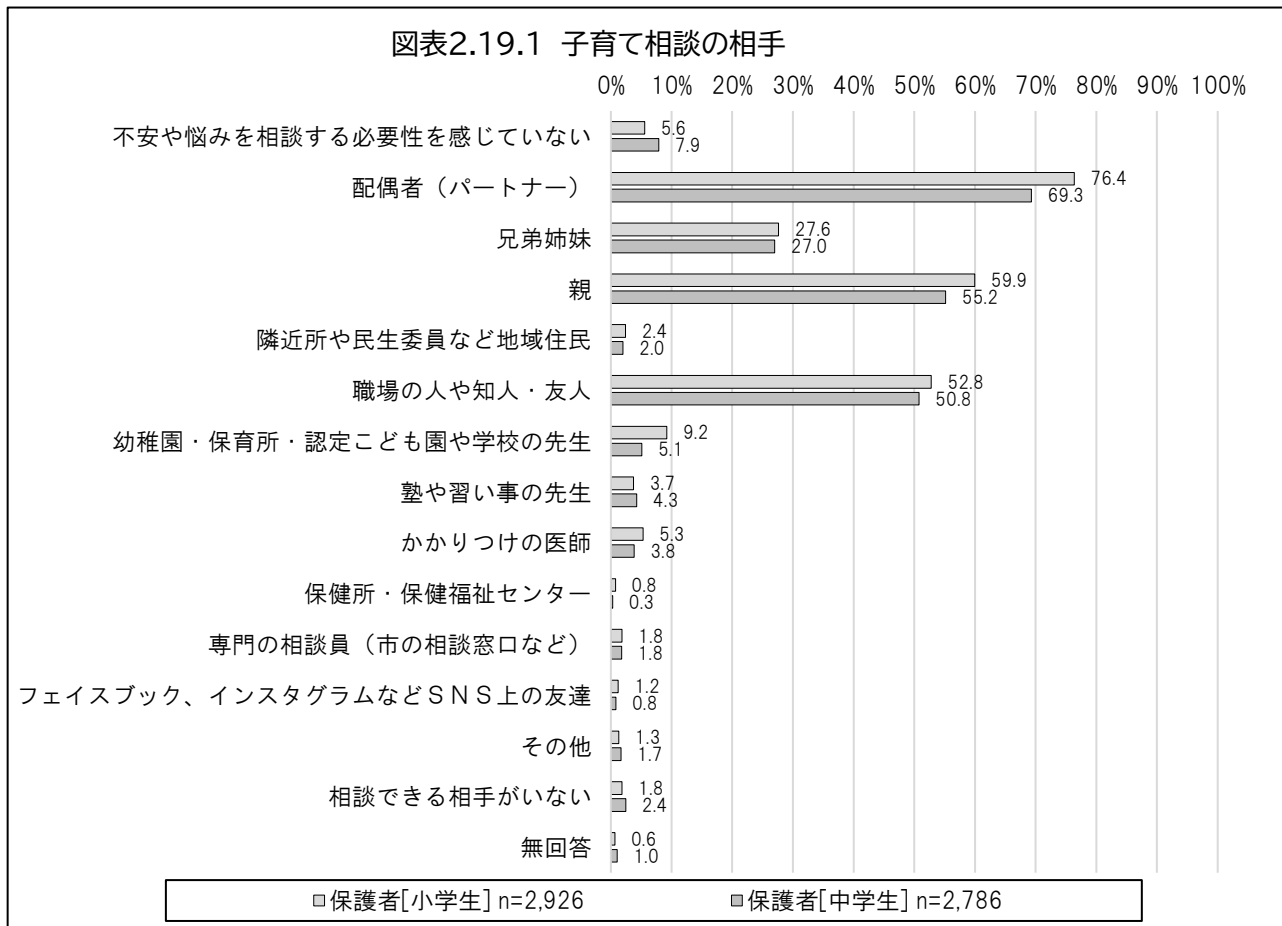
図表2.18.c.5-2.2 世帯別・お金の援助で頼る先(中学生)[県調査結果]



問19. あなたは、子育てに関する不安や悩みを誰に相談していますか。

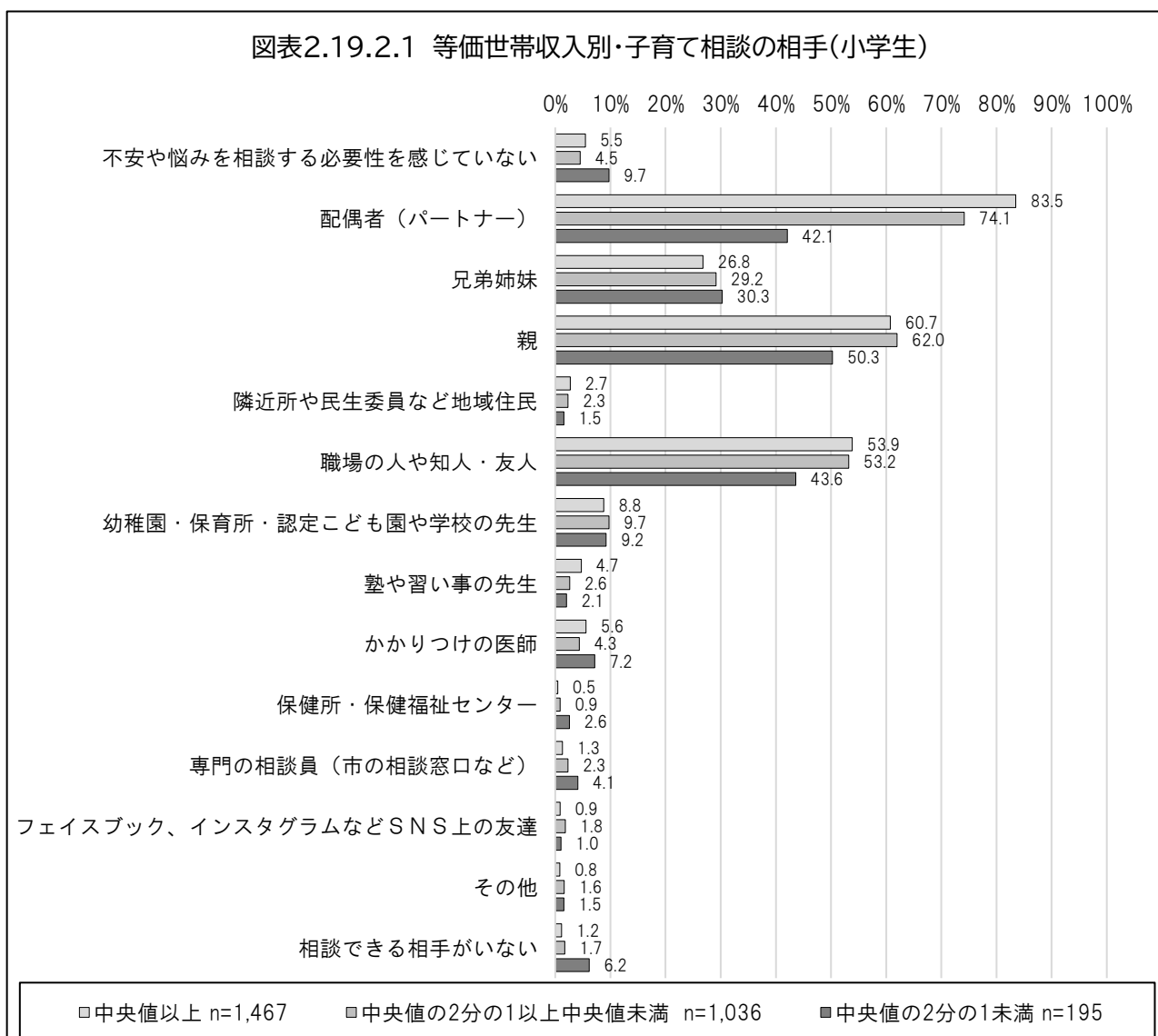
(1)全体

子育て相談の相手について、小学生・中学生ともに「配偶者（パートナー）」が76.4%、69.3%と最も高く、次いで「親」が59.9%、55.2%、「職場の人や知人・友人」が52.8%、50.8%となっています。

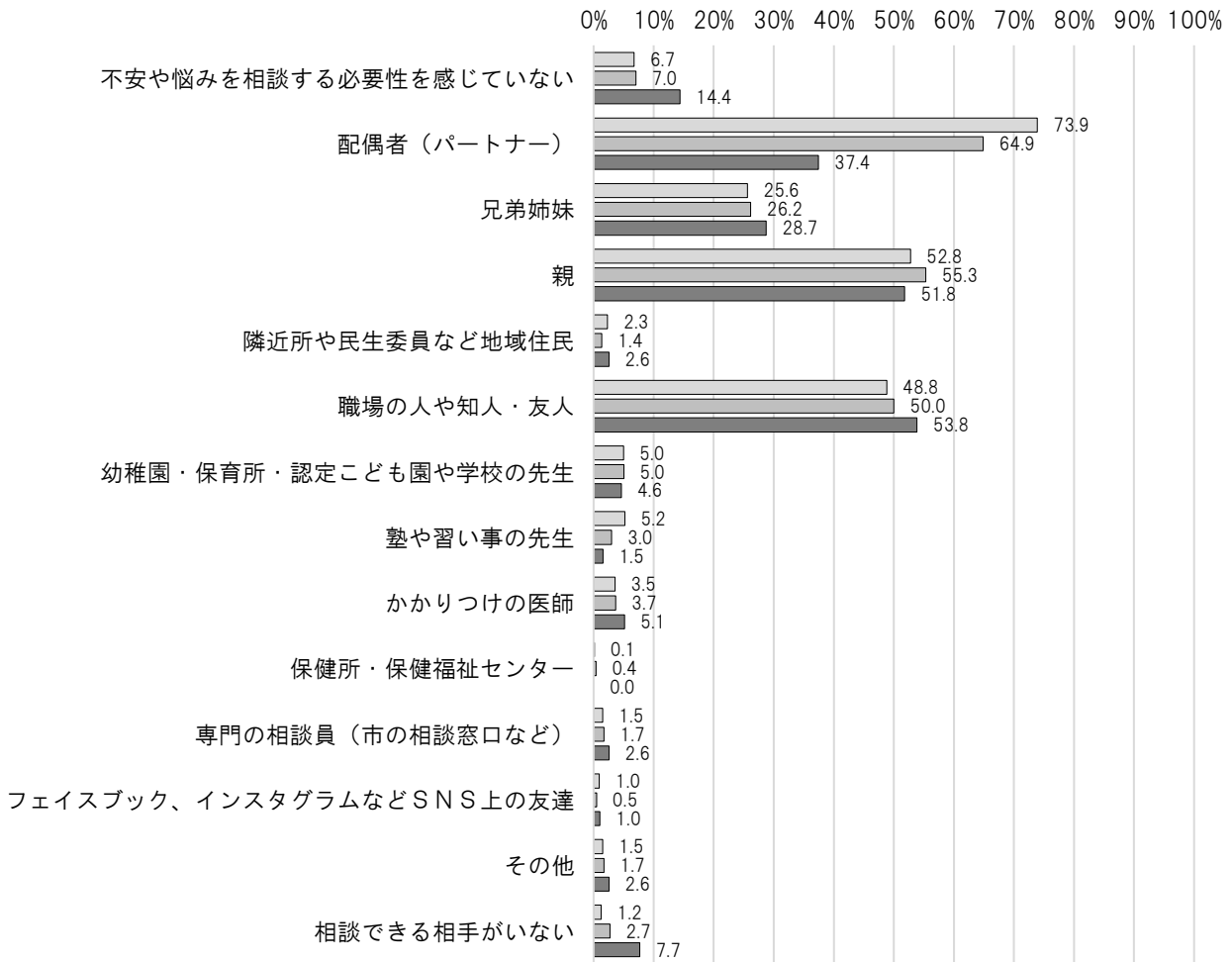


(2)等価世帯収入別

子育て相談の相手について、等価世帯収入別にみると、小学生では、「中央値以上」および「中央値の2分の1以上中央値未満」の水準では「配偶者（パートナー）」が83.5%、74.1%、「中央値の2分の1未満」の水準では「親」が50.3%と最も高くなっています。中学生では、「中央値以上」および「中央値の2分の1以上中央値未満」の水準では「配偶者（パートナー）」が73.9%、64.9%、「中央値の2分の1未満」の水準では「職場の人や知人・友人」が53.8%と最も高くなっています。



図表2.19.2.1 等価世帯収入別・子育て相談の相手(中学生)



□中央値以上 n=1,370

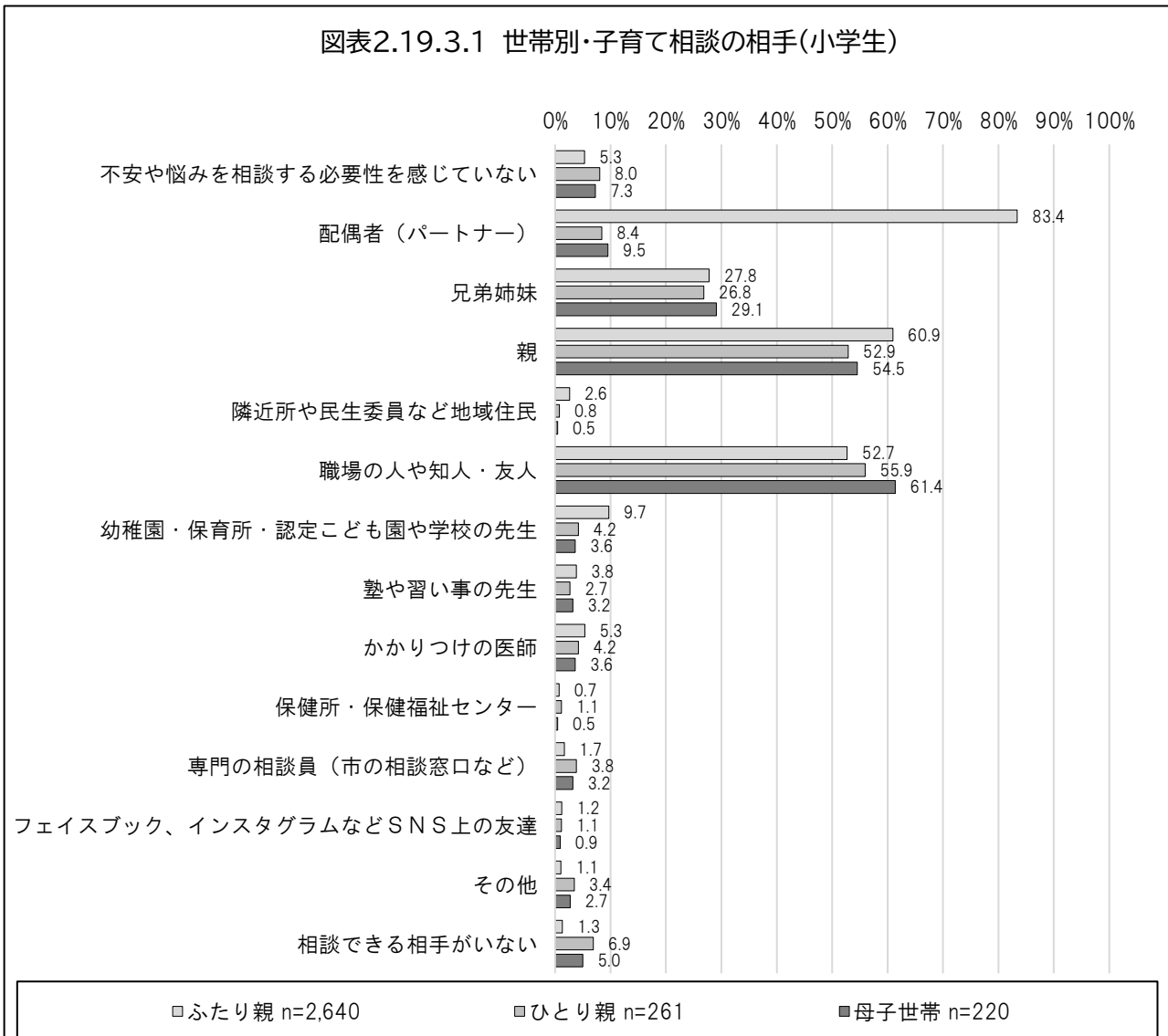
▨中央値の2分の1以上中央値未満 n=1,014

■中央値の2分の1未満 n=214

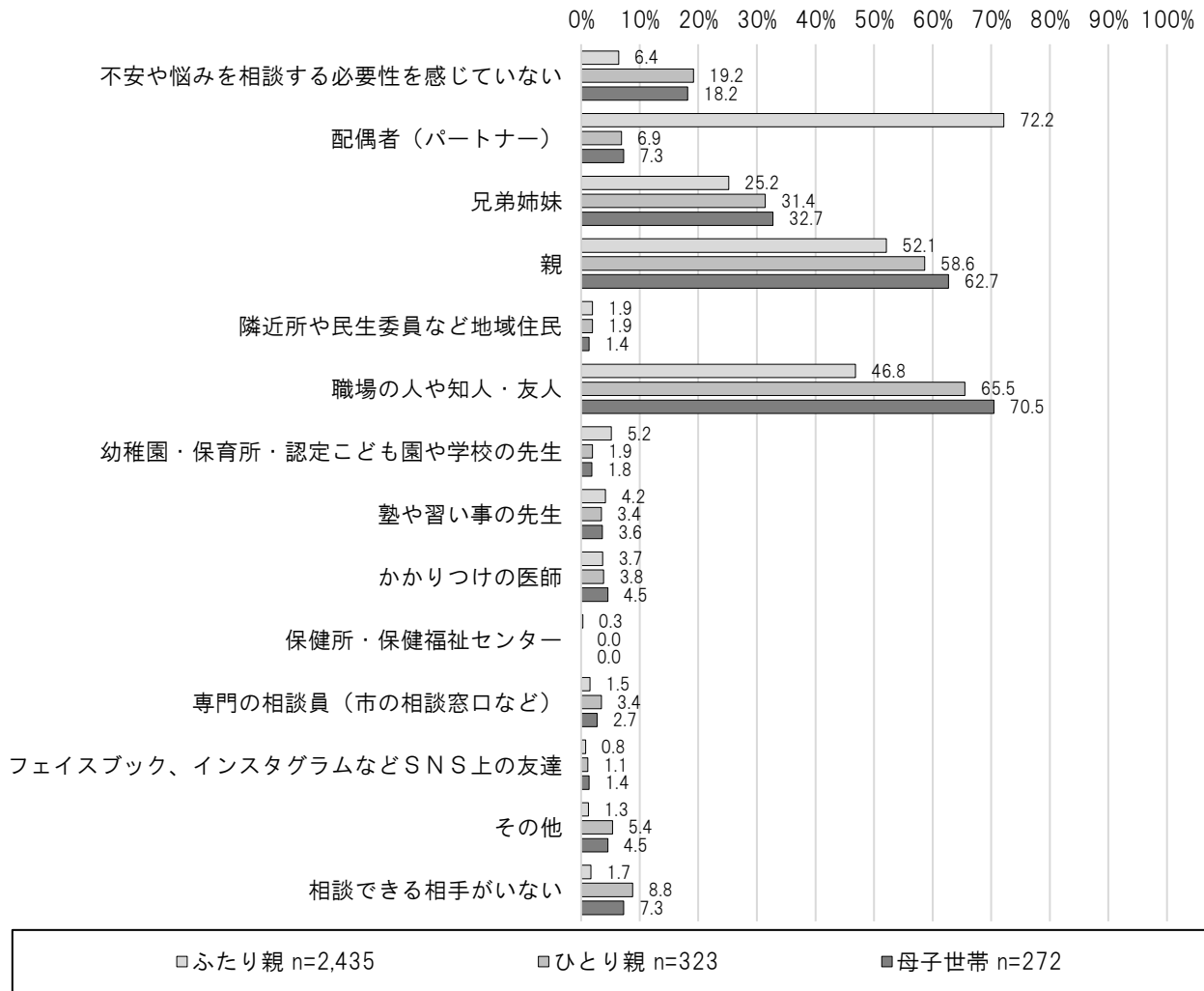
(3)世帯別

子育て相談の相手について、世帯別にみると、小学生では、ふたり親世帯では「配偶者（パートナー）」が83.4%、ひとり親世帯および母子世帯では「職場の人や知人・友人」が55.9%、61.4%と最も高くなっています。中学生では、ふたり親世帯では「配偶者（パートナー）」が72.2%、ひとり親世帯および母子世帯では「職場の人や知人・友人」が65.5%、70.5%と最も高くなっています。

図表2.19.3.1 世帯別・子育て相談の相手(小学生)



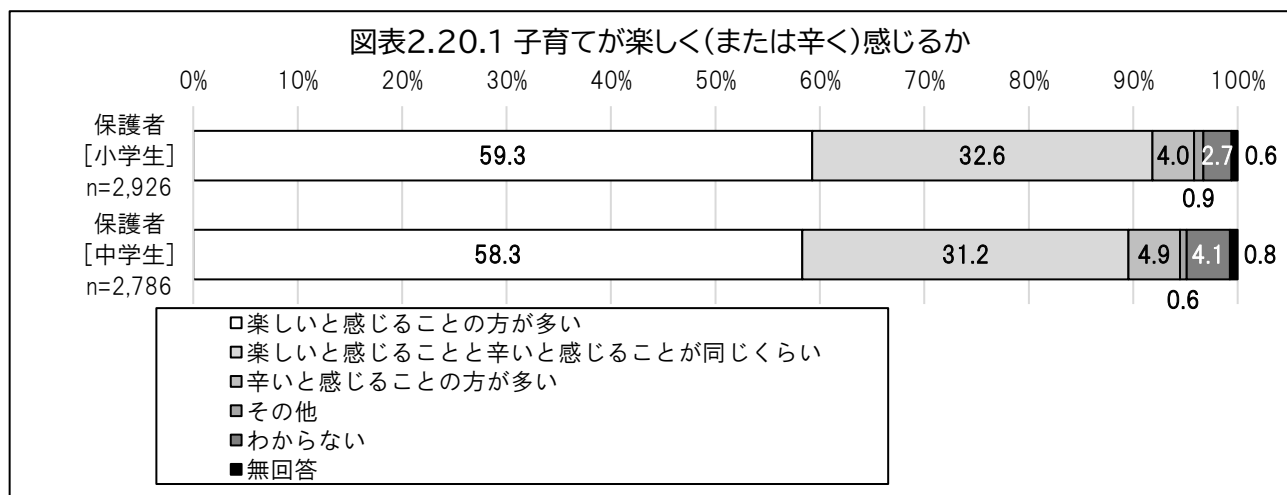
図表2.19.3.2 世帯別・子育て相談の相手(中学生)



問20. 子育てを楽しんでいることが多いと思いますか。それとも辛いと感じていることが多いと思いますか。

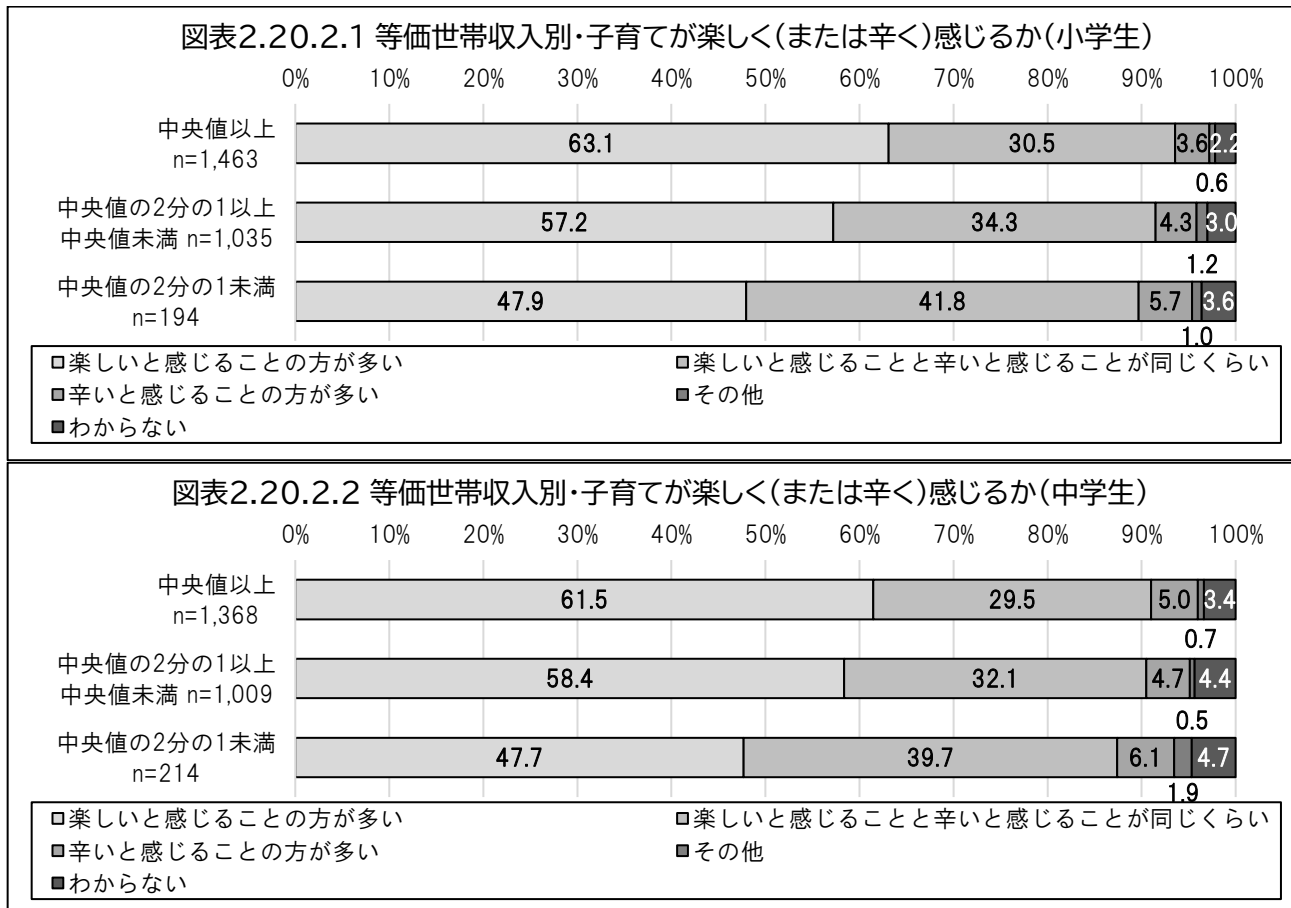
(1)全体

子育てを楽しんでいる・辛いと感じるかについて、小学生・中学生ともに「楽しいと感じることの方が多い」が59.3%、58.3%と最も高く、次いで「楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい」が32.6%、31.2%となっています。



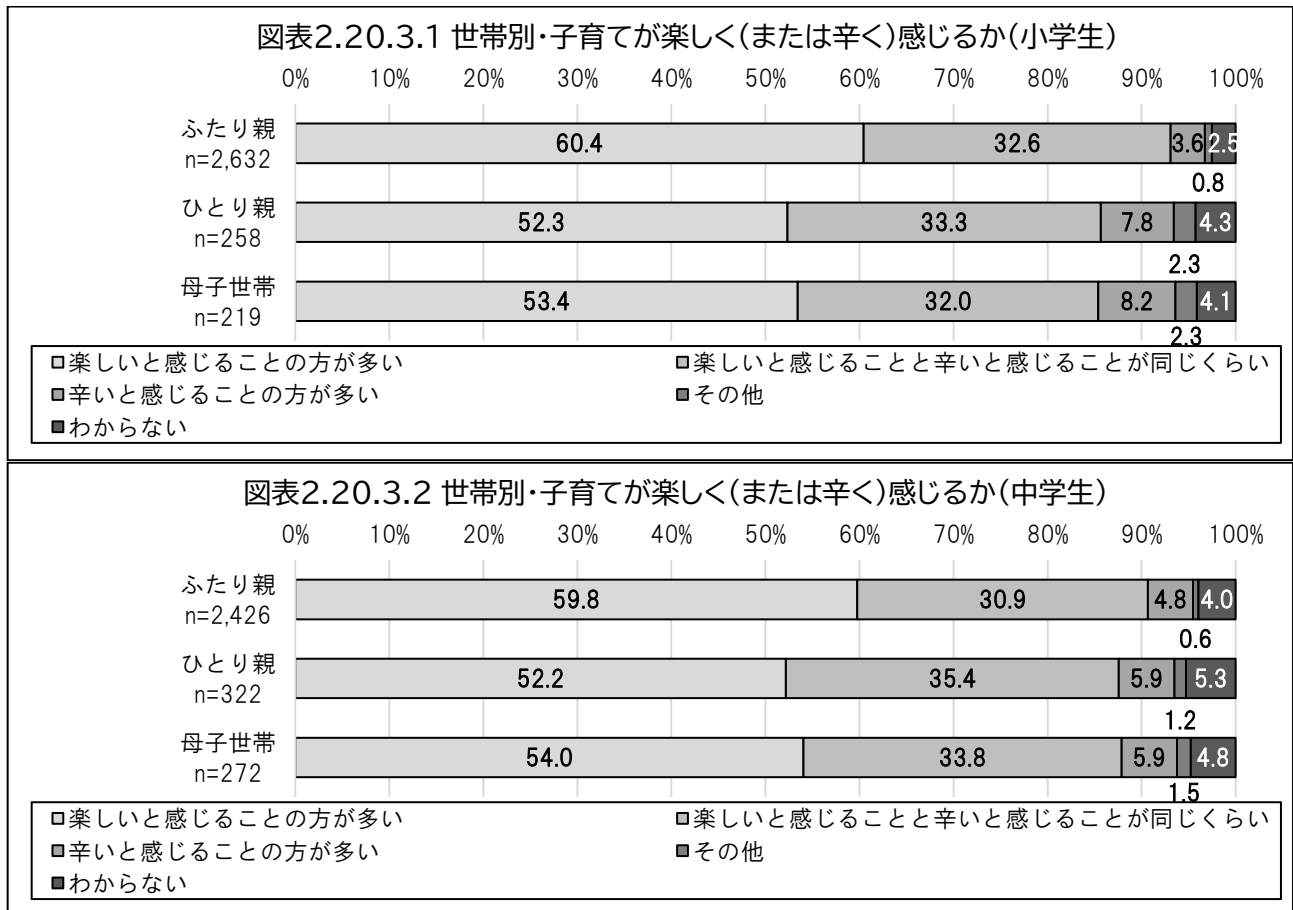
(2)等価世帯収入別

子育てを楽しい・辛いと感じるかについて、等価世帯収入別にみると、小学生・中学生ともに、いずれの水準においても「楽しいと感じることの方が多い」が、小学生では、それぞれ63.1%、57.2%、47.9%、中学生では、それぞれ61.5%、58.4%、47.7%と最も高くなっています。また、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では、「辛いと感じることの方が多い」が小学生5.7%、中学生6.1%となっており、他の水準と比較してやや高くなっています。



(3)世帯別

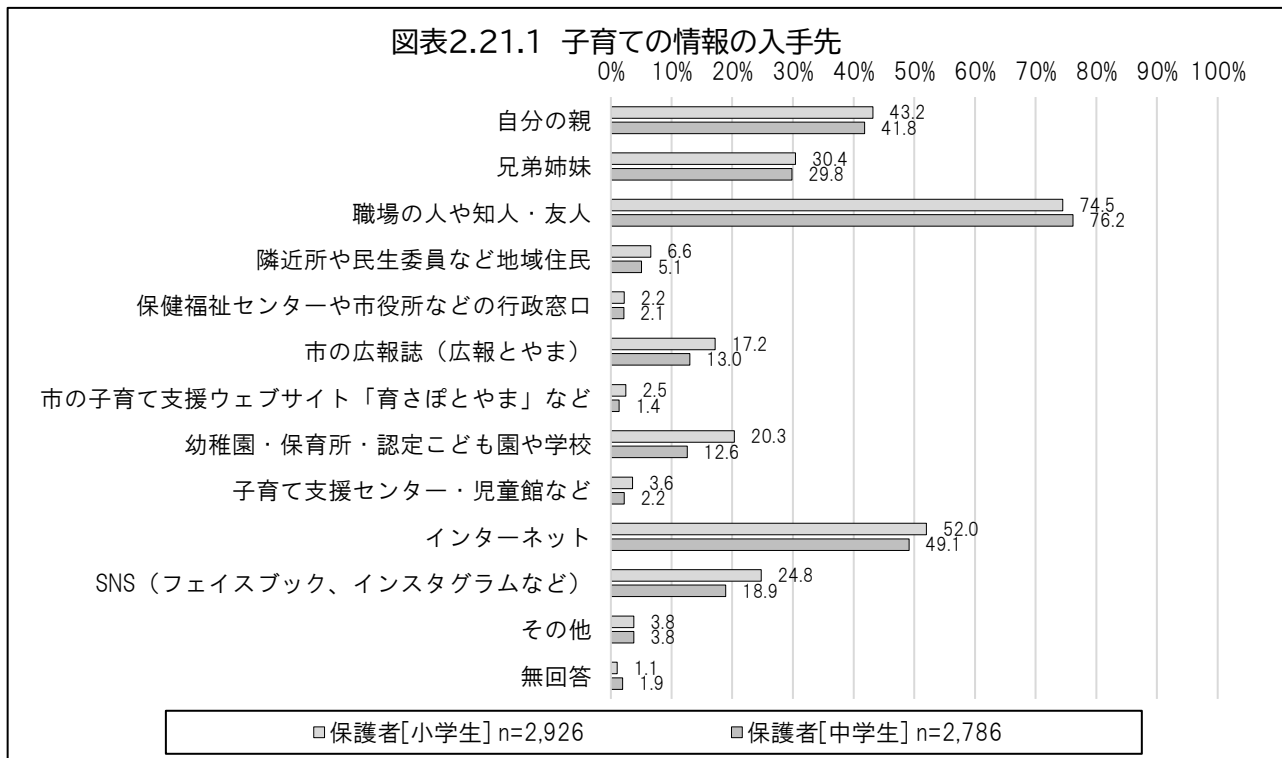
子育てを楽ししい・辛いと感じるかについて、世帯別にみると、小学生・中学生ともに、いずれの世帯においても「楽しいと感じることの方が多い」が、小学生では、それぞれ60.4%、52.3%、53.4%、中学生では、それぞれ59.8%、52.2%、54.0%と最も高くなっています。また、ひとり親世帯では、「辛いと感じることの方が多い」が小学生7.8%、中学生5.9%となっており、他の世帯と比較してやや高くなっています。



問21. 子育てに関する情報をどこから入手していますか。

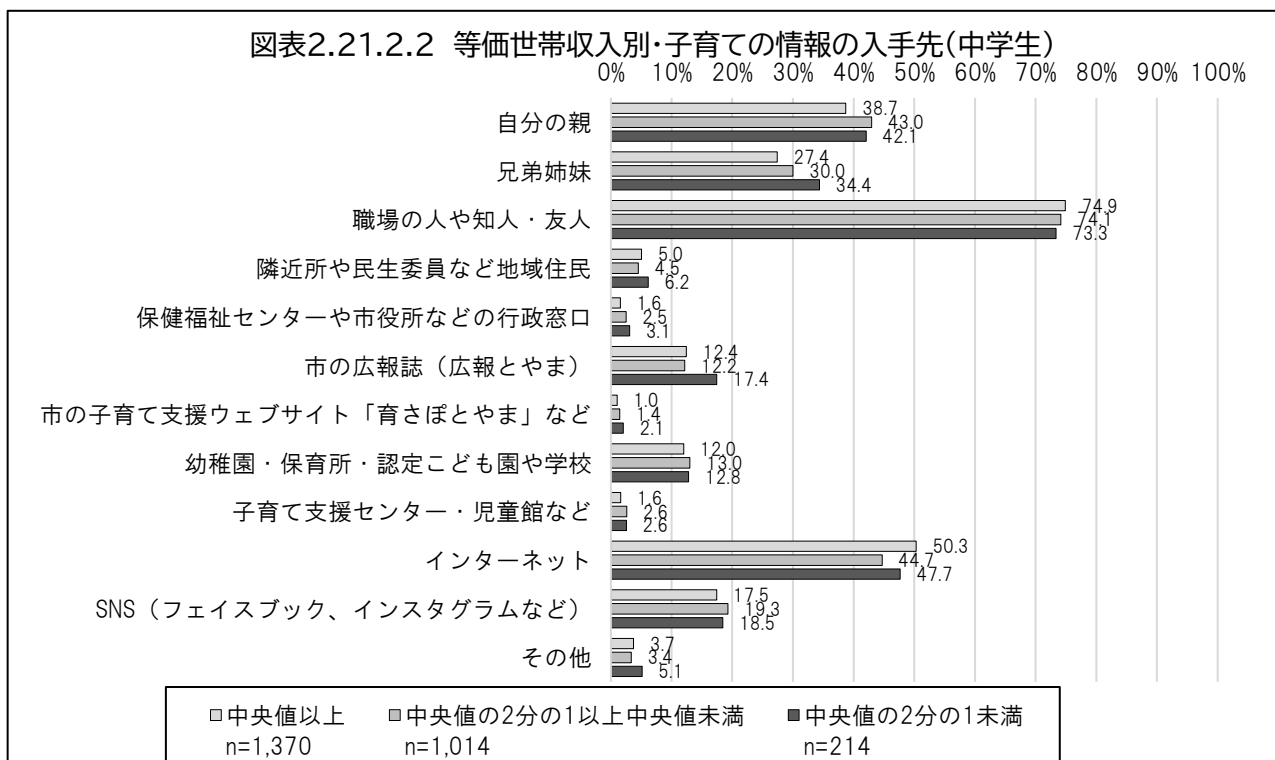
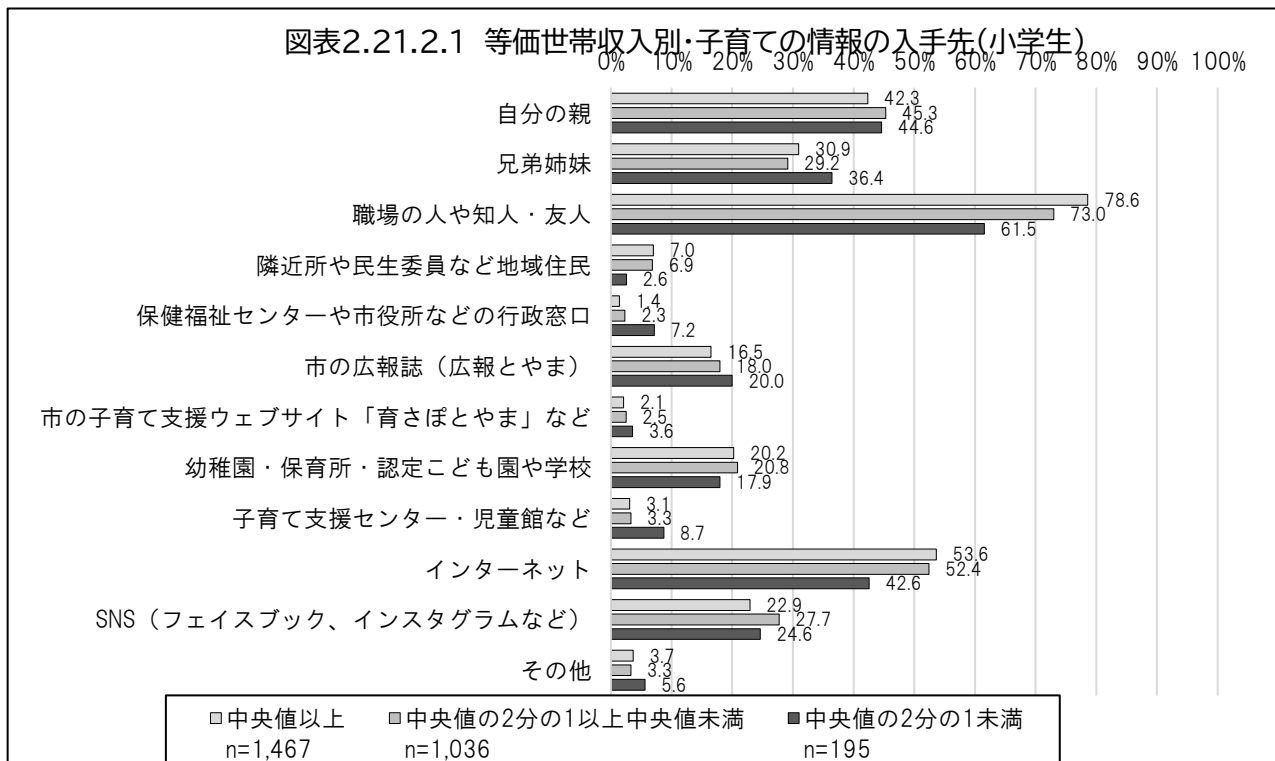
子育てに関する情報の入手先について、小学生・中学生ともに「職場の人や知人・友人」が74.5%、76.2%、次いで「インターネット」が52.0%、49.1%、「自分の親」が43.2%、41.8%となっています。また、小学生は中学生に比べて「幼稚園・保育所・認定こども園や学校」(20.3%)、「SNS (フェイスブック、インスタグラムなど)」(24.8%)が高くなっています。

(1)全体



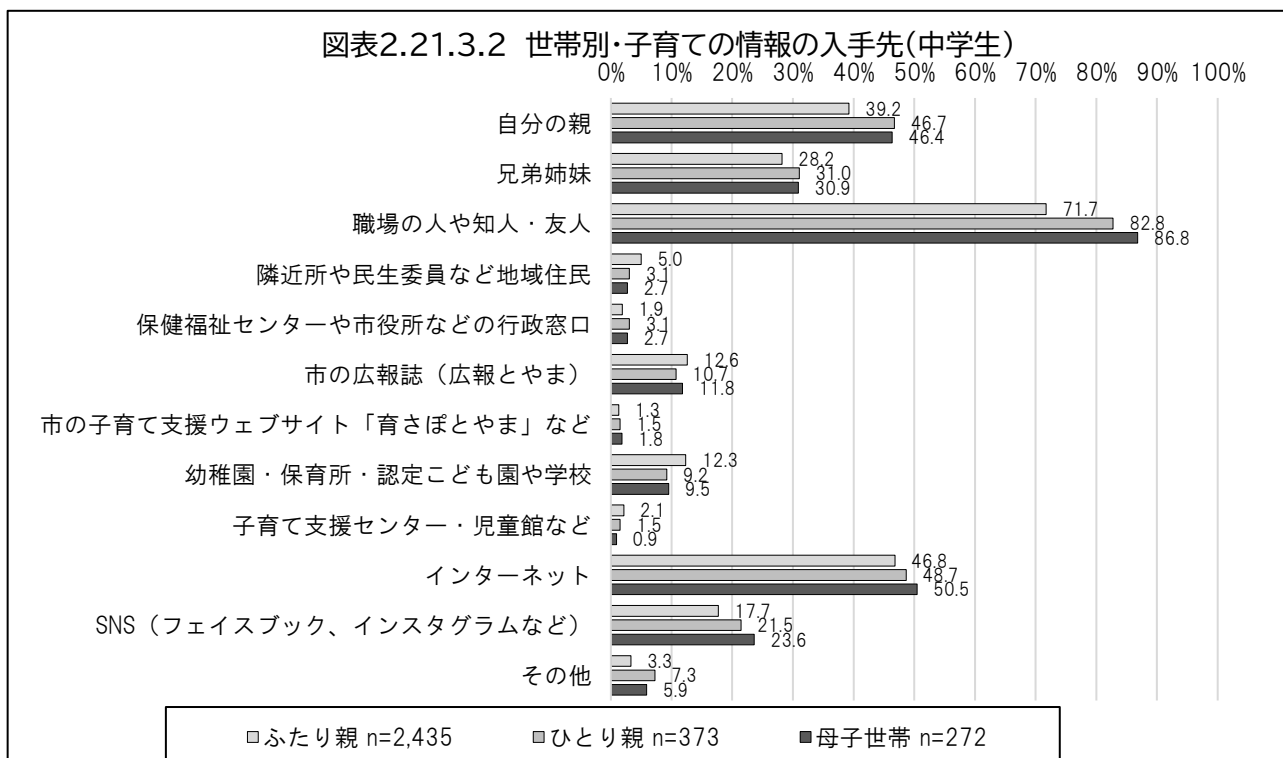
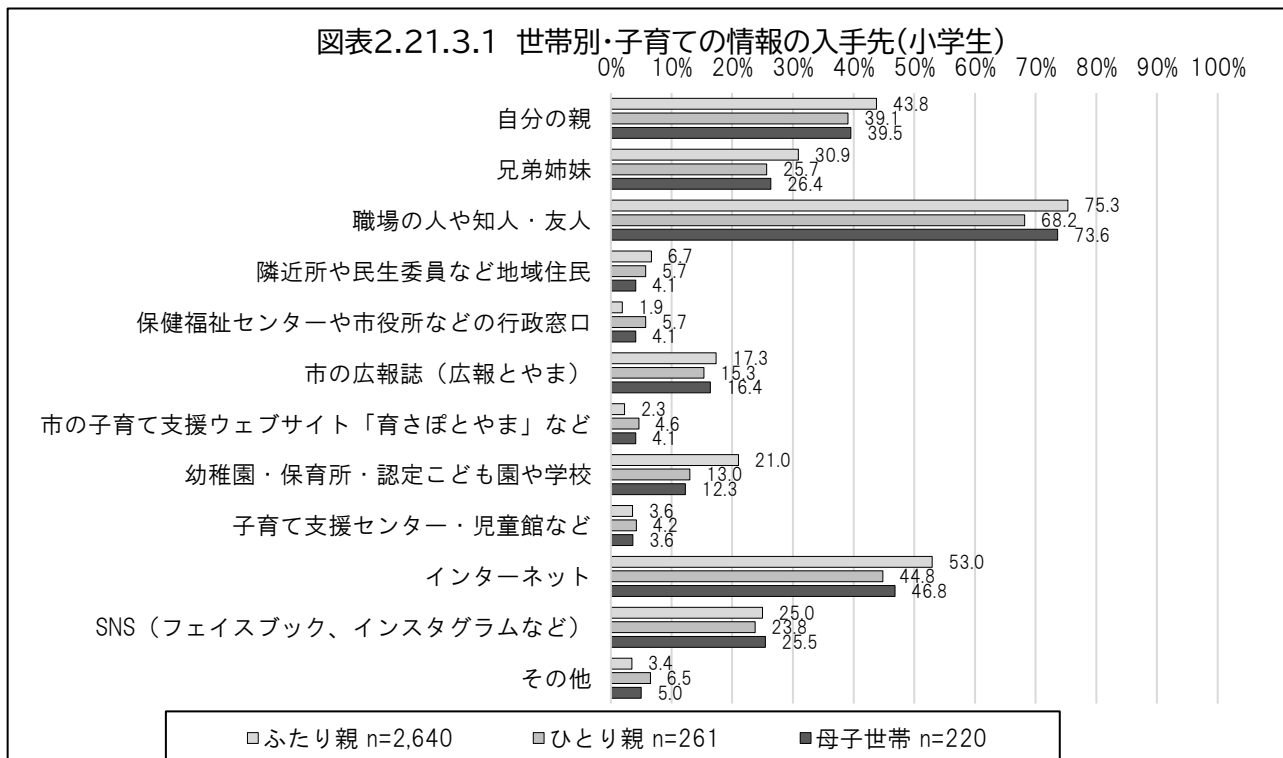
(2)等価世帯収入別

子育てに関する情報の入手先について、等価世帯収入別にみると、小学生・中学生ともに、いずれの水準においても「職場の人や知人・友人」が、小学生では、それぞれ78.6%、73.0%、61.5%、中学生では、それぞれ74.9%、74.1%、73.3%と最も高くなっています。



(3)世帯別

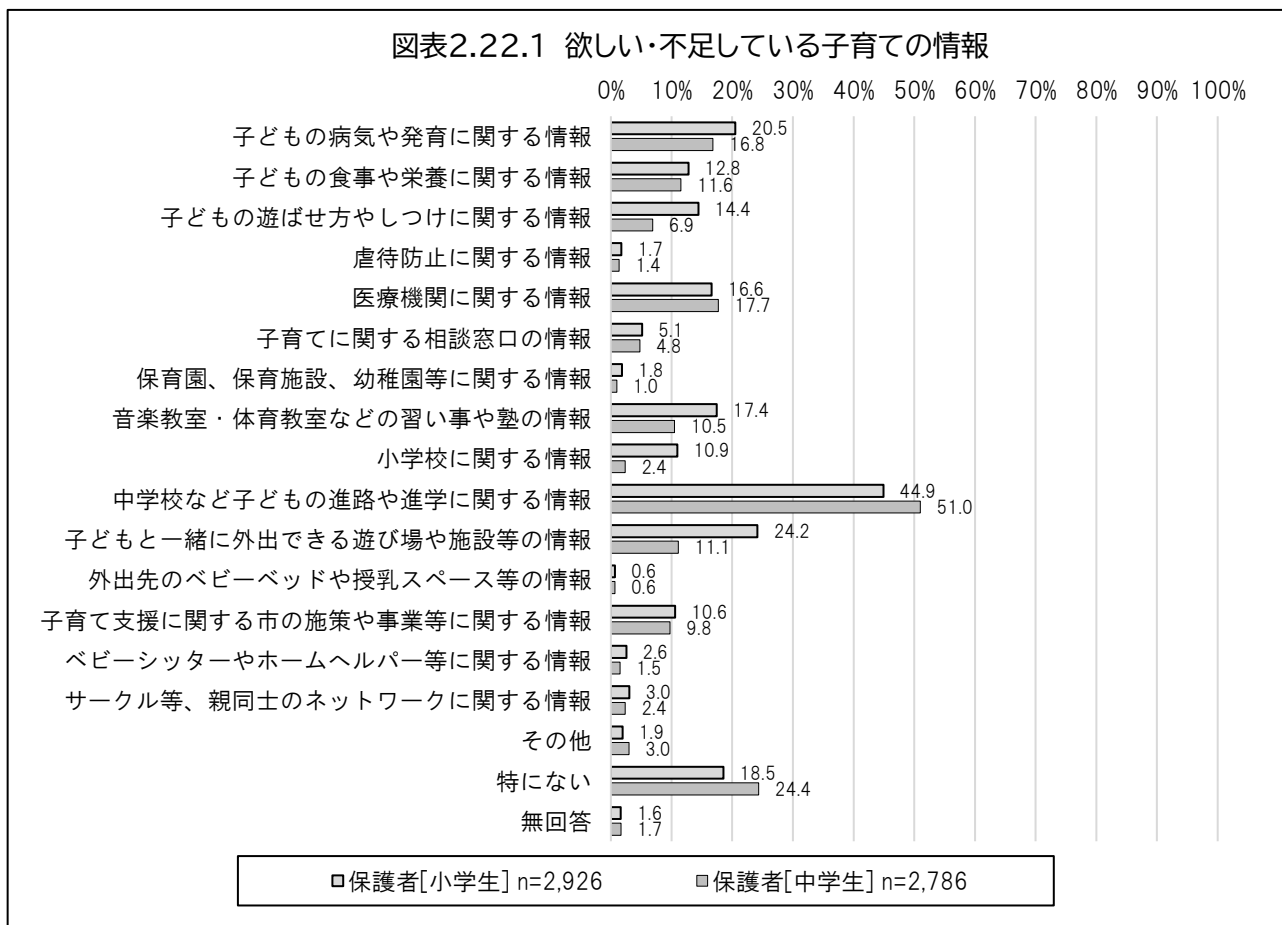
子育てに関する情報の入手先について、世帯別にみると、小学生・中学生ともに、いずれの世帯においても「職場の人や知人・友人」が、小学生では、それぞれ75.3%、68.2%、73.6%、中学生では、それぞれ71.7%、82.8%、86.8%と最も高くなっています。



問2. 現在、子育てに関してどのような情報が欲しい、あるいは不足していると感じますか。

(1)全体

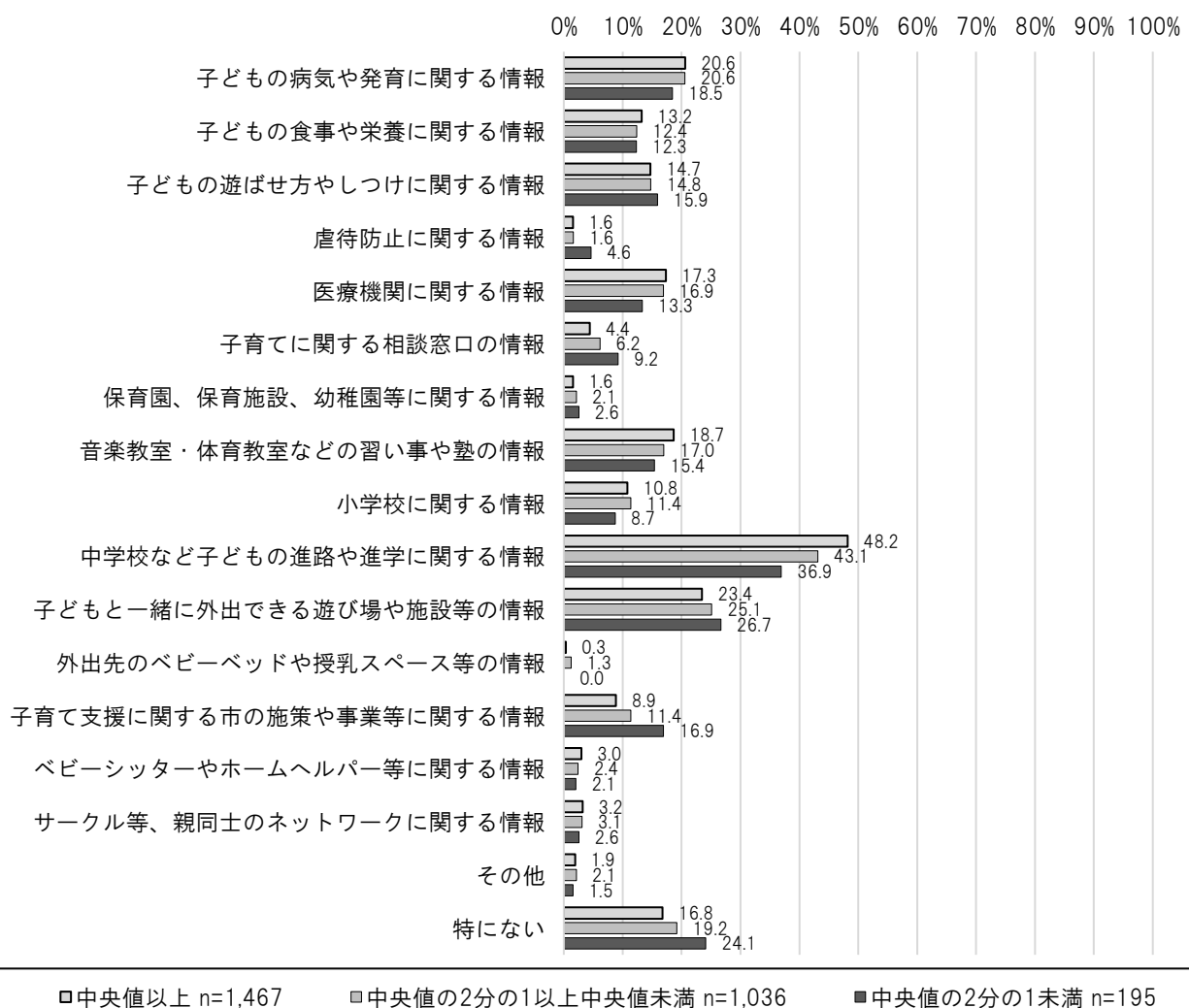
子育てに関する情報で欲しいもの・不足しているものについて、小学生では「中学校など子どもの進路や進学に関する情報」が44.9%と最も高く、次いで「子どもと一緒に外出できる遊び場や施設等の情報」が24.2%、「子どもの病気や発育に関する情報」が20.5%となっています。中学生では「中学校など子どもの進路や進学に関する情報」が51.0%と最も高く、次いで「特にない」が24.4%、「医療機関に関する情報」が17.7%となっています。



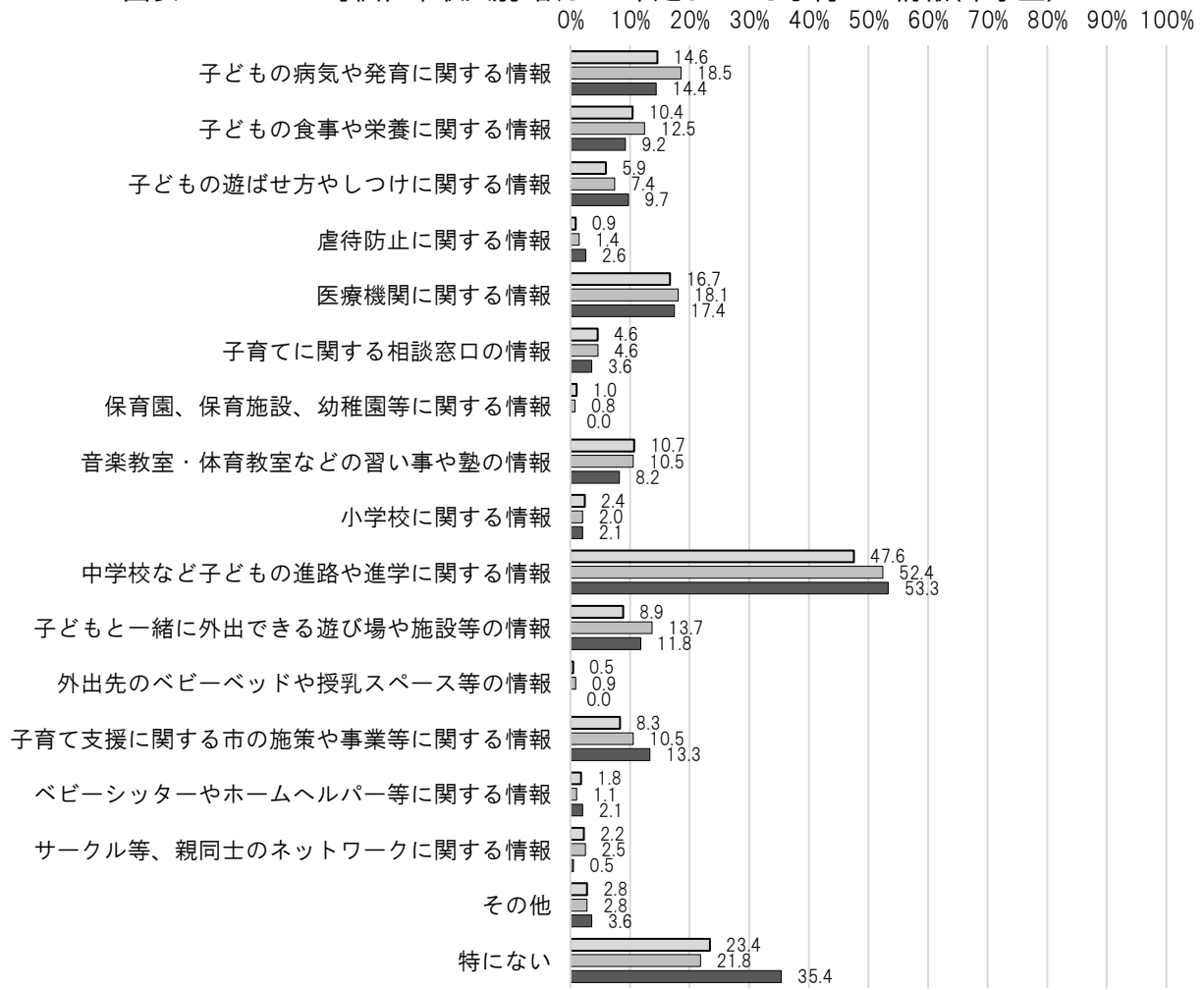
(2)等価世帯収入別

子育てに関する情報で欲しいもの・不足しているものについて、等価世帯収入別にみると、小学生・中学生ともに、いずれの水準においても「中学校など子どもの進路や進学に関する情報」が、小学生では、それぞれ48.2%、43.1%、36.9%、中学生では、それぞれ47.6%、52.4%、53.3%と最も高くなっています。また、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」の小学生では、「中央値以上」に比べて「中学校など子どもの進路や進学に関する情報」が低く、「虐待防止に関する情報」、「子育てに関する相談窓口の情報」、「子育て支援に関する市の施策や事業等に関する情報」、「特にない」が高くなっています。

図表2.22.2.1 等価世帯収入別・欲しい・不足している子育ての情報(小学生)



図表2.22.2.2 等価世帯収入別・欲しい・不足している子育ての情報(中学生)



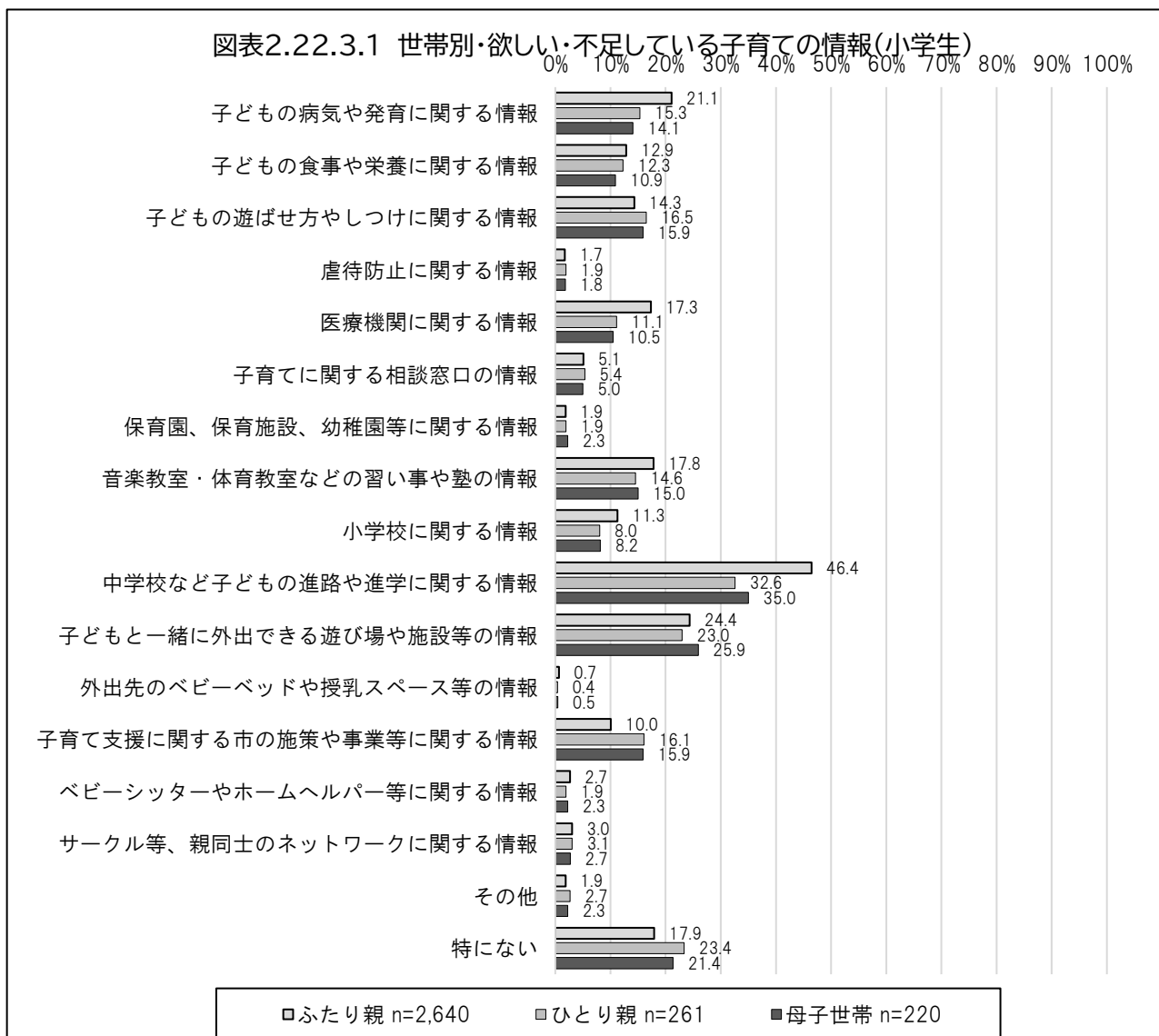
□中央値以上 n=1,370

▨中央値の2分の1以上中央値未満 n=1,014

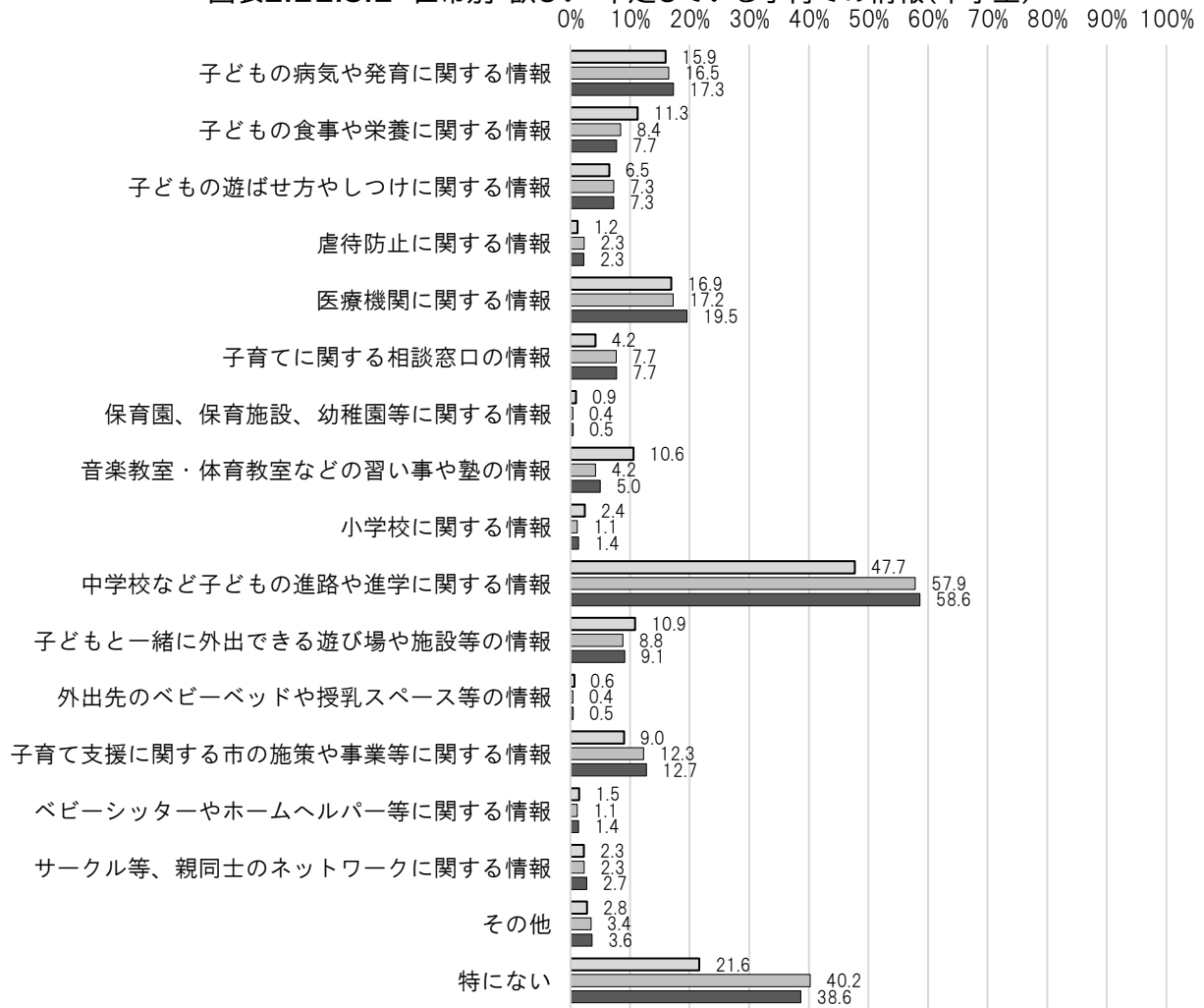
■中央値の2分の1未満 n=214

(3)世帯別

子育てに関する情報で欲しいもの・不足しているものについて、世帯別にみると、小学生・中学生ともに、いずれの世帯においても「中学校など子どもの進路や進学に関する情報」が、小学生では、それぞれ46.4%、32.6%、35.0%、中学生では、それぞれ47.7%、57.9%、58.6%と最も高くなっています。



図表2.22.3.2 世帯別・欲しい・不足している子育ての情報(中学生)

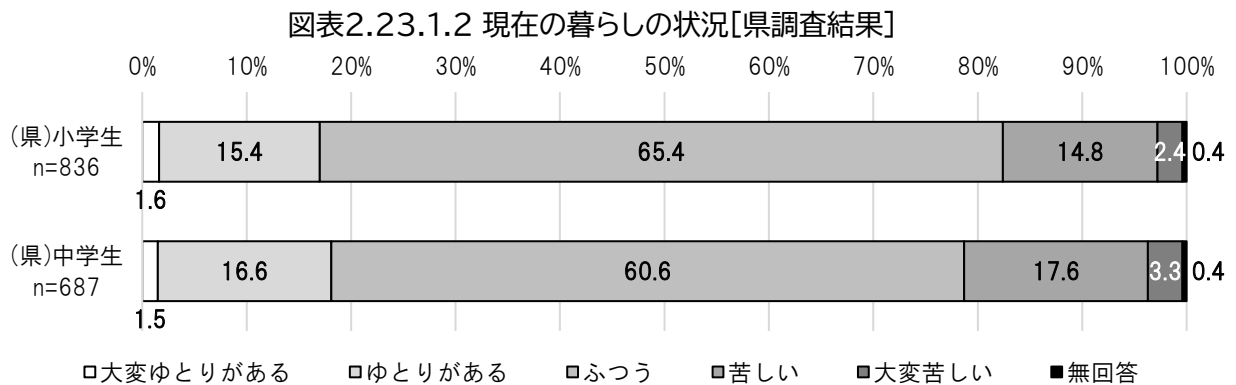
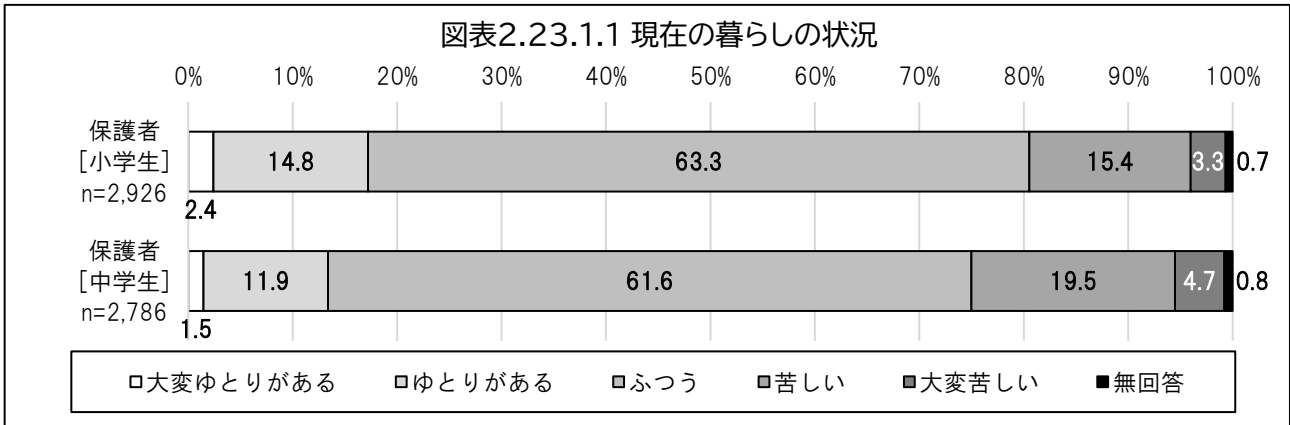


□ふたり親 n=2,435 □ひとり親 n=323 ■母子世帯 n=272

問23. あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。

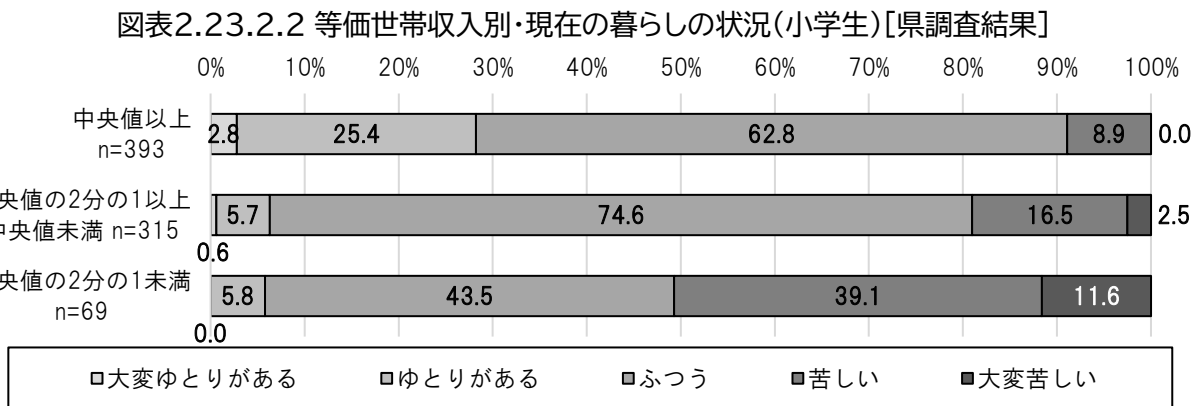
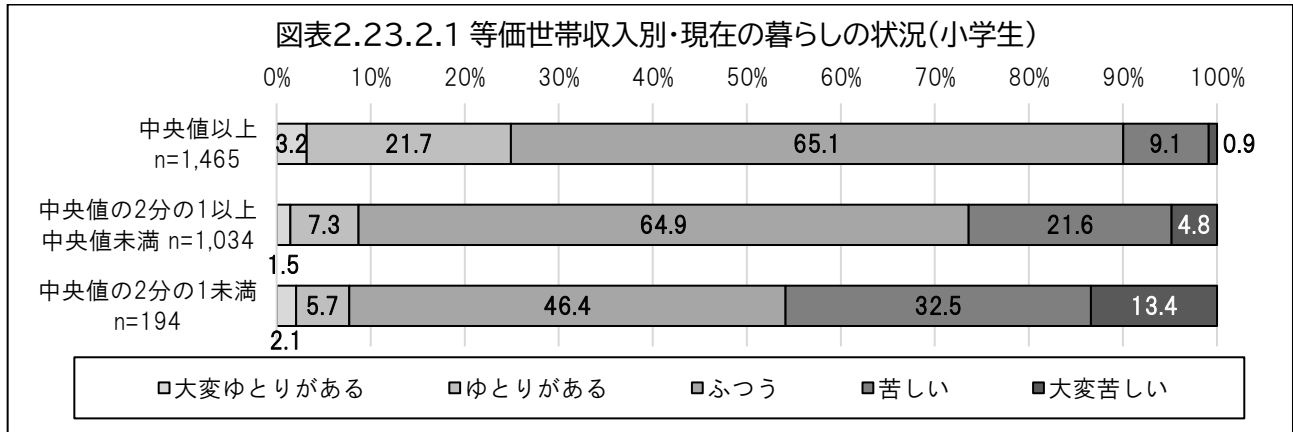
(1)全体

現在の暮らしの状況をどのように感じているかについて、「大変ゆとりがある」又は「ゆとりがある」と回答した割合が、小学生が17.2%、中学生が13.4%となっています。一方、「苦しい」又は「大変苦しい」と回答した割合は、小学生が18.7%、中学生が24.2%となっています。



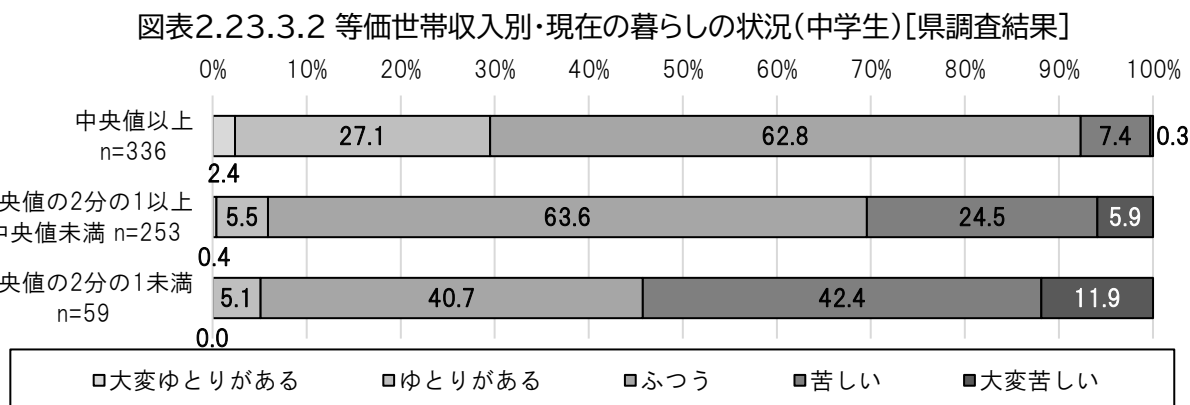
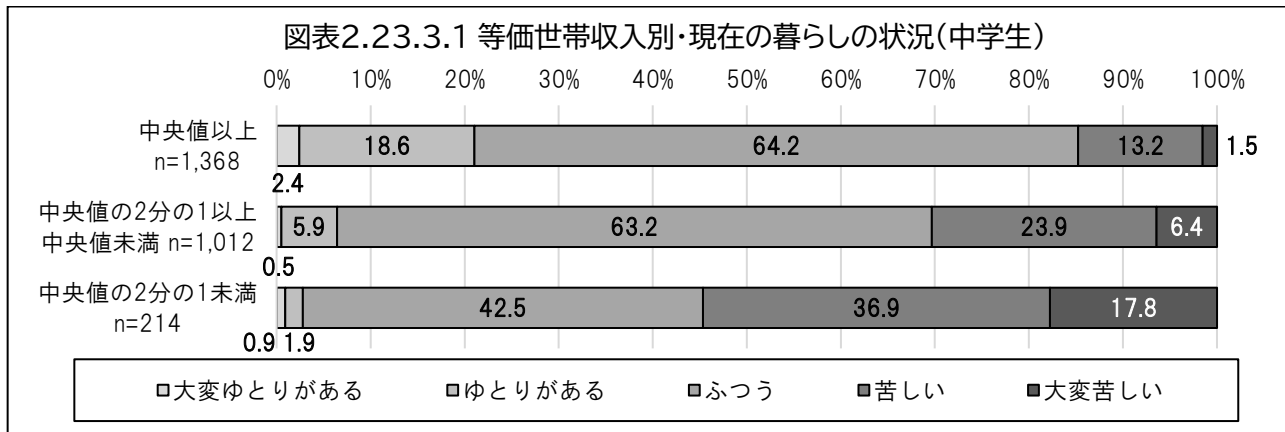
(2)等価世帯収入別・保護者[小学生]（問 23.現在の暮らしの状況）

現在の暮らしの状況について、等価世帯収入別にみると、小学生では「苦しい」又は「大変苦しい」と回答した割合が、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」で 45.9%となり、全体（18.7%）と比較して 27.2 ポイント高くなっています。



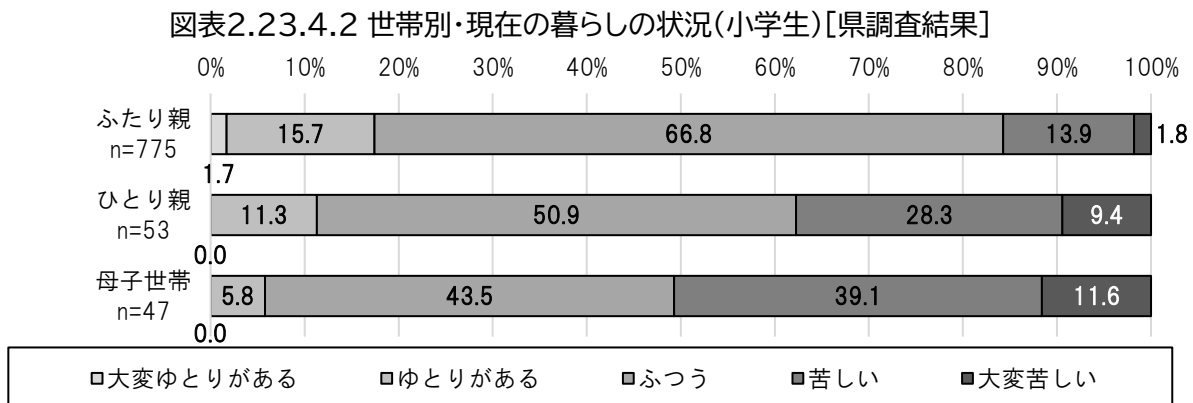
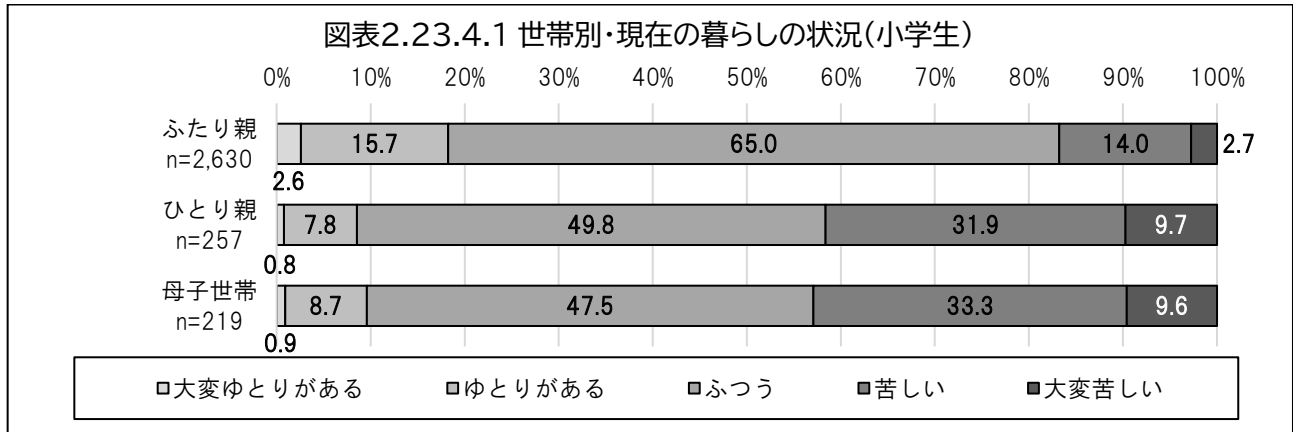
(3)等価世帯収入別・保護者[中学生]（問 23.現在の暮らしの状況）

現在の暮らしの状況について、等価世帯収入別にみると、中学生では「苦しい」又は「大変苦しい」と回答した割合が、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」で 54.7%となり、全体（24.2%）と比較して 30.5 ㊦高くなっています。



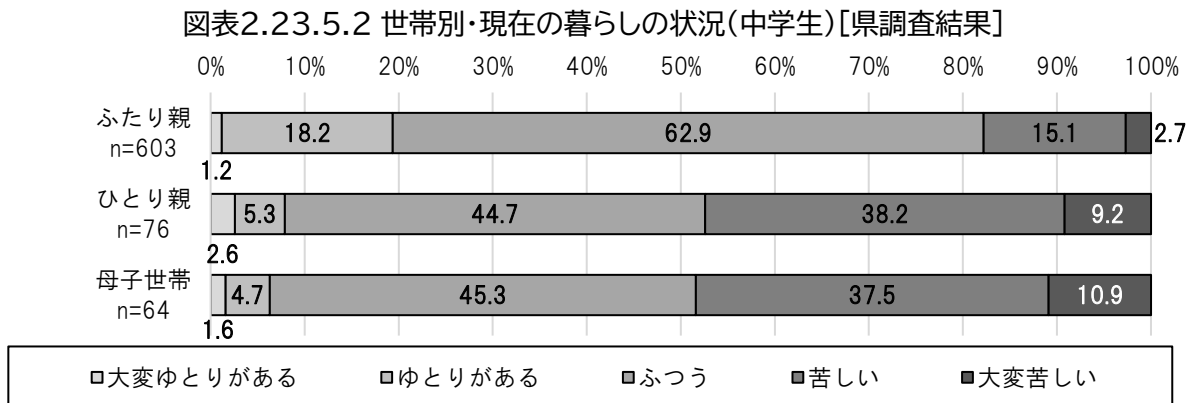
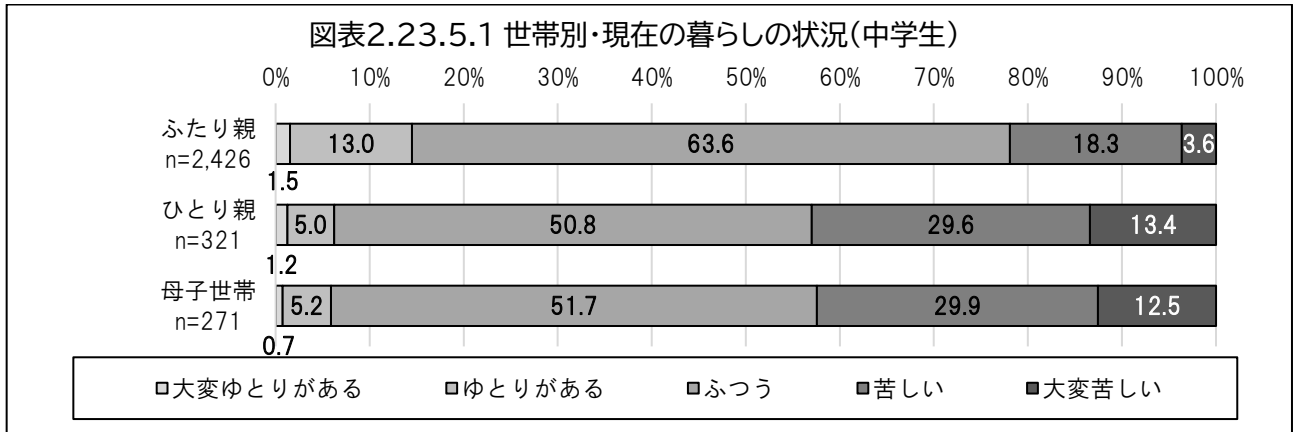
(4)世帯別・保護者[小学生] (問 23. 現在の暮らしの状況)

現在の暮らしの状況について、世帯別にみると、小学生では、「苦しい」又は「大変苦しい」と回答した割合は、ひとり親世帯が41.6%、母子世帯が42.9%で、ふたり親世帯の16.7%と比較して、それぞれ24.9%、26.2%高くなっています。



(5)世帯別・保護者[中学生] (問 23. 現在の暮らしの状況)

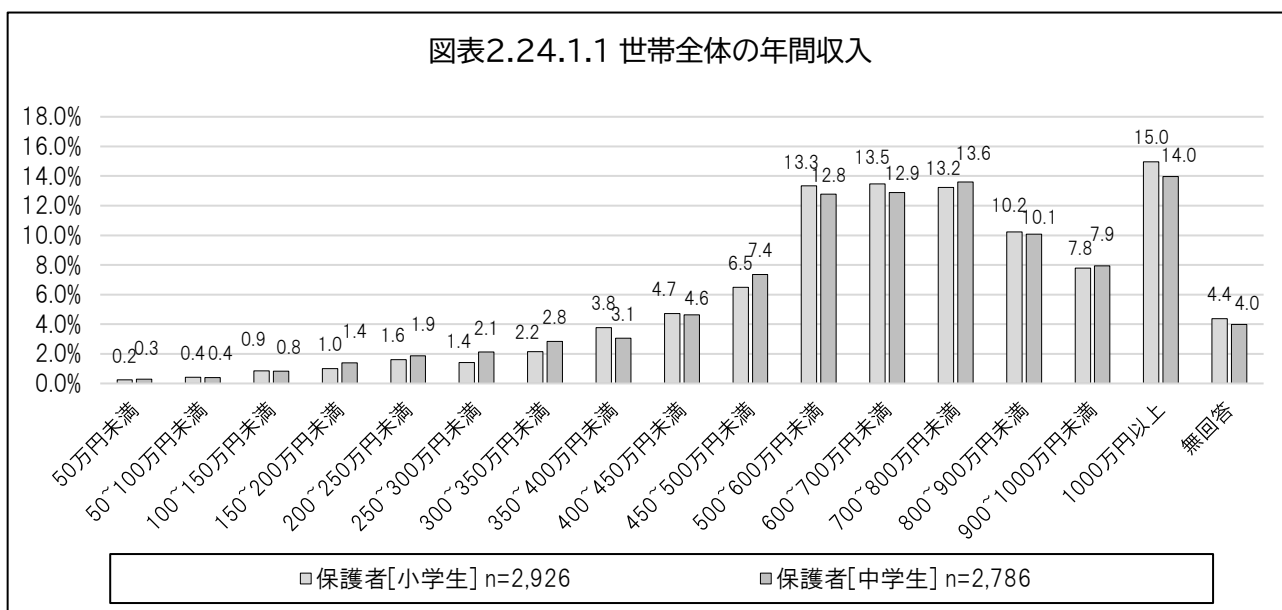
現在の暮らしの状況について、世帯別にみると、中学生では、「苦しい」又は「大変苦しい」と回答した割合は、ひとり親世帯が43.0%、母子世帯が42.4%で、ふたり親世帯の21.9%と比較して、それぞれ21.1 ㊦、20.5 ㊦高くなっています。



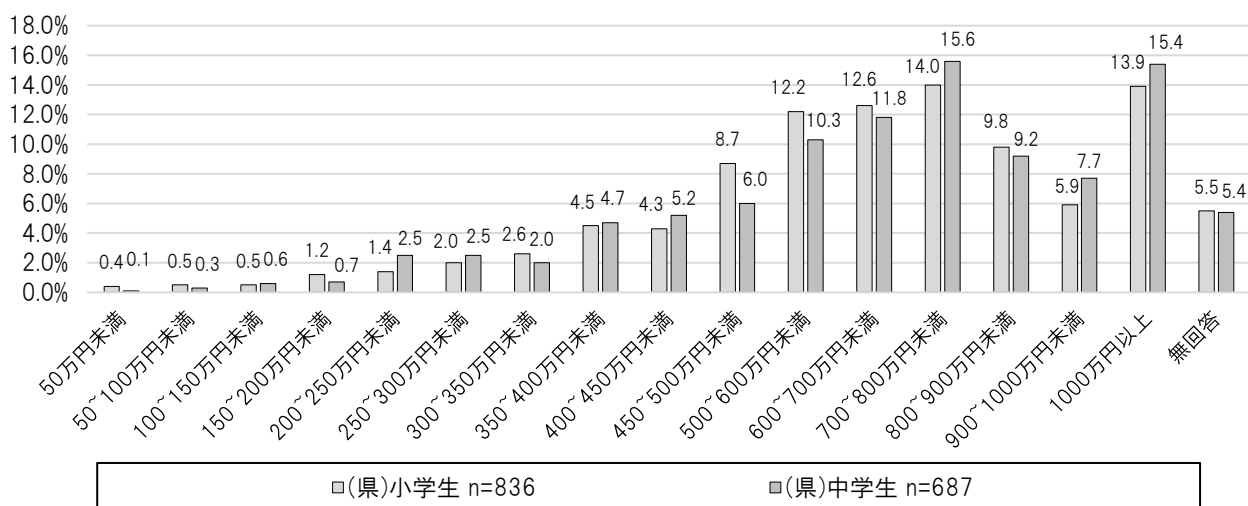
問24. 世帯全体のおおその年間収入(税込)はいくらですか。

(1)全体

世帯全体の年間収入について、小学生では「1,000万円以上」が15.0%、次いで「600～700万円未満」が13.5%、次いで「500万円～600万円未満」が13.3%となっています。中学生では「1,000万円以上」が14.0%、次いで「700～800万円未満」が13.6%、次いで「600～700万円未満」が12.9%となっています。

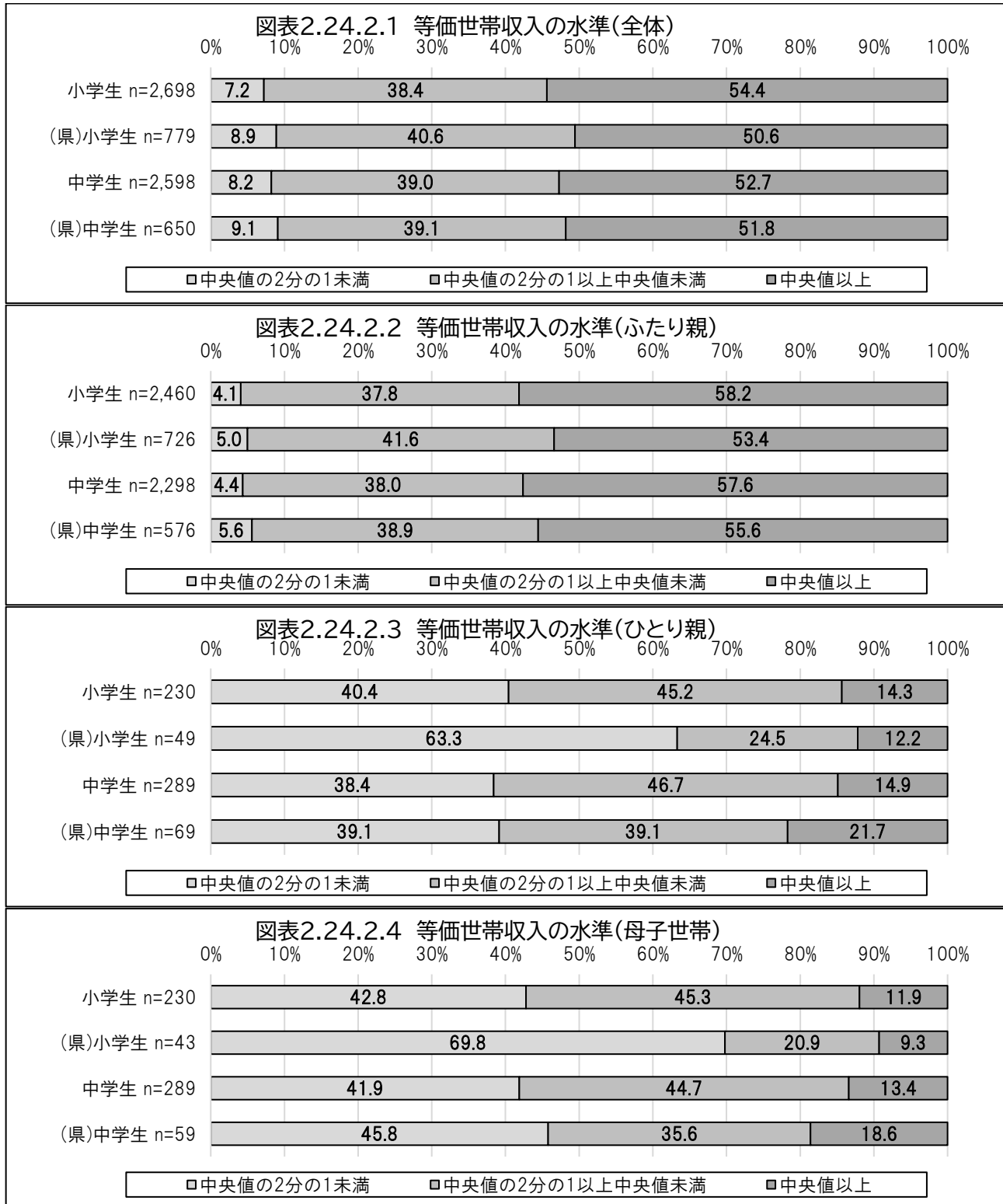


図表2.24.1.2 世帯全体の年間収入[県調査結果]



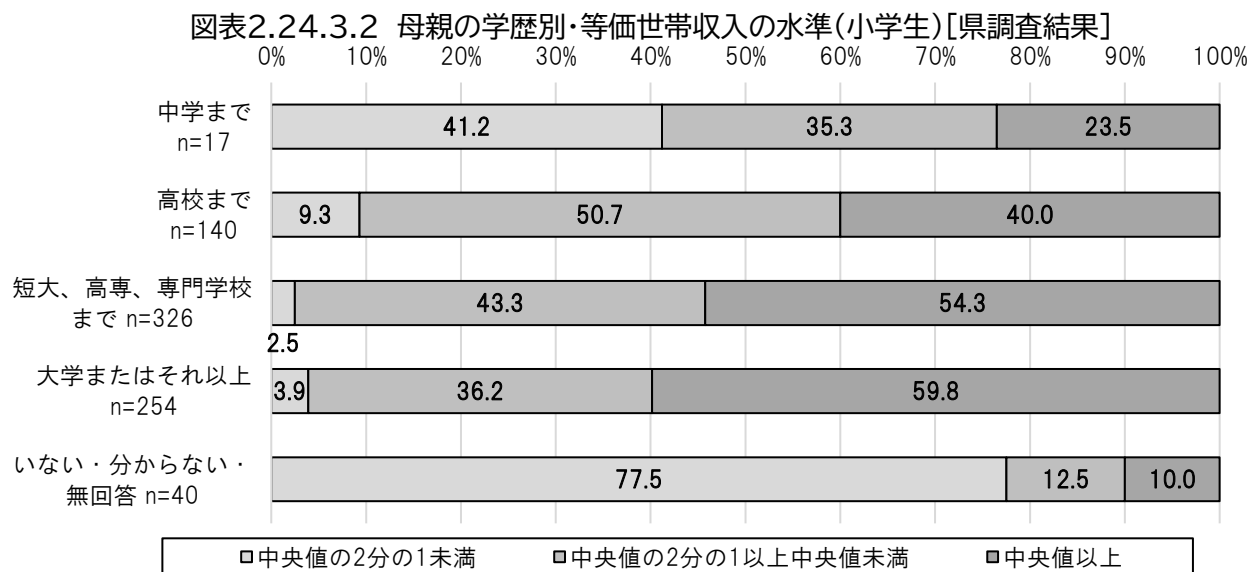
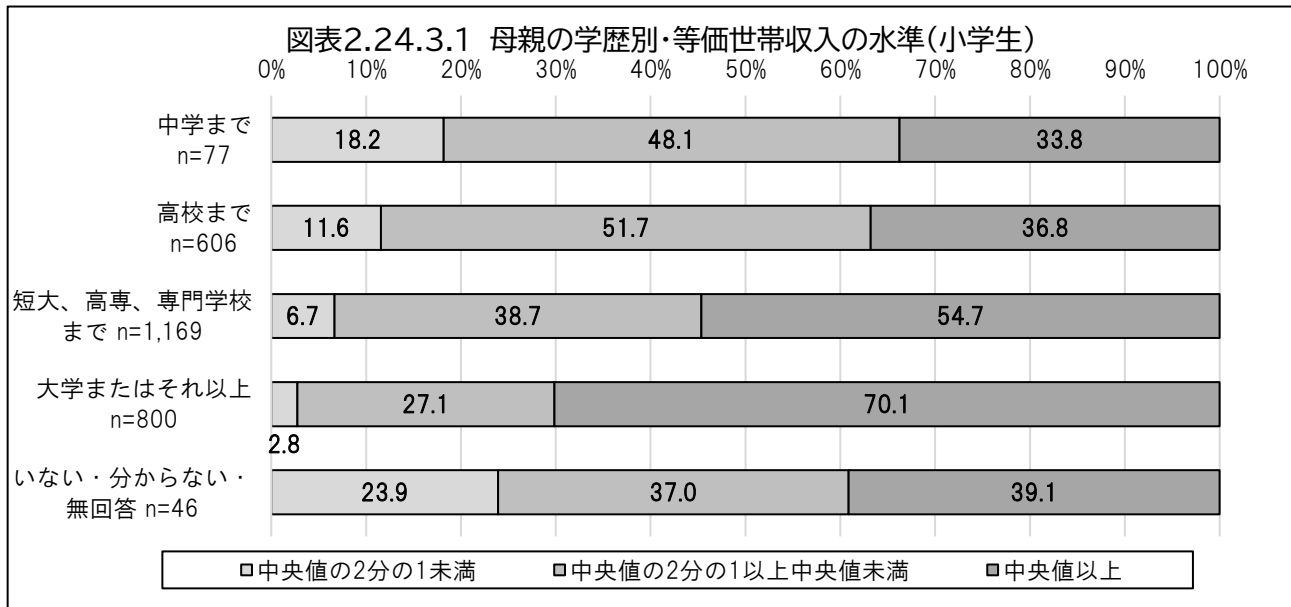
(2)等価世帯収入別・保護者（問 24. 世帯全体の年間収入）

世帯全体の年間収入について、等価世帯収入別にみると、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」の割合が、ひとり親世帯では、小学生が40.4%、中学生が38.4%となり、全体（7.2%、8.2%）と比較して、それぞれ33.2 ㊦、30.2 ㊦高くなっています。



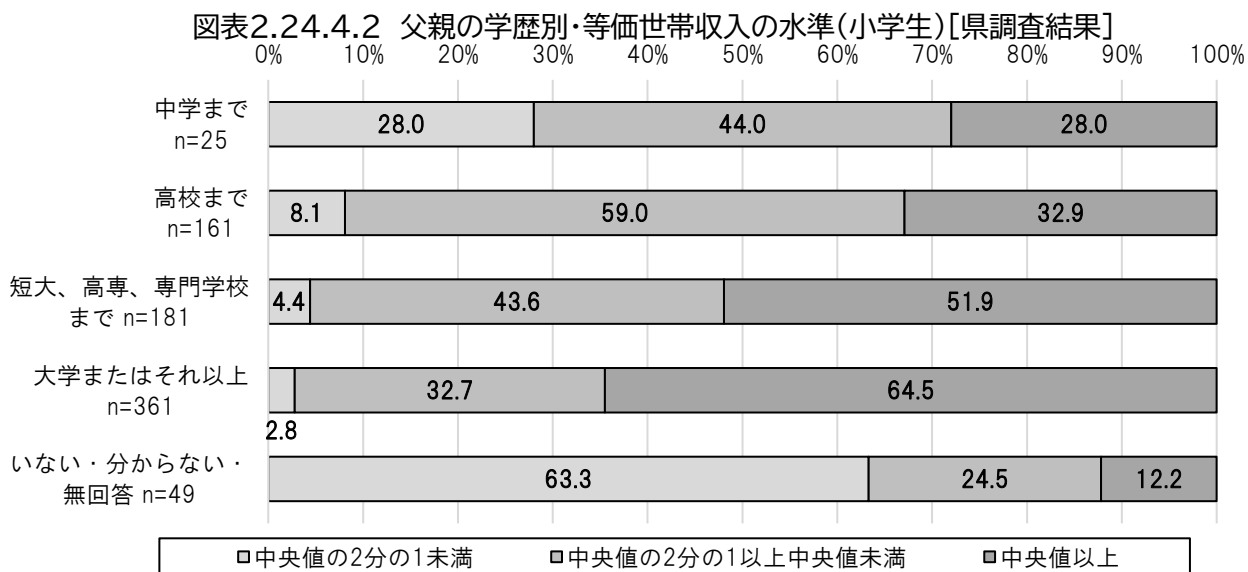
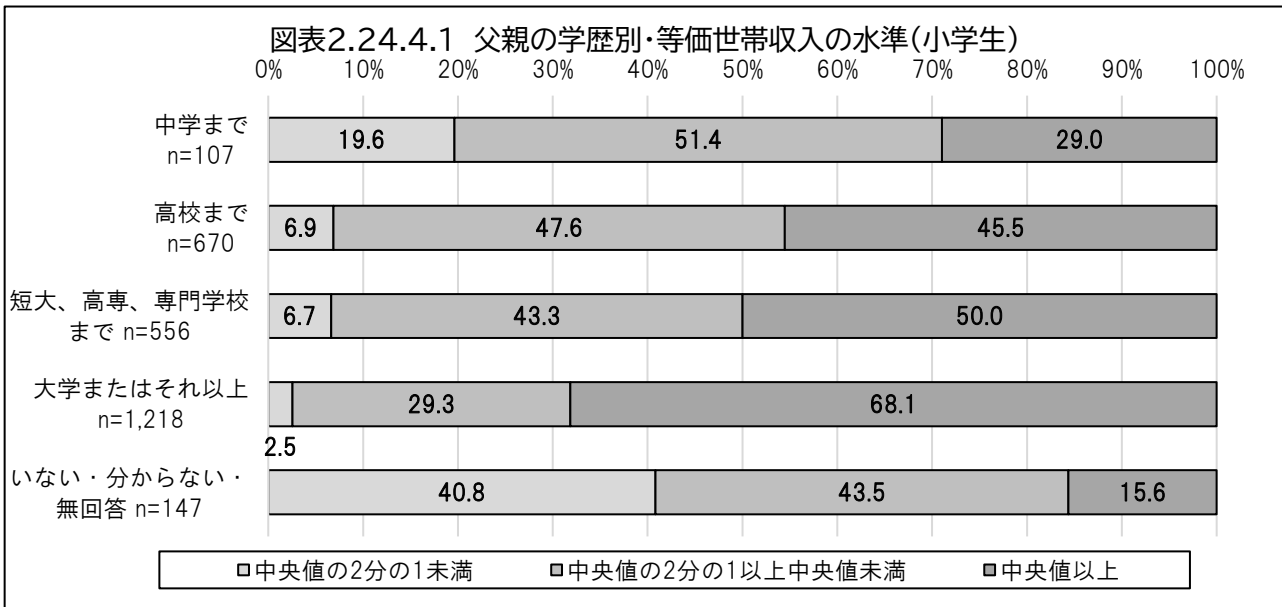
(3)母親の学歴別・等価世帯収入別・保護者[小学生]（問 24. 世帯全体の年間収入）

世帯全体の年間収入について、母親の学歴別・等価世帯収入別にみると、小学生では、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」の割合が、母親の学歴が「中学まで」の場合は 18.2%、「高校まで」の場合は 11.6%となっており、「短大、高専、専門学校まで」（6.7%）、「大学またはそれ以上」（2.8%）の場合と比較して高くなっています。



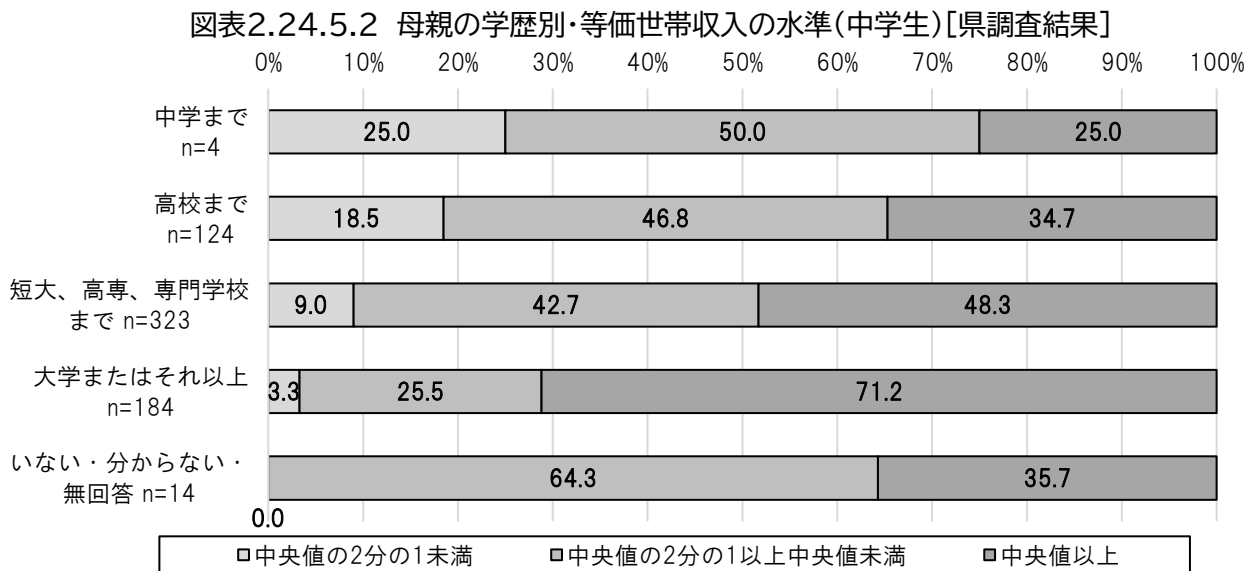
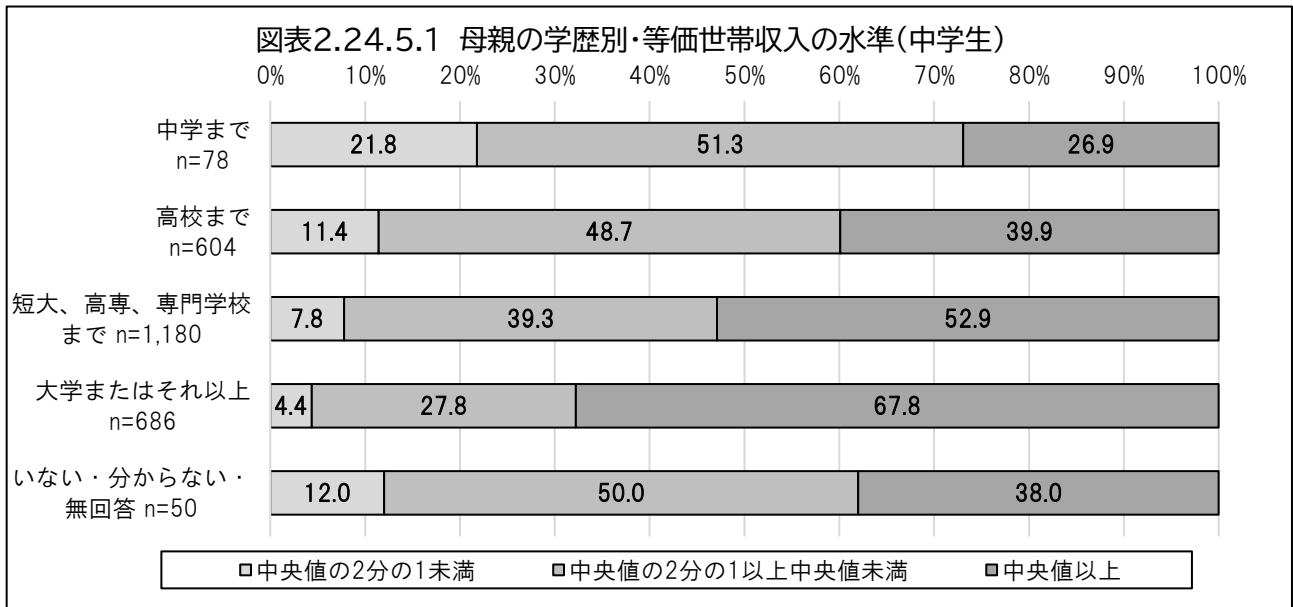
(4)父親の学歴別・等価世帯収入別・保護者[小学生]（問 24. 世帯全体の年間収入）

世帯全体の年間収入について、父親の学歴別・等価世帯収入別にみると、小学生では、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」の割合が、父親の学歴が「中学まで」の場合は 19.6%、「高校まで」の場合は 6.9%となり、「短大、高専、専門学校まで」（6.7%）、「短大、高専、専門学校まで」（6.7%）、「大学またはそれ以上」（2.5%）の場合と比較して高くなっています。



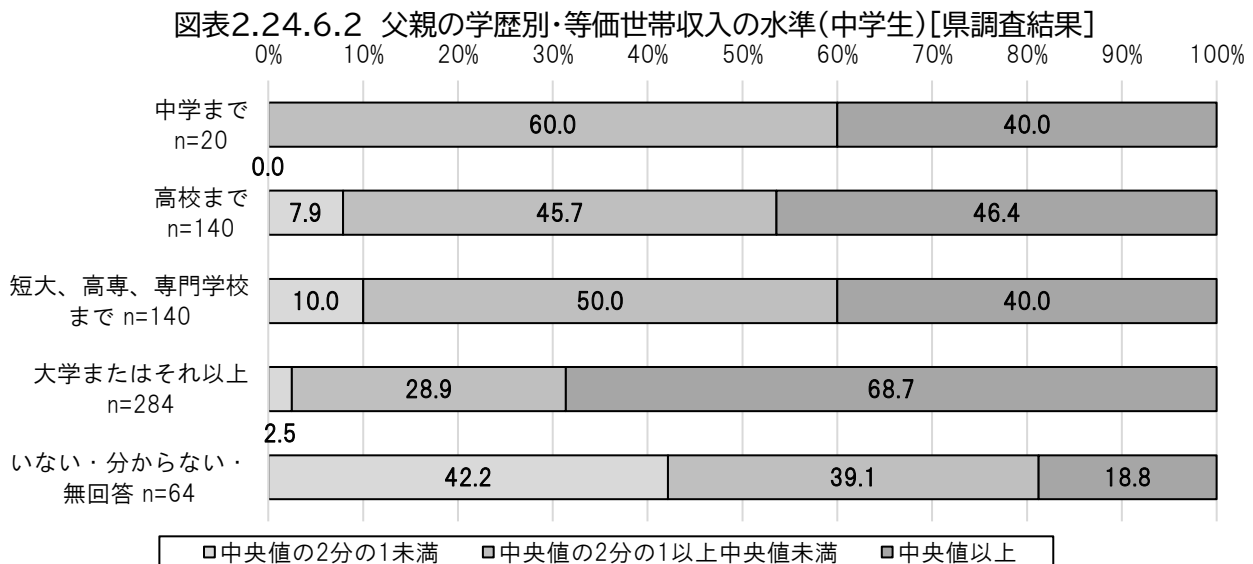
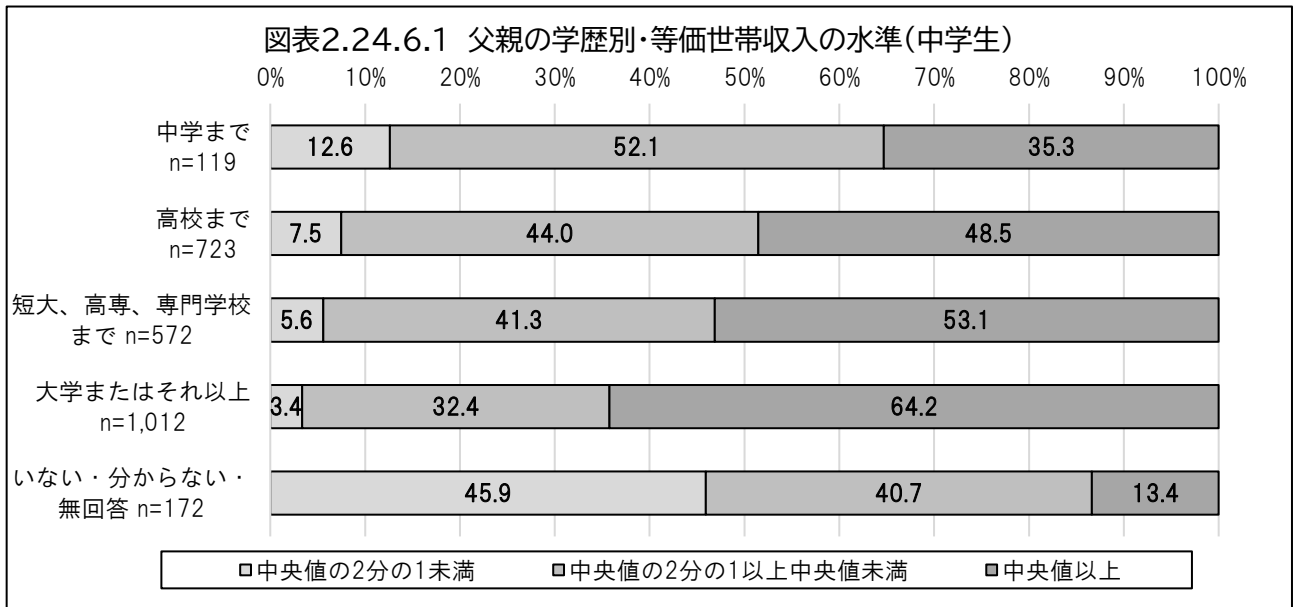
(5)母親の学歴別・等価世帯収入別・保護者[中学生] (問 24. 世帯全体の年間収入)

世帯全体の年間収入について、母親の学歴別・等価世帯収入別にみると、中学生では、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」の割合が、母親の学歴が「中学まで」の場合は 21.8%、「高校まで」の場合は 11.4%となっており、「短大、高専、専門学校まで」（7.8%）、「大学またはそれ以上」（4.4%）の場合と比較して高くなっています。



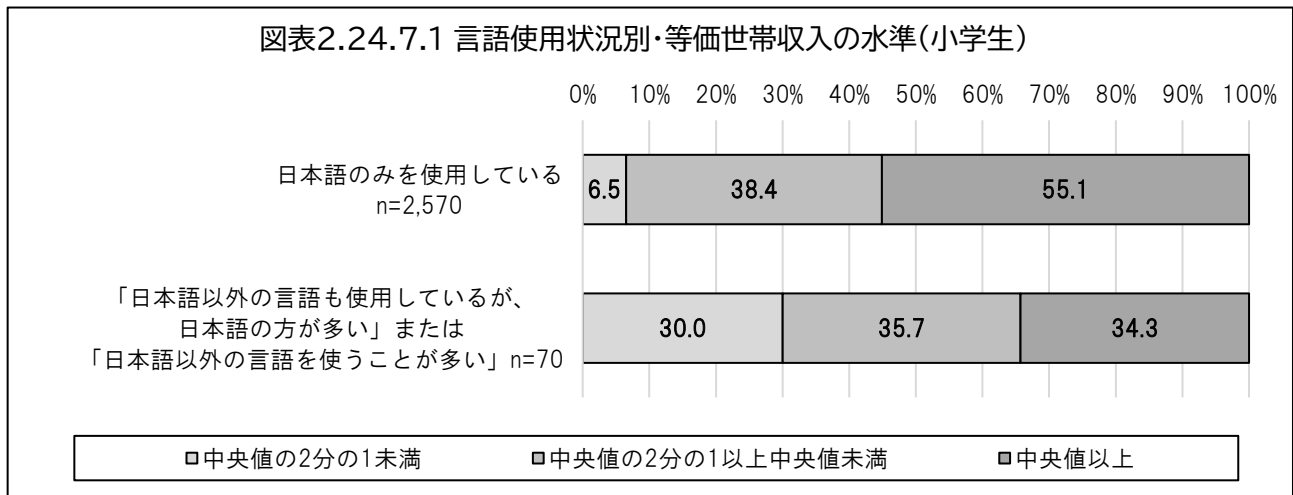
(6)父親の学歴別・等価世帯収入別・保護者[中学生] (問 24. 世帯全体の年間収入)

世帯全体の年間収入について、父親の学歴別・等価世帯収入別にみると、小学生では、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」の割合が、父親の学歴が「中学まで」の場合は 12.6%、「高校まで」の場合は 7.5%となっており、「短大、高専、専門学校まで」(5.6%)、「大学またはそれ以上」(3.4%) の場合と比較して高くなっています。

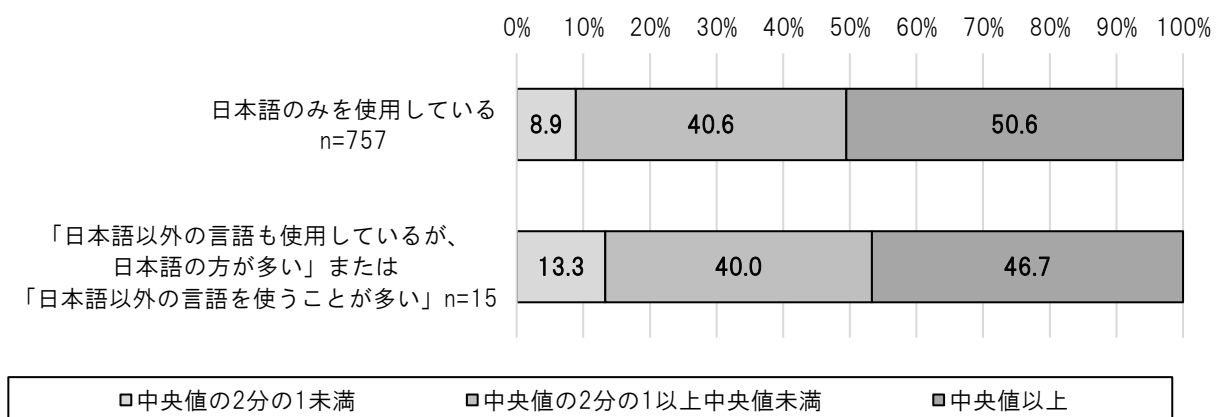


(7)家庭での使用言語別・等価世帯収入別・保護者[小学生]（問 24. 世帯全体の年間収入）

世帯全体の年間収入について、家庭での使用言語別・等価世帯収入別にみると、小学生では、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」の割合が、「日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い」または「日本語以外の言語を使うことが多い」場合は 30.0%となっており、「日本語のみを使用している」場合（6.5%）と比較して高くなっています。

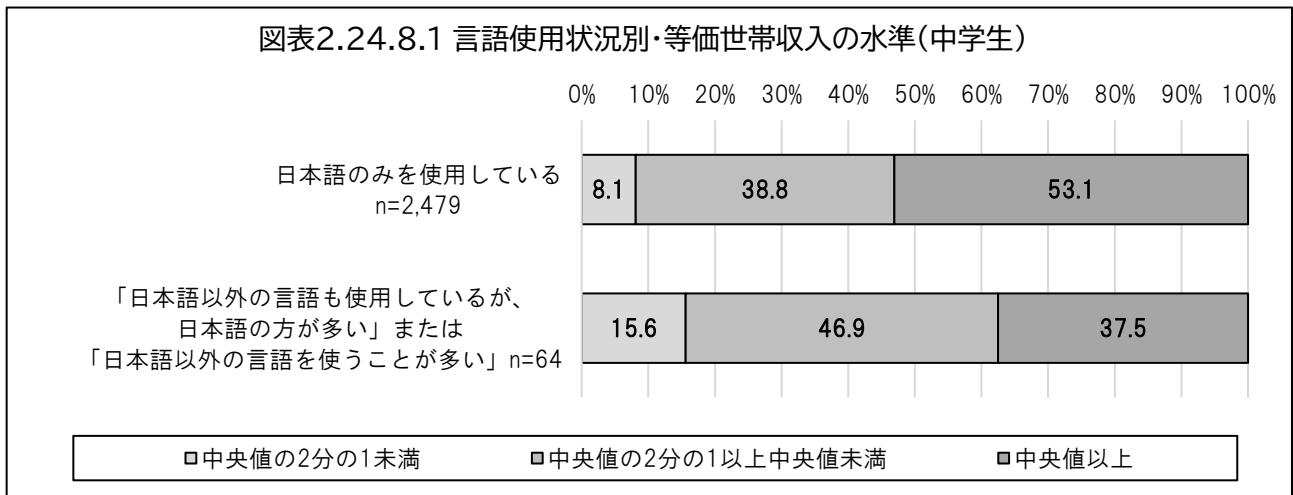


図表2.24.7.2 言語使用状況別・等価世帯収入の水準(小学生)[県調査結果]

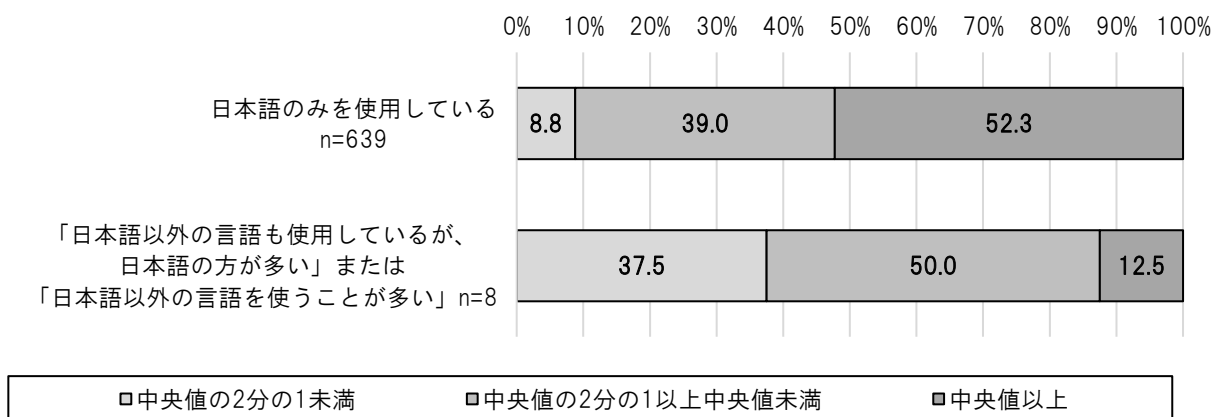


(8)家庭での使用言語別・等価世帯収入別・保護者[中学生] (問 24. 世帯全体の年間収入)

世帯全体の年間収入について、家庭での使用言語別・等価世帯収入別にみると、中学生では、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」の割合が、「日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い」または「日本語以外の言語を使うことが多い」場合は 15.6%となっており、「日本語のみを使用している」場合（8.1%）と比較して高くなっています。



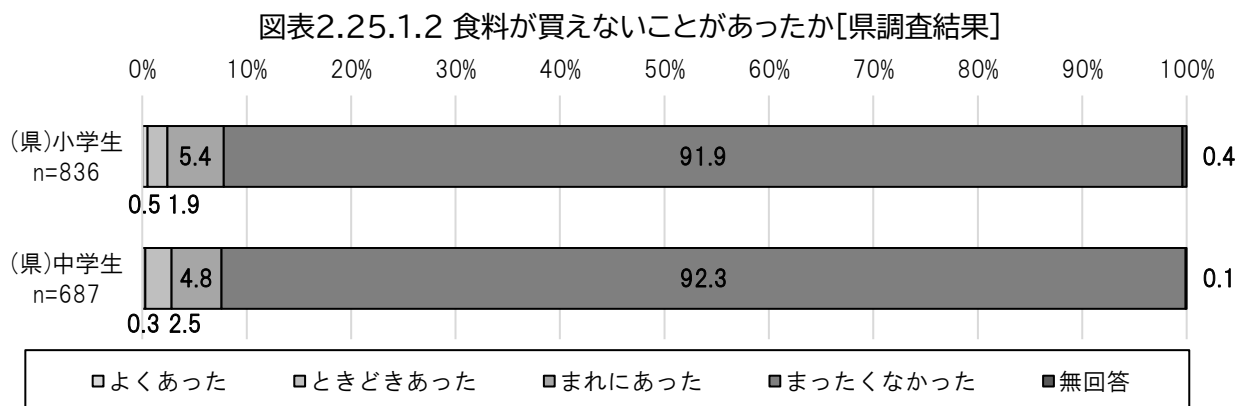
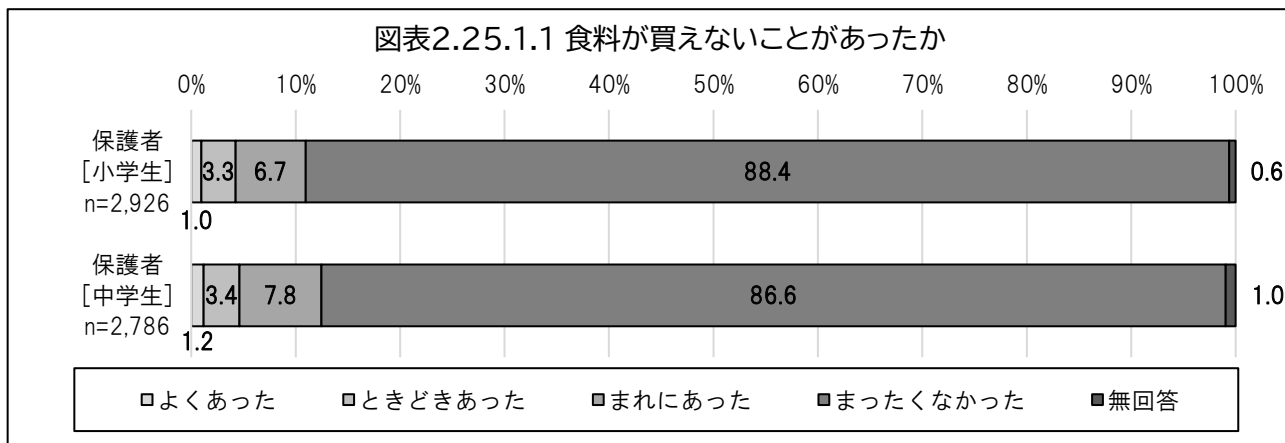
図表2.24.8.2 言語使用状況別・等価世帯収入の水準(中学生)[県調査結果]



問25. あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品(しこうひん)は含みません。

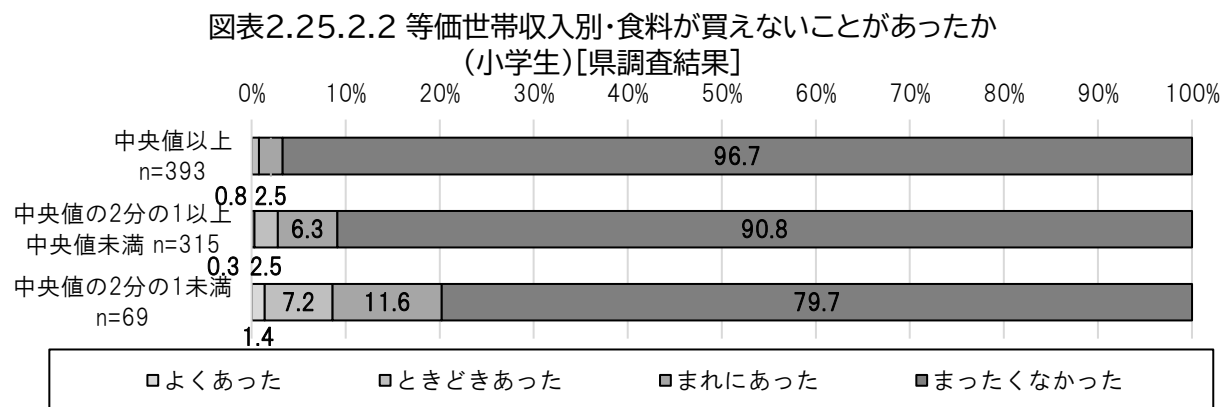
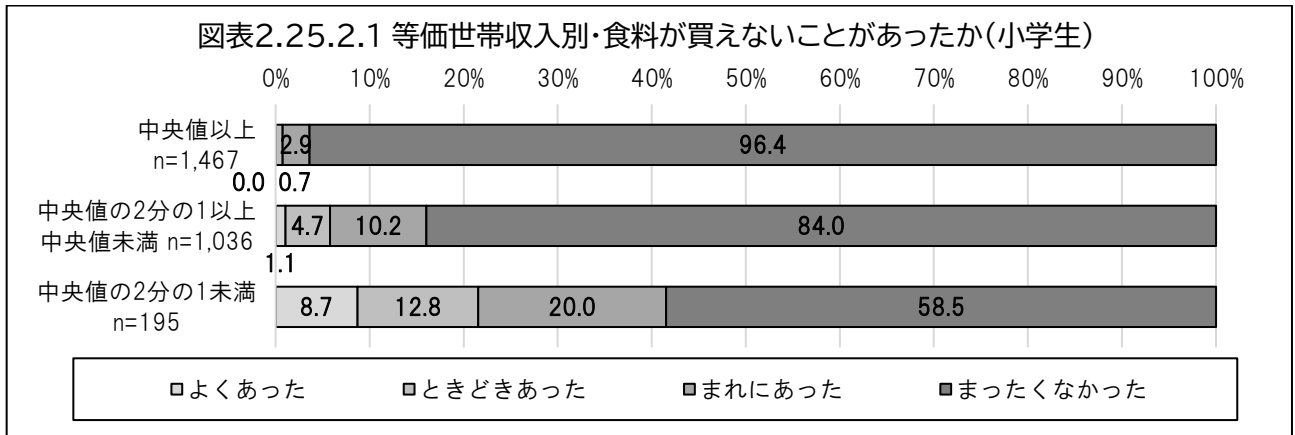
(1)全体

食料が買えないことがあったかについて、「よくあった」「ときどきあった」「まれにあった」の合計は、小学生が11.0%、中学生が12.4%となっています。また小学生(11.0%)、中学生(12.4%)ともに、県調査(7.8%、7.6%)と比較して高くなっています。



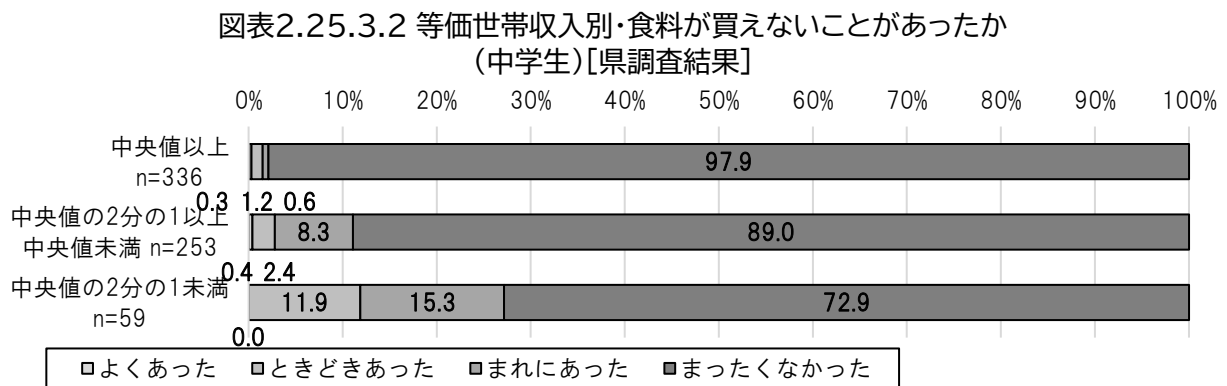
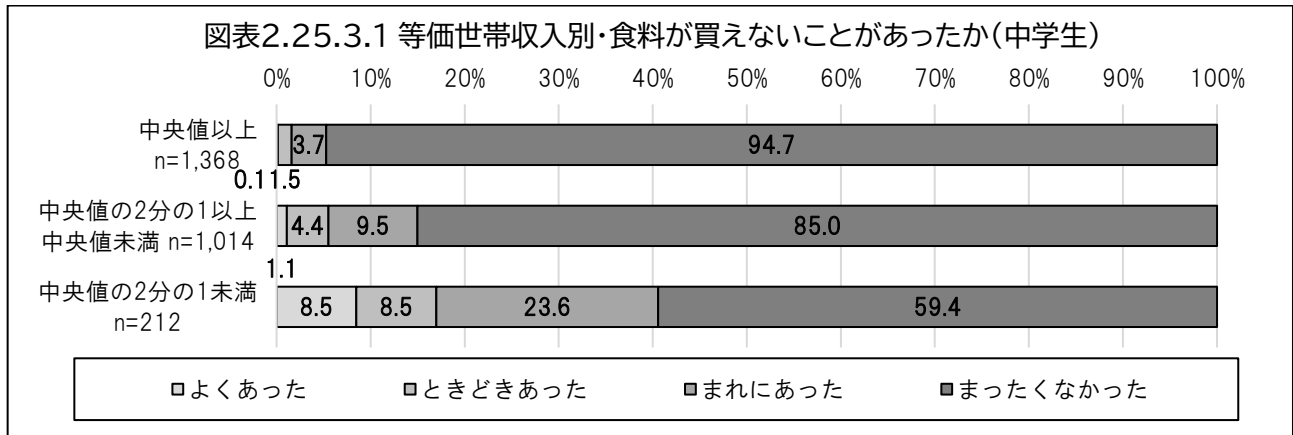
(2)等価世帯収入別・保護者[小学生] (問 25. 食料が買えないことがあったか)

食料が買えないことがあったかについて、等価世帯収入別にみると、小学生では、「よくあった」「ときどきあった」「まれにあった」の合計は、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では41.5%で、全体（11.0%）と比較して30.5%高くなっています。また、県調査（20.2%）と比較して高くなっています。



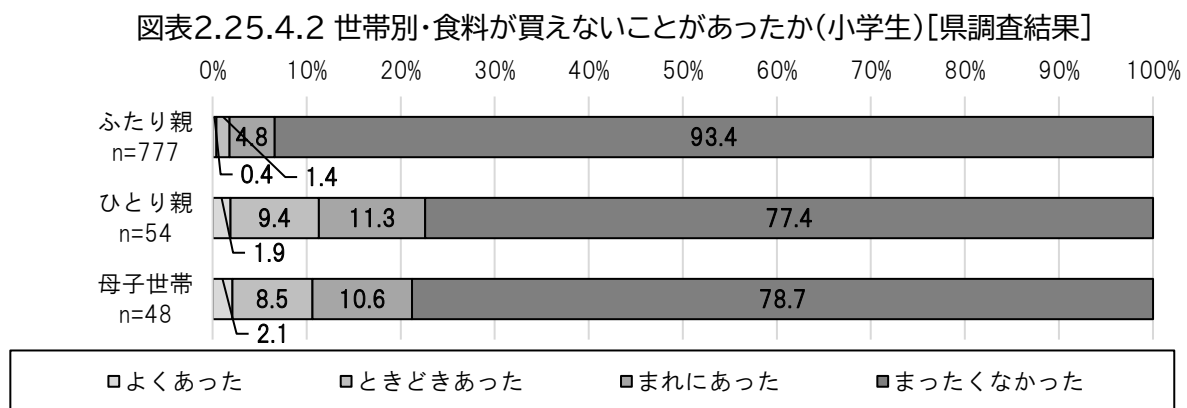
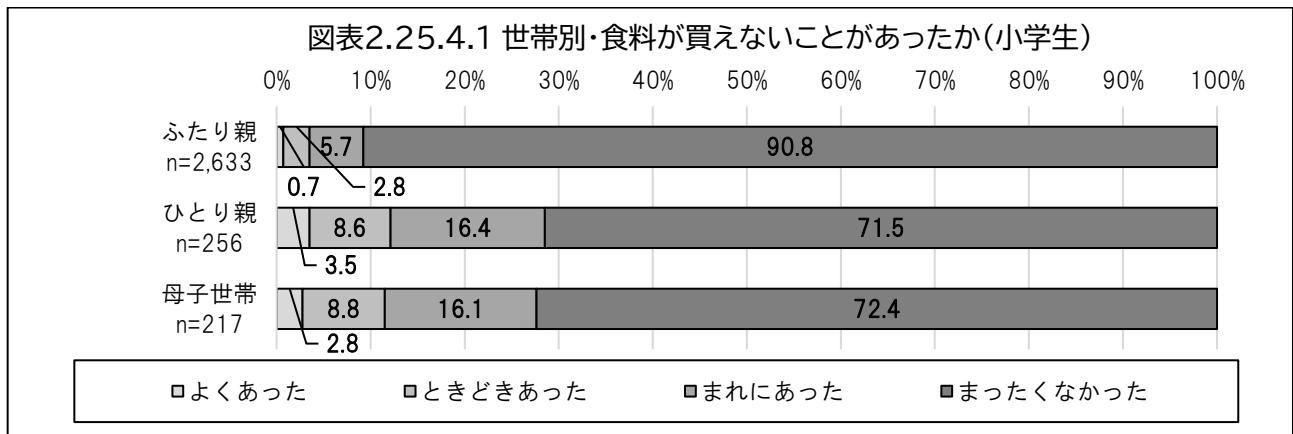
(3)等価世帯収入別・保護者[中学生] (問 25. 食料が買えないことがあったか)

食料が買えないことがあったかについて、等価世帯収入別にみると、中学生では、「よくあった」「ときどきあった」「まれにあった」の合計は、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では40.6%で、全体（12.4%）と比較して28.2%高くなっています。また県調査（27.2%）と比較して高くなっています。



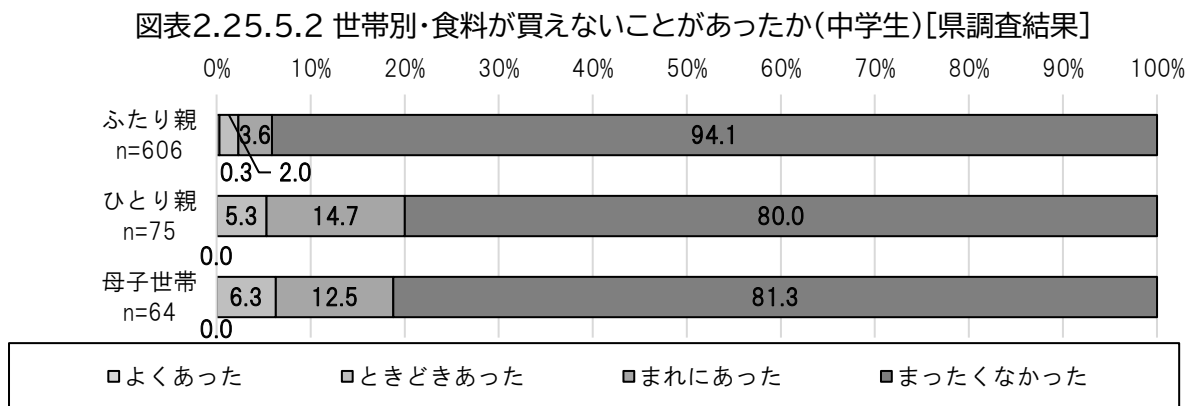
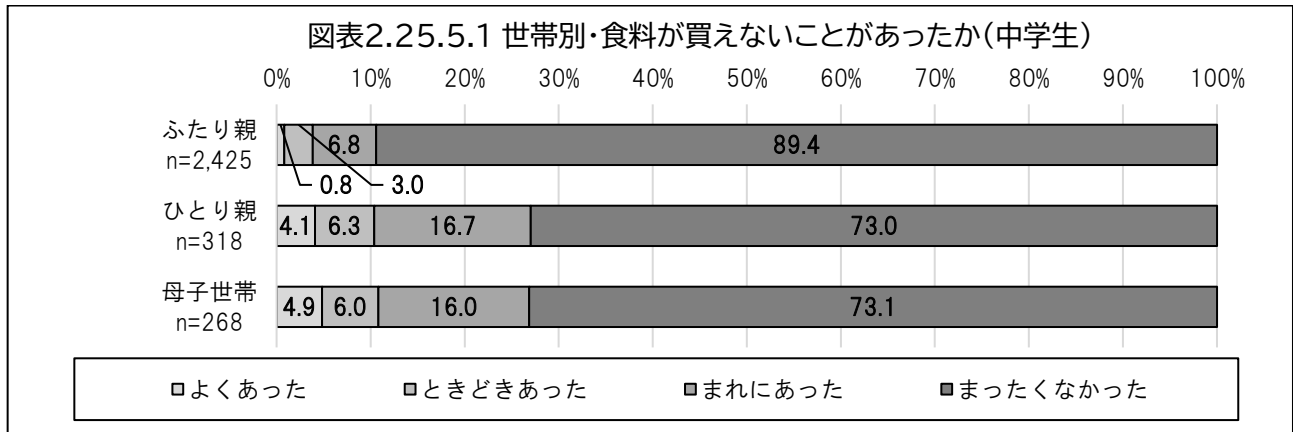
(4)世帯別・保護者[小学生] (問 25. 食料が買えないことがあったか)

食料が買えないことがあったかについて、世帯別にみると、小学生では、「よくあった」「ときどきあった」「まれにあった」の合計は、ひとり親世帯では 28.5%、母子世帯では 27.7%で、全体（11.0%）と比較して、それぞれ 17.5 ㊦、16.7 ㊦高くなっています。また、ひとり親世帯、母子世帯ともに、県調査（22.6%、21.2%）と比較して高くなっています。



(5)世帯別・保護者[中学生] (問 25. 食料が買えないことがあったか)

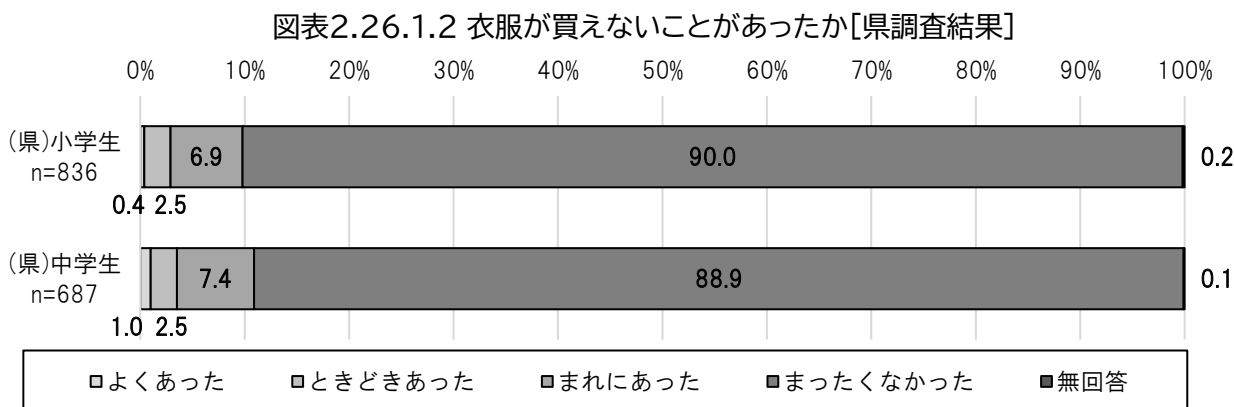
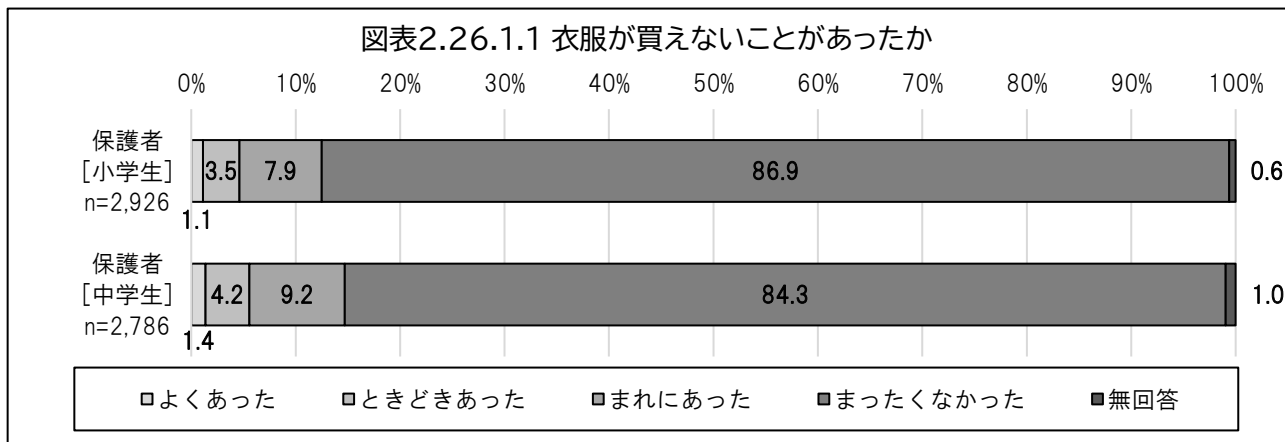
食料が買えないことがあったかについて、世帯別にみると、中学生では、「よくあった」「ときどきあった」「まれにあった」の合計は、ひとり親世帯では 27.1%、母子世帯では 26.9%で、全体（12.4%）と比較して、それぞれ 14.7 ㊦、14.5 ㊦高くなっています。また、ひとり親世帯、母子世帯ともに、県調査（20.0%、18.8%）と比較して高くなっています。



問26. あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属(ききんぞく)・宝飾品(ほうしょくひん)は含みません。

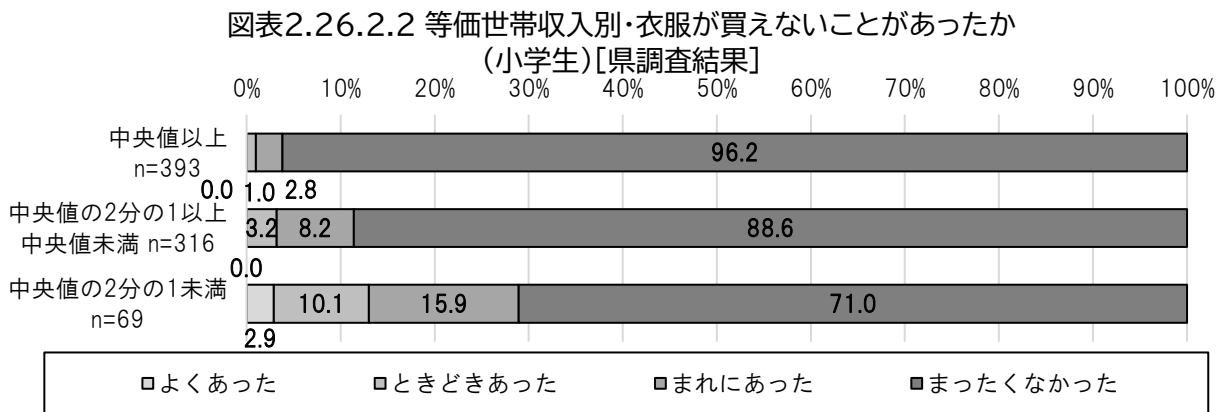
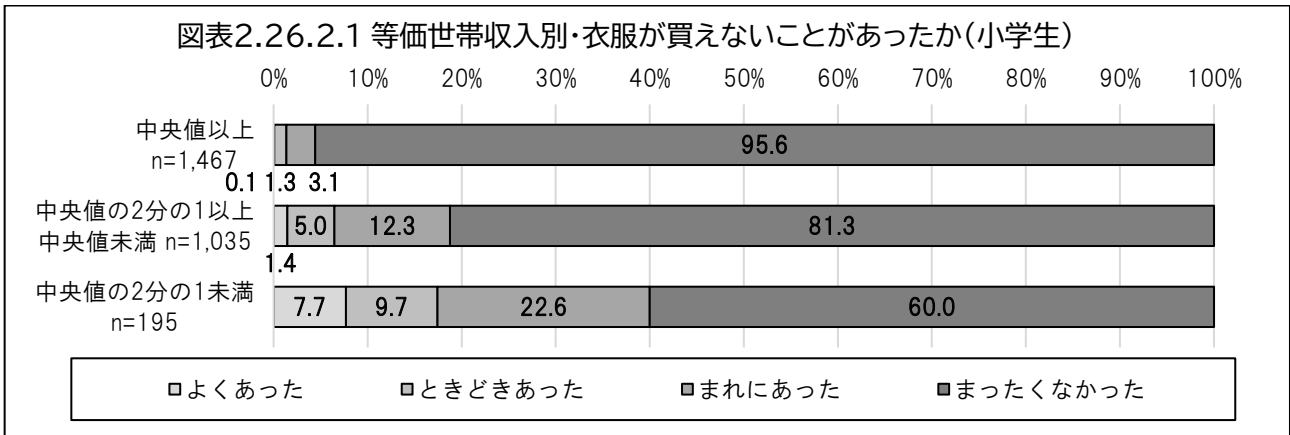
(1)全体

衣服が買えないことがあったかについて、「よくあった」「ときどきあった」「まれにあった」の合計は、小学生が12.5%、中学生が14.8%となっています。また小学生(12.5%)、中学生(14.8%)ともに、県調査(9.8%、10.9%)と比較して高くなっています。



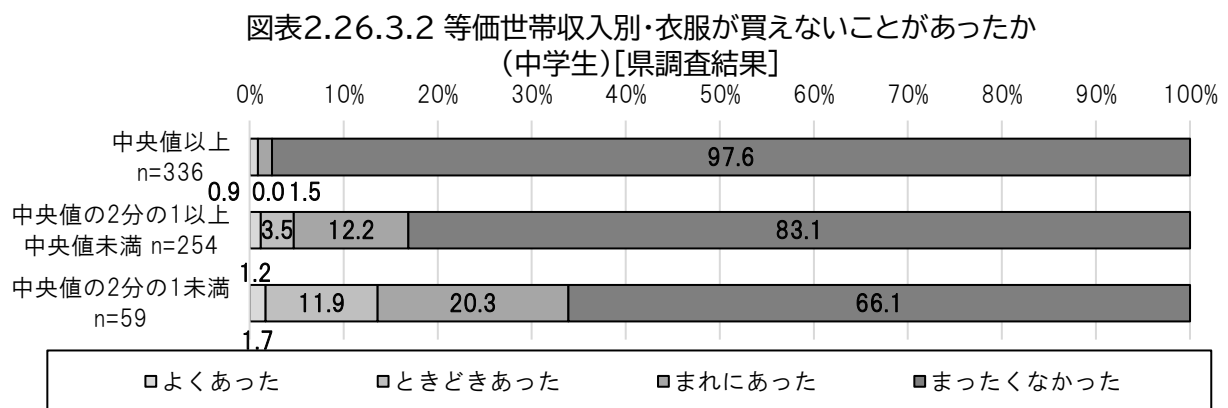
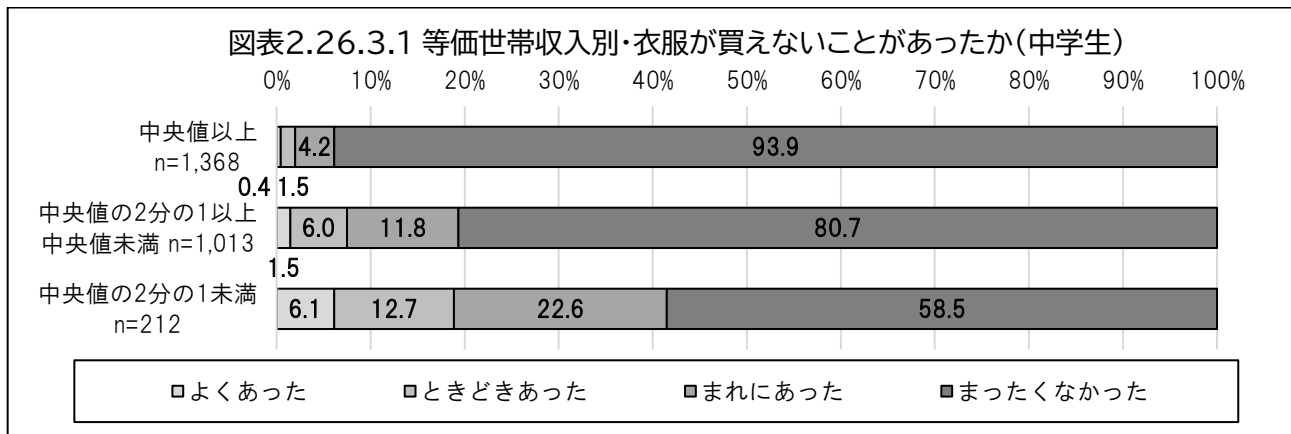
(2)等価世帯収入別・保護者[小学生] (問 26. 衣服が買えないことがあったか)

衣服が買えないことがあったかについて、等価世帯収入別にみると、小学生では、「よくあった」「ときどきあった」「まれにあった」の合計は、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では40.0%で、全体（12.5%）と比較して27.5%高くなっています。また県調査（28.9%）と比較して高くなっています。



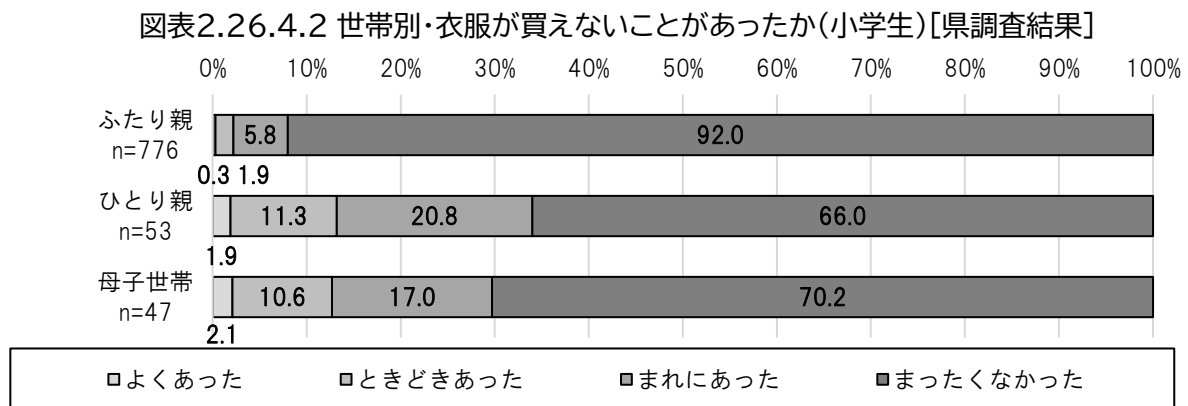
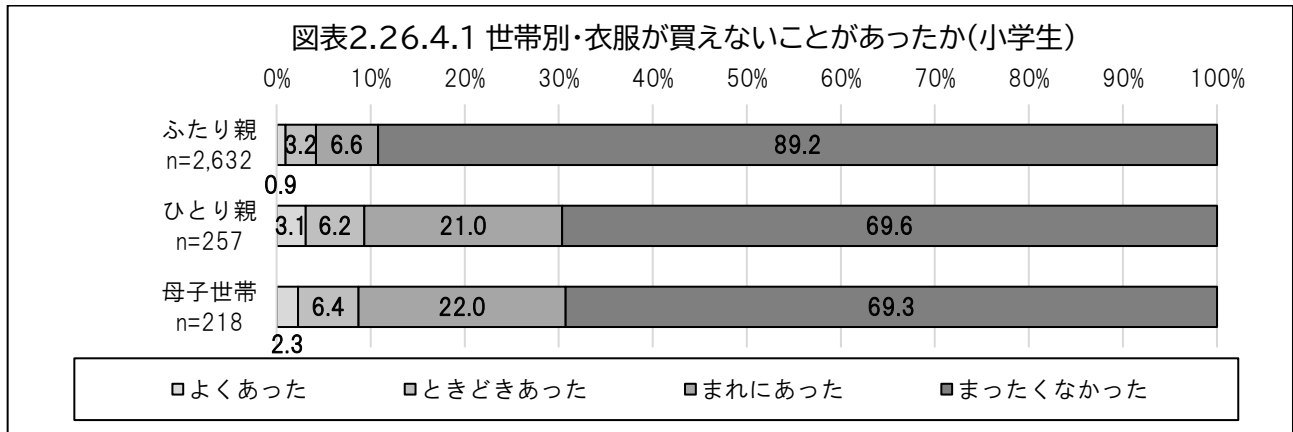
(3)等価世帯収入別・保護者[中学生] (問 26. 衣服が買えないことがあったか)

衣服が買えないことがあったかについて、等価世帯収入別にみると、中学生では、「よくあった」「ときどきあった」「まれにあった」の合計は、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では41.4%で、全体（14.8%）と比較して26.6%高くなっています。また県調査（33.9%）と比較して高くなっています。



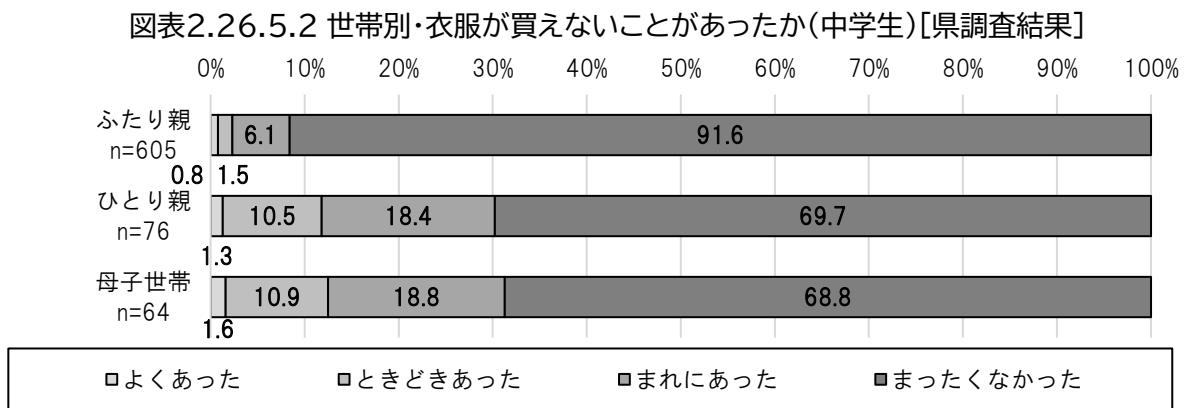
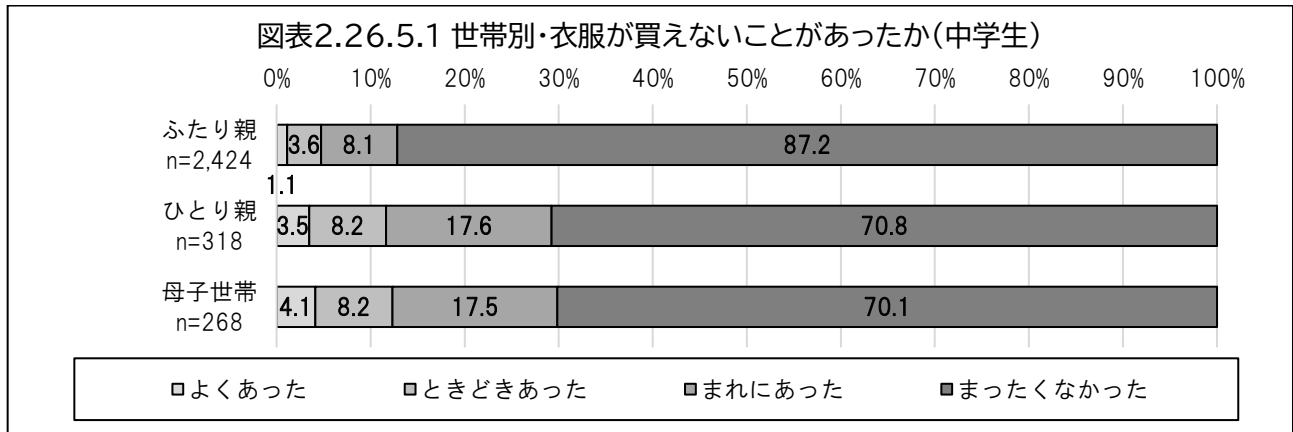
(4)世帯別・保護者[小学生] (問 26. 衣服が買えないことがあったか)

衣服が買えないことがあったかについて、世帯別にみると、小学生では、「よくあった」「ときどきあった」「まれにあった」の合計は、ひとり親世帯では30.3%、母子世帯では30.7%で、全体(12.5%)と比較して、それぞれ17.8%、18.2%高くなっています。また、ひとり親世帯、母子世帯ともに、県調査(34.0%、29.7%)と比較して大きな違いはありませんでした。



(5)世帯別・保護者[中学生] (問 26. 衣服が買えないことがあったか)

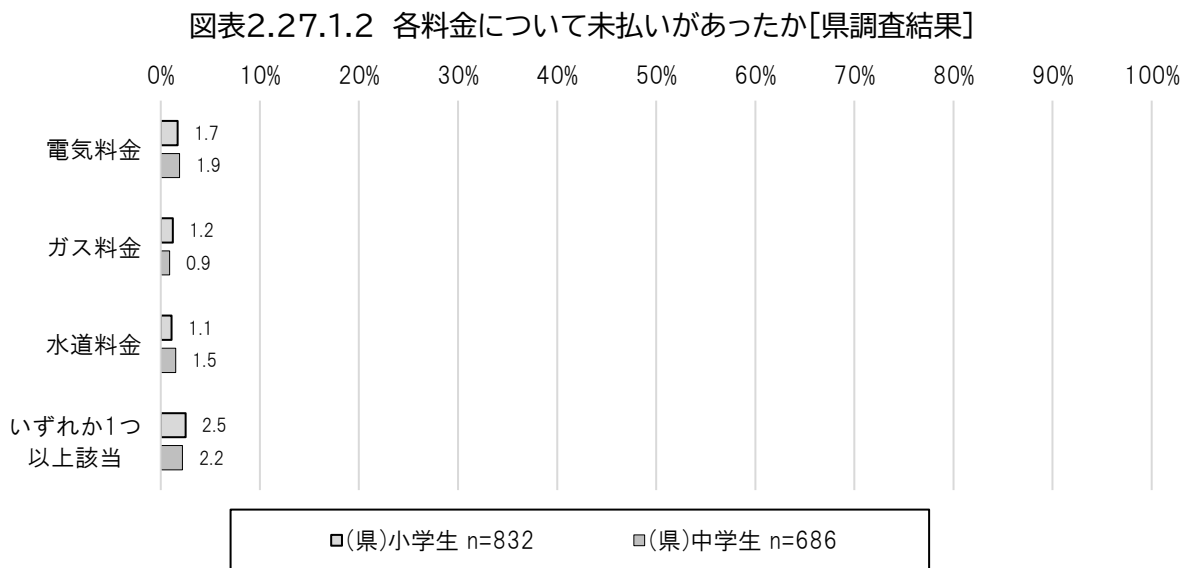
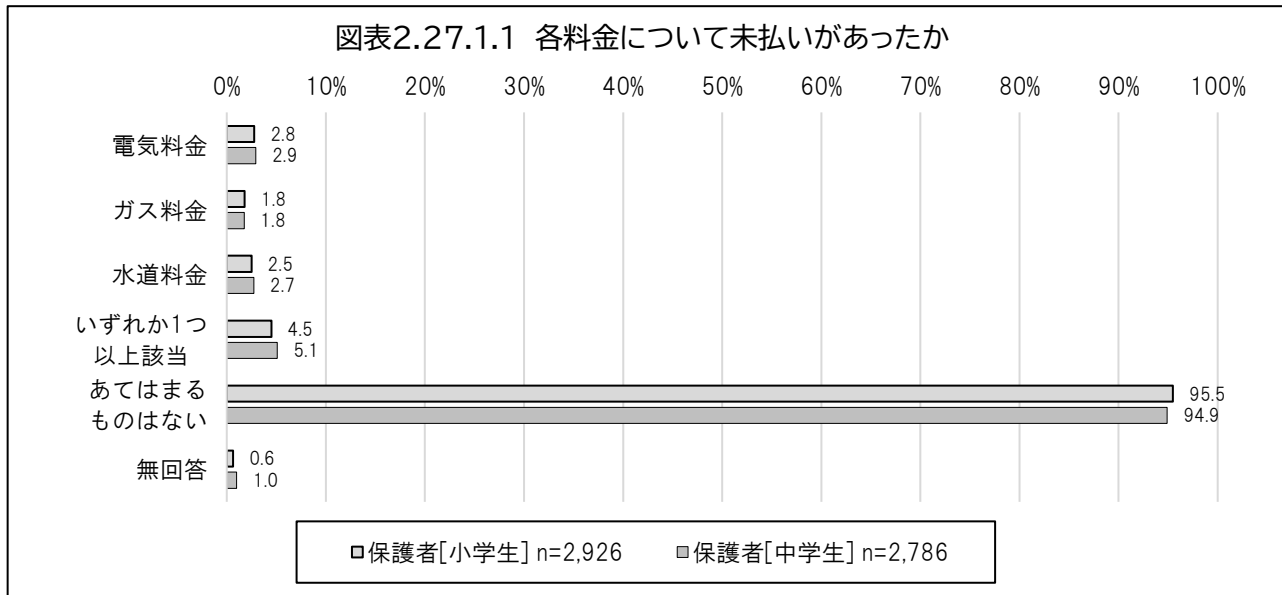
衣服が買えないことがあったかについて、世帯別にみると、中学生では、「よくあった」「ときどきあった」「まれにあった」の合計は、ひとり親世帯では29.3%、母子世帯では29.8%で、全体(14.8%)と比較して、それぞれ14.5%、15.0%高くなっています。また、県調査(30.2%、31.3%)と比較してひとり親世帯、母子世帯ともに大きな違いはありませんでした。



問27. あなたの世帯では、過去1年の間に、次の料金について、経済的な理由で未払いになったことがありましたか。

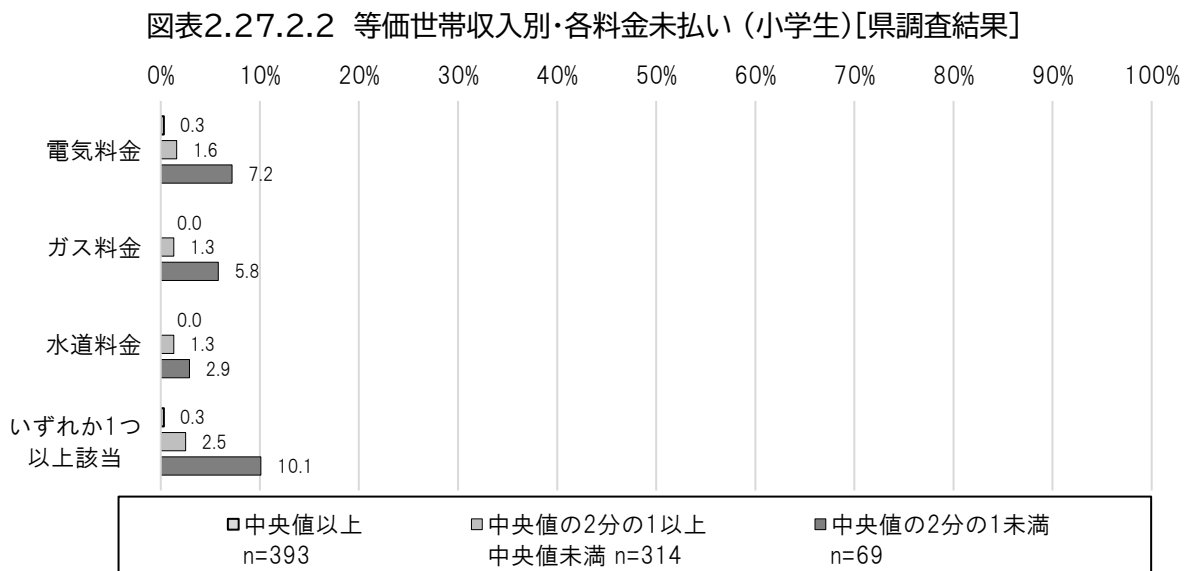
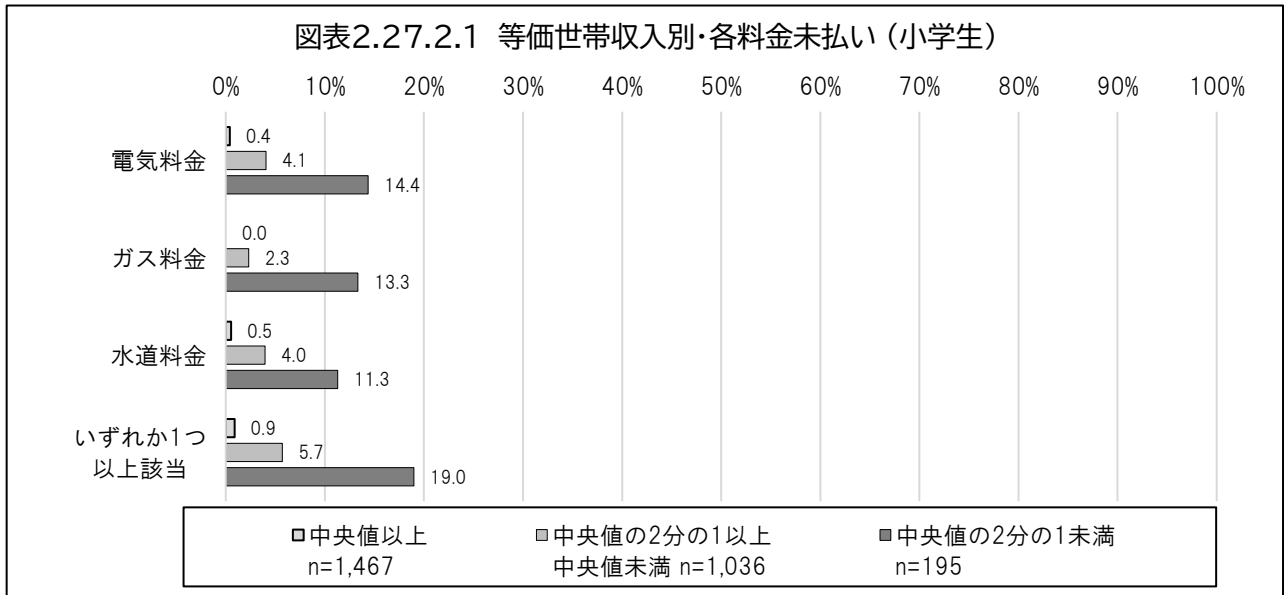
(1)全体

各料金について未払いがあったかについて、小学生・中学生ともに「いずれか1つ以上該当」が4.5%、5.1%となっており、県調査（2.5%、2.2%）と比較して高くなっています。



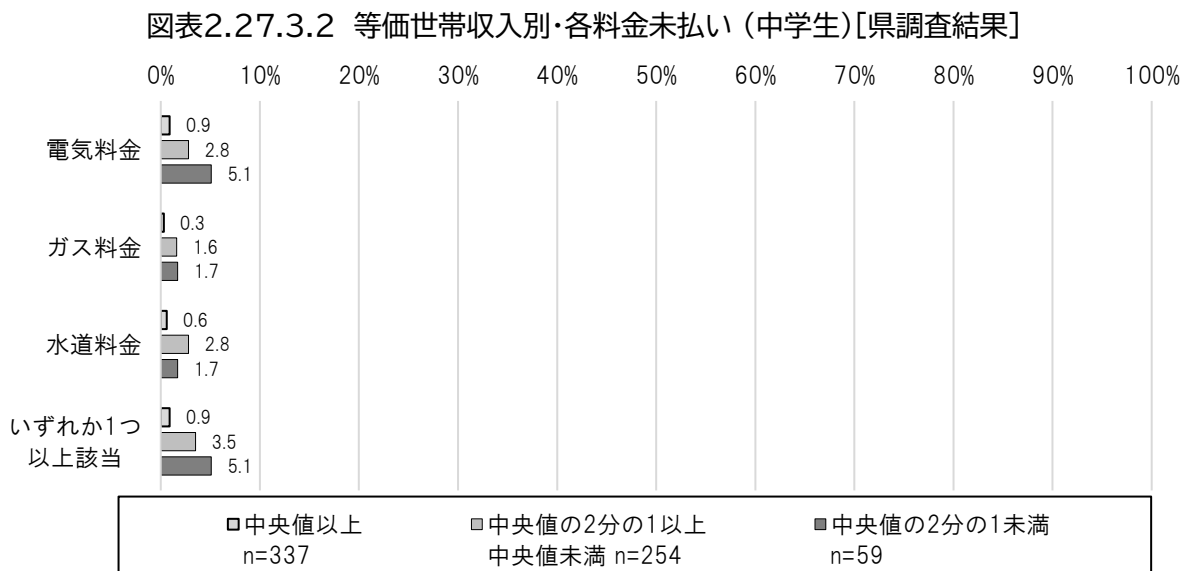
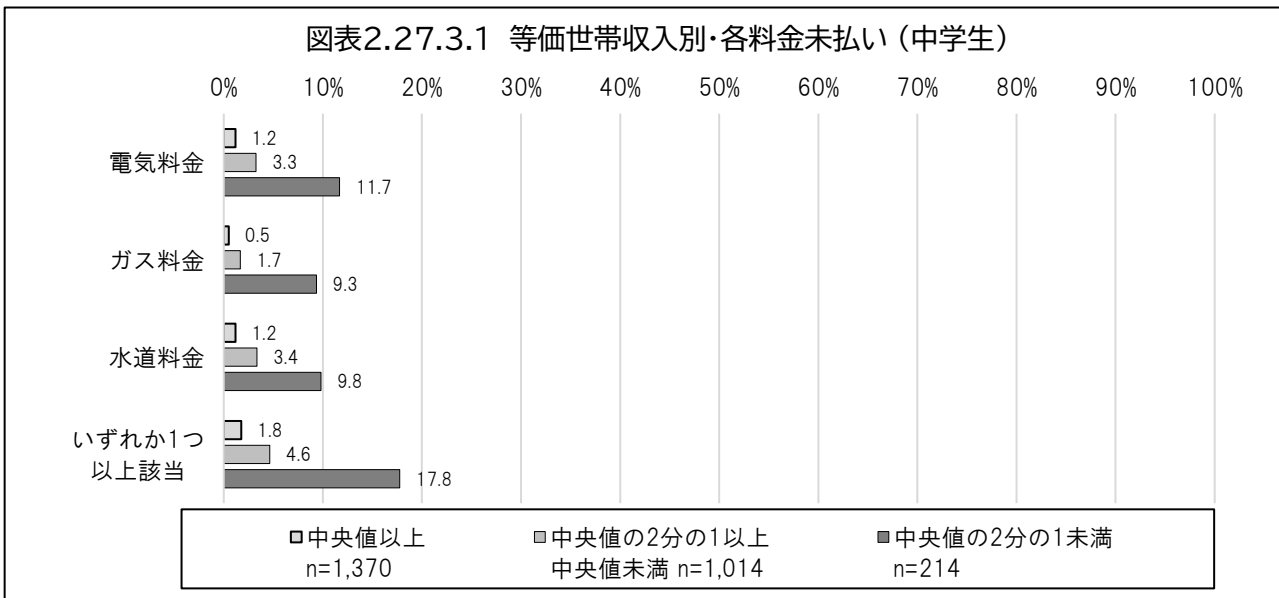
(2)等価世帯収入別・保護者[小学生] (問 27. 各料金について未払いがあったか)

各料金について未払いがあったかについて、等価世帯収入別にみると、小学生では、「いずれか1つ以上該当」が、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」で19.0%となっており、全体（4.5%）と比較して14.5%高くなっています。また、県調査（10.1%）と比較して高くなっています。



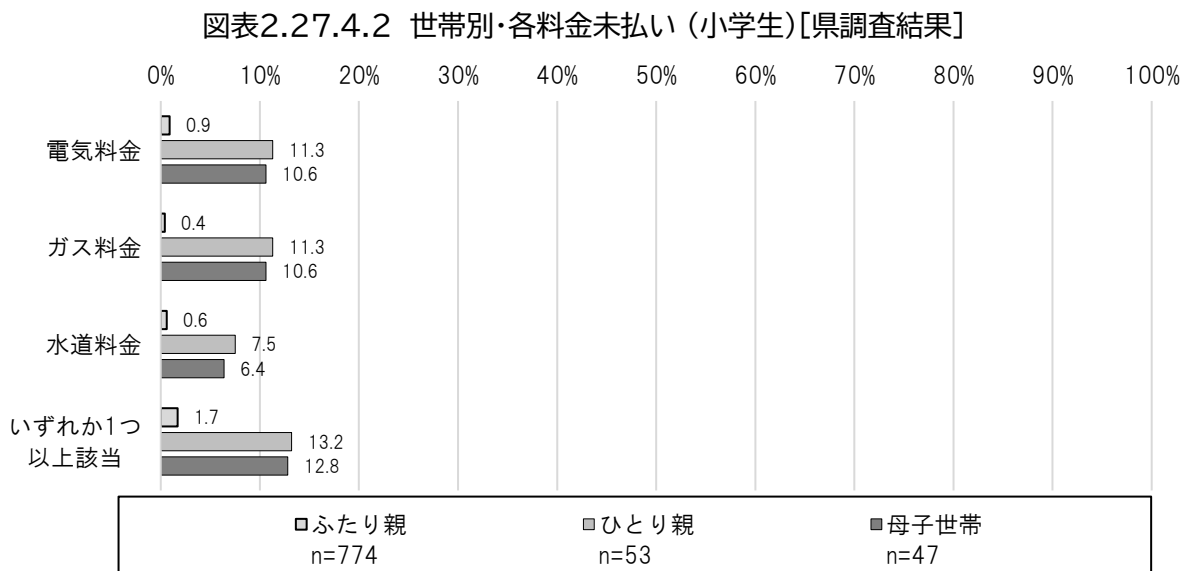
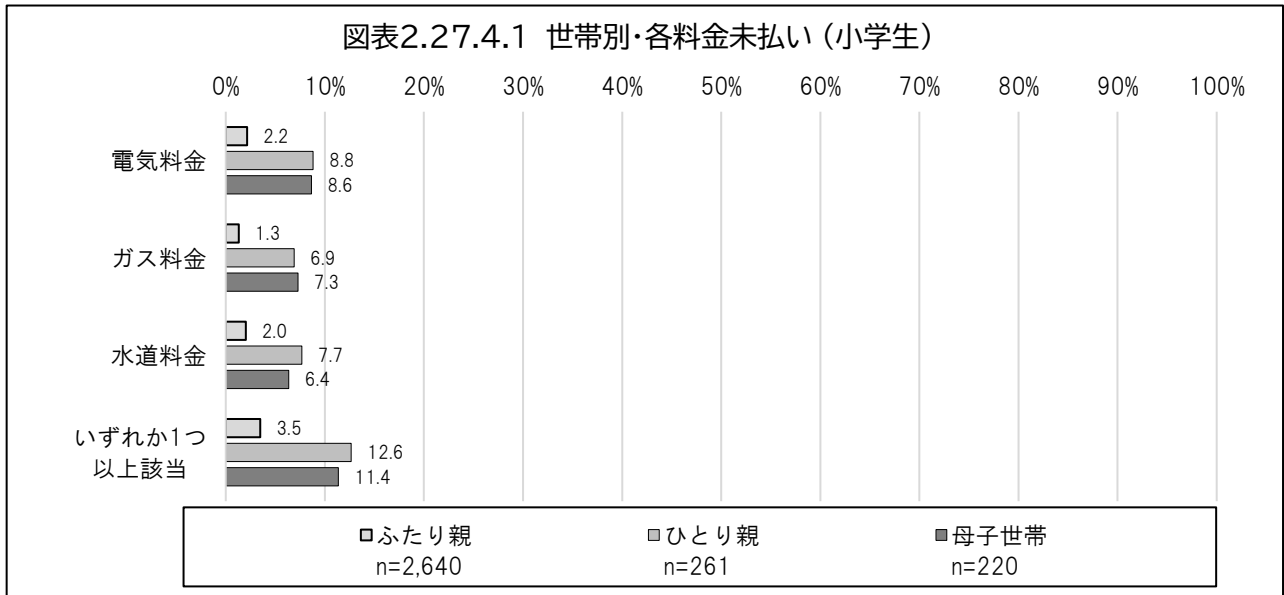
(3)等価世帯収入別・保護者[中学生] (問 27. 各料金について未払いがあったか)

各料金について未払いがあったかについて、等価世帯収入別にみると、中学生では、「いずれか1つ以上該当」が、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」で17.8%となっており、全体（5.1%）と比較して12.7^{ポイント}高くなっています。また、県調査（5.1%）と比較して高くなっています。



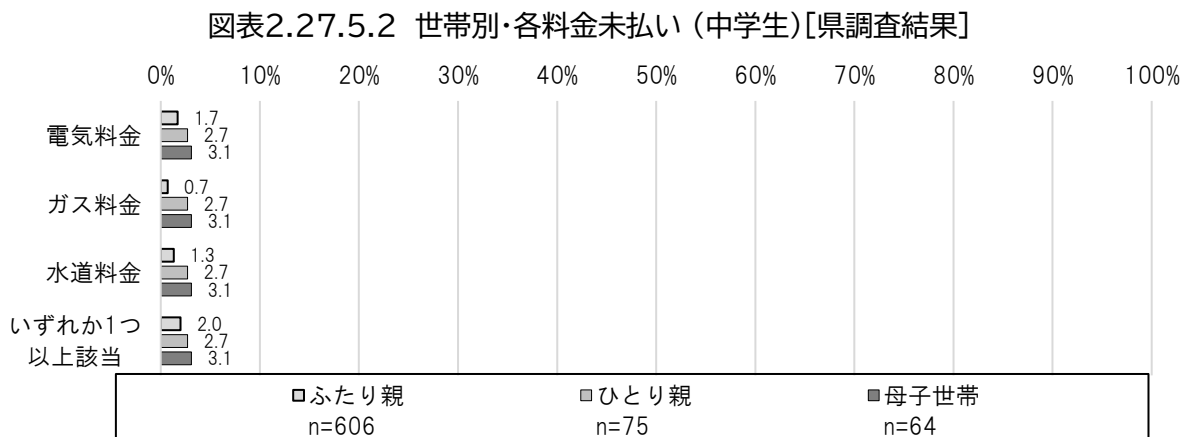
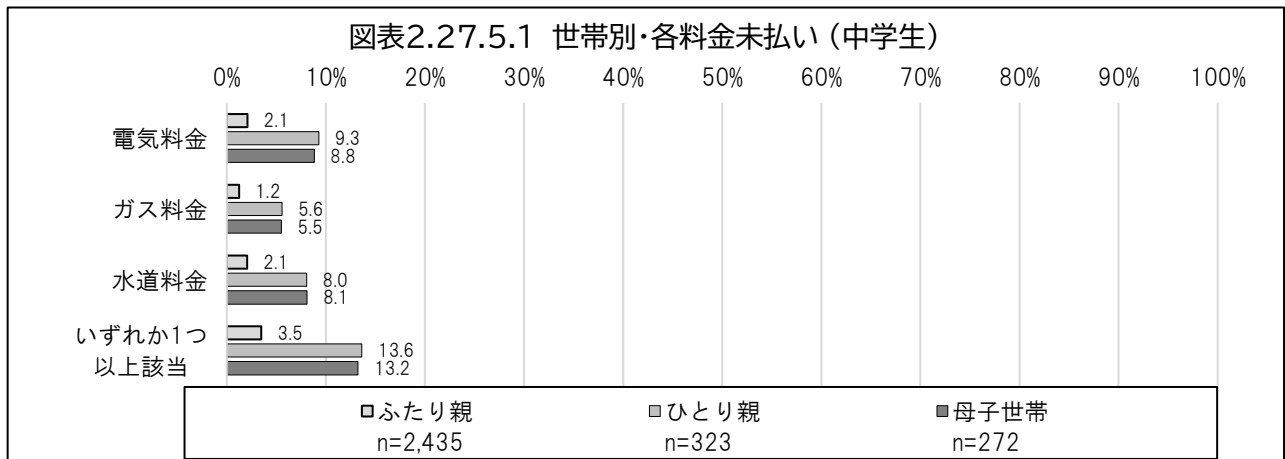
(4)世帯別・保護者[小学生] (問 27. 各料金について未払いがあったか)

各料金について未払いがあったかについて、世帯別にみると、小学生では、「いずれか1つ以上該当」が、ひとり親世帯で 12.6%、母子世帯で 11.4%となっており、全体（4.5%）と比較して、それぞれ 8.1 ㊦、6.9 ㊦高くなっています。また、県調査（13.2%、12.8%）と比較して大きな違いはありませんでした。



(5)世帯別・保護者[中学生] (問 27. 各料金について未払いがあったか)

各料金について未払いがあったかについて、世帯別にみると、中学生では、「いずれか1つ以上該当」が、ひとり親世帯で 13.6%、母子世帯で 13.2%となっており、全体 (5.1%) と比較して、それぞれ 8.5 ㊦、8.1 ㊦高くなっています。また、県調査 (2.7%、3.1%) と比較して高くなっています。

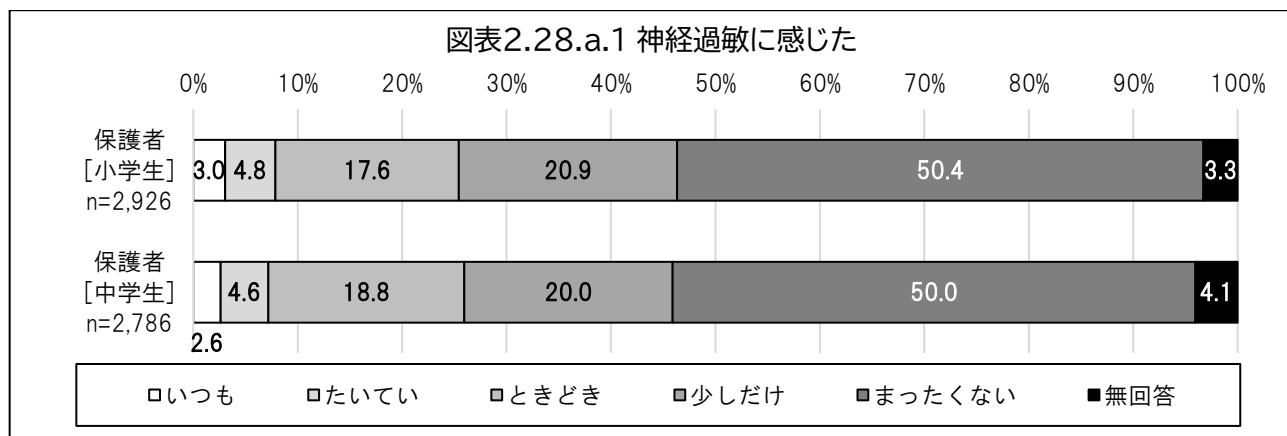


問28. 次のa)~f)の質問について、この1か月間のあなたの気持ちはどのようでしたか。

a) 神経過敏に感じた

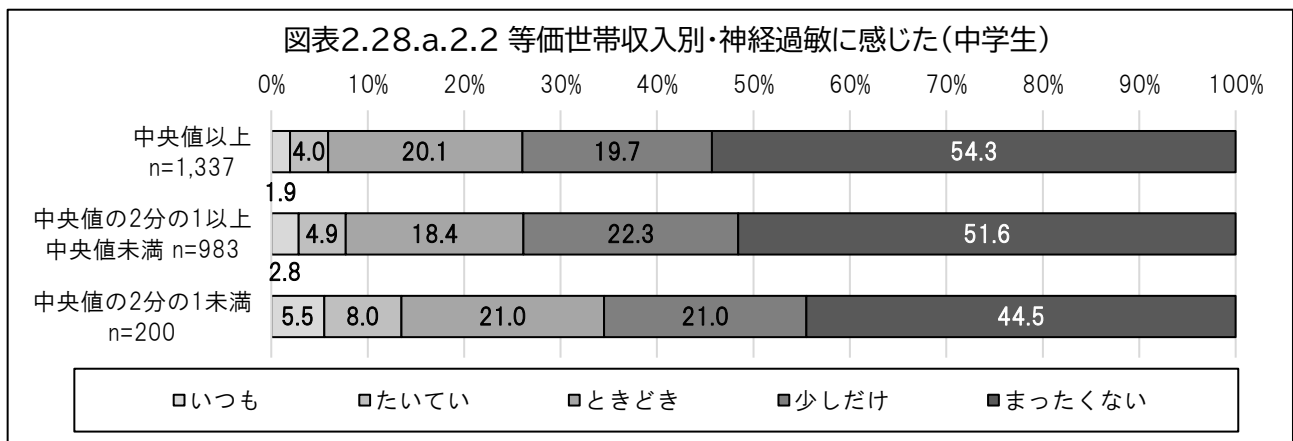
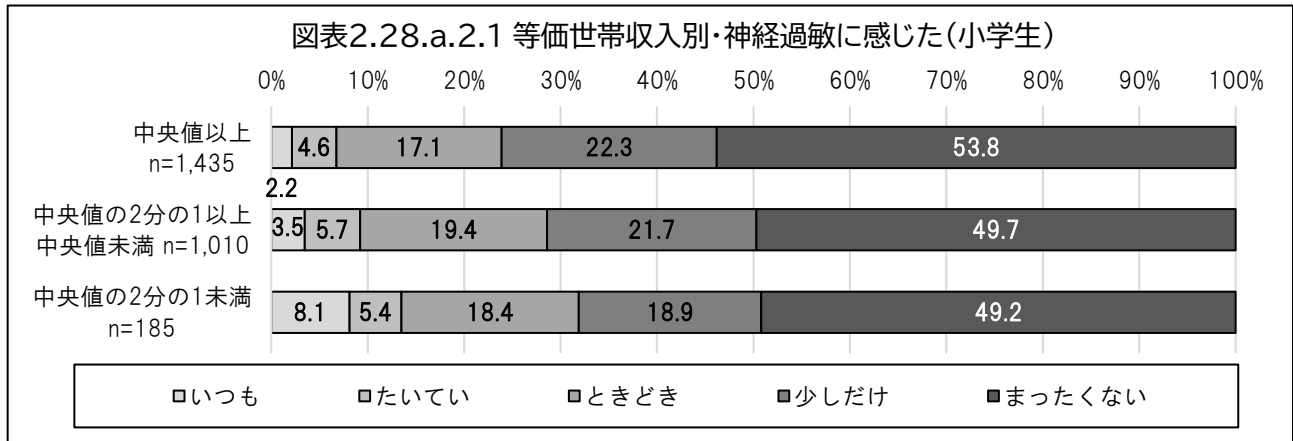
(1)全体

この1ヶ月間に神経過敏に感じたかについて、小学生・中学生ともに「まったくない」が50.4%、50.0%と最も高くなっています。また、「いつも」「たいてい」の合計は、小学生では7.8%、中学生では7.2%となっています。



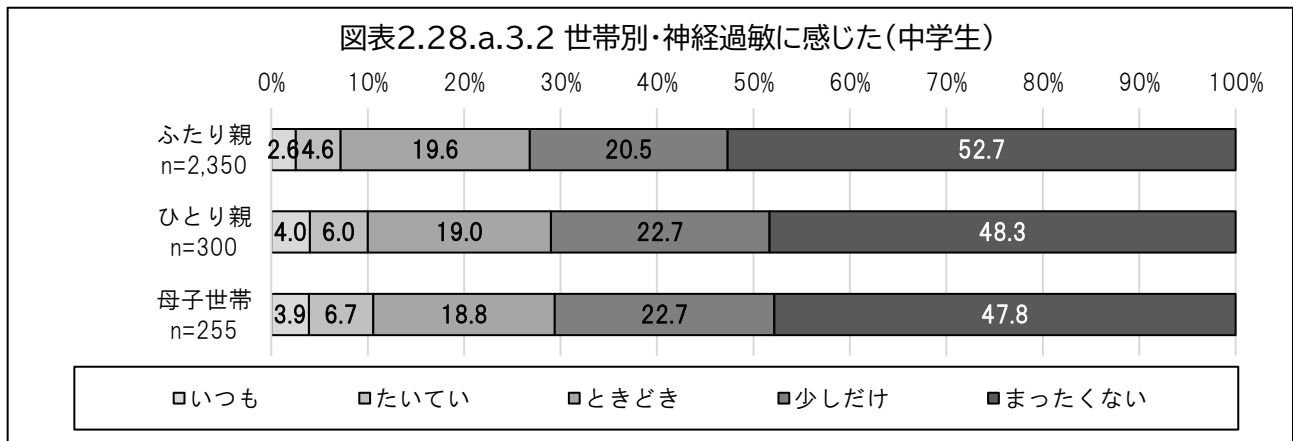
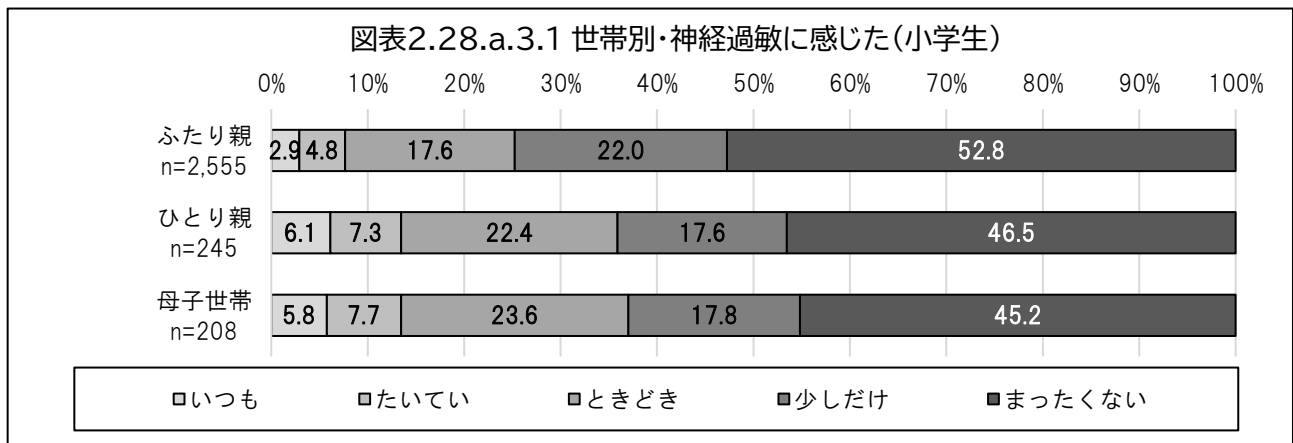
(2)等価世帯収入別（問 28.a 神経過敏に感じた）

この1ヶ月間に神経過敏に感じたかについて、等価世帯収入別にみると、「いつも」「たいてい」の合計は、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では、小学生・中学生ともに13.5%となっています。全体（7.8%、7.2%）と比較すると小学生では5.7%、中学生では6.3%高くなっています。



(3)世帯別（問 28.a 神経過敏に感じた）

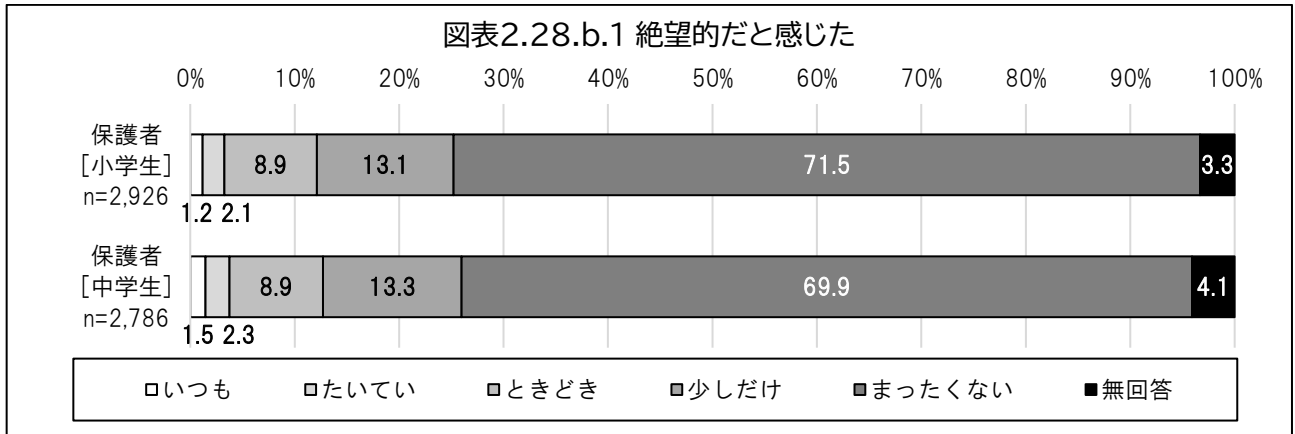
この1ヶ月間に神経過敏に感じたかについて、世帯別にみると、小学生では、「いつも」「たいてい」の合計は、ひとり親世帯では13.4%、母子世帯では13.5%となっています。全体（7.8%）と比較すると、ひとり親世帯では5.6%、母子世帯では5.7%高くなっています。中学生では、「いつも」「たいてい」の合計は、ひとり親世帯では10.0%、母子世帯では10.6%となっています。全体（7.2%）と比較すると、ひとり親世帯では2.8%、母子世帯では3.4%高くなっています。



b) 絶望的だと感じた

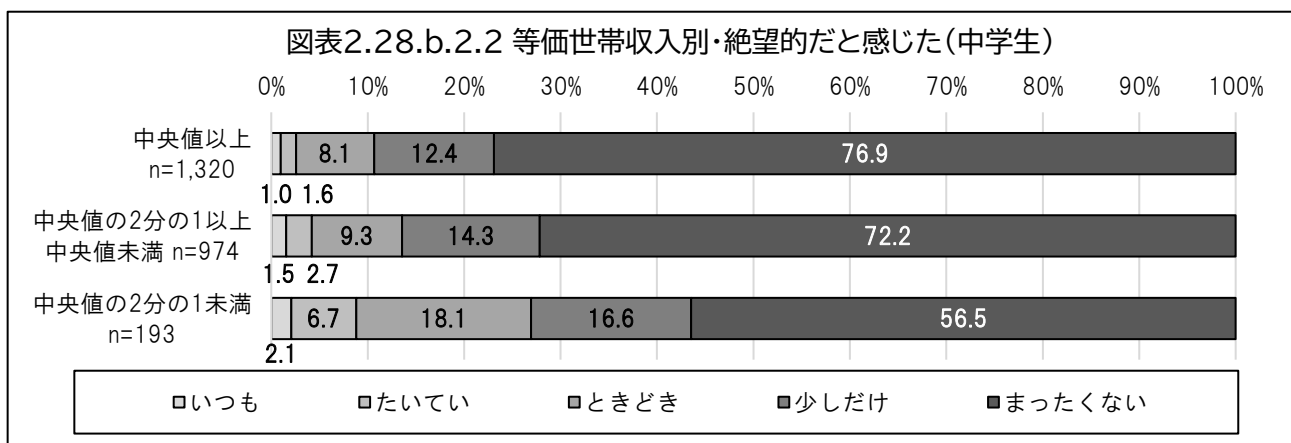
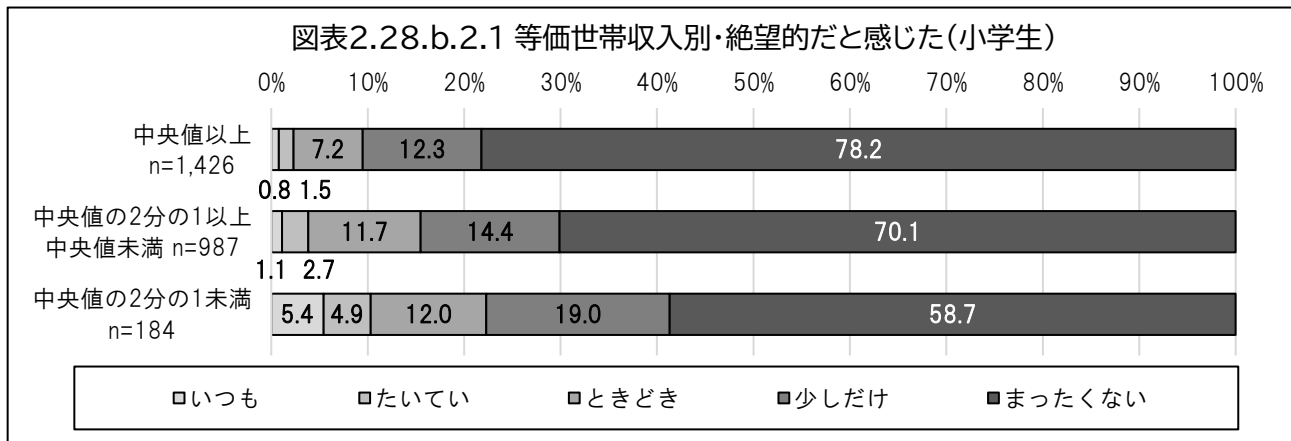
(1)全体

この1ヶ月間に絶望的だと感じたかについて、小学生・中学生ともに、「まったくない」が71.5%、69.9%と最も高くなっています。また、「いつも」「たいてい」の合計は、小学生では3.3%、中学生では3.8%となっています。



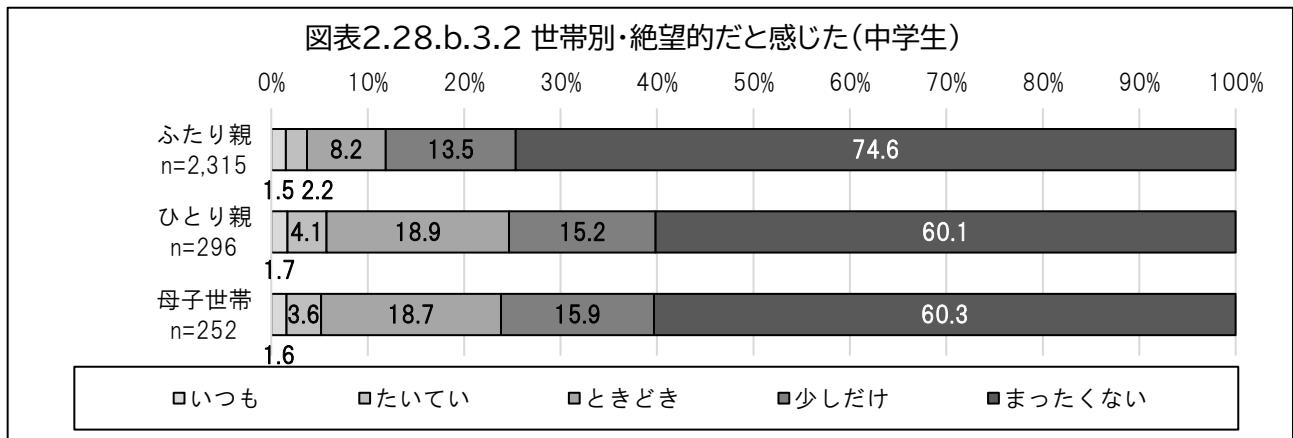
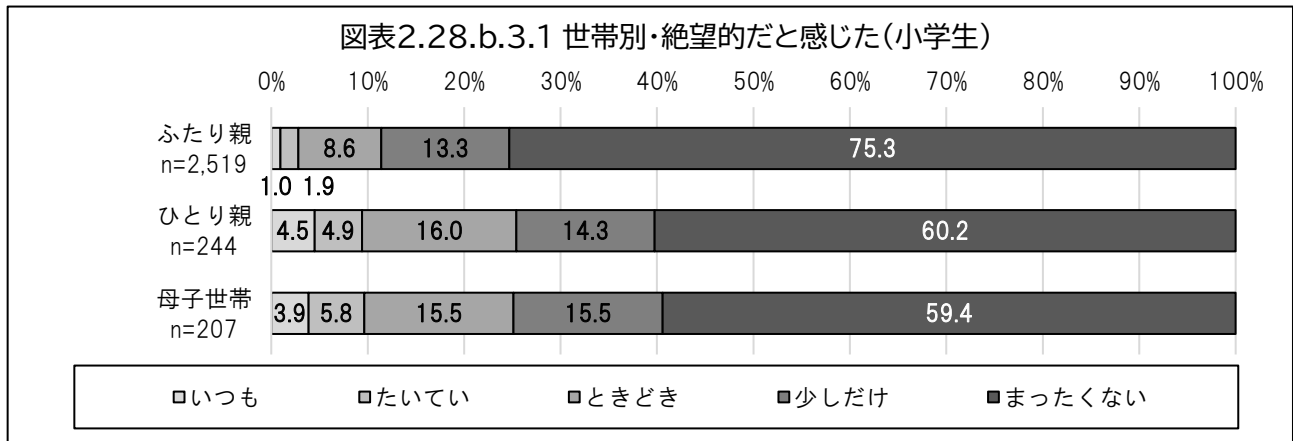
(2)等価世帯収入別（問 28.b 絶望的だと感じた）

この1ヶ月間に絶望的だと感じたかについて、等価世帯収入別にみると、小学生では、「いつも」「たいてい」の合計は、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では、小学生 10.3%、中学生 8.8%となっています。全体（3.3%、3.8%）と比較すると、小学生では7.0%、中学生では5.0%高くなっています。



(3)世帯別 (問 28. b 絶望的だと感じた)

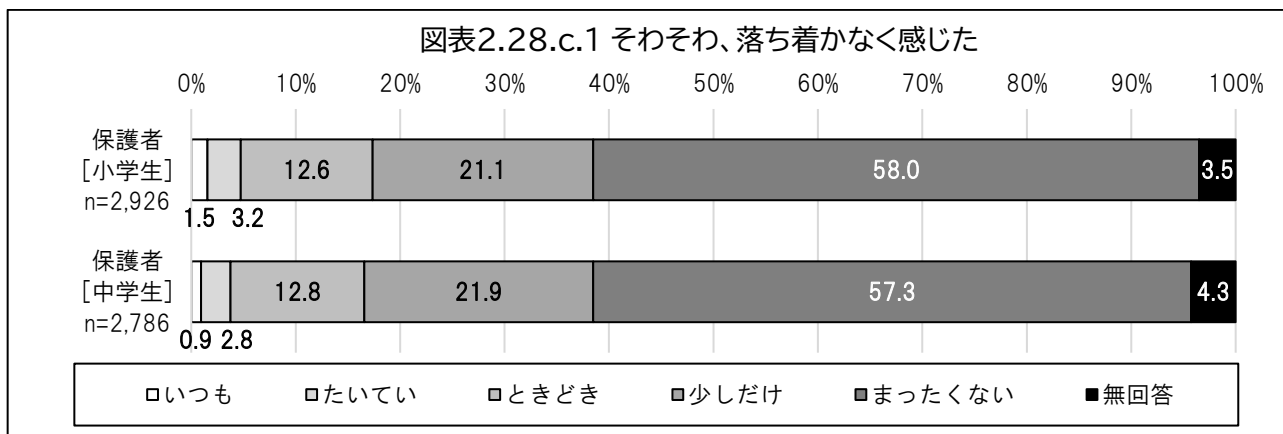
この1ヶ月間に絶望的だと感じたかについて、世帯別にみると、小学生では、「いつも」「たいてい」の合計は、ひとり親世帯では9.4%、母子世帯では9.7%となっています。全体(3.3%)と比較すると、ひとり親世帯では6.1^{ポイント}、母子世帯では6.4^{ポイント}高くなっています。中学生では、「いつも」「たいてい」の合計は、ひとり親世帯では5.8%、母子世帯では5.2%となっています。全体(3.8%)と比較すると、ひとり親世帯では2.0^{ポイント}、母子世帯では1.4^{ポイント}高くなっています。



c) そわそわ、落ち着かなく感じた

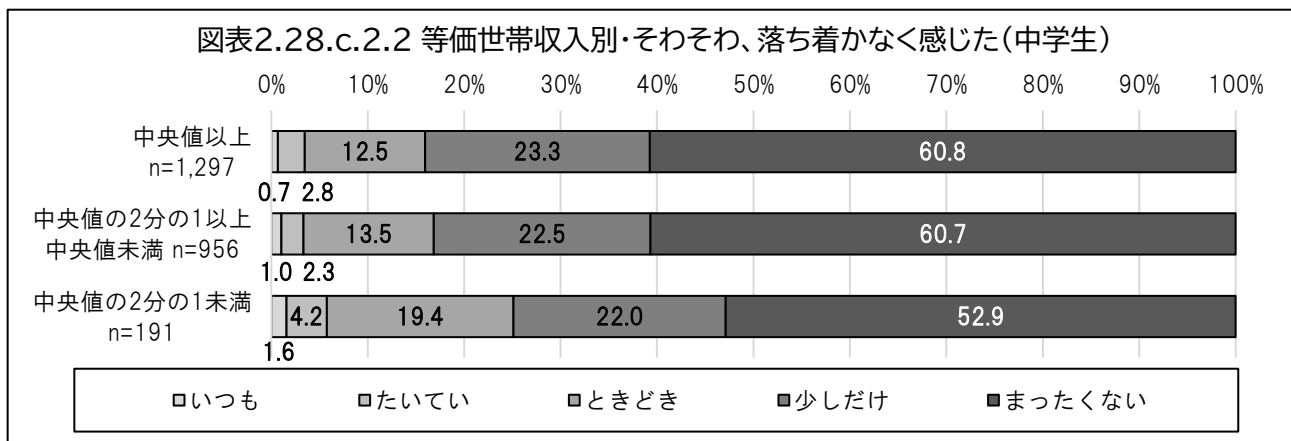
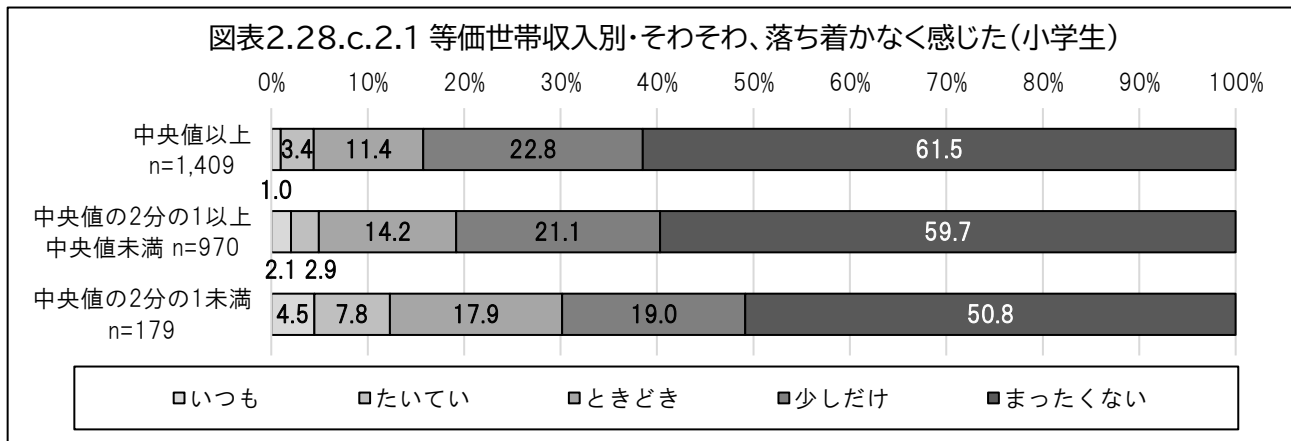
(1)全体

この1ヶ月間に落ち着かなく感じたかについて、小学生・中学生ともに、「まったくない」が58.0%、57.3%と最も高くなっています。また、「いつも」「たいてい」の合計は、小学生では4.7%、中学生では3.7%となっています。



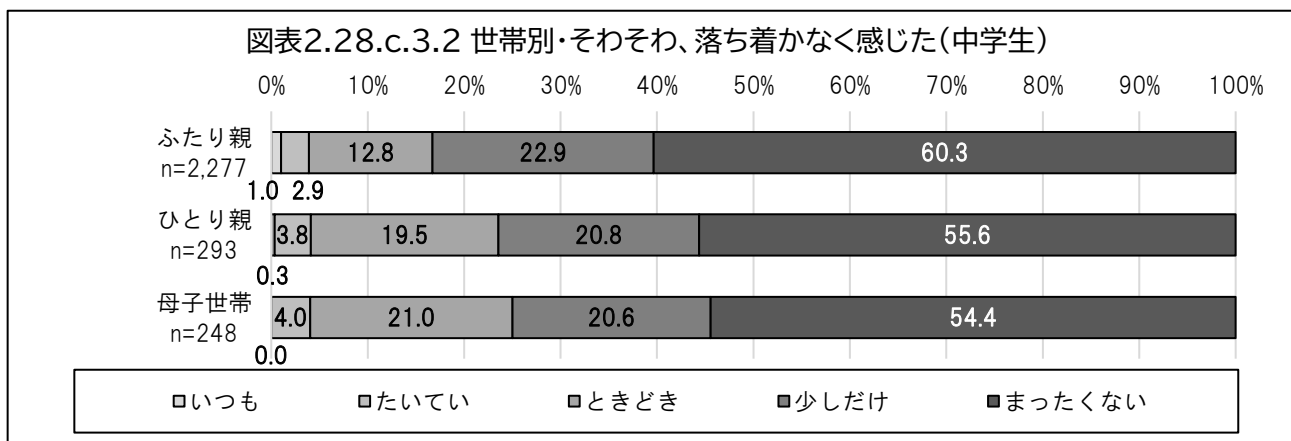
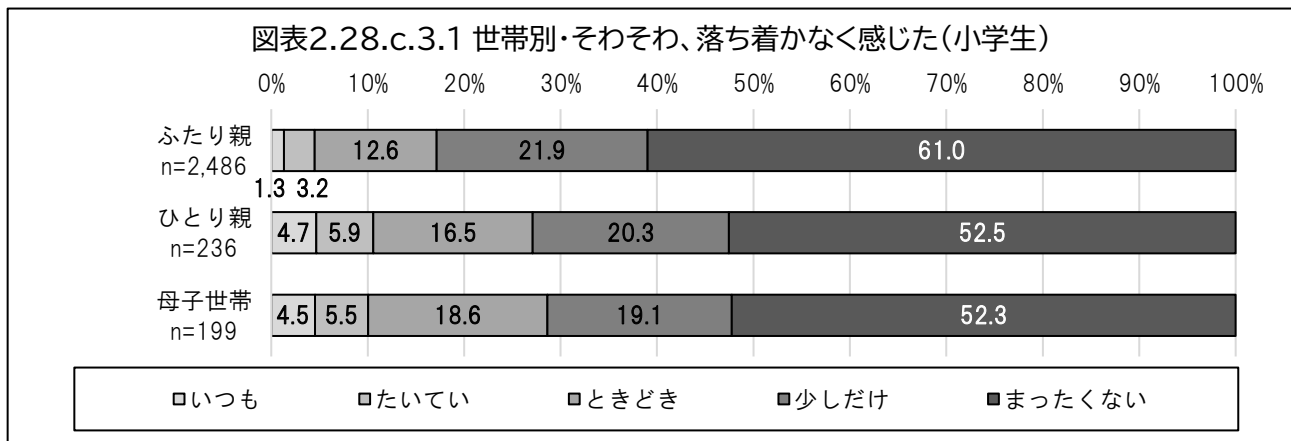
(2)等価世帯収入別（問 28. c そわそわ、落ち着かなく感じた）

この1ヶ月間に落ち着かなく感じたかについて、等価世帯収入別にみると、小学生では、「いつも」「たいてい」の合計は、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では、小学生 12.3%、中学生 5.8%となっています。全体（4.7%、3.7%）と比較すると、小学生では7.6%、中学生では2.1%高くなっています。



(3)世帯別（問 28. c そわそわ、落ち着かなく感じた）

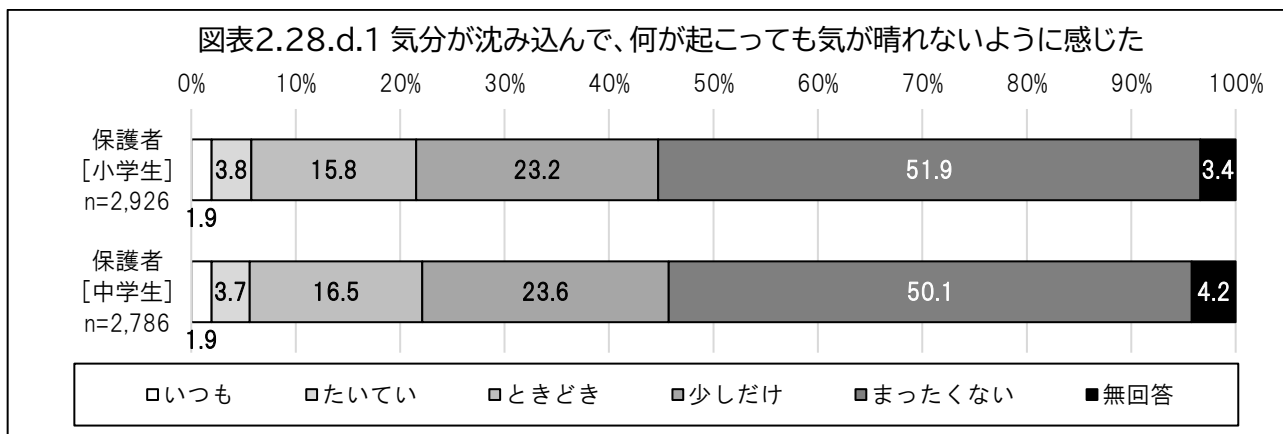
この1ヶ月間に落ち着かなく感じたかについて、世帯別にみると、小学生では、「いつも」「たいてい」の合計は、ひとり親世帯では10.6%、母子世帯では10.0%となっています。全体（4.7%）と比較すると、ひとり親世帯では5.9^{ポイント}、母子世帯では5.3^{ポイント}高くなっています。中学生では、「いつも」「たいてい」の合計は、ひとり親世帯では4.1%、母子世帯では4.0%となっています。全体（3.7%）と比較すると、ほとんど差はありませんでした。



d) 気分が沈み込んで、何が起ころしても気が晴れないように感じた

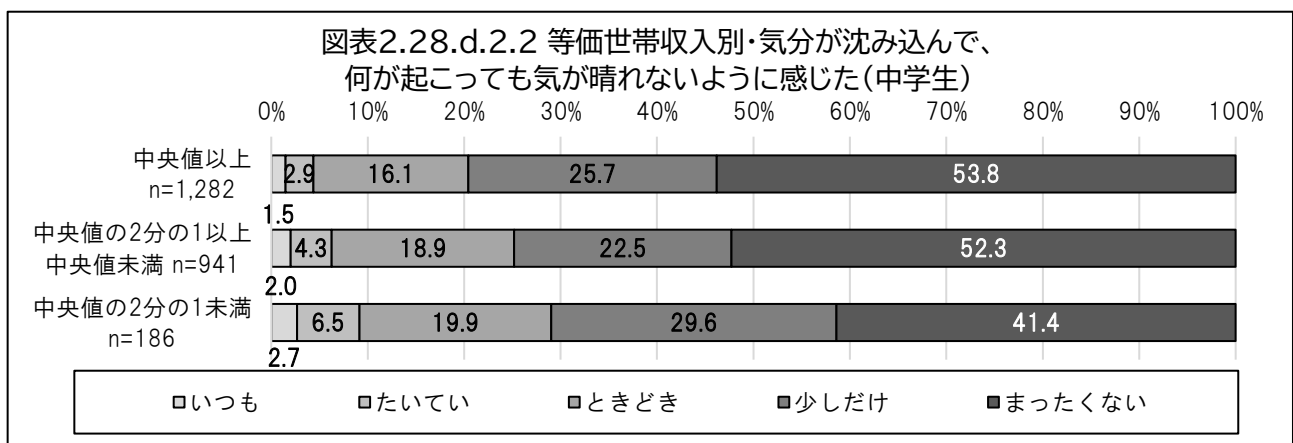
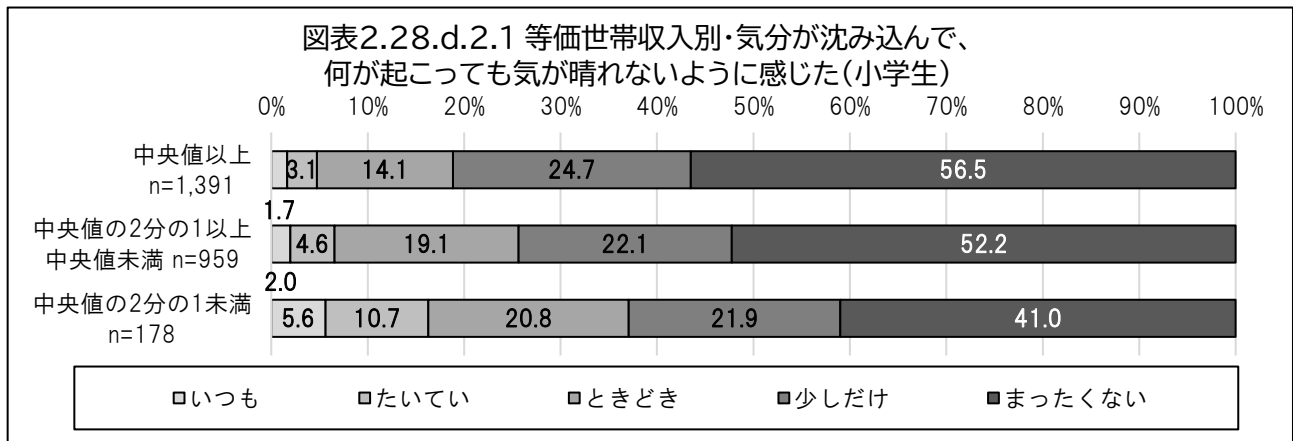
(1)全体

この1ヶ月間に落ち着かなく感じたかについて、小学生・中学生ともに、「まったくない」が51.9%、50.1%と最も高くなっています。また、「いつも」「たいてい」の合計は、小学生では5.7%、中学生では5.6%となっています。



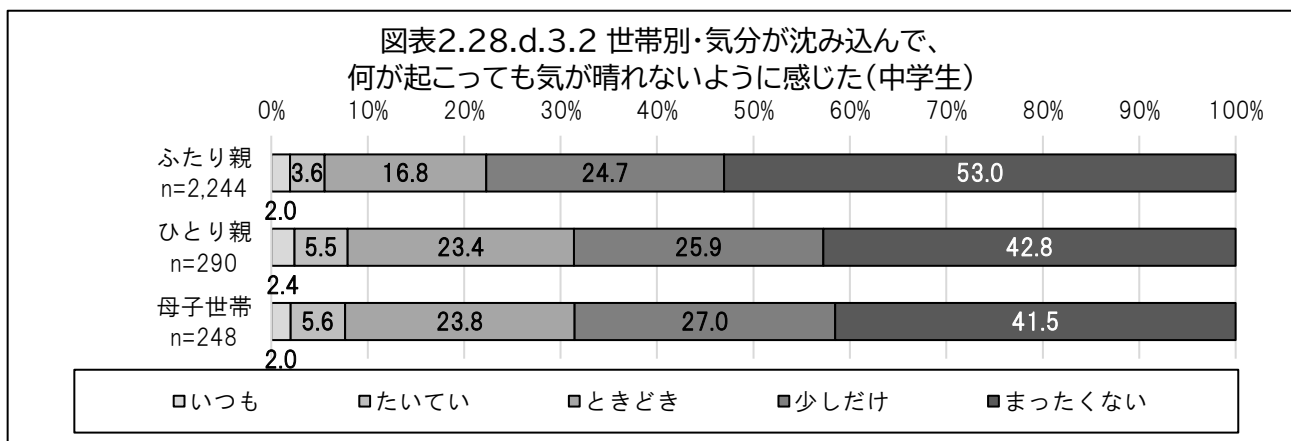
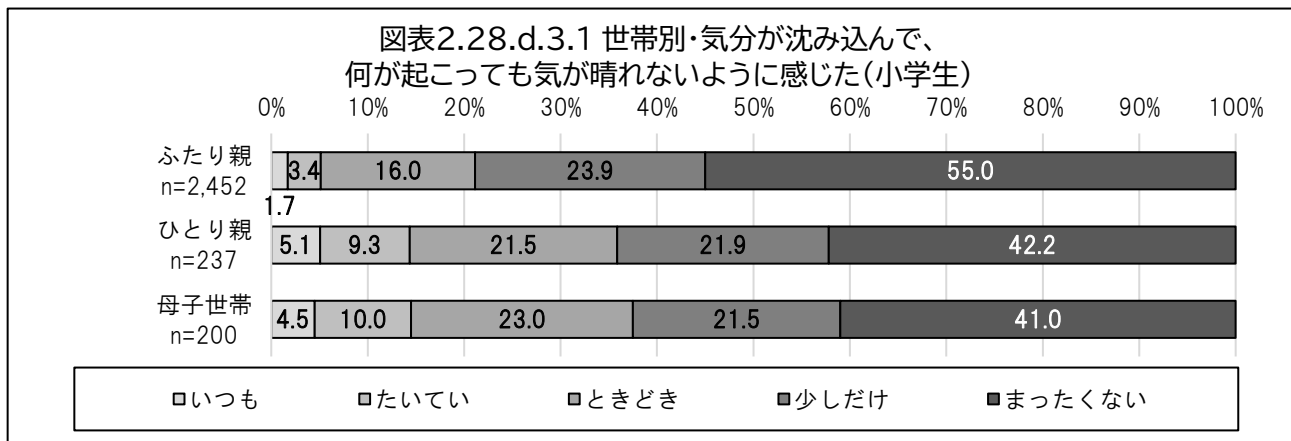
(2)等価世帯収入別（問 28. d 気分が沈み込んで、何が起っても気が晴れないように感じた）

この1ヶ月間に落ち着かなく感じたかについて、等価世帯収入別にみると、小学生では、「いつも」「たいてい」の合計は、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では、小学生16.3%、中学生9.2%となっています。全体（5.7%、5.6%）と比較すると、小学生では10.6%、中学生では3.6%高くなっています。



(3)世帯別 (問 28. d 気分が沈み込んで、何が起ころても気が晴れないように感じた)

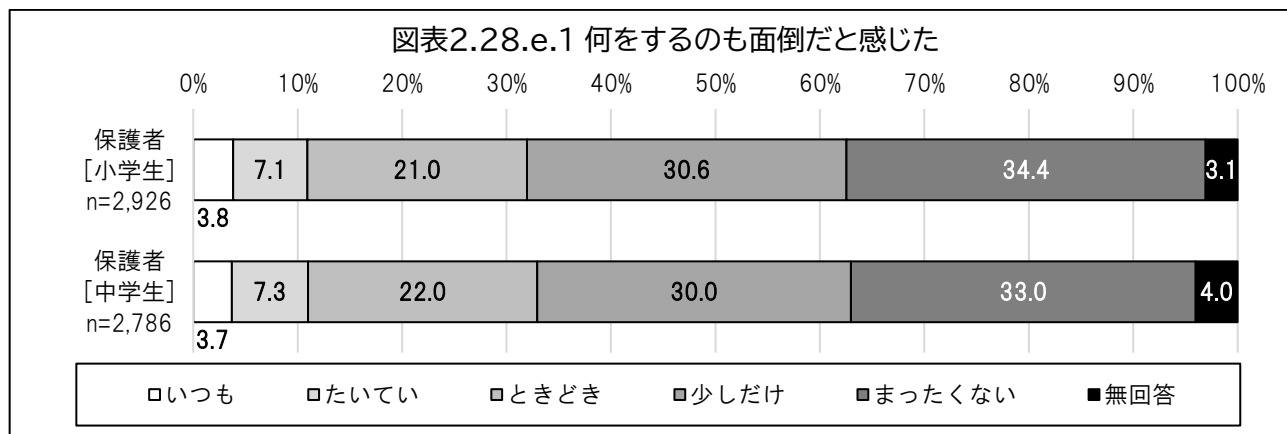
この1ヶ月間に落ち着かなく感じたかについて、世帯別にみると、小学生では、「いつも」「たいてい」の合計は、ひとり親世帯では14.4%、母子世帯では14.5%となっています。全体(5.7%)と比較すると、ひとり親世帯では8.7%、母子世帯では8.8%高くなっています。中学生では、「いつも」「たいてい」の合計は、ひとり親世帯では7.9%、母子世帯では7.6%となっています。全体(5.6%)と比較すると、ひとり親世帯では2.3%、母子世帯では2.0%高くなっています。



e) 何をするのも面倒だと感じた

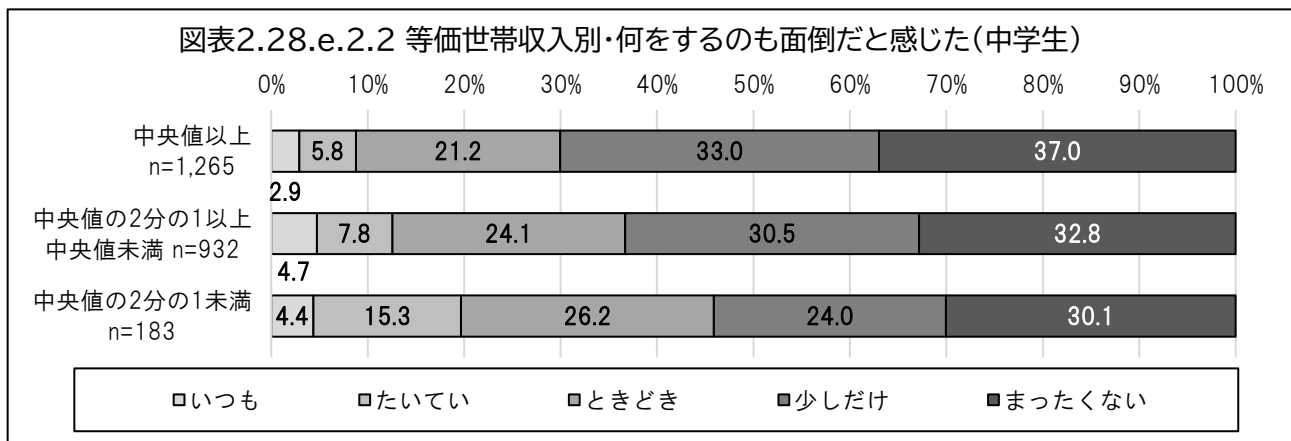
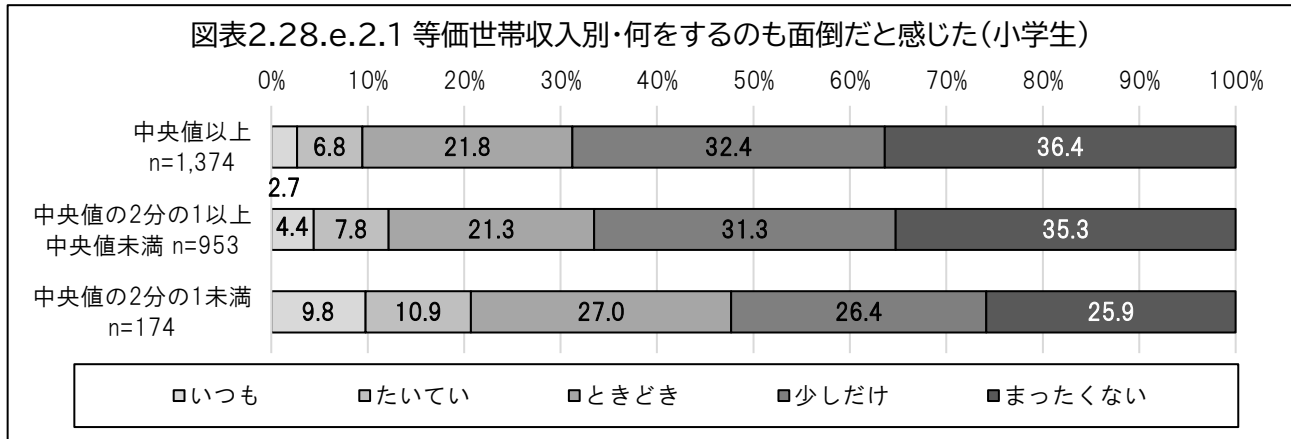
(1)全体

この1ヶ月間に何をするのも面倒だと感じたかについて、小学生・中学生ともに、「まったくない」が、34.4%、33.0%と最も高くなっています。また、「いつも」「たいてい」の合計は、小学生では10.9%、中学生では11.0%となっています。



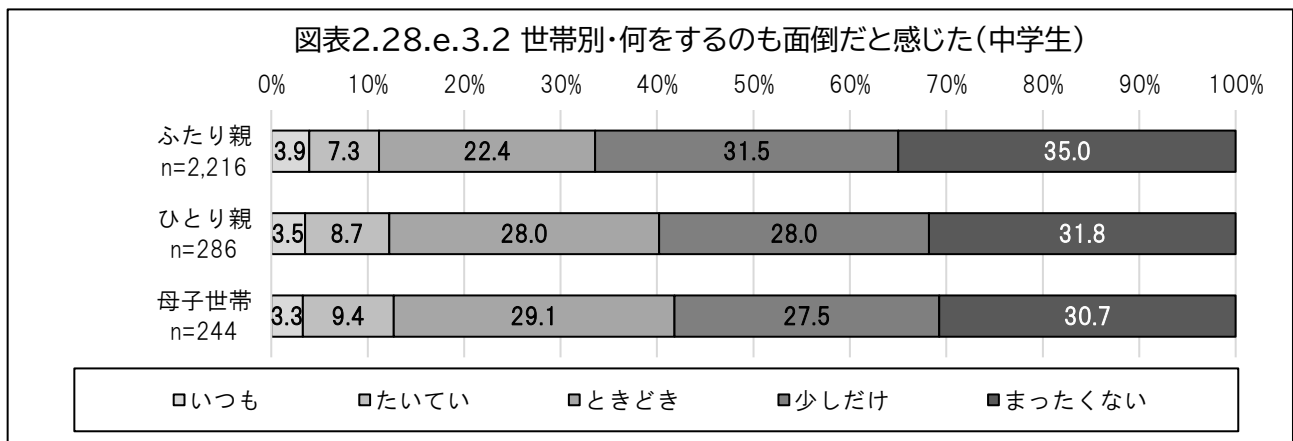
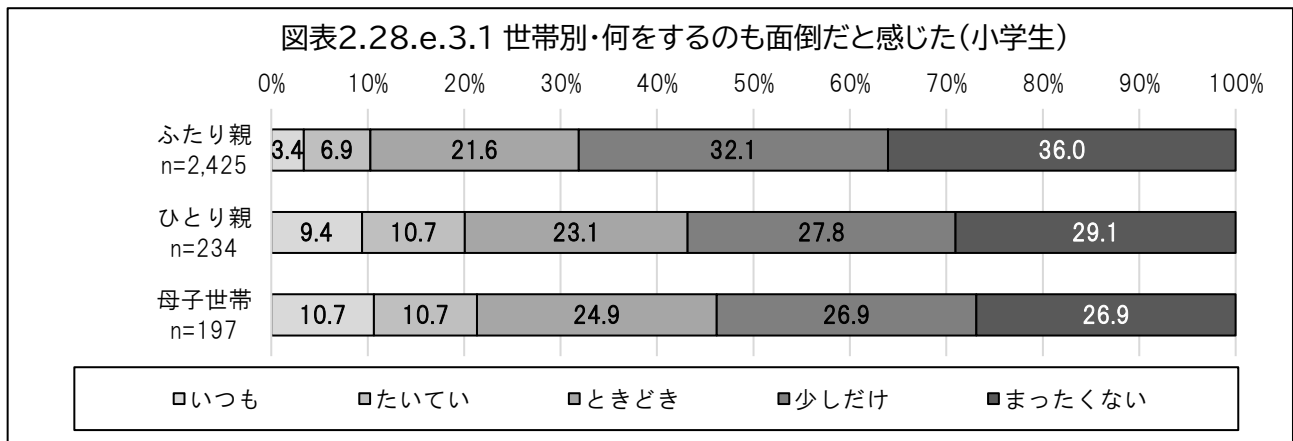
(2)等価世帯収入別（問 28. e 何をするのも面倒だと感じた）

この1ヶ月間に何をするのも面倒だと感じたかについて、等価世帯収入別にみると、小学生では、「いつも」「たいてい」の合計は、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では、小学生20.7%、中学生19.7%となっています。全体（10.9%、11.0%）と比較すると、小学生では9.8%、中学生では8.7%高くなっています。



(3)世帯別（問 28. e 何をするのも面倒だと感じた）

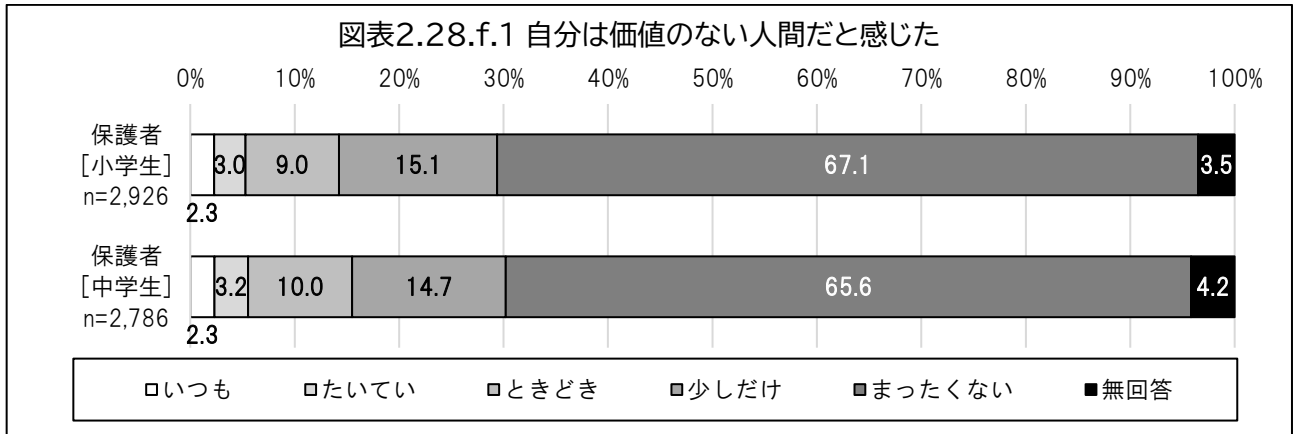
この1ヶ月間に何をするのも面倒だと感じたかについて、世帯別にみると、小学生では、「いつも」「たいてい」の合計は、ひとり親世帯では20.1%、母子世帯では21.4%となっています。全体（10.9%）と比較すると、ひとり親世帯では9.2[※]、母子世帯では10.5[※]高くなっています。中学生では、「いつも」「たいてい」の合計は、ひとり親世帯では12.2%、母子世帯では12.7%となっています。全体（11.0%）と比較すると、ひとり親世帯では1.2[※]、母子世帯では1.7[※]高くなっています。



f) 自分は価値のない人間だと感じた

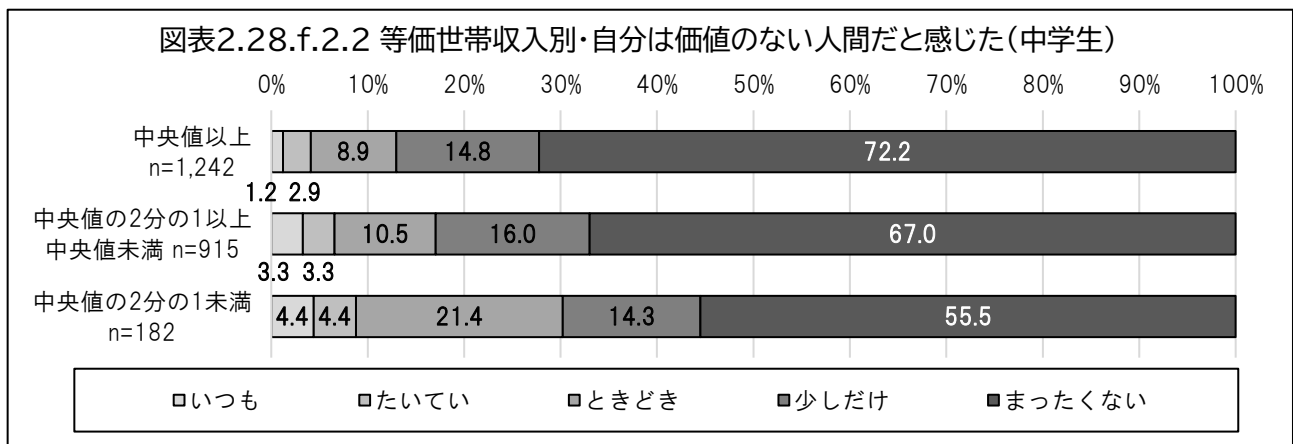
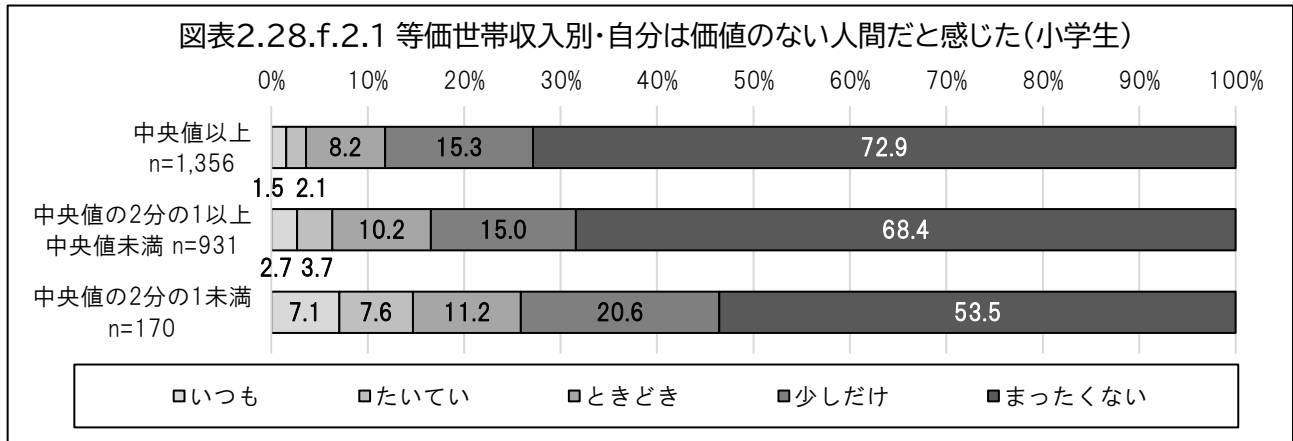
(1)全体

この1ヶ月間に落ち着かなく感じたかについて、小学生・中学生ともに、「まったくない」が、67.1%、65.6%と最も高くなっています。また、「いつも」「たいてい」の合計は、小学生では5.3%、中学生では5.5%となっています。



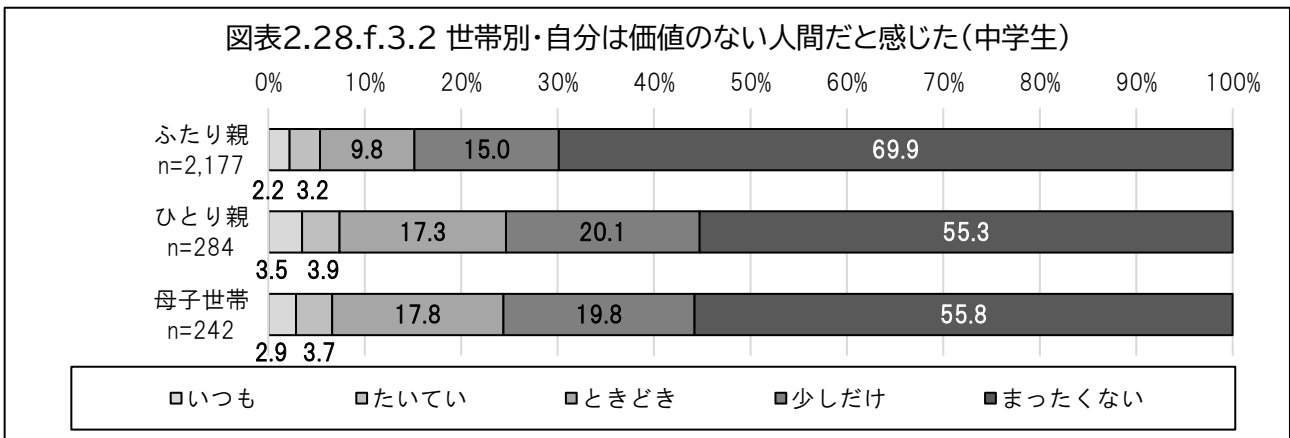
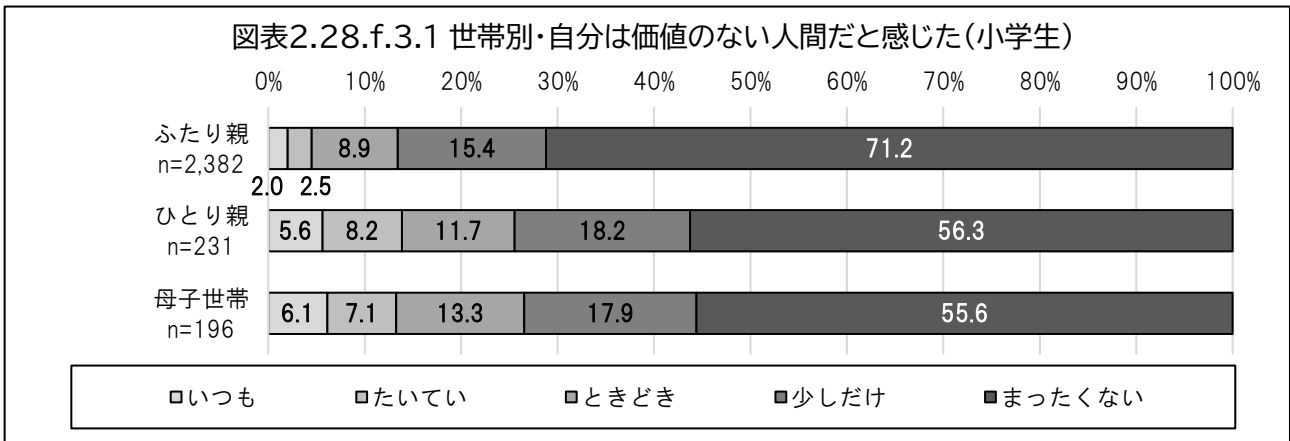
(2)等価世帯収入別（問 28. f 自分は価値のない人間だと感じた）

この1ヶ月間に落ち着かなく感じたかについて、等価世帯収入別にみると、小学生では、「いつも」「たいてい」の合計は、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では、小学生 14.7%、中学生 8.8%となっています。全体（5.3%、5.5%）と比較すると、小学生では9.4%、中学生では3.3%高くなっています。



(3)世帯別（問 28. f 自分は価値のない人間だと感じた）

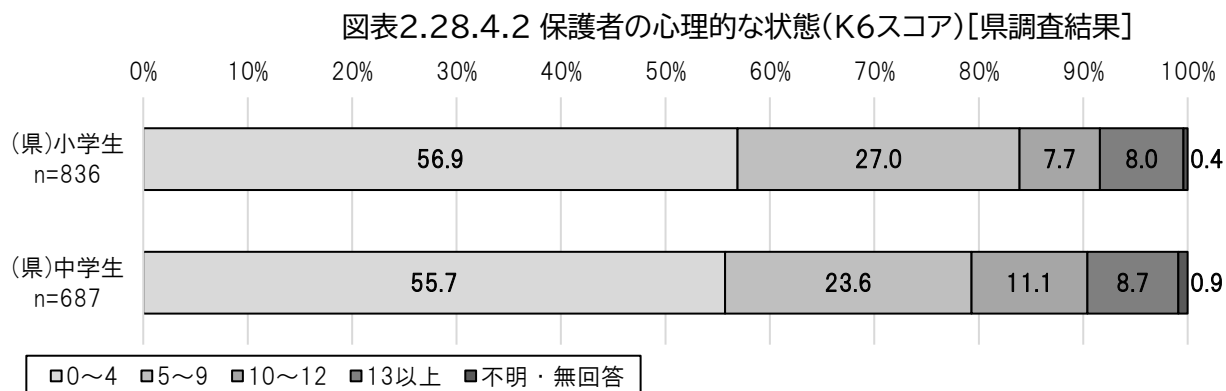
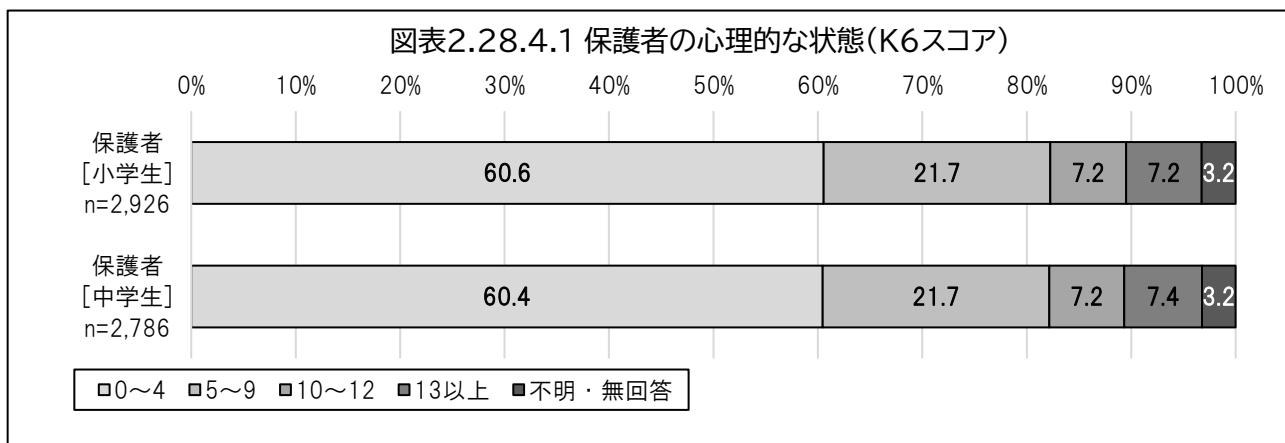
この1ヶ月間に落ち着かなく感じたかについて、世帯別にみると、小学生では、「いつも」「たいてい」の合計は、ひとり親世帯では13.8%、母子世帯では13.2%となっています。全体（5.3%）と比較すると、ひとり親世帯では8.5%、母子世帯では7.9%高くなっています。中学生では、「いつも」「たいてい」の合計は、ひとり親世帯では7.4%、母子世帯では6.6%となっています。全体（5.5%）と比較すると、ひとり親世帯では1.9%、母子世帯では1.1%高くなっています。



(4)全体 (K6 スコア)

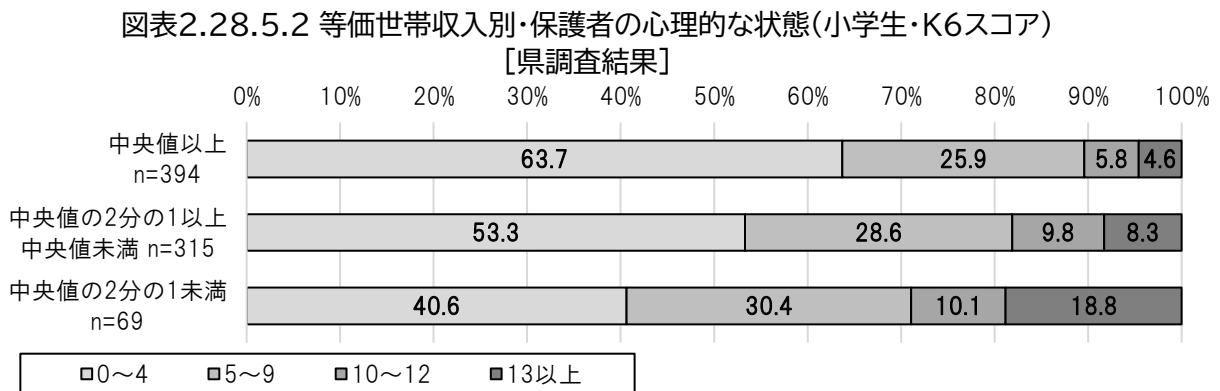
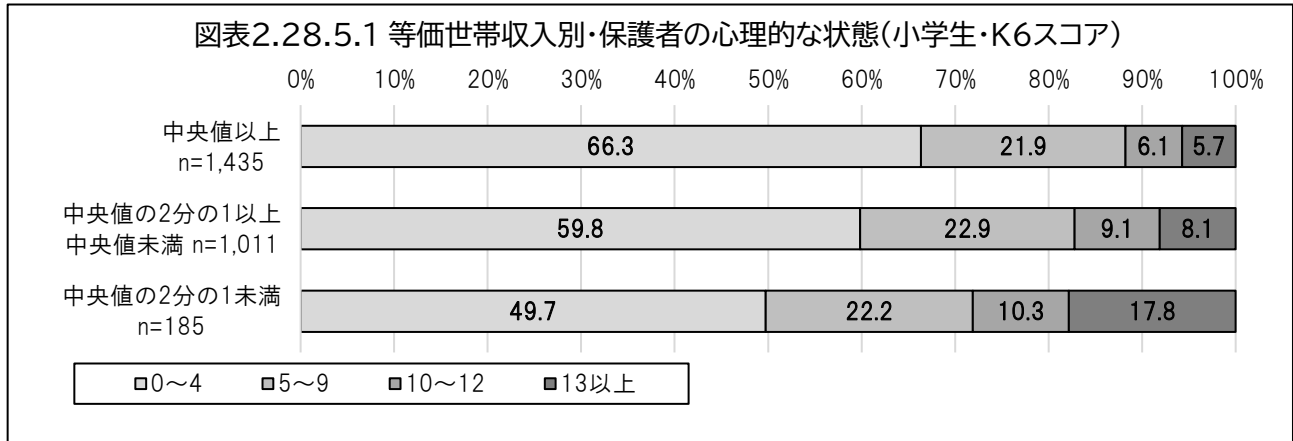
「保護者の心理的な状態」に関して、「K6」と呼ばれる指標を把握するための6つの項目 a)～f)を設定しました。この6つの調査項目の結果を足し合わせて、K6のスコアを算出した(0～24点)。合計13点以上の場合、「うつ・不安障害相当」となります。

保護者の心理状態(K6スコア)について、小学生・中学生ともに、「0～4」が60.6%、60.4%と最も高く、次いで「5～9」が21.7%、21.7%、「13以上」が7.2%、7.4%となっています。



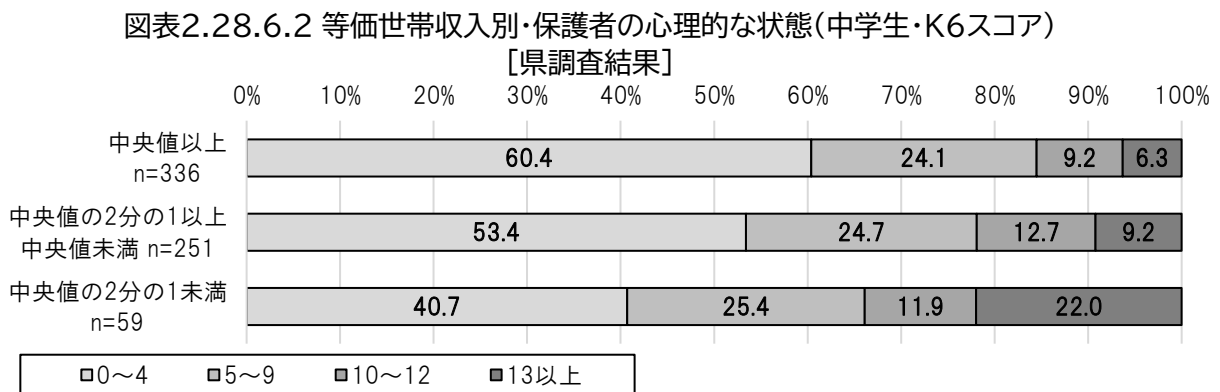
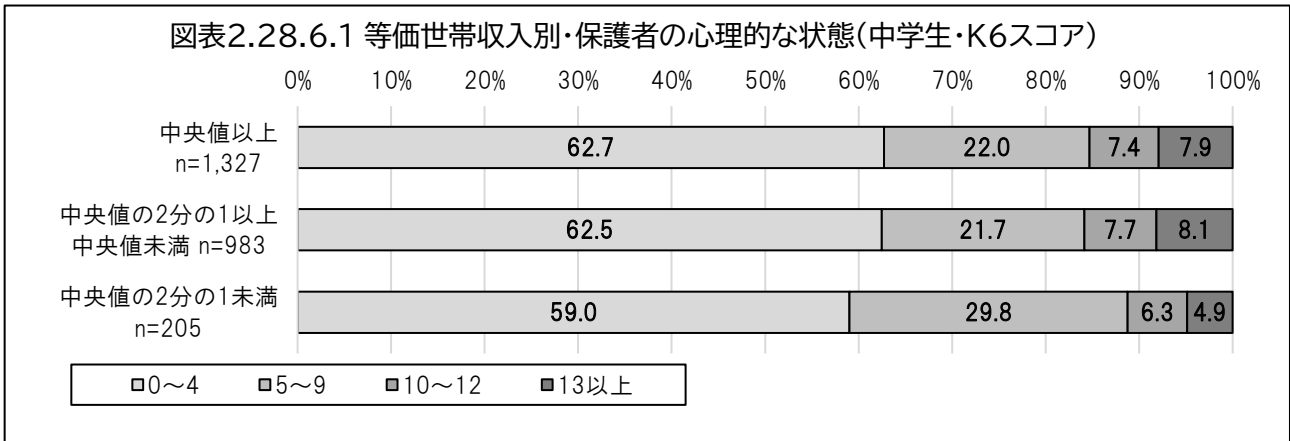
(5)等価世帯収入別・保護者[小学生] (問 28. 保護者の心理状態 K6 スコア)

保護者の心理状態 (K6 スコア) について、等価世帯収入別にみると、小学生では、「13 以上」が「もっとも収入の水準が低い世帯 (中央値の2分の1 未満)」で 17.8%となっています。全体 (7.2%) と比較すると、10.6 ポイント高くなっています。



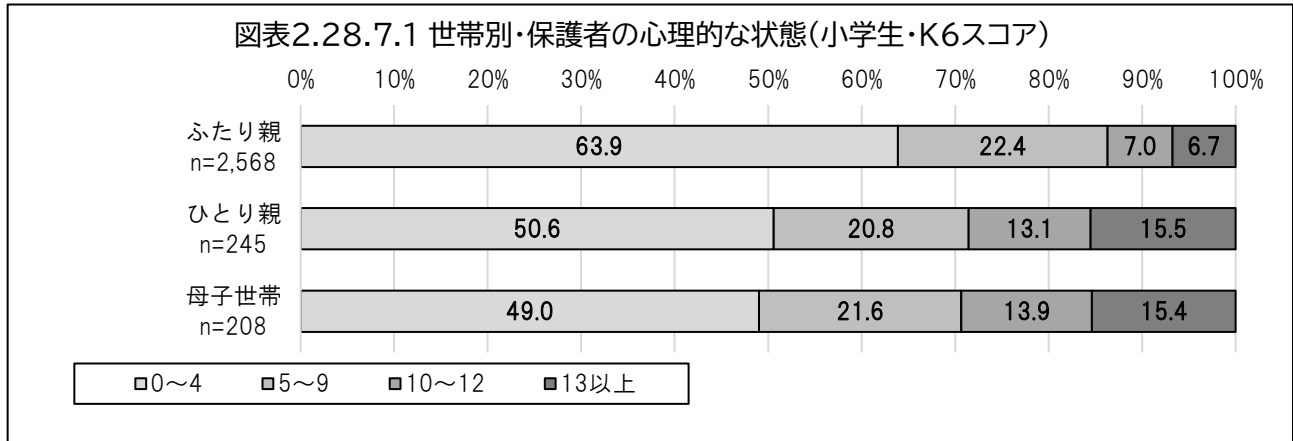
(6)等価世帯収入別・保護者[中学生] (問 28. 保護者の心理状態 K6 スコア)

保護者の心理状態 (K6 スコア) について、等価世帯収入別にみると、中学生では、「13 以上」が「もっとも収入の水準が低い世帯 (中央値の2分の1 未満)」で 4.9%となっています。全体 (7.4%) と比較すると 2.5 割低く、「中央値以上」(7.9%)、「中央値の2分の1 以上中央値未満」(8.1%) よりも低くなっています。また、県調査 (22.0%) と比較すると 17.1 割低くなっています。

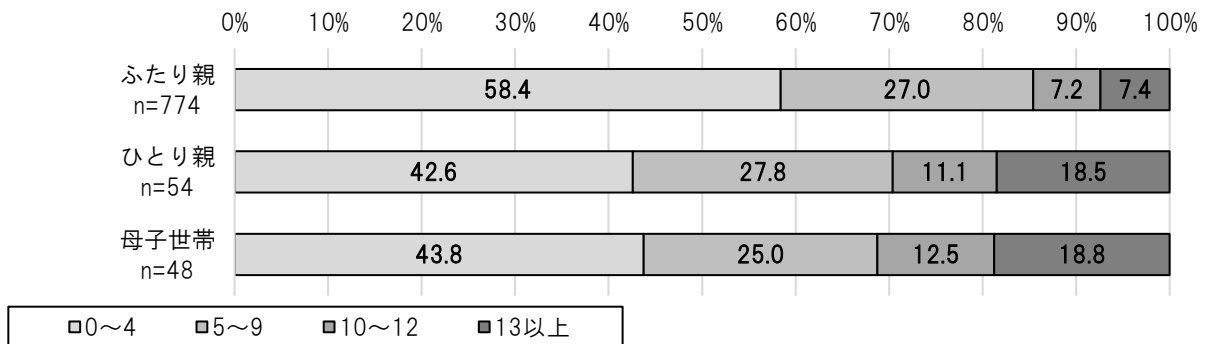


(7)世帯別・保護者[小学生] (問 28. 保護者の心理状態 K6 スコア)

保護者の心理状態 (K6 スコア) について、世帯別にみると、小学生では、「13 以上」がひとり親世帯で 15.5%、母子世帯で 15.4%となっています。全体 (7.2%) と比較すると、それぞれ 8.3 ポイント、8.2 ポイント高くなっています。

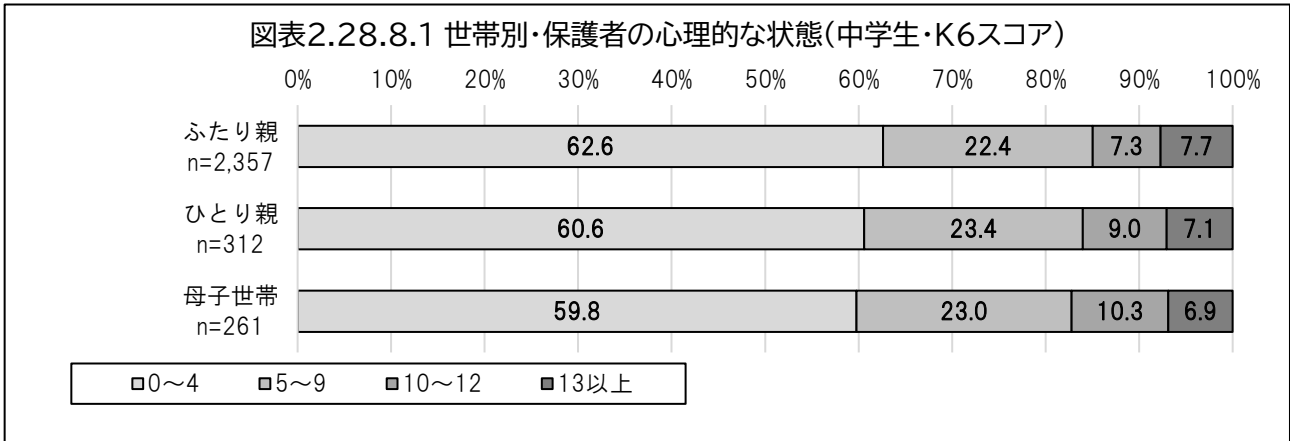


図表2.28.7.2 世帯別・保護者の心理的な状態(小学生・K6スコア)[県調査結果]

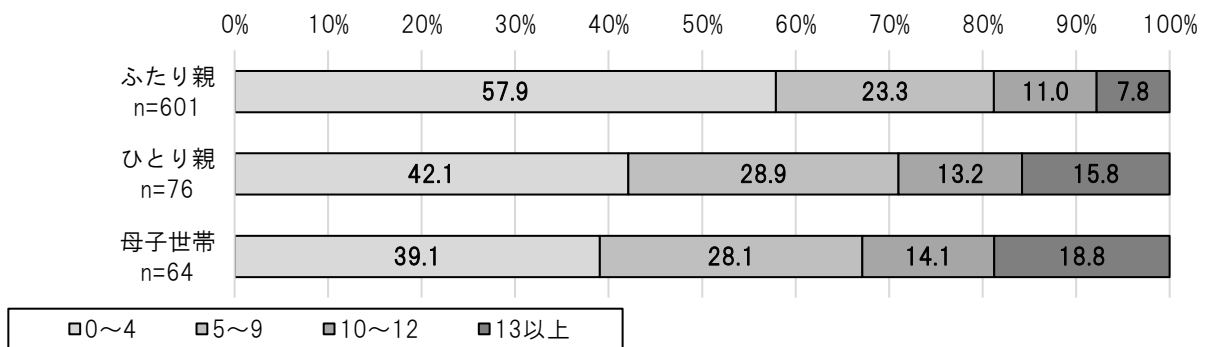


(8)世帯別・保護者[中学生] (問 28. 保護者の心理状態 K6 スコア)

保護者の心理状態 (K6 スコア) について、世帯別にみると、中学生では、「13 以上」がひとり親世帯で 7.1%、母子世帯で 6.9%となっています。全体 (7.4%)、ふたり親世帯 (7.7%) と比較して、同程度となっています。



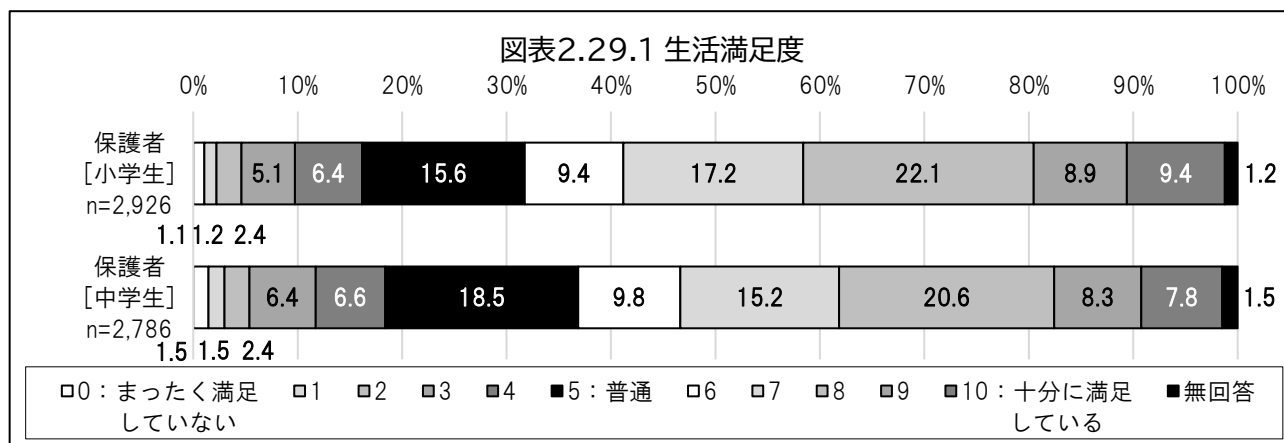
図表2.28.8.2 世帯別・保護者の心理的な状態(中学生・K6スコア)[県調査結果]



問29. 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」（まったく満足していないから「10」（十分に満足している）の数字で教えてください。

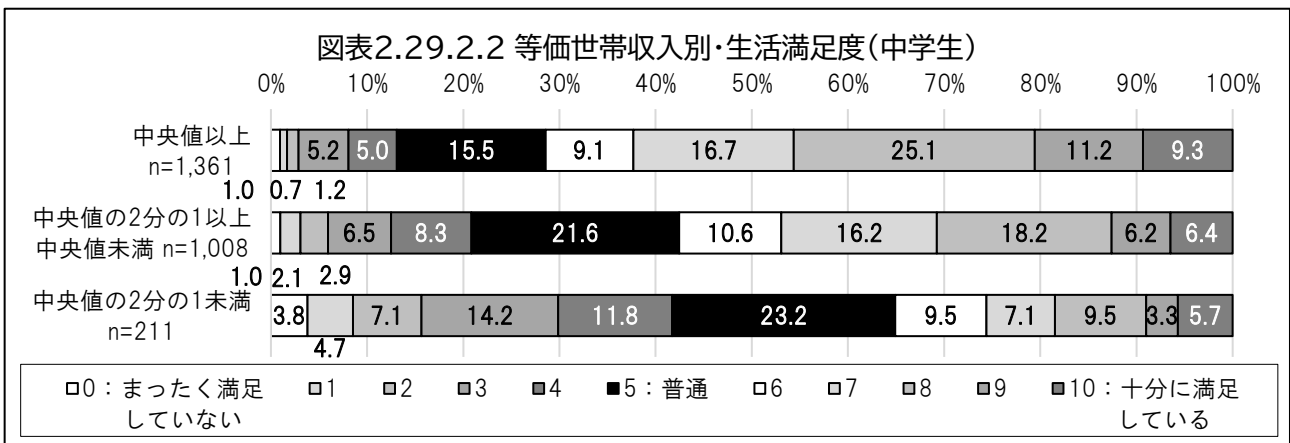
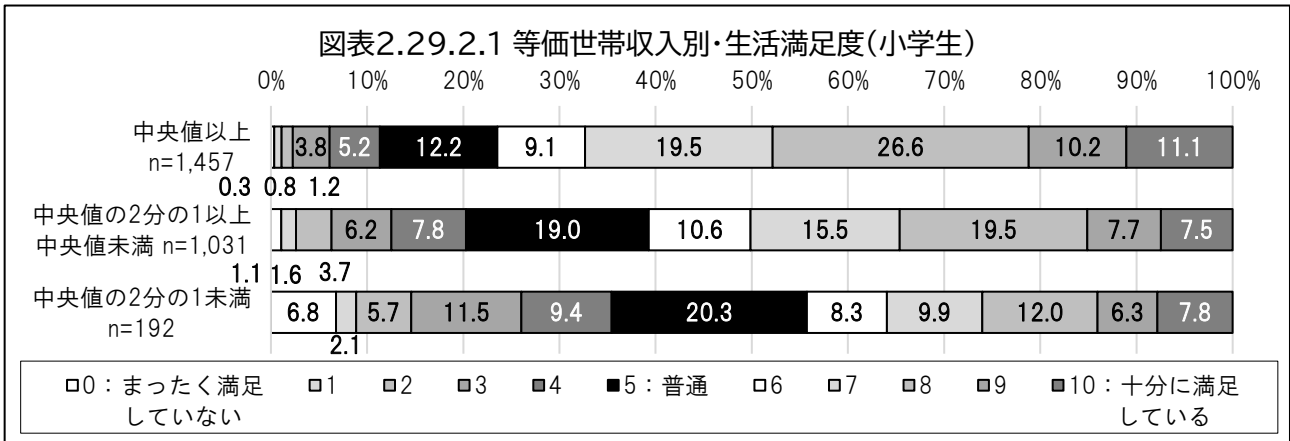
(1)全体

最近の生活満足度について、「6～10」（満足度が高い方の回答）と回答した割合は、小学生が67.0%、中学生が61.7%となっています。また、「0～4」（満足度が低い方の回答）と回答した割合は、小学生が16.2%、中学生が18.4%となっています。



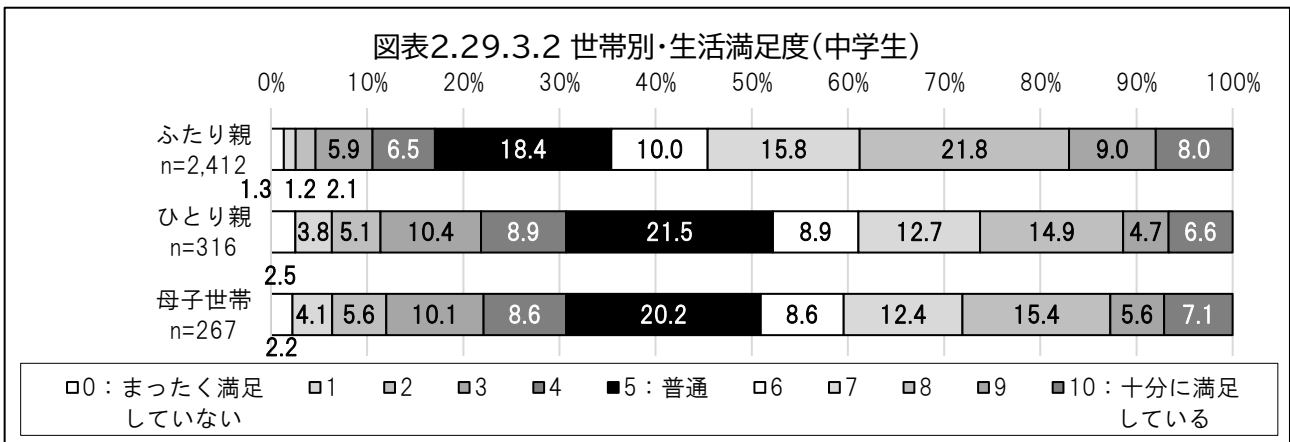
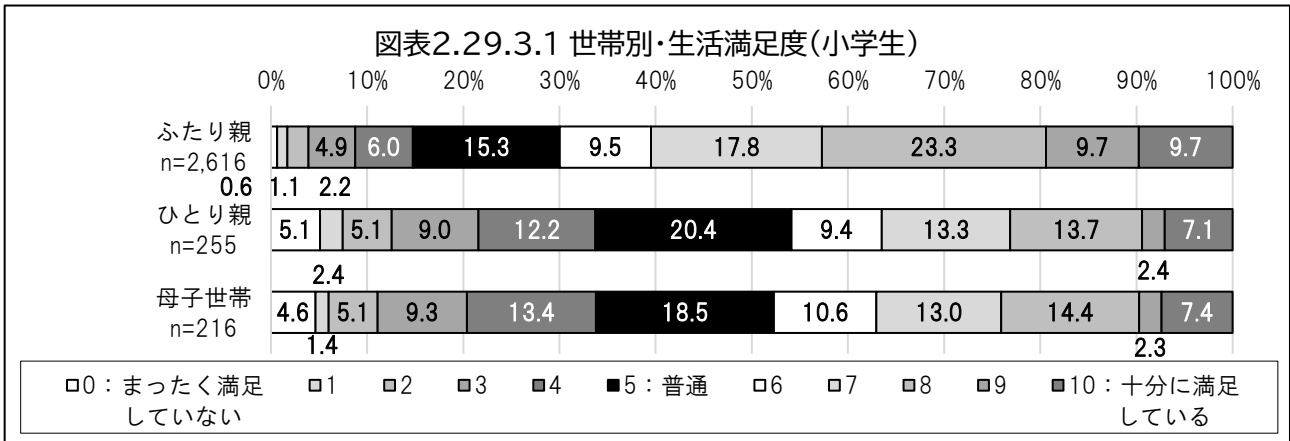
(2)等価世帯収入別（問 29. 生活満足度）

生活満足度について、等価世帯収入別にみると、「0～4」（満足度が低い方の回答）と回答した割合が、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では、小学生が35.5%、中学生が41.6%となっています。また、全体（16.2%、18.4%）と比較すると、それぞれ19.3%、23.2%高くなっています。



(3)世帯別（問 29.生活満足度）

生活満足度について、世帯別にみると、「0～4」（満足度が低い方の回答）と回答した割合が、小学生では、ひとり親世帯・母子世帯ともに 33.8%となっています。また、全体（16.2%）と比較すると、17.6 ㊦高くなっています。中学生では、ひとり親世帯で 30.7%、母子世帯で 30.6%となっています。また、全体（18.4%）と比較すると、それぞれ 12.3 ㊦、12.2 ㊦高くなっています。

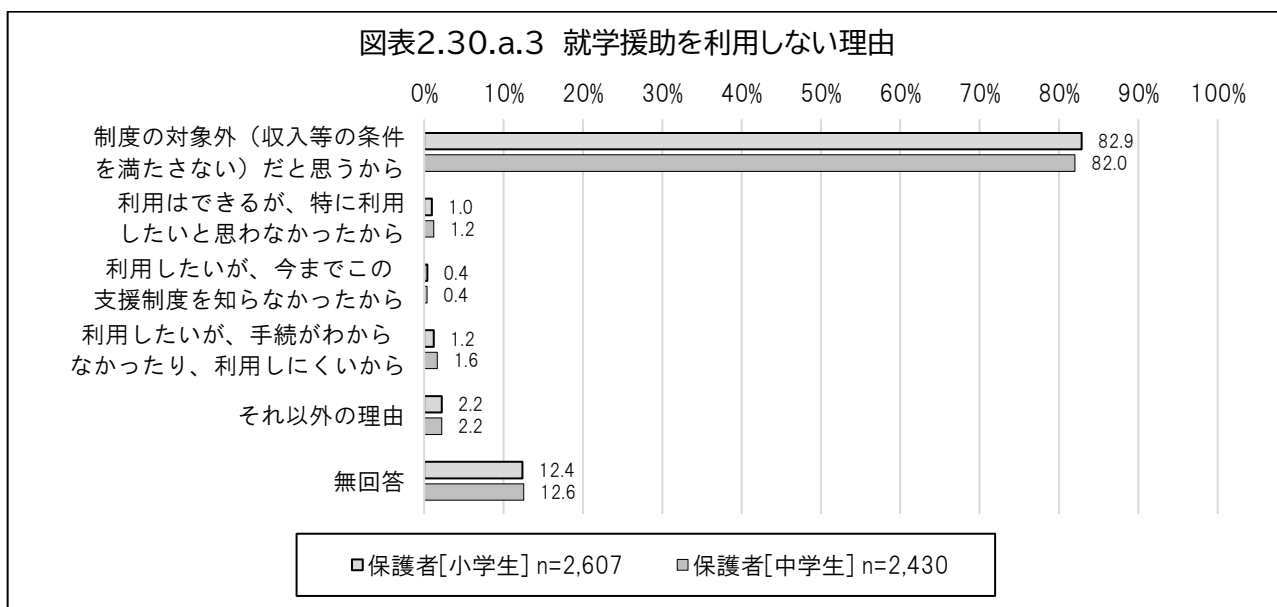
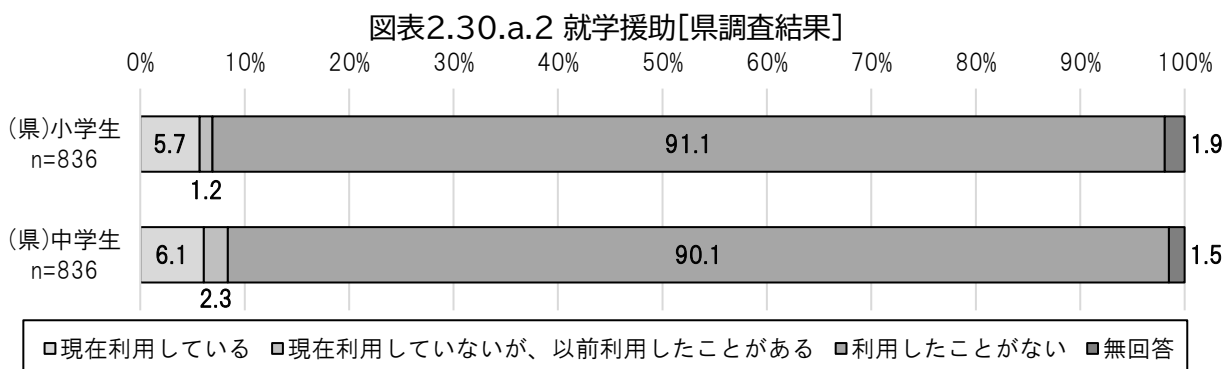
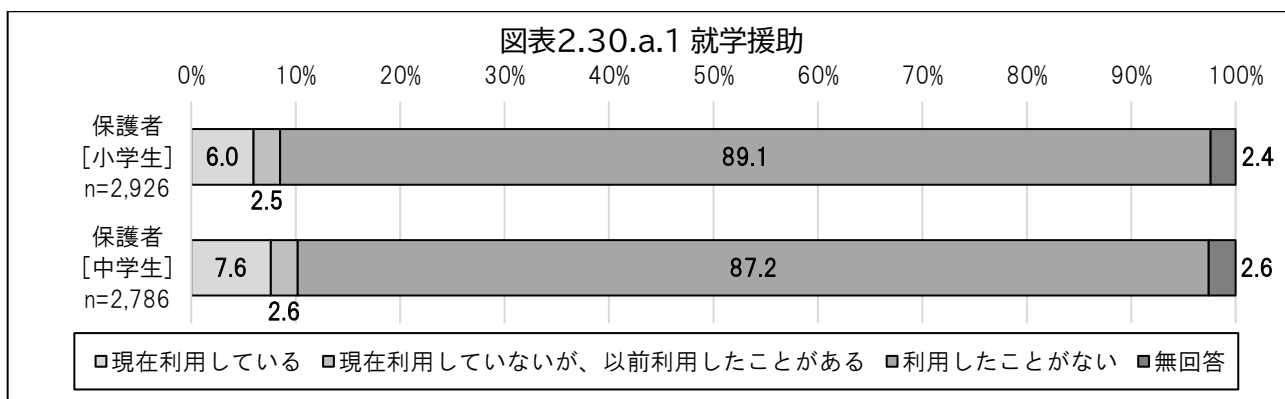


問30. あなたのご家庭では、次の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。
また、「利用したことがない」場合、その理由は何ですか。

a) 就学援助

就学援助を利用したことがあるかについて、小学生・中学生では「利用したことがない」がそれぞれ89.1%、87.2%、「現在利用している」が6.0%、7.6%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が2.5%、2.6%となっています。

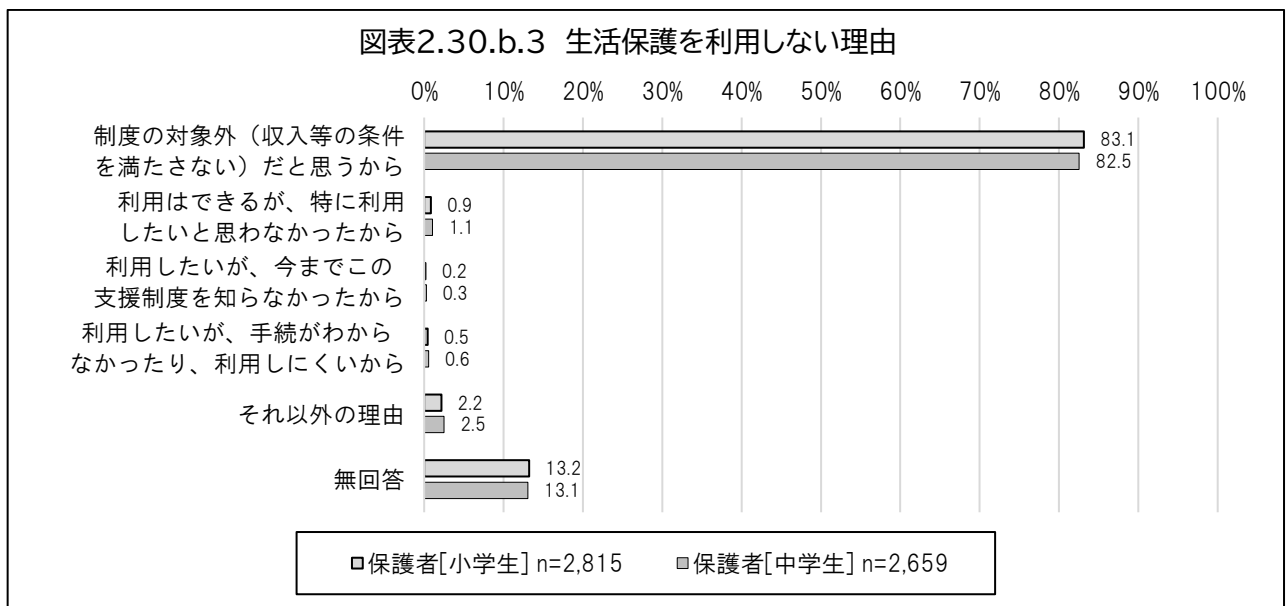
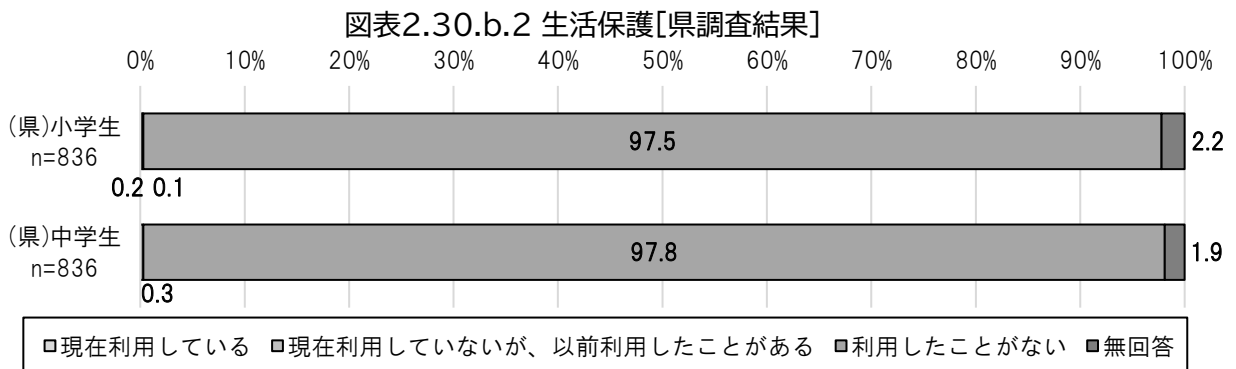
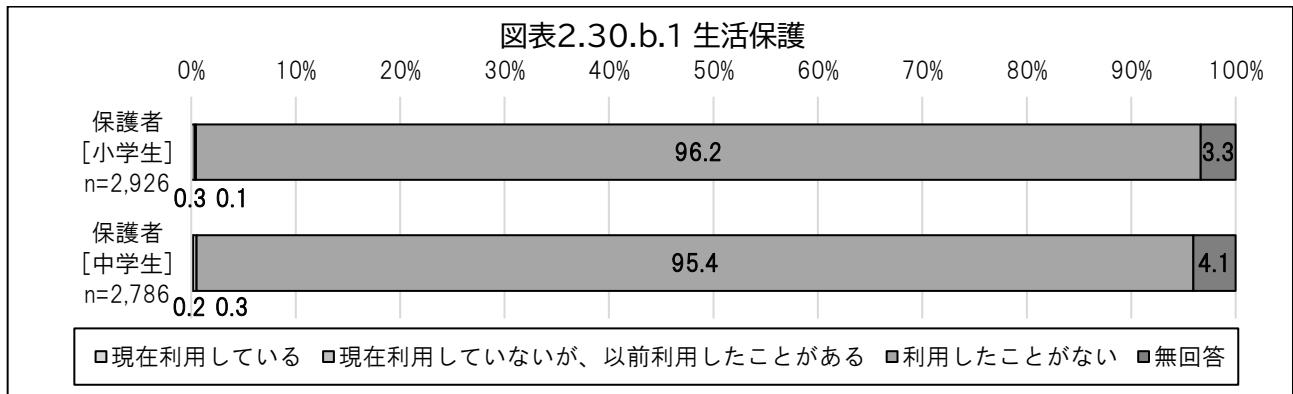
また利用しない理由としては、小学生・中学生ともに「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」が82.9%、82.0%となっています。



b) 生活保護

生活保護を利用したことがあるかについて、小学生・中学生では「利用したことがない」がそれぞれ96.2%、95.4%、「現在利用している」が0.3%、0.2%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が0.1%、0.3%となっています。

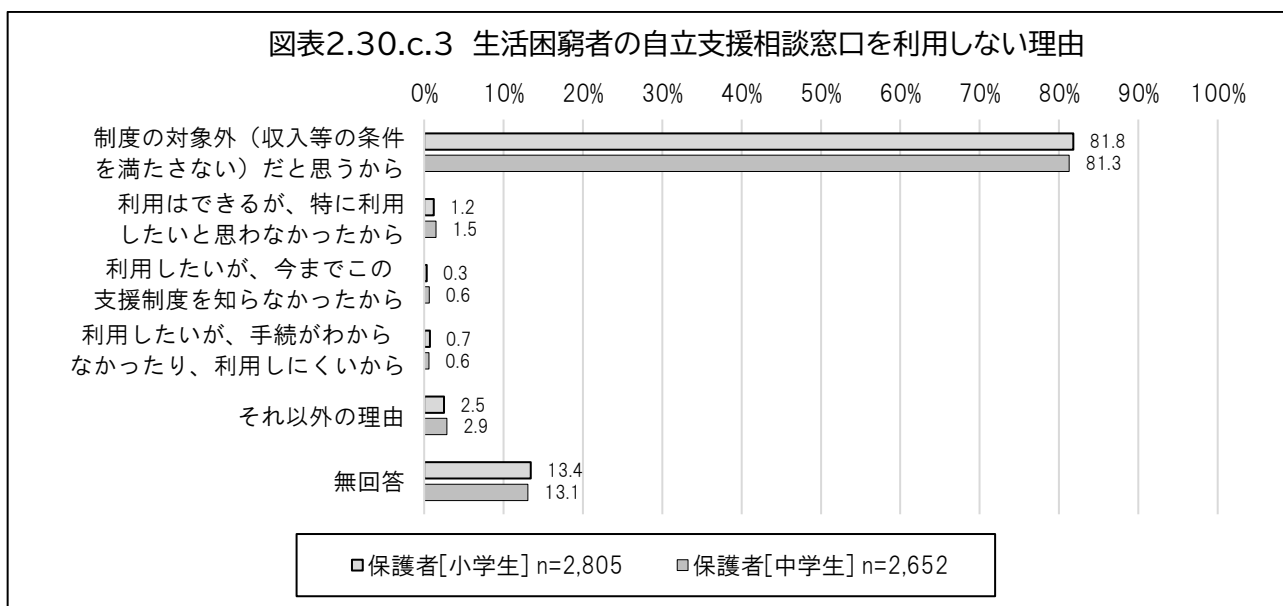
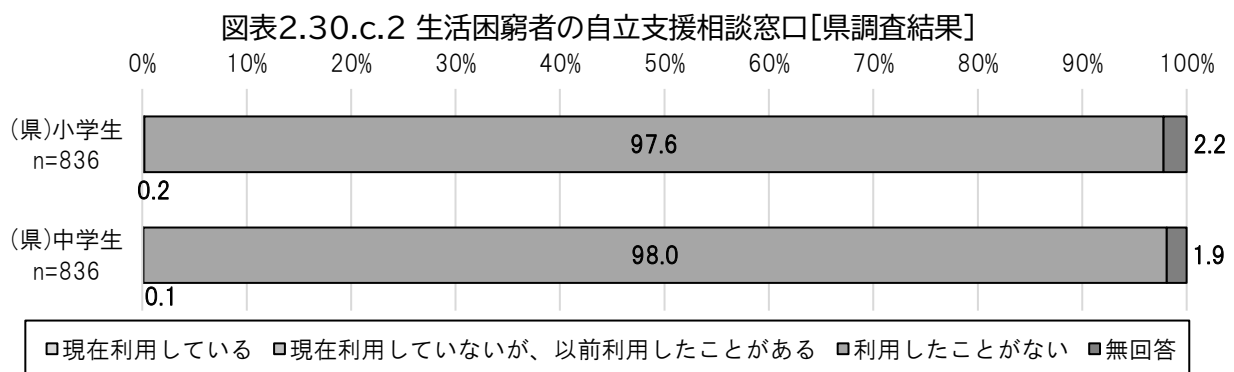
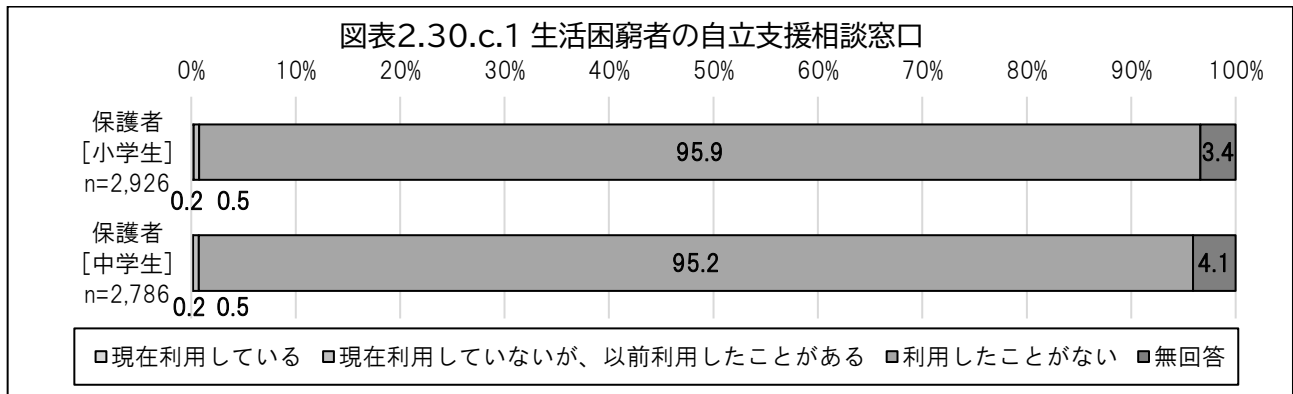
また利用しない理由としては、小学生・中学生ともに「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」が83.1%、82.5%となっています。



c) 生活困窮者の自立支援相談窓口

生活困窮者の自立支援相談窓口を利用したことがあるかについて、小学生・中学生では「利用したことがない」がそれぞれ95.9%、95.2%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が0.5%、0.5%、「現在利用している」が0.2%、0.2%となっています。

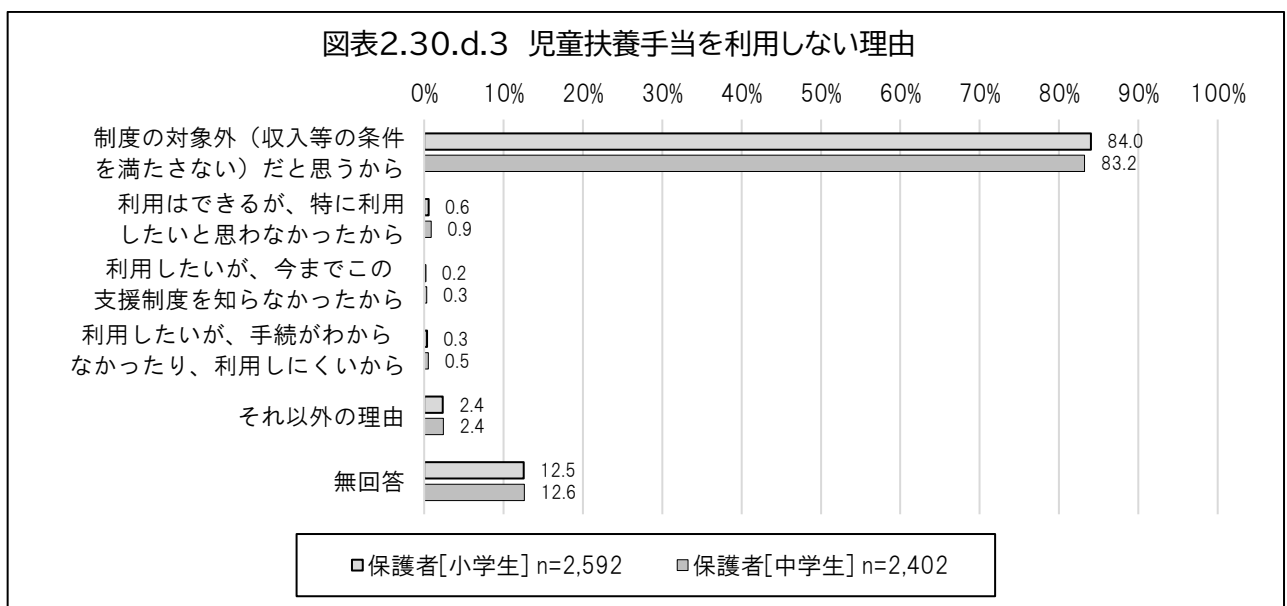
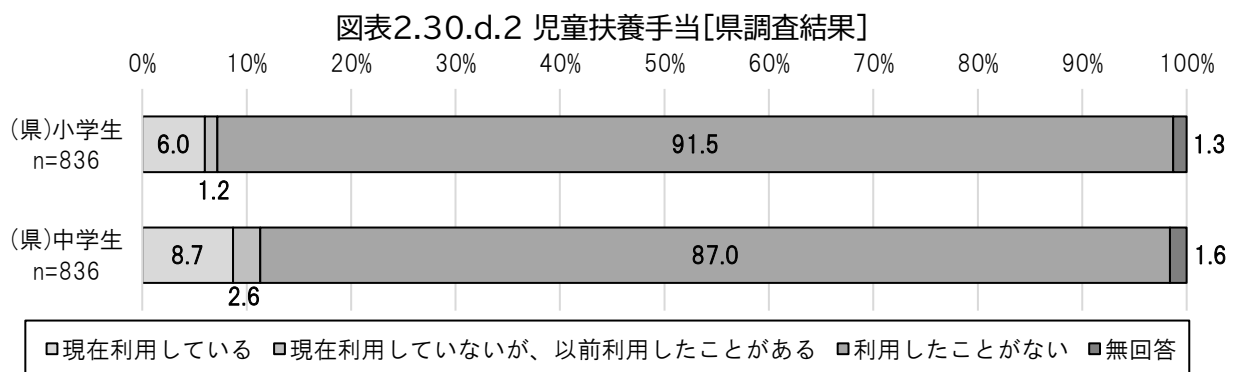
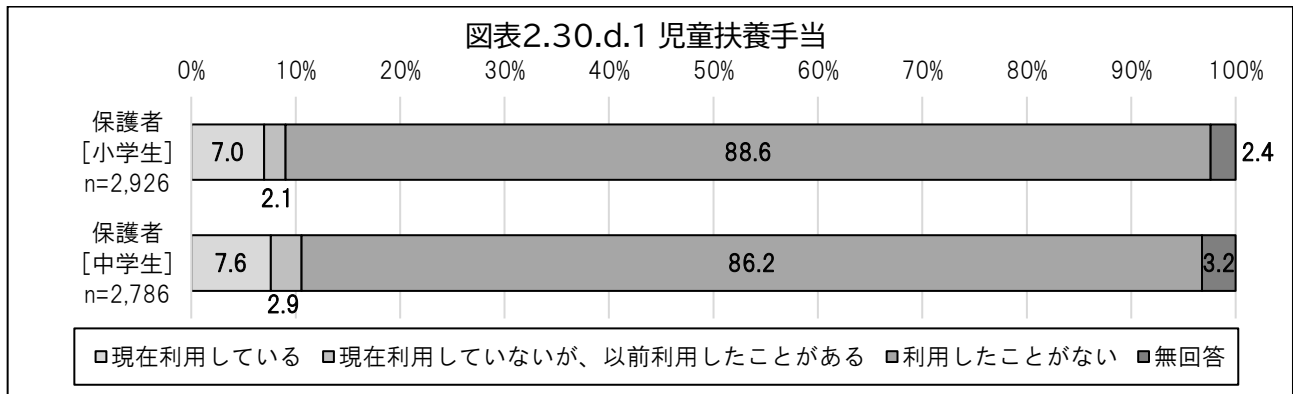
また利用しない理由としては、小学生・中学生ともに「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」がそれぞれ81.8%、81.3%となっています。



d) 児童扶養手当

児童扶養手当を利用したことがあるかについて、小学生・中学生では「利用したことがない」がそれぞれ88.6%、86.2%、「現在利用している」が7.0%、7.6%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が2.1%、2.9%となっています。

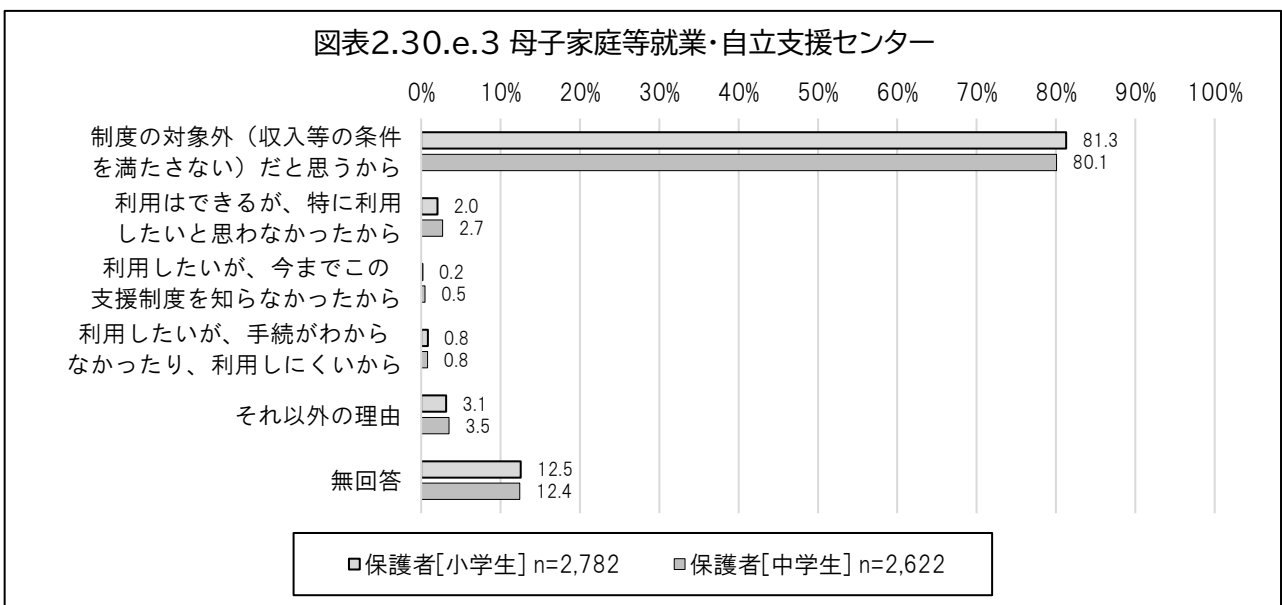
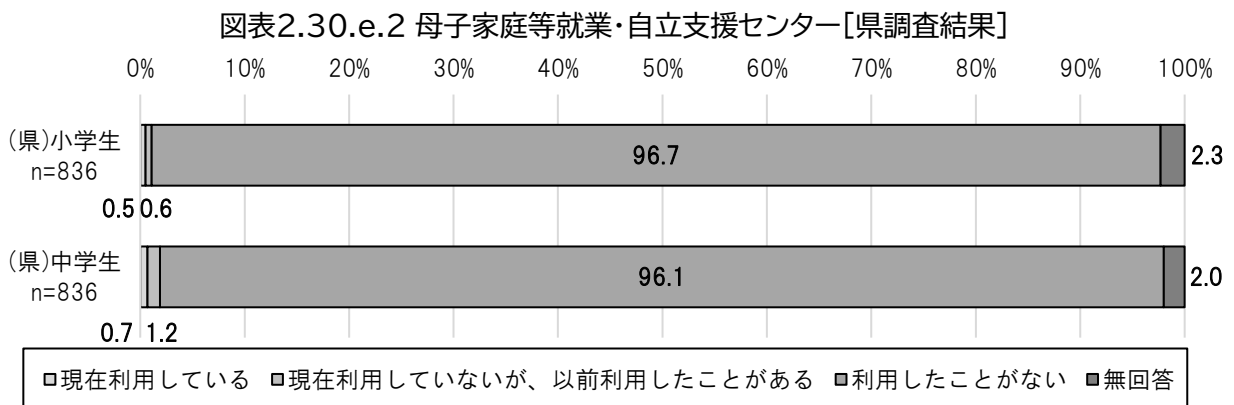
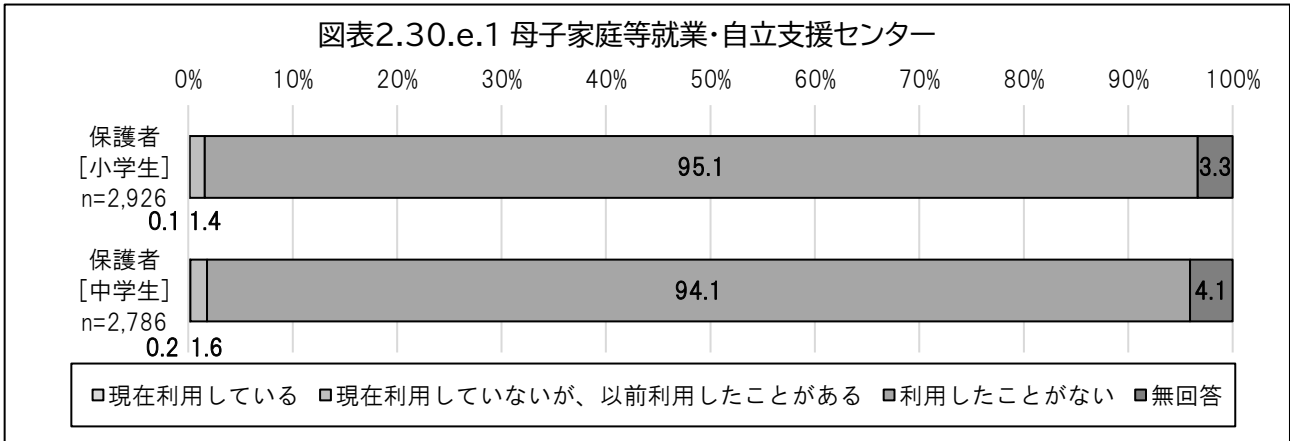
また利用しない理由としては、小学生・中学生ともに「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」がそれぞれ84.0%、83.2%となっています。



e) 母子家庭等就業・自立支援センター

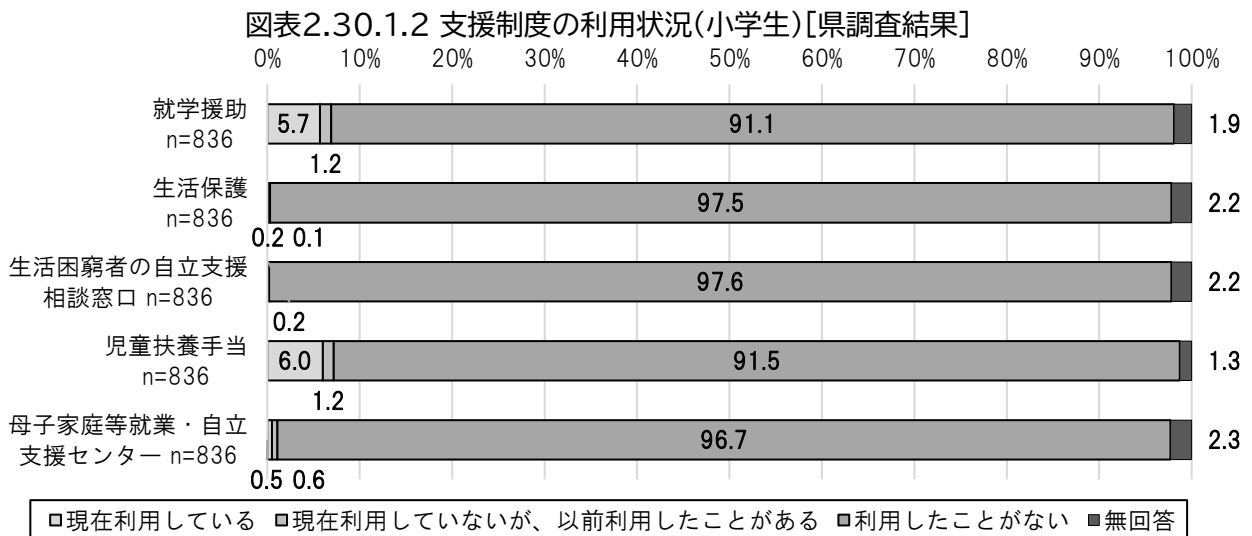
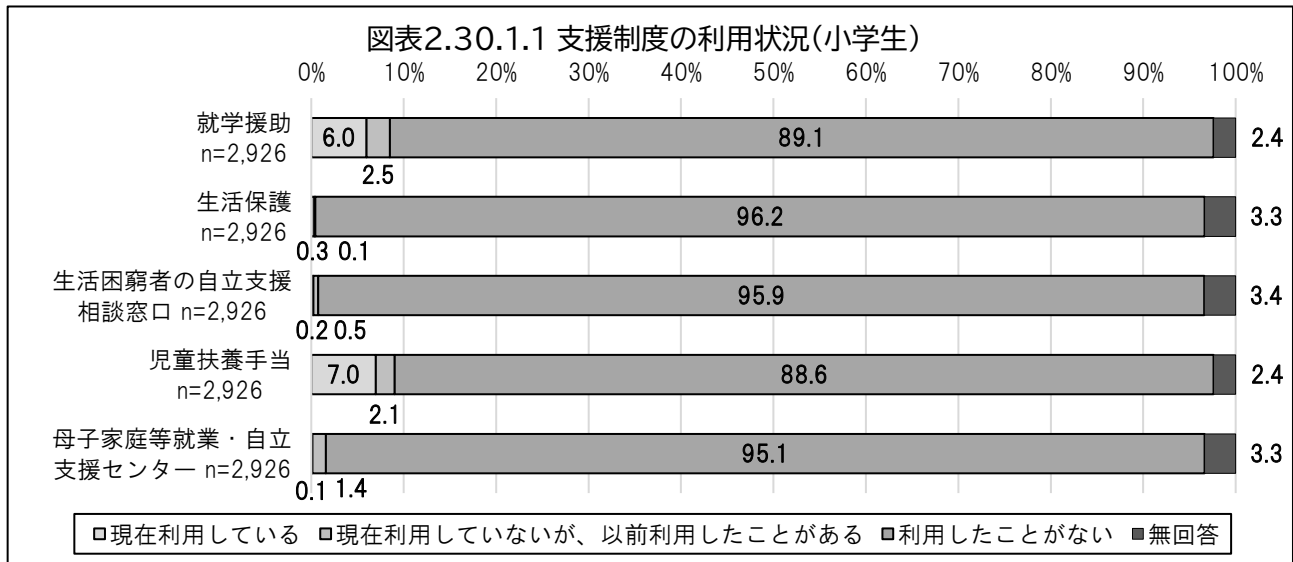
母子家庭等就業・自立支援センターを利用したことがあるかについて、小学生・中学生では「利用したことがない」がそれぞれ95.1%、94.1%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が1.4%、1.6%、「現在利用している」が0.1%、0.2%となっています。

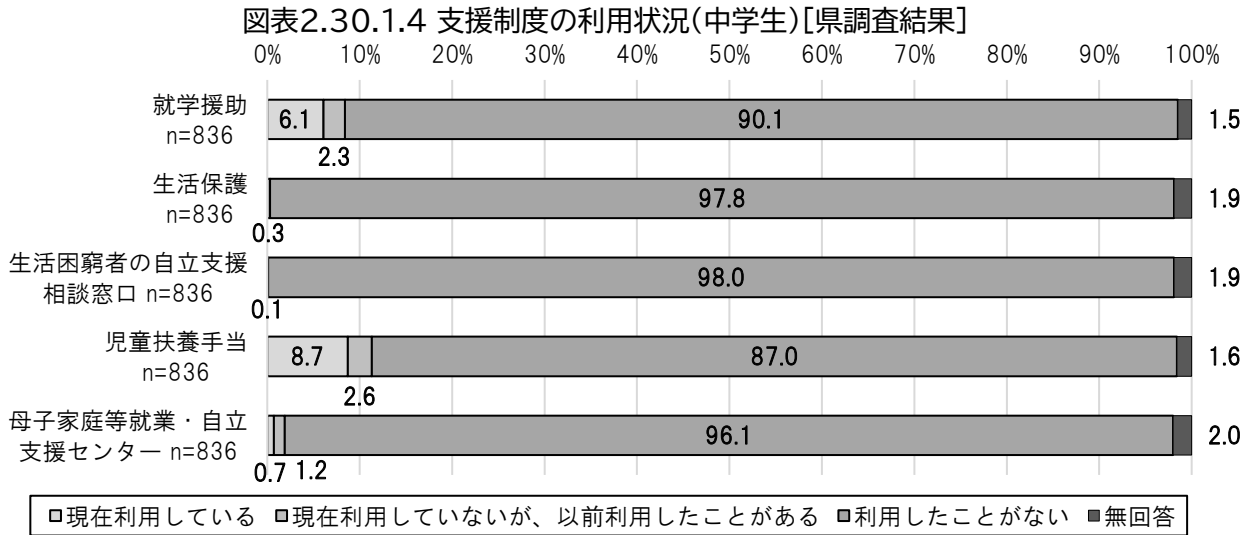
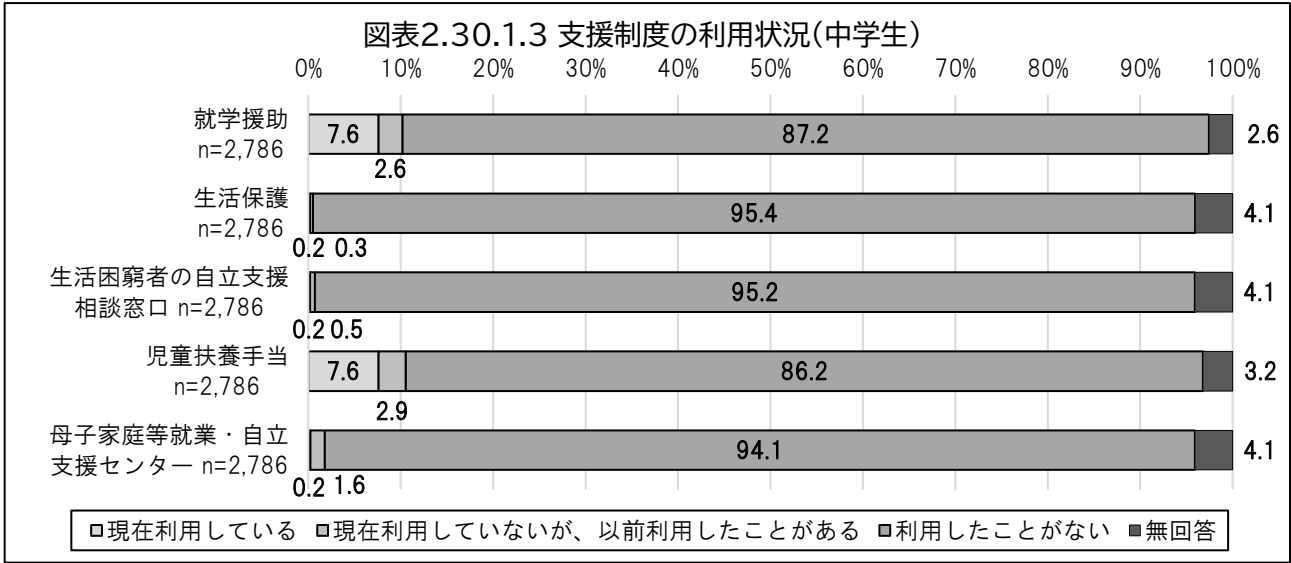
また利用しない理由としては、小学生・中学生ともに「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だ」と思うから」がそれぞれ81.3%、80.1%となっています。



(1) 全体

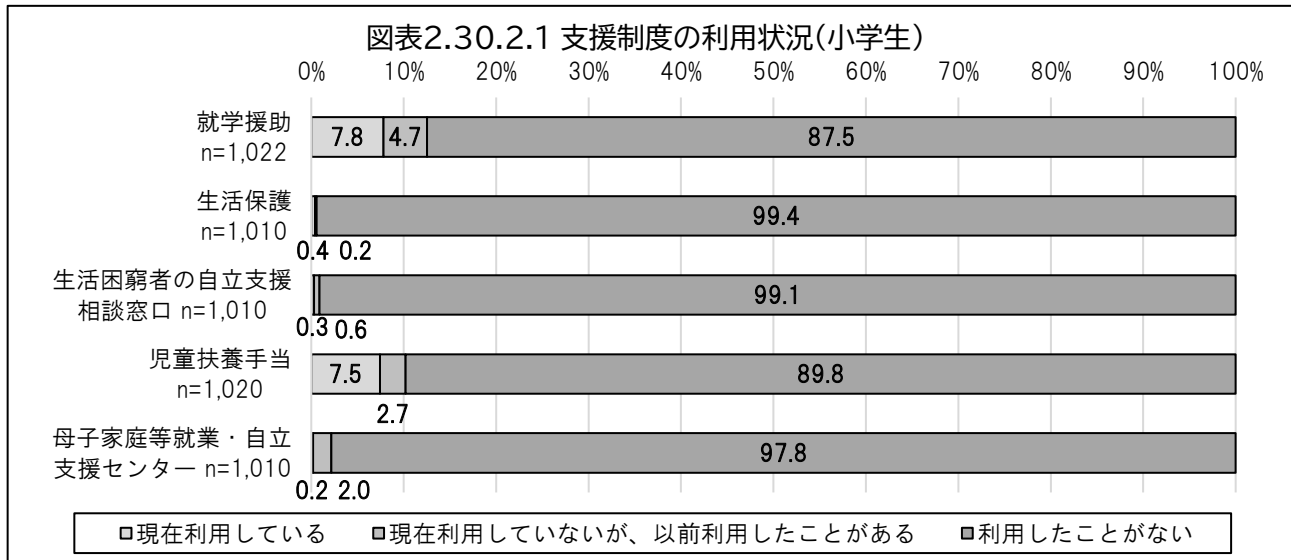
支援制度の利用状況について、「利用したことがない」と回答した割合が、全ての支援制度で最も高くなっており、県の調査と大きな違いはありませんでした。



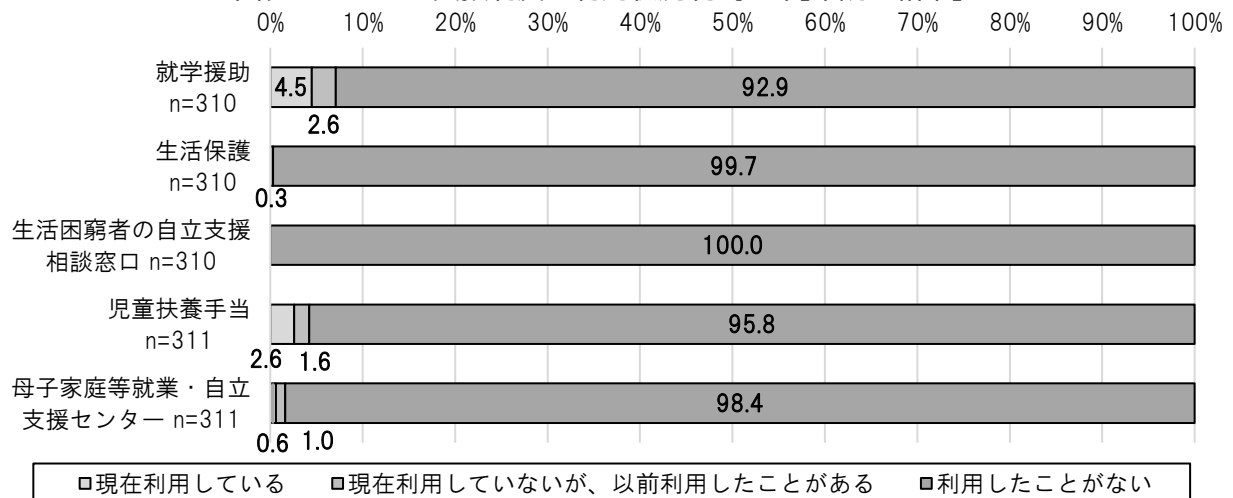


(2) 等価世帯収入が「中央値の2分の1以上中央値未満」の場合の支援制度の利用状況
保護者[小学生] (問 30. 各支援制度の利用状況)

等価世帯収入が「中央値の2分の1以上中央値未満」の場合、「現在利用している」と回答した割合は、小学生では「就学援助」が7.8%、「児童扶養手当」が7.5%となっています。その他の支援制度は、ほとんど利用されていません。

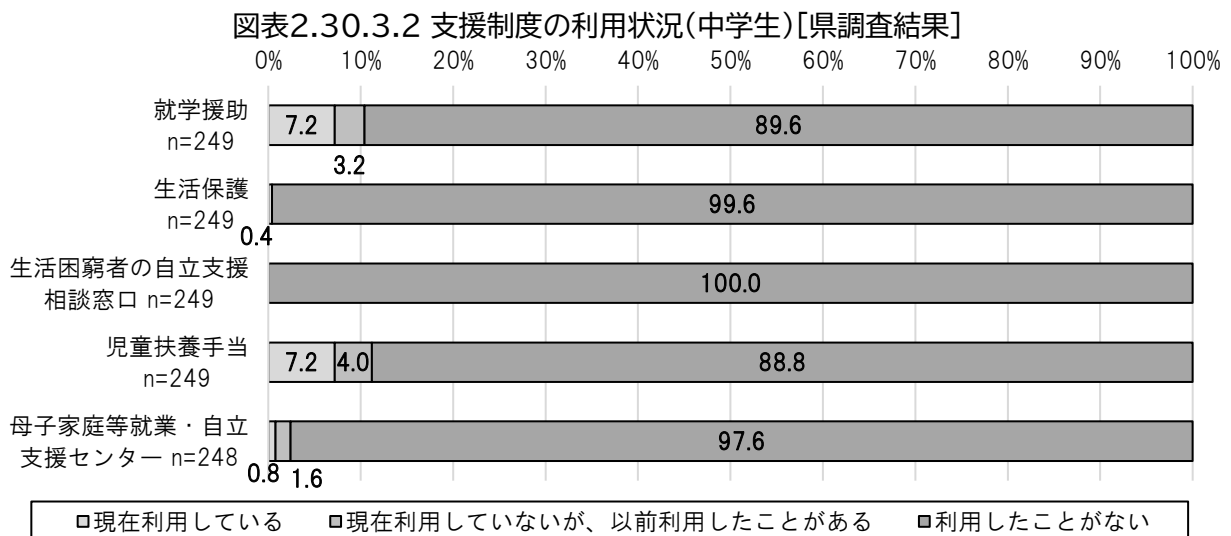
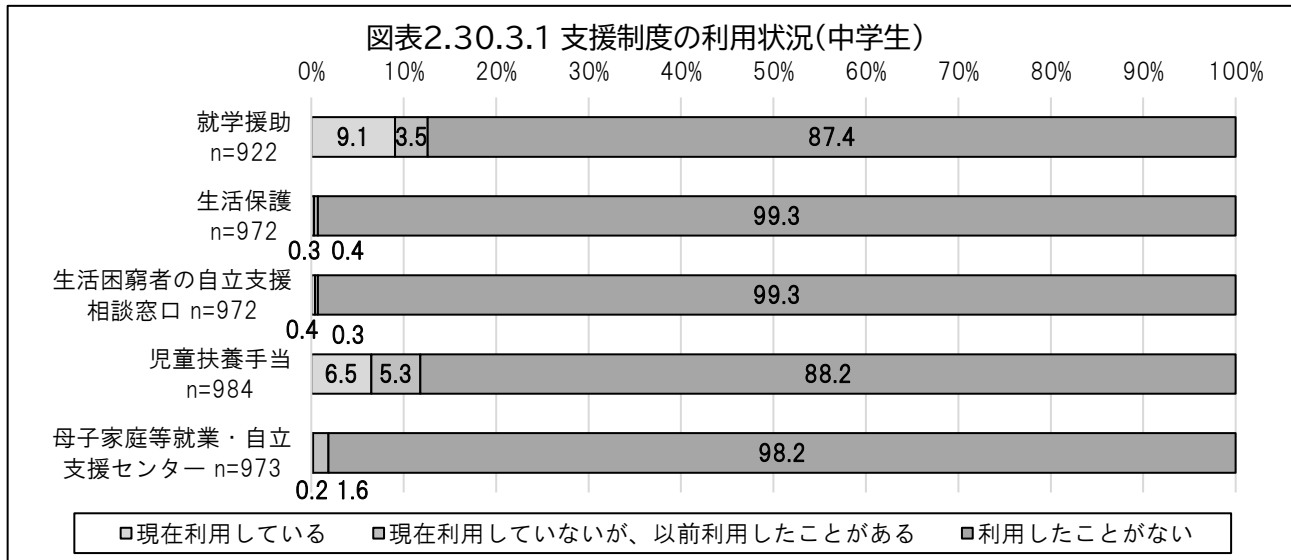


図表2.30.2.2 支援制度の利用状況(小学生)[県調査結果]



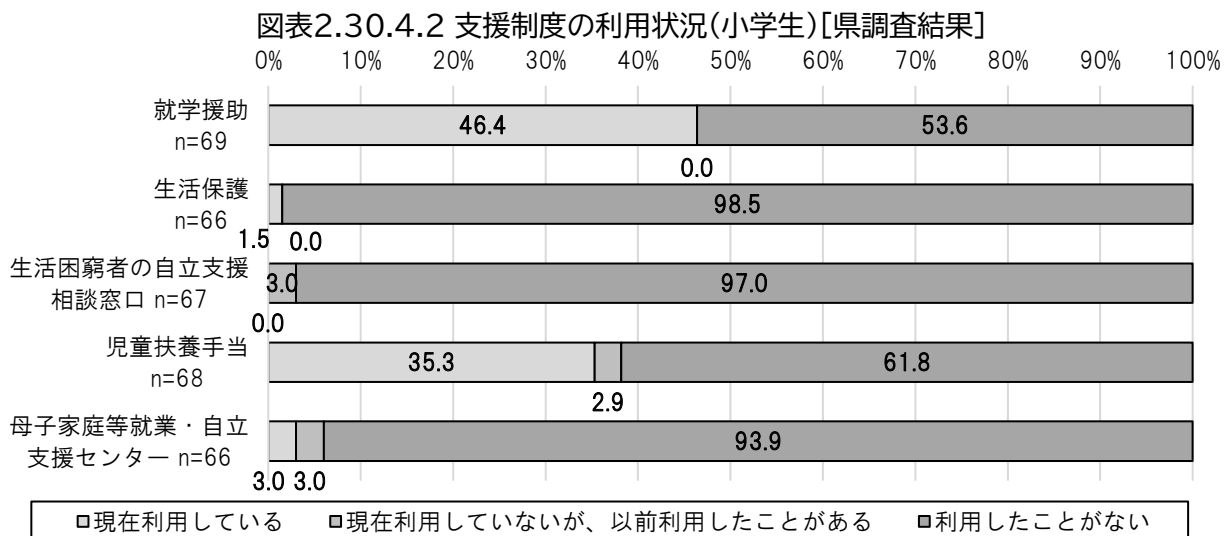
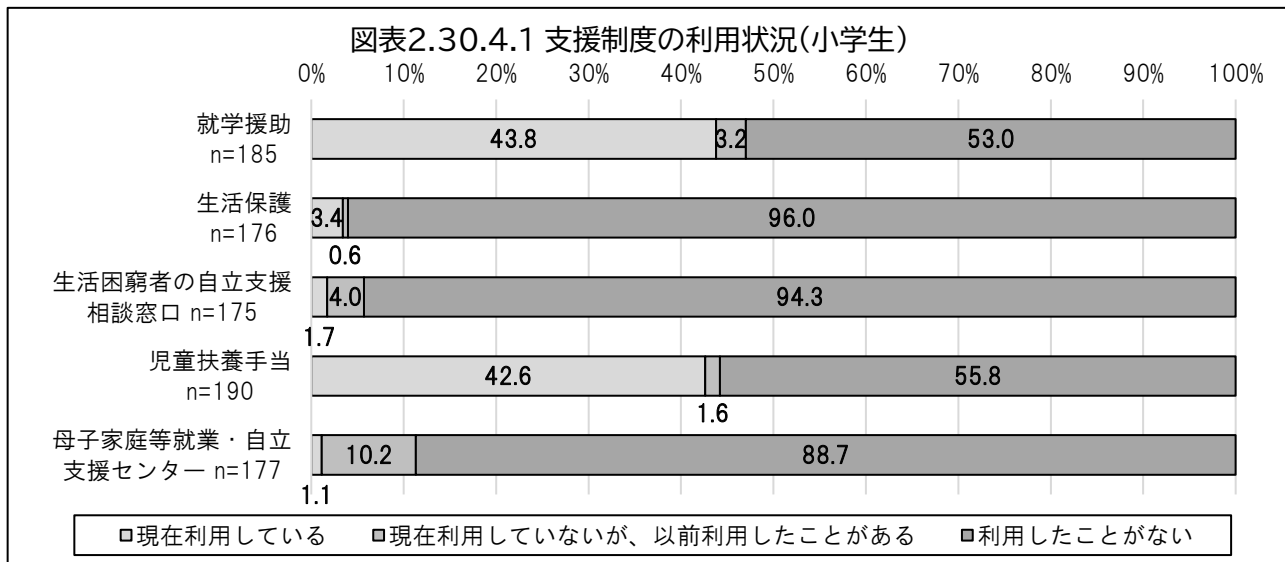
(3) 等価世帯収入が「中央値の2分の1以上中央値未満」の場合の支援制度の利用状況
保護者[中学生] (問 30. 各支援制度の利用状況)

等価世帯収入が「中央値の2分の1以上中央値未満」の場合、「現在利用している」と回答した割合は、中学生では「就学援助」が9.1%、「児童扶養手当」が6.5%となっています。その他の支援制度は、ほとんど利用されていません。



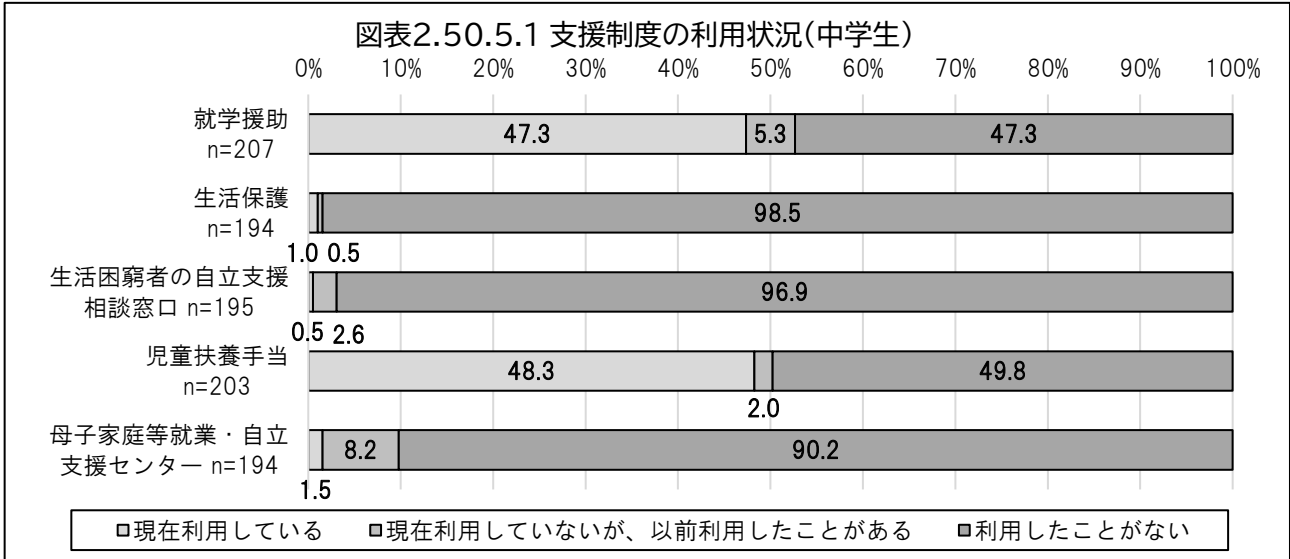
(4) 等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の場合の支援制度の利用状況
保護者[小学生] (問 30. 各支援制度の利用状況)

等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の場合、全ての支援制度で「現在利用している」が、全体と比較して高くなっていますが、特に、小学生では「就学援助」43.8% (全体 6.0%)、「児童扶養手当」が42.6% (全体 7.0%) と高くなっています。

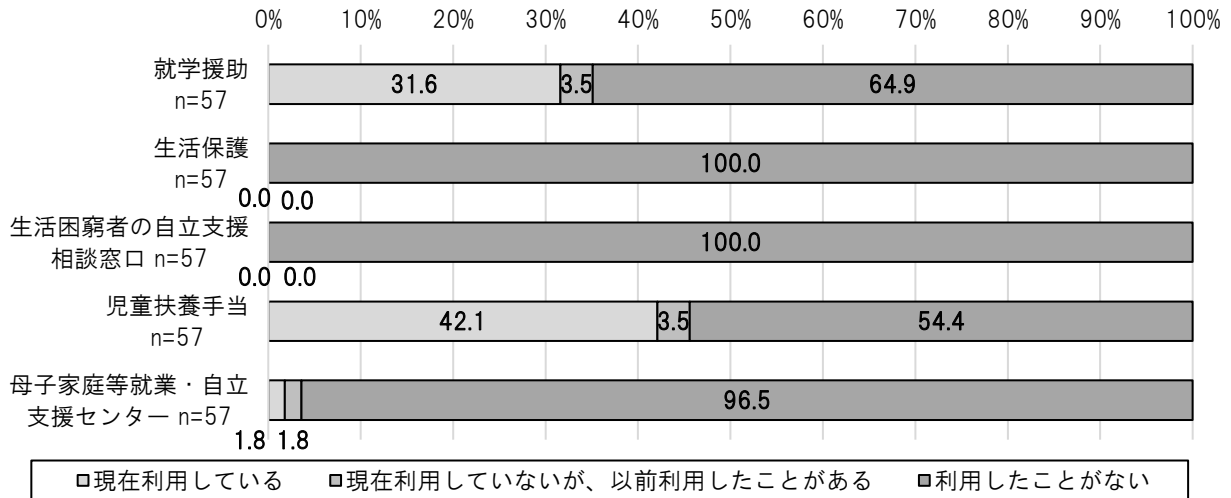


(5) 等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の場合の支援制度の利用状況
保護者[中学生] (問 30. 各支援制度の利用状況)

等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の場合、全ての支援制度で「現在利用している」が、全体と比較して高くなっていますが、特に、中学生では「就学援助」が47.3%（全体 7.6%）、「児童扶養手当」が48.3%（全体 7.6%）と高くなっています。

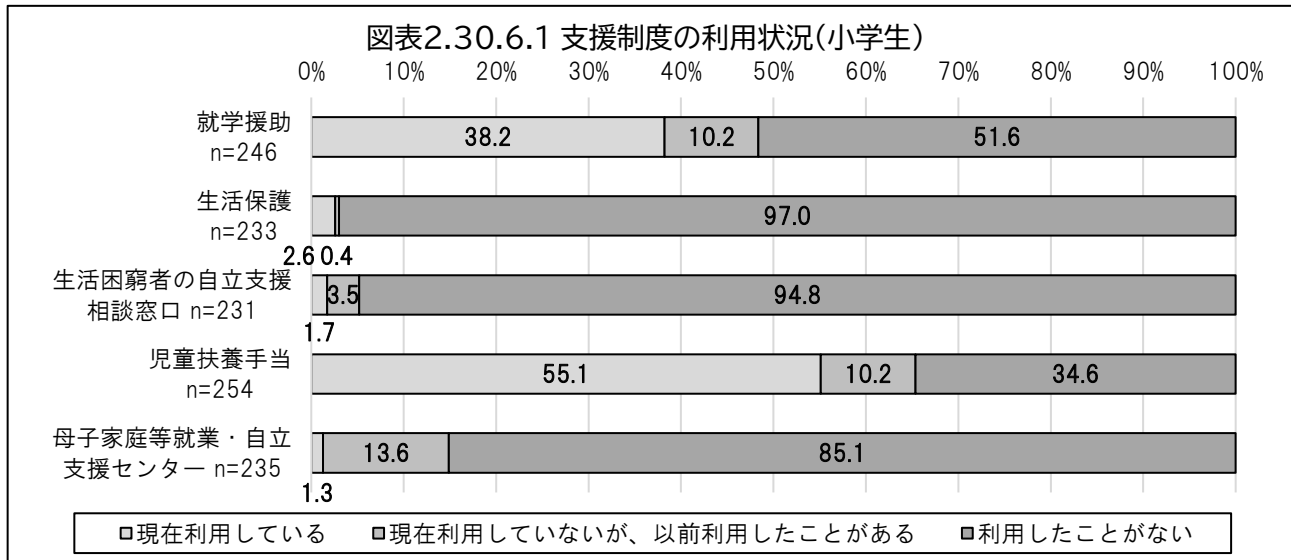


図表2.30.5.2 支援制度の利用状況(中学生)[県調査結果]

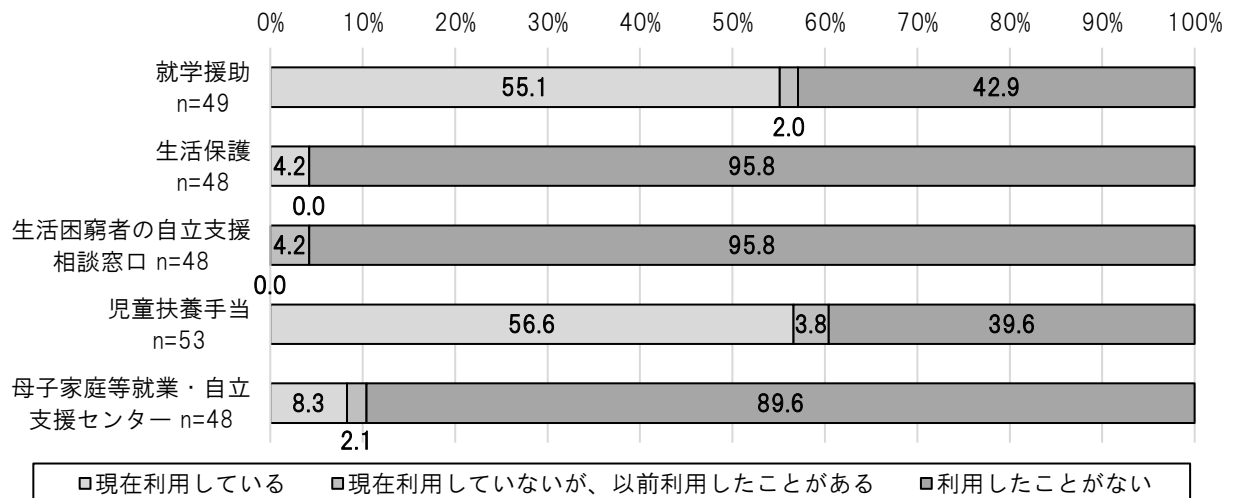


(6)世帯状況が「ひとり親世帯」の場合の支援制度の利用状況・保護者[小学生]
 (問 30. 各支援制度の利用状況)

世帯が「ひとり親世帯」の場合、全ての支援制度で「現在利用している」が、全体と比較して高くなっていますが、特に、小学生では「就学援助」が38.2%（全体 6.0%）、「児童扶養手当」が55.1%（全体 7.0%）と高くなっています。

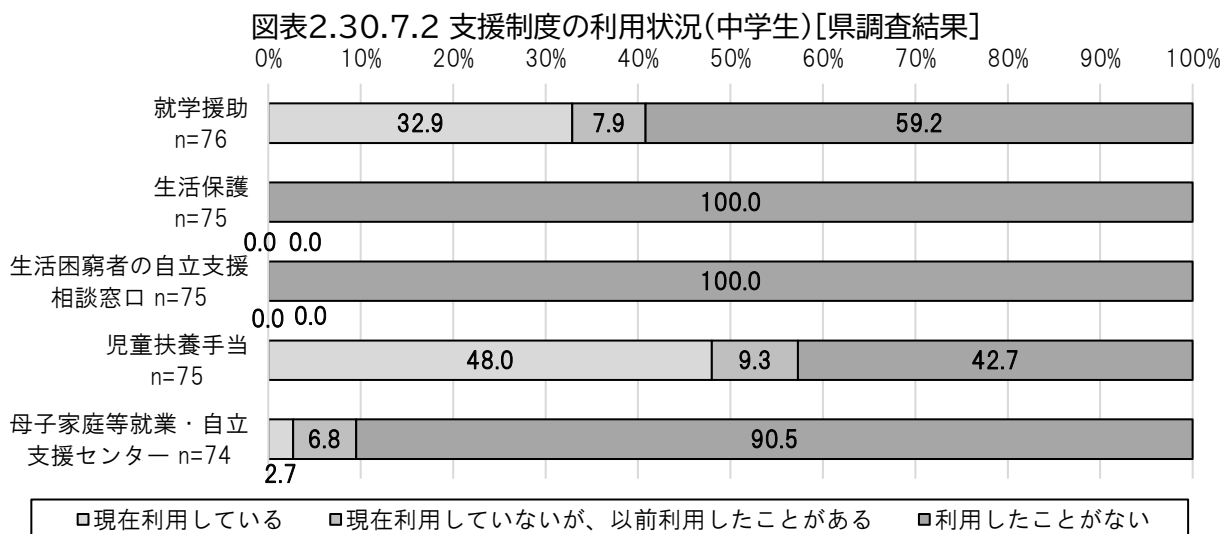
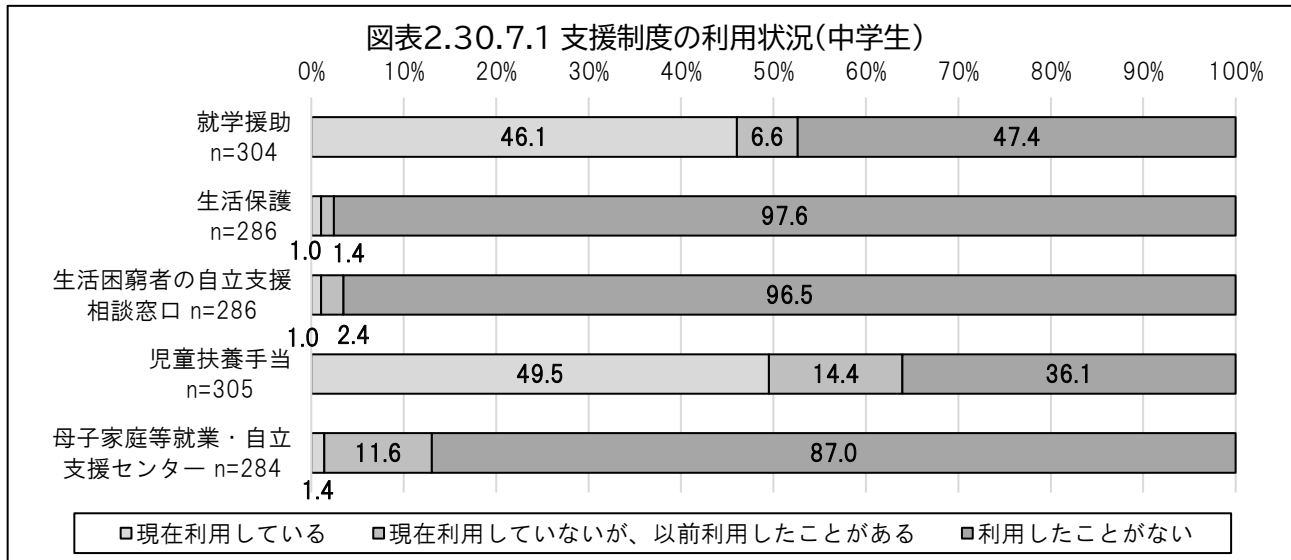


図表2.30.6.2 支援制度の利用状況(小学生)[県調査結果]



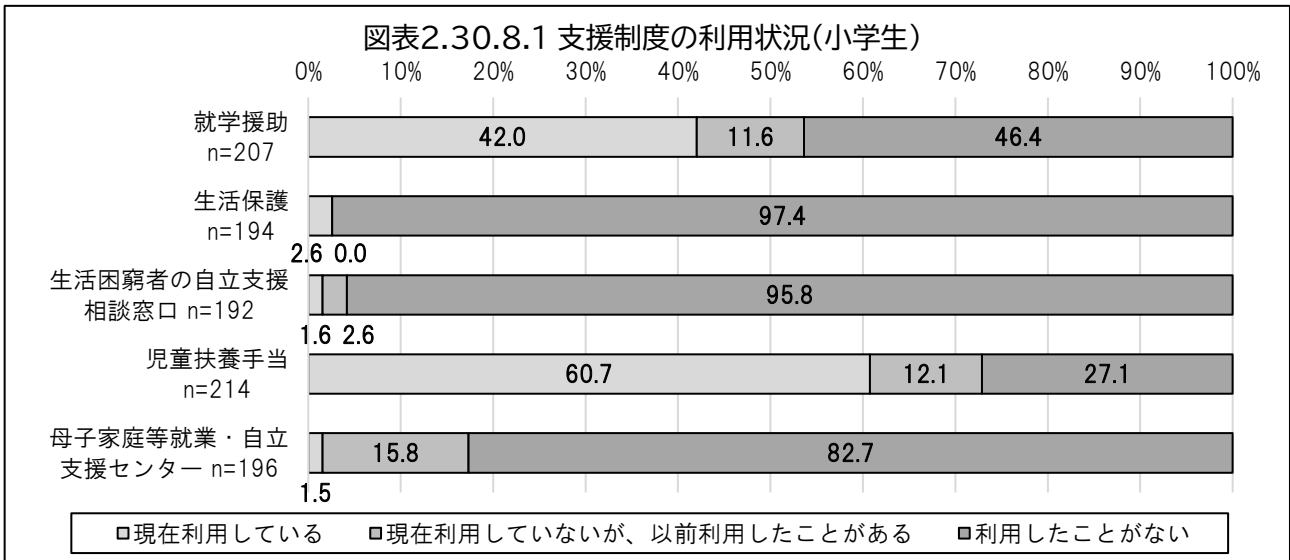
(7)世帯状況が「ひとり親世帯」の場合の支援制度の利用状況・保護者[中学生]
 (問 30. 各支援制度の利用状況)

世帯が「ひとり親世帯」の場合、全ての支援制度で「現在利用している」が、全体と比較して高くなっていますが、特に、中学生では「就学援助」が46.1%（全体7.6%）、「児童扶養手当」が49.5%（全体7.6%）と高くなっています。

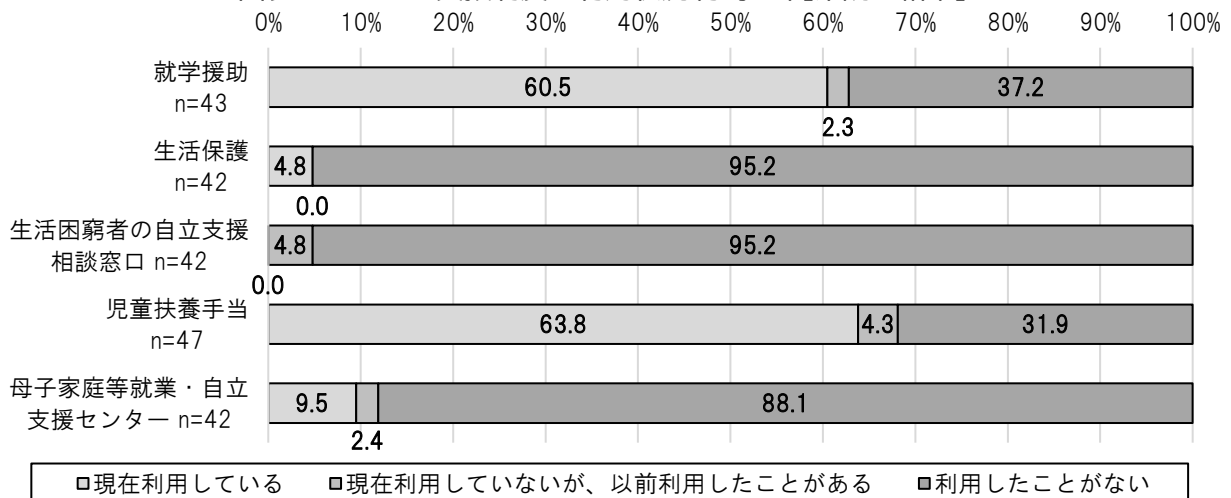


(8)世帯状況が「母子世帯」の場合の支援制度の利用状況・保護者[小学生]
 (問 30. 各支援制度の利用状況)

世帯が「母子世帯」の場合、全ての支援制度で「現在利用している」が、全体と比較して高くなっていますが、特に、小学生では「就学援助」が42.0%(全体6.0%)、「児童扶養手当」が60.7%(全体7.0%)、と高くなっています。

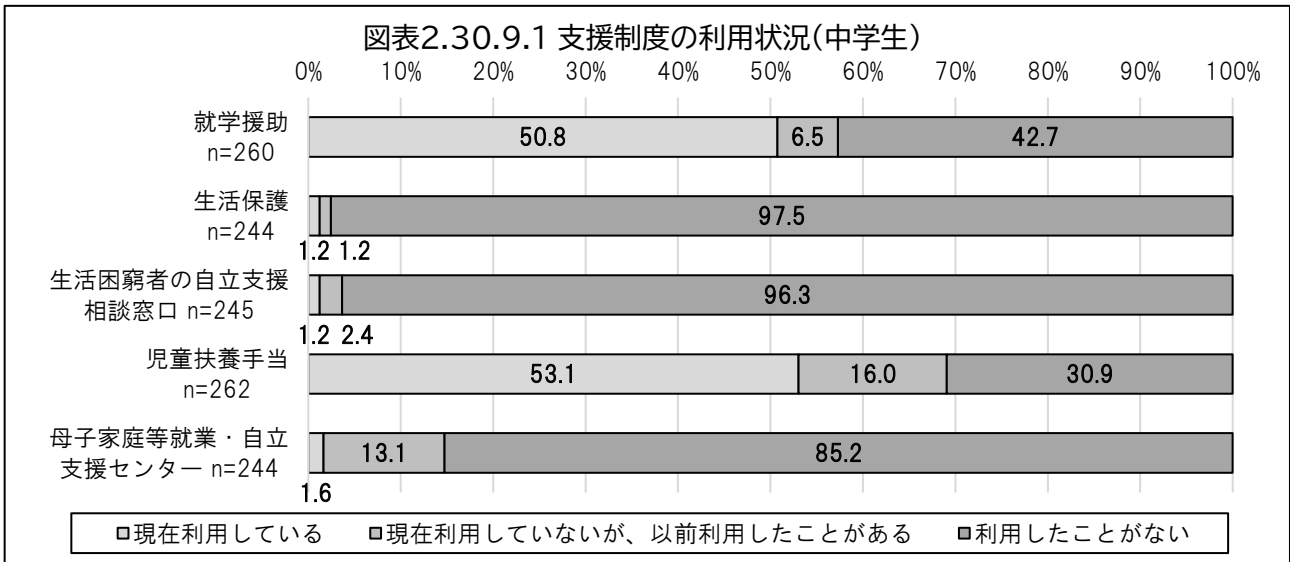


図表2.30.8.2 支援制度の利用状況(小学生)[県調査結果]

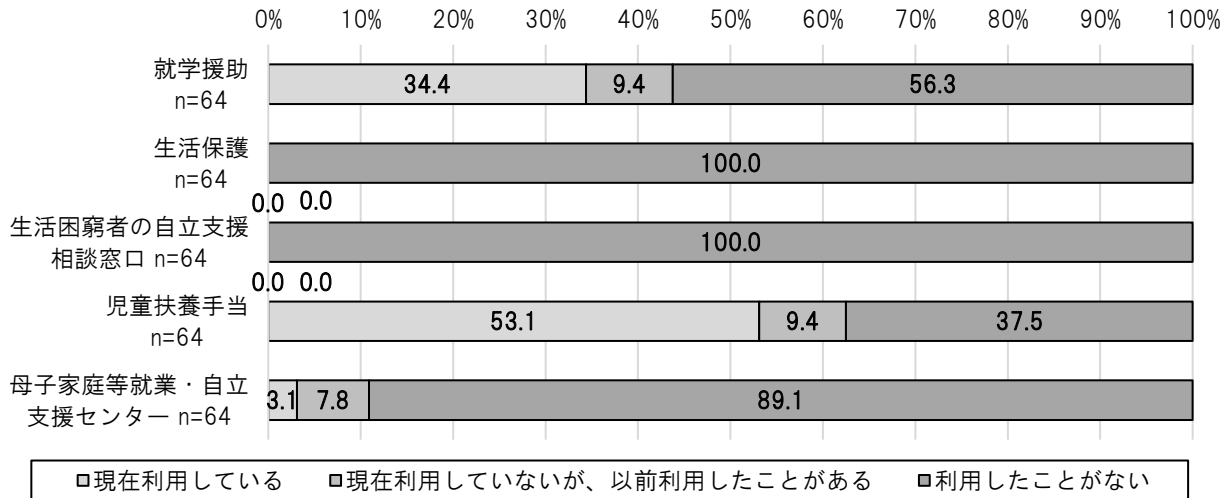


(9)世帯状況が「母子世帯」の場合の支援制度の利用状況・保護者[中学生]
 (問 30. 各支援制度の利用状況)

世帯が「母子世帯」の場合、全ての支援制度で「現在利用している」が、全体と比較して高くなっていますが、特に、中学生では「就学援助」が50.8%(全体7.6%)、「児童扶養手当」が53.1%(全体7.6%)、と高くなっています。

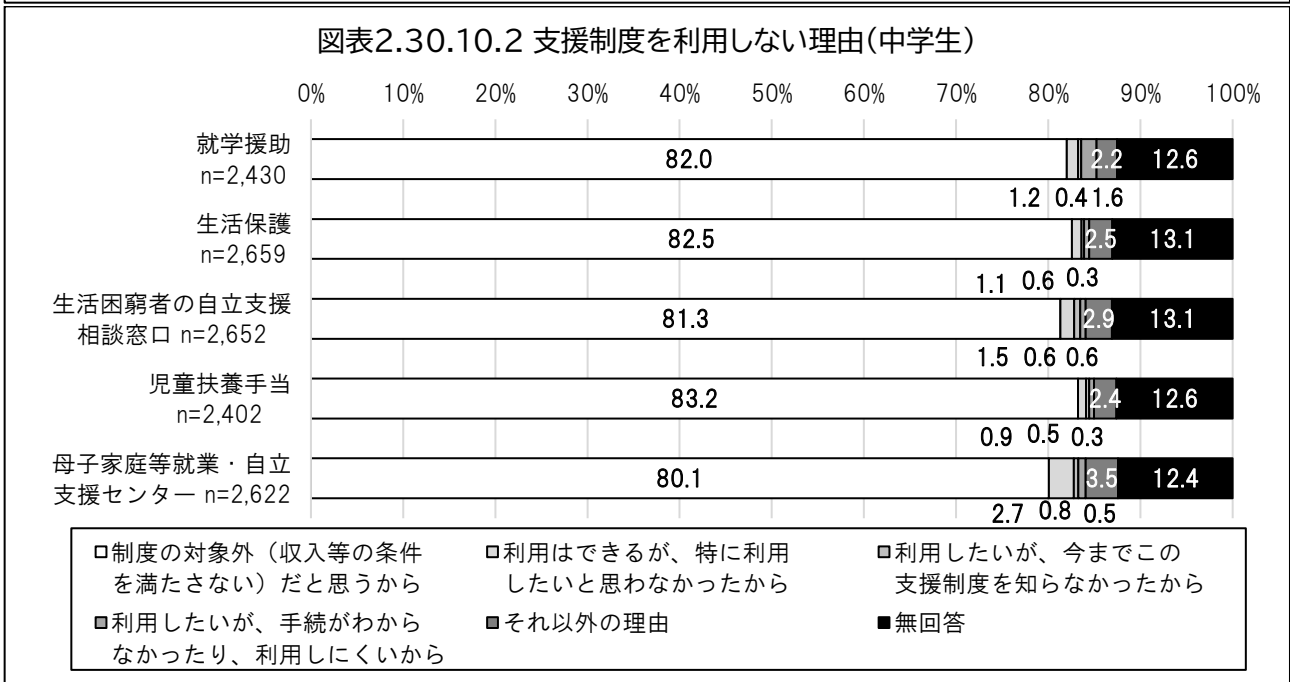
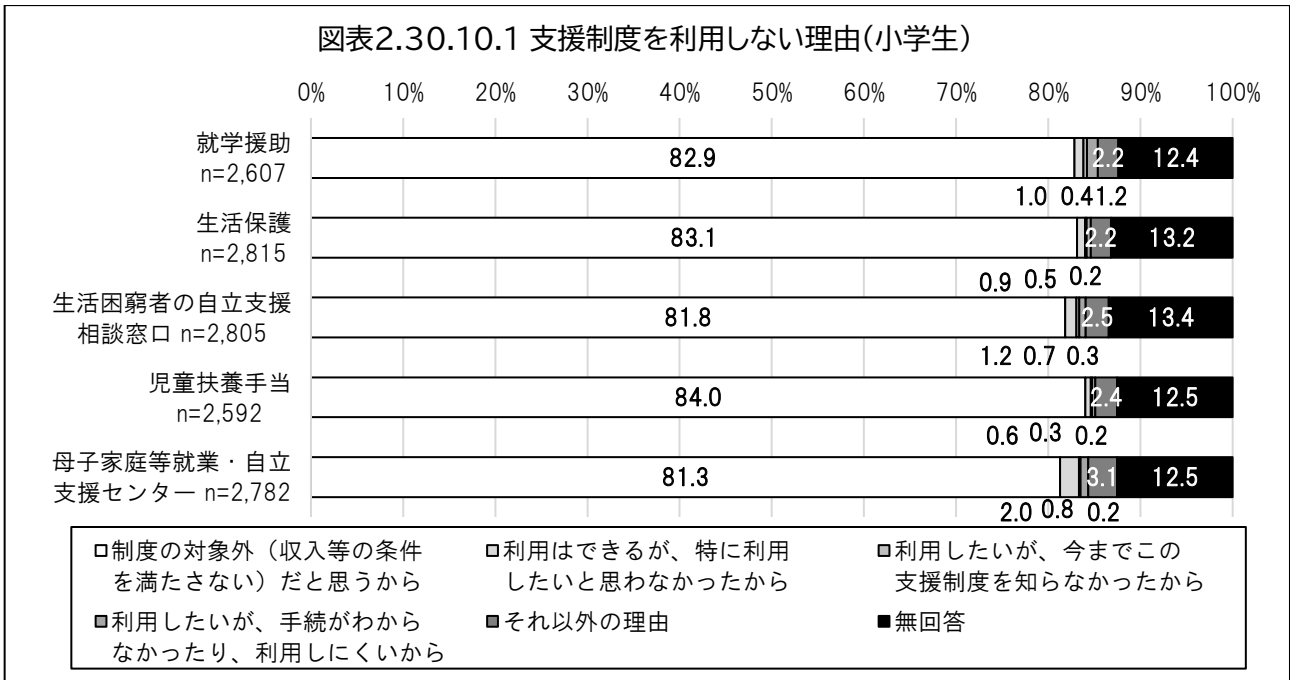


図表2.30.9.2 支援制度の利用状況(中学生)[県調査結果]



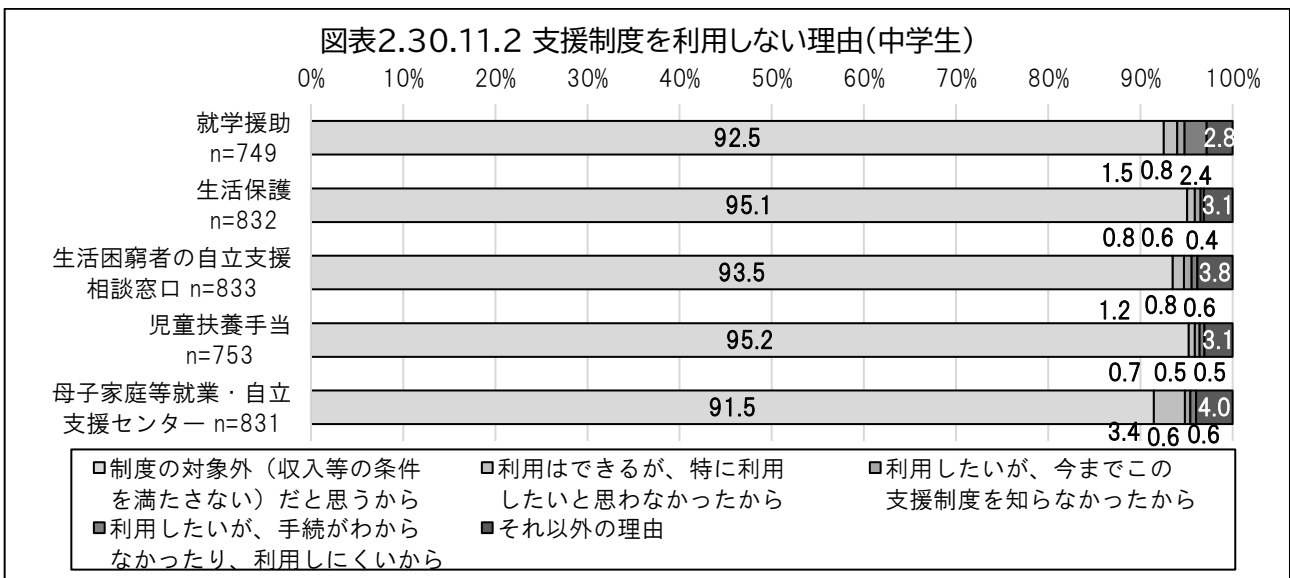
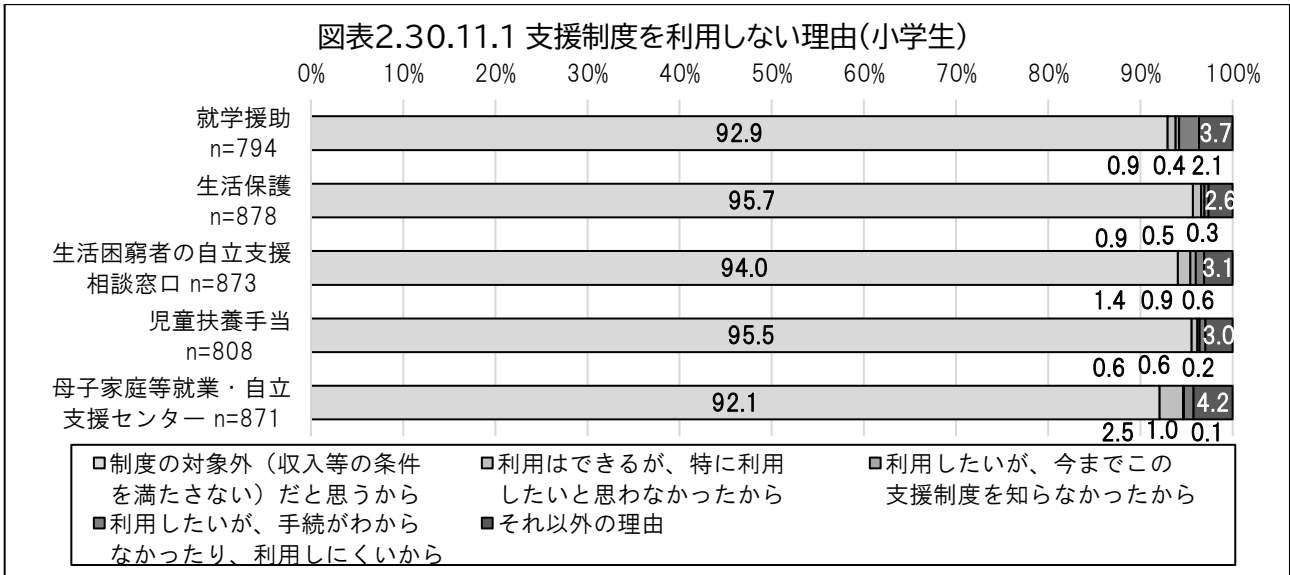
(10)支援制度を利用しない理由（全体）

各支援制度を利用していない理由について回答した割合は、小学生・中学生ともに、「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」が、すべての支援制度で最も高い理由となっています。



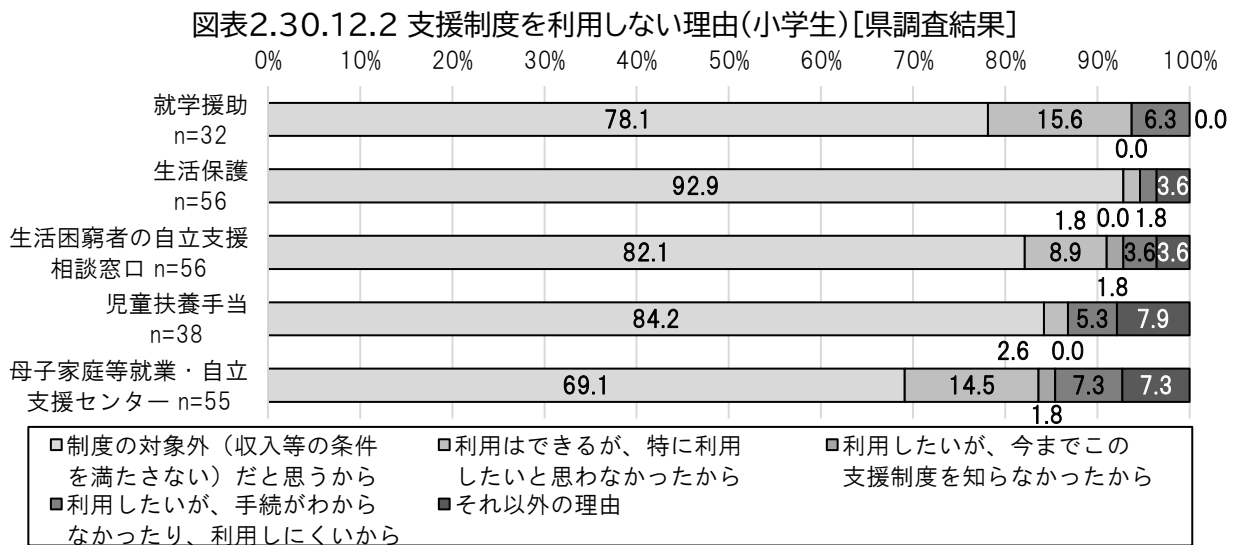
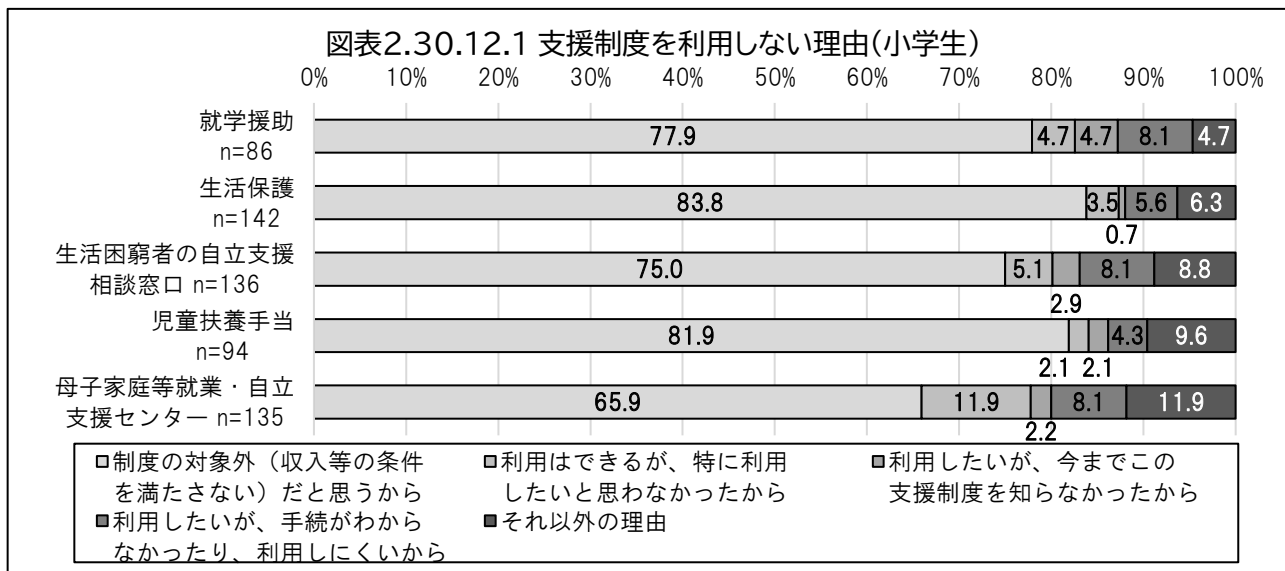
(11) 等価世帯収入が「中央値の2分の1以上中央値未満」の場合の支援制度を利用しない理由

等価世帯収入が「中央値の2分の1以上中央値未満」の場合、各支援制度を利用しない理由について回答した割合は、小学生・中学生ともに、「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」が、すべての支援制度で最も高い理由となっています。



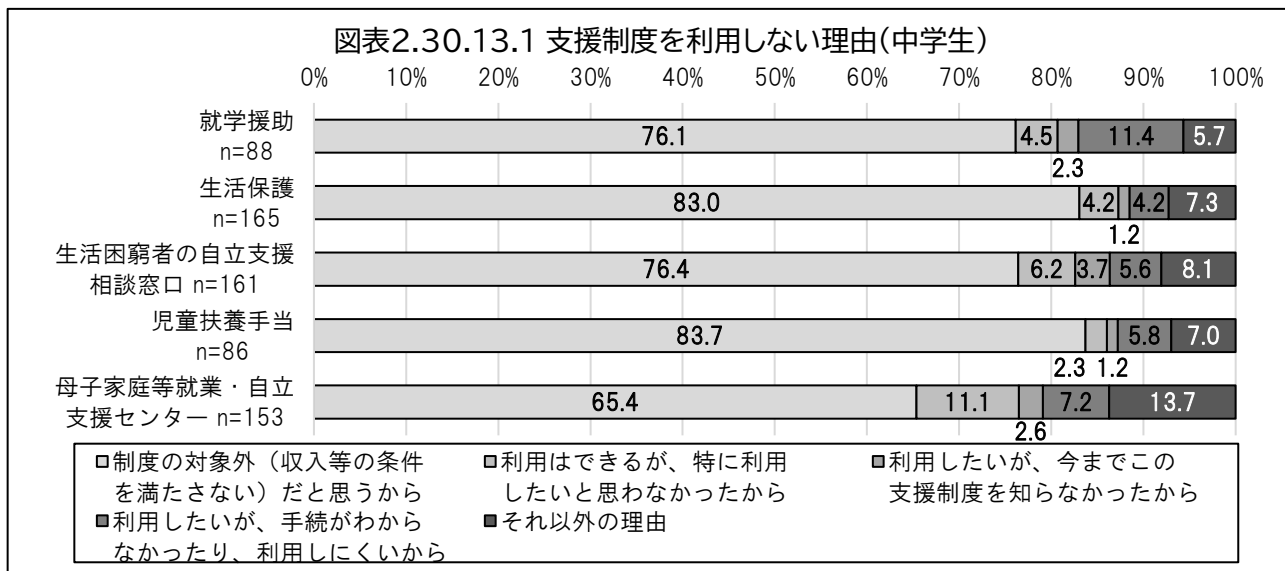
(12) 等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の場合の支援制度を利用しない理由
保護者[小学生] (問 30. 各支援制度の利用状況)

等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の場合、各支援制度を利用しない理由について回答した割合は、小学生では、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」と「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」の合計が、「就学援助」は12.8%、「生活困窮者の自立支援相談窓口」は11.0%、「母子家庭等就業・自立支援センター」は10.3%となっています。

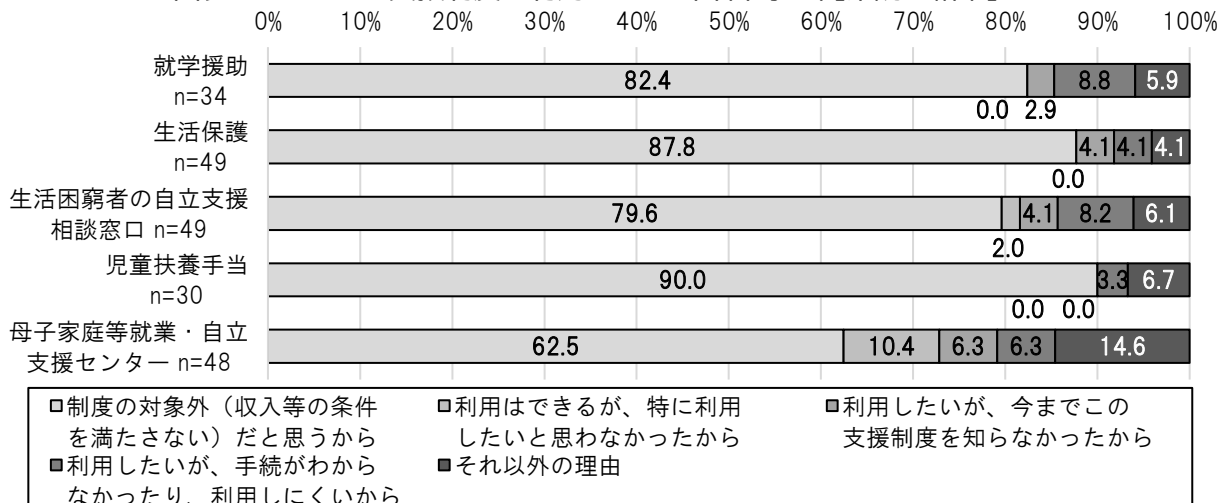


(13) 等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の場合の支援制度を利用しない理由
保護者[中学生] (問 30. 各支援制度の利用状況)

等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の場合、各支援制度を利用しない理由について回答した割合は、中学生では、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」と「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」の合計が、「就学援助」は 13.7%、「生活困窮者の自立支援相談窓口」は 9.3%、「母子家庭等就業・自立支援センター」は 9.8%となっています。

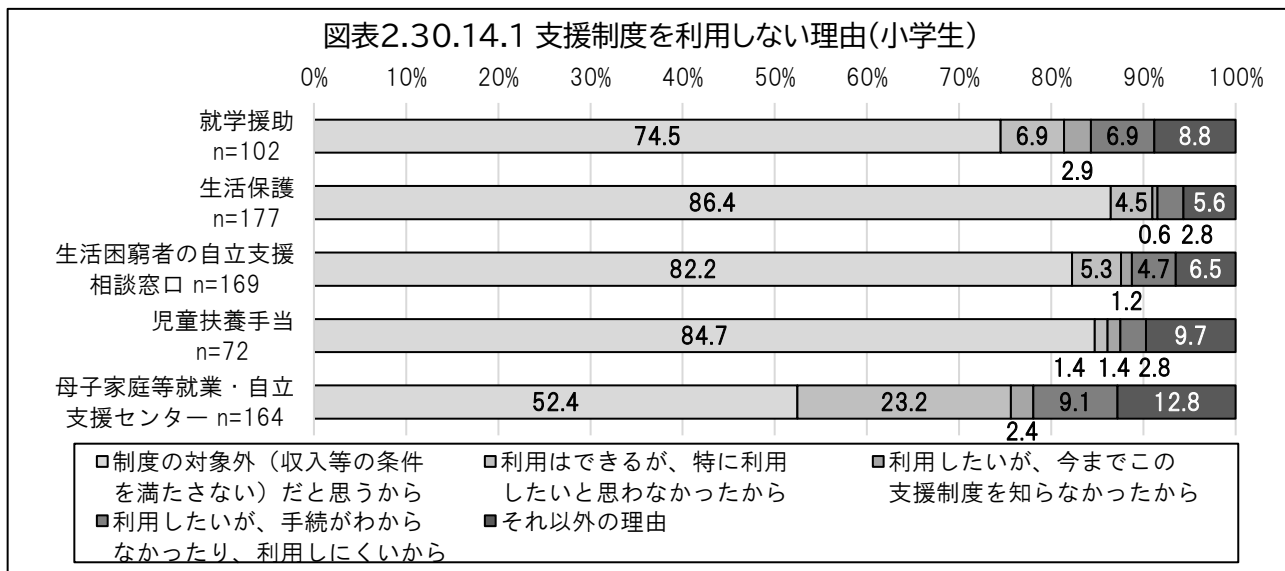


図表2.30.13.2 支援制度を利用しない理由(中学生)[県調査結果]



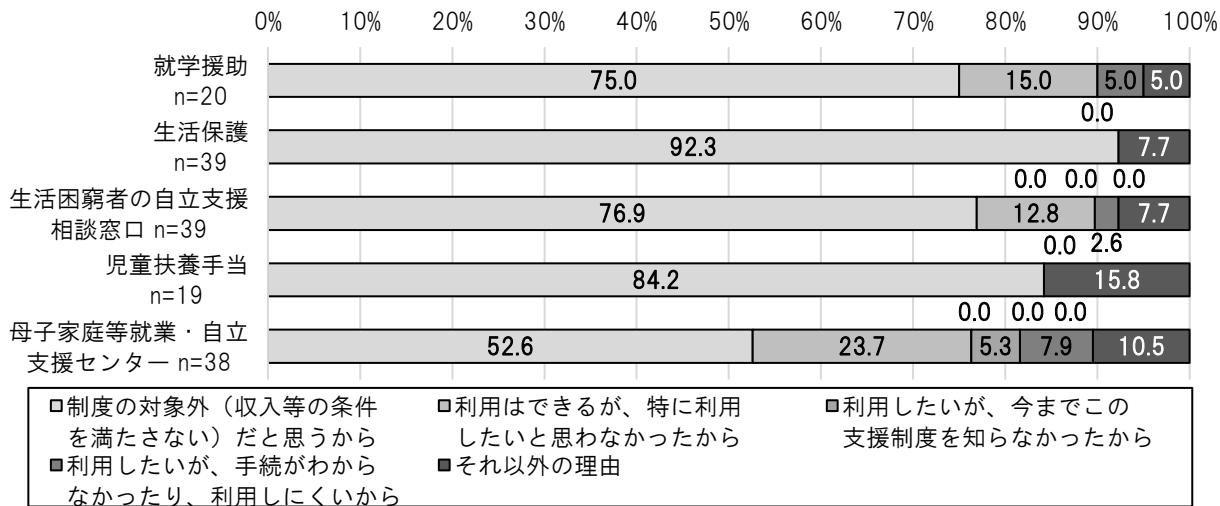
(14)世帯状況が「ひとり親世帯」の場合の支援制度を利用しない理由
保護者[小学生]（問 30. 各支援制度の利用状況）

世帯状況が「ひとり親世帯」の場合、各支援制度を利用しない理由について回答した割合は、小学生では「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」と「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」の合計が、「就学援助」は9.8%、「母子家庭等就業・自立支援センター」は11.5%となっています。



□制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから
□利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから
□利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから
■利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから
■それ以外の理由

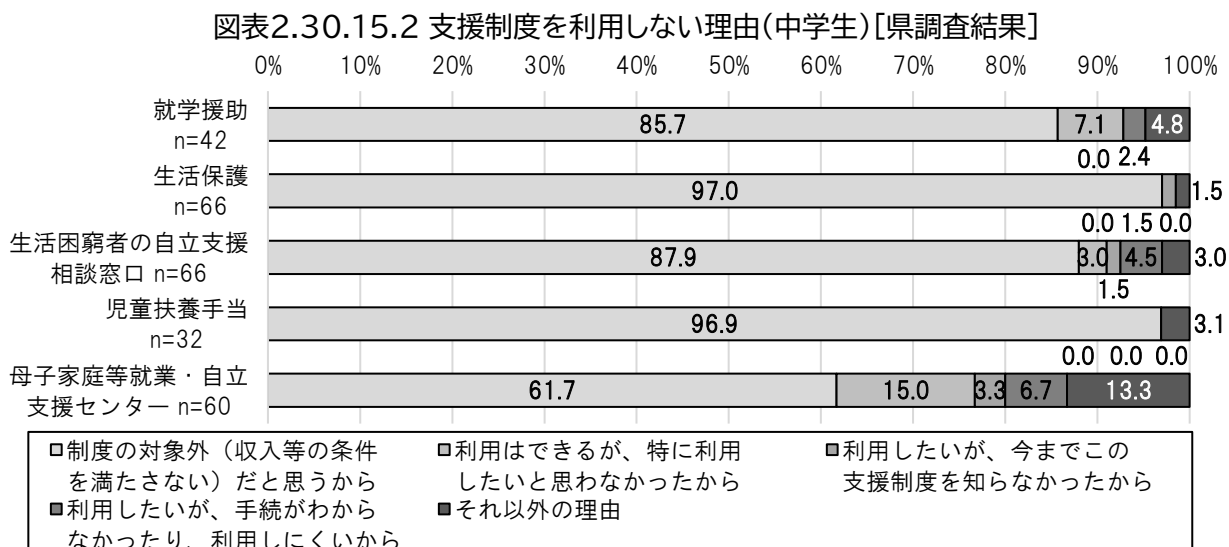
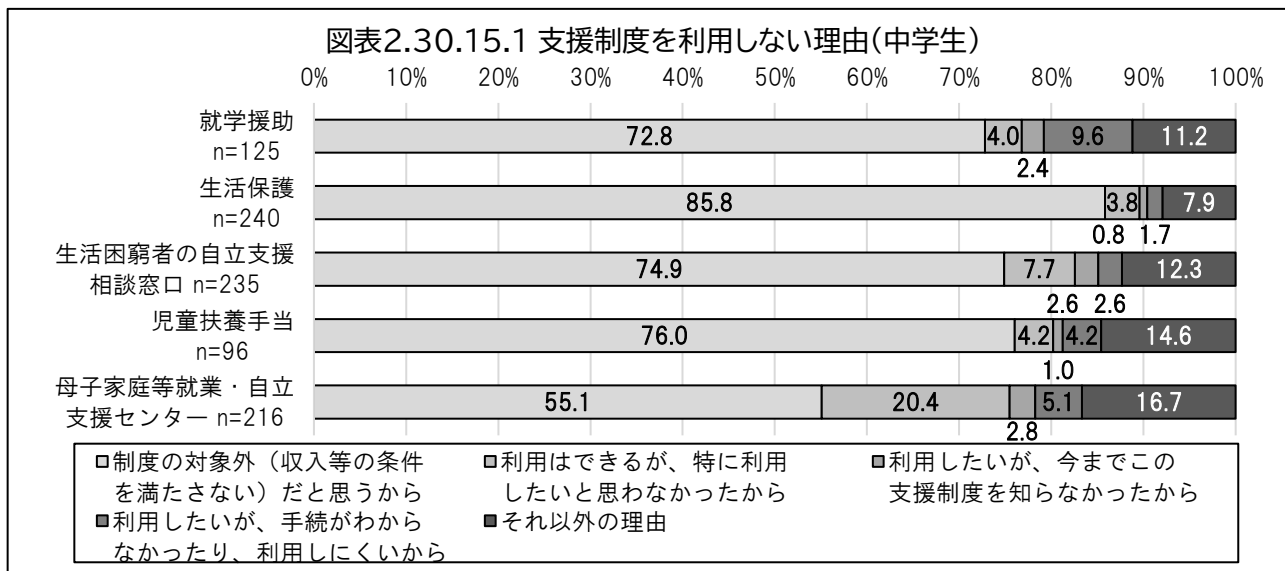
図表2.30.14.2 支援制度を利用しない理由(小学生)[県調査結果]



□制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから
□利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから
□利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから
■利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから
■それ以外の理由

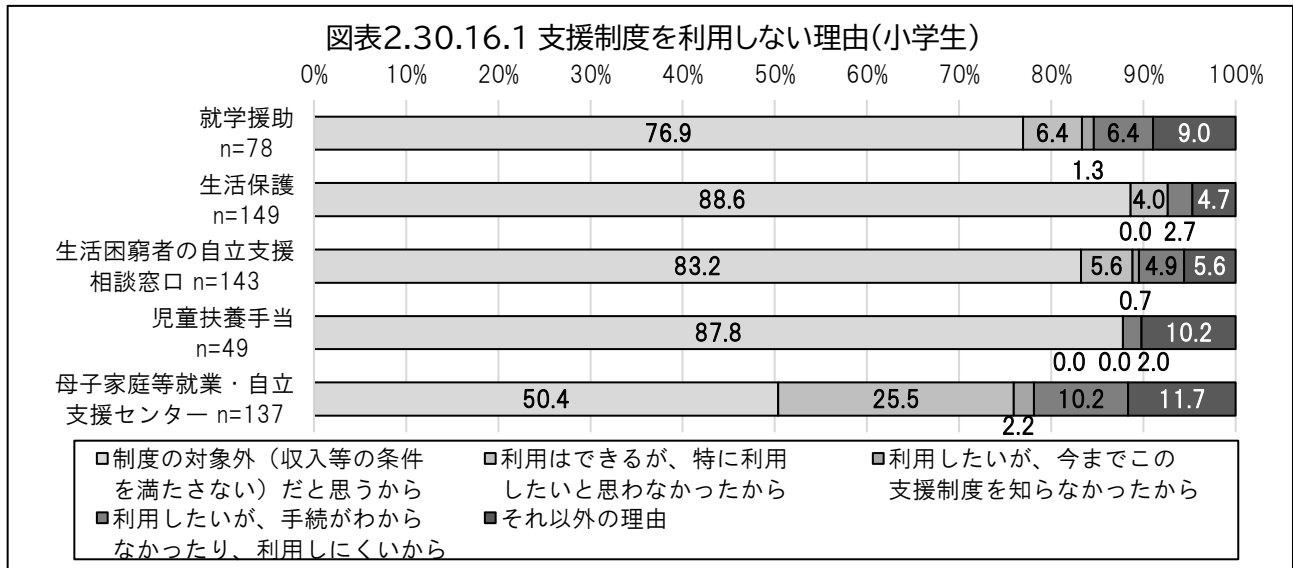
(15)世帯状況が「ひとり親世帯」の場合の支援制度を利用しない理由
保護者[中学生] (問 30. 各支援制度の利用状況)

世帯状況が「ひとり親世帯」の場合、各支援制度を利用しない理由について回答した割合は、中学生では、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」と「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」の合計が、「就学援助」は 12.0%、「母子家庭等就業・自立支援センター」は 7.9%となっています。



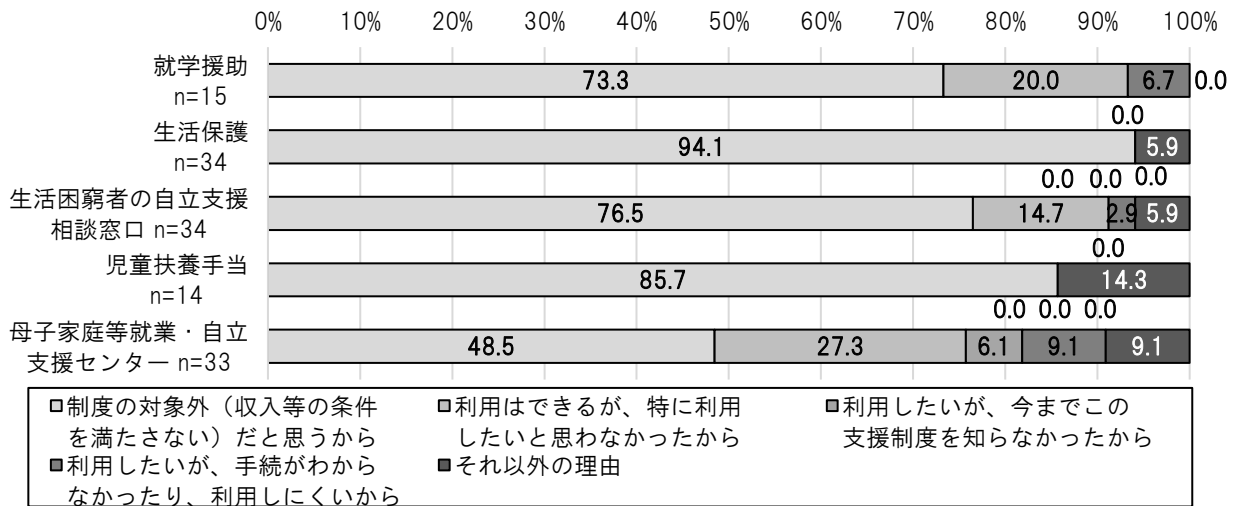
(16)世帯状況が「母子世帯」の場合の支援制度を利用しない理由
保護者[小学生] (問 30. 各支援制度の利用状況)

世帯状況が「母子世帯」の場合、各支援制度を利用しない理由について回答した割合は、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」と「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」の合計が、「就学援助」は 7.7% 「母子家庭等就業・自立支援センター」は 12.4% となっています。



□制度の対象外 (収入等の条件を満たさない) だと思っから
■利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから
▣利用できるが、特に利用したいと思わなかったから
■それ以外の理由
■利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから

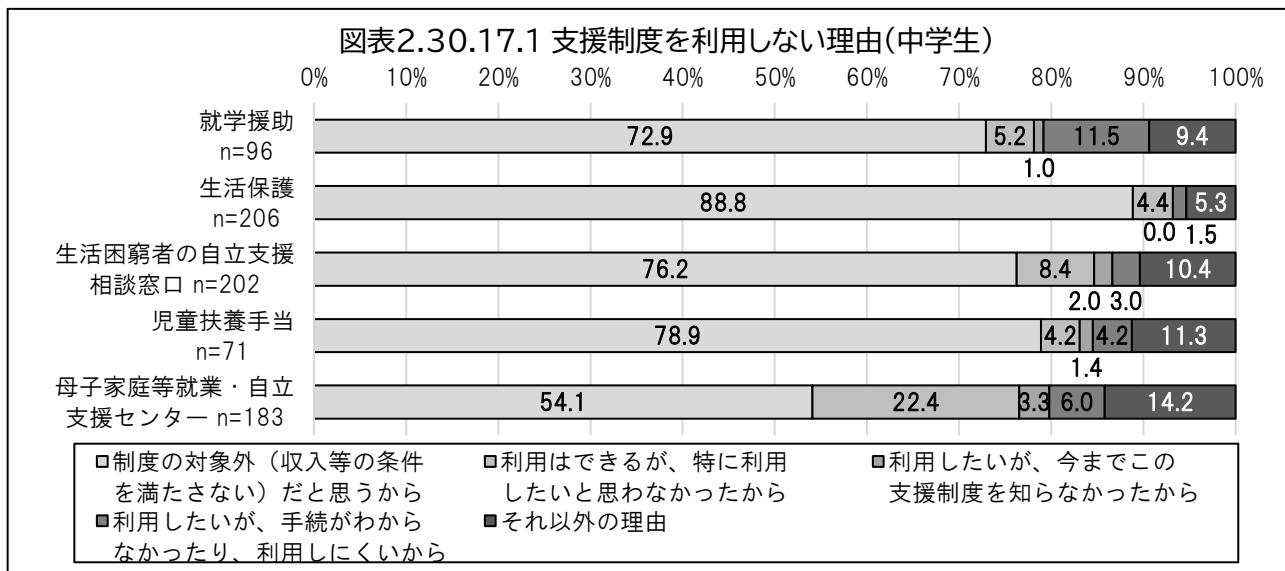
図表2.30.16.2 支援制度を利用しない理由(小学生)[県調査結果]



□制度の対象外 (収入等の条件を満たさない) だと思っから
■利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから
▣利用できるが、特に利用したいと思わなかったから
■それ以外の理由
■利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから

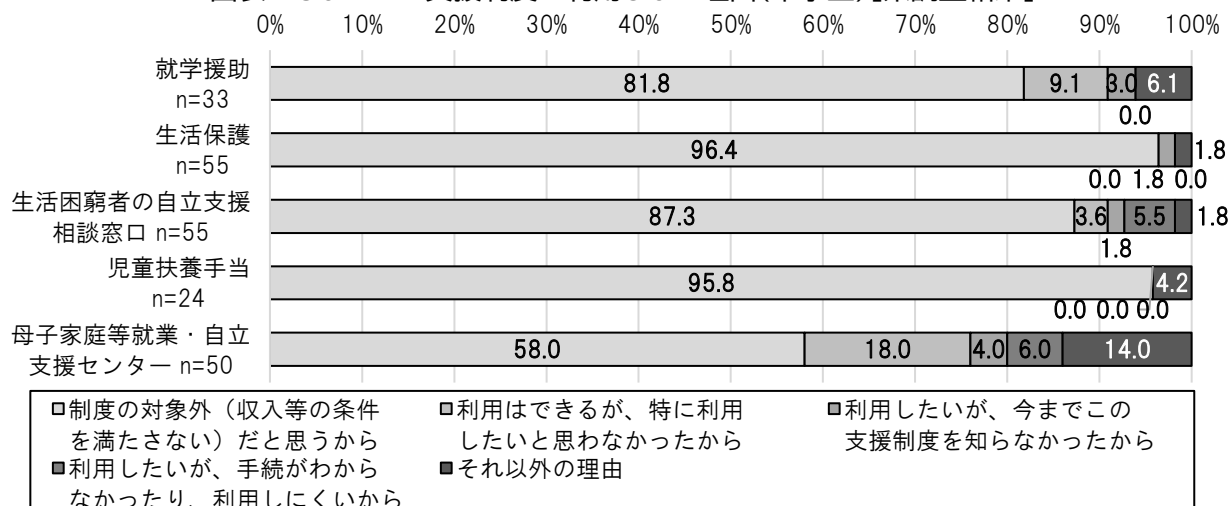
(17)世帯状況が「母子世帯」の場合の支援制度を利用しない理由
保護者[中学生] (問 30. 各支援制度の利用状況)

世帯状況が「母子世帯」の場合、各支援制度を利用しない理由について回答した割合は、中学生では、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」と「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」の合計が、「就学援助」は12.5%、「母子家庭等就業・自立支援センター」は9.3%となっています。



□制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから
■利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから
▣利用できるが、特に利用したいと思わなかったから
■それ以外の理由
■利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから

図表2.30.17.2 支援制度を利用しない理由(中学生)[県調査結果]



□制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから
■利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから
▣利用できるが、特に利用したいと思わなかったから
■それ以外の理由
■利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから

問31. 富山市の子育てに関する施策の中で今後さらに充実して欲しいと思う施策は何ですか。

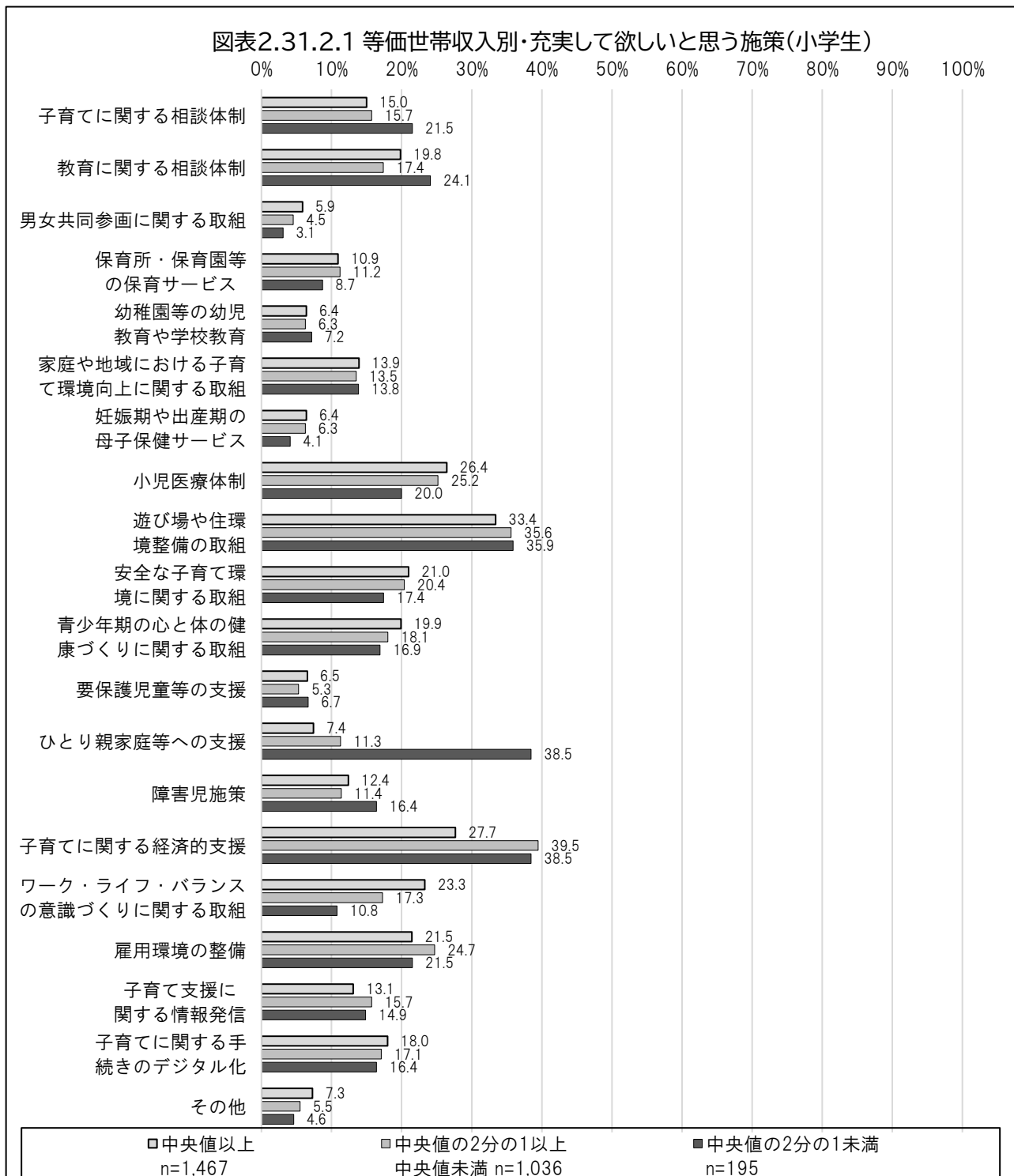
(1)全体

富山市の子育てに関する施策の中で今後充実して欲しいと思う施策について、小学生では、「遊び場や住環境整備の取組」が34.2%と最も高く、次いで「子育てに関する経済的支援」が32.6%、「小児医療体制」が25.4%となっています。中学生では、「子育てに関する経済的支援」が30.3%と最も高く、次いで「雇用環境の整備」が22.5%となっています。

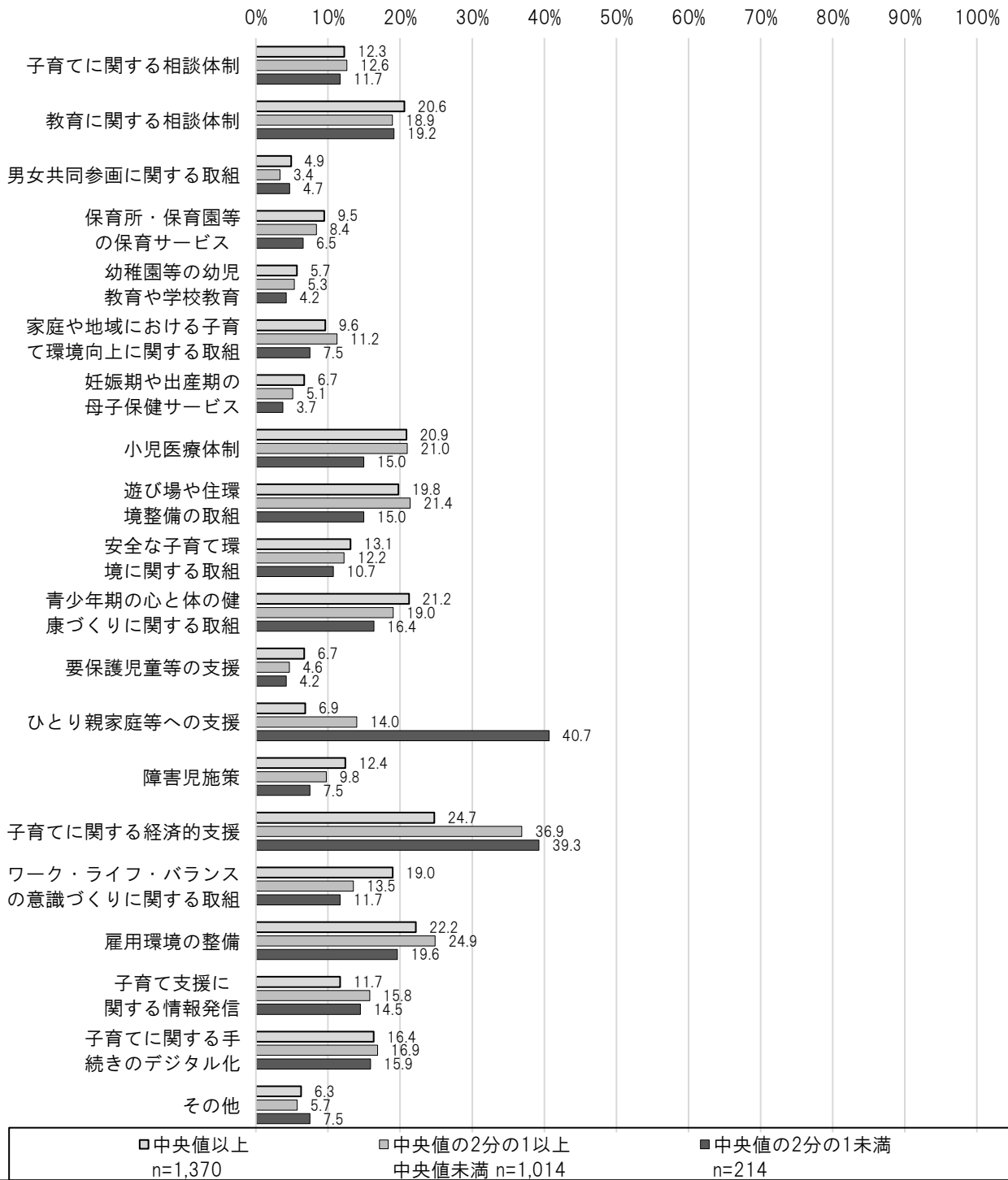


(2)等価世帯収入別

富山市の子育てに関する施策の中で今後充実して欲しいと思う施策について、等価世帯収入別にみると、小学生・中学生ともに、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では、「ひとり親家庭等への支援」が38.5%、40.7%、「子育てに関する経済的支援」が38.5%、39.3%と「中央値以上」の世帯と比較して高くなっています。また小学生では、「子育てに関する相談体制」（21.5%）、「教育に関する相談体制」（24.1%）、「障害児施策」（16.4%）も他の水準と比較して高くなっています。

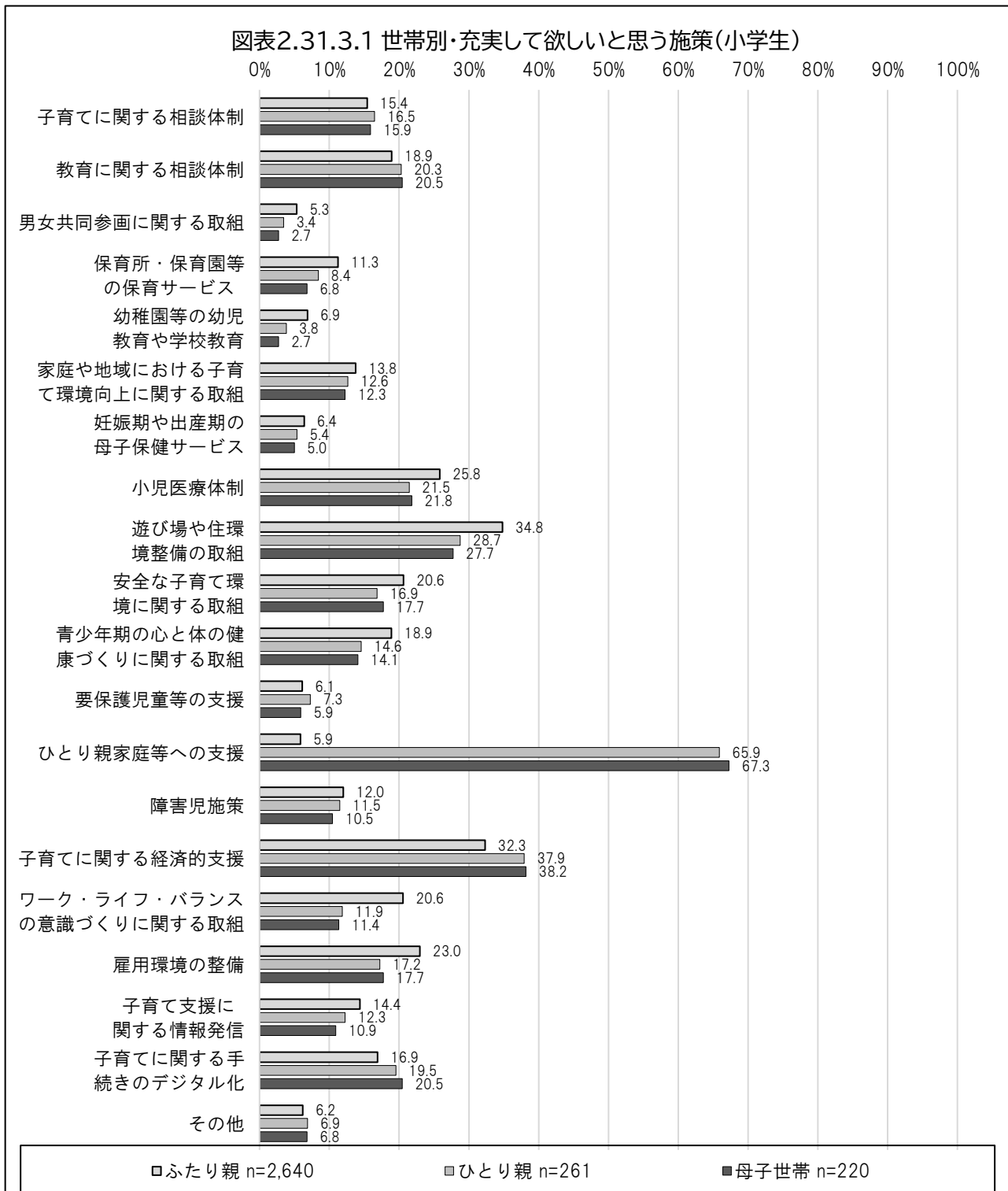


図表2.31.2.2 等価世帯収入別・充実して欲しいと思う施策(中学生)

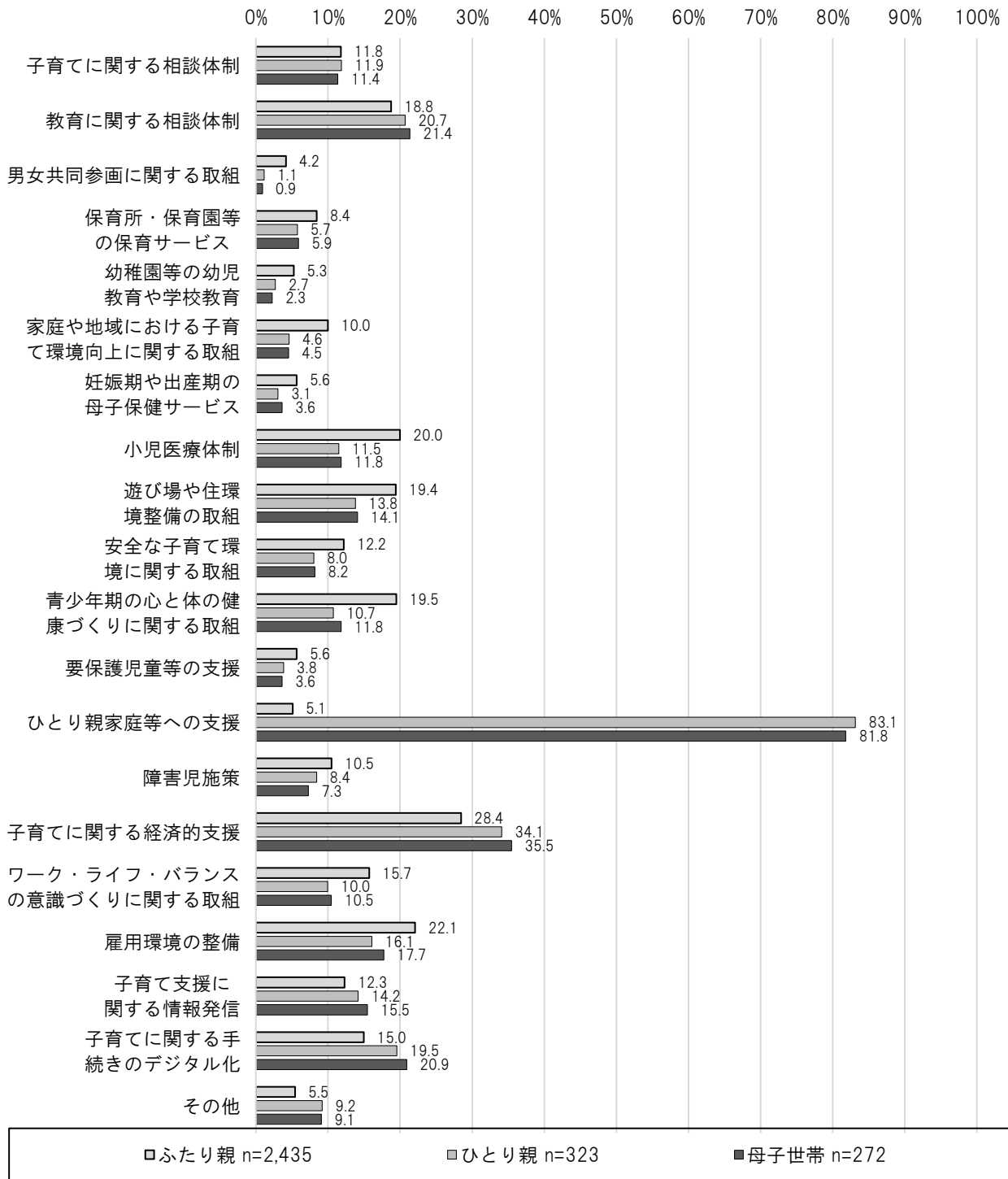


(3)世帯別

富山市の子育てに関する施策の中で今後充実して欲しいと思う施策について、世帯別にみると、小学生・中学生ともに、ひとり親世帯では「ひとり親家庭等への支援」が65.9%、83.1%、「子育てに関する経済的支援」が37.9%、34.1%とふたり親世帯に比較して高くなっています。



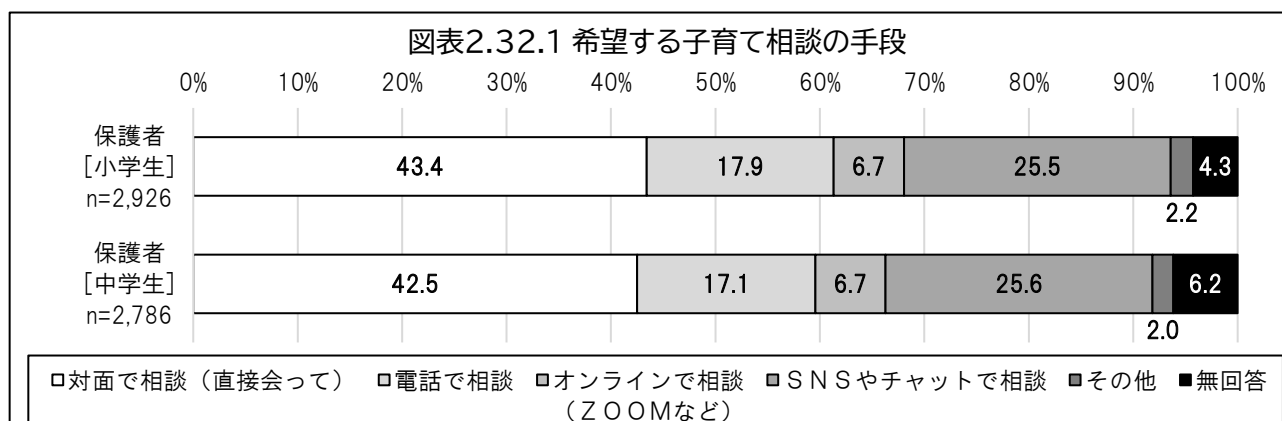
図表2.31.3.2 世帯別・充実して欲しいと思う施策(中学生)



問3 2. 子育ての相談をする手段として、どのような方法を希望しますか。

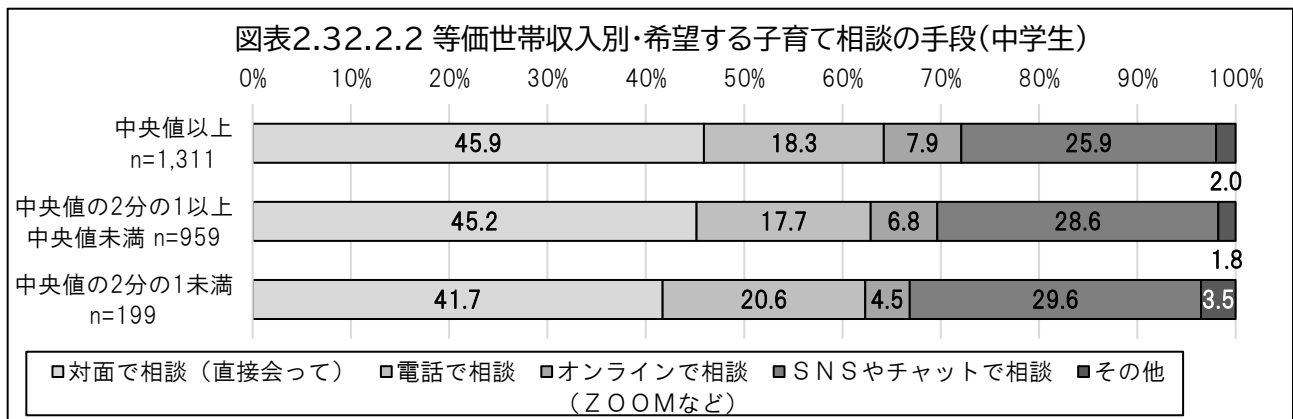
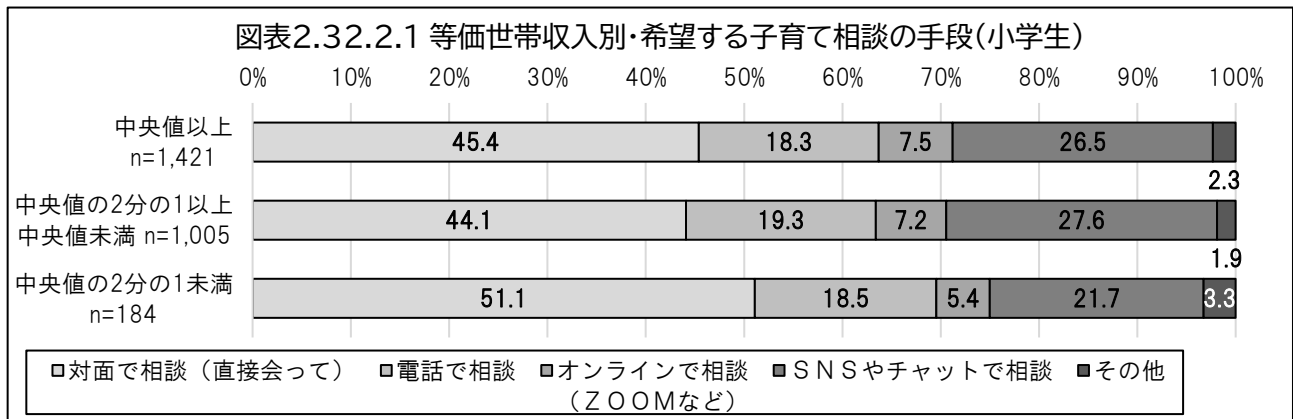
(1)全体

子育ての相談をする手段として希望する方法について、小学生・中学生ともに、「対面で相談（直接会って）」が43.4%、42.5%と最も高く、次いで「SNSやチャットで相談」が25.5%、25.6%、「電話で相談」が17.9%、17.1%となっています。



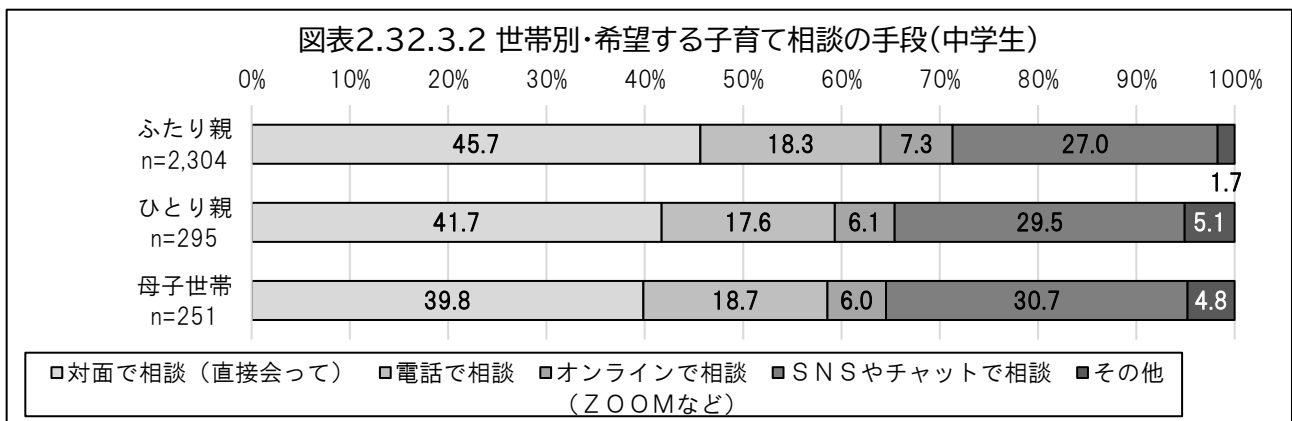
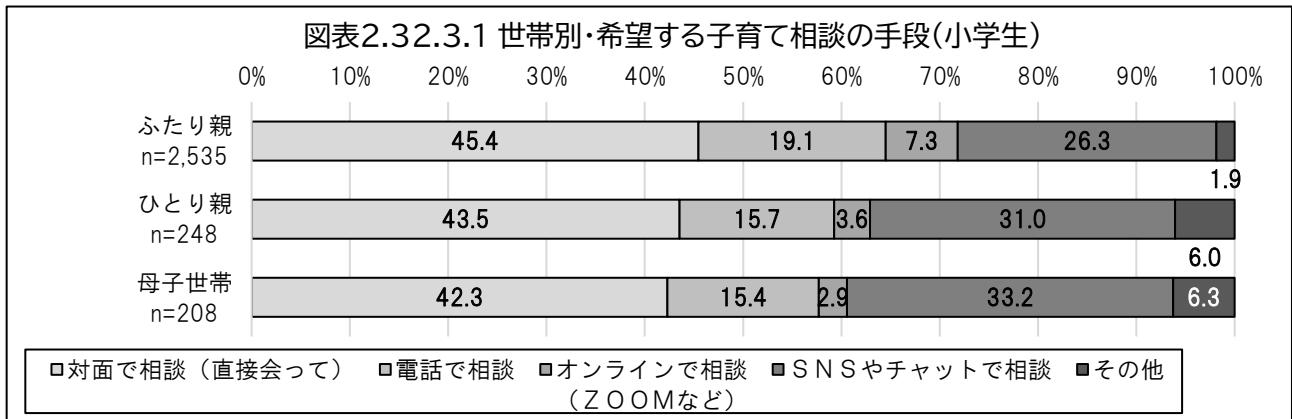
(2)等価世帯収入別

希望する悩み事の相談方法について、等価世帯収入別にみると、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では、「対面で相談（直接会って）」と回答した割合が、小学生は51.1%、中学生は41.7%となり、全体（43.4%、42.5%）と比較して、小学生は高く、中学生はやや低くなっています。また、「SNSやチャットで相談」と回答した割合は、小学生は21.7%、中学生は29.6%となり、全体（25.5%、25.6%）と比較して、小学生は低く、中学生は高くなっています。



(3)世帯別

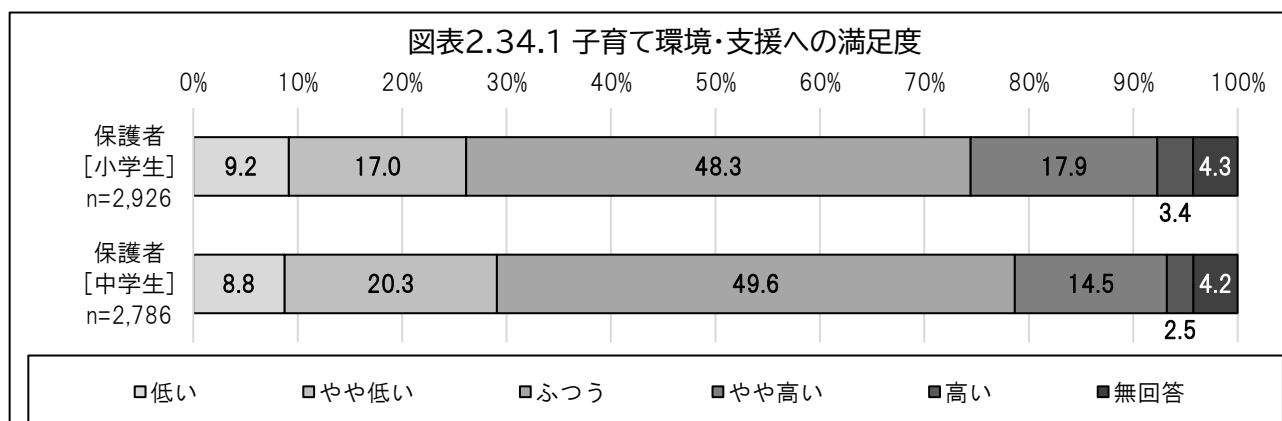
希望する悩み事の相談方法について、世帯別にみると、ひとり親世帯では、「対面で相談(直接会って)」と回答した割合が、小学生は43.5%、中学生は41.7%となり、全体(43.4%、42.5%)と同程度となっています。また、「SNSやチャットで相談」と回答した割合は、小学生は31.0%、中学生は29.5%となり、全体(25.5%、25.6%)と比較して高くなっています。



問3 4. お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度についてお答えください。

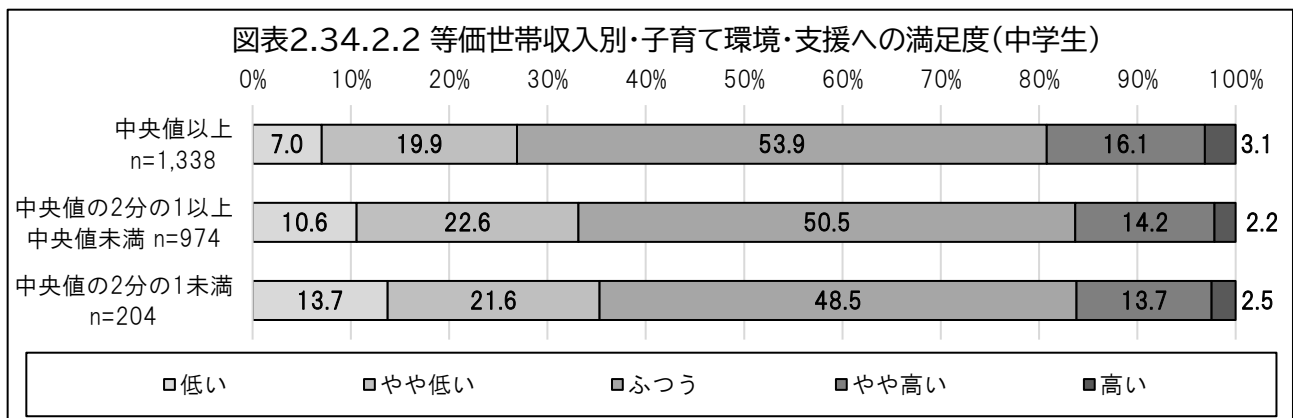
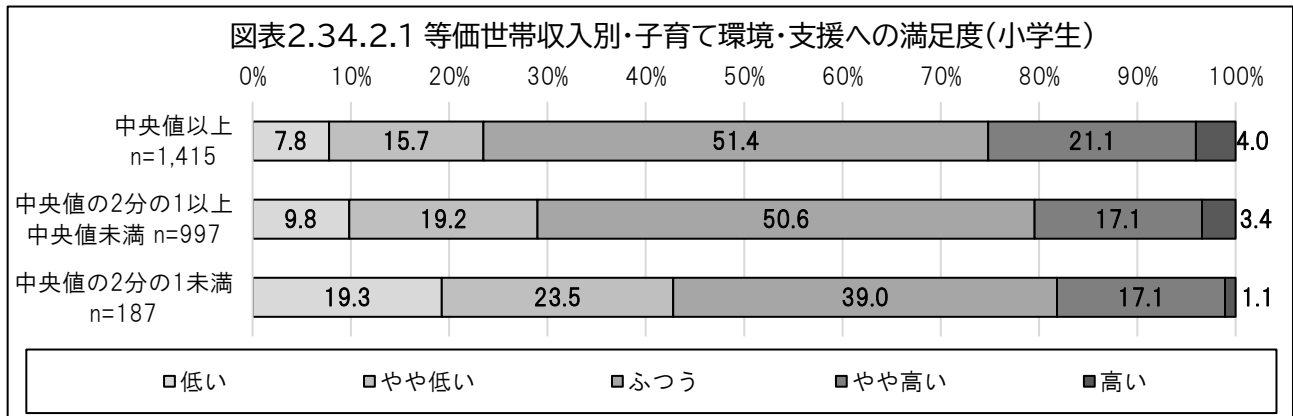
(1)全体

子育ての環境や支援への満足度について、満足度が高いと考えている方（「高い」と「やや高い」の合計）は、小学生が21.3%、中学生が17.0%、満足度が低いと考えている方（「低い」と「やや低い」の合計）は、小学生が26.2%、中学生が29.1%と、満足度が低いと考えている方が上回っています。



(2)等価世帯収入別

子育ての環境や支援への満足度について、等価世帯収入別にみると、満足度が低いと考えている方（「低い」と「やや低い」の合計）は、全体では小学生が26.2%、中学生が29.1%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では、小学生が42.8%、中学生が35.3%と高くなっています。



(3)世帯別

子育ての環境や支援への満足度について、世帯別にみると、満足度が低いと考えている方（「低い」と「やや低い」の合計）は、全体では小学生が26.2%、中学生が29.1%であったのに対し、ひとり親世帯では、小学生が39.8%、中学生が38.2%と高くなっています。

